

基本計画書

基本計画		
事項	記入欄	備考
計画の区分	研究科の設置	
フリガナ設置者	コクリツダイガクホウジントウキョウカガクダイガク 国立大学法人東京科学大学（仮称）	
フリガナ大学の名称	トウキョウカガクダイガク 東京科学大学（仮称）	
大学本部の位置	東京都目黒区大岡山二丁目1番1号	
大学の目的	大学は、科学に立脚して社会の発展に指導的役割を果たすことのできる市民を育成する。この理念のもとに必要な専門的知識を学生に修得させ、かつ人格の陶冶をなすとともに、理学、工学、医学、歯学、人文社会科学及びこれらの融合学術分野の理論と応用を研究し、その深奥を究めて科学と技術の水準を高めることを大学の目的とし、もって文化の進展に寄与し、地球上全ての構成員の福祉に貢献することをその使命とする。	
新設学部等の目的	医学総合研究科 修士課程【医歯理工保健学専攻】 〔専攻全体〕 ア、養成する人材像 医学、歯学、生命理工学、保健学を中心とする多分野融合を実現した体系的な教育課程を基に、生命科学領域の相互連携を図り、人類の健康と福祉に関する幅広い知識および高い倫理観を有する医学、歯学、生命理工学、保健学分野の教育者、研究者、技術者等を育成する。 イ、教育研究上の目的 修士（医科学） 1）学術的な研究成果を有し、次世代の医科学の発展を担える研究・開発の能力を有している。 2）医科学に関する専門的な知識と技術を身につけ、医科学領域にて高度な実践を展開できる能力を有している。 3）研究成果や思考過程を的確に伝え、また、理解する能力を有している。 修士（歯科学） 1）学術的な研究成果を有し、次世代の歯科学の発展を担える研究・開発の能力を有している。 2）歯科学に関する専門的な知識と技術を身につけ、歯科学領域にて高度な実践を展開できる能力を有している。 3）研究成果や思考過程を的確に伝える能力を有している。 修士（理学） 1）学術的な研究成果を有し、次世代の生命科学の発展を担える研究・開発の能力を有している。 2）生命科学に関する専門的な知識と技術を身につけ、医療・バイオ産業界にて高度な実践を展開できる能力を有している。 3）研究成果や思考過程を的確に伝える能力を有している。	

修士（工学）

- 1) 学術的な研究成果を有し、次世代の生体工学の発展を担える研究・開発の能力を有している。
- 2) 生体工学に関する専門的な知識と技術を身につけ、医療・バイオ産業界にて高度な実践を展開できる能力を有している。
- 3) 研究成果や思考過程を的確に伝える能力を有している。

修士（口腔保健学）

- 1) 学術的な研究成果を有し、次世代の口腔保健学の発展を担える研究・開発の能力を有している。
- 2) 口腔保健学に関する専門的な知識と技術を身につけ、口腔保健学領域における高度な実践を展開できる能力を有している。
- 3) 研究成果や思考過程を的確に伝える能力を有している。

修士（保健学）

- 1) 臨床検査学および関連領域における専門的な知識と技術を身につけ、科学的能力と倫理観に根ざす実践的能力を有している。
- 2) 臨床検査学および関連領域における将来の指導者、教育者、研究者となるための基盤を有している。

修士（医療管理学）

- 1) 医療の高度化と複雑化に対応するために必要な幅広い専門知識を修得し、質の高い医療サービスを提供するために必要な戦略的な管理運営を行う知識と技能を修得している。
- 2) 医療現場の問題点を分析し具体的な対策を組み立て改善することのできる能力と、今後の問題発生を予知しプロアクティブに対応する創造力を身に付けている。
- 3) 調査分析結果をバイアスなく提示できる論理的表現能力を有している。
- 4) 本コース終了後も、継続して知識を習得する能力および問題解決能力を備えている。
- 5) 組織における医療管理的リーダーとしての素養および組織の意思決定・業務遂行でのコミュニケーション能力を有している。
- 6) 国際協力を含めて、社会全般に対しての医療管理に関する情報提供、業務支援の能力を有している。

修士（医療政策学）

- 1) 医療環境の変化に伴う医療提供体制ならびに患者ニーズの高度化と複雑化に対応するために必要な幅広い専門知識を修得し、本格的な少子高齢社会を迎えているわが国の今後の医療政策の最適解を提示するために必要な知識と技能を修得している。
- 2) 現行の医療政策の問題点を分析し具体的な改善方策を提示する能力を具備している。
- 3) 医療政策を分析する上で論理的思考能力および表現能力を有している。
- 4) 本コース終了後も、継続して知識を習得する能力および問題解決能力を備えている。
- 5) 組織において適用される医療政策の分析および立案に関して指導的素養および組織のコミュニケーション・意思決定・事業遂行能力を有している。
- 6) 国際協力を含めて、社会全般に対しての医療政策に関する情報提供、業務支援の能力を有している。

修士（グローバル健康医学）

- 1) 公衆衛生学、疫学、生物統計学、ヘルスシステム、母子保健、環境保健、産業保健などグローバルな観点における公衆衛生学について習熟し、統計解析ができる。
- 2) 本学の持つ海外拠点等を活用し、グローバルヘルスについて現場のデータを収集し、予防戦略を立案し実行できる。
- 3) 疾患予防戦略を社会に展開する上で必要な論理的表現能力を有し、研究成果を社会に還元できる。
- 4) 本コース終了後も、継続して知識を習得する能力および問題解決能力を備えている。
- 5) 組織における公衆衛生のリーダーとしての素養および組織の意思決定・業務遂行でのコミュニケーション能力を有している。
- 6) 国際協力を含めて、社会全般に対してのグローバルな公衆衛生学に関する情報収集および発信能力を有している。

ウ．修了後の進路等

大学院博士課程への進学、多様な学際領域の医療従事者・研究者・技術者・教育者

博士課程【医歯学専攻】

ア．養成する人材像

〔専攻全体〕

医学と歯学の両分野の専門的知識を熟知し、他分野との緊密な連携により世界をリードする研究者、教育戦略を打ち立て実行できる心豊かな教育者、高い倫理観を有する研究心旺盛な高度専門医療人、そして新しい時代を開拓するオピニオンリーダーを育成する。

イ．教育研究上の目的

博士（医学）

- 1) 人類の健康と福祉に貢献するための卓越した研究成果をあげることができる能力を有している。
- 2) 高い専門性と倫理観を持ち、先駆的、独創的研究を指導できる能力を有している。
- 3) 医学教育に関する多面的な知識と専門的知識をあわせ持ち、医学界をリードする能力を有している。
- 4) 高度専門的医療人として、臨床研究において先駆的医療の発展に寄与できる能力を有している。

博士（歯学）

- 1) 秀でた研究成果をあげており、次世代の歯科医学の発展に貢献できる研究能力を有している。
- 2) 高い専門性と倫理観を持ち、次世代の基礎および臨床歯学研究を担う人材育成や高度な専門的業務に貢献できる研究能力を有している。
- 3) 自ら課題を設定し、研究を立案・遂行できる能力を有している。
- 4) 自身の研究成果を広く社会に説明・発信できる能力を有している。
- 5) 国際的な視野を持ち、国際的に活躍できる能力を有している。

博士（数理医科学）

- 1) 先端的な数理科学の方法論を用いて、あるいはそれを発展させ、人類の健康と福祉に貢献するための卓越した研究成果をあげることができる能力を有している。
- 2) 高い専門性と倫理観を持ち、先駆的、独創的な数理科学の方法論を用いた医科学を担う人材育成や高度な専門的業務に貢献できる能力を有している。
- 3) 数理科学的手法を主軸として用いた医学的課題の解決、もしくは、医学的課題を直接的に解決する新しい遺伝統計学等を含む数理科学的手法の開発を通して、医科学の発展に貢献できる能力を有している。
- 4) 自ら課題を設定し、研究を立案・遂行できる能力を有している。
- 5) 自身の研究成果を広く社会に説明・発信できる能力を有している。
- 6) 国際的な視野を持ち、海外でも活躍できる能力を有している。

博士（学術）

- 1) 学際的な医歯理工学領域の問題を的確に理解して自ら課題を設定した上で、その解決に向けて高度な倫理観と豊かな学識によって意欲的に対応できる資質を有している。
- 2) 学際的な医歯理工学領域を切り拓くために必要な幅広い専門知識と研究技能を併せ持ち、人類の健康と福祉に貢献できる高度で自立的な研究能力を有している。
- 3) 学際的な医歯理工学領域に関する自己の研究成果を的確にまとめて広く国内外の社会や学界に伝えるときにも適切に議論できる高いコミュニケーション能力を有している。

ウ．修了後の進路等

国公立の医歯学系教育機関、医療機関・施設、産官学の研究機関など

博士課程【東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻】

〔専攻全体〕

ア．養成する人材像

食道・胃・大腸がんの分野（消化器腫瘍学）に応用できる基礎研究及び臨床研究の専門的知識・経験を有し、国家的及び国際的な臨床研究プロジェクトのリーダーになれる人材を養成する。

イ．教育研究上の目的

博士（医学）

- 1) 消化管外科における最新の診断・治療機器を駆使した高度な外科医療を実践できること。
- 2) 消化管内視鏡を用いた最新の技法を習得し、高度の内科診療を行うことができること。
- 3) 臨床現場における医療チームのリーダーシップを取れるような経験・技能を有すること。
- 4) 十分な学識に裏打ちされた研究活動を行い、満足できる研究成果をあげて論文発表していること。
- 5) 研究遂行過程に求められるチームとしてのリーダーシップ、マネジメント能力を発揮できるように、国際的な研究経験を通じて研究手法や研究環境の現状と問題点についてよく理解していること。
- 6) 研究成果については討論、まとめ、学会発表、論文審査等を行って将来の計画と展望へのつなげ方を習得することにより、その内容を自己の意思の下に統括し、国際的に発信できること。
- 7) チリ国医師資格を持つ学生については、チリ国専門医の資格を取得するための要件を備えていること。

ウ．修了後の進路等

日本式消化器病検診や高度医療体制整備を南米に展開する際の中心的役割を担うオピニオンリーダー、日本・チリ国に共通する消化器疾患の基礎研究・臨床研究のプロジェクトリーダー、消化器疾患の診断・治療における新たな技術革新を目指すテクニカル分野の開発リーダー等

博士課程【東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻】

〔専攻全体〕

ア．養成する人材像

生命科学分野の専門的知識を熟知し、他分野との緊密な連携により世界をリードする研究者、教育戦略を打ち立て実行できる心豊かな教育者、高い倫理観を有する研究心旺盛な高度専門医療人、そして新しい時代を開拓するオピニオンリーダーを育成する。

イ．教育研究上の目的

博士（歯学）

- 1) 英語を共通語として専門的知識を理解し、英語によるコミュニケーションが円滑にできる。
- 2) 専門領域に関する生涯学習を自立的に継続していくことができる。
- 3) 日本、タイ王国のみならず広く東南アジア各国の医歯学領域、特に歯科矯正学に関する現状を把握してその問題点を指摘し、解決すべき問題に優先順位を付し、問題を解決するために必要となる研究や対策を自ら考えて実践することができる。
- 4) 海外関係者と協力連携して医歯学領域、特に歯科矯正学に関する研究・教育・診療を指導的立場で牽引していくことができる。

ウ．修了後の進路等

ASEAN諸国における、大学病院を始めとする高度医療機関、大学等の高等教育機関、基幹病院、WHOを始めとする国際機関や国際的に活動するNGO・NPO等

博士課程【東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻】

〔専攻全体〕

ア．養成する人材像

生物医学及び医学の知識のうち、特にがん治療に精通した外科学分野の専門的知識を熟知し、医療ニーズの多様化に即応しうるリサーチマインドを持った、日本及びASEAN地域の医学・医療を牽引する高度専門医療人を養成する。また、これにより日本及びASEAN地域全体にみられる喫緊の課題を解決することを目指す。

イ．教育研究上の目的

博士（医学）

- 1) 外科系専門分野における高度な専門知識・技術・応用力を身につけ、自ら先駆的な研究活動を遂行する能力を有している。
- 2) 外科系専門分野及び外科系関連医科学分野に関する自己の研究成果を的確にまとめて広く国際的に説明・発信できる能力を有している。
- 3) 外科医療に対する国際的課題を発見し、国際的な視野で問題解決を図る能力を有し、教育・研究の場において先導的役割を果たす指導者としての資質を有している。

ウ．修了後の進路等

がんセンター等の専門的な中核病院、教育病院、大学病院等の臨床医、大学、中核病院等の医科学者、ASEAN地域の医学・医療を牽引する指導者等

博士課程【生命理工医療科学専攻】

ア．養成する人材像

〔専攻全体〕

生命理工学および医療科学分野に精通し、生命科学と先端医療との融合的学際分野において幅広い学識と国際的な視野を有し、高度な専門性と実践的問題発見・解決能力を持った人材、とりわけ先端的な研究遂行能力を有する研究者、卓越した学識と優れた人間性を有する教育者、世界の動向や社会の要請に応じて先端的な技術革新を実現するためのマネジメント能力を身につけ医療機関・バイオ産業界で活躍できる人材を養成する。

イ．教育研究上の目的

博士（理学）

- 1) 卓越した研究成果をあげており、先端的・分野融合的な生命科学の発展に貢献できる研究能力を有している。
- 2) 高い専門性と倫理観を持ち、次世代の生命科学を担う人材育成や高度な専門的業務に貢献できる能力を有している。
- 3) 生命科学や関連分野の多様な知識や技術を持ち、先端的技術開発を通して、医療・バイオ産業界の発展に貢献できる能力を有している。
- 4) 自ら課題を設定し、研究を立案・遂行できる能力を有している。
- 5) 自身の研究成果を広く社会に説明・発信できる能力を有している。
- 6) 国際的な視野を持ち、海外でも活躍できる能力を有している。

博士（工学）

- 1) 卓越した研究成果をあげており、先端的・分野融合的な生体工学の発展に貢献できる研究能力を有している。
- 2) 高い専門性と倫理観を持ち、次世代の生体工学を担う人材育成や高度な専門的業務に貢献できる能力を有している。
- 3) 生体工学に関する多様な知識や技術を持ち、先端的技術開発を通して、医療・バイオ産業界の発展に貢献できる能力を有している。
- 4) 自ら課題を設定し、研究を立案・遂行できる能力を有している。
- 5) 自身の研究成果を広く社会に説明・発信できる能力を有している。
- 6) 国際的な視野を持ち、海外でも活躍できる能力を有している。

博士（保健学）

- 1) 臨床検査学および関連領域における専門的業務に必要な高い学識・技術・応用力を身につけ、自ら先駆的な研究活動を遂行する能力を有している。
- 2) 臨床検査学および関連領域における指導者、教育者、研究者となるための基盤を習得し、国際的・学際的にリーダーシップを発揮できる資質と力量を有している。

博士（口腔保健学）

- 1) 口腔保健学および関連領域における専門的業務に必要な高い学識・技術・応用力を身につけ、自ら先駆的な研究活動を遂行する能力を有している。
- 2) 口腔保健学および関連領域における指導者、教育者、研究者となるための基盤を習得し、国際的・学際的にリーダーシップを発揮できる資質と力量を有している。

ウ．修了後の進路等

大学・研究所等の教育者・研究者、医療現場スタッフ、検査試薬・機器関連企業の開発担当技術者、スポーツ産業・製薬企業の研究者、病院・医療機関の技術者

		博士課程【医歯学系専攻】 ア. 養成する人材像 〔専攻全体〕 医学と歯学の両分野の専門的知識を熟知し、他分野との緊密な連携により世界をリードする研究者、教育戦略を打ち立て実行できる心豊かな教育者、高い倫理観を有する研究心旺盛な高度専門医療人、そして新しい時代を開拓するオピニオンリーダーを育成する。 イ. 教育研究上の目的 博士（医学） 1) 人類の健康と福祉に貢献するための卓越した研究成果をあげることができる能力を有している。 2) 高い専門性と倫理観を持ち、先駆的、独創的研究を指導できる能力を有している。 3) 医学教育に関する多面的な知識と専門的知識をあわせ持ち、医学界をリードする能力を有している。 4) 高度専門的医療人として、臨床研究において先駆的医療の発展に寄与できる能力を有している。 博士（歯学） 1) 秀でた研究成果をあげており、次世代の歯科医学の発展に貢献できる研究能力を有している。 2) 高い専門性と倫理観を持ち、次世代の基礎および臨床歯学研究を担う人材育成や高度な専門的業務に貢献できる研究能力を有している。 3) 自ら課題を設定し、研究を立案・遂行できる能力を有している。 4) 自身の研究成果を広く社会に説明・発信できる能力を有している。 5) 国際的な視野を持ち、国際的に活躍できる能力を有している。 博士（学術） 1) 学際的な医歯理工学領域の問題を的確に理解して自ら課題を設定した上で、その解決に向けて高度な倫理観と豊かな学識によって意欲的に対応できる資質を有している。 2) 学際的な医歯理工学領域を切り拓くために必要な幅広い専門知識と研究技能を併せ持ち、人類の健康と福祉に貢献できる高度で自立的な研究能力を有している。 3) 学際的な医歯理工学領域に関する自己の研究成果を的確にまとめて広く国内外の社会や学界に伝えるとともに適切に議論できる高いコミュニケーション能力を有している。 ウ. 修了後の進路等 国公立の医歯学系教育機関、医療機関・施設、産官学の研究機関など						
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	医歯学総合研究科 医歯理工保健学専攻	年 2 (医療管理学コース：1年)	人 131	年次人 -	人 257	修士（医科学） 修士（歯科学） 修士（理学） 修士（工学） 修士（口腔保健学） 修士（保健学） 修士（医療管理学） 修士（医療政策学） 修士（グローバル健康医学）	令和6年10月 第1年次	東京都文京区湯島1-5-45
	医歯学専攻	4	181	-	724	博士（医学） 博士（歯学） 博士（数理医科学） 博士（学術）	令和6年10月 第1年次	同上
	東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻	5	3	-	15	博士（医学）	令和6年10月 第1年次	同上
	東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻	5	3	-	15	博士（歯学）	令和6年10月 第1年次	同上
	東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻	4	3	-	12	博士（医学）	令和6年10月 第1年次	同上

	生命理工医療科学専攻	3	25	-	75	博士（理学） 博士（工学） 博士（保健学） 博士（口腔保健学）	令和6年10月 第1年次	同上			
	医歯学系専攻 (募集停止中)	4	(-)	-	(-)	博士（医学） 博士（歯学） 博士（学術）	-	同上	平成30年度学生募集停止		
	計		346		1098						
同一設置者内における変更状況 (定員の移行，名称の変更等)		同一設置者内における変更状況は別紙のとおり									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数					
		講義	演習	実験・実習	計						
	医歯学総合研究科 医歯理工保健学専攻	92科目	15科目	9科目	116科目	30単位					
	医歯学総合研究科 医歯学専攻	154科目	107科目	106科目	367科目	30単位					
	医歯学総合研究科 東京科学大学（仮称）・ チリ大学国際連携医学系専攻	40科目	6科目	15科目	61科目	191単位					
	医歯学総合研究科 東京科学大学（仮称）・ チュラロンコーン大学国際 連携歯学系専攻	9科目	3科目	12科目	24科目	72単位					
	医歯学総合研究科 東京科学大学（仮称）・ マヒドン大学国際連携医学系専攻	21科目	21科目	2科目	44科目	72単位					
	医歯学総合研究科 生命理工医療科学専攻	49科目	42科目	1科目	92科目	20単位					
	医歯学総合研究科 医歯学系専攻	-	-	-	-	30単位					
教員組織	学 部 等 の 名 称			専任教員等					兼任教員等		
				教授	准教授	講師	助教	計		助手	
	新設	医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻			人	人	人	人	人	人	
					111 (111)	74 (74)	73 (73)	148 (148)	406 (406)	0 (0)	239 (239)
	設置	医歯学総合研究科医歯学専攻			84 (84)	44 (44)	65 (65)	110 (110)	303 (303)	0 (0)	174 (174)
					32 (32)	12 (12)	9 (9)	9 (9)	62 (62)	0 (0)	17 (17)
	分	医歯学総合研究科東京科学大学（仮称）・ チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻			20 (20)	4 (4)	6 (6)	7 (7)	37 (37)	0 (0)	4 (4)
					21 (21)	9 (9)	18 (18)	14 (14)	62 (62)	0 (0)	16 (16)
	組織	医歯学総合研究科東京科学大学（仮称）・マ ヒドン大学国際連携医学系専攻			27 (27)	20 (20)	4 (4)	36 (36)	87 (87)	0 (0)	111 (111)
					84 (84)	44 (44)	65 (65)	110 (110)	303 (303)	0 (0)	174 (174)
計			120 (120)	77 (77)	74 (74)	159 (159)	430 (430)	0 (0)	- (-)		

概要	施設	既設	理学院	54 (54)	38 (38)	1 (1)	52 (52)	145 (145)	0 (0)	109 (109)
		工学院	91 (91)	90 (90)	1 (1)	63 (63)	245 (245)	0 (0)	202 (202)	
		物質理工学院	69 (69)	64 (64)	0 (0)	68 (68)	201 (201)	0 (0)	169 (169)	
		情報理工学院	34 (34)	20 (20)	3 (3)	27 (27)	84 (84)	0 (0)	141 (141)	
		生命理工学院	41 (41)	39 (39)	3 (3)	53 (53)	136 (136)	0 (0)	78 (78)	
		環境・社会理工学院	78 (78)	62 (62)	6 (6)	46 (46)	192 (192)	0 (0)	154 (154)	
		技術経営専門職額課程	6 (6)	4 (4)	0 (0)	2 (2)	12 (12)	0 (0)	19 (19)	
		計	373 (373)	317 (317)	14 (14)	311 (311)	1015 (1015)	0 (0)	- (-)	
	合計	493 (493)	394 (394)	88 (88)	470 (470)	1445 (1445)	0 (0)	- (-)		
教員以外の職員の概要	職 種		専 任		兼 任		計		大学全体	
	事 務 職 員		1233 (1233)		1211 (1211)		2444 (2444)			
	技 術 職 員		1845 (1845)		581 (581)		2426 (2426)			
	図 書 館 専 門 職 員		23 (23)		26 (26)		49 (49)			
	そ の 他 の 職 員		53 (53)		392 (392)		445 (445)			
	計		3154 (3154)		2210 (2210)		5364 (5364)			
校地等	区 分	専 用	共 用		共用する他の学校等の専用		計		大学全体	
	校 舎 敷 地	449,710㎡	0㎡		0㎡		449,710㎡			
	運 動 場 用 地	58,604㎡	0㎡		0㎡		58,604㎡			
	小 計	508,314㎡	0㎡		0㎡		508,314㎡			
	そ の 他	93,074㎡	0㎡		0㎡		93,074㎡			
	合 計	601,388㎡	0㎡		0㎡		601,388㎡			
校 舎		専 用	共 用		共用する他の学校等の専用		計		大学全体	
		492,049㎡ (492,049㎡)	0㎡ (0㎡)		0㎡ (0㎡)		492,049㎡ (492,049㎡)			
教室等	講義室	演習室	実験実習室		情報処理学習施設		語学学習施設		大学全体	
	290室	201室	1002室		5室 (補助職員7人)		7室 (補助職員6人)			
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称				室 数				
		大学全体				875 室				
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体		
		1,027,883 [571,240] (1,027,883 [571,240])	31,505 [26,734] (31,505 [26,734])	24,418 [22,904] (24,418 [22,904])	8,343 (8,343)	497 (497)	55,862 (55,862)			
	計	1,027,883 [571,240] (1,027,883 [571,240])	31,505 [26,734] (31,505 [26,734])	24,418 [22,904] (24,418 [22,904])	8343 (8,343)	497 (497)	55862 (55,862)			
図書館		面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
		17,423 ㎡		1,578 席		1,213,499 冊				
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
		5,853 ㎡		テニスコート、プール、武道館、柔剣道場、弓道場						

経費の見積り 方法及び 維持費の概	区 分	開設前年度	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	国費 (運営費交付金) による
		教員 1 人当り研究費等	—	—	—	—	—	—	
		共 同 研 究 費 等	—	—	—	—	—	—	
		図 書 購 入 費	—	—	—	—	—	—	
		設 備 購 入 費	—	—	—	—	—	—	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			—						
大 学 の 名 称	東京工業大学								
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	定 員 超過率	開設 年度	所 在 地
	理学院	年	人	年次 人	人		倍		
	(学士課程)	4	151	—	604	学士 (理学)	1. 13	H28年度	
	(修士課程)	2	154	—	308	修士 (理学) (学術)	1. 15	H28年度	
	(博士後期課程)	3	52	—	156	博士 (理学) (学術)	0. 8	H28年度	
	工学院								
	(学士課程)	4	358	3年次 9	1450	学士 (工学)	1. 12	H28年度	
	(修士課程)	2	477	—	954	修士 (理学) (工学) (学術)	1. 35	H28年度	
	(博士後期課程)	3	169	—	507	博士 (理学) (工学) (学術)	0. 81	H28年度	
	物質理工学院								
	(学士課程)	4	183	3年次 5	742	学士 (理学) (工学)	1. 04	H28年度	
	(修士課程)	2	347	—	694	修士 (理学) (工学) (学術)	1. 28	H28年度	
	(博士後期課程)	3	129	—	387	博士 (理学) (工学) (学術)	0. 79	H28年度	
	情報理工学院								
	(学士課程)	4	92	3年次 2	372	学士 (理学) (工学)	1. 20	H28年度	
	(修士課程)	2	135	—	270	修士 (理学) (工学) (学術)	1. 28	H28年度	
(博士後期課程)	3	50	—	150	博士 (理学) (工学) (学術)	1	H28年度		
生命理工学院									
(学士課程)	4	150	3年次 10	620	学士 (理学) (工学)	1. 04	H28年度		

既設大学等の状況	(修士課程)	2	168	—	336	修士 (理学) (工学) (学術)	1. 21	H28年度	目黒区大岡山 2 丁目 12-1	
	(博士後期課程)	3	52	—	156	博士 (理学) (工学) (学術)	1. 17	H28年度		
	環境・社会理工学院									
	(学士課程)	4	134	3年次 4	544	学士 (工学)	1. 09	H28年度		
	(修士課程)	2	263	—	526	修士 (理学) (工学) (学術)	1. 42	H28年度		
	(博士後期課程)	3	115	—	345	博士 (理学) (工学) (学術) (技術経営)	1. 13	H28年度		
	技術経営専門職学位課程 (専門職学位課程)	2	40	—	80	技術経営修士 (専門職)	1. 23	H28年度		
	理学部									
	数学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	H10年度		平成28年度より学 生募集停止
	物理学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	H10年度		平成28年度より学 生募集停止
	地球惑星科学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	H10年度		平成28年度より学 生募集停止
	工学部									
	化学工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	H7年度		平成28年度より学 生募集停止
	電気電子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	H12年度		平成28年度より学 生募集停止
	情報工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	H12年度		平成28年度より学 生募集停止
	土木・環境工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	H7年度		平成28年度より学 生募集停止
	生命理工学部									
	生命科学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	H11年度		平成28年度より学 生募集停止
	理工学研究科 (博士後期課程)									
	建築学専攻	3	—	—	—	博士 (工学) (学術)	—	H12年度		平成28年度より学 生募集停止
	生命理工学研究科 (博士後期課程)									
	生体システム専攻	3	—	—	—	博士 (理学) (工学) (学術)	—	H12年度		平成28年度より学 生募集停止
	総合理工学研究科 (博士後期課程)									
	環境理工学創造専攻	3	—	—	—	博士 (工学) (学術)	—	H10年度		平成28年度より学 生募集停止
	知能システム科学専攻	3	—	—	—	博士 (理学) (工学) (学術)	—	H8年度		平成28年度より学 生募集停止
	物理情報システム専攻	3	—	—	—	博士 (理学) (工学) (学術)	—	H17年度		平成28年度より学 生募集停止

	社会理工学研究科 (博士後期課程) 価値システム専攻	3	—	—	—	博士 (理学) (工学) (学術)	—	H8年度		平成28年度より学 生募集停止
	経営工学専攻	3	—	—	—	博士 (理学) (工学) (学術)	—	H8年度		平成28年度より学 生募集停止
	イノベーションマネジ メント研究科 (博士後期課程) イノベーション専攻	3	—	—	—	博士 (技術経営) (工学) (学術)	—	H17年度		平成28年度より学 生募集停止
	大 学 の 名 称	東京医科歯科大学								
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定 員 超過率	開設 年度	所 在 地	
	医学部	年	人	年次 人	人		倍			
	医学科	6	101	2年次 5	628	学士 (医学)	1.01	S26年度		
	保健衛生学科	4	90	—	360	学士 (看護学) (保健学)	1.06	H元年度		
	歯学部						1.00			
	歯学科	6	53	—	318	学士 (歯学)	1.03	S26年度		
	口腔保健学科	4	32	2年次 5	143	学士 (口腔保健学)	0.94	H16年度		
	医歯学総合研究科 (修士課程) 医歯理工保健学専攻	2 (医 療管 理学 コー ス：1 年)	131	—	257	修士 (医科学) (歯科学) (理学) (工学) (口腔保健学) (保健学) (医療管理学) (医療政策学) (グローバル健 康医学)	1.11	H30年度	東京都文京区湯島1- 5-45	
	(博士課程) 医歯学専攻	4	181	—	724	博士 (医学) (歯学) (数理医科学) (学術)	1.40	H30年度		

	東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻	5	3	—	15	博士 (医学)	0.33	H28年度	
	東京医科歯科大学・チュラロンコン大学国際連携歯学系専攻	5	3	—	15	博士 (歯学)	0.93	H28年度	
	東京医科歯科大学・マヒドン大学国際連携医学系専攻	4	3	—	12	博士 (医学)	1.00	R2年度	
	生命理工医療科学専攻	3	25	—	75	博士 (理学) (工学) (保健学) (口腔保健学)	0.61	H30年度	
	医歯学系専攻	4	—	—	—	博士 (医学) (歯学) (学術)	—	H24年度	平成30年度より学生募集停止
	保健衛生学研究科 (博士課程(前期))								
	生体検査科学専攻	2	—	—	—	修士 (保健学)	—	H13年度	平成30年度より学生募集停止
	(博士課程(後期)) 生体検査科学専攻	3	—	—	—	博士 (保健学)	—	H13年度	平成30年度より学生募集停止
	(博士課程) 看護先進科学専攻	5	13	—	65	博士 (看護学)	1.30	H26年度	
	共同災害看護学専攻	5	—	—	—	博士 (看護学)	—	H26年度	令和3年度より学生募集停止
附属施設の概要		名称：東京科学大学病院 目的：患者の診療を通じて医学及び歯学の教育と研究を行うこと 所在地：東京都文京区湯島1-5-45 設置年月：令和3年10月 建物 101,052㎡ 名称：生体材料工学研究所 目的：生体に用いられる物質及び材料並びに生体工学に関する学理及びその応用の研究を行うこと 所在地：東京都千代田区神田駿河台2-3-10 設置年月：昭和26年4月 建物 6,169㎡ 名称：難治疾患研究所 目的：膠原病その他の難治疾患に関する学理及びその応用を研究すること 所在地：東京都文京区湯島1-5-45 設置年月：昭和48年9月 建物 10,429㎡ 名称：東京科学大学附属科学技術高等学校 目的：高度な普通教育及び科学技術に関する専門教育を行うとともに、大学における教育研究に協力し、大学の教育実習の実施に当たること 所在地：東京都港区芝浦3-3-6 設置年月：平成17年4月 建物 13,747㎡ 名称：科学技術創成研究院 目的：革新的な科学や技術を開拓することを通じた新たな研究領域の創出と、人類社会の課題解決、将来の産業基盤の育成を強く意識した世界トップレベルの研究成果の創出 所在地：神奈川県横浜市緑区長津田町4259 設置年月：平成28年4月 建物 30,657㎡							

同一設置者内における変更状況

令和 6 年 10 月 名称変更予定

東京工業大学→東京科学大学（仮称）

東京医科歯科大学（廃止）

医学部医学科 (△85)(2 年次編入学定員) (△5)保健衛生学科 (△90)

※令和 6 年 10 月学生募集停止（2 年次編入学を含む）

歯学部歯学科 (△53)口腔保健学科 (△32)(2 年次編入学定員) (△5)

※令和 6 年 10 月学生募集停止（2 年次編入学を含む）

東京医科歯科大学大学院（廃止）

医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻 (△131)医歯学専攻 (△181)東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻 (△3)東京医科歯科大学・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻 (△3)東京医科歯科大学・マヒドン大学国際連携医学系専攻 (△3)生命理工医療科学専攻 (△25)医歯学系専攻（平成 30 年 4 月学生募集停止） (-)保健衛生学研究科看護先進科学専攻 (△13)共同災害看護学専攻（令和 3 年 4 月学生募集停止） (-)

※令和 6 年 10 月学生募集停止

国立大学法人東京科学大学 意見伺い等に関わる組織の移行表

今回の意見伺いは東京工業大学及び東京医科歯科大学の統合を目的としたものである。手続上、東京工業大学(新大学名称:東京科学大学)に医学部、歯学部、大学院医歯学総合研究科及び大学院保健衛生学研究科の2学部2研究科を設置し、東京医科歯科大学は統合時(令和6年10月1日)に廃止され、在学生全員の学籍が新大学へ移行することとなる。なお、下表のとおり、統合前後で2学部2研究科の教育研究組織や学生数に変更はなく、教員組織、校地、校舎、施設、設備、学生支援体制も同一性を保持する。

※ 別途、統合時(令和6年10月1日)に大学名称を変更する予定である。

令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
東京工業大学				東京科学大学				
理学院	151	-	604	理学院	151	-	604	
数学系				数学系				
物理学系				物理学系				
化学系				化学系				
地球惑星科学系				地球惑星科学系				
	3年次				3年次			
工学院	358	9	1,450	工学院	358	9	1,450	
機械系				機械系				
システム制御系				システム制御系				
電気電子系				電気電子系				
情報通信系				情報通信系				
経営工学系				経営工学系				
	3年次				3年次			
物質理工学院	183	5	742	物質理工学院	183	5	742	
材料系				材料系				
応用化学系				応用化学系				
	3年次				3年次			
情報理工学院	92	2	372	情報理工学院	92	2	372	
数理・計算科学系				数理・計算科学系				
情報工学系				情報工学系				
	3年次				3年次			
生命理工学院	150	10	620	生命理工学院	150	10	620	
生命理工学系				生命理工学系				
	3年次				3年次			
環境・社会理工学院	134	4	544	環境・社会理工学院	134	4	544	
建築学系				建築学系				
土木・環境工学系				土木・環境工学系				
融合理工学系				融合理工学系				
理学部				理学部				
数学科	-	-	-	数学科	-	-	-	(平成28年度学生募集停止)
物理学科	-	-	-	物理学科	-	-	-	(平成28年度学生募集停止)
地球惑星科学科	-	-	-	地球惑星科学科	-	-	-	(平成28年度学生募集停止)
工学部				工学部				
化学工学科	-	-	-	化学工学科	-	-	-	(平成28年度学生募集停止)
電気電子工学科	-	-	-	電気電子工学科	-	-	-	(平成28年度学生募集停止)
情報工学科	-	-	-	情報工学科	-	-	-	(平成28年度学生募集停止)
土木・環境工学科	-	-	-	土木・環境工学科	-	-	-	(平成28年度学生募集停止)
生命理工学部				生命理工学部				
生命科学科	-	-	-	生命科学科	-	-	-	(平成28年度学生募集停止)
				医学部	2年次			学部の設置(意見伺い)
				医学科	85	5	535	
				保健衛生学科	90	-	360	
				歯学部				学部の設置(意見伺い)
				歯学科	53	-	318	
				口腔保健学科	32	5	143	
	2年次				2年次			
計	1,068	-	4,332	計	1,328	10	5,688	
	3年次				3年次			
	30				30			
東京医科歯科大学								大学の廃止(意見伺い)
医学部	2年次				2年次			令和6年度学生募集停止
医学科	85	5	535	医学科	0	0	0	
保健衛生学科	90	-	360	保健衛生学科	0	-	0	
歯学部								令和6年度学生募集停止
歯学科	53	-	318	歯学科	0	-	0	
口腔保健学科	32	5	143	口腔保健学科	0	0	0	
	2年次				2年次			
計	260	10	1,356	計	0	0	0	

東京工業大学大学院 理学院	(M)	154	-	308	東京科学大学大学院 理学院	(M)	154	-	308
	数学系(M) 物理学系(M) 化学系(M) 地球惑星科学系(M)					数学系(M) 物理学系(M) 化学系(M) 地球惑星科学系(M)			
	(D)	52	-	156		(D)	52	-	156
	数学系(D) 物理学系(D) 化学系(D) 地球惑星科学系(D)					数学系(D) 物理学系(D) 化学系(D) 地球惑星科学系(D)			
	工学院					工学院			
	(M)	477	-	954		(M)	477	-	954
	機械系(M) システム制御系(M) 電気電子系(M) 情報通信系(M) 経営工学系(M)					機械系(M) システム制御系(M) 電気電子系(M) 情報通信系(M) 経営工学系(M)			
	(D)	169	-	507		(D)	169	-	507
	機械系(D) システム制御系(D) 電気電子系(D) 情報通信系(D) 経営工学系(D)					機械系(D) システム制御系(D) 電気電子系(D) 情報通信系(D) 経営工学系(D)			
	物質理工学院					物質理工学院			
	(M)	347	-	694		(M)	347	-	694
	材料系(M) 応用化学系(M)					材料系(M) 応用化学系(M)			
	(D)	129	-	387		(D)	129	-	387
	材料系(D) 応用化学系(D)					材料系(D) 応用化学系(D)			
	情報理工学院					情報理工学院			
	(M)	135	-	270		(M)	135	-	270
	数理・計算科学系(M) 情報工学系(M)					数理・計算科学系(M) 情報工学系(M)			
	(D)	50	-	150		(D)	50	-	150
	数理・計算科学系(D) 情報工学系(D)					数理・計算科学系(D) 情報工学系(D)			
	生命理工学院					生命理工学院			
	(M)	168	-	336		(M)	168	-	336
	生命理工学系(M)					生命理工学系(M)			
	(D)	52	-	156		(D)	52	-	156
	生命理工学系(D)					生命理工学系(D)			
環境・社会理工学院	(M)	263	-	526	環境・社会理工学院	(M)	263	-	526
	建築学系(M) 土木・環境工学系(M) 融合理工学系(M) 社会・人間科学系(M)					建築学系(M) 土木・環境工学系(M) 融合理工学系(M) 社会・人間科学系(M)			
	技術経営専門職学位課程	40	-	80		技術経営専門職学位課程	40	-	80
	(D)	115	-	345		(D)	115	-	345
	建築学系(D) 土木・環境工学系(D) 融合理工学系(D) 社会・人間科学系(D) イノベーション科学系(D)					建築学系(D) 土木・環境工学系(D) 融合理工学系(D) 社会・人間科学系(D) イノベーション科学系(D)			
	理工学研究科					理工学研究科			
	建築学専攻(D)	-	-	-		建築学専攻(D)	-	-	- (平成28年度学生募集停止)
	生命理工学研究科					生命理工学研究科			
	生体システム専攻(D)	-	-	-		生体システム専攻(D)	-	-	- (平成28年度学生募集停止)
	総合理工学研究科					総合理工学研究科			
	環境理工学創造専攻(D)	-	-	-		環境理工学創造専攻(D)	-	-	- (平成28年度学生募集停止)
	知能システム科学専攻(D)	-	-	-		知能システム科学専攻(D)	-	-	- (平成28年度学生募集停止)
	物理情報システム専攻(D)	-	-	-		物理情報システム専攻(D)	-	-	- (平成28年度学生募集停止)
社会理工学研究科	価値システム専攻(D)	-	-	-	社会理工学研究科	価値システム専攻(D)	-	-	- (平成28年度学生募集停止)
	経営工学専攻(D)	-	-	-		経営工学専攻(D)	-	-	- (平成28年度学生募集停止)
イノベーションマネジメント研究科					イノベーションマネジメント研究科				
	イノベーション専攻(D)	-	-	-		イノベーション専攻(D)	-	-	- (平成28年度学生募集停止)

				<u>医歯学総合研究科</u>			研究科の設置（意見伺い）
				<u>医歯理工保健学専攻（M）</u>	<u>131</u>	-	<u>257</u>
				<u>医歯学専攻（D）</u>	<u>181</u>	-	<u>724</u>
				<u>東京科学大学・チリ大学国際連携医学系専攻（D）</u>	<u>3</u>	-	<u>15</u>
				<u>東京科学大学・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻（D）</u>	<u>3</u>	-	<u>15</u>
				<u>東京科学大学・マヒドン大学国際連携医学系専攻（D）</u>	<u>3</u>	-	<u>12</u>
				<u>生命理工医療科学専攻（D）</u>	<u>25</u>	-	<u>75</u>
				<u>医歯学系専攻（D）</u>	-	-	-（平成30年度学生募集停止）
				<u>保健衛生学研究科</u>			研究科の設置（意見伺い）
				<u>看護先進科学専攻（D）</u>	<u>13</u>	-	<u>65</u>
				<u>共同災害看護学専攻（D）</u>	-	-	<u>2</u> （令和3年度学生募集停止）
				計	<u>2,510</u>	-	<u>6,034</u>
東京医科歯科大学大学院							大学院の廃止（意見伺い）
医歯学総合研究科							令和6年度学生募集停止
医歯理工保健学専攻（M）	131	-	257	<u>0</u>	-	<u>0</u>	
医歯学専攻（D）	181	-	724	<u>0</u>	-	<u>0</u>	
東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻（D）	3	-	15	<u>0</u>	-	<u>0</u>	
東京医科歯科大学・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻（D）	3	-	15	<u>0</u>	-	<u>0</u>	
東京医科歯科大学・マヒドン大学国際連携医学系専攻（D）	3	-	12	<u>0</u>	-	<u>0</u>	
生命理工医療科学専攻（D）	25	-	75	<u>0</u>	-	<u>0</u>	
医歯学系専攻（D）	-	-	-	<u>0</u>	-	<u>0</u>	（平成30年度学生募集停止）
保健衛生学研究科							令和6年度学生募集停止
看護先進科学専攻（D）	13	-	65	<u>0</u>	-	<u>0</u>	
共同災害看護学専攻（D）	-	-	4				（令和3年度学生募集停止）
計	359	-	1,167	<u>0</u>	-	<u>0</u>	

教 育 課 程 等 の 概 要															
(医歯学総合研究科 修士課程 医歯理工保健学専攻)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基礎 科目	医歯学総合概論	1前		2		○			3	4	6			兼2	オムニバス
	初期研究研修	1前		1		○			5					兼8	オムニバス
	医歯理工学先端研究特論	1通		1		○			1						
	人体形態学	1前		1		○			3	1					オムニバス
	口腔形態学	1前		1		○			3	1					オムニバス
	人体機能学	1前		1		○			1	3		1		兼2	オムニバス
	病理病態学	1前		1		○			2		2	1		兼1	オムニバス
	環境社会医歯学	1前		1		○			5					兼2	オムニバス
	口腔保健臨床実習	1通		2				○	3			4			
	口腔保健工学特論	1前		2		○			2	2	1	3			オムニバス
	小計（10科目）	—	0	13	0	—			25	10	9	9	0	兼14	—
専門 科目	生化学	1前		2		○			3	1	1	6		兼1	オムニバス
	薬理学	1前		2		○			4	1	1				オムニバス
	免疫学	1後		2		○			3					兼7	オムニバス
	発生・再生科学	1後		2		○			4	3	1	2		兼4	オムニバス
	細胞生物学特論	1前		1		○			7	1					オムニバス
	神経疾患特論	1前		2		○			1			2		兼1	オムニバス
	遺伝医学特論	1前		2		○			4	1	1			兼6	オムニバス
	口腔保健福祉学	1後		2		○			3			4			オムニバス
	ビッグデータ解析学	1前		1		○			1	2	1			兼4	オムニバス ・共同（一部）
	疾患オミックス情報学特論	1前		1		○			1						
	機能分子化学	1後		2		○			3	3				兼3	オムニバス ・共同（一部）
	ケミカルバイオロジー特論	1前		2		○			3	1				兼5	オムニバス ・共同（一部）
	分子構造学特論	1後		2		○			1	1		1		兼4	オムニバス ・共同（一部）
	生体材料学	1前		2		○			1	2		2			オムニバス
	バイオメディカルデバイス理工学Ⅰ	1前		1		○			2	1		1			オムニバス
	バイオメディカルデバイス理工学Ⅱ	1後		1		○			2	1		1		兼1	オムニバス
	応用生体材料学	1前		2		○			2	3		3			オムニバス
	医歯薬産業技術特論	1後		1		○			1					兼4	オムニバス
	バイオメディカルシステム理工学Ⅰ	1前		1		○			3	1		2		兼2	オムニバス
	バイオメディカルシステム理工学Ⅱ	1後		1		○			3	1		2		兼2	オムニバス
	英語交渉・ディベート特論	1前		2		○			1					兼1	
	研究倫理・医療倫理学	1前		1		○								兼6	オムニバス
	生命理工学概論（英語）	1後		2		○			12	1				兼2	オムニバス ・共同（一部）
	産学リンケージ特論	1通		2		○			1						
	先制医療学実習	1前		2				○						兼11	オムニバス ・共同（一部）
	先制医療学基礎実習	1前		1				○		1				兼4	オムニバス
	保健医療情報学	1前		2			○		1					兼7	オムニバス
	Basic Human Pathology for Graduate Students	1前		1			○		3			2			オムニバス
	生体検査科学特論Ⅰ	1後		2			○		3	1		1			オムニバス
	生体検査科学特論Ⅱ	2前		2			○		6	1		1		兼2	オムニバス
	生体検査科学セミナーⅠ	1～2通		1				○	6	3		6			
	臨床実践特別演習入門	1前		1				○	2			2		兼1	オムニバス
	臨床実践特別演習Ⅰ	1通		2				○	2			2		兼1	
	臨床実践特別演習Ⅱ	2通		2				○	2			2		兼1	
	医療データ科学概論	1前		1			○		5	1					オムニバス
	時間・空間の分子生命科学	1後		1			○							兼1	
疫学基礎	1前		1			○		1		1					
生物統計学基礎	1前		1			○		1		1				共同	
生物統計学応用Ⅰ	1後		1			○		1		1			兼3	オムニバス	
生物統計学応用Ⅱ	1後		1			○		3		1			兼1	オムニバス	
臨床試験方法論基礎	1前		1			○							兼1		
臨床試験方法論応用	1後		1			○							兼2	共同	
口腔疫学基礎	1前		1			○		1	1		2			オムニバス	

	疫学応用	1後		1		○			1	1	2	3			オムニバス ・共同（一部） 共同
	臨床疫学解析演習	2通		1			○		1		1				
	小計（45科目）	—	0	66	0	—			49	24	7	30	0	兼70	—
演習・実習・研究科目	医科学演習	1通		4			○		58	29	46	73		兼40	
	医科学実習	1通		4				○	58	29	46	73		兼40	
	歯科学演習	1通		4			○		29	17	19	35		兼4	
	歯科学実習	1通		4				○	29	17	19	35		兼4	
	口腔保健学演習	1通		4			○		5	2	2	7			
	口腔保健学実習	1通		4				○	5	2	2	7			
	生命理工学演習	1通		4			○		20	13	2	24		兼18	
	生命理工学実習	1通		4				○	20	13	2	24		兼18	
	保健学演習	1通		4			○		6	3		6			
	保健学実習	1通		4				○	6	3		6			
	課題研究	1～2通		4			○		118	64	69	145		兼62	
	小計（11科目）	—	0	44	0	—			111	62	69	141	0	兼62	—
医療管理政策学科目	医療提供政策論	1前		1		○								兼3	オムニバス
	医療社会政策論	1前		1		○			1					兼1	
	世界の医療制度	1前		1		○				1				兼5	オムニバス ・共同（一部）
	医療保険論	1前		2		○			1					兼1	
	医療計画制度	1前		1		○			1	1				兼1	オムニバス
	医療産業論	1前		2		○			1					兼1	
	医療経済論	1後		2		○								兼1	
	先端医療技術・産学連携	1後		1		○								兼3	オムニバス
	医療機関リスク管理	1前		1		○			1	1				兼1	オムニバス
	医療のTQM	1後		1		○								兼2	オムニバス
	医療機能評価	1前		1		○					1			兼3	オムニバス
	ポストコロナ社会における感染症対策	1前		1		○			1	1				兼9	オムニバス ・共同
	医療制度と法	1前		1		○			1					兼4	オムニバス ・共同（一部）
	医事紛争と法	1前		1		○			1					兼2	オムニバス
	生命倫理と法	1前		1		○			1					兼2	オムニバス ・共同（一部）
	診療情報管理学	1前		1		○			1					兼3	オムニバス ・共同（一部）
	IT時代の医療診断システムとセキュリティ	1前		1		○			1					兼4	オムニバス ・共同（一部）
	医療思想史	1前		1		○			1					兼1	
	世界の文化と医療	1前		1		○			1					兼4	オムニバス
	世界の宗教と死生観	1前		1		○			1					兼4	オムニバス
	病院設計・病院設備	1前		1		○			1					兼4	オムニバス
	衛生工学・汚染管理	1後		1		○			1					兼3	オムニバス
	医療とリーダーシップ	1前		1		○			2					兼3	オムニバス ・共同（一部）
	戦略と組織	1後		1		○			1					兼1	
	財務・会計	1後		1		○			1					兼3	オムニバス
	医療の人間工学	1後		1		○			1					兼2	オムニバス
	人的資源管理	1後		1		○			1					兼1	
	医療とコミュニケーション	1前		1		○			1					兼2	オムニバス
	臨床研究・治験	1後		1		○				1				兼3	オムニバス
	DPCデータ分析概論	1後		1		○					1			兼3	オムニバス ・共同（一部）
	課題研究	1～2通		8			○		2						
	小計（31科目）	—	0	41	0	—			5	5	0	0	0	兼71	—

グ ロー バル 健康 医 学 科 目	疫学Ⅰ	1前	2			○			1	2	1	1		兼3 兼1 兼8 兼4 兼5 兼8 兼1 兼2 兼4 兼3 兼1 兼1	集中・オムニバス ・共同（一部） 集中・オムニバス ・共同（一部） 集中 ・オムニバス 集中・オムニバス ・共同 集中・オムニバス ・共同 集中 ・オムニバス 集中・オムニバス ・共同（一部） 集中・オムニバス ・共同（一部） 集中・オムニバス ・共同（一部） 集中・オムニバス ・共同（一部） 集中・オムニバス ・共同（一部） 集中・オムニバス ・共同（一部） 集中・オムニバス ・共同（一部）		
	疫学Ⅱ	1後		2		○			2								
	生物統計Ⅰ	1前	2			○			1		1						
	生物統計Ⅱ	1後		2		○			1	2	1						
	基礎医学概論	1前		2		○				1	1						
	医療システム	1前	2			○			1	1	1	1					
	プラネタリーヘルス	1前	2			○			1		1						
	グローバルヘルス	1前	4			○			2	1	1						
	母子保健学	1後		2		○			1	1	2	1					
	医療ビジネス論	1前		2		○			2	1	1						
	行動科学	1後	2			○			1	1	1	1					
	環境保健学	1後	2			○			1	1	1	1					
	課題研究Ⅰ	1～2通	6				○		4								
	課題研究Ⅱ	1～2通	6				○		4								
小計（14科目）			—	28	10	0	—			6	3	5	2	0	兼38	—	
資 格 認 定 遺 伝 カ ウ ン セ リ ン グ 科 目 （ 遺 伝 カ ウ ン セ リ ン グ コ ー ス ）	人類遺伝学	1前		2		○								兼12	オムニバス方式 ・共同（一部）		
	臨床遺伝学	1後		2		○				2				兼11	オムニバス方式 ・共同（一部）		
	研究倫理演習	1～2通		1			○							兼4	オムニバス方式 ・共同（一部）		
	遺伝カウンセリング学	1通		3		○								兼8	オムニバス方式 ・共同（一部）		
	遺伝カウンセリング実習	1～2通		6				○						兼4			
	小計（5科目）			—	0	14	0	—			0	2	0	0	0	兼26	—
合計（116科目）			—	28	188	0	—			111	74	73	148	0	兼239	—	
学位又は称号		修士（医科学） 修士（歯科学） 修士（理学） 修士（工学） 修士（保健学） 修士（口腔保健学） 修士（医療管理学） 修士（医療政策学） 修士（グローバル健康医学）				学位又は学科の分野				医学関係 歯学関係 理学関係 工学関係 保健衛生学関係（看護学関係及び リハビリテーション関係を除く）							
卒業要件及び履修方法																	
【修了要件】 履修方法に示す授業科目を30単位以上修得し、修士論文又は課題研究報告の審査及び最終試験に合格すること。 なお、専門科目及びグローバル健康医学科目から、先制医療学コースが指定する授業科目の10単位を修得した場合、学位記に先制医療学コースを修了した旨を付記する。 臨床疫学プログラム（Clinical Epidemiology Program）を履修する学生は、プログラム開設科目のうち、選択科目を5単位以上修得し、かつ必修科目「臨床疫学解析演習」を修得した場合、学位記に臨床疫学プログラムを修了した旨を付記する。																	

【履修方法】

	科目名	単位数	医科学	歯科学	口腔保健学	理学	工学	保健学	医療管理学	医療政策学	グローバル健康医学
基礎科目	医歯学総合概論	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	選択科目	選択科目	選択科目
	初期研究研修	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
	医歯理工学先端研究特論（※3）	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	選択科目		
	人体形態学	1	◎			いずれかー科目履修可能	いずれかー科目履修可能	いずれかー科目履修可能			
	口腔形態学	1		◎	◎						
	人体機能学	1	◎	◎	◎			◎			
	病理病態学	1	◎	◎	○a						
	環境社会医歯学	1	◎	◎	◎						
	口腔保健臨地実習	2			○a						
	口腔保健工学特論	2			○b						
専門科目	生化学（※2）	2						◎			
	薬理学	2						◎			
	免疫学	2						◎			
	発生・再生科学	2						◎			
	細胞生物学特論	1						◎			
	神経疾患特論	2						◎			
	遺伝医学特論（※2）	2						◎			
	口腔保健福祉学	2						◎			
	ビッグデータ解析学（※1）	1						◎			
	疾患オミックス情報学特論	1						◎			
	機能分子化学	2						◎			
	ケミカルバイオロジー特論	2						◎			
	分子構造学特論	2						◎			
	生体材料学	2						◎			
	バイオメディカルデバイス理工学Ⅰ（※1）	1						◎			
	バイオメディカルデバイス理工学Ⅱ	1						◎			
	応用生体材料学	2						◎			
	医歯薬産業技術特論	1						◎			
	バイオメディカルシステム理工学Ⅰ	1						◎			
	バイオメディカルシステム理工学Ⅱ	1						◎			
	英語交渉・ディベート特論	2						◎			
	研究倫理・医療倫理学（※1、※2）	1						◎			
	生命理工学概論	2				◎（10月入学者向け）	◎（10月入学者向け）	◎			
	産学リネージュ特論	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
	先制医療学実習（※1）	2	先制医療学コースの学生に限る								
	先制医療学基礎実習（※1、※2）	1	先制医療学コース、遺伝カウンセリングコースの学生に限る								
	保健医療情報学	2						◎			
	Basic Human Pathology for Graduate Students	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
	生体検査科学特論Ⅰ	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
	生体検査科学特論Ⅱ	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
	生体検査科学セミナーⅠ	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
	臨床実践特別演習Ⅰ	1									
	臨床実践特別演習Ⅱ	2									
	臨床実践特別演習Ⅲ	2									
	医療データ科学概論（※1）	1									
	時間・空間の分子生命科学	1									

	疫学基礎	1	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目	
	生物統計基礎	1											
	生物統計学応用Ⅰ	1											
	生物統計学応用Ⅱ	1											
	臨床試験方法論基礎	1											
	臨床試験方法論応用	1											
	口腔疫学基礎	1											
	疫学応用	1											
	臨床疫学解析演習（*3）	1	臨床疫学プログラムの学生に限る									臨床疫学プログラムの学生に限る	
演習・実習・研究科目	医科学演習	4	◎										
	医科学実習	4	◎										
	歯科学演習	4		◎									
	歯科学実習	4		◎									
	口腔保健学演習	4			◎								
	口腔保健学実習	4			◎								
	生命理工学演習	4				◎	◎						
	生命理工学実習	4				◎	◎						
	保健学演習	4							◎				
	保健学実習	4							◎				
	課題研究	4	◎	◎	◎	◎	◎	◎					
（医療管理政策学コース） 医療管理政策学科目	医療提供政策論（*2）	1								△	▲		
	医療社会政策論	1								選択科目	▲		
	世界の医療制度	1								選択科目	▲		
	医療保険論	2								△	▲		
	医療計画制度	1								選択科目	▲		
	医療産業論	2									選択科目		
	医療経済論	2											
	先端医療技術・産学連携	1								△			
	医療機関リスク管理	1								△	▲		
	医療のTQM	1								△	▲		
	医療機能評価	1								△	▲		
	ポストコロナ社会における感染症対策	1								△	▲		
	医療制度と法	1								選択科目	▲		
	医事紛争と法	1								△	選択科目		
	生命倫理と法	1								△			
	診療情報管理学	1								△			
	IT時代の医療診断システムとセキュリティ	1								△	▲		
	医療思想史	1								選択科目	▲		
	世界の文化と医療	1									選択科目		
	世界の宗教と死生観	1								△	▲		
	病院設計・病院設備	1								△	選択科目		
	衛生工学・汚染管理	1								△	▲		
	医療とリーダーシップ	1								△	▲		
	戦略と組織	1								△	選択科目		
	財務・会計	1								△			
	医療の人間工学	1								△			
	人的資源管理	1								△			
		医療とコミュニケーション（*2）	1								選択科目	選択科目	
		臨床研究・治験	1										
		DPCデータ分析概論	1										
		課題研究	8								◎	◎	
		疫学Ⅰ（*1）	2										◎

（10単位まで履修可能）

グローバル健康医学科目	疫学Ⅱ	2	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目			■			
	生物統計Ⅰ（＊1）	2										◎			
	生物統計Ⅱ	2										■			
	基礎医学概論	2										■			
	医療システム	2										◎			
	プラネタリーヘルス	2										◎			
	グローバルヘルス	4										◎			
	母子保健学	2										■			
	医療ビジネス論	2										■			
	行動科学	2										◎			
	環境保健学	2										◎			
	課題研究Ⅰ	6													◎
	課題研究Ⅱ	6													◎
受験資格関連科目（遺伝学）	人類遺伝学（＊2）	2	遺伝カウンセリングコースの学生に限る												
	臨床遺伝学（＊2）	2													
	研究倫理演習（＊2）	1													
	遺伝カウンセリング学（＊2）	3													
	遺伝カウンセリング実習（＊2）	6													

◎：必修科目（目指す学位により異なる。）
○：口腔保健学の学位を目指す学生は、「○a：病理病態学と口腔保健臨床実習」もしくは「○b：口腔保健工学特論」を必ず履修すること。
☆：工学の学位を目指す学生は、8科目15単位の中から、4単位以上必ず履修すること。
■：グローバル健康医学の学位を目指す学生は、5科目10単位の中から、2単位以上必ず履修すること。（医師、歯科医師の経験の無い学生は、基礎医学概論が必修。）
△：医療管理学の学位を目指す学生は、18科目中13科目以上を必ず履修すること。
▲：医療政策学の学位を目指す学生は、15科目中11科目以上を必ず履修すること。
（＊1）：先制医療学コースの学生は必ず履修すること。
（＊2）：先進倫理医学分野に所属する遺伝カウンセリングコースの学生は必ず受講すること。
（＊3）：臨床疫学プログラムの学生のうち、臨床疫学プログラム選択科目より5単位以上単位修得した後に履修可能となる。

授業期間等	
1 学年の学期区分	2 学期
1 学期の授業期間	1 5 週
1 時限の授業時間	9 0 分

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(医歯学総合研究科 博士課程 医歯学専攻)																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専攻共通科目	初期研究研修	1前		1		○			3					兼10	オムニバス方式		
	医歯学総合特論（大学院セミナー）	1・2・3通		2		○								兼1			
	医歯学先端研究特論（大学院特別講義）	1・2・3通		4		○								兼1			
	医歯学総合研究科コース特論	1～2通		6		○			29	17	19	36		兼3			
	包括臨床演習	1～4通		8			○		20	12	15	26			兼7 オムニバス方式・共同（一部） 兼3 オムニバス方式・共同（一部） 兼5 オムニバス方式・共同（一部） 兼5 オムニバス方式 兼4 オムニバス方式・共同（一部）		
	Essential Expertise for Clinical Dentistry (EECD)	1～4通		1				○		1		2					
	疾患予防パブリックヘルス医学概論	1・2・3後		2		○			4		1						
	マネジメント特論	1通		1		○											
	国際動向特論	1前		1		○			1						兼5 オムニバス方式		
	知的財産特論	1後		1		○									兼4 オムニバス方式・共同（一部）		
	英語ディベート特論	1前・後		1		○									兼1		
	英語プレゼンテーション特論	1前		1		○									兼3		
	疾患生命科学特論	1通		2		○									兼11 オムニバス方式・共同		
	先端機能分子特論	1通		1		○									兼8 オムニバス方式・共同（一部）		
	機能分子開発技術特論	1通		1		○									兼9 オムニバス方式・共同		
	機能再建材料学特論	1前		1		○									兼2 オムニバス方式		
	組織再生材料学特論	1前		1		○			1						兼1		
	生体機能材料学特論	1前		1		○									兼2 オムニバス方式		
	医用材料工学特論	1前		1		○									兼3 オムニバス方式		
	生体情報数理解析論	1前		1		○									兼4 オムニバス方式		
	理研生体分子制御学特論	1通		2		○									兼11 オムニバス方式		
	先端口腔保健応用学特論	1通		2		○									兼6 オムニバス方式		
	先端口腔保健応用学演習	1通		1		○									兼7 共同		
	先端口腔保健工学特論	1通		1		○									兼7 オムニバス方式		
	硬組織研究・骨形態計測学特論	1通		1		○									兼4 オムニバス方式・共同（一部）		
	小計（25科目）		—	0	45	0	—			34	17	20	37	0	兼97	—	
先制医歯理工学科目	共通科目	先制医歯理工学概論Ⅰ（日本語）	1前		1		○			1					兼5	オムニバス方式・共同（一部）	
		先制医歯理工学概論Ⅰ（英語）	1後		1		○			1					兼5		
		先制医歯理工学概論Ⅱ	1後		1		○									兼6	オムニバス方式 オムニバス方式
		データサイエンス特論Ⅰ（日本語）	1前		1		○								兼2		
		データサイエンス特論Ⅰ（英語）	1後		1		○			1		1				兼4 共同 兼1 兼4 兼2	
		データサイエンス特論Ⅱ（日本語）	1通		1		○										
		データサイエンス特論Ⅱ（英語）	1前		1		○										
		データサイエンス特論Ⅲ	1前		1		○										
		データサイエンス特論Ⅳ	1通		1		○									兼2	
	小計（9科目）		—	0	9	0	—			2	0	1	0	0	兼18	—	
	マイディク スフ専 オバ 門科目	疫学	1前		2		○			1	2	1	1			オムニバス方式・共同（一部） オムニバス方式	
		臨床・遺伝統計学	1前		2		○			1		1					
		小計（2科目）		—	0	4	0	—			2	2	2	1	0		—
	IoT学療 専門 バイ ス目	先端バイオセンシングデバイス特論	1前		1		○								兼5	オムニバス方式・共同（一部） オムニバス方式	
		医療デバイス・システム機器特論	1前		1		○			1					兼5		
		ウェアラブルIoT技術特論	1前		1		○								兼6	オムニバス方式・共同（一部）	
		小計（3科目）		—	0	3	0	—			1	0	0	0	0	兼14	—
	科疾患 専門 創 命 科 目薬	疾患分子病態学特論	1前		1		○								兼4	オムニバス方式 オムニバス方式	
		先端ケミカルバイオロジー特論	1前		1		○								兼5		
		生体分子制御学特論	1前		1		○								兼5	オムニバス方式・共同	
		小計（3科目）		—	0	3	0	—			0	0	0	0	0	兼14	—
臨床疫学科目	疫学基礎	1前		1		○			1		1			兼3 共同 オムニバス方式 オムニバス方式	共同 オムニバス方式 オムニバス方式 共同 オムニバス方式 オムニバス方式・共同（一部） 共同		
	生物統計学基礎	1前		1		○			1		1						
	生物統計学応用Ⅰ	1後		1		○			1		1						
	生物統計学応用Ⅱ	1後		1		○			2		1						
	臨床試験方法論基礎	1前		1		○								兼1			
	臨床試験方法論応用	1後		1		○								兼2			
	口腔疫学基礎	1前		1		○			1	1		2					
	疫学応用	1後		1		○			1	1	2	3					
	臨床疫学解析演習	2通		1			○		1		1						
	小計（9科目）		—	0	9	0	—			4	1	3	3	0		兼7	—
御細菌 目分感 野染 科制	細菌感染制御学特論	1通		6		○			1	1		1					
	細菌感染制御学演習	1～2通		4			○		1	1		1					
	研究実習	2～3通		8				○	1	1		1					
	小計（3科目）		—	0	18	0	—			1	1	0	1	0		0	—

ア教育 野開 科発 目学 分メ 目ディ	教育メディア開発学特論	1通		6		○								兼2	
	教育メディア開発学演習	1～2通		4			○							兼2	
	研究実習	2～3通		8				○						兼2	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—				0	0	0	0	0	—
理保 学分 目分 野医 科療 科管	保険医療管理学特論	1通		6		○								兼2	
	保険医療管理学演習	1～2通		4			○							兼2	
	研究実習	2～3通		8				○						兼2	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—				0	0	0	0	0	—
学療 分事 野業 科保 目開 分健 目医	国際保健医療事業開発学特論	1通		6		○				1		1			
	国際保健医療事業開発学演習	1～2通		4			○			1		1			
	研究実習	2～3通		8				○		1		1			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—				1	0	1	0	0	—
臨分 野床 科統 目計 分学	臨床統計学特論	1通		6		○								兼2	
	臨床統計学演習	1～2通		4			○							兼2	
	研究実習	2～3通		8				○						兼2	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—				0	0	0	0	0	—
分危 野機 科染 目症 分理 目学 科康	感染症健康危機管理学特論	1通		6		○				1					
	感染症健康危機管理学演習	1～2通		4			○			1					
	研究実習	2～3通		8				○		1					
	小計（3科目）	—	0	18	0	—				1	0	0	0	0	—
シハ摂 野ヨ食 科ン嚥 目下 分リ 目テ 分リ	摂食嚥下リハビリテーション学特論	1通		6		○				1	1		2		
	摂食嚥下リハビリテーション学演習	1～2通		4			○			1	1		2		
	研究実習	2～3通		8				○		1	1		2		
	小計（3科目）	—	0	18	0	—				1	1	0	2	0	—
学臨 分床 野検 科査 目医	臨床検査医学特論	1通		6		○				1		2	1		
	臨床検査医学演習	1～2通		4			○			1		2	1		
	研究実習	2～3通		8				○		1		2	1		
	小計（3科目）	—	0	18	0	—				1	0	2	1	0	—
理生 学分 目分 野集 科中 科管	生体集中管理学特論	1通		6		○				1		1			
	生体集中管理学演習	1～2通		4			○			1		1			
	研究実習	2～3通		8				○		1		1			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—				1	0	1	0	0	—
育臨 野開 科床 目医 分学 分教	臨床医学教育開発学特論	1通		6		○				1		1	2		
	臨床医学教育開発学演習	1～2通		4			○			1		1	2		
	研究実習	2～3通		8				○		1		1	2		
	小計（3科目）	—	0	18	0	—				1	0	1	2	0	—
学救 分急 野災 科害 目医	救急災害医学特論	1通		6		○				1	1	1	1		
	救急災害医学演習	1～2通		4			○			1	1	1	1		
	研究実習	2～3通		8				○		1	1	1	1		
	小計（3科目）	—	0	18	0	—				1	1	1	1	0	—
科総 学分 目分 野診 科療 科歯	総合診療歯科学特論	1通		6		○				1	1	1	1		
	総合診療歯科学演習	1～2通		4			○			1	1	1	1		
	研究実習	2～3通		8				○		1	1	1	1		
	小計（3科目）	—	0	18	0	—				1	1	1	1	0	—
学歯 分科 野心 科身 目医	歯科心身医学特論	1通		6		○				1		1	1		
	歯科心身医学演習	1～2通		4			○			1		1	1		
	研究実習	2～3通		8				○		1		1	1		
	小計（3科目）	—	0	18	0	—				1	0	1	1	0	—
人先 野材 科駆 目成 分医 分療	先駆の医療人材育成特論	1通		6		○								兼1	
	先駆の医療人材育成演習	1～2通		4			○							兼1	
	研究実習	2～3通		8				○						兼1	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—				0	0	0	0	0	—
学総 分診 野療 科医 目医	総合診療医学特論	1通		6		○				1		1			
	総合診療医学演習	1～2通		4			○			1		1			
	研究実習	2～3通		8				○		1		1			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—				1	0	1	0	0	—
染統 科合 学分 目臨 野床 科感 科野	統合臨床感染症学特論	1通		6		○				1		1	1		
	統合臨床感染症学演習	1～2通		4			○			1		1	1		
	研究実習	2～3通		8				○		1		1	1		
	小計（3科目）	—	0	18	0	—				1	0	1	1	0	—
態神 学分 目経 野機 科能 科形	神経機能形態学特論	1通		6		○				1		1	2		
	神経機能形態学演習	1～2通		4			○			1		1	2		
	研究実習	2～3通		8				○		1		1	2		
	小計（3科目）	—	0	18	0	—				1	0	1	2	0	—
分神 野経 科病 目理 科学	神経病理学特論	1通		6		○				1	1	1			
	神経病理学演習	1～2通		4			○			1	1	1			
	研究実習	2～3通		8				○		1	1	1			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—				1	1	1	0	0	—
眼科 学分 目分 野野	眼科学特論	1通		6		○				1		2	1		
	眼科学演習	1～2通		4			○			1		2	1		
	研究実習	2～3通		8				○		1		2	1		
	小計（3科目）	—	0	18	0	—				1	0	2	1	0	—
学耳 分鼻 野咽 科喉 目科	耳鼻咽喉科学特論	1通		6		○				1	1	1	1		
	耳鼻咽喉科学演習	1～2通		4			○			1	1	1	1		
	研究実習	2～3通		8				○		1	1	1	1		
	小計（3科目）	—	0	18	0	—				1	1	1	1	0	—

学脳 分 野 科 目 態	脳神経病態学特論	1通		6		○			1	2	2	7			
	脳神経病態学演習	1～2通		4			○		1	2	2	7			
	研究実習	2～3通		8				○	1	2	2	7			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	2	2	7	0	0	—
動目科精 医（学神 当）（精行 神分医 学神野 担行科医	精神行動医学Ⅰ特論	1通		6		○			1	2	1	2			
	精神行動医学Ⅰ演習	1～2通		4			○		1	2	1	2			
	研究実習	2～3通		8				○	1	2	1	2			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	2	1	2	0	0	—
神目科精 医（学神 当）（犯分 行医 学罪野 担精科医	精神行動医学Ⅱ特論	1通		6		○			1						
	精神行動医学Ⅱ演習	1～2通		4			○		1						
	研究実習	2～3通		8				○	1						
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	0	0	0	0	—
ン目科精 精（学神 担）（ヘリ 神分 腫野 瘍医 学ソ科医	精神行動医学Ⅲ特論	1通		6		○				1		1			
	精神行動医学Ⅲ演習	1～2通		4			○			1		1			
	研究実習	2～3通		8				○		1		1			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	0	1	0	1	0	0	—
外脳 科神 科分 学経 目分 野機 野能	脳神経機能外科学特論	1通		6		○			1	1	1	1			
	脳神経機能外科学演習	1～2通		4			○		1	1	1	1			
	研究実習	2～3通		8				○	1	1	1	1			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	1	1	1	0	0	—
学血 分 管 内 野 科 目 治 療	血管内治療学特論	1通		6		○			1			2			
	血管内治療学演習	1～2通		4			○		1			2			
	研究実習	2～3通		8				○	1			2			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	0	2	0	0	—
機N 分C 野NC 科病 目態 学P 学脳	NCNP脳機能病態学特論	1通		6		○			1					兼6	
	NCNP脳機能病態学演習	1～2通		4			○		1					兼6	
	研究実習	2～3通		8				○	1					兼6	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	0	0	0	兼6	—
ギ免 Ⅰ疫 科学 目ア 分レ 野ル	免疫アレルギー学特論	1通		6		○			1			1			
	免疫アレルギー学演習	1～2通		4			○		1			1			
	研究実習	2～3通		8				○	1			1			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	0	1	0	0	—
分生 野体 科防 目御 学	生体防御学特論	1通		6		○			1	1		1			
	生体防御学演習	1～2通		4			○		1	1		1			
	研究実習	2～3通		8				○	1	1		1			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	1	0	1	0	0	—
分脂 野質 科生 目物 学	脂質生物学特論	1通		6		○			1			3			
	脂質生物学演習	1～2通		4			○		1			3			
	研究実習	2～3通		8				○	1			3			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	0	3	0	0	—
学ウ膠 分マ原 野チ病 科内・ 目科リ	膠原病・リウマチ内科学特論	1通		6		○			1		2	1			
	膠原病・リウマチ内科学演習	1～2通		4			○		1		2	1			
	研究実習	2～3通		8				○	1		2	1			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	2	1	0	0	—
皮 野 科 目 分	皮膚科学特論	1通		6		○			1	1	1				
	皮膚科学演習	1～2通		4			○		1	1	1				
	研究実習	2～3通		8				○	1	1	1				
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	1	1	0	0	0	—
成N 野C 科CH 目学 分D	NCCHD成育医学特論	1通		6		○			1					兼6	
	NCCHD成育医学演習	1～2通		4			○		1					兼6	
	研究実習	2～3通		8				○	1					兼6	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	0	0	0	兼6	—
分人 野体 科病 目理 学	人体病理学特論	1通		6		○			1		1	1		兼1	
	人体病理学演習	1～2通		4			○		1		1	1		兼1	
	研究実習	2～3通		8				○	1		1	1		兼1	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	1	1	0	兼1	—
分細 野胞 科生 目理 学	細胞生理学特論	1通		6		○			1	1		4			
	細胞生理学演習	1～2通		4			○		1	1		4			
	研究実習	2～3通		8				○	1	1		4			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	1	0	4	0	0	—
分幹 野細胞 科制 目御	幹細胞制御特論	1通		6		○			1		1	1			
	幹細胞制御演習	1～2通		4			○		1		1	1			
	研究実習	2～3通		8				○	1		1	1			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	1	1	0	0	—
病統 学合 分呼 野吸 科器	統合呼吸器病学特論	1通		6		○			1		1	2			
	統合呼吸器病学演習	1～2通		4			○		1		1	2			
	研究実習	2～3通		8				○	1		1	2			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	1	2	0	0	—
学消 分化 野器 科病 目態	消化器病態学特論	1通		6		○			1	1	1	2			
	消化器病態学演習	1～2通		4			○		1	1	1	2			
	研究実習	2～3通		8				○	1	1	1	2			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	1	1	2	0	0	—
分総 野合 科外 目科 学	総合外科学特論	1通		6		○				1	2				
	総合外科学演習	1～2通		4			○			1	2				
	研究実習	2～3通		8				○		1	2				
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	0	1	2	0	0	0	—

科 学 環 制 野 科 内	循環制御内科学特論	1通		6		○			1	3		2			
	循環制御内科学演習	1～2通		4			○		1	3		2			
	研究実習	2～3通		8				○	1	3		2			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	3	0	2	0	0	—
酔 心 学 肺 統 野 科 麻	心肺統御麻酔学特論	1通		6		○			2		1	1			
	心肺統御麻酔学演習	1～2通		4			○		2		1	1			
	研究実習	2～3通		8				○	2		1	1			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	2	0	1	1	0	0	—
腎 臓 内 科 目 学	腎臓内科学特論	1通		6		○			1	1		3			
	腎臓内科学演習	1～2通		4			○		1	1		3			
	研究実習	2～3通		8				○	1	1		3			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	1	0	3	0	0	—
関 生 殖 機 関 野 能 科 協	生殖機能協関学特論	1通		6		○			1	1		2			
	生殖機能協関学演習	1～2通		4			○		1	1		2			
	研究実習	2～3通		8				○	1	1		2			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	1	0	2	0	0	—
科 腎 学 泌 尿 野 器 科 外	腎泌尿器外科学特論	1通		6		○			1	1	1	1			
	腎泌尿器外科学演習	1～2通		4			○		1	1	1	1			
	研究実習	2～3通		8				○	1	1	1	1			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	1	1	1	0	0	—
学 消 化 野 管 科 目 外	消化管外科学特論	1通		6		○			1	1	1	1			
	消化管外科学演習	1～2通		4			○		1	1	1	1			
	研究実習	2～3通		8				○	1	1	1	1			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	1	1	1	0	0	—
学 呼 吸 野 器 科 目 外	呼吸器外科学特論	1通		6		○			1	1		2			
	呼吸器外科学演習	1～2通		4			○		1	1		2			
	研究実習	2～3通		8				○	1	1		2			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	1	0	2	0	0	—
学 患 都 分 分 野 子 学 科 目 生 物 疾	都医学研疾患分子生物学特論	1通		6		○			1					兼5	
	都医学研疾患分子生物学演習	1～2通		4			○		1					兼5	
	研究実習	2～3通		8				○	1					兼5	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	0	0	0	0	—
分 野 臨 床 解 剖 学 目	臨床解剖学特論	1通		6		○			1			2			
	臨床解剖学演習	1～2通		4			○		1			2			
	研究実習	2～3通		8				○	1			2			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	0	2	0	0	—
学 生 シ 分 ・ ス テ 野 再 生 科 生 ム 目 医 発	システム発生・再生医学特論	1通		6		○			1		1	2			
	システム発生・再生医学演習	1～2通		4			○		1		1	2			
	研究実習	2～3通		8				○	1		1	2			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	1	2	0	0	—
学 分 分 野 腫 瘍 科 目 医	分子腫瘍医学特論	1通		6		○			1		1	2			
	分子腫瘍医学演習	1～2通		4			○		1		1	2			
	研究実習	2～3通		8				○	1		1	2			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	1	2	0	0	—
分 野 診 断 病 理 学 目	診断病理学特論	1通		6		○								兼1	
	診断病理学演習	1～2通		4			○							兼1	
	研究実習	2～3通		8				○						兼1	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	—
分 野 動 物 疾 患 解 析 学 目	疾患モデル動物解析学特論	1通		6		○								兼1	
	疾患モデル動物解析学演習	1～2通		4			○							兼1	
	研究実習	2～3通		8				○						兼1	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	—
分 野 シ グ ナ ル 制 御 学 目	シグナル遺伝子制御学特論	1通		6		○								兼1	
	シグナル遺伝子制御学演習	1～2通		4			○							兼1	
	研究実習	2～3通		8				○						兼1	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	—
能 生 医 体 材 科 目 野 機	生体材料機能医学特論	1通		6		○			1			3			
	生体材料機能医学演習	1～2通		4			○		1			3			
	研究実習	2～3通		8				○	1			3			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	0	3	0	0	—
分 野 血 液 内 科 目 学	血液内科学特論	1通		6		○			1		2	1			
	血液内科学演習	1～2通		4			○		1		2	1			
	研究実習	2～3通		8				○	1		2	1			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	2	1	0	0	—
代 分 科 謝 学 内 分 野 泌	分子内分分泌学特論	1通		6		○			1	1	1	1			
	分子内分分泌学演習	1～2通		4			○		1	1	1	1			
	研究実習	2～3通		8				○	1	1	1	1			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	1	1	1	0	0	—
学 肝 分 野 胆 膵 科 目 外	肝胆膵外科学特論	1通		6		○			1		2	1			
	肝胆膵外科学演習	1～2通		4			○		1		2	1			
	研究実習	2～3通		8				○	1		2	1			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	2	1	0	0	—
核 面 科 医 像 診 断 学 目 野 ・	画像診断・核医学特論	1通		6		○			1	1	1	1			
	画像診断・核医学演習	1～2通		4			○		1	1	1	1			
	研究実習	2～3通		8				○	1	1	1	1			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	1	1	1	0	0	—

多様性分野 ゲノム機能	ゲノム機能多様性特論	1通		6		○			1			1			
	ゲノム機能多様性演習	1～2通		4			○					1			
	研究実習	2～3通		8				○	1			1			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	0	1	0	0	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	0	1	0	0	
疾患多様性 遺伝学	疾患多様性遺伝学特論	1通		6		○								兼1	
	疾患多様性遺伝学演習	1～2通		4			○							兼1	
	研究実習	2～3通		8				○						兼1	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼1	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼1	
応用再生医学 分野	応用再生医学特論	1通		6		○								兼1	
	応用再生医学演習	1～2通		4			○							兼1	
	研究実習	2～3通		8				○						兼1	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼1	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼1	
先端バイオ 分野	先端バイオマテリアル特論	1通		6		○								兼1	
	先端バイオマテリアル演習	1～2通		4			○							兼1	
	研究実習	2～3通		8				○						兼1	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼1	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼1	
JFCR腫瘍 制御学	JFCR腫瘍制御学特論	1通		6		○			1					兼6	
	JFCR腫瘍制御学演習	1～2通		4			○		1					兼6	
	研究実習	2～3通		8				○	1					兼6	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	0	0	0	兼6	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	0	0	0	兼6	
ゲノム健康 医学分野	ゲノム健康医療学特論	1通		6		○								兼1	
	ゲノム健康医療学演習	1～2通		4			○							兼1	
	研究実習	2～3通		8				○						兼1	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼1	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼1	
器官発生・ 創生学 分野	器官発生・創生学特論	1通		6		○								兼1	
	器官発生・創生学演習	1～2通		4			○							兼1	
	研究実習	2～3通		8				○						兼1	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼1	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼1	
生物統計学 分野	生物統計学特論	1通		6		○			1		1	1			
	生物統計学演習	1～2通		4			○		1		1	1			
	研究実習	2～3通		8				○	1		1	1			
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	1	1	0	0	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	1	1	0	0	
AIシステム 医学分野	AI システム医科学特論	1通		6		○			1						
	AI システム医科学演習	1～2通		4			○		1						
	研究実習	2～3通		8				○	1						
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	0	0	0	0	
	小計（3科目）	—	0	18	0	—	—	—	1	0	0	0	0	0	
大学院共通 履修科目	ポストコロナ社会における感染症対策	1前	0	1	0	○			1	1	0	0	0	兼9	オムニバス方式・共同
	小計（1科目）	—	0	1	0	—	—	—	1	1	0	0	0	兼9	—
合計（367科目）		—	0	1964	0	—	—	—	84	44	65	110	0	兼174	—
学位又は称号		博士（医学） 博士（歯学） 博士（数理医科学） 博士（学術）			学位又は学科の分野				医学関係 歯学関係						
卒業要件及び履修方法									授業期間等						
所属分野が開設する授業科目（特論、演習、研究実習）18単位、並びに所属分野以外が開設する特論、先制医歯理工学科目、臨床疫学科目、または専攻共通科目から12単位以上の計30単位以上修得し、博士論文の審査及び試験に合格すること。 なお、臨床疫学プログラム（Clinical Epidemiology Program）を履修する学生は、プログラム開設科目のうち、選択科目を5単位以上修得し、かつ必修科目「臨床疫学解析演習」を修得した場合、学位記に臨床疫学プログラムを修了した旨を付記する。 先制医歯理工学コース（臨床統計・バイオインフォマティクスプログラム）を履修する学生は、以下の履修方法で指定する授業科目を30単位以上修得した場合、学位記に先制医歯理工学コース（臨床統計・バイオインフォマティクスプログラム）を修了した旨を付記する。									1 学年の学期区分		2 期				
									1 学期の授業期間		1 5 週				
									1 時限の授業時間		9 0 分				
【臨床疫学プログラム（Clinical Epidemiology Program）開設科目】															
科目区分		科目名			単位数										
臨床疫学科目	疫学基礎			1		選択									
	生物統計基礎			1		選択									
	生物統計学応用Ⅰ			1		選択									
	生物統計学応用Ⅱ			1		選択									
	臨床試験方法論基礎			1		選択									
	臨床試験方法論応用			1		選択									
	口腔疫学基礎			1		選択									
	疫学応用			1		選択									
	臨床疫学解析演習			1		必修									

【先制医歯理工学コース（臨床統計・バイオインフォマティクスプログラム）履修方法】

科目区分		科目名	単位数	履修科目
専攻共通科目		初期研究研修	1	
		医学学総合特論（大学院セミナー）	2	選択
		歯科学総合コース特論	6	（○）
		疾患予防/パブリックヘルス医学概論	2	
		マネジメント特論	1	
		国際動向特論	1	いずれか 1単位 必修 （☆）
		知的財産特論	1	
先制医歯 理工学科目	共通科目	英語ディベート特論	1	
		英語プレゼンテーション特論	1	
		先制医歯理工学概論Ⅰ	1	
		先制医歯理工学概論Ⅱ	1	
		データサイエンス特論Ⅰ	1	いずれか 1単位 必修 （●）
		データサイエンス特論Ⅱ	1	必修
	臨床統計・バ イオインフ マティクス専 門科目	データサイエンス特論Ⅲ	1	
		データサイエンス特論Ⅳ	1	
		疫学	2	いずれか 2単位 必修 （■）
		臨床・遺伝統計学	2	
		先端バイオセンシングデバイス特論	1	
		医療デバイス・システム機器特論	1	
	疾患生命医 薬科学専門 科目	ウェアラブルIoT技術特論	1	
		疾患分子病態学特論	1	選択 （○）
		ケミカルバイオロジー特論	1	
		生体分子制御学特論	1	
所属分野が開設する特論		6		
所属分野が開設する演習		4	すべて 必修 （◎）	
分野開設科目	所属分野が開設する研究実習	8	（◎）	
	所属分野以外が開設する特論	6	選択 （○）	
	所属分野以外が開設する特論	6		
【履修単位数】				
所属分野が開設する科目（◎）			18	
専攻共通科目（☆）			1	
先制医歯理工学科目（共通科目）（●）			1	必修
先制医歯理工学科目（臨床統計・バイオ専門科目）（■）			2	
その他（○）			8	選択
計			30	修了要件

教育課程等の概要（国際連携学科等）																									
（医歯学総合研究科 博士課程 東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻）																									
科目 区分	授業科目の名称	共同 開設 科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置										備考				
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	申請大学						連携外国大学						合 計		
											教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	小 計	教 授 に 相 当 員 す	准 教 授 に 相 当 員 す	講 師 に 相 当 員 す	助 教 に 相 当 員 す				助 手 に 相 当 員 す	小 計
共通科目群一般教養科目	癌のゲノムとバイオ情報工学		1前・ 後・2前	チリ大学		3		○									1	1		1		2	2		
	英語での科学論文ディスカッション		1前・ 後・2前	チリ大学		3		○									1					1	1		
	学術英語における文法及び記述コミュニケーションスキル		1前・ 後・2前	チリ大学		4		○									1					1	1		
	生物統計学		1前・ 後・2前	チリ大学		3		○											1			1	1		
	生物統計学Ⅱ		1前・ 後・2前	チリ大学		3		○											1			1	1		
	生体医科学研究の倫理		1前・ 後・2前	チリ大学		3		○											1			1	1		
	初期研究研修		1前	東京科学大学（仮称）	1			○			7	1				8							8	兼1	
	臨床・遺伝統計学		1前・ 後・2前	東京科学大学（仮称）		2		○			1		1			2							2		
	小計（8科目）		－		1	21	0	－			8	1	1	0	0	10	1	1	0	3	0	5	15	兼1	－
共通科目群基礎科目	細胞生理学		1前・ 後・2前	チリ大学		5		○								1						1	1		
	癌に関わる細胞及び分子生物学		1前・ 後・2前	チリ大学		5		○								2						2	2		
	システム生理学		1前・ 後・2前	チリ大学		5		○										1				1	1		
	免疫学入門		1前・ 後・2前	チリ大学		4		○										1				1	1		
	基礎薬理学		1前・ 後・2前	チリ大学		4		○										1				1	1		
	分子微生物学		1前・ 後・2前	チリ大学		4		○										1				1	1		
	臨床研究の方法論の基礎		1前・ 後・2前	チリ大学		3		○										2				2	2		
	細胞・分子生物学		1前・ 後・2前	チリ大学		5		○								1						1	1		
	研究の生体倫理		1後・2後	チリ大学		3		○											1			1	1		
	ビッグデータ解析学		1前・ 後・2前	東京科学大学（仮称）		1		○			2	2	1			5							5	兼3	
	消化管外科学研究概論		1後	東京科学大学（仮称）		4		○			1					1							1		
	総合外科学研究概論		1後	東京科学大学（仮称）		4		○					1			1							1		
	先制医歯理工学概論Ⅰ		1前・2前	東京科学大学（仮称）		1		○			1					1							1		
	先制医歯理工学概論Ⅱ		1後・2後	東京科学大学（仮称）		1		○			1					1							1		
	包括的臨床腫瘍学		1前・ 後・2前	東京科学大学（仮称）		1		○			1					1							1	兼2	
	がんゲノム医療の基礎と臨床		1前・ 後・2前	東京科学大学（仮称）		1		○			1	1		1		3							3		
	消化器病態学研究概論		1前・ 後・2前	東京科学大学（仮称）		4		○			1					1							1		
小計（17科目）		－		0	55	0	－			6	3	1	1	0	11	3	6	0	1	0	10	21	兼5	－	
共通科目群応用科目	細胞・分子生物学上級		1前・ 後・2前	チリ大学		3		○								1			1			2	2		
	器官系統特殊生理病理学		1前・ 後・2前	チリ大学		5		○								1						1	1		
	細胞分子免疫学		1前・ 後・2前	チリ大学		5		○											1			1	1		
	遺伝医学		1前・ 後・2前	チリ大学		5		○								1			1			2	2		
	生体医科学における細胞シグナル伝達		1前・ 後・2前	チリ大学		3		○								2						2	2		
	診断・臨床研究への応用分子生物学		1前・ 後・2前	チリ大学		3		○										2				2	2		
	疫学		1前・ 後・2前	チリ大学		3		○										1				1	1		
	バイオインフォマティクス1		1前・ 後・2前	チリ大学		2		○											1			1	1		
	バイオインフォマティクス2		1前・ 後・2前	チリ大学		2		○											1			1	1		
	機能分子化学		1前・ 後・2前	東京科学大学（仮称）		2		○			3	1				4							4	兼3	オムニバス方式
	疾患予防パブリックヘルス医学概論		1前・ 後・2前	東京科学大学（仮称）		2		○			4	1	1	1		7							7		オムニバス方式・共同（一部）
	臨床腫瘍学研究特論		1後・2後	東京科学大学（仮称）		4		○			1					1							1		
	疾患生命科学特論		1前・2前	東京科学大学（仮称）		2		○			1					1							1		
	データサイエンス特論Ⅰ		1前・2前	東京科学大学（仮称）		1		○			1					1							1		
	包括病理学研究特論		1前・2前	東京科学大学（仮称）		4		○			1					1							1		
小計（15科目）		－		0	46	0	－			11	2	1	1	0	15	4	3	0	4	0	11	26	兼3	－	

研究演習	基礎研究演習		1前・後・2前	チリ大学	15				○							1	2		2		5	5				
	臨床研究演習		1前・後・2前	チリ大学	15				○								2				2	2				
	研究演習3		1前・後・2前	チリ大学		15			○								2				2	2				
	小計（3科目）		－		30	15	0	－			0	0	0	0	0	0	1	4	0	2	0	7	7	0	－	
ミ ニ ナ ー ゼ	文献ゼミナール		1前・後・2前	チリ大学	3				○							2	1		2		5	5				
	小計（1科目）		－		3	0	0	－			0	0	0	0	0	0	2	1	0	2	0	5	5	0	－	
専 門 科 目 群 上 部 消 化 管 外 科	上部消化管外科臨床基礎（チリ大学）		1後～2	チリ大学		20				○						2	1				3	3				
	上部消化管外科臨床応用（チリ大学）		3～5	チリ大学		27				○						2	1				3	3				
	上部消化管外科臨床基礎（東京科学大学（仮称））		3～4	東京科学大学（仮称）		20				○		2			2							2	兼2			
	上部消化管外科臨床応用Ⅰ（東京科学大学（仮称））		4～5	東京科学大学（仮称）		35				○		2			2							2	兼2			
	上部消化管外科臨床応用Ⅱ（東京科学大学（仮称））		3・4・5	東京科学大学（仮称）		8				○		2			2							2	兼2			
	小計（5科目）		－		0	110	0	－			0	2	0	0	0	2	2	1	0	0	0	3	5	兼2	－	
専 門 科 目 群 大 腸 肛 門 外 科	大腸肛門外科臨床基礎（チリ大学）		1後～2	チリ大学		20				○						2	2		1		5	5				
	大腸肛門外科臨床応用（チリ大学）		3～5	チリ大学		27				○						2	2		1		5	5				
	大腸肛門外科臨床基礎（東京科学大学（仮称））		3～4	東京科学大学（仮称）		20				○	1			1		2						2	兼3			
	大腸肛門外科臨床応用Ⅰ（東京科学大学（仮称））		4～5	東京科学大学（仮称）		35				○	1			1		2						2	兼3			
	大腸肛門外科臨床応用Ⅱ（東京科学大学（仮称））		3・4・5	東京科学大学（仮称）		8				○	1			1		2						2	兼3			
	小計（5科目）		－		0	110	0	－			1	0	0	1	0	2	2	2	0	1	0	5	7	兼3	－	
専 門 科 目 群 胃 腸 病 内 科	胃腸病内科臨床基礎（チリ大学）		1後～2	チリ大学		20				○						2	1				3	3				
	胃腸病内科臨床応用（チリ大学）		3～5	チリ大学		27				○						2	1				3	3				
	胃腸病内科臨床基礎（東京科学大学（仮称））		3～4	東京科学大学（仮称）		20				○	1	1				2						2	兼1			
	胃腸病内科臨床応用Ⅰ（東京科学大学（仮称））		4～5	東京科学大学（仮称）		35				○	1	1				2						2	兼1			
	胃腸病内科臨床応用Ⅱ（東京科学大学（仮称））		3・4・5	東京科学大学（仮称）		8				○	1	1				2						2	兼1			
	小計（5科目）		－		0	110	0	－			1	1	0	0	0	2	2	1	0	0	0	3	5	兼1	－	
特別研究	特別研究（チリ大学）		3～5	チリ大学	56				○							5	4		1		10	10				
	特別研究（東京科学大学（仮称））		3～5	東京科学大学（仮称）	56				○		31	11	9	9		60						60	兼9			
	小計（2科目）		－		112	0	0	－			31	11	9	9	0	60	5	4	0	1	0	10	70	兼9	－	
合計（61科目）			－		146	467	0	－			32	12	9	9	0	62	10	9	0	9	0	28	90	兼17	－	
学位又は称号		博士（医学）			学位又は学科の分野						医学関係															
卒業要件及び履修方法		開設大学等						開設単位数（必修）		授業期間等																
1)修了要件は、本専攻に5年以上在学し、所定の授業科目について191単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。 2)修得すべき191単位の履修方法は次のとおりとする。 a) 共通科目群のうち、必修科目である一般教養科目の初期研究研修（1単位）、研究演習2科目（30単位）、文献ゼミナール1科目（3単位）を修得すること。 b) 共通科目群のうち、選択科目である一般教養科目1科目（3単位）以上、基礎科目3科目（9単位）以上、応用科目3科目（6単位）以上を修得すること。 c) 専門科目の「上部消化管外科」、「大腸肛門外科」、「胃腸病内科」の3分野から1分野を選択し、学生の医師資格に応じて選択した分野の指定科目（55単位）（※）を修得すること。 ※指定科目については以下のとおり ①チリ国医師資格を持つ学生の場合、臨床基礎（チリ大学）、臨床応用（チリ大学）及び臨床応用Ⅱ（東京科学大学（仮称））の3科目。 ②日本国医師資格を持つ学生の場合、臨床基礎（東京科学大学（仮称））、臨床応用Ⅰ（東京科学大学（仮称））の2科目。 d) 必修科目である特別研究を2科目（112単位）修得すること。 e) 191単位以上のうち、東京科学大学（仮称）が開設する授業科目について41単位以上、チリ大学が開設する授業科目について10単位以上修得すること。		東京科学大学（仮称）		280(57)		1 学年の学期区分		2 期																		
		チリ大学		338(89)		1 学期の授業期間		2 0 週																		
		共同開設科目		0(0)		1 時限の授業時間		9 0 分																		

教育課程等の概要（国際連携学科等）																										
(医歯学総合研究科 博士課程 東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻)																										
科目 区分	授業科目の名称	共同 開設 科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置												備考			
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	申請大学						連携外国大学								小計	合計
											教授	准教授	講師	助教	助手	小計	る教授に相当員す	す准教授に相当員す	る講師に相当員す	る助教に相当員す	る助手に相当員す					
基礎 科目	歯科矯正学総論		1前	チュラロンコーン大学	1			○							0		1	1			2	2				
	歯科矯正学基礎		1前	チュラロンコーン大学	2			○							0		2	1	2		5	5				
	基礎歯科矯正学セミナー		1前	チュラロンコーン大学	1			○							0		2	2	3		7	7				
	小計（3科目）		—		4	0	0		—		0	0	0	0	0	0	2	2	3	0	7	7	0	—		
専門 科目	論文・博士論文セミナー		1後・3通・4通・5通	チュラロンコーン大学	24			○						0		2	2	1		5	5					
	咬合機能矯正学特論		2前	東京科学大学（仮称）		6		○			2	1	2	2	7					0	7	兼1				
	咬合機能矯正学演習・研究実習		2通	東京科学大学（仮称）		8			○		2	1	2	2	7					0	7	兼1				
	咬合機能矯正学実験・論文作成		2・3・4・5後	東京科学大学（仮称）		10				○	2	1	2	2	7					0	7	兼1				
	顎顔面矯正学特論		2前	東京科学大学（仮称）		6		○			1	1	1	1	4					0	4	兼3				
	顎顔面矯正学演習・研究実習		2通	東京科学大学（仮称）		8			○		1	1	1	1	4					0	4	兼3				
	顎顔面矯正学実験・論文作成		2・3・4・5後	東京科学大学（仮称）		10				○	1	1	1	1	4					0	4	兼3				
	小計（7科目）		—		24	48	0		—		3	2	3	3	0	11	0	2	2	1	0	5	16	兼4	—	
臨床 科目	歯科矯正学技法		1前	チュラロンコーン大学	3			○						0		1	1	2		4	4					
	包括的治療手順		1前	チュラロンコーン大学	2			○						0		2	2	1		5	5					
	上級歯科矯正学セミナー		1前	チュラロンコーン大学	1			○						0		2	2	3		7	7					
	矯正演習		1前	チュラロンコーン大学	1				○					0		2	2	1		5	5					
	矯正臨床トレーニング1		3後	チュラロンコーン大学	2					○				0		2	2	4		8	8					
	矯正臨床トレーニング2		3休	チュラロンコーン大学	1					○				0		2	2	4		8	8					
	矯正臨床トレーニング3		4通	チュラロンコーン大学	4					○				0		2	2	4		8	8					
	上級矯正臨床トレーニング1		4休	チュラロンコーン大学	1					○				0		2	2	4		8	8					
	上級矯正臨床トレーニング2		5通	チュラロンコーン大学	3					○				0		2	2	4		8	8					
	上級矯正臨床トレーニング3		5休	チュラロンコーン大学	1					○				0		2	2	4		8	8					
	歯科矯正学における写真とコンピュータ		3前	チュラロンコーン大学		1				○				0		1	2	2		5	5					
	歯科矯正学教育実習		3前	チュラロンコーン大学		1				○				0		2	2	4		8	8					
	歯学研究提案書作成		3前	チュラロンコーン大学		1				○				0				1		1	1					
	歯学研究報告書作成		3前	チュラロンコーン大学		1				○				0				1		1	1					
小計（14科目）		—		19	4	0		—		0	0	0	0	0	0	2	2	5	0	9	9	0	—			
	（研究指導）		—	東京科学大学（仮称）	○						20	4	6	6		36				0	36	兼4				
	（研究指導）		—	チュラロンコーン大学	○										0		2	2	1		5	5				
合計（24科目）								—		20	4	6	7	0	37	0	2	2	5	0	9	46	兼4	—		
学位又は称号		博士（歯学）			学位又は学科の分野			歯学関係																		
卒業要件及び履修方法					開設大学等			開設単位数（必修）			授業期間等															
チュラロンコーン大学が開設する必修科目47単位及び臨床科目の選択科目から1単位以上、東京科学大学（仮称）が開設する専門科目の選択科目から咬合機能矯正学または顎顔面矯正学のどちらか24単位を修得し、合計72単位以上を修得すること。					東京科学大学（仮称）			48（0）			1学年の学期区分				2期											
					チュラロンコーン大学			51（47）			1学期の授業期間				20週											
					共同開設科目			0（0）			1時限の授業時間				90分											

教育課程等の概要（国際連携学科等）																									
（医歯学総合研究科 博士課程 東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻）																									
科目 区分	授業科目の名称	共同 開設 科目	配当 年次	開設 大学	単位数			授業形態			教員等の配置												備考		
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	申請大学						連携外国大学								合 計
											教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	小 計	る 教授 に 相当 員 す	す 准 教授 に 相当 員 す	る 講師 に 相当 員 す	る 助教 に 相当 員 す	る 助手 に 相当 員 す	小 計			
臨床 基幹 科目	臨床基幹科目Ⅰ (Institute of Science Tokyo)	○	1通	東京科学大学（仮称）		2			○		4	1				5						5			
	臨床基幹科目Ⅰ (MU)		1通	マヒドン大学		2			○								1	5				6	6		
	臨床基幹科目Ⅱ		2通～4通	東京科学大学（仮称）・マヒドン大学	5				○		4	1				5	1	5				6	11		
	小計（3科目）		－		5	4	0	－		4	1	0	0	0	5	1	5	0	0	0	6	11	0	－	
臨床統計・情報医科学関連専門科目	疾患予防パブリックヘルス医学概論		1前・後・2前・後	東京科学大学（仮称）		2			○		4	1	1	1		7						7			
	疫学		1前・後・2前・後	東京科学大学（仮称）		2			○		1	1	1		3							3			
	臨床・遺伝統計学		1前・後・2前・後	東京科学大学（仮称）		2			○		1				1							1			
	生物医学研究法		1前・後・2前・後	マヒドン大学		2			○							1	1		2		4	4			
	生物医学統計概論		1前・後・2前・後	マヒドン大学		2			○							1	2		2		5	5			
	小計（5科目）	－		0	10	0	－		5	2	2	1	0	10	1	2	0	4	0	7	17	0	－		
がん医療専門科目	がん生物学・解剖学・病理特論		1前・後・2前・後	東京科学大学（仮称）		1			○		2		1	1		4						4	兼1	オムニバス方式	
	低侵襲がん治療Ⅰ		1前・後・2前・後	東京科学大学（仮称）		1			○		1	1	1	1		4						4	兼2	オムニバス方式	
	低侵襲がん治療Ⅱ		1前・後・2前・後	東京科学大学（仮称）		1			○		1		1		2							2	兼2	オムニバス方式	
	臓器別がん		1前・後・2前・後	東京科学大学（仮称）		1			○		1		2	1		4						4	兼2	オムニバス方式	
	小児・希少がん		1前・後・2前・後	東京科学大学（仮称）		1			○		3	2			5							5	兼1	オムニバス方式	
	臨床腫瘍学		1前・後・2前・後	東京科学大学（仮称）		1			○		1				1							1	兼2		
	がんゲノム		1前・後・2前・後	東京科学大学（仮称）		1			○		1				1							1	兼2	オムニバス方式	
	緩和ケア・緩和医療学		1前・後・2前・後	東京科学大学（仮称）		1			○		1				1							1			
	がんの生物学とがんの免疫学概論		1前・後・2前・後	マヒドン大学		1			○								1		2		3	3			
	幹細胞治療学概論		1前・後・2前・後	マヒドン大学		1			○									2		2		4	4		
	標準検査学概論		1前・後・2前・後	マヒドン大学		1			○										3		3	3			
	がんの画像診断学概論		1前・後・2前・後	マヒドン大学		1			○									3		1		4	4		
	泌尿器科ロボット支援手術		1前・後・2前・後	マヒドン大学		1			○									1		1		2	2		
	基礎鏡視下手術概論		1前・後・2前・後	マヒドン大学		1			○								1	5		9		15	15	兼1	
	消化器癌における学際的内視鏡診断学		1前・後・2前・後	マヒドン大学		1			○								1	4		3		8	8		
	周術期患者管理学概論		1前・後・2前・後	マヒドン大学		1			○								1	1		3		5	5		
小計（16科目）	－		0	16	0	－		5	3	5	3	0	16	2	12	0	17	0	31	47	兼12	－			
研究基幹科目	総合外科学特論		1前・後	東京科学大学（仮称）		4			○			1	2			3						3	兼1		
	消化管外科学特論		1前・後	東京科学大学（仮称）		4			○		1	1	1	1		4						4	兼1		
	肝胆膵外科学特論 (Institute of Science Tokyo)		1前・後	東京科学大学（仮称）		4			○		1		2		3						3	兼1			
	頭頸部外科学特論		1前・後	東京科学大学（仮称）		4			○		3		1		4						4				
	腎泌尿器外科学特論 (Institute of Science Tokyo)		1前・後	東京科学大学（仮称）		4			○		1	1	1		3						3				
	上部消化管外科学特論		1前・後	マヒドン大学		4			○							1	3		3		7	7			
	下部消化管外科学特論		1前・後	マヒドン大学		4			○							1	3		1		5	5			
	肝胆膵外科学特論 (MU)		1前・後	マヒドン大学		4			○								4		2		6	6			
	血管外科学特論		1前・後	マヒドン大学		4			○									4		1		5	5		
	頭頸部・乳腺外科学特論		1前・後	マヒドン大学		4			○									2		5		7	7		
	泌尿器外科学特論 (MU)		1前・後	マヒドン大学		4			○								1		1		2	2			
	小計（11科目）	－		0	44	0	－		6	3	7	1	0	17	2	16	0	12	0	30	47	兼3	－		
	外科系関連医科学分野	幹細胞制御特論		1前・後	東京科学大学（仮称）		4			○		1		1		3						3			
		臨床解剖学特論		1前・後	東京科学大学（仮称）		4			○		1			2		3					3	兼1		
発生再生生物学特論			1前・後	東京科学大学（仮称）		4			○		1		1	1		3					3				
バイオメカニクス特論			1前・後	東京科学大学（仮称）		4			○		1	1		2		4					4				
臨床腫瘍学特論			1前・後	東京科学大学（仮称）		4			○		1				1						1				
システム薬理学特論			1前・後	マヒドン大学		4			○									1			1				
幹細胞科学特論			1前・後	マヒドン大学		4			○								1				1				
小計（7科目）	－		0	28	0	－		5	1	2	6		14	0	1	0	1	0	2	16	兼1	－			

研究 文 作 成 と 論	研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	2通～4通	東京科学大学（仮称）	24					○	21	9	17	14		61								62	兼5	
	研究実践と論文作成(MU)	2通～4通	マヒドン大学	24					○							4	17		5		26	26			
	小計（2科目）	—		48	0	0		—		21	9	17	14		61	4	17	0	5	0	26	88	兼5	—	
	合計（44科目）	—		53	102	0		—		21	9	18	14	0	62	4	24	0	23	0	51	114	兼16	—	
学位又は称号		博士（医学）			学位又は学科の分野		医学関係																		
卒業要件及び履修方法					開設大学等		開設単位数（必修）		授業期間等																
【修了要件】 本専攻に4年以上在学し、72単位以上を修得するとともに、研究指導を受けて学位論文を提出し、かつ両大学が行う学位論文審査・最終試験に合格し、プログラム運営委員会、併せて両大学の権限のある研究科運営委員会等にて承認された者に、博士（医学）[Doctor of Philosophy in Medical Sciences]の学位を両大学から共同で授与する。修了すべき72単位は、コースワーク24単位以上、リサーチワーク48単位以上を修得することとし、履修方法は次のとおりとする。 (1) 臨床基幹科目群から、選択科目である「臨床基幹科目Ⅰ (Institute of Science Tokyo) (2単位)」を東京科学大学（仮称）、又はマヒドン大学で「臨床基幹科目Ⅰ (MU) (2単位)」を修得すること。 (2) 共同開設科目である「臨床基幹科目Ⅱ (5単位)」を、学生の移動に合わせて本学及びマヒドン大学で修得すること。 (3) 臨床統計・情報医科学関連専門科目群から、選択科目4単位以上修得すること。 (4) がん医療専門科目群から、選択科目5単位以上履修すること。 (5) 研究基幹科目群から、選択科目である外科系専門分野の科目8単位、又は外科系専門分野の科目4単位と外科関連医科学分野の科目4単位修得すること。 (6) 必修科目である「研究実践と論文作成 (24単位) (Institute of Science Tokyo)、(MU)」を両大学で履修し、合計48単位修得すること。 (7) 必要な研究指導を受け、両大学が行う学位論文審査及び最終試験に合格すること。 【履修方法】 (1) 第3セメスターから第7セメスターの間に、最短1セメスターから最長4セメスターの期間、連携大学に滞在し、授業科目の履修と研究を行う。 (2) 両大学が指導教員として配置する主・副指導教員及び主・副研究担当教員とともに、主指導教員の主導のもと、学位論文執筆のための研究テーマの具体的な内容を検討し、研究計画を立てて研究を遂行する。					東京科学大学（仮称）		80 (24)		1 学年の学期区分		2 学期														
					マヒドン大学		70 (24)		1 学期の授業期間		1 5 週														
					共同開設科目		5 (5)		1 時限の授業時間		9 0 分														

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(医歯学総合研究科 博士課程 生命理工医療科学専攻)																		
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
一般科目	マネジメント特論（日本語）	1通		1		○									兼5	オムニバス ・共同（一部） オムニバス ・共同（一部） オムニバス オムニバス ・共同（一部）		
	マネジメント特論（英語）	1後		1		○									兼3			
	国際動向特論	1前		1		○									兼6			
	知的財産特論	1後		1		○									兼4			
	英語ディベート特論	1前・後		1		○									兼1			
	英語プレゼンテーション特論	1前		1		○			1						兼2			
	小計（6科目）	—	0	6	0	—			1	0	0	0	0	兼16	—			
専門科目	疾患生命科学特論	1通		2		○			5	3	1	1			兼1	オムニバス ・共同（一部） オムニバス ・共同		
	先端機能分子特論	1通		1		○			3	2		2			兼1			
	機能分子開発技術特論	1通		1		○			3	3		3					オムニバス ・共同	
	機能再建材料学特論	1前		1		○			1			1						
	組織再生材料学特論	1前		1		○				1					兼1	オムニバス		
	生体機能材料学特論	1前		1		○				1		1						
	医用材料工学特論	1前		1		○			1	1		1					オムニバス	
	生体情報数理解析論	1前		1		○			1	1		2						
	理研生体分子制御学特論	1通		2		○			1						兼10	オムニバス		
	病態推論特論	1後		2		○			1	1		1						
	高度臨床実践特別演習入門	1前		1		○			1			1			兼5		オムニバス ・共同（一部）	
	高度臨床実践特別演習Ⅰ	1通		2			○		1			1			兼1			
	高度臨床実践特別演習Ⅱ	2通		2			○		1			1			兼1	オムニバス ・共同（一部）		
	疾患予防パブリックヘルス医学概論	1・2・3後		2		○									兼8			
	臨床・遺伝統計学	1前		2		○									兼2		オムニバス	
	先端口腔保健応用学特論	1通		2		○			3		1	2						
	先端口腔保健応用学演習	1通		1			○		2		1	4			共同	オムニバス		
	先端口腔保健工学特論	1通		1		○			1	2	1	3						
	硬組織研究・骨形態計測学特論	1通		1		○	※		1			1			兼2		オムニバス、 共同（一部） ※演習	
	小計（19科目）	—	0	27	0	—			18	14	3	18	0	兼30	—			
先制医歯理工学科目	共通科目	先制医歯理工学概論Ⅰ（日本語）	1通		1		○			2						兼4	オムニバス ・共同（一部） オムニバス ・共同（一部） オムニバス オムニバス ・共同（一部）	
		先制医歯理工学概論Ⅰ（英語）	1後		1		○			1						兼5		
		先制医歯理工学概論Ⅱ	1後		1		○									兼6		オムニバス
		データサイエンス特論Ⅰ（日本語）	1前		1		○									兼2		
		データサイエンス特論Ⅰ（英語）	1後		1		○									兼2	共同	
		データサイエンス特論Ⅱ（日本語）	1通		1		○									兼4		
		データサイエンス特論Ⅱ（英語）	1前		1		○									兼1		
		データサイエンス特論Ⅲ	1前		1		○									兼4		オムニバス
		データサイエンス特論Ⅳ	1通		1		○									兼2		
		Advanced Human Pathology for Graduate Students	1前		1		○			3			2					
		小計（10科目）	—	0	10	0	—			4	0	0	2	0	兼18	—		
	先進医療 デバイス IoT学 専門科目	先端バイオセンシングデバイス特論	1前		1		○			2	1					兼2	オムニバス ・共同（一部） オムニバス オムニバス ・共同（一部） オムニバス	
		医療デバイス・システム機器特論	1前		1		○			5						兼1		
		ウェアラブルIoT技術特論	1前		1		○			1			1			兼4		
		臨床検査法開発学特論	1前		1		○			4	2		1			兼1		
		小計（4科目）	—	0	4	0	—			10	3	0	2	0	兼8	—		
	疾患生命 創薬科学 専門科目	疾患分子病態学特論	1前		1		○			1	2					兼1	オムニバス オムニバス オムニバス	
		先端ケミカルバイオロジー特論	1前		1		○			1	4							
		生体分子制御学特論	1前		1		○			1						兼4		
		小計（3科目）	—	0	3	0	—			3	6	0	0	0	兼5	—		
臨床疫学 科目	疫学基礎	1通		1		○									兼2	共同 オムニバス オムニバス オムニバス 共同 オムニバス オムニバス ・共同（一部） 共同		
	生物統計学基礎	1通		1		○									兼2			
	生物統計学応用Ⅰ	1通		1		○									兼5			
	生物統計学応用Ⅱ	1通		1		○			1						兼4			
	臨床試験方法論基礎	1通		1		○									兼1			
	臨床試験方法論応用	1通		1		○									兼2			
	口腔疫学基礎	1通		1		○									兼4			
	疫学応用	1通		1		○									兼7			
	臨床疫学解析演習	2通		2			○								兼2			
	小計（9科目）	—	0	10	0	—			1	0	0	0	0	兼17	—			

演 習 科 目	センサ医工学演習	1通		6			○		1			1			
	バイオ情報演習	1通		6			○		1	1		2			
	バイオデザイン演習	1通		6			○		1			1			
	物質医工学演習	1通		6			○		1	1		1			
	薬化学演習	1通		6			○		1	1		1			
	生命有機化学演習	1通		6			○		1	1		2			
	バイオメカニクス演習	1通		6			○		1	1		1			
	セラミックバイオマテリアル演習	1通		6			○			1				兼2	
	分子細胞生物学演習	1通		6			○		1	1		1			
	発生再生生物学演習	1通		6			○		1		1	3			
	分子構造情報学演習	1通		6			○		1	1		1			
	機能分子病態学演習	1通		6			○		1	1		1			
	生体情報薬理学演習	1通		6			○			1		1			
	ゲノム機能情報演習	1通		6			○		1	1		1			
	医化学演習	1通		6			○		1			1			
	理研生体分子制御学演習	1通		6			○		1					兼4	
	メディシナルケミストリー演習	1通		6			○		1	1		1			
	NCC腫瘍医科学演習	1通		6			○		1					兼11	
	細胞分子医学演習	1通		6			○				1			兼4	
	領域創成科学演習	1通		6			○							兼3	
	データ科学アルゴリズム設計・解析演習	1通		6			○		1			1			
	AI技術開発演習	1通		6			○		1		1				
	形態・生体情報解析学演習	1通		5			○		1			1			
	遺伝子細胞検査学演習	1通		5			○				1				
	生体機能システム学演習	1通		5			○		1			1			
	呼吸器・神経系解析学演習	1通		5			○		1			1			
	疾患生理機能解析学演習	1通		5			○		1			1			
	先端分析検査学演習	1通		5			○		1			1			
	先端血液検査学演習	1通		5			○				1				
	分子病原体検査学演習	1通		5			○		1	1		1			
	生体検査科学セミナー II	1～3通		1			○		6	3		6			
	健康支援口腔保健衛生学演習	1通		5			○		1			1			
	地域・福祉口腔機能管理学演習	1通		5			○		1			1			
	口腔健康教育学演習	1通		5			○		1			1			
	口腔基礎工学演習	1通		5			○		1	1		1			
	口腔デジタルプロセス学演習	1通		5			○		1	1		1			
	口腔機能再建工学演習	1通		5			○				1	1			
	口腔保健学セミナー	1～3通		1			○		5	2	1	6			
小計（38科目）		—	0	204	0	—			27	18	3	32	0	兼24	—
必 修 科 目	生命理工医療科学先端研究特論	1～2通	2			○			3						
	研究実習	1～2通	6					○	27	18	4	33		兼24	
	小計（2科目）	—	8	0	0	—			27	18	4	33	0	兼24	—
修共大 科通学 目履院	ポストコロナ社会における感染症対策	1前		1		○								兼11	オムニバス方式・共同
	小計（1科目）	—	8	1	0	—			0	0	0	0	0	兼11	—
合計（92科目）		—	8	265	0	—			27	20	4	36	0	兼111	—
学位又は称号		博士（理学） 博士（工学） 博士（保健学） 博士（口腔保健学）		学位又は学科の分野				理学関係 工学関係 保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く）							
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
一般科目から1単位以上、一般科目・先制医歯理工学科目・臨床疫学科目・専門科目から5単位以上、分野が開設する演習科目6単位（ただし分野が開設する演習科目5単位の場合生体検査科学講座に所属する学生は生体検査科学セミナー1単位、口腔保健学講座に所属する学生は口腔保健学セミナー1単位を併せて履修するものとする）、必修科目8単位の20単位以上修得し、博士論文の審査及び試験に合格すること。 なお、先制医歯理工学コース（先進医療デバイスIoT学プログラム又は疾患生命創薬科学プログラム）を履修する学生は、一般科目及び先制医歯理工学科目から各プログラムが指定する授業科目を6単位以上修得した場合、学位記に先制医歯理工学コース（先進医療デバイスIoT学プログラム又は疾患生命創薬科学プログラム）を修了した旨を付記する。								1 学年の学期区分				2学期			
								1 学期の授業期間				15週			
								1 時限の授業時間				90分			

【先制医歯理工学コース(先進医療デバイスIoT学プログラム又は疾患生命創薬科学プログラム)履修方法】

区分		科目名	単位数	先制医歯理工学コース	
				デバイス	疾患
一般科目		マネジメント特論（日本語・英語）	1	■	■
		国際動向特論	1	■	■
		知的財産特論	1	■	■
		英語ディベート特論（前期・後期）	1	■	■
		英語プレゼンテーション特論	1	■	■
先制医歯理工学科目	共通科目	先制医歯理工学概論Ⅰ（日本語・英語）	1	○	○
		先制医歯理工学概論Ⅱ	1	○	○
		データサイエンス特論Ⅰ（日本語・英語）	1	○	○
		データサイエンス特論Ⅱ（日本語・英語）	1	○	○
		データサイエンス特論Ⅲ	1	○	○
		データサイエンス特論Ⅳ	1	○	○
		Advanced Human Pathology for Graduate Students	1	○	○
	専門デバイス科目	先端バイオセンシングデバイス特論	1	☆	
		医療デバイス・システム機器特論	1	☆	
		ウェアラブルIoT技術特論	1	☆	
		臨床検査法開発学特論	1	☆	
	専門疾患科目	疾患分子病態学特論	1		●
		先端ケミカルバイオロジー特論	1		●
		生体分子制御学特論	1		●

デバイス専門科目・・・先進医療デバイスIoT学専門科目
疾患専門科目・・・疾患生命創薬科学専門科目

- ：5科目中1単位以上を必修
- ：7科目中1単位以上を必修
- ☆：4科目中3単位以上を必修
- ：3科目中1単位以上を必修

また、臨床疫学プログラム（Clinical Epidemiology Program）を履修する学生は、プログラム開設科目のうち、臨床疫学科目を5単位以上修得し、かつ必修科目「臨床疫学解析演習」を修得した場合、学位記に臨床疫学プログラムを修了した旨を付記する。

【臨床疫学プログラム（Clinical Epidemiology Program）開設科目】

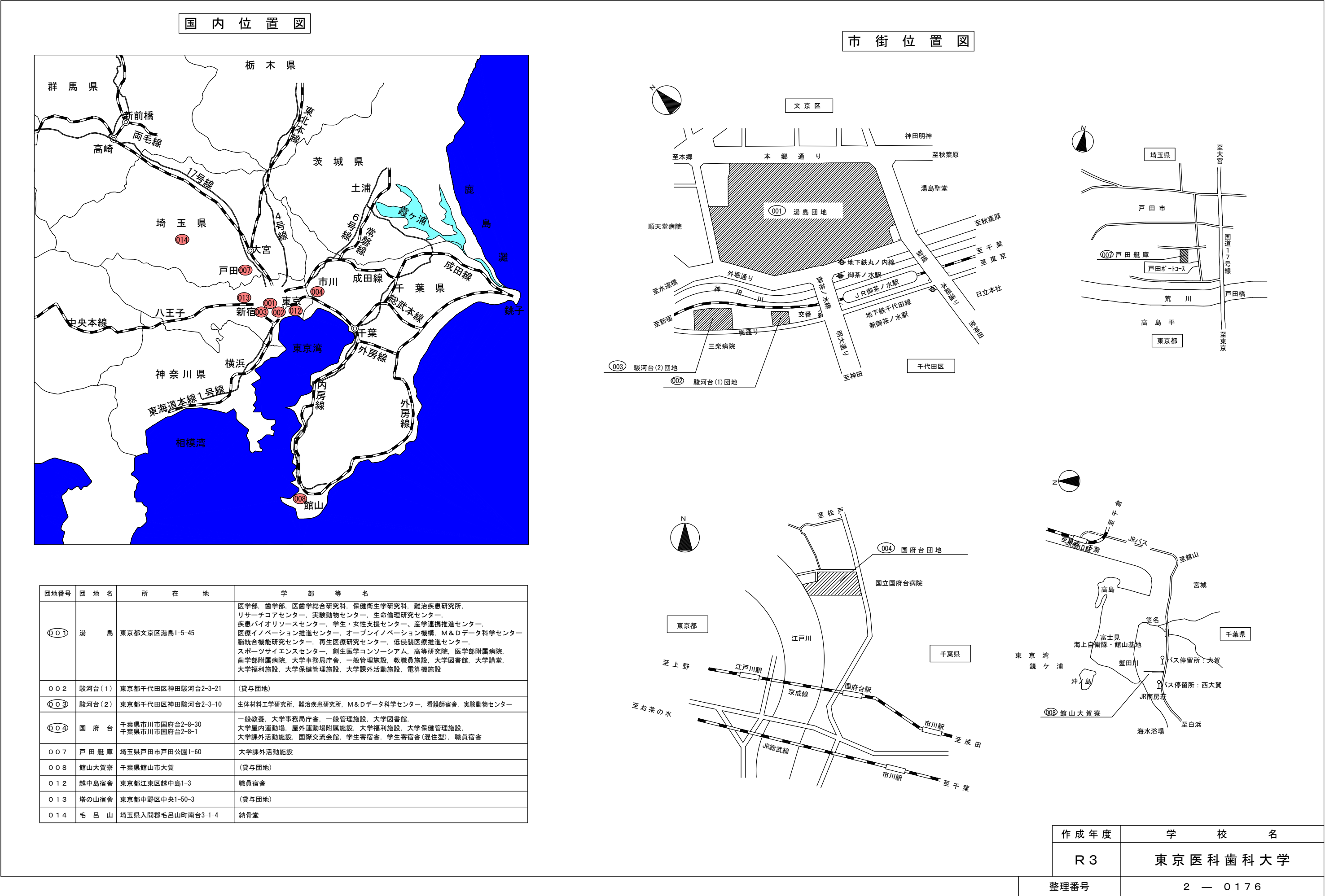
科目区分	科目名	単位数	
臨床疫学科目	疫学基礎	1	選択
	生物統計基礎	1	選択
	生物統計学応用Ⅰ	1	選択
	生物統計学応用Ⅱ	1	選択
	臨床試験方法論基礎	1	選択
	臨床試験方法論応用	1	選択
	口腔疫学基礎	1	選択
	口腔疫学応用	1	選択
	臨床疫学解析演習	2	必修

案

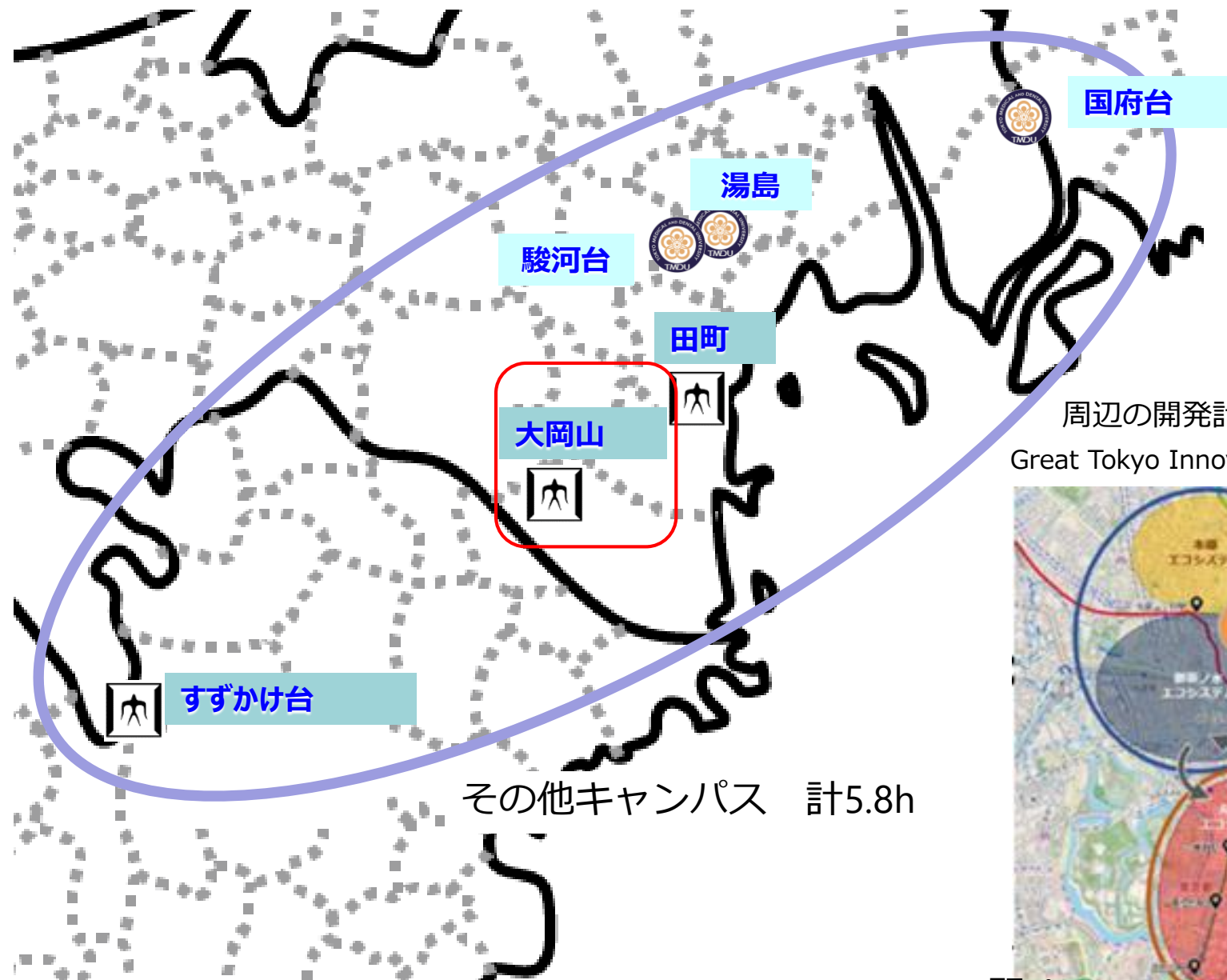
内

図

国立大学法人等施設実態報告（様式2）



東京科学大学（仮称）の主要キャンパス



国府台キャンパス



駿河台キャンパス



湯島キャンパス



大岡山キャンパス



田町キャンパス



すすかけ台キャンパス

周辺の開発計画の一例

Great Tokyo Innovation Ecosystem



湯島キャンパス・駿河台キャンパス

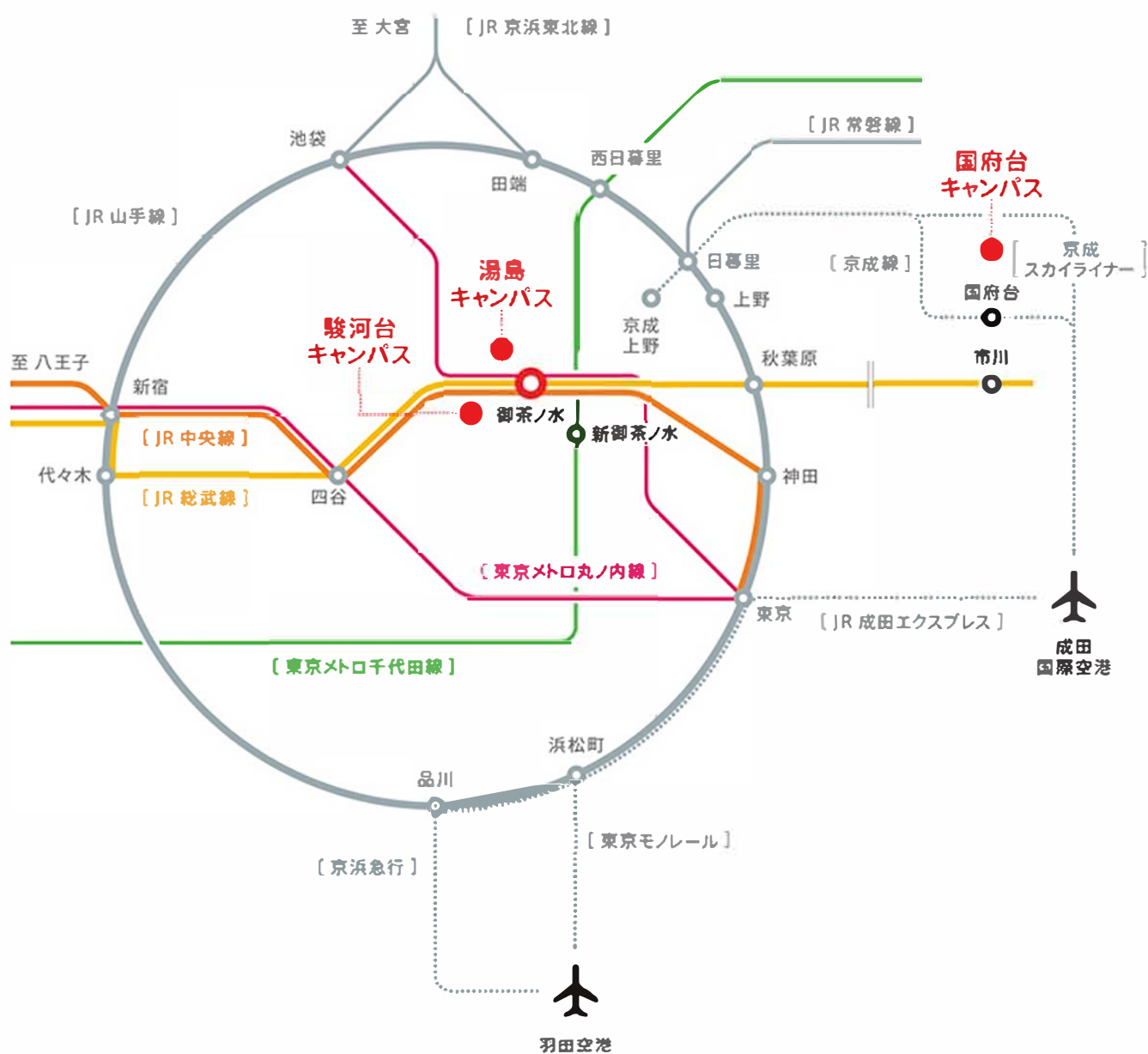
Yushima and Surugadai Campuses

- ・ JR御茶ノ水駅下車…徒歩2分（110m）
- ・ 東京メトロ丸ノ内線御茶ノ水駅下車…徒歩1分（38m）
- ・ 東京メトロ千代田線新御茶ノ水駅下車…徒歩7分（600m）

国府台キャンパス

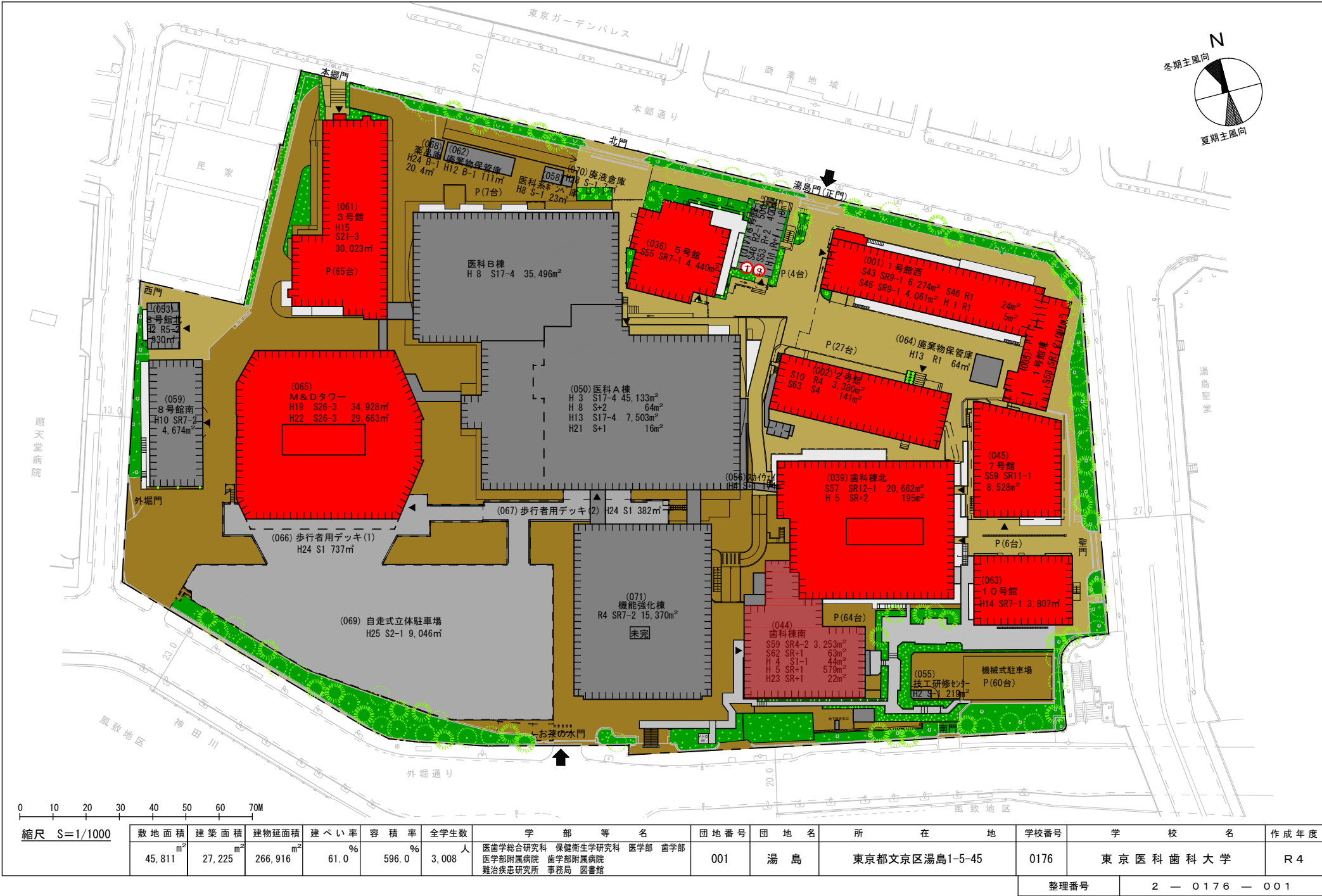
Kounodai Campus

- ・ 京成線国府台駅下車…徒歩15分（1.2Km）
- ・ JR市川駅下車
- ・ 国府台病院バス停…徒歩2分（140m）
（北口、バス一番乗場11系統松戸駅〈松戸車庫〉行き10分）



配置図

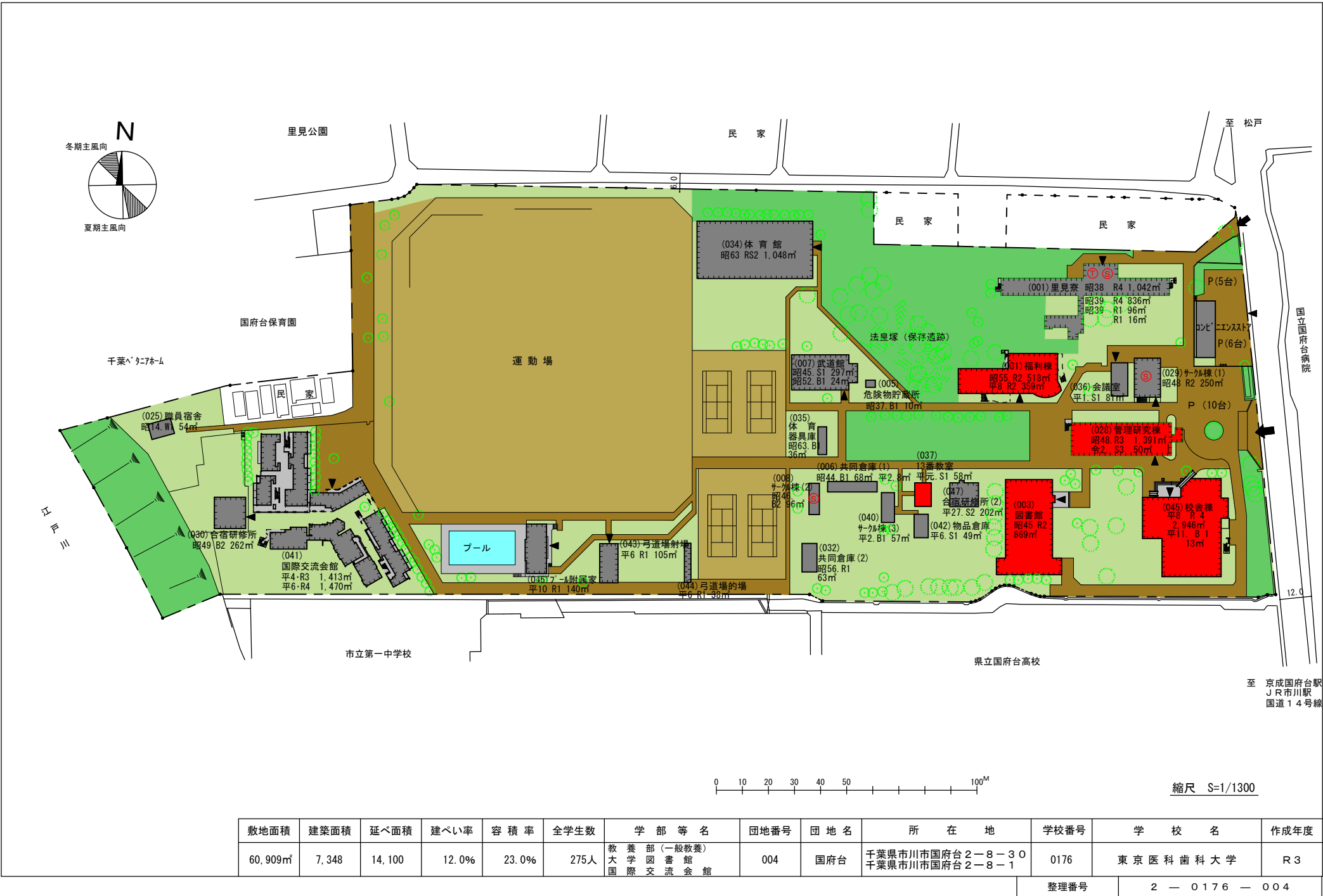
国立大学等施設実態報告（様式2）



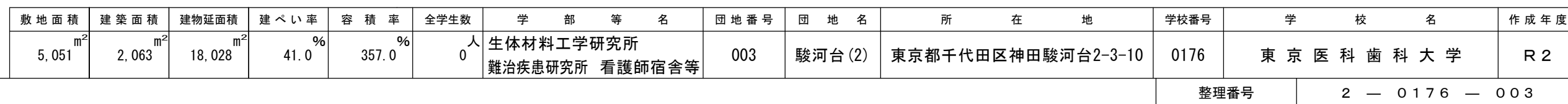
一図面-4-

配 置 図

国立大学法人等施設実態報告（様式2）



国立大学法人等施設実態報告（様式2）



○東京科学大学（仮称）学則（案）

目次

- 第1章 総則（第1条―第10条）
- 第2章 入学，再入学，転入学及び編入学（第11条―第18条）
- 第3章 休学，留学，退学，転学並びに転学院及び転系（第19条―第24条）
- 第4章 授業科目，単位数及び履修方法等（第25条―第28条）
- 第5章 履修の認定及び学位等（第29条―第36条）
- 第6章 入学料及び授業料（第37条―第43条）
- 第7章 表彰及び懲戒並びに除籍（第44条―第46条）
- 第8章 科目等履修生等（第47条―第51条）
- 第9章 寄宿舍（第52条）

附則

第1章 総則

（趣旨）

第1条 この学則は，学校教育法（昭和22年法律第26号。以下「学教法」という。）第85条及び国立大学法人東京科学大学（仮称）組織運営規則（令和 年規則第 号。次条において「組織運営規則」という。）第 条第 項に基づき東京科学大学（仮称）（以下「本学」という。）に置く学院及び学部の修業年限，教育課程その他の学生の修学上必要な事項を定めるものとする。

（学院及び学部）

第2条 本学に置く学院並びに学部及び学部に置く学科は，次のとおりとする。

理学院

工学院

物質理工学院

情報理工学院

生命理工学院

環境・社会理工学院

医学部

医学科

保健衛生学科

歯学部

歯学科

口腔保健学科

2 前項に規定する学院並びに学部及び学部に置く学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的及び位置は，組織運営規則第 条第 項の定めるところによる。

（学院及び学部の入学定員及び収容定員並びに系等）

第3条 学院及び学部の入学定員及び収容定員は，別表1のとおりとする。

2 学院に，教育上の目的に応じて，専門教育実施の基本的な単位として系を置く。

3 学部に置く学科に，専攻を置く。

4 前2項の系及び専攻は，別表1のとおりとする。

5 前各項のほか、本学に、医学部及び歯学部の教養教育実施の基本的な単位として教養部を置く。

6 学修の課程については、別に定める。

(系への所属)

第4条 本学の学院に入学した1年次相当の学生に係る修学指導等については、各学院において行うこととし、所定の授業科目を履修し、所定の単位を修得した学生は、前条第2項に規定する学院に置く系に所属するものとする。

(修業年限)

第5条 修業年限は、医学部医学科及び歯学部歯学科を除き、4年とする。

2 医学部医学科及び歯学部歯学科の修業年限は、6年とする。

3 前2項の規定にかかわらず、再入学者、転入学者及び編入学者の修業年限は、過去に本学又は他の大学において在学していた期間及び当該期間に修得した授業科目等を考慮して定める。

(在学年限)

第6条 在学年限は、医学部医学科及び歯学部歯学科を除き、8年とする。

2 医学部医学科及び歯学部歯学科の在学年限は、10年とする。

3 前2項の規定にかかわらず、再入学者、転入学者及び編入学者の在学年限は、過去に本学又は他の大学において在学していた期間及び当該期間に修得した授業科目等を考慮して定める。

(学年)

第7条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第8条 学年を、次の区分のとおり2学期に分ける。

前期 4月1日から毎年度において学長が定める9月中の日まで

後期 前期最終日の翌日から翌年3月31日まで

2 前項に定める各学期を、前半及び後半に分けることができるものとする。

(休業日)

第9条 学生の休業日は、次に掲げるとおりとする。

一 日曜日

二 土曜日

三 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

四 創立記念日（月 日）

五 春期休業日、夏期休業日及び冬期休業日

2 前項の規定にかかわらず、教育上必要がある場合には、休業日に授業を行うことができる。

3 第1項第5号の期間は、その都度、学長が別に定める。

4 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

(教授会の審議及び学長の決定事項)

第10条 入学、卒業、学位の授与その他学生の在籍に関する事項及び教育課程の編成に関する事項は、学院、学部又は教養部の教授会の議を経て、学長が決

定する。

第2章 入学，再入学，転入学及び編入学

(入学資格)

第11条 本学に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 一 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- 二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
- 三 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 四 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 五 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 六 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号)
- 七 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
- 八 学教法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- 九 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

(入学の時期)

第12条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、第16条第4項に規定する者については、学期の始めとすることがある。

(入学志願の手続き)

第13条 入学志願者は、入学願書に所定の書類と別に定める検定料を添えて、願い出なければならない。

- 2 前項の検定料は、別に定めるところにより、免除することがある。
- 3 一度納付した検定料は、別に定めがある場合を除き返還しない。
- 4 入学志願の時期は、その都度決定して公告する。

(入学者選考)

第14条 入学志願者に対しては、学力その他に基づき選考の上、入学者を決定する。

- 2 前項の入学者選考の方法、期日等については、その都度決定して公告する。
- 3 前2項のほか、入学者選考に関し必要な事項は別に定める。

(再入学)

第15条 本学を卒業した者又は第21条若しくは第22条の規定により退学し

た者が再び入学を願い出たときは、前条の規定にかかわらず、収容定員に余裕がある場合に限り、選考の上、入学を許可することがある。

- 2 四大学連合憲章に基づく協定による複合領域コースを履修する者（以下「複合領域コース履修者」という。）が第 22 条の規定により退学し、協定大学に編入学した後再び入学を願い出て入学を許可された場合は、学院へ再び入学する場合は 3 年次相当に、医学部医学科又は歯学部歯学科へ再び入学する場合は退学時の在籍学科の在籍年次以上に入学する。

- 3 前 2 項のほか、再入学に関し必要な事項は別に定める。

（転入学）

第 16 条 他の大学に在学している者で、本学に転入学を願い出る者があるときは、収容定員に余裕がある場合に限り、学力その他に基づき選考の上、入学を許可することがある。

- 2 前項の規定により、次の各号に掲げる学院等に転入学を願い出ることができる者は、当該各号に掲げる大学等に在学する者とする。

- 一 学院 国内の他の大学又は本学と協定を締結している外国の大学
- 二 医学部医学科 国内の他の大学の医学部医学科
- 三 歯学部歯学科 国内の他の大学の歯学部歯学科
- 四 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科 国内の他の大学又は短期大学及び外国の大学又は短期大学

- 3 協定大学に 2 年以上在学する複合領域コース履修者（第 22 条により退学した者を除く。）が本学の学院に転入学を願い出て選考の上、入学を許可された場合は 3 年次相当に、医学部保健衛生学科に転入学を願い出て選考の上、入学を許可された場合は 2 年次に入学する。

- 4 本学と協定を締結している外国の大学に 2 年以上在学する外国人が本学の学院に転入学を願い出て入学を許可された場合は、3 年次相当に入学する。

- 5 前各項のほか、転入学に関し必要な事項は別に定める。

（編入学）

第 17 条 高等専門学校又は短期大学を卒業した者で、本学の学院に編入学を願い出た者があるときは、学力その他に基づき選考の上、入学を許可する。

- 2 大学の医学部医学科を卒業した者で本学の歯学部歯学科に、大学の歯学部歯学科を卒業した者で本学の医学部医学科に編入学を願い出た者があるときは、欠員がある場合に限り、学力その他に基づき選考の上、入学を許可することがある。

- 3 次の各号のいずれかに該当する者で、本学の医学部医学科の 2 年次に編入学を願い出た者があるときは、学力その他に基づき選考の上、入学を許可する。

- 一 大学を卒業した者（医学を履修する課程を卒業した者を除く。）
- 二 学教法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者
- 三 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者（学校教育における 15 年の課程を修了し、学士の学位に相当する学位を取得したと本学において認めた者を含む。）

4 次の各号のいずれかに該当する者で、本学の歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻の2年次に編入学を願い出た者があるときは、学力その他に基づき選考の上、入学を許可する。

一 高等専門学校又は短期大学を卒業した者

二 大学を卒業した者

三 歯科技工士を養成する専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者

5 前各項のほか、編入学に関し必要な事項は別に定める。

(誓約書)

第18条 入学を許可された者は、所定の誓約書を提出し、これに記載された事項を守らなければならない。

第3章 休学、留学、退学、転学並びに転学院及び転系

(休学)

第19条 傷病その他やむをえない理由のため一定期間以上学修することができないときは、許可を受けて休学することができる。

2 傷病のため学修することが不相当と認められる学生及び行方不明の学生に対しては、休学を命ずることがある。

3 休学した期間は、在学期間に算入しない。

4 休学に関し必要な事項は、別に定める。

(留学)

第20条 外国の大学又はこれに相当する高等教育機関等に留学しようとするときは、願い出て留学することができる。

2 留学した期間は、在学期間に算入する。

3 留学に関し必要な事項は、別に定める。

(願いによる退学)

第21条 傷病その他やむをえない事情があるときは、願い出て退学することができる。

(協定大学編入学のための退学)

第22条 複合領域コース履修者が協定大学に編入学するときは、願い出て退学するものとする。

(転学)

第23条 他の大学に転学しようとするときは、あらかじめ許可を受けなければならない。

(転学院及び転系)

第24条 学院に所属する者のうち、転学院又は転系を志願する者については、別に定めるところにより、許可することがある。

第4章 授業科目、単位数及び履修方法等

(授業科目、単位数及び履修方法等)

第25条 教育上の目的を達成するために必要な授業科目、単位数及び履修方法等については、別に定める。

(授業の方法)

第26条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行う。

2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

4 第1項の授業の一部を、本学の校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

5 前各項に定めるもののほか、授業の方法に関し必要な事項は、別に定める。
(成績評価基準等の明示等)

第27条 本学においては、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 本学においては、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準に従って適切に行うものとする。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第28条 本学においては、学生に対する教育の充実を図るため、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

第5章 履修の認定及び学位等

(授業科目の履修の認定)

第29条 授業科目の履修の認定については、別に定める。

(他の大学における授業科目の履修等)

第30条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が他の大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとして認定することができる。

2 前項の規定は、学生が、第19条の規定により休学し、当該休学期間中に外国の大学において授業科目を履修する場合、第20条の規定により外国の大学に留学する場合、外国の大学等が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学等の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

(入学前の既修得単位の認定)

第31条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(大学設置基準(昭和31年文部省令第28号)第31条第1項に規定する科目等履修生及び同条第2項に規定する特別の課程履修生として修得した単位を含む。)を、本学における授業科目の履修により修得したものとして認定することができる。

る。

- 2 前項の規定により認定することができる単位数は、編入学及び転入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、前条第1項（同条第2項において準用する場合を含む。）の規定により本学において修得したものとして認定する単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

（卒業）

- 第32条 第5条に規定する修業年限以上在学し、所定の授業科目を履修し、次の区分により定める単位数以上を修得した者については、卒業を認める。

学院／学部・学科・専攻			卒業に必要な単位数
学院			各学院が定める124単位以上の単位数以上
医学部	医学科		219単位以上
	保健衛生学科	看護学専攻	130.5単位以上
		検査技術学専攻	142単位以上
歯学部	歯学科		199単位以上
	口腔保健学科	口腔保健衛生学専攻	128単位以上
		口腔保健工学専攻	129単位以上

- 2 前項に規定する単位数には、各学院又は学部が別に定める科目の単位数を含まなければならない。
- 3 第1項の規定による卒業に必要な単位数のうち、第26条第2項に規定する授業の方法により修得した単位数は、60単位を超えないものとする。ただし、卒業要件となる単位数が124単位を超える学院又は学部にあつては、その超える単位数を60単位に加えて卒業要件として認定することができる。

（早期卒業）

- 第33条 本学の学院に3年以上在学（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第149条の規定に該当する者を含む。）し、所定の授業科目を履修し、前条第1項に規定する各学院の定める124単位以上の単位数以上を優秀な成績をもって修得したと認められる者については、第5条及び前条第1項の修業年限に係る規定にかかわらず、卒業を認めることができる。

- 2 前項に規定する単位数には、各学院が別に定める科目の単位数を含まなければならない。
- 3 第1項の規定による卒業に必要な単位数のうち、第26条第2項に規定する授業の方法により修得した単位数は、60単位を超えないものとする。ただし、卒業要件となる単位数が124単位を超える学院にあつては、その超える単位数を60単位に加えて卒業要件として認定することができる。

- 4 第1項の早期卒業に関する事項は、別に定める。

（学位）

第 3 4 条 前 2 条の規定により、卒業を認められた者に対し、次の区分により学位を授与する。

学院／学部・学科・専攻			授与する学位（専攻分野）
理学院			学士（理学）
工学院			学士（工学）
物質理工学院			学士（理学）又は学士（工学）
情報理工学院			学士（理学）又は学士（工学）
生命理工学院			学士（理学）又は学士（工学）
環境・社会理工学院			学士（工学）
医学部	医学科		学士（医学）
	保健衛生学科	看護学専攻	学士（看護学）
		検査技術学専攻	学士（保健学）
歯学部	歯学科		学士（歯学）
	口腔保健学科		学士（口腔保健学）

（学位の授与）

第 3 5 条 学位の授与については、別に定める東京科学大学（仮称）学位規程（令和 年規程第号）による。

（教育職員免許状）

第 3 6 条 学院において教育職員免許法（昭和 24 年法律第 147 号）及び教育職員免許法施行規則（昭和 29 年文部省令第 26 号）に規定する所定の単位を修得した者が取得できる教育職員免許状の種類及び免許教科は、別表 2 のとおりとする。

第 6 章 入学料及び授業料

（入学料）

第 3 7 条 入学、再入学、転入学及び編入学の選考に合格した者で入学のため所要の手続きをとろうとする者は、所定の期日までに別に定める入学料を納付しなければならない。ただし、第 42 条の規定により入学料の免除又は徴収猶予を申請した者については、免除又は徴収猶予を許可し、又は不許可とするまでの間、入学料の徴収を猶予する。

2 前項の規定にかかわらず、第 22 条の規定により退学した複合領域コース履修者が協定大学に編入学した後、再入学する場合は、入学料は徴収しないものとする。

（授業料）

第 3 8 条 授業料の額は、別に定めるところによるものとし、各年度に係る授業料について、次の区分で納付しなければならない。この場合において、それぞ

れの学期において納付する額は、年額の2分の1に相当する額とする。

納付区分	納期
前期分	5月31日まで
後期分	11月30日まで

2 前項の規定にかかわらず、学生の申出があったときは、前期分の授業料を徴収するときに、当該年度の後期分の授業料を併せて徴収するものとする。

3 前2項の規定にかかわらず、医学部及び歯学部の入학을許可される者の申出があったときは、入学年度の前期又は前期及び後期の授業料を、入学を許可するときに併せて徴収するものとする。

(既納の入学料及び授業料)

第39条 一度納付した入学料及び授業料は返還しない。

(休学者及び復学者の授業料)

第40条 学生が休学を許可され、又は命ぜられ、次の各号のいずれかに該当する場合は、月割（前期の最終月は9月1日から前期の最終日まで、後期の初月は後期の開始日から10月末日までとみなす。以下同じ。）により、休学当月の翌月（休学の開始日が月の初日である場合にあっては、休学当月）から復学当月の前月までの授業料を免除する。

一 第38条第1項に規定する授業料の納期までに休学を願い出た場合

二 第42条の規定により、授業料の徴収猶予の許可を受けている場合

2 前項の規定により、授業料の免除を受けた学生が、第38条第1項に規定する授業料の納期より後に復学した場合にあっては、復学当月から当該学期末までに係る授業料を、直ちに納付しなければならない。

(退学者等の授業料)

第41条 退学又は除籍の場合であっても、その学期に属する分の授業料は、納付しなければならない。ただし、学生が退学を許可され、次の各号のいずれかに該当する場合は、月割により、退学当月の翌月以降の授業料を免除する。

一 第38条第1項に規定する授業料の納期までに退学を願い出た場合

二 次条の規定により、授業料の徴収猶予の許可を受けている場合

2 停学を命ぜられた場合であっても、その期間中の授業料は、納付しなければならない。

3 前2項の規定にかかわらず、第46条第7号に規定する死亡による除籍となった者の除籍日の属する学期の未納の授業料は全額を免除することがある。

(入学料及び授業料の免除又は徴収猶予)

第42条 入学料及び授業料は、別に定める基準により、免除又は徴収猶予することができる。

(授業料返還の特例)

第43条 第39条の規定にかかわらず、第38条第3項の規定に基づき授業料を納付した者が、入学年度の前年度の3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申出により、当該授業料に相当する額を返還する。

- 2 第 39 条の規定にかかわらず、授業料を納付した者において、当該授業料に係る期間に、休学した者については、月割により、休学当月の翌月（休学の開始日が月の初日である場合にあっては休学当月）から復学当月の前月までの授業料を、卒業、退学又は除籍により在籍しなくなった者については、月割により、卒業日、退学日又は除籍日の属する月の翌月以降の授業料を返還する。

第 7 章 表彰及び懲戒並びに除籍

（表彰）

第 4 4 条 学生に表彰に値する行為があったときは、表彰することがある。

- 2 表彰に関し必要な事項は、別に定める。

（懲戒）

第 4 5 条 学生が法令若しくは本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為を行ったときは懲戒する。

- 2 懲戒は、退学、停学及び訓告とする。

- 3 懲戒に関し必要な事項は、別に定める。

（除籍）

第 4 6 条 次の各号のいずれかに該当する者は、除籍する。

- 一 学力劣等で成業の見込みがないと認められるとき。
- 二 在学期間が第 6 条に規定する年数を超えるとき。
- 三 休学期間が第 19 条第 4 項に基づき別に定める期間を超えるとき。
- 四 入学料の免除若しくは徴収猶予を許可されなかった者又は半額免除若しくは徴収猶予を許可された者が、納付すべき入学料を所定の期日までに納付しなかったとき。
- 五 授業料の納付を怠り、督促しても、なお、納付しなかったとき。
- 六 第 19 条第 2 項の規定により休学を命ぜられた行方不明の学生が、別に定める休学期間を経過しても復学できないとき。
- 七 死亡となったとき。

第 8 章 科目等履修生等

（科目等履修生）

第 4 7 条 本学の学生以外の者で、本学が開設する授業科目のうち一又は複数の授業科目を履修することを願い出る者があるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

- 2 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

（特別聴講学生）

第 4 8 条 他の大学との協定に基づき、国内の他の大学の学生で本学が開設する授業科目を履修することを願い出る者があるときは、特別聴講学生として入学を許可することがある。

- 2 特別聴講学生に関し必要な事項は、別に定める。

（海外交流学生）

第 4 9 条 本学と外国の大学との学術交流協定等に基づき、本学の教員の下で教育研究指導を受けることについて当該大学の学部学生から志願がある場合に

は、海外交流学生として、入学を許可することがある。

2 海外交流学生に関し必要な事項は、別に定める。

(海外訪問学生)

第50条 本学と外国の大学との相互了解に基づき、本学の教員の下で教育研究指導を受けることについて当該大学の学部学生から志願がある場合には、本学において教育研究上有益と認められ、支障のない場合に限り、海外訪問学生として入学を許可することがある。

2 海外訪問学生に関し必要な事項は、別に定める。

(短期交流学生)

第51条 本学の教員の下で特定の事項について短期の教育研究指導又は研修を受けることについて、国内の他の大学等の学生から志願がある場合には、本学において教育研究上有益と認められ、支障のない場合に限り、短期交流学生として、受入を許可することがある。

2 短期交流学生に関し必要な事項は、別に定める。

第9章 寄宿舍

(寄宿舍)

第52条 本学に、寄宿舍を置く。

2 寄宿舍に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この学則は、令和6年10月1日から施行する。

2 第2条第1項に定めるもののほか、本学に、次の学部及び学科（以下「旧学部等」という。）を置く。

理学部	数学科
	物理学科
	地球惑星科学科
工学部	化学工学科
	電気電子工学科
	情報工学科
	土木・環境工学科
生命理工学部	生命科学科

3 旧学部等は、この学則の施行の日（以下「施行日」という。）前に東京工業大学に入学し、施行日において引き続き当該学部等に在学する者が当該学部等に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

別表1（第3条関係）

学院・学部	系・学科	専攻	入学定員 人	編入学定員 人	収容定員 人
理学院	数学系	—	151		604

	物理学系 化学系 地球惑星科学系				
計			151		604
工学院	機械系 システム制御系 電気電子系 情報通信系 経営工学系	—	358		1,432
	(第3年次相当編入 学定員)			9	18
計			358	9	1,450
物質理工学院	材料系 応用化学系	—	183		732
	(第3年次相当編入 学定員)			5	10
計			183	5	742
情報理工学院	数理・計算科学系 情報工学系	—	92		368
	(第3年次相当編入 学定員)			2	4
計			92	2	372
生命理工学院	生命理工学系	—	150		600
	(第3年次相当編入 学定員)			10	20
計			150	10	620
環境・社会 理工学院	建築学系 土木・環境工学系 融合理工学系	—	134		536
	(第3年次相当編入 学定員)			4	8
計			134	4	544
学院計			1,068	30	4,332

医学部	医学科	—	85		510
	(第2年次編入学定員)			5	25
	保健衛生学科	看護学専攻	55		220
		検査技術学専攻	35		140
計			175	5	895
歯学部	歯学科	—	53		318
	口腔保健学科	口腔保健衛生学専攻	22		88
		口腔保健工学専攻	10		40
		(第2年次編入学定員)		5	15
計			85	5	461
学部計			260	10	1,356
合計			1,328	40	5,688

別表2 (第36条関係)

学院	免許状の種類	免許教科
理学院	中学校教諭一種免許状	数学, 理科
	高等学校教諭一種免許状	数学, 理科
工学院	高等学校教諭一種免許状	情報, 工業
物質理工学院	中学校教諭一種免許状	理科
	高等学校教諭一種免許状	理科, 工業
情報理工学院	中学校教諭一種免許状	数学
	高等学校教諭一種免許状	数学, 情報
生命理工学院	中学校教諭一種免許状	理科
	高等学校教諭一種免許状	理科
環境・社会理工学院	高等学校教諭一種免許状	工業

○東京科学大学（仮称）大学院学則（案）

目次

- 第1章 総則（第1条—第12条）
- 第2章 入学，進学，再入学，転入学及び編入学（第13条—第24条）
- 第3章 休学，留学，退学，転学並びに転学院及び転系等（第25条—第30条）
- 第4章 授業科目，単位数及び履修方法等（第31条—第38条）
- 第5章 履修の認定及び学位等（第39条—第49条）
- 第6章 入学料及び授業料（第50条—第56条）
- 第7章 表彰及び懲戒並びに除籍（第57条—第59条）
- 第8章 科目等履修生等（第60条—第66条）
- 第9章 寄宿舍（第67条）
- 第10章 国際連携専攻（第68条—第73条）

附則

第1章 総則

（趣旨）

第1条 この学則は、学校教育法（昭和22年法律第26号。以下「学教法」という。）第100条及び国立大学法人東京科学大学（仮称）組織運営規則（令和 年規則第 号。次条において「組織運営規則」という。）第 条第 項に基づき東京科学大学（仮称）（以下「本学」という。）大学院（以下「本学大学院」という。）に置く学院及び研究科の標準修業年限，教育課程その他の学生の修学上必要な事項を定めるものとする。

（学院及び研究科）

第2条 本学大学院に置く学院及び研究科は，次のとおりとする。

理学院

工学院

物質理工学院

情報理工学院

生命理工学院

環境・社会理工学院

医歯学総合研究科

保健衛生学研究科

2 前項に規定する学院及び研究科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的及び位置は，組織運営規則第 条第 項の定めるところによる。

（課程）

第3条 本学大学院に，次の課程を置く。

一 修士課程

二 博士課程

三 専門職学位課程（学教法第99条第2項に規定する専門職大学院の課程をいう。以下同じ。）

2 前項第2号の博士課程の種類は，次のとおりとする。

- 一 前期 2 年の課程及び後期 3 年の課程に区分するもの（以下「区分制博士課程」という。）
 - 二 前期及び後期の区分を設けないもの（次号を除く。以下「一貫制博士課程」という。）
 - 三 大学院設置基準（昭和 49 年文部省令第 28 号。）第 44 条に規定する医学又は歯学を履修するもの（以下「医学又は歯学を履修する博士課程」という。）
 - 四 後期の課程のみのもの（以下「後期 3 年博士課程」という。）
- 3 前項第 1 号に規定する前期 2 年の課程は、これを修士課程として取り扱うものとする。
 - 4 第 2 項第 1 号に規定する後期 3 年の課程は、「博士後期課程」という。
（入学定員及び収容定員並びに系，コース及び専攻）
- 第 4 条 本学大学院の入学定員及び収容定員は，別表 1 のとおりとする。
- 2 学院に，教育上の目的に応じて，専門教育実施の基本的な単位として系を置く。
 - 3 前項の系のほか，環境・社会理工学院に，イノベーション創出のリーダーとして科学技術を活用し，自ら理論を構築して産業や社会の発展に貢献する実務家を養成するため，技術経営専門職学位課程（前条第 1 号第 3 項に規定する専門職学位課程として置かれるものをいう。以下同じ。）を置く。
 - 4 第 2 項の系に，教育プログラムとしてコースを置く。
 - 5 前項に規定するコースのうち，新たに社会が求める学術分野の人材を育成するために設けられた複数の学問領域からなる学際的教育プログラムとしてのコース（以下第 12 条第 2 項，別表 1 (1) 及び別表 2 (1) の 1 において「複合系コース」という。）は，複数の系に跨って置くことができる。
 - 6 研究科に，専門分野の教育研究を行うため，専攻を置く。
 - 7 前項の専攻のうち、医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻に教育研究分野を置き、医歯学総合研究科博士課程及び保健衛生学研究科看護先進科学専攻の講座に教育研究分野を置く。
 - 8 第 6 項の専攻には，大学院設置基準第 35 条に定める国際連携専攻を含むものとする。
 - 9 学院に置く第 2 項から第 5 項までの系及びコース並びに技術経営専門職学位課程並びに研究科に置く前 2 項の専攻は，別表 1 のとおりとする。
 - 10 医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻に，医療管理政策学コース及びグローバルヘルスリーダー養成コースを置く。
 - 11 前項の医療管理政策学コースは，これを次のコースに区分するものとする。
 - 一 医療管理学コース
 - 二 医療政策学コース（課程の目的）
- 第 5 条 修士課程（区分制博士課程にあつては第 3 条第 2 項第 1 号に規定する前期 2 年の課程をいう。以下同じ。）は，広い視野に立って精深な学識を授け，専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が要求される職業

を担うための卓越した能力を培うことを目的とする。

- 2 博士課程（区分制博士課程にあっては博士後期課程をいう。）は、専攻分野について、独創的研究によって従来の学術水準に新しい知見を加えるとともに、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。
- 3 専門職学位課程は、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことを目的とする。

（標準修業年限等）

第6条 本学大学院の標準修業年限は、次のとおりとする。

学院・研究科	課程	専攻・コース	標準修業年限
学院	区分制	—	5年
	博士課程	修士課程	2年
		博士後期課程	3年
	専門職学位課程	—	2年
医歯学総合研究科	修士課程	医歯理工保健学専攻	2年
		医療管理政策学コース	—
		医療管理学コース	1年
		医療政策学コース	2年
		グローバルヘルスリーダー養成コース	2年
	医学又は歯学を履修する博士課程	医歯学専攻	4年
		東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻	5年
		東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻	5年
		東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻	4年
	後期3年博士課程	生命理工医療科学専攻	3年
保健衛生学研究科	一貫制博士課程	看護先進科学専攻	5年

- 2 前項の規定にかかわらず、第38条第3項に規定する清華大学との大学院合同プログラムを履修する者の標準修業年限は、2年6月とする。
- 3 第1項の規定にかかわらず、専門職学位課程においては、主として実務の経験を有する者に対して教育を行う場合であって、かつ、昼間と併せて夜間その

他特定の時間又は時期において授業を行う等の適切な方法により教育上支障を生じない場合は、その標準修業年限を1年以上2年未満の期間とすることができる。

- 4 前3項の規定にかかわらず、再入学者、転入学者及び編入学者の標準修業年限は、過去に本学大学院又は他の大学の大学院において在学していた期間及び当該期間に修得した授業科目等を考慮して定める。

(標準修業年限を超える期間にわたる教育課程の履修)

第7条 学生が、職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、当該学院及び研究科において支障のない場合に限り、その計画的な履修(次項において「長期履修」という。)を認めることがある。

- 2 前項のほか、長期履修に関し必要な事項は、別に定める。

(在学年限)

第8条 在学期間は、標準修業年限の2倍までとすることができる。

- 2 前項の規定にかかわらず、東京科学大学(仮称)・チリ大学国際連携医学系専攻については、在学期間を6年まで延長することができる。

- 3 第1項の規定にかかわらず東京科学大学(仮称)・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻については、在学期間を8年まで延長することができる。

- 4 前各項の規定にかかわらず、再入学者、転入学者及び編入学者の在学年限は、過去に本学大学院又は他の大学の大学院において在学していた期間及び当該期間に修得した授業科目等を考慮して定める。

(学年)

第9条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第10条 学年を、次の2学期に分ける。

前期 4月1日から毎年度において学長が定める9月中の日まで

後期 前期最終日の翌日から翌年3月31日まで

- 2 前項に定める各学期を、前半及び後半に分けることができるものとする。

- 3 前2項の規定にかかわらず、学長は本学大学院において必要と認めるときは、各学期の始期及び終期を変更することができる。

(休業日)

第11条 学生の休業日は、次に掲げるとおりとする。

一 日曜日

二 土曜日

三 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

四 創立記念日(月 日)

五 春期休業日、夏期休業日及び冬期休業日

- 2 前項の規定にかかわらず、教育上必要がある場合には、休業日に授業を行うことができる。

- 3 第1項第5号の期間は、その都度、学長が別に定める。

4 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。
(教授会又は研究科委員会の審議及び学長の決定事項)

第12条 入学、修了、学位の授与その他学生の在籍に関する事項及び教育課程の編成に関する事項は、学院の教授会又は研究科の研究科委員会の議を経て、学長が決定する。

2 前項の規定にかかわらず、複合系コースを選択する学生に係る入学、修了、学位の授与その他学生の在籍に関する事項については、当該学生の所属する学院の教授会の議を経て、学長が決定する。

第2章 入学、進学、再入学、転入学及び編入学

(修士課程、専門職学位課程及び一貫制博士課程の入学資格)

第13条 修士課程、専門職学位課程及び一貫制博士課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

一 学教法第83条に規定する大学(以下第10号及び第11号において同じ。)を卒業した者

二 学教法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者

三 外国において学校教育における16年の課程を修了した者

四 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

五 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

六 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者

七 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

八 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)

九 学教法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者

十 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

十一 大学に3年以上在学し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績

をもって修得したものと認めた者

十二 外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

十三 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

十四 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

（博士後期課程及び後期 3 年博士課程の入学資格）

第 14 条 博士後期課程及び後期 3 年博士課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

一 修士の学位又は専門職学位を有する者

二 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

三 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

四 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

五 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者

六 外国の学校、第 4 号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

七 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）

八 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者（医学又は歯学を履修する博士課程医歯学専攻の入学資格）

第 15 条 医学又は歯学を履修する博士課程医歯学専攻（以下「博士課程医歯学専攻」という。）に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

一 大学の医学、歯学、薬学又は獣医学（修業年限が 6 年のものに限る。）を履修する課程を卒業した者

二 外国において、学校教育における 18 年の課程（最終の課程は医学、歯学、

薬学又は獣医学)を修了した者

三 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程(最終の課程は医学, 歯学, 薬学又は獣医学)を修了した者

四 我が国において, 外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程(最終の課程は, 医学, 歯学, 薬学又は獣医学)を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって, 文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

五 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について, 当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において, 修業年限が5年以上である課程(最終の課程は, 医学, 歯学, 薬学又は獣医学)を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設(前号の指定を受けたものに限る。)において課程を修了することを含む。)により, 学士の学位に相当する学位を授与された者

六 文部科学大臣の指定した者(昭和30年文部省告示第39号)

七 学教法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって, 当該者を本学大学院において大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者

八 本学大学院において, 個別の入学資格審査により, 大学(医学, 歯学, 薬学(修業年限が6年のものに限る。))又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。)を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で, 24歳に達した者

九 大学(医学, 歯学, 薬学(修業年限が6年のものに限る。))又は獣医学)に4年以上在学し, 本学大学院において, 所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

十 外国において学校教育における16年の課程(最終の課程は医学, 歯学, 薬学又は獣医学)を修了し, 本学大学院において, 所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

十一 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程(最終の課程は医学, 歯学, 薬学又は獣医学)を修了し, 本学大学院において, 所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

十二 我が国において, 外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程(最終の課程は, 医学, 歯学, 薬学又は獣医学)を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって, 文部科学大臣が別に指定するもの

の当該課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

(医学又は歯学を履修する博士課程国際連携専攻の入学資格)

第16条 医学又は歯学を履修する博士課程国際連携専攻（以下「博士課程国際連携専攻」という。）に入学することのできる者は、前条各号のいずれかに該当し、かつ共同で教育課程を編成した外国の大学院（以下「国際連携大学」という。）の入学資格を満たす者とする。

(進学)

第17条 学院の修士課程又は専門職学位課程を修了して、引き続き学院の博士後期課程に進学（志願する学院又は系が、修士課程又は専門職学位課程における学院又は系若しくは技術経営専門職学位課程と異なる場合も含む。）することを願い出た者に対しては、選考の上、進学を許可する。

2 研究科の修士課程を修了して、引き続き研究科の医学又は歯学を履修する博士課程又は後期3年博士課程に進学することを願い出た者に対しては、選考の上、進学を許可する。

(入学の時期)

第18条 入学の時期は、学期の始めとする。

(入学志願の手続き)

第19条 入学志願者は、入学願書に所定の書類と別に定める検定料を添えて、願い出なければならない。

2 前項の検定料は、別に定めるところにより、免除することがある。

3 一度納付した検定料は、別に定めがある場合を除き返還しない。

4 入学志願の時期は、その都度決定して公告する。

(入学者選考)

第20条 入学志願者に対しては、学力その他に基づき選考の上、入学者を決定する。

2 前項の入学者選考の方法、期日等については、その都度決定して公告する。

3 前2項に定めるもののほか、入学者選考に関し必要な事項は、別に定める。

(再入学)

第21条 本学大学院を修了した者又は第27条の規定により退学した者が再び入学を願い出たときは、前条の規定にかかわらず、収容定員に余裕がある場合に限り、別に定めるところにより、選考の上、入学を許可することがある。

(転入学)

第22条 他の大学の大学院に在学している者で、本学大学院に転入学を願い出る者があるときは、収容定員に余裕がある場合に限り、別に定めるところにより、学力その他について選考の上、入学を許可することがある。

(編入学)

第23条 第14条各号のいずれかに該当する者で、本学大学院一貫制博士課程に編入学を願い出る者があるときは、別に定めるところにより、学力その他に基づき選考の上、入学を許可することがある。

(誓約書)

第24条 入学を許可された者は、所定の誓約書を提出し、これに記載された事項を守らなければならない。

第3章 休学，留学，退学，転学並びに転学院及び転系等

(休学)

第25条 傷病その他やむをえない理由のため一定期間以上学修することができないときは、許可を受けて休学することができる。

2 傷病のため学修することが不相当と認められる学生及び行方不明の学生に対しては、休学を命ずることがある。

3 休学した期間は、在学期間に算入しない。

4 休学に関し必要な事項は、別に定める。

(留学)

第26条 外国の大学又はこれに相当する高等教育機関等に留学しようとするときは、願い出て留学することができる。

2 留学した期間は、在学期間に算入する。

3 留学に関し必要な事項は、別に定める。

(願いによる退学)

第27条 傷病その他やむをえない事情があるときは、願い出て退学することができる。

(転学)

第28条 他の大学の大学院に転学しようとするときは、あらかじめ許可を受けなければならない。

(転学院，転系及びコースの変更並びに転専攻)

第29条 学院に所属する者のうち、転学院若しくは転系（技術経営専門職学位課程を含む。）又は選択するコースの変更を志願するものについては、別に定めるところにより、許可することがある。

2 研究科に所属する者のうち、転専攻を志願するものについては、別に定めるところにより、許可することがある。

(教育研究分野の変更)

第30条 研究科に所属する者が教育研究分野の変更を願い出たときは、やむを得ない理由があると研究科長が判断した場合に限り、変更を許可することがある。

第4章 授業科目，単位数及び履修方法等

(授業科目，単位数及び履修方法等)

第31条 本学大学院の教育上の目的を達成するために必要な授業科目，単位数及び履修方法等については、別に定める。

(教育方法)

第32条 本学大学院の教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）によって行う。

2 前項に定めるもののほか、専門職学位課程の教育は、専攻分野に応じ体系的

かつ実践的な教育課程を編成し、第5条第3項に規定する目的を達成するために適切な方法によって行う。

（教育方法の特例）

第33条 本学大学院において教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適切な方法により教育を行うことができる。

（研究指導委託）

第34条 学生が他の大学院、研究所又は高度の水準を有する病院（以下「他の大学院等」という。）において研究指導を受けることが教育上有益であると本学大学院において認めるときは、別に定めるところにより、あらかじめ、当該他の大学院等と協議の上、学生が当該他の大学院等において研究指導の一部を受けることを認めることがある。ただし、修士課程の学生にあっては、その期間は1年を超えないものとする。

（授業の方法）

第35条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの方法の併用により行う。

2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。ただし、専門職学位課程においては、十分な教育効果が得られる専攻分野に関して、当該効果が認められる授業について、これを行うことができるものとする。

3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

4 第1項の授業及び研究指導の一部を、本学の校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

5 前各項に定めるもののほか、専門職学位課程においては、その目的を達成し得る実践的な教育を行うことができるよう専攻分野に応じ事例研究、現地調査又は、双方向若しくは多方向に行われる討論若しくは質疑応答その他の適切な方法により授業を行う等適切に配慮しなければならない。

6 前各項に定めるもののほか、授業の方法に関し必要な事項は、別に定める。

（成績評価基準等の明示等）

第36条 本学大学院においては、学生に対して、授業及び研究指導の方法及び内容並びに1年間の授業及び研究指導の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 本学大学院においては、学修の成果及び学位論文に係る評価並びに修了の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準に従って適切に行うものとする。

（教育内容等の改善のための組織的な研修等）

第37条 本学大学院においては、学生に対する教育の充実を図るため、授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施

するものとする。

(学院に置く教育プログラム等及び研究科に置くコース等)

第38条 本学大学院に、学院における修士課程及び博士後期課程の一貫教育プログラムとして、次の教育課程を置く。

リーダーシップ教育課程

グローバルリーダー教育課程

環境エネルギー協創教育課程

情報生命博士教育課程

グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント教育課程

物質・情報卓越教育課程

超スマート社会卓越教育課程

エネルギー・情報卓越教育課程

2 前項の教育課程に関し必要な事項は、別に定める。

3 本学大学院に、学院と清華大学が共同して実施する大学院の合同プログラム(以下「清華大学との大学院合同プログラム」という。)を置く。

4 医歯学総合研究科に、履修上の区分として、次のコース又はプログラムを置く。

先制医療学コース

先制医歯理工学コース

臨床疫学プログラム

5 保健衛生学研究科看護先進科学専攻に、履修上の区分として、災害看護グローバルリーダー養成コースを置く。

第5章 履修の認定及び学位等

(授業科目の履修の認定)

第39条 授業科目の履修の認定については、別に定める。

(他の研究科における授業科目の履修等)

第40条 本学大学院の研究科において教育上有益と認めるときは、学生が本学大学院の他の研究科の授業科目を履修すること又は当該他の研究科において研究指導の一部を受けることを認めることがある。

2 前項の規定により履修した他の研究科の授業科目について修得した単位は、15単位を超えない範囲で学生の所属する研究科における授業科目の履修により修得したものとして認定することができる。ただし、次条第1項及び第42条第1項の規定により本学大学院の研究科において修得したものとして認定する単位数と合わせて20単位を超えないものとする。

(他の大学院における授業科目の履修等)

第41条 本学大学院において教育上有益と認めるときは、学生が他の大学の大学院において履修した授業科目について修得した単位を、15単位(区分制博士課程にあっては修士課程及び博士後期課程を通じて15単位)を超えない範囲で本学大学院における授業科目の履修により修得したものとして認定することができる。ただし、研究科においては、前条第1項及び次条第1項の規定

により本学大学院の研究科において修得したものとして認定する単位数と合わせて 20 単位を超えないものとする。

- 2 前項の規定は、学生が、第 25 条の規定により休学し、当該休学期間中に外国の大学において授業科目を履修する場合、第 26 条の規定により外国の大学に留学する場合、外国の大学等が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学等の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

（入学前の既修得単位の認定）

第 4 2 条 本学大学院において教育上有益と認めるときは、学生が本学大学院に入学する前に大学院において履修した授業科目について修得した単位（大学院設置基準第 15 条の規定により準用する大学設置基準（昭和 31 年文部省令第 28 号）第 31 条第 1 項に規定する科目等履修生及び同条第 2 項に規定する特別の課程（履修証明プログラム）履修生として修得した単位を含む。）を、本学大学院における授業科目の履修により修得したものとして認定することができる。

- 2 前項の規定により本学大学院（専門職学位課程を除く。以下この項において同じ。）において認定することができる単位数は、編入学及び転入学の場合を除き、本学大学院において修得した単位以外のものについては、15 単位を超えないものとし、かつ、第 40 条第 1 項及び前条第 1 項（同条第 2 項において準用する場合を含む。）の規定により本学大学院において修得したものとして認定する単位数と合わせて 20 単位を超えないものとする。

- 3 第 1 項の規定により専門職学位課程において認定することができる単位数は、転入学の場合を除き、当該課程において修得した単位以外のものについては、前条第 1 項（同条第 2 項において準用する場合を含む。）の規定により本学専門職学位課程において修得したものとして認定する単位数と合わせて 15 単位を超えないものとする。ただし、別に定めがある場合はこの限りでない。

（修士課程修了の要件）

第 4 3 条 修士課程の修了の要件は、当該課程に 2 年（清華大学との大学院合同プログラムを履修する者にあつては 2 年 6 月、第 4 条第 10 項第 1 号に規定する医療管理学コースを履修する者にあつては 1 年）以上在学し、所定の授業科目について 30 単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、1 年以上在学すれば足りるものとする。

- 2 前項の場合において、学院又は研究科が修士課程の目的に応じ適当と認めるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。

- 3 第 1 項の規定にかかわらず、学院に所属する者の在学期間に関しては、前条の規定により当該学院の修士課程に入学する前に修得した単位（学教法第 102

条第1項の規定により入学資格を有した後、修得したものに限る。)を当該課程において修得したものとして認定する場合であって、当該単位の修得により当該課程の教育課程の一部を履修したと教授会が認めるときは、当該単位数、その修得に要した期間その他を勘案して1年を超えない範囲で当該課程に在学したものとみなすことができる。ただし、この場合においても、当該課程に少なくとも1年以上在学するものとする。

(博士課程修了の要件)

第44条 区分制博士課程の修了の要件は、本学大学院の学院に5年(修士課程又は専門職学位課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学し、所定の授業科目について54単位以上(博士後期課程における24単位以上の修得単位を含む。)修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、3年(修士課程又は専門職学位課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学すれば足りるものとする。

2 前条第1項ただし書の規定による在学期間をもって修士課程を修了した者の区分制博士課程の修了の要件については、前項中「5年(修士課程又は専門職学位課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)」とあるのは「修士課程における在学期間に3年を加えた期間」と、「3年(修士課程又は専門職学位課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)」とあるのは「3年(修士課程における在学期間を含む。)」と読み替えて、同項の規定を適用する。

3 前2項の規定にかかわらず、第14条各号のいずれかに該当する者(第17条に規定する進学を許可された者を除く。)が、博士後期課程に入学した場合の区分制博士課程の修了の要件は、当該課程に3年以上在学し、所定の授業科目について24単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、1年(2年未満の在学期間をもって修士課程を修了した者にあつては、当該在学期間を含めて3年)以上在学すれば足りるものとする。

4 第1項ただし書及び前項ただし書の規定による在学期間をもって修了する場合の修了の要件としての修得すべき単位数は、別に定める。

(研究科の博士課程修了の要件)

第45条 博士課程医歯学専攻の修了の要件は、当該専攻に4年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、3年以上在学すれば足りるものとする。

- 2 博士課程国際連携専攻の修了の要件は、当該専攻に第6条第1項に定める標準修業年限以上在学し、研究科が定めた所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、修了に必要な単位数には、第40条から第42条までの規定により修得したものとみなす単位を含まないものとする。
- 3 後期3年博士課程の修了の要件は、当該課程に3年以上在学し、所定の授業科目について20単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、1年（2年未満の在学期間をもって修士課程を修了した者にあつては、当該在学期間を含めて3年）以上在学すれば足りるものとする。
- 4 一貫制博士課程の修了の要件は、当該課程に5年（修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学し、所定の授業科目について38単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、3年（修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。
- 5 前項の規定にかかわらず、標準修業年限を1年以上2年未満とした修士課程を修了した者及び優れた研究業績を上げ1年以上の在学期間をもって修士課程を修了した者で、当該研究科が優れた研究業績を上げたと認めるものの在学期間に関しては、当該課程に修士課程における在学期間（2年を限度とする。）を含めて3年以上在学すれば足りるものとする。

（専門職学位課程修了の要件）

第46条 専門職学位課程の修了の要件は、当該課程に2年以上在学し、所定の授業科目について40単位以上の修得その他の教育課程の履修により課程を修了することとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、在学期間に関しては、第42条の規定により専門職学位課程に入学する前に修得した単位（学教法第102条第1項の規定により入学資格を有した後、修得したものに限る。）を当該課程において修得したのものとして認定する場合であつて、当該単位の修得により当該課程の教育課程の一部を履修したと教授会が認めるときは、当該単位数、その修得に要した期間その他を勘案して1年を超えない範囲で当該課程に在学したものとみなすことができる。

（学位）

第47条 本学大学院を修了した者には、別表2の区分により学位を授与する。

- 2 前項に定めるもののほか、保健衛生学研究科看護先進科学専攻においては、第43条第1項及び第2項に規定する修士課程の修了に相当する要件を満たした者に対しても、修士（看護学）の学位を授与することができる。
- 3 第1項に定めるもののほか、学院においては、学際領域等の分野を専攻した

者で、当該学院が適当と認めるときは、学位に付記する専攻分野の名称を学術とすることができる。

（学位の授与）

第48条 学位の授与については、別に定める東京科学大学（仮称）学位規程（令和 年規程第 号）による。

（教育職員免許状）

第49条 学院において教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に規定する所定の単位を修得した者が取得できる教育職員免許状の種類及び免許教科は、別表3のとおりとする。

第6章 入学料及び授業料

（入学料）

第50条 入学、再入学、転入学及び編入学の選考に合格した者で入学のため所要の手続きをとろうとする者は、所定の期日までに別に定める入学料を納付しなければならない。ただし、第55条の規定により入学料の免除又は徴収猶予を申請した者については、免除又は徴収猶予を許可し、又は不許可とするまでの間、入学料の徴収を猶予する。

（授業料）

第51条 授業料の額は、別に定めるところによるものとし、各年度に係る授業料について、次の区分で納付しなければならない。この場合において、それぞれの学期において納付する額は、年額の2分の1に相当する額とする。

納付区分	納期
前期分	5月31日まで
後期分	11月30日まで

2 前項の規定にかかわらず、学生の申出があったときは、前期分の授業料を徴収するときに、当該年度の後期分の授業料を併せて徴収するものとする。

3 前2項の規定にかかわらず、研究科の入学を許可される者の申出があったときは、入学年度の前期又は前期及び後期の授業料を、入学を許可するときに併せて徴収するものとする。

（既納の入学料及び授業料）

第52条 一度納付した入学料及び授業料は返還しない。

（休学者及び復学者の授業料）

第53条 学生が休学を許可され、又は命ぜられ、次の各号のいずれかに該当する場合は、月割（前期の最終月は9月1日から前期の最終日まで、後期の初月は後期の開始日から10月末日までとみなす。以下同じ。）により、休学当月の翌月（休学の開始日が月の初日である場合にあっては、休学当月）から復学当月の前月までの授業料を免除する。

- 一 第51条第1項に規定する授業料の納期までに休学を願い出た場合
- 二 第55条の規定により、授業料の徴収猶予の許可を受けている場合

- 2 前項の規定により、授業料の免除を受けた学生が、第 51 条第 1 項に規定する授業料の納期より後に復学した場合にあっては、復学当月から当該学期末までに係る授業料を、直ちに納付しなければならない。

(退学者等の授業料)

第 5 4 条 退学又は除籍の場合であっても、その学期に属する分の授業料は、納付しなければならない。ただし、学生が退学を許可され、次の各号のいずれかに該当する場合は、月割により、退学当月の翌月以降の授業料を免除する。

一 第 51 条第 1 項に規定する授業料の納期までに退学を願い出た場合

二 次条の規定により、授業料の徴収猶予の許可を受けている場合

- 2 停学を命ぜられた場合であっても、その期間中の授業料は、納付しなければならない。

- 3 前 2 項の規定にかかわらず、第 59 条第 7 号に規定する死亡による除籍となった者の除籍日の属する学期の未納の授業料は全額を免除することがある。

(入学料及び授業料の免除又は徴収猶予)

第 5 5 条 入学料及び授業料は、別に定める基準により、免除又は徴収猶予することができる。

(授業料返還の特例)

第 5 6 条 第 52 条の規定にかかわらず、第 51 条第 3 項の規定に基づき授業料を納付した者が、入学年度の前年度の 3 月 31 日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申出により、当該授業料に相当する額を返還する。

- 2 第 52 条の規定にかかわらず、授業料を納付した者において、当該授業料に係る期間に、休学した者については、月割により、休学当月の翌月（休学の開始日が月の初日である場合にあっては、休学当月）から復学当月の前月までの授業料を、修了、退学又は除籍により在籍しなくなった者については、月割により、修了日、退学日又は除籍日の属する月の翌月以降の授業料を返還する。

第 7 章 表彰及び懲戒並びに除籍

(表彰)

第 5 7 条 学生に表彰に値する行為があったときは、表彰することがある。

- 2 表彰に関し必要な事項は、別に定める。

(懲戒)

第 5 8 条 学生が法令若しくは本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為を行ったときは、懲戒する。

- 2 懲戒は、退学、停学及び訓告とする。

- 3 懲戒に関し必要な事項は、別に定める。

(除籍)

第 5 9 条 次の各号のいずれかに該当する者は、除籍する。

一 学力劣等で成業の見込みがないと認められるとき。

二 在学期間が第 8 条第 1 項から第 4 項までに規定する年数を超えるとき。

三 休学期間が第 25 条第 4 項に基づき別に定める期間を超えるとき。

四 入学料の免除若しくは徴収猶予を許可されなかった者又は半額免除若し

くは徴収猶予を許可された者が、納付すべき入学料を所定の期日までに納付しなかったとき。

五 授業料の納付を怠り、督促しても、なお、納付しなかったとき。

六 第25条第2項の規定により休学を命ぜられた行方不明の学生が、別に定める休学期間を経過しても復学できないとき。

七 死亡となったとき。

第8章 科目等履修生等

(科目等履修生)

第60条 本学大学院の学生以外の者で、本学大学院が開設する授業科目のうち一又は複数の授業科目を履修することを願ひ出る者があるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

(大学院研究生)

第61条 本学大学院において特定の事項について研究することを願ひ出る者があるときは、本学が適当と認め、かつ、支障のない場合に限り、大学院研究生として入学を許可することがある。

2 大学院研究生に関し必要な事項は、別に定める。

(特別聴講学生)

第62条 国内の他の大学の大学院等(学院においては協定を締結している大学に限る。)の学生で本学大学院が開設する授業科目を履修することを願ひ出る者があるときは、当該他の大学の大学院等と協議して定めるところにより、特別聴講学生として入学を許可することがある。

2 特別聴講学生に関し必要な事項は、別に定める。

(特別研究学生)

第63条 国内の他の大学の大学院等の学生で、本学の学院及び研究科等において研究指導を受けることを志願する者があるときは、当該他の大学の大学院等と協議して定めるところにより、特別研究学生として入学を許可することがある。

2 特別研究学生に関し必要な事項は、別に定める。

(海外交流学生)

第64条 本学と外国の大学との学術交流協定等に基づき、本学の教員の下で教育研究指導を受けることについて当該大学の学部学生及び大学院学生から志願がある場合には、海外交流学生として、入学を許可することがある。

2 海外交流学生に関し必要な事項は、別に定める。

(海外訪問学生)

第65条 本学と外国の大学との相互了解に基づき、本学の教員の下で教育研究指導を受けることについて当該大学の学部学生及び大学院学生から志願がある場合には、本学において教育研究上有益と認められ、支障のない場合に限り、海外訪問学生として入学を許可することがある。

2 海外訪問学生に関し必要な事項は、別に定める。

(短期交流学生)

第66条 本学の教員の下で特定の事項について短期の教育研究指導又は研修を受けることについて、国内の他の大学等の学生から志願がある場合には、本学において教育研究上有益と認められ、支障のない場合に限り、短期交流学生として、受入を許可することがある。

2 短期交流学生に関し必要な事項は、別に定める。

第9章 寄宿舍

(寄宿舍)

第67条 本学に、寄宿舍を置く。

2 寄宿舍に関し必要な事項は、別に定める。

第10章 国際連携専攻

(協議及び措置)

第68条 本学大学院に国際連携専攻を設けるときは、国際連携大学と連携した教育課程（以下「国際連携教育課程」という。）を編成し円滑に実施するため、協議の場に関する事項を別に定める。

2 前項の規定による協議の場は、学長又は学長が指名した者により構成する。

3 学長は、博士課程国際連携専攻の維持に関し相手国の状況（天災、騒乱等）により正常な運営を行うことが出来ないと判断した場合には、国際連携大学の長と協議の上、運営に関し緊急に講ずべき措置について決定する。

(共同開設科目)

第69条 博士課程国際連携専攻は、国際連携大学と共同して授業科目（以下「共同開設科目」という。）を開設することができる。

2 前項の共同開設科目を開設した場合、当該国際連携専攻の学生が当該共同開設科目の履修により修得した単位は、5単位を超えない範囲で当該国際連携専攻又は国際連携大学のいずれかにおいて修得した単位とすることができる。ただし、国際連携大学において修得した単位数が第72条の規定により国際連携大学において修得することとされている単位数に満たない場合は、共同開設科目の履修により修得した単位を国際連携大学において修得した単位数とすることはできない。

(国際連携教育課程の単位認定)

第70条 博士課程国際連携専攻は、国際連携大学において履修した国際連携教育課程に係る授業科目について修得した単位を、当該国際連携教育課程に係る授業科目の履修により修得したものとみなす。

(国際連携専攻の研究指導)

第71条 博士課程国際連携専攻は、学生が国際連携大学において受けた国際連携教育課程に係る研究指導を、当該国際連携教育課程に係るものとみなす。

(国際連携専攻修了要件)

第72条 博士課程国際連携専攻の修了要件は、第45条第2項に定めるもののほか、国際連携専攻において国際連携教育課程に係る授業科目の履修により15単位以上を修得するとともに、それぞれの国際連携大学において当該国際

連携教育課程に係る授業科目の履修により 10 単位以上修得する。

(国際連携専攻の転学, 科目等履修生及び大学院研究生に係る規定の適用除外)
第 73 条 博士課程国際連携専攻については, 第 28 条, 第 60 条及び第 61 条の規定は適用しない。

附 則

- この学則は, 令和 6 年 10 月 1 日から施行する。
- 第 4 条第 9 項及び別表第 1 並びに次項に定める専攻のほか, 次表に掲げる研究科に, 同表に定める専攻を置く。

研究科	専攻	課程
医歯学総合研究科	医歯学系専攻	医学又は歯学を履修する博士課程
保健衛生学研究科	共同災害看護学専攻	一貫制博士課程

- 第 2 条第 1 項に定める研究科のほか, 本学大学院に次表に定める研究科を置き, 同研究科に同表に定める専攻を置く。

研究科	専攻	課程
理工学研究科	建築学専攻	区分制博士課程
生命理工学研究科	生体システム専攻	
総合理工学研究科	環境理工学創造専攻	
	知能システム科学専攻	
	物理情報システム専攻	
社会理工学研究科	価値システム専攻	
	経営工学専攻	
イノベーションマネジメント研究科	イノベーション専攻	後期 3 年博士課程

- 令和 6 年度における保健衛生学研究科共同災害看護学専攻の収容定員は, 2 人(構成大学全体の収容定員は 10 人)とする。
- 第 2 項に定める専攻並びに第 3 項に定める研究科及び専攻(以下「旧研究科等」という。)は, この学則の施行の日(以下「施行日」という。)前に東京工業大学又は東京医科歯科大学(保健衛生学研究科共同災害看護学専攻については同専攻の構成大学)に入学し, 施行日において引き続き当該旧研究科等に在学する者が当該旧研究科等に在学しなくなるまでの間, 存続するものとする。

別表 1 (第 4 条関係)

(1) 学院

学院	系・コース	区分制博士課程				専門職学位	
		修士課程		博士後期課程		課程	
		入学 定員	収容 定員	入学 定員	収容 定員	入学 定員	収容 定員
理学院	数学系	154	308	52	156	—	—

	数学コース 物理学系 物理学コース 化学系 化学コース エネルギー・情報コース ※ 地球惑星科学系 地球惑星科学コース 地球生命コース※						
工学院	機械系 機械コース エネルギー・情報コース ※ エンジニアリングデザインコース※ ライフエンジニアリングコース※ 原子核工学コース※ システム制御系 システム制御コース エンジニアリングデザインコース※ 電気電子系 電気電子コース エネルギー・情報コース ※ ライフエンジニアリングコース※ 原子核工学コース※ 情報通信系 情報通信コース エンジニアリングデザインコース※ ライフエンジニアリングコース※ 経営工学系 経営工学コース エンジニアリングデザインコース※	477	954	169	507	—	—

物質理工学院	材料系 材料コース エネルギー・情報コース※ ライフエンジニアリングコース※ 原子核工学コース※ 応用化学系 応用化学コース エネルギー・情報コース※ ライフエンジニアリングコース※ 原子核工学コース※ 地球生命コース※	347	694	129	387	—	—
情報理工学院	数理・計算科学系 数理・計算科学コース 知能情報コース※ 情報工学系 情報工学コース 知能情報コース※ ライフエンジニアリングコース※ エネルギー・情報コース※	135	270	50	150	—	—
生命理工学院	生命理工学系 生命理工学コース ライフエンジニアリングコース※ 地球生命コース※	168	336	52	156	—	—
環境・社会理工学院	建築学系 建築学コース 都市・環境学コース※ エンジニアリングデザインコース※ 土木・環境工学系 土木工学コース 都市・環境学コース※ エンジニアリングデザ	263	526	115	345	—	—

	インコース※ 融合理工学系 地球環境共創コース エネルギー・情報コース ※ エンジニアリングデザインコース※ 原子核工学コース※ 社会・人間科学系 社会・人間科学コース イノベーション科学系 イノベーション科学コース（博士後期課程のみ）						
環境・社会理工学院	技術経営専門職学位課程	—	—	—	—	40	80
合計		1,544	3,088	567	1,701	40	80
備考：※印は、第4条第5項に規定する複合系コースを示す。							

(2) 研究科

研究科	専攻・コース	修士課程		医学又は歯学を履修する博士課程		一貫制博士課程		後期3年博士課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
医歯学総合研究科	医歯理工保健学専攻	131	257	—	—	—	—	—	—
	医療管理政策学コース （医療管理学コース）	(5)	(5)						
	（医療政策学コース）	(10)	(20)						
	グローバルヘルスリーダー養成コース	(9)	(18)						
	医歯学専攻	—	—	181	724	—	—	—	—
	東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻（＊）	—	—	3	15	—	—	—	—
	東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻（＊）	—	—	3	15	—	—	—	—
	東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻	—	—	3	12	—	—	—	—

	(*)								
	生命理工医療科学専攻	—	—	—	—	—	—	25	75
保健衛生学研究科	看護先進科学専攻	—	—	—	—	13	65	—	—
合計		131	257	190	766	13	65	25	75
備考：									
・*印は、第4条第7項に規定する国際連携専攻を示す。 ・括弧内の数字は、医療管理政策学コース及びグローバルヘルスリーダー養成コースに係る定員の数を内数で示す。									

別表2（第47条関係）

(1) 修士及び博士

学院又は 研究科	系・コース又は専攻	授与する学位（専攻分野）	
		修士	博士
理学院	数学系		
	数学コース	修士（理学）	博士（理学）
	物理学系		
	物理学コース	〃	〃
	化学系		
	化学コース	〃	〃
	エネルギー・情報コース※	〃	〃
	地球惑星科学系		
工学院	地球惑星科学コース	〃	〃
	地球生命コース※	〃	〃
	機械系		
	機械コース	修士（理学） 修士（工学）	博士（理学） 博士（工学）
	エネルギー・情報コース※	〃	〃
	エンジニアリングデザインコース※	〃	〃
	ライフエンジニアリングコース※	〃	〃
	原子核工学コース※	〃	〃
	システム制御系		
	システム制御コース	〃	〃

	エンジニアリングデザインコース※ 電気電子系 電気電子コース エネルギー・情報コース※ ライフエンジニアリングコース※ 原子核工学コース※ 情報通信系 情報通信コース エンジニアリングデザインコース※ ライフエンジニアリングコース※ 経営工学系 経営工学コース エンジニアリングデザインコース※	// // // // // // // // // // //	// // // // // // // // // // //
物質理工 学院	材料系 材料コース エネルギー・情報コース※ ライフエンジニアリングコース※ 原子核工学コース※ 応用化学系 応用化学コース エネルギー・情報コース※ ライフエンジニアリングコース※ 原子核工学コース※ 地球生命コース※	修士（理学） 修士（工学） // // // // // // // // //	博士（理学） 博士（工学） // // // // // // // // //
情報理工 学院	数理・計算科学系 数理・計算科学コース 知能情報コース※ 情報工学系 情報工学コース	修士（理学） // 修士（理学）	博士（理学） // 博士（理学）

	知能情報コース※ ライフエンジニアリングコース※ エネルギー・情報コース※	修士（工学） 〃 〃 〃	博士（工学） 〃 〃 〃
生命理工 学院	生命理工学系 生命理工学コース ライフエンジニアリングコース※ 地球生命コース※	 修士（理学） 修士（工学） 〃 〃	 博士（理学） 博士（工学） 〃 〃
環境・社 会理工学 院	建築学系 建築学コース 都市・環境学コース※ エンジニアリングデザインコース※ 土木・環境工学系 土木工学コース 都市・環境学コース※ エンジニアリングデザインコース※ 融合理工学系 地球環境共創コース エネルギー・情報コース※ エンジニアリングデザインコース※ 原子核工学コース※ 社会・人間科学系 社会・人間科学コース イノベーション科学系 イノベーション科学コース	 修士（工学） 〃 〃 〃 〃 〃 〃 修士（理学） 修士（工学） 〃 〃 〃 〃 ――― ――	 博士（工学） 〃 〃 〃 〃 〃 〃 博士（理学） 博士（工学） 〃 〃 〃 博士（技術経 営） 博士（工学）
医歯学総 合研究科	医歯理工保健学専攻（医療管理政策 学コース及びグローバルヘルスリー	修士（医科学） 修士（歯科学）	

	ダー養成コースを除く。)	修士 (理学) 修士 (工学) 修士 (保健学) 修士 (口腔保健学)	
	医歯理工保健学専攻 (医療管理政策学コース)	修士 (医療管理学) 修士 (医療政策学)	
	医歯理工保健学専攻 (グローバルヘルスリーダー養成コース)	修士 (グローバル健康医学)	
	医歯学専攻		博士 (医学) 博士 (歯学) 博士 (数理医科学) 博士 (学術)
	東京科学大学 (仮称)・チリ大学国際連携医学系専攻 (*)		博士 (医学)
	東京科学大学 (仮称)・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻 (*)		博士 (歯学)
	東京科学大学 (仮称)・マヒドン大学国際連携医学系専攻 (*)		博士 (医学)
	生命理工医療科学専攻		博士 (理学) 博士 (工学) 博士 (保健学) 博士 (口腔保健学)
保健衛生学研究科	看護先進科学専攻		博士 (看護学)

※印は複合系コース

*印は第4条第7項に規定する国際連携専攻を示す。

(2) 専門職

学院	系・コース等	授与する学位 (専攻分野)
環境・社会理工学院	技術経営専門職学位課程	技術経営修士 (専門職)

別表3 (第49条関係)

学院	免許状の種類	免許教科
理学院	中学校教諭専修免許状	数学，理科
	高等学校教諭専修免許状	数学，理科
工学院	高等学校教諭専修免許状	情報，工業
物質理工学院	中学校教諭専修免許状	理科
	高等学校教諭専修免許状	理科，工業
情報理工学院	中学校教諭専修免許状	数学
	高等学校教諭専修免許状	数学，情報
生命理工学院	中学校教諭専修免許状	理科
	高等学校教諭専修免許状	理科
環境・社会理工学院	高等学校教諭専修免許状	工業

○東京科学大学（仮称）教授会通則（案）

（趣旨）

第1条 この通則は、学校教育法（昭和22年法律第26号）第93条及び国立大学法人東京科学大学（仮称）組織運営規則（令和 年規則第 号）の規定に基づき、東京科学大学（仮称）（以下「本学」という。）の学院、リベラルアーツ研究教育院及び科学技術創成研究院（以下「学院等」という。）並びに大学院の研究科、学部、教養部、生体材料工学研究所及び難治疾患研究所（以下「研究科等」という。）に置かれる教授会について定めるものとする。

（構成）

第2条 次の各号に掲げる学院等の教授会は、それぞれ当該各号に定める教員で構成する。

- 一 理学院、工学院、物質理工学院、情報理工学院、生命理工学院及び環境・社会理工学院の各教授会 当該学院に所属する専任の教授、准教授及び講師（以下「教授等」という。）並びに当該学院を担当する専任の教授等。ただし、第4条第1項第3号ハに規定する事項を審議するときは、当該学院に所属する専任の教授等に限る。
 - 二 リベラルアーツ研究教育院（以下「研究教育院」という。）の教授会 研究教育院に所属する専任の教授等及び研究教育院を担当する専任の教授等。ただし、第4条第1項第3号ハに規定する事項を審議するときは、研究教育院に所属する専任の教授等に限る。
 - 三 科学技術創成研究院（以下「研究院」という。）の教授会 研究院に所属する専任の教授等及び研究院を担当する専任の教授等。ただし、第4条第1項第3号ハに規定する事項を審議するときは、研究院に所属する専任の教授等に限る。
- 2 前項第1号及び第3号に定めるもののほか、当該教授会の定めるところにより、当該学院又は研究院に所属する専任の助教及び当該学院又は研究院を担当する専任の助教を加えることができる。ただし、第4条第1項第3号ハに規定する事項を審議するときは、当該学院又は研究院に所属する専任の助教に限るものとする。
- 3 第1項第1号に定めるもののほか、第4条第1項（同条同項第3号ハを除く。）に掲げる事項を審議するときは、当該教授会の議を経て、当該学院に所属する特任教授、特任准教授及び特任講師（以下「特任教授等」という。）並びに当該学院を担当する特任教授等を加えることができる。
- 4 第1項第2号に定めるもののほか、当該教授会の定めるところにより、研究教育院に所属する専任の助教及び研究教育院を担当する専任の助教を加えることができる。ただし、第4条第1項第3号ハに規定する事項を審議するときは、研究教育院に所属する専任の助教に限るものとする。
- 5 第1項第2号に定めるもののほか、第4条第1項第3号イに規定する事項を審議するときは、当該教授会の議を経て、研究教育院に所属する特任教授等を加えることができる。

第3条 次の各号に掲げる研究科等の教授会は、それぞれ当該各号に定める教員で構成する。

一 大学院医歯学総合研究科，大学院保健衛生学研究科，医学部，歯学部及び教養部の各教授会 当該研究科等に所属する専任の教授及び当該研究科等を担当する専任の教授

二 生体材料工学研究所及び難治疾患研究所の各教授会 当該研究所に所属する専任の教授

2 前項に定めるもののほか，当該教授会の定めるところにより，当該研究科等に所属する専任の准教授及び講師並びに当該研究科等を担当する専任の准教授及び講師を加えることができる。

3 第1項に定めるもののほか，特に必要があると認めるときは，当該教授会の議を経て，前2項に定める者以外の本学の専任の教授等を加えることができる。
(審議事項)

第4条 教授会は，学長が次に掲げる事項（研究教育院の教授会にあつては，第3号イ及びハ，研究院並びに生体材料工学研究所及び難治疾患研究所の教授会にあつては，第3号ハに限る。）について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

一 学生の入学，卒業及び課程の修了に関する事項

二 学位の授与に関する事項

三 前2号に掲げるもののほか，教育研究に関する重要な事項で，教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項

イ 教育課程の編成に関する事項

ロ 学生の在籍に関する事項

ハ 別に定める者の教育研究業績の審査に関する事項

2 教授会は，前項に掲げる事項のほか，学長並びに学院等及び研究科等の長（大学院医歯学総合研究科にあつては，大学院医歯学総合研究科副研究科長を含む。）（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し，及び学長等の求めに応じ，意見を述べることができる。
(会議の運営)

第5条 教授会に議長を置き，当該教授会を置く組織の長をもって充てる。

2 議長は，教授会を主宰する。

3 議長に事故があるときは，当該教授会が議長の職務代行者を定める。

(定足数)

第6条 教授会は，別に定めのあるもののほか，半数以上であつて当該教授会が定める割合以上の構成員が出席しなければ，議事を開き，議決することができない。

(議決)

第7条 教授会の議事は，出席した構成員の過半数をもって決し，可否同数のときは，議長の決するところによる。

2 前項の規定にかかわらず，別に定めのあるもののほか，当該教授会が特別の

必要があると認めるときは、別段の定めをすることができる。

（構成員以外の出席）

第 8 条 教授会が必要と認めたときは、教授会構成員以外の者を出席させることができる。

（代議員会等）

第 9 条 教授会は、その定めるところにより、教授会構成員のうちの一部の者で構成する代議員会等を置き、当該代議員会等の議決をもって、教授会の議決とすることができる。

（研究科委員会）

第 10 条 大学院の各研究科に、教授会の審議事項のうち特定の事項について審議を行うため、研究科委員会を置く。

2 前項に定めるもののほか、研究科委員会に関し必要な事項は、当該研究科の長が別に定める。

（雑則）

第 11 条 この通則に定めるもののほか、教授会の運営に関し必要な事項は、当該教授会が定める。

附 則

この通則は、令和 6 年 10 月 1 日から施行する。

目次

1. 設置の趣旨及び必要性	p. 2
2. 研究科・専攻等の特色	p. 18
3. 研究科・専攻等の名称及び学位の名称	p. 22
4. 教育課程の編成の考え方及び特色	p. 23
5. 教員組織の編成の考え方及び特色	p. 50
6. 教育方法、履修指導方法及び修了要件	p. 58
7. 基礎となる学部との関係	p. 87
8. 施設、設備などの整備計画	p. 88
9. 入学者選抜の概要	p. 90
10. 取得可能な資格	p. 95
11. 「大学院設置基準」第2条の2又は第14条による教育方法の実施	p. 96
12. 2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画	p. 97
13. 社会人を対象とした大学教育の一部を本校以外の場所（サテライトキャンパス）で実施する場合	p. 98
14. 多様なメディアを高度に利用して授業を教室以外の場所で履修させる場合の具体的計画	p. 98
15. 通信教育を実施する場合の具体的計画	p. 99
16. 管理運営	p. 99
17. 自己点検・評価	p. 100
18. 情報の公表	p. 100
19. 教育内容等の改善のための組織的な研修等	p. 101
20. 連携大学について	p. 101
21. 協議及び協定について	p. 104
22. 学生の経済的支援に関する取組	p. 107

1. 設置の趣旨及び必要性

ア 設置の趣旨

国立大学法人東京工業大学と国立大学法人東京医科歯科大学は、両法人を統合し、両法人がそれぞれ設置する東京工業大学と東京医科歯科大学を統合することに合意し、令和6年度中の可能な限り早期の統合の実現に向けて、各種準備を進めているところである。

今回の設置は、両大学を統合するため、手続き上、存続大学である東京工業大学（東京科学大学に名称変更予定。後述）に、現に東京医科歯科大学に設置されている医学部、歯学部、大学院医歯学総合研究科及び大学院保健衛生学研究科の2学部2研究科を設置するための手続きを行うものである。

統合を実現することにより、両大学のこれまでの伝統と先進性を活かしながら、統合によってこれまでどの大学も為しえなかった新しい大学の在り方を創出することを目的とする。

なお、今回東京工業大学に設置する2学部2研究科は、現在、東京医科歯科大学に設置されているものと教育研究組織や収容定員に変更はなく、教員組織、校地、校舎、施設、設備、学生支援体制も同一性を保持する。東京医科歯科大学に所属する学生は、統合日において存続大学に移行することとなる。

また、国立大学法人東京工業大学及び東京工業大学は、今回の法人統合及び大学統合に伴い、名称を変更する予定としており、令和5年1月に名称変更に係る事前相談を実施しているところである。

イ 設置に至る経緯

（1）設置大学の沿革

①東京工業大学の沿革

東京工業大学は、明治14年に設立された東京職工学校に端を発し、昭和4年に大学に昇格した。「新設工業大学の育英方針は、学生天賦の独創力を涵養し専攻している技術知識を誤りなく自由に使いこなす能力を附与することにある、すなわち根本学理の素養に重きを置きこれを活用して実地の問題に関する判断を誤らない実地的有能の技術家を作ることにある」を建学の精神とし、東京工業大学の輩出してきた多くの理工系人材は、この精神を受け継ぎ日本の産業界を牽引する原動力として活躍している。

平成28年には、学士課程及び大学院課程（修士課程、博士後期課程及び一部に専門職学位課程）を包有する「学院」を設置し、従来の3学部23学科、6研究科45専攻を6学院に改組した。これにより、学士課程と大学院課程を一貫するカリキュラム編成を可能とし、「1学部1学科制」、

「1 研究科 1 専攻制」の考え方をベースとした大くくりの組織とすることで、学生が自らの興味・関心に基づいて、広い視野の下で俯瞰的かつ体系的に学ぶことを重視し、修学過程における学生の志望や適性判断の変化にも迅速に対応し得る体制を確立した。

現在は、正規課程の学士課程学生約 5,000 人（うち外国人留学生約 250 人）、大学院課程約 5,000 人（うち外国人留学生約 1,500 人）の計約 10,000 人の学生を有する 6 学院と、全学のリベラルアーツ教育の中心を担うリベラルアーツ研究教育院、新たな研究領域の創出と世界トップレベルの研究成果の創出を目指す科学技術創成研究院を中心として、教育研究活動を推進している。

②東京医科歯科大学の沿革

東京医科歯科大学は、学問と教育の聖地である湯島・昌平坂において、医学と歯学の融合を通じて、先進的な医療の実践に従事する日本で唯一の医療系総合大学院大学として「知と癒しの匠」を創造し、人々の健康と社会の福祉に貢献している。

当大学は、明治 32 年に医術開業試験場に附設された東京医術開業試験附属病院（通称永楽病院）に端を発する。その後、昭和 3 年に日本初の国立の歯科医学校として東京高等歯科医学校が創立され、昭和 19 年には医学科を併設し東京医学歯学専門学校と改称した。昭和 21 年に東京医科歯科大学（旧制）となり、昭和 26 年、東京医科歯科大学（新制）が設置された。

このように、国立大学の中で最古の歴史を持つ歯学部をはじめ、国立大学では初めての 4 年制の保健衛生学科の設立など、常に医歯学教育・研究のパイオニアとして歩んできており、その経験をもとに、医学・歯学の領域において、世界を舞台に活躍できる人材、さらには幅広い教養と豊かな人間性、高い倫理観、自ら考え解決する創造性と開拓力、国際性と指導力を備えた人材を育成するため、優秀な教員と最高の設備、そして世界水準の特色あるカリキュラムを築き上げている。

現在は、大学院学生約 1,540 人（うち外国人留学生約 310 人）を有する医歯学総合研究科及び保健衛生学研究科の 2 大学院研究科、学部学生約 1,480 人（うち外国人留学生約 15 人）を有する医学部（医学科、保健衛生学科）及び歯学部（歯学科、口腔保健学科）の 2 学部 4 学科、教養教育を担当する教養部、さらに生体材料工学研究所、難治疾患研究所の 2 研究所を擁し、癒しの心と科学的視点を持った医師、歯科医師、看護師、臨床検査技師、歯科衛生士、歯科技工士の育成は勿論のこと、医療・生命科学領域の研究・学問体系の構築を図りながら、卓越した医療人・研究者の養成に努め、広く人々や社会に貢献することを目指している。

（２）設置に至る経緯

両大学はこれまでも、広く理工学及び医歯学に関する学知と技術、それを自在に応用できる人

材の育成を通して、産業の発展と医療の進歩を牽引してきた。

一方、人類は、これまで想像し得なかった地球環境の悪化、新興・再興感染症、少子高齢化など様々な課題に直面している。そして今後さらに未知の問題が起こる可能性も指摘されている。このような地球規模の課題解決に向けて、大学はその知を結集し、より大きな役割を果たすことが社会から期待されている。しかしながら、多様な課題の解決には、各学問分野単独の取組では限界があり、各学問分野及び学内部局等が連携するだけでも不十分である。両大学の強みである理工学及び医歯学の叡智を融合し、さらにそこに両大学が重視するリベラルアーツ・人文社会科学のみならず芸術を含む幅広い観点からの発想も活かすことで様々な学問領域を自由な発想で結合する。それにより、社会の課題解決に直接貢献する新たな学術分野を生み出すことができる。

また、両法人は、文部科学大臣から指定を受けた指定国立大学法人として、大学改革を牽引することはもとより、国内の競争環境の枠組みから出て、国際的な競争環境の中で世界最高水準の教育研究活動を展開し、ひいては社会の成長とイノベーション創出に貢献することが期待されている。

これらの問題意識と両法人が担うべき役割を踏まえ、国立大学法人東京工業大学と国立大学法人東京医科歯科大学は、令和4年8月9日に両法人の統合に向けた協議を開始した。教育、研究、組織文化、財務、病院経営、キャンパス計画など多角的な検討や、それぞれの大学における、大学構成員、同窓生や関係者との意見交換を経て、同年10月14日に両法人を統合し、両法人が設置する東京工業大学と東京医科歯科大学を統合することについて合意に至った。

ウ 設置の必要性和統合後の展望

(1) 設置の必要性

国立大学法人には、1つの法人に1つの大学を置く方式（1法人1大学）と、国立大学法人東海国立大学機構などのように、1つの法人に複数の大学を置く方式（1法人複数大学）が認められている。

今回の統合においても、法人のみを統合し、統合法人に東京工業大学と東京医科歯科大学の2大学を置くという方式も考えられる。しかしながら、両大学で検討を行った結果、新たな医歯理工学のグランドデザインの下での組織、研究者、教育の融合が進み、医歯理工連携による新たな教育研究や人材創出などシナジー創出が容易となることや、既存の組織に縛られず、自由でフラットな人間関係で、失敗を恐れず挑戦できる組織を一から作ることが可能となり、大きな改革を実行できるという点を踏まえ、両法人は、1法人1大学方式による統合を決断した。

両大学が1つの新しい大学になるために、本設置手続きでは、東京工業大学に、現に東京医科

歯科大学に設置されている医学部、歯学部、大学院医歯学総合研究科及び大学院保健衛生学研究科の2学部2研究科を設置する。

また、新大学が、伝統ある両大学の専門分野、自由な発想や対話から生み出される未知の領域はもとより人文科学・社会科学的視点をも含めた「科学」の発展こそが新大学の目的を達成し、後述する「新大学の目指す姿」を具現化するための原動力となるという認識のもと、これからの「科学」の発展を担い、社会とともに活力ある未来を切り拓いていくという強い意志を表明するため、「東京工業大学」を「東京科学大学」に名称変更する予定としている。

（2）統合後の展望

統合により既存の専門分野の壁を取り払い、多様性、包摂性、公平性を有する環境の中で学生が主体的かつ自由に専門性を極めていく教育を実現するには、教員側の意識改革をはじめ、学生が新学術分野に挑戦したいという高い志を持つための教育体制、すなわち総合知を獲得する教養（リベラルアーツ）教育の提供体制、学士課程から異分野の専門科目を副専門として履修できるなど柔軟な学修機会を提供する体制、学生の多様なキャリアを支援できる学務体制の再編成など、様々な体制整備が必要になる。

統合の理念に基づく新体制の具現化を慎重かつ着実に進める一方で、統合時点では両大学に設置する学位・教育課程及び収容定員については変更せず、統合時点から令和10年3月まで、すなわち第4期中期目標期間の終期までの間は新大学への「移行期間」として位置づけ、教育課程の変更を伴う改組の必要性も含めて、丁寧に議論を進めていく。移行期間中も学生の異分野交流・学修機会を設け、それにより生じる課題にも対応しながら改善を重ね、移行期間後の理想とする形での統合を目指す。

以下では、移行期間中と移行期間後に分けて統合の展望を述べる。

移行期間における展望

統合による教育効果を早く学生に還元できるよう、両大学がこれまで重視してきた初年次からの専門教育、教養・リベラルアーツ教育を中心として、統合以降の新入生に対する、学院・学部の枠を超えた「共に学ぶ」仕組みの速やかな導入を目指す。

具体的には、学院・学部ともに学士課程の4年間又は6年間を通じた教養教育を実施する。アクティブラーニング型・グループワーク形式による学士課程1年次の授業において、異分野の学生が共通の関心領域について深い意見交換・共同作業をする機会を増加させるとともに、教養・リベラルアーツ教育の集大成として完成させる「教養卒論」の取組も共有化を開始する。また、異分野への興味・関心を促す観点から、ノーベル賞受賞者などの著名な科学者の講演から成る「科学・技術の最前線」、地球環境問題や健康被害などについて論じる「環境安全論」、医療データを題材とするプログラム学習である「医療とAI・ビックデータ」など自然科学系科目の履修選択の幅を拡充する。

こうした導入教育の共有化に加えて、専門教育においても、他の専門分野を体系的に学修することができる副専門制度等の導入により、専門とする分野の幅を広げる仕組みを導入する。さらに、専門分野の選択の幅を広げるという観点から、両大学の学院・学部を跨いだ転学科等の仕組みを導入することについても検討する。

これらにより、将来にわたる人格の陶冶に利するとともに、職業人としての能力を高め、活躍の範囲が拡大することが期待できることから、鋭意準備を進めているところである。

移行期間後における展望

A. 教育組織の在り方について

現在、東京工業大学では、前述のとおり、1学部1学科制／1研究科1専攻制を基本とした「学院」を設置している一方、東京医科歯科大学では、学部・研究科を設置しており、両大学の教育組織の佇まいが異なっている。統合時点においては、在校生や両大学を目指している受験生らの混乱を避けるため、これらの組織が並存することとなるが、移行期間中に、両大学における教育課程の内容等について相互理解を深めたうえで、学生にとって最も望ましい在り方について検討を進め、移行期間後に、新大学として理想とする教育組織を設置する。

B. 学士課程教育について

上述した統合時点での教養・リベラルアーツ教育や自然科学系教育の相互乗り入れをさらに強化し、学士課程1年生全員が一緒に学べる教育体制を整備する。また、専門教育においては副専門制度を充実させ、オンラインでの教育と対面での教育のバランスを勘案し、異なるキャンパス間で学ぶ学生であっても自由にかつ主体的に専門の幅を広げることができる仕組みを導入していく。さらに、学生がより早期に本学の医歯理工学のグランドデザインに立脚した教育を受ける機会を得るための、高大接続の活用方法を検討する。

C. 大学院教育について

我が国の大学院教育は、専門的な研究を究めた科学者を育成してノーベル賞受賞者を輩出するなど、多くの成果を挙げてきた。しかし近年、科学技術の世界的リーダーとして活躍し、社会に変革をもたらす高度専門人材としての博士を育成する仕組みの必要性が急激に増している。その要因として、研究分野が既存の専門分野に限定され、新学術分野を創出する素地が育ちにくいこと、新しい産業や医療の原動力となる総合知の教育体系が充実していないことがある。これらの課題を解決するために、コンバージェンス・サイエンス教育の創設を柱とした大学院教育を行い、後述する「新大学の目指す姿」（特に「総合知に基づき未来を切り拓く高度専門人材を輩出」）の実現を目指す。また今日見られる、若者の経済的困窮や就職への不安による博士課程学生数の伸び悩みの課題に対しても、多面的な支援策とキャリア支援の体制を整備することで解決を図る。以下では、3つの教育について述べる。

I. コンバージェンス・サイエンス教育の創設と浸透

学生が一つの基幹となる専門分野に加えて他の専門分野を修得し、両者の知識を融合することで、既存の専門分野にとらわれない知の発見や価値創造が可能になる人材を育成する。異なる学術領域を専門とする複数の指導教員の下、多様な学術背景をもつ学生が世界に通じるリーダーを目指して切磋琢磨する教育体系を築く。また、コースワークでは、英語によるコミュニケーション、リーダーシップ、アントレプレナーシップなど国際性と総合知の育成をサポートする授業を含むものとし、専門力のみならず、トランスファラブルスキルの修得も支援する。

多様な科学を収斂させて獲得できる総合知に基づく「コンバージェンス・サイエンス」を展開できる人材を育成するため、上記の制度・取組を具体化し、実現していくための議論を進めていく。

II. 医歯理工融合コースの設置

コンバージェンス・サイエンスを展開するための基盤の一つが医歯学と理工学の融合にある。そのため、両専門分野に跨る先端的な課題の解決を目指す人材の育成を目的として、新たな大学院教育プログラムを構築する。具体的には、ライフメディカルエンジニアリングや医療系アントレプレナーシップ教育などを分野横断的に展開する医歯理工融合コース（仮称）の立ち上げを検討していく。

III. ビジネススクールへの展開

新大学は大学院教育の目的とする総合知に基づき未来を切り拓く高度専門人材を輩出するための重要なイニシアティブとして、持続可能社会の実現に貢献する新たな産業を生み出す起業家の育成を計画的に進める。具体的にはイノベーション創出のリーダーの養成を目的として設置されている技術経営専門職学位課程を発展させたビジネススクールの新設を準備する。

大学統合を端緒とした、これらの取組の実現を通じて、大学及び大学院教育の改革を中長期的に進めていく。



図1 コンバージェンス・サイエンス

コンバージェンス・サイエンス教育

特定専門分野の深堀だけでなく、2分野以上の専門力による新たな専門分野の開拓へ

多様な社会課題を解決するため、理工学、医歯学、さらには情報学、リベラルアーツ・人文社会科学などを収斂させて獲得できる総合知に基づく「コンバージェンス・サイエンス」を展開できる人材を育成

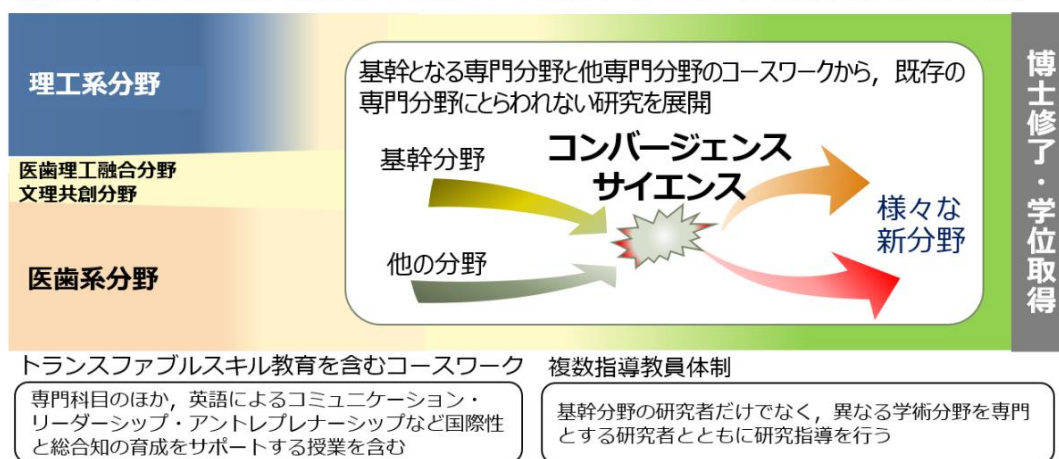


図2 コンバージェンス・サイエンス教育

エ 統合後の大学の建学の精神、教育上の理念、目的、養成する人材像（ディプロマ・ポリシー）等

新大学の目指す姿として、次の4点を掲げている。

(1) 両大学の先端的な研究をさらに推進

根源的な問いに答える研究を尊重し、研究者が自身の興味に根差した研究を行える自

由関連な環境を構築して、両大学の重点分野・戦略分野をさらに強化していく。

(2) 部局等を超えて連携協働し「コンバージェンス・サイエンス」を展開

多様な社会課題に立ち向かうために、理工学、医歯学、さらには情報学、リベラルアーツ・人文社会科学などを収斂させて獲得できる総合知に基づく「コンバージェンス・サイエンス」を展開する。

(3) 総合知に基づき未来を切り拓く高度専門人材を輩出

教養教育と専門教育を有機的に関連させ、現代社会が直面する諸課題に対峙して、真に解決すべき課題を設定し、解決へと導く役割を担う高度専門人材を輩出する。

(4) イノベーションを生み出す多様性、包摂性、公平性を持つ文化

すべての構成員に対して、高度な多様性、包摂性と公平性を実現し、世界に開かれた知の創造と人材育成の場を構築する。

また、新大学の目的及び使命は、以下のとおりである。

大学は、科学に立脚して社会の発展に指導的役割を果たすことのできる市民を育成する。この理念のもとに必要な専門的知識を学生に修得させ、かつ人格の陶冶をなすとともに、理学、工学、医学、歯学、人文社会科学及びこれらの融合学術分野の理論と応用を研究し、その深奥を究めて科学と技術の水準を高めることを大学の目的とし、もって文化の進展に寄与し、地球上全ての構成員の福祉に貢献することをその使命とする。

なお、新大学に設置する医歯学総合研究科の目的及び養成する人材像は、今回の設置の趣旨を踏まえ、現在の東京医科歯科大学におけるものと同様であるが、以下に示す。

○医歯学総合研究科各専攻の目的・養成する人材像

【養成する人材像】

修士課程医歯理工保健学専攻

医学、歯学、生命理工学、保健学を中心とする多分野融合を実現した体系的な教育課程を基に、生命科学領域の相互連携を図り、人類の健康と福祉に関する幅広い知識および高い倫理観を有する医学、歯学、生命理工学、保健学分野の教育者、研究者、技術者等を育成する。

博士課程医歯学専攻

医学と歯学の両分野の専門的知識を熟知し、他分野との緊密な連携により世界をリードする研究者、教育戦略を打ち立て実行できる心豊かな教育者、高い倫理観を有する研究心旺盛な高度専門医療人、そして新しい時代を開拓するオピニオンリーダーを育成する。

博士課程生命理工医療科学専攻

生命理工学および医療科学分野に精通し、生命科学と先端医療との融合的学際分野において幅広い学識と国際的な視野を有し、高度な専門性と実践的問題発見・解決能力を持った人材、とりわけ先端的な研究遂行能力を有する研究者、卓越した学識と優れた人間性を有する教育者、世界の動向や社会の要請に応じて先端的な技術革新を実現するためのマネジメント能力を身につけ医療機関・バイオ産業界で活躍できる人材を養成する。

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

食道・胃・大腸がんの分野（消化器腫瘍学）に応用できる基礎研究及び臨床研究の専門的知識・経験を有し、国家的及び国際的な臨床研究プロジェクトのリーダーになれる人材を養成する。

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

生命科学分野の専門的知識を熟知し、他分野との緊密な連携により世界をリードする研究者、教育戦略を打ち立て実行できる心豊かな教育者、高い倫理観を有する研究心旺盛な高度専門医療人、そして新しい時代を開拓するオピニオンリーダーを育成する。

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

生物医学及び医学の知識のうち、特にがん治療に精通した外科学分野の専門的知識を熟知し、医療ニーズの多様化に即応しうるリサーチマインドを持った、日本及び ASEAN 地域の医学・医療を牽引する高度専門医療人を養成する。また、これにより日本及び ASEAN 地域全体にみられる喫緊の課題を解決することを目指す。

博士課程医歯学系専攻

医学と歯学の両分野の専門的知識を熟知し、他分野との緊密な連携により世界をリードする研究者、教育戦略を打ち立て実行できる心豊かな教育者、高い倫理観を有する研究心旺盛な高度専門医療人、そして新しい時代を開拓するオピニオンリーダーを育成する。

なお、本専攻は、平成 30 年度「先制医療の高度化」を目的として大学院医歯学総合研究科を改組し、上記医歯学専攻を設置したことにより学生募集を停止した

○学生募集停止中の医歯学系専攻の取扱いについて

上記のとおり、本専攻は平成 30 年度以降学生募集を停止しているが、統合を予定している令和 6 年 10 月以降も在籍予定の学生がいることが確認できていることから、これらの学生が不利益を被ることが無いよう、学生募集停止を継続したまま同専攻を東京科学大学（仮称）に設置し、学生が在籍しなくなるまでの間継続する。

なお、本専攻における在籍予定の学生は全員 4 年次（最終年次）に在籍しており、修了要件に

定めている単位は修得済みで学位論文の作成と審査を残すのみであることから、授業科目の開講は行わない。なお、開講科目の取り扱いについては令和5年3月15日に開催された、本学の研究科運営委員会において決定しているところである。

【資料1 学生募集停止した教育組織における科目開講の取扱いについて】

【資料2 研究科運営委員会議事要旨（医系歯系）】

【教育研究上の目的】

○修士課程

急速な進歩を受けて高度に専門化している医学・歯学・生命理工学・臨床検査学・国際保健医療学領域において、出身学部学科で取得した知識・技術を生かしながら、医学・歯学・生命理工学・臨床検査学・国際保健医療学に関する幅広い知識を体系的、集中的に教育することにより、医学・医療、歯学・歯科医療を支える基礎医学・基礎歯学・生命理工学・臨床検査学及び国際保健医療学について豊かな学識を有し、かつ医科学・歯科学・医療管理学・医療政策学・理学・工学・保健学・口腔保健学・グローバル健康医学の一つの専門分野で高度の知識を有する人材を養成する。

○博士課程

イ 世界をリードする研究者の養成

- ① 基礎と臨床の融合を図る臨床指向型研究分野で世界をリードする研究者
- ② 医歯学・数理医科学・生命理工学及び臨床検査学の多分野連携を図る医歯数理生命理工臨床検査学学際型研究分野で世界をリードする研究者

ロ アカデミックドクターの養成

- ① 分化から統合化を目指す全人的診断治療の進歩に貢献する医療人
- ② 医歯学領域を連携させる医歯学統合的医療を遂行出来る医療人

ハ 社会が希求する産業人の養成

- ① 産業界で先端的な技術革新を実現する開発者
- ② 新しい時代を開拓する産業界のオピニオンリーダー

ニ 卓越した学識と優れた人間性を有する教育者の養成

○学位授与の方針

医歯学総合研究科の目的に基づく学習成果の目標として、以下の通り学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を定める。これらのディプロマ・ポリシーについても東京医科歯科大学医歯学総合研究科における内容を踏襲するものである。

（学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー））

修士課程医歯理工保健学専攻

本専攻では、次のような能力・資質を身につけていると認められた者で、かつ所定の単位を収め、本専攻が行う修士論文の審査及び最終試験に合格した者に修士の学位を授与する。

修士（医科学）

- 1) 学術的な研究成果を有し、次世代の医科学の発展を担える研究・開発の能力を有している。
- 2) 医科学に関する専門的な知識と技術を身につけ、医科学領域にて高度な実践を展開できる能力を有している。
- 3) 研究成果や思考過程を的確に伝え、また、理解する能力を有している。

修士（歯科学）

- 1) 学術的な研究成果を有し、次世代の歯科学の発展を担える研究・開発の能力を有している。
- 2) 歯科学に関する専門的な知識と技術を身につけ、歯科学領域にて高度な実践を展開できる能力を有している。
- 3) 研究成果や思考過程を的確に伝える能力を有している。

修士（口腔保健学）

- 1) 学術的な研究成果を有し、次世代の口腔保健学の発展を担える研究・開発の能力を有している。
- 2) 口腔保健学に関する専門的な知識と技術を身につけ、口腔保健学領域における高度な実践を展開できる能力を有している。
- 3) 研究成果や思考過程を的確に伝える能力を有している。

修士（理学）

- 1) 学術的な研究成果を有し、次世代の生命科学の発展を担える研究・開発の能力を有している。
- 2) 生命科学に関する専門的な知識と技術を身につけ、医療・バイオ産業界にて高度な実践を展開できる能力を有している。
- 3) 研究成果や思考過程を的確に伝える能力を有している。

修士（工学）

- 1) 学術的な研究成果を有し、次世代の生体工学の発展を担える研究・開発の能力を有している。
- 2) 生体工学に関する専門的な知識と技術を身につけ、医療・バイオ産業界にて高度な実践を展開できる能力を有している。
- 3) 研究成果や思考過程を的確に伝える能力を有している。

修士（保健学）

- 1) 臨床検査学および関連領域における専門的な知識と技術を身につけ、科学的能力と倫理観に

根ざす実践的能力を有している。

- 2) 臨床検査学および関連領域における将来の指導者、教育者、研究者となるための基盤を有している。

修士（グローバル健康医学）

- 1) 公衆衛生学、疫学、生物統計学、ヘルスシステム、母子保健、環境保健、産業保健などグローバルな観点における公衆衛生学について習熟し、統計解析ができる。
- 2) 本学の持つ海外拠点等を活用し、グローバルヘルスについて現場のデータを収集し、予防戦略を立案し実行できる。
- 3) 疾患予防戦略を社会に展開する上で必要な論理的表現能力を有し、研究成果を社会に還元できる。
- 4) 本コース終了後も、継続して知識を習得する能力および問題解決能力を備えている。
- 5) 組織における公衆衛生のリーダーとしての素養および組織の意思決定・業務遂行でのコミュニケーション能力を有している。
- 6) 国際協力を含めて、社会全般に対してのグローバルな公衆衛生学に関する情報収集および発信能力を有している。

修士（医療管理学）

- 1) 医療の高度化と複雑化に対応するために必要な幅広い専門知識を修得し、質の高い医療サービスを提供するために必要な戦略的な管理運営を行う知識と技能を修得している。
- 2) 医療現場の問題点を分析し具体的な対策を組み立て改善することのできる能力と、今後の問題発生を予知しプロアクティブに対応する創造力を身に付けている。
- 3) 調査分析結果をバイアスなく提示できる論理的表現能力を有している。
- 4) 本コース終了後も、継続して知識を習得する能力および問題解決能力を備えている。
- 5) 組織における医療管理的リーダーとしての素養および組織の意思決定・業務遂行でのコミュニケーション能力を有している。
- 6) 国際協力を含めて、社会全般に対しての医療管理に関する情報提供、業務支援の能力を有している。

修士（医療政策学）

- 1) 医療環境の変化に伴う医療提供体制ならびに患者ニーズの高度化と複雑化に対応するために必要な幅広い専門知識を修得し、本格的な少子高齢社会を迎えているわが国の今後の医療政策の最適解を提示するために必要な知識と技能を修得している。
- 2) 現行の医療政策の問題点を分析し具体的な改善方を提示する能力を具備している。
- 3) 医療政策を分析する上で論理的思考能力および表現能力を有している。
- 4) 本コース終了後も、継続して知識を習得する能力および問題解決能力を備えている。

- 5) 組織において適用される医療政策の分析および立案に関して指導的素養および組織のコミュニケーション・意思決定・事業遂行能力を有している。
- 6) 国際協力を含めて、社会全般に対しての医療政策に関する情報提供、業務支援の能力を有している。

<学修成果の評価方法（学位論文審査基準）>

本専攻では、修士論文の審査を本学学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）等を踏まえ、論文の内容が、以下の要件を満たし、当該領域において、十分な研究能力を修得しているかという観点で審査する。

1. 研究目的の適切性

当該研究領域に関する基礎的な知識を有し、先行研究を十分に検討した上で、意義のある研究目的が適切に設定されているか。

2. 研究方法・倫理観

研究計画、研究方法が適切な実証性を備えているか。また、高い倫理観を持ち研究や実験を行っているか。

3. 考察

得られた研究データ・結果を正しく評価し、適切な考察がなされたうえで、論理一貫性をもって記述できているか。

博士課程医歯学専攻

本専攻では、次のような能力・資質を身につけていると認められた者で、かつ所定の単位を修め、本専攻が行う博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。

博士（医学）

医学の専門的知識を熟知し、他分野との緊密な連携により世界をリードする研究者、教育戦略を打ち立て実行できる心豊かな教育者、高い倫理観を有し研究心旺盛な高度専門医療人、そして新しい時代を開拓するオピニオンリーダーを養成することを目的としており、具体的には次のような能力を有する人材を養成する。

- 1) 人類の健康と福祉に貢献するための卓越した研究成果をあげることができる能力を有している。
- 2) 高い専門性と倫理観を持ち、先駆的、独創的研究を指導できる能力を有している。
- 3) 医学教育に関する多面的な知識と専門的知識をあわせ持ち、医学界をリードする能力を有している。
- 4) 高度専門的医療人として、臨床研究において先駆的医療の発展に寄与できる能力を有している。

博士（歯学）

- 1) 秀でた研究成果をあげており、次世代の歯科医学の発展に貢献できる研究能力を有している。
- 2) 高い専門性と倫理観を持ち、次世代の基礎および臨床歯学研究を担う人材育成や高度な専門業務に貢献できる研究能力を有している。
- 3) 自ら課題を設定し、研究を立案・遂行できる能力を有している。
- 4) 自身の研究成果を広く社会に説明・発信できる能力を有している。
- 5) 国際的な視野を持ち、国際的に活躍できる能力を有している。

博士（数理医科学）

- 1) 先端的な数理科学の方法論を用いて、あるいはそれを発展させ、人類の健康と福祉に貢献するための卓越した研究成果をあげることができる能力を有している。
- 2) 高い専門性と倫理観を持ち、先駆的、独創的な数理科学的方法論を用いた医科学を担う人材育成や高度な専門業務に貢献できる能力を有している。
- 3) 数理科学的手法を主軸として用いた医学的課題の解決、もしくは、医学的課題を直接的に解決する新しい遺伝統計学等を含む数理科学的手法の開発を通して、医科学の発展に貢献できる能力を有している。
- 4) 自ら課題を設定し、研究を立案・遂行できる能力を有している。
- 5) 自身の研究成果を広く社会に説明・発信できる能力を有している。
- 6) 国際的な視野を持ち、海外でも活躍できる能力を有している。

博士（学術）

- 1) 学際的な医歯理工学領域の問題を的確に理解して自ら課題を設定した上で、その解決に向けて高度な倫理観と豊かな学識によって意欲的に対応できる資質を有している。
- 2) 学際的な医歯理工学領域を切り拓くために必要な幅広い専門知識と研究技能を併せ持ち、人類の健康と福祉に貢献できる高度で自立的な研究能力を有している。
- 3) 学際的な医歯理工学領域に関する自己の研究成果を的確にまとめて広く国内外の社会や学界に伝えとともに適切に議論できる高いコミュニケーション能力を有している。

（学修成果の評価方法（学位論文審査基準））

本専攻では、博士論文の審査を本学学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）等を踏まえ、論文の内容が、以下の要件を満たし、当該領域において、自立した研究者として高度な研究能力およびその基礎となる豊かな学識を修得しているかという観点で審査する。

1. 研究目的の先駆性・独創性

当該研究領域に関する多面的かつ専門的な知識を有し、先行研究を十分に検討した上で、先駆的又は独創的な発想に基づき研究目的が設定されているか。

2. 社会的意義

当該研究領域の発展に寄与し、人類の健康と福祉への貢献に繋がる研究内容であるか。

3. 研究方法・倫理観

研究計画、研究方法が幅広い視野に基づき策定されたものであり、高い論証性を備えているか。
また、高い倫理観を持ち研究や実験を行っているか。

4. 考察・今後の発展性

得られた研究データ・結果を正しく評価し、適切かつ十分な考察がなされたうえで、論理一貫性をもって記述できているか。また今後の学問的発展性があるか。

博士課程医歯学系専攻 ※学生募集停止中

本専攻では、博士（医学）、博士（歯学）、博士（学術）の学位を付与しており、当該学位に関するディプロマ・ポリシー及び学修成果の評価方法（学位論文審査基準）は医歯学専攻と同様である。

博士課程生命理工医療科学専攻

本専攻では、次のような能力・資質を身につけていると認められた者で、かつ所定の単位を収め、本専攻が行う博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。

博士（理学）

- 1) 卓越した研究成果をあげており、先端的・分野融合的な生命科学の発展に貢献できる研究能力を有している。
- 2) 高い専門性と倫理観を持ち、次世代の生命科学を担う人材育成や高度な専門的業務に貢献できる能力を有している。
- 3) 生命科学や関連分野の多様な知識や技術を持ち、先端的技術開発を通して、医療・バイオ産業界の発展に貢献できる能力を有している。
- 4) 自ら課題を設定し、研究を立案・遂行できる能力を有している。
- 5) 自身の研究成果を広く社会に説明・発信できる能力を有している。
- 6) 国際的な視野を持ち、海外でも活躍できる能力を有している。

博士（工学）

- 1) 卓越した研究成果をあげており、先端的・分野融合的な生体工学の発展に貢献できる研究能力を有している。
- 2) 高い専門性と倫理観を持ち、次世代の生体工学を担う人材育成や高度な専門的業務に貢献できる能力を有している。
- 3) 生体工学に関する多様な知識や技術を持ち、先端的技術開発を通して、医療・バイオ産業界の発展に貢献できる能力を有している。
- 4) 自ら課題を設定し、研究を立案・遂行できる能力を有している。
- 5) 自身の研究成果を広く社会に説明・発信できる能力を有している。
- 6) 国際的な視野を持ち、海外でも活躍できる能力を有している。

博士（保健学）

- 1) 臨床検査学および関連領域における専門的業務に必要な高い学識・技術・応用力を身につけ、自ら先駆的な研究活動を遂行する能力を有している。
- 2) 臨床検査学および関連領域における指導者、教育者、研究者となるための基盤を習得し、国際的・学際的にリーダーシップを発揮できる資質と力量を有している。

博士（口腔保健学）

- 1) 次世代の口腔保健学および関連領域における専門的業務に必要な高い学識・技術・応用力を身につけ、自ら先駆的な研究活動を遂行する能力を有している人材
- 2) 口腔保健学および関連領域における指導者、教育者、研究者となるための基盤を習得し、国際的・学際的にリーダーシップを発揮できる資質と力量を有している人材

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

所定の期間在学し、東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻の開設科目を履修して、修了要件単位数を修得し、本プログラムが行う学位論文の審査及び最終試験（学位取得試験）に合格した以下の要件を満たした者に学位を授与する。

- 1) 消化管外科における最新の診断・治療機器を駆使した高度な外科医療を実践できること。
- 2) 消化管内視鏡を用いた最新の技法を習得し、高度の内科診療を行うことができること。
- 3) 臨床現場における医療チームのリーダーシップを取れるような経験・技能を有すること。
- 4) 十分な学識に裏打ちされた研究活動を行い、満足できる研究成果をあげて論文発表していること。
- 5) 研究遂行過程に求められるチームとしてのリーダーシップ、マネジメント能力を発揮できるように、国際的な研究経験を通じて研究手法や研究環境の現状と問題点についてよく理解していること。
- 6) 研究成果については討論、まとめ、学会発表、論文審査等を行って将来の計画と展望へのつなげ方を習得することにより、その内容を自己の意思の下に統括し、国際的に発信できること。
- 7) チリ国医師資格を持つ学生については、チリ国専門医の資格を取得するための要件を備えていること。

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

所定の期間在学し、東京医科歯科大学・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻の開設科目を履修して、修了要件単位数を修得し、本専攻が行う博士論文の審査及び最終試験に合格した以下のいずれかの要件を満たした者に学位を授与する。

- 1) 英語を共通語として専門的知識を理解し、英語によるコミュニケーションが円滑にできる。
- 2) 専門領域に関する生涯学習を自立的に継続していくことができる。

- 3) 日本、タイ王国のみならず広く東南アジア各国の医歯学領域、特に歯科矯正学に関する現状を把握してその問題点を指摘し、解決すべき問題に優先順位を付し、問題を解決するために必要となる研究や対策を自ら考えて実践することができる。
- 4) 海外関係者と協力連携して医歯学領域、特に歯科矯正学に関する研究・教育・診療を指導的立場で牽引していくことができる。

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

所定の期間在学し、東京医科歯科大学・マヒドン大学国際連携医学系専攻の開設科目を履修して、修了要件単位数を修得し、本プログラムが行う学位論文の審査及び最終試験（学位取得試験）に合格した以下の要件を満たした者に学位を授与する。

- 1) 外科系専門分野における高度な専門知識・技術・応用力を身につけ、自ら先駆的な研究活動を遂行する能力を有している。
- 2) 外科系専門分野及び外科系関連医科学分野に関する自己の研究成果を的確にまとめて広く国際的に説明・発信できる能力を有している。
- 3) 外科医療に対する国際的課題を発見し、国際的な視野で問題解決を図る能力を有し、教育・研究の場において先導的役割を果たす指導者としての資質を有している。

オ 研究対象とする学問分野

設置する医歯学総合研究科各専攻が研究対象とする学問分野は以下のとおりである。

修士課程医歯理工保健学専攻：医学、歯学、理学、工学、保健衛生学関係（看護関係及びリハビリテーション関係を除く。）

博士課程医歯学専攻：医学、歯学

博士課程医歯学系専攻：医学、歯学

博士課程生命理工医療科学専攻：理学、工学、保健衛生学関係（看護関係及びリハビリテーション関係を除く。）

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻：医学

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻：歯学

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻：医学

2. 研究科・専攻等の特色

ア 研究科等の特色

大学院医歯学総合研究科は、疾患の「入口」に入らせないようにする門番役として、非常に大きな役割を果たす学問領域である、「先制医療の高度化」を目的として平成30年度に改組を行った。医学・歯学あるいは生命理工医療科学分野に精通し、他分野との緊密な連携により世界をリードする研究者、教育戦略を打ち立て実行できる心豊かな教育者、高い倫理観と実践的問題解決能力を有する研究心旺盛な高度専門医療人、そして新しい時代を開拓するオピニオンリーダーと

いった人材を、修士課程及び博士課程に設置された多彩なコースにおいて養成している。

イ 専攻等の特色

修士課程医歯理工保健学専攻

本専攻では、医学、歯学、生命理工学、保健学を中心とする多分野融合を実現した体系的な教育課程を基に、生命科学領域の相互連携を図り、人類の健康と福祉に関する幅広い知識および高い倫理観を有する医学、歯学、生命理工学、保健学分野の教育者、研究者、技術者を育成する。

なお、医療管理政策学コースにおいては医療サービスに関わる社会的ニーズに応えるため、指導的立場で活躍する人材養成課程を基に医療管理ならびに医療政策の分野において、患者中心のより良い医療を効率的に提供できる社会システムの構築に寄与する人材を育成する。

グローバルヘルスリーダー養成コースにおいては、地球規模の保健医療の課題を解決するため、疾患予防に主眼を置き、疾患をとりまく社会的要因や保健医療システム、国民皆保険、さらに気候変動や大気汚染等の国境を越える要因を同定し対策を講じるため、1. グローバルな視点に立って人類共通の健康課題に対して効果的かつ効率的な予防戦略を立案できる人材、2. 多様な専門家と同じ目標に向かって協働でき、住民の理解を得ながら社会実装できる人材を養成する。

博士課程医歯学専攻

本専攻では、医学と歯学の両分野の専門的知識を熟知し、他分野との緊密な連携により世界をリードする研究者、教育戦略を打ち立て実行できる心豊かな教育者、高い倫理観を有する研究心旺盛な高度専門医療人、そして新しい時代を開拓するオピニオンリーダーを育成することを目的としており、1. 人類の健康と福祉に貢献するための卓越した研究成果をあげることができる人材、2. 高い専門性と倫理観を持ち、先駆的、独創的研究を指導できる人材、3. 医歯学教育に関する多面的な知識と専門知識をあわせ持ち、医学界、歯学界をリードする人材、4. 高度専門的医療人として、臨床研究において先駆的医療に寄与できる人材を養成する。

博士課程医歯学系専攻 ※学生募集停止中

本専攻では、先端医療・歯科医療の著しい進歩と急速なグローバル化、少子高齢社会の到来、さらには臓器移植、再生医療、遺伝子治療等における生命倫理など、研究科を取り巻く社会状況に新しい問題が山積してきた中で、医学・歯学両分野で学ぶだけでは足りなくなった生命科学分野の知識・情報を研究科内で効率良く補い合うことを目的とした専攻であり、世界の第一線で活躍し得る研究者・指導者を養成する。

博士課程生命理工医療科学専攻

本専攻では、生命科学、生体工学、医療科学とその関連分野（生命理工医療科学分野）に精通し、生命理工医療科学と疾患研究領域との融合的学際分野において幅広い教養と国際的な視野を有し、高度な専門性と実践的問題解決能力を持った人材、とりわけ先端的な研究遂行能力を有す

る研究者、卓越した学識と優れた人間性を有する教育者、技術革新を目指すバイオ産業、医療機器開発、先制医療を実現する臨床検査などの現場で、リーダーシップを発揮して活躍できる人材を育成する。また、2023年度より口腔保健学講座を新たに設置し、博士（口腔保健学）の学位を新設する。

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

本専攻では、東京科学大学（仮称）の教育理念の一つである「国際性豊かな医療人の育成」を推進するために、東京科学大学（仮称）のチリ海外拠点（LACRC）を活用し、永年培われてきた信頼関係を下に東京科学大学（仮称）、チリ大学および関連病院である CLC が共同して医学、特に消化器系がんの分野に特化した国際連携大学院博士課程を創設し、大学、医療機関における高等医学教育、専門的医療教育のグローバル化を見据えた新たな体系のプログラムを構築する。日本・チリ両国の教員によるきめ細かな指導体制で、質の高い研究・論文作成等の指導を行い、東京科学大学（仮称）およびチリ大学が連名で博士（医学）の学位授与を行う。学位取得プログラムが東京科学大学（仮称）大学院医歯学総合研究科およびチリ大学大学院の既存の教育資源をベースに教育課程を編成していることから、これまで両大学が授与してきた学位と同じ学位（博士（医学））を両大学で授与するものである。

またこれに加えて、本専攻では日本・チリ両国での専門的な臨床医育成のためのコースを並行して履修する型の教育を実現し、高度の専門的医療人すなわち、臨床医学・医療の本質を理解したプロフェッショナルであるとともに研究者としての視点・資質をも有する人材を養成することを目指している。そのため、教育課程の編成にあたっては、国際的に通用する高い研究能力と深い専門知識および研究者・科学者としての思考能力に加えて、高度の専門的医療人に求められる知識・経験・技能・リーダーシップを身に付けることに重点を置いている。なお、臨床専門家として認めるために必要とされる技能を身につけさせるために、専門的な臨床医育成のためのコースは必ず履修することとしている。そのため、本専攻の入学資格は日本国又はチリ国の医師資格および外科専門医又は内科専門医の資格を有する者としている。チリ国医師資格を持つ学生はこのコースを修了することで、上部消化管外科、大腸肛門外科あるいは胃腸病内科のチリ国専門医資格（Subspecialty (Especialidad Derivada)）をチリ大学から与えられる。日本国医師資格を持つ学生は、法令上の制約のため東京科学大学（仮称）から消化器外科専門医または消化器病専門医の資格を与えることができないが、このコースを履修することによって多くの症例を経験し、幅広い臨床能力を身につけることができ、コースに応じて消化器外科専門医または消化器病専門医（Subspecialty）を認定する機関に申請することが可能となる。

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携医学系専攻

本専攻では、東京医科歯科大学の教育理念の一つである「国際性豊かな医療人の育成」を踏襲し、本学のタイ拠点を活用し、長年培われてきた信頼関係をもとに東京科学大学（仮称）およびチュラロンコーン大学が協力して歯学、特に歯科矯正学の分野に特化した国際連携大学院博士課

程を創設し、大学・医療機関における高等歯科医学教育・専門的歯科医療教育のグローバル化を見据えた新たな体系のプログラムを構築する。日本・タイ両国の教員による、きめ細かな指導体制で、質の高い研究・論文作成等の指導を行い、東京科学大学（仮称）およびチュラロンコーン大学が連名で博士（歯学）の学位授与を行う。本専攻のプログラムが東京科学大学（仮称）大学院医歯学総合研究科およびチュラロンコーン大学歯学部既存の授業科目を活用していることから、これまで両大学が授与してきた学位と同じ学位（博士（歯学））を両大学が授与するものである。またこれに加えて、本専攻のプログラムでは、優れた知識、技術を有し国際的リーダーになりうる研究心旺盛な高度専門医療人を養成することを目指している。そのため、教育課程の編成にあたっては、国際的に通用する高い研究能力と深い専門的知識および研究者・科学者としての思考能力に加えて、高度の専門的医療人に求められる、知識・経験・技能・リーダーシップを身につけることに重点を置いている。

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

本学は、臨床医に対する研究指導の豊富な実績を備え、2013年度には文部科学省「研究大学強化促進事業」に採択され、全学体制の東京科学大学（仮称）リサーチ・ユニバーシティ(RU)進機構を設置し、研究力を強化している。また、がんの基礎研究から臨床への橋渡し研究を活発に行っている難治疾患研究所と、先進的な医歯工連携教育・研究を推進している生体材料工学研究所という2附置研究所を有しており、医歯工連携研究においては、複数の外科系分野と協働して低侵襲医療領域の新しい手術機器などの開発も行い、一部は実用化に至っている。

さらに本学は、これまで文部科学省のがん専門医療人を養成する大学支援事業である【がんプロフェッショナル養成プラン】、【がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン】、【多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン】の全てにおいて、がん研究・診療分野における大学院教育を拠点校として推進しており、当該分野における高度専門医療人材養成の豊富な経験を有している。

他方、マヒドン大学シリラート病院医学部は、タイ王国内で最も歴史のある医学部であり、タイ王国政府が掲げる「アジアメディカルハブ構想」を牽引する中心的な役割を果たしている。タイ王国内最大規模の病院を擁するシリラート病院は、がん治療の中核病院であるとともに、本専攻で目指しているがんの研究・診療における高度専門医療人材を養成するのに必要な医療ニーズに対応できる、タイ王国内では数少ない第三次医療の中心として位置付けられている。また、医学研究においては、シリラート医学研究センター(SiMR)を2007年12月に設立し、国内外から多くの研究者や先端的研究室を招聘するなど、タイ王国における医学研究の中心となるべく整備を進めている。

本専攻は、本学のがん治療に対する高度専門医療人材養成のノウハウ及び高い研究力、マヒドン大学シリラート病院医学部の豊富な症例数と、それらを基盤とした臨床研究実績を活用し、「基礎研究から臨床への橋渡し研究」及び「臨床から基礎研究への逆・橋渡し研究」を実践できることが最大の特色である。また、がんの専門医療人の養成を目的とする文部科学省の大学支援事業

で本学が培ったがん研究・診療分野における大学院教育を本専攻においても継続、発展させ、当該事業を通して得られた高度専門医療人材養成の豊富な経験を十分に活かせる内容となっていることも、本専攻の大きな特色である。

このように本専攻は、外科分野における両大学の教育資源を十分に活用し、1) がん治療に精通した外科系専門分野で活躍することのできる臨床医、2) 社会のニーズに即応しうる高度な研究能力を有する医科学者、3) 我が国やタイ国のみならず ASEAN 地域の医学・医療を牽引する指導者の養成、という本専攻の目的に沿った教育・研究が実施されるよう制度設計している。

3. 研究科・専攻等の名称及び学位の名称

ア 研究科・専攻等の名称及び当該名称とする理由

東京医科歯科大学の教育及び研究体制を引き継ぎ、教育及び研究における学問分野を表す名称として、次のとおり学部・学科・学位の名称を定める。

研究科名：医歯学総合研究科 (Graduate School of Medical and Dental Sciences)

専攻名：医歯理工保健学専攻 (Health Sciences and Biomedical Engineering)

学位名：修士 (医科学) (Master of Medical Science)

修士 (歯科学) (Master of Dental Science)

修士 (理学) (Master of Science)

修士 (工学) (Master of Engineering)

修士 (口腔保健学) (Master of Oral Health Care Science)

修士 (保健学) (Master of Medical Laboratory Science)

修士 (医療管理学) (Master of Medical Administration)

修士 (医療政策学) (Master of Medical Administration)

修士 (グローバル健康医学) (Master of Public Health in Global Health)

専攻名：医歯学専攻 (Medical and Dental Sciences)

学位名：博士 (医学) (Doctor of Philosophy in Medical Science)

博士 (歯学) (Doctor of Philosophy in Dental Science)

博士 (数理医科学) (Doctor of Philosophy in Mathematical Medical Science)

博士 (学術) (Doctor of Philosophy)

専攻名：医歯学系専攻 (Medical and Dental Sciences)

学位名：博士 (医学) (Doctor of Philosophy in Medical Science)

博士 (歯学) (Doctor of Philosophy in Dental Science)

博士 (学術) (Doctor of Philosophy)

専攻名：東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

(University of Chili and Institute of Science Tokyo Joint Degree Doctoral Program in Medical Sciences with mention of a medical specialty)

学位名：博士（医学）(Doctor of Philosophy in Medical Science)

専攻名：東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

(Institute of Science Tokyo and Chulalongkorn University International Joint Degree Doctor of Philosophy Program in Orthodontics)

学位名：博士（歯学）(Doctor of Philosophy in Dental Sciences)

専攻名：東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

(Joint Degree Doctoral Program in Medical Sciences between Institute of Science Tokyo and Mahidol University)

学位名：博士（医学）(Doctor of Philosophy in Medical Sciences)

専攻名：生命理工医療科学専攻 (Biomedical Sciences and Engineering)

学位名：博士（理学）(Doctor of Philosophy in Science)

博士（工学）(Doctor of Philosophy in Engineering)

博士（保健学）(Doctor of Philosophy in Medical Laboratory Science)

博士（口腔保健学）(Doctor of Philosophy in Oral Health Care Science)

4. 教育課程の編成の考え方及び特色

ア 教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

修士課程医歯理工保健学専攻

本専攻では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、教育課程を編成するにあたっては、教育内容、教育方法、学習成果の評価方法等を以下のように設定する。

修士（医科学）

- 1) 生命倫理などの医科学全般の基礎や研究遂行に必要な方法論の教育のために、初期研究研修プログラムを設定する。
- 2) 医科学領域の高度な専門知識を習得するための専門科目を設ける。
- 3) 幅広い高度専門知識を獲得できるように、医科学に関連した多様な専門科目を設ける。
- 4) 本学の附属病院における先端的な実際の医療活動の現場を体験する科目、臨床分野の医療活動の考え方を学ぶ科目を用意する。
- 5) 研究実習は、生命倫理、利益相反、遺伝子組み換え、病原体等に関する各委員会の承認のも

とで行う。

- 6) 専門分野における最先端の知識と技術を身につけ、科学的思考力と倫理観に根ざす高度な実践を展開できる能力を養うため、演習・実習・研究科目を設ける。
- 7) 客観的で学際的な研究指導および論文作成指導のため複数指導体制を用意する。
- 8) 国際性の向上のため、英語での学習にも対応する。
- 9) 成績評価は、定期試験、レポートの提出、講義への参加状況などに基づき、各履修科目において学修達成度を適切に反映する基準を定めた上で行う。
- 10) 本研究科の博士課程への進学希望に対して、そのアドミッション・ポリシーに十分に対応するカリキュラム構成とする。

修士（歯科学）

- 1) 生命倫理などの生命科学全般の基礎や研究遂行に必要な方法論の教育のために、初期研修プログラムを設定する。
- 2) 歯科学領域の高度な専門知識を習得するための専門科目を設ける。
- 3) 幅広い高度専門知識を獲得できる様に、歯科学に関連した多様な専門科目を設ける。
- 4) 専門分野における高度な知識と技術を身につけ、科学的思考力と倫理観に根ざす高度な実践を展開できる能力を養うため、演習・実習・研究科目を設ける。
- 5) 成績評価は、定期試験、レポートの提出、講義への参加状況などに基づき、各講義において学修達成度を適切に反映する基準を定めた上で行う。

修士（口腔保健学）

- 1) 生命倫理などの生命科学全般の基礎や研究遂行に必要な方法論の教育のために、初期研修プログラムを設定する。
- 2) 口腔保健学領域の高度な専門知識を習得するための専門科目を設ける。
- 3) 幅広い高度専門知識を獲得できる様に、口腔保健学に関連した多様な専門科目を設ける。
- 4) 専門分野における高度な知識と技術を身につけ、科学的思考力と倫理観に根ざす高度な実践を展開できる能力を養うため、演習・実習・研究科目を設ける。
- 5) 成績評価は、定期試験、レポートの提出、講義への参加状況などに基づき、各講義において学修達成度を適切に反映する基準を定めた上で行う。

修士（理学）

- 1) 生命倫理などの生命科学全般の基礎や研究遂行に必要な方法論の教育のために、初期研究研修プログラムを設定する
- 2) 生命科学領域の高度な専門知識を習得するための専門科目を設ける。
- 3) 幅広い高度専門知識を獲得できるように、生命科学に関連した多様な専門科目を設ける。
- 4) 専門分野における最先端の知識と技術を身につけ、科学的思考力と倫理観に根ざす高度な実

践を展開できる能力を養うため、演習・実習・研究科目を設ける。

5) 複数指導体制により客観的で学際的な研究指導および論文作成指導を行う。

6) 成績評価は、定期試験、レポートの提出、講義への参加状況などに基づき、各講義において学修達成度を適切に反映する基準を定めた上で行う。

修士（工学）

1) 生命倫理などの生命科学全般の基礎や研究遂行に必要な方法論の教育のために、初期研修プログラムを設定する

2) 生体工学領域の高度な専門知識を習得するための専門科目を設ける。

3) 幅広い高度専門知識を獲得できるように、生体工学に関連した多様な専門科目を設ける。

4) 専門分野における最先端の知識と技術を身につけ、科学的思考力と倫理観に根ざす高度な実践を展開できる能力を養うため、演習・実習・研究科目を設ける。

5) 複数指導体制により客観的で学際的な研究指導および論文作成指導を行う。

6) 成績評価は、定期試験、レポートの提出、講義への参加状況などに基づき、各講義において学修達成度を適切に反映する基準を定めた上で行う。

修士（保健学）

1) 生命倫理などの生命科学全般の基礎や、研究遂行に必要な方法論の教育のために、初期研修プログラムを設定する。

2) 臨床検査学領域の専門的知識と研究力を身につけるために、講義、演習、研究実習を設定する。

3) 臨床検査技師としての技能、倫理感、対人関係を研修する仕組みを設ける。

4) 幅広い視野からの学習を促進するため、医歯理工系も含めた多彩な科目を履修できるようにする。

5) 医療系大学院生として習得すべき教養科目を設定する。

6) 学生のプレゼンテーション力を養成し、客観的・学際的な研究指導を充実させるために、教員と学生が研究の進捗状況について分野の枠を超えて討論する場を設ける。

7) 国際性向上のため、学生の国際学会発表、海外研修、海外留学、外国人留学生の受け入れなどを推進する。

8) 成績は各科目の特性に応じた基準を定めて、多面的に評価する。

修士（グローバル健康医学）

本学大学院医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻グローバルヘルスリーダー養成コースでは、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、教育課程を編成するにあたっては、教育内容、教育方法、学習成果の評価方法等を以下のように設定する。

- 1) グローバルに公衆衛生学分野で活躍するために必須である5分野（疫学、生物統計学、医療管理学、行動科学、環境保健学）をカバーするために「疫学Ⅰ」、「生物統計Ⅰ」、「医療システム」、「行動科学」、「環境保健学」の授業科目を設け必修とする。医師・歯科医師の経験がない学生は、医学・健康科学全般の知識を修得させるため「基礎医学概論」も必修とする。グローバルな健康課題に関する知識についても必修とする。フィールド調査による現場経験も必修とする。より高度または専門性の高い分野については選択とする。
- 2) 地球規模の課題を解決するための国際性を身につけさせるために、グローバル健康医学科目は全て英語により授業を行う。また、ケースを用いた実践的な講義を行う。
- 3) 学習成果の評価は、各授業科目のシラバスにおいて、到達目標、授業計画、成績評価基準・方法を明確に示し、科目ごとの小テストあるいはレポート、試験により評価する。また、修士論文の内容につき最終試験を実施する。

（医療管理政策学コース）

本学大学院医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻医療管理政策学コースでは、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、教育課程を編成するにあたっては、教育内容、教育方法、学習成果の評価方法を以下のように設定する。

修士（医療管理学）

- 1) 医療管理の理解・実践・展開に必要な10系統の領域（医療政策、医療の質確保とリスク管理、医療関連法規と医の倫理、病院情報とセキュリティ、医療の国際文化論、施設設備と衛生管理、経営戦略と組織管理、人的資源管理と人材開発、医療における情報発信、臨床疫学）に関し基礎から実務にわたる科目を設け講義・演習を行う。また、研究能力、論理的に分析・解決する能力、学問的成果を論理的にまとめる能力を養うため課題研究科目を設ける。
- 2) 教育形態は少人数クラスで専門家による双方向講義を中心とするが、演習も含んだ構成となっている。また、e-learning教材も整備されており、補助的に利用する。医療管理学について高度で広範囲な研究を行い、それを課題研究報告書として纏めるための研究指導を行う。
- 3) 学習成果の評価は、各授業科目のシラバスにおいて、到達目標、授業計画、成績評価基準・方法を明確に示し、科目ごとの小テストあるいはレポートにより評価する。また、課題研究科目については課題研究報告書の内容につき最終試験を実施する。

修士（医療政策学）

- 1) 医療政策の理解・実践・展開に必要な10系統の領域（医療提供政策、医療社会政策、医療保険政策、医療計画制度、医療と社会の安全管理、医療機関におけるリスク管理、医療機能評価、医療関連法規、病院情報とセキュリティ、医療思想と国際文化論、施設設備と衛生管理）に関し基礎から実務にわたる科目を設け講義・演習を行う。また、研究能力、論理的に分析・解決する能力、学問的成果を論理的にまとめる能力を養うため修士論文の作成を行う。

- 2) 教育形態は少人数クラスで専門家による双方向講義を中心とするが、演習も含んだ構成となっている。また、e-learning 教材も整備されており、補助的に利用する。医療政策学について高度で広範囲な研究を行い、それを修士論文として纏めるための研究指導を行う。
- 3) 学習成果の評価は、各授業科目のシラバスにおいて、到達目標、授業計画、成績評価基準・方法を明確に示し、出席点や科目ごとの小テストあるいはレポートにより評価する。また、修士論文の内容につき最終試験を実施する。

博士課程医歯学専攻

本専攻では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、教育課程を編成するにあたっては、教育内容、教育方法、学習成果の評価方法等を以下のように設定する。

博士（医学）

- 1) 生命倫理観および科学的倫理観を備えさせるとともに医歯学に係わる諸領域の研究遂行に必要な基本的な学識を身につけさせるため、研究研修を開設する。
- 2) 医学領域での高度な研究・教育・医療における最先端の知識と技術を身につけ、科学的思考力と倫理観に根ざす高度な実践を展開できる能力を養うため、特論・演習・研究実習を開設する。
- 3) 研究実習は、生命倫理、利益相反、遺伝子組換え、病原体等に関する各委員会の承認のもとで行う。
- 4) より幅広い専門知識の修得のため、学外の高度専門家を講師として大学院特別講義を開設する。
- 5) 絶えず進歩する学問領域に対応するため、特定専門領域の学内外講師による大学院セミナーを開設する。
- 6) 国際性向上のため、英語による専門分野の授業およびプレゼンテーション能力養成講座を開設する。
- 7) 多様な学生の要請に応えるために、長期履修制度、早期修了制度、社会人大学院コース、複数指導体制を設定する。
- 8) 成績評価は、授業への参加状況、試験、レポートなどに基づき、各科目において学修達成度を適切に反映する基準を定めた上で行う。

博士（歯学）

- 1) 生命倫理観および科学的倫理観を備えさせるとともに医歯学に係わる諸領域の研究遂行に必要な基本的な学識を身につけさせるため、研究研修を開設する。
- 2) 歯学領域の高度な専門知識の修得に加え、国際的な視野形成と研究ネットワーク形成に必要な実践的スキルを養成する科目を開設する。
- 3) 高度の専門性を修得することを目的に、特論、演習、研究実習を開設する。

- 4) より幅広い専門知識の修得のため、学外の高度専門家を講師として大学院特別講義を開設する。
- 5) 絶えず進歩する学問領域に対応するため、特定専門領域の学内外講師による大学院セミナーを開設する。
- 6) 国際性向上のため、英語による専門分野の授業およびプレゼンテーション能力養成講座を開設する。
- 7) 基礎・臨床融合型教育研究である「医歯学総合研究科コース特論」のコース授業に参加するとともに、学内外の指導教員による集团的複数指導体制による客観的で学際的な研究指導および論文作成指導を行う。分野間の共同研究、あるいは研究指導委託による国内外の他機関での研究もリサーチワークの対象となる。
- 8) 多様な学生の要請に応えるために、長期履修制度、早期修了制度、社会人大学院コース、複数指導体制を設定する。
- 9) 成績評価は、レポートの提出、講義への参加状況などに基づき、各講義において学修達成度を適切に反映する基準を定めた上で行う。

博士（数理医科学）

- 1) 医科学のための数理科学の方法論に関連する高度で幅広い専門的知識の修得に加え、グローバルな視野形成と人的ネットワーク形成に必要で産業界から要求される実践的スキルを養成する科目を開設する。
- 2) 生命倫理観および科学的倫理観を備えさせるとともに医歯学に係わる諸領域の研究遂行に必要な基本的な学識を身につけさせるため、研究研修を開設する。
- 3) 高度の専門性を修得することを目的に、特論、演習、研究実習を開設する。
- 4) より幅広い専門知識の修得のため、学外の高度専門家を講師として大学院特別講義を開設する。
- 5) 絶えず進歩する学問領域に対応するため、特定専門領域の学内外講師による大学院セミナーを開設する。
- 6) 国際性向上のため、英語による専門分野の授業およびプレゼンテーション能力養成講座を開設する。
- 7) 数理科学的方法論を通して医科学的課題の解決能力の修得を目的とし、臨床統計・バイオインフォマティクスプログラム科目を開設する。
- 8) 数理医科学における専門的研究を行う研究実習科目を配する。又指導教員の指導のみならず他教員からの指導・助言を通じて、幅広い視野から専門分野の枠にとらわれない独創性・創造性を持った自立した研究活動を行う力を養う。
- 9) 多様な学生の要請に応えるために、長期履修制度、早期修了制度、社会人大学院コース、複数指導体制を設定する。
- 10) 成績評価は、レポートの提出、講義への参加状況などに基づき、各講義において学修達成

度を適切に反映する基準を定めた上で行う。

博士（学術）

- 1) 生命倫理観および科学的倫理観を備えさせるとともに医歯理工学に係わる諸領域の研究遂行に必要な基本的な学識を身につけさせるため、研究研修を開設する。
- 2) 幅広い専門知識と研究技能の修得による高度で自律的な研究遂行能力獲得および研究成果の確な取りまとめと発信能力獲得のため、特論、演習、研究実習を開設する。
- 3) より幅広い専門知識の修得のため、学外の高度専門家を講師として大学院特別講義を開設する。
- 4) 絶えず進歩する学問領域に対応するため、特定専門領域の学内外講師による大学院セミナーを開設する。
- 5) 国際性向上のため、英語による専門分野の授業およびプレゼンテーション能力養成講座を開設する。
- 6) 他専攻の授業科目、他大学大学院の授業科目の履修を可能とし、特定の専門に偏ることなく学際的な分野の学習を提供し、幅広い視野を涵養する。
- 7) 多様な学生の要請に応えるために、長期履修制度、早期修了制度、社会人大学院コース、複数指導体制を設定する。
- 8) 成績評価は、授業への参加状況、試験、レポートなどに基づき、各科目において学修達成度を適切に反映する基準を定めた上で行う。

博士課程医歯学系専攻 ※学生募集停止中

本専攻では、博士（医学）、博士（歯学）、博士（学術）の学位を付与しており、当該学位に関するカリキュラム・ポリシーは医歯学専攻と同様である。

博士課程生命理工医療科学専攻

本専攻では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、教育課程を編成するにあたっては、教育内容、教育方法、学習成果の評価方法を以下のように設定する。

博士（理学）

- 1) 生命科学に関連する高度で幅広い専門的知識の修得に加え、グローバルな視野形成と人的ネットワーク形成に必要で産業界から要求される実践的スキルを養成する科目を設定する。
- 2) 高度の専門性を修得することを目的に、所属分野の演習、研究実習を履修し、先端的な国内外共同研究に参加する。
- 3) 学内外の高度専門家による多彩なテーマの「生命理工医療科学先端研究特論」を履修する。
- 4) 国際性の向上のため、国際動向についての講義、外国語による専門分野の講義や外国語によるプレゼンテーション能力を養成する講義を行う。

- 5) 複数指導体制と学内外のアドバイザーによる集団的な指導体制により客観的で学際的な研究指導および論文作成指導を行う。分野間の共同研究あるいは研究指導委託による国内外の他の機関での研究もリサーチワークの対象となる。
- 6) 長期履修学生制度、早期修了制度などを用意し、多様な学生の要請に対応する。
- 7) 成績評価は、レポートの提出、講義への参加状況などに基づき、各講義において学修達成度を適切に反映する基準を定めた上で行う。

博士（工学）

- 1) 生体工学に関連する高度で幅広い専門的知識の修得に加え、グローバルな視野形成と人的ネットワーク形成に必要で産業界から要求される実践的スキルを養成する科目を設定する。
- 2) 高度の専門性を修得することを目的に、所属分野の演習、研究実習を履修し、先端的な国内外共同研究に参加する。
- 3) 学内外の高度専門家による多彩なテーマの「生命理工医療科学先端研究特論」を履修する。
- 4) 国際性の向上のため、国際動向についての講義、外国語による専門分野の講義や外国語によるプレゼンテーション能力を養成する講義を行う。
- 5) 複数指導体制と学内外のアドバイザーによる集団的な指導体制により客観的で学際的な研究指導および論文作成指導を行う。分野間の共同研究あるいは研究指導委託による国内外の他の機関での研究もリサーチワークの対象となる。
- 6) 長期履修学生制度、早期修了制度などを用意し、多様な学生の要請に対応する。
- 7) 成績評価は、レポートの提出、講義への参加状況などに基づき、各講義において学修達成度を適切に反映する基準を定めた上で行う。

博士（保健学）

- 1) 臨床検査学領域の最先端の知識と研究力を身につけるために、講義、演習、研究実習を設定する。
- 2) 臨床検査技師としての技能、倫理感、対人関係を研修する仕組みを設ける。
- 3) 臨床検査データから病態を推論する能力を磨く科目を設定する。
- 4) 幅広い視野からの学習を促進するため、生命理工系も含めた多彩な選択科目を設定する。
- 5) 医療系大学院生として習得すべき教養科目を設定する。
- 6) 国際社会で活躍できる資質を育成するため、英語で行う授業科目を設定し、国際学会発表、海外研修、海外留学などへの参加を支援する。
- 7) 学生のプレゼンテーション力を向上させ、客観的・学際的な研究指導を充実させるために、分野の枠を超えて教員と学生が研究の進捗状況について討論する場を設ける。
- 8) 社会人入学制度、長期履修制度を設け、多様な学生の要請に応える。
- 9) 成績は各科目の特性に応じた基準を定めて、多面的に評価する。

博士（口腔保健学）

- 1) 口腔保健学領域の最先端の知識と研究力を身につけるために、講義、演習、研究実習を設定する。
- 2) 生命倫理などの生命科学全般の最先端の知識を身につけるために、学内外の高度専門家による多彩なテーマの「生命理工医療科学先端研究特論」を履修する。
- 3) 国際的な視野形成と研究ネットワーク形成に必要な実践的スキルを養成し、国際学会発表、海外研修、海外留学などへの参加を支援するため、英語で行う授業科目やプレゼンテーション能力養成講座を設定する。
- 4) 幅広い視野からの学習を促進するため、医歯学系・生命理工系を含めた多彩な選択科目を設定する。
- 5) 学生のプレゼンテーション力を向上させ、客観的・学際的な研究指導を充実させるために、分野の枠を超えて教員と学生が研究の進捗状況について討論する場を設ける。
- 6) 多様な学生の要請にこたえるために、社会人入学制度、長期履修制度、複数指導体制を設ける。
- 7) 成績評価は、定期試験、レポートの提出、講義への参加状況などに基づき、各講義において学修達成度を適切に反映する基準を定めた上で行う。
- 8) 学位論文は、ディプロマ・ポリシーに基づき厳格な評価を行い、博士論文の審査及び最終試験を適切に行う。

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

本専攻では、学位授与に要求される知識・能力および高度の専門的医療人に求められる知識・経験・技能・リーダーシップを取得するために、以下の方針でカリキュラムを編成する。

- 1) 国際的に通用する高い研究能力と深い専門知識および研究者・科学者としての思考能力、倫理性を有する人材を養成するために共通科目群として一般教養科目、基礎科目、応用科目の授業科目を設ける。研究を開始する上で必要なことを学ぶ「初期研究研修」は必修科目とするが、それ以外の科目については、学生のそれまでの教育経験や臨床研究における特定の分野への指向、学問的関心、入学試験などを考慮して学術委員会が決定する。
- 2) 研究の対象とする種々の事象に対して、新規の問題を自ら発見し、それに対して科学的な解析を行い、その解決策を科学的根拠に基づいて提示・実践し、評価できるようになるため、共通科目群に日本・チリ両国の各専門分野の研究指導教員による「研究演習」科目を必修科目として設ける。演習の内容は基礎医学的研究に関わるものと臨床研究に関わるものの両者を準備する。
- 3) 問題点の発見や自己解決能力、また相互評価を行うことによってお互いを高めあえる能力を身につけるため、共通科目群に発表形式の参加型授業を取り入れた「文献ゼミナール」を必修科目として開設する。研究活動の中で研究実践のみならず、教育・研究を行う実施チームのリ

ーダーとして適切かつ迅速に対応できるリーダーシップを核とする様々な能力をもつ人材を養成することを目指す。

- 4) 高度の専門的医療人に求められる知識・経験・技能・リーダーシップを取得するための専門科目群（選択必修科目）に「上部消化管外科」、「大腸肛門外科」、「胃腸病内科」の3科目を設ける。各々、基礎的な内容と応用的な内容を含むものとし、臨床トレーニングを含むため、チリ大学、東京科学大学（仮称）でそれぞれ開設する。
- 5) 学位論文は、国際通用性の高い thesis 形式とし、学位論文を作成するための日本・チリ両国の教員による特別な指導を行う「特別研究」科目を必修科目として設ける。

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

本専攻では、学位授与に要求される知識・能力および高度の専門的医療人に求められる知識・経験・技能・リーダーシップを取得するために、以下の方針でカリキュラムを編成する。

- 1) 国際的に通用する高い研究能力と深い専門的知識および研究者としての思考能力・倫理性を有する人材を養成するために歯科矯正学に関する基礎科目および専門科目の授業科目を設ける。
- 2) 矯正歯科臨床の専門知識・技能を修得するための臨床科目を設ける。
- 3) 歯科矯正学に関する基盤的能力獲得のために、発表形式の参加型授業形式を取り入れたセミナーを設ける。
- 4) 研究対象となる種々の事象に対して、問題点を自ら発見し科学的な分析を行い解決方法を科学的根拠に基づいて提示し解決・評価できるようになるために、「特論」を専門科目として設ける。
- 5) 国際的に通用する新規性の高い研究を企画・遂行するために「研究実習」を、さらに重要度の内容を有する学位論文を作成するための「実験・論文作成」を、専門科目として設ける。

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

本専攻では、学位授与に要求される知識・能力及びリサーチマインドを有する国際性豊かな高度専門医療人材に求められる、より高度な専門知識・技術及びリーダーシップ・国際性を修得するために、両大学の合意に基づき、以下の5つの方針でカリキュラム・ポリシーを定め、教育課程を編成する。

- 1) 臨床の具体的な研究テーマを通じて、専門分野における高い技術を身に付けるため「臨床基幹科目Ⅰ」を設ける。また、各自の外科系専門分野のみならず、外科系専門科学の知識や考察力、基本・応用技術を幅広く修得し、国際的な視野を身に付けるため、共同開設科目「臨床基幹科目Ⅱ」を設ける。
- 2) 国際的に通用する研究を実施するために必要となる統計学・疫学の基礎知識の修得を目的と

し「臨床統計・情報医科学関連専門科目」を設ける。

- 3) がん治療のリーダーに求められる、がんに関する総合的な知識や技術及び臨床研究を実施するための方法論を修得することを目的とし「がん医療専門科目」を設ける。
- 4) 各自の外科系専門分野に関する研究テーマに必要な学識と研究能力を養うため、また、それに関連した基礎研究に必要な知識及び思考力の獲得を目的とし「研究基幹科目」を設ける。
- 5) 外科系専門分野に関する特定の研究課題について、主体的な研究活動において科学的根拠に基づいた独創性・実践性の高い論文を作成できるよう両大学の指導による「研究実践と論文作成」を設ける。

イ 教育課程の概要及び特色

修士課程医歯理工保健学専攻

上述したカリキュラム・ポリシーを実践するために、教育課程を次のとおり編成する。

(1) 教育課程の編成の考え方

本専攻は、各学問領域の教育、研究、実務に従事できる人材の養成を目的としており、高度な学識および実務能力を修得している者に学位を授与する。学位授与に要求される知識・能力および高度の専門的医療人に求められる知識・経験・技能・リーダーシップを修得するために、本専攻は、以下の方針でカリキュラムを編成する。

- ・専門分野だけでなく、医学、歯学、保健学、生命理工学を中心とした多分野融合教育を推進し、医歯科学および疾病における広範な基礎的知識を修得するため、基礎科目を設ける。
- ・医学、歯学、保健学、生命理工学領域の高度な専門知識を修得するため、専門科目を設ける。
- ・専門分野における最先端の知識と技術を身につけ、科学的思考力と倫理観に根ざす高度な実践を展開できる能力を養うため、演習・実習・研究科目を設ける。
- ・医療管理政策学コースの人材養成目標に則り、医療管理ならびに医療政策の分野において、患者中心のより良い医療を効率的に提供できる社会システムを構築する能力を養うため、医療管理政策学科目を設ける。
- ・グローバルヘルスリーダー養成コースの人材養成目標に則り、地球規模の保健医療の課題に対し要因を同定し対策を講じる能力を養うため、グローバル健康医学科目を設ける。

(2) 学位を取得するための体系的なカリキュラム

各科目区分の概要

①基礎科目：様々な学問的背景を持つ修士課程の学生に対して、現代医歯学、生体検査科学、生命理工学の学問体系の全体像、基本的な研究概念と必要知識、修得予定の学位の専攻分野に応じた基礎的知識を解説する。目指す学位の専攻分野ごとに必要となる基礎的知識が異なるため、医科学・歯科学・保健学・口腔保健学・理学・工学の専攻分野毎に1～7科目を必修科目として定めるほか、現代医歯学、生体検査科学、生命理工学における広範な知識を習得させるため、必修科目として指定された科目以外も選択可能とする。基礎的な内容を取り扱うため、主に1年次に

配当する。

②専門科目：研究分野ごとに専門的な内容を解説する。目指す学位の専攻分野ごとに適切な科目を履修させるため、学位の専攻分野ごとに必修科目を指定している。専門性を高め、その知識と技術を（課題）研究に活かすため、主に1年次に配当する。

また、先制医療学コースでは、本コースで指定する専門科目を履修させることにより、修士（医科学、歯科学、保健学、口腔保健学、理学、工学）に加えて、先制医療学コースを修了した旨を学位記に付記する。本コースでは先制医療の俯瞰的な理解のために必要な8科目11単位をすべて必修科目とする。専門分野を異にした学生が一堂に受講するため、異分野の学生間の連携を緊密にできる。履修順序は、先制医療学の基礎部分として、ゲノム情報等の個人情報を含む臨床情報を倫理的・法的・社会的に適切な形で収集・管理できる能力を養う①「研究倫理・医療倫理学」を、医療ビッグデータを統合し解析するための疫学、統計学、数理科学の知識を持ち、的確な分析・解析ができる能力を養う②「疫学Ⅰ」、③「生物統計Ⅰ」、④「ビッグデータ解析学」を、医療分野の研究においてデータサイエンスを活用できる能力を養う⑤「医療データ科学概論」を、センシング等のデータ取得技術の現状を認識し、新技術開発の素養を身につける⑥「バイオメディカルデバイス理工学」を履修する。これらを学んだ後、実習へと進むが、実習以外は並行して受講できるため、すべてを1年次に受講することを可能としている。

実習は、⑦「先制医療研究実習」と、⑧「先制医療研究基礎実習」の2科目により成る。

⑦「先制医療研究実習」は先制医療の現場である本学の医療イノベーション推進センターと長寿・健康人生推進センターにて行う。医療イノベーション推進センターでは、研究成果を実用化し、新規医療開発をシームレスに支援する取組について実習を行う。長寿・健康人生推進センターでは、医療情報、歯科治療情報、ゲノム情報、栄養指導などを組み合わせた予防医療の取組について実習を行う。⑧「先制医療研究基礎実習」は先制医療を支える医療情報システム（電子カルテ）、生命倫理学、バイオバンク事業（医療ビッグデータの収集）をそれぞれ担う、本学の医療情報部、生命倫理研究センター、疾患バイオリソースセンターにて行う。医療情報部では、先制医療実現のための根幹である電子カルテシステムを学ぶ。生命倫理研究センターでは、先制医療をめぐる倫理的諸問題について現場で実際に行われている対処法について学ぶ。疾患バイオリソースセンターでは、学内バイオバンク事業での医療ビッグデータの収集管理について学ぶ。

以上の8科目11単位を履修することにより、先制医療を実現するための医療、技術の現状と解決すべき問題点を学び、あるべき先制医療の全体像を俯瞰することができる能力を身につけることができる。

臨床疫学プログラムについても、本プログラムで指定する科目を履修させることにより、修士（医科学、歯科学、保健学、口腔保健学、理学、工学）に加えて、臨床疫学プログラムを修了した旨を学位記に付記する。臨床疫学を推進する教授を副指導教員（または指導教員）として選択し、指導教員である臨床講座の教授と連携しながら臨床疫学の論文を執筆する。まず座学として8科目の中から5科目を選択し5単位を取得する。疫学研究を実施するにあたる知識や実践的な

技術を身に着ける①「疫学基礎」②「疫学応用」を、生物統計学の基本的な解析手法とそれを実践する能力を養う③「生物統計学基礎」④「生物統計学応用Ⅰ」⑤「生物統計学応用Ⅱ」を、適切な臨床試験をデザインする能力また臨床試験の論文からそのエビデンスレベルを読み解ける能力を養う⑥「臨床試験方法論（基礎）」⑦「臨床試験方法論（応用）」を履修する。これらを5単位修得した後、演習科目（1単位）の中で実際のソフトを用いた統計解析、論文執筆手法を学び、学位論文に直結させる。

以上の9科目6単位以上を修得することにより、臨床データを用いた観察研究、新しい薬剤や手技、教育方法の効果検証を行う介入研究を施し、学位論文を執筆し、医師・歯科医師・薬剤師・看護・歯科衛生士等の出身であっても臨床研究に従事する能力を身につけることができる。

③演習・実習・研究科目：指導教員のもと各自の研究分野に特化した知識を学ぶ他、実験手技や学位論文作成のための指導を行う。修得予定の学位の専攻分野に応じて、演習・実習を1年次に各1つ選択する。修得できる学位は、修士（医科学、歯科学、保健学、口腔保健学、理学、工学）である。また「課題研究」は、基礎・専門科目で得た知識と技術をもとに専門性を向上するため、2年次に配当する。

④医療管理政策学科目：医療管理政策学コースの学生を対象とし、医療管理および医療政策の理解・実践・展開に必要な9系統の領域（①医療政策、②医療の質確保とリスク管理、③医療関連法規と医の倫理、④病院情報とセキュリティ、⑤医療の国際文化論、⑥施設設備と衛生管理、⑦経営戦略と組織管理、⑧医療における情報発信、⑨疫学・統計と医療データ分析）について基礎から専門にわたり共通に開設する他、学位論文又は課題研究報告作成のための指導として「課題研究」を設ける。

医療管理学コース（1年制）では医療提供施設等における管理的業務、あるいは医療管理学領域の研究、教育に従事できる能力を養うため18科目を選択必修科目に指定し、そのうち13科目を履修することとしている。

医療政策学コース（2年制）では行政機関での医療等の政策立案業務、医療政策領域の教育研究、保健医療政策や関連する事業に従事できる能力を養うため、15科目を選択必修科目として指定し、そのうち11科目以上を履修することとしている。研究を自ら立案・進行できる知識を修得させるため、講義科目は1年次に履修させ、2年次には課題研究に専念できるような構成にしている。

⑤グローバル健康医学科目：グローバルヘルスリーダー養成コースの学生を対象とする。

1年次はコースワークを主とし、以下の7科目を必修とする。

アメリカのMaster of Public Healthの認証機関であるCEPH（the Council on Education for Public Health）において必修となっている5分野（疫学、生物統計学、医療管理学、行動科学、環境保健学）をカバーするために①「疫学Ⅰ」、②「生物統計Ⅰ」、③「医療システム」、④「行動

科学」、⑤「環境保健学」の授業科目を設ける。地球規模の課題を解決するための国際性を身につけさせるために、グローバル健康医学科目は全て英語により授業を行うこととしている。また、国境を越えて疾病罹患に影響する要因を分析し対策を立案できるスキルを養成するため、地球規模で課題となっている新興・再興感染症や Universal Health Coverage 等について学ぶ⑥「グローバルヘルス」や、国境を越えて影響を与える気候変動や持続可能な開発等について学ぶ⑦「プラネタリーヘルス」を設ける。特に「グローバルヘルス」はこの分野のトップレベルである Johns Hopkins 大学から講師を招聘して2週間の集中講義を行うことで、実践的な国際性を身に付けさせる。

上記必修7科目に加え、医師・歯科医師の経験がない学生は、医学・健康科学全般の知識を修得させるため「医学概論」も必修となる。

また、より高度な専門知識を修得させるため、本人の資質や志望により「疫学 II」「生物統計 II」「医学概論」「医療ビジネス論」を選択科目として設けている。

2年次には研究に関する実務経験を伴う科目として、文献調査を行う「課題研究Ⅰ」、フィールドワークと論文指導を行う「課題研究Ⅱ」を設ける。特に、フィールドワークは希望する学生に対して、本学の海外拠点（ガーナ、タイ、チリ）を活用することとしている。

⑥認定遺伝カウンセラー受験資格関連科目（遺伝カウンセリングコース）：本コースでは医学、歯学、生命理工学、保健学の諸分野を中心とする多分野融合を実現した体系的な教育課程のなかで、特に今後の医療に不可欠な遺伝子・ゲノム医療に関わる専門家としての認定遺伝カウンセラーの育成をめざすために設立されたものである。

本コースは、大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻に属し、修士課程の2年の間に、人類遺伝学、遺伝医学、生命倫理に関する講義、演習に参加し、遺伝カウンセラーとしての基本的な知識・技術・態度を習得する。さらに、本学病院遺伝子診療科および連携施設における陪席実習を通じて、遺伝カウンセラーの専門性の育成を行う。本学は医療系に特化した国立大学法人として医学科、歯学科に加え、保健衛生学科、口腔保健学科を有する高度な医療の知識と卓越した技術を習得した医療スタッフを輩出している。加えて、スーパーグローバル大学、リサーチユニバーシティとして多くの研究業績を挙げている。特に遺伝関連領域では多くの臨床遺伝専門医、指導医から直接講義・演習を受けることができる環境が整備されている。2017年度からはがんゲノム診療連携病院として、新規遺伝子検査を多数導入し、また今後も海外企業を含めた多くの新規遺伝子検査を導入する予定であり、体細胞変異から生殖細胞変異の幅広い領域において、世界最先端の遺伝子医療が実践される。さらに、利便性のよい都心立地のためキャンパス内外の学会・研修会の参加も容易であり、多層的学习が可能となる環境が整備されている。毎月開催している遺伝子診療科カンファレンスには近隣の遺伝医療関連施設（お茶の水女子大学、日本医科大学、東京医科大学）からも定期的に遺伝専門医、遺伝カウンセラーの参加があり、個々の遺伝性疾患に対する診療方針の多角的な決定過程をリアルタイムに実感することができるため、将来の遺伝子医療の中核を担う人材として重要な資質を醸成することが可能である。本コースに

おけるカリキュラムの修了後、学会認定資格である認定遺伝カウンセラー認定試験に合格すると、認定遺伝カウンセラーとして遺伝医療の前線で活躍することができる。本学と連携する医療機関では、昨今のゲノム医療の進歩により遺伝カウンセラー職種の求人希望も多く、資格取得後の進路も個々人の資質・希望に応じて幅広く選択することが可能である。また、研究倫理に関連する講義・演習・実習を通じ、臨床研究支援業務に必要とされる認定 IRB 専門職（仮称）の資格も習得する機会が得られる。

（３）教育課程編成上の工夫

本専攻では、修得する修士（医科学、歯科学、保健学、口腔保健学、理学、工学）は、演習科目において所属分野ごとに研究分野に特化した知識を学び、実験手技や学位論文作成のための指導を受ける過程で決定する。もちろん、学位審査委員会の学位論文審査を経て、口頭または筆答による最終試験を行うなど、厳正な審査を行うことでその学位を与えるにふさわしいか否かを判断し、最終的には研究科委員会において学位の授与を決定する。学位に付記する専攻分野の名称は、医学領域においては修士（医科学）、歯学領域においては修士（歯科学）、保健領域においては修士（保健学）、口腔保健領域においては修士（口腔保健学）、生命理学領域においては修士（理学）、生体工学領域においては修士（工学）とする。実際の履修にあたっては取得学位に応じた履修モデルを作成し、履修計画を支援する予定である。

博士課程医歯学専攻

上述したカリキュラム・ポリシーを実践するために、教育課程を次のとおり編成する。

（１）教育課程の編成の考え方

本専攻では、教育課程の編成にあたって以下の点を特色とする。

1. 倫理などの生命科学全般の基礎や研究遂行に必要な方法論の教育のために、初期研究研修を設定している。
2. 異分野の知識を身につけて社会の変化に対応できるように、生命理工医療科学専攻と同じ授業科目を共通科目に設け、幅広い学識を養うことができる。
3. 研究室での研究活動に過度に依存して蛸壺的な教育に陥ることの無いように、複数指導体制による研究指導および論文作成指導を行う。
4. 研究心旺盛な高度専門医療人を養成するために、包括的な臨床知識、技術を修得させることを目的に、複数の分野の臨床演習を学ぶことができる「包括臨床演習」を設定している。
5. 近年、医学領域において数理科学的手法が不可欠となりつつあるため、本専攻では分野横断的に問題を解決できる人材を輩出することを目的として、医学の博士課程に数理科学の特論や演習、実習を組み込んでいる。コースワークにより医学的課題や数理科学的手法を学び、リサーチワークにより、数理科学的手法を主軸として用いた医学的課題の解決、もしくは、医学的課題を直接的に解決する新しい遺伝統計学等を含む数理科学的手法の提案、のいずれかを達成した研究

に関する学位論文を作成することとしており、履修モデルとしては、臨床統計・バイオインフォマティクスプログラムによるコースワークと、数理医科学を担当する分野の特論・実習・演習によるリサーチワークを原則とし、数理医科学を担当する分野の教員が、主指導教員もしくは副指導教員となり、研究指導を行うということを想定している。

（２）学位を取得するための体系的なカリキュラム

博士課程は、専門分野について、研究者として自立して研究活動を行う能力を身に付けさせることが主目的であるため、演習や実習などのリサーチワークが主体となるが、修士課程または学士課程（６年）で修得した専門分野に関する知識を更に深化させるとともに、国際連携や大規模プロジェクトでリーダーシップを取ることができる能力を修得できるように、１年次にコースワークを設けている。具体的には次の通りである。

科目区分の概要

①専攻共通科目

医学、歯学、数理医科学を学ぶ学生がその専門分野だけでなく、自立した研究者としての能力、及び変化を続ける社会環境に対応するための知識の涵養を目的として、専攻共通科目を設けている。

１年次（一部の科目は１～２年次）を対象に、研究科が開設する選択科目として設置する。歯学系の教育研究分野に所属する博士課程の大学院生は、医歯学総合研究科コース特論を必修としており、４つのコースから１つのコースを選択して授業へ参加し、３人指導体制による research progress meeting によって基礎・臨床融合型教育研究を習得する。（３人指導体制による research progress meeting については後述する。）

さらに研究開始にあたり、種々の研究分野における基本的な研究概念や具体的な研究方法の必要知識及び研究実施上の注意事項を学習するための「初期研究研修」を設け、実験を行うにあたって必要となる生命倫理、動物実験などに関する講義や、研究者として備えるべき基礎的素養を身に付けるための知的財産、研究倫理などに関する講義を行う。

また、異分野の知識を身に付けて社会の変化に対応できるように、生命理工医療科学専攻と同じ授業科目を共通科目に設け、幅広い学識を養うことを目的としている。

②先制医歯理工学科目

本専攻と生命理工医療科学専攻をまたがるかたちで「先制医歯理工学コース」を設置しており、本専攻では、臨床統計・バイオインフォマティクスプログラムの履修を可能とする。

様々な領域の研究者・専門家が連携して、疾患に関わる種々のオミックスデータを収集し、それらを統合的に解析して、疾患メカニズムの包括的理解に基づく健康管理アルゴリズムを開発し、さらには社会実装を目指す統合先制医歯保健学の推進に必要な能力の修得を目的として、以下の科目区分を設けている。

i) 共通科目：

先制医療の基本的考え方および社会での応用と課題を把握する能力を養うため以下の5科目を設け、臨床統計・バイオインフォマティクスプログラム履修学生は1科目以上を必修とする。

「先制医歯理工学概論Ⅰ」、「先制医歯理工学概論Ⅱ」、「データサイエンス特論Ⅰ」、「データサイエンス特論Ⅱ」、「データサイエンス特論Ⅲ」、「データサイエンス特論Ⅳ」

ii) 臨床統計・バイオインフォマティクス科目：

個々人のゲノム・エピゲノム情報とアップデートのカルテ情報の統合的データベースや生活習慣、環境因子情報をデータマイニングにより解析し、個別的な医療法を提供するという能力を養うため、以下の2科目を設け、臨床統計・バイオインフォマティクスプログラム履修学生は1科目以上を必修とする。

「疫学」、「臨床統計・遺伝統計学」

iii) 先進医療デバイス IoT 学専門科目：

医療デバイス及び IoT 情報化の領域において世界を先導・貢献できる能力を養うため以下の3科目を設ける。

「先端バイオセンシングデバイス特論」、「医療デバイス・システム機器特論」、「ウェアラブル IoT 技術特論」

iv) 疾患生命創薬科学専門科目：

疾患の発生と病態およびその予防と修復についての先端的研究・開発の手法や動向を把握し、活用する能力を養うため、以下の3科目を設ける。

「疾患分子病態学特論」、「ケミカルバイオロジー特論」、「生体分子制御学特論」

プログラムが指定する科目を履修することで、博士（医学・歯学・数理医科学・学術）の学位が示す能力に加えて、個々人のゲノム・エピゲノム情報をリアルタイムカルテ情報の統合的データベースや生活習慣、環境因子情報をデータマイニングにより解析し、先制医療の発展に貢献できる研究能力やその基礎となる豊かな学識を身につけた統合先制医歯保健学の推進に資する人材として、当該コースを修了した旨を学位記に付記する。

③臨床疫学科目

臨床データを用いた観察研究、新しい薬剤や手技、教育方法の効果検証を行う介入研究を実施し学位論文を執筆したいと考える学生に向けたプログラムとして臨床疫学プログラム（Clinical Epidemiology Program, CEP）を設置する。このプログラムでは、臨床疫学を推進する教授を副指導教員または指導教員として選択し、指導教員である臨床講座の教授と連携しながら臨床疫学

の論文を執筆する。プログラムが開講する選択科目 8 科目の中から 5 科目を選択し 5 単位を取得し、演習科目 1 科目の中で実際のソフトを用いた統計解析、論文執筆手法を学び 1 単位を取得することでプログラムを修了とする。プログラムを修了した学生には、博士（医学・歯学・学術）の学位が示す能力に加えて、当該プログラムを修了した旨を学位記に付記する。一方でプログラムに参加しない大学院生も選択科目として履修可能としている。

④分野科目

指導教員のもと、その研究分野に特化した知識を学ぶ他、実験手技や学位論文作成のための指導を受ける科目を教育研究分野ごとに設定している。学生は自分の志望する研究分野に応じて特論、演習、研究実習のそれぞれ 1 科目を選択する。また、その研究分野に特化した知識だけでなく、他分野・他領域との連携的な学術修得のために、所属分野以外が開設する特論を履修することも可能とする。基礎的知識を一定の段階まで習得させ、その後の専門的指導へとつなげるために、分野開講科目を必修科目とする。

（コースワークとリサーチワークについて）

医学・歯学領域での高度な研究・教育・医療における専門性を追求するとともに分野間あるいは他領域との連携、生命科学に必要な倫理的・社会的な側面についても十分対応できるよう、またコースワークとリサーチワーク（研究実習）のバランスおよびそれらの有機的なつながりを重視して教育を推進する。

コースワークとリサーチワークの内容や履修時期は以下のとおりとする。

・コースワーク

1. コースワークは、原則として 1～2 年目で履修する。ただし、大学院セミナー、特別講義および特別プログラムは 1～3 年目で履修する。
2. 倫理などの生命科学全般の基礎や研究遂行に必要な方法論の教育のために、初期研究研修プログラムを設定している。
3. 高度の専門性を修得することを目的に、所属分野の特論を履修する。
4. 包括的な臨床知識、技術を修得することを目的に、複数の分野の臨床演習を履修する。
5. 他分野・他領域との連携的な学術修得のために、所属分野以外が開設する特論を履修する。
6. リサーチワークとの円滑なつながりを確保するために、所属分野の演習を履修する。
7. 学内外の高度専門家を講師として、多彩なテーマで大学院セミナー、特別講義を開催しており、必要に応じて履修する。
8. 年度ごとに特定のテーマに絞った特別プログラムが開設されており、プログラムのコースあるいは講義単位で履修する。
9. 国際性の向上のため、外国語による専門分野の講義や外国語によるプレゼンテーション能力を養成する講義を行う。

・リサーチワーク

1. リサーチワークは、生命倫理、利益相反、遺伝子組換え等の委員会の承認のもと、原則として2～4年目に行う。
2. 原則、所属分野担当教員を責任者として、所属分野における専門的研究を行う研究実習科目を配置している。分野間の共同研究あるいは研究指導委託による国内外の他の機関での研究もリサーチワークの対象となる。
3. 複数指導体制による研究指導および論文作成指導を行う。

(3) 教育課程編成上の工夫

修得する博士（医学）、博士（歯学）、博士（学術）、博士（数理医科学）は、特論科目、演習科目、実習科目において所属分野ごとに研究分野に特化した知識を学び、実験手技や学位論文作成のための指導を受ける。学位審査委員会の学位論文審査を経て、口頭または筆答による最終試験を行うなど、厳正な審査を行うことでその学位を与えるにふさわしいか否かを判断し、最終的には研究科委員会において学位の授与を決定する。実際の履修にあたってはケースごとに履修モデルを作成し、履修計画を支援する。

博士課程生命理工医療科学専攻

上述したカリキュラム・ポリシーを実践するために、教育課程を次のとおり編成する。

(1) 教育課程の編成の考え方

本専攻は、①先端的・分野融合的な生命理工学及び医療科学の発展に貢献するための卓越した研究成果をあげることができる研究能力を有している者、②高い専門性と倫理観を持ち、次世代の生命理工学及び医療科学を担う人材育成や高度な専門的業務に貢献できる能力を有している者、③生命理工学や医療科学に関する多様な知識や技術を持ち、先端的技術開発を通して、医療機関・バイオ産業界の発展に貢献できる能力を有している者に学位を授与することとしている。

学位授与に要求される知識・能力として生命理工学領域および医療科学領域での高度な専門性を養うとともに、国際性および臨床の観点をもった疾患研究やバイオ産業領域における発展性を重視した教育を行う。また、医学・歯学領域に必要な倫理的・社会的な側面も配慮した教育を行う。

このため本専攻のカリキュラムは、一般科目、専門科目、先制医歯理工学科目、演習科目、必修科目で構成される。研究者としての基礎や専門および隣接する研究分野に関する豊かな学識を養うために、必修科目の「研究実習」を除く科目は原則として2年次末までに修得し、3年次は複数の指導教員から研究課題に則した研究指導を受け、論文作成などのリサーチワークを行うものとする。

(2) 学位を取得するための体系的なカリキュラム

各科目区分の概要

①一般科目

専門分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又は専門的な業務に従事するために

必要な研究能力の基礎となる豊かな学識を養うことを目的として、研究開発の円滑な推進やリーダーシップを発揮するにあたってのマネジメントの基礎を学ぶ「マネジメント特論」、言語能力に加えて各国の歴史、文化、地政学、宗教的な背景、それぞれの地域のカンントリーリスクや医療制度の理解など幅広い知識と教養を学ぶ「国際動向特論」、産業界との連携を念頭に知的財産の使い方を幅広く学ぶ「知的財産特論」、学生の英語レベルに応じて研究内容を英語で相手にわかりやすく伝える技術を学ぶ「英語ディベート特論」「英語プレゼンテーション特論」を設ける。様々な背景を持った学生に対し、その背景に応じて適切な科目を履修させるため、必修科目を設けず1科目以上の履修を修了要件としている。

②専門科目

学生がその専門分野の知識を体系的に深めるだけでなく、隣接する研究分野も学ぶことにより、変化を続ける社会環境に対応するための知識を養うことを目的としている。そのためすべて選択科目とし、専門分野以外の講義も履修させる。

③先制医歯理工学科目

統合先制医歯保健学の推進に必要な能力の修得を目的として、以下の科目区分を設けている。

i) 共通科目

先制医療の基本的考え方および社会での応用と課題を把握する能力を養うため以下の7科目を設ける。なお、先制医歯保健学コースの2つのプログラムの履修者は、様々な背景を持った学生に対し、その背景に応じて適切な科目を履修させるため、必修科目を設けず1科目以上の履修を修了要件としている。

「先制医歯理工学概論Ⅰ」：先制医療における学術界における様々な取り組みを取り上げ、現状と課題を体系的に理解することを目的とする。学術界の第一線で活躍する多彩な講師を招聘し、学生参加型の対話型講義を行う。

「先制医歯理工学概論Ⅱ」：先制医療における産業界や経済界、医療政策現場における様々な取り組みを取り上げ、現状と課題を体系的に理解することを目的とする。産業界や経済界、医療政策現場の第一線で活躍する講師を招聘し、学生参加型の対話型講義を行う。

「データサイエンス特論Ⅰ」：統計学、データ解析、統計的検定、予測統計学、生物学研究を例題にしたバイオ統計学のそれぞれの最先端手法を学び、演習により実践する。

「データサイエンス特論Ⅱ」：先制医療を社会で応用する際に必要な臨床統計、セキュリティ、AI、予防科学、公共データや文献解析の扱いなどデータマイニング手法について学ぶと共に、医療・医薬品市場、臨床統計・開発現場の状況などを実践的に概説した講義を行う。

「データサイエンス特論Ⅲ」：言語に Python を使用しデータサイエンスを学ぼうえで必須となるプログラミング技術の基礎を実践的に概説した講義を行う。

「データサイエンス特論Ⅳ」：人工知能や機械学習にも欠かせないベイズ統計学の基礎から応用までを実践的に概説した講義を行う。

「Advanced Human Pathology for Graduate Students」：基礎科学から臨床医学までを取り扱い、全ての医学研究の基礎研究となる講義を行う。なお講義及びディスカッションは英語で行う。

ii) 先進医療デバイス IoT 学専門科目

医療デバイス及び IoT 情報化の領域において学際的かつ柔軟な発想にて先導できる能力を養うため以下の 4 科目を設ける。なお、先進医療デバイス IoT 学プログラム履修学生は高い専門性の修得を重視し、3 科目以上の履修を修了要件としている。

「先端バイオセンシングデバイス特論」：先制医療そして将来の臨床検査を支える先端的なバイオ計測法およびセンシングデバイスの開発について知識と技術を修得すると共に、産業界の動向についても学ぶ。

「医療デバイス・システム機器特論」：早期診断や低侵襲治療などを支える情報デバイス機器について学び、さらに医療情報に基づく診断や手術支援などの先進の医療システム機器の知識と技術を修得すると共に、産業界の動向についても学ぶ。

「ウェアラブル IoT 技術特論」：医療及び健康福祉用として急速に成長するウェアラブルデバイスの現状と将来の可能性について学ぶと共に、クラウド化を支える IoT 技術、さらにセキュリティシステムの知識を養う。

「臨床検査法開発学特論」：先制医療において臨床検査は必須であり、効率的な情報収集には小型で正確性・再現性等の精度が保証された汎用的なデバイスの開発が必要になってくる。本特論では、臨床検査の最前線における検査の実情を教授し、現在使用されているデバイスの問題点や限界を理解させるとともに、全く新たな視点に立ったデバイスの開発を想起させることを目的とする。このような医療側のニーズを的確に把握した上で、理工系の知識と技術を動員し、真に臨床現場で必要とされるデバイス開発に結びつけることを目指す。

iii) 疾患生命創薬科学専門科目

疾患の発生と病態およびその予防と修復についての先端的研究・開発の手法や動向を把握し、活用する能力を養うため、以下の 3 科目を設ける。なお、疾患生命創薬科学プログラム履修学生は関連する学問領域の幅広い学識の修得を重視しているため、1 科目以上の履修を修了要件としている。

「疾患分子病態学特論」：複雑な疾患研究の進展についてゲノム科学や分子生物学を中心に講義し、疾患の発生と病態への学際的アプローチについて学ぶ。

「先端ケミカルバイオロジー特論」：化合物を用いた生命機能の解明と疾患の予防および修復について講義する。

「生体分子制御学特論」：生体での分子機能の解明とその制御法についての講義を行うことで、生体内分子機能へのアプローチとその制御法の開発について学ぶ。

④臨床疫学プログラム科目

臨床疫学プログラム（Clinical Epidemiology Program, CEP）科目は臨床データを用いた観察研究、新しい薬剤や手技、教育方法の効果検証を行う介入研究を実施し学位論文を執筆したいと考える学生向けのプログラムである。

このプログラムは、臨床疫学を推進する教授を副指導教員（または指導教員）として選択し、指導教員である臨床講座の教授と連携しながら臨床疫学の論文を執筆するプログラムである。まず座学として8科目の中から5科目を選択し5単位を取得する。そして、演習科目（1単位）の中で実際のソフトを用いた統計解析、論文執筆手法を学ぶ。

⑤演習科目

指導教員のもと、その研究分野に特化した知識を学ぶ他、実験手技や学位論文作成のための指導を受ける。所属分野ごとに科目が設定されており、学生は自分の志望する研究分野に応じて1科目を選択する。なお、5単位の演習科目を履修する場合、生体検査科学講座に所属する学生は「生体検査科学セミナーⅡ」、口腔保健学講座に所属する学生は「口腔保健学セミナー」をそれぞれ必修とする。

⑥必修科目

「生命理工医療科学先端研究特論」は、初期研究研修及び複数の講演・セミナーで構成される。初期研究研修においては、実験を行うにあたって必要となる生命倫理、動物実験などに関する講義や、研究者として備えるべき基礎的素養を身に付けるための知的財産、研究倫理などに関する講義により、種々の研究分野における基本的な研究概念や具体的な研究方法の必要知識及び研究実施上の注意事項を学習する。講演・セミナーにおいては、専門的かつ最新の知見を得て、最先端の研究領域についての見識を広めることを目的とする。上記の初期研究研修及び複数の講演・セミナーの中から学生が所定の回数を受講した場合、単位を与えるものとしている。また、「研究実習」においては、指導教員を含めた3名の複数指導体制をとり、学生の研究状況を把握し、該当科目の単位修得、学位申請に向けて的確なアドバイスを行うことを目的とした中間アドバイスの制度を設ける。これは、「研究室での研究活動に過度に依存して蛸壺的な教育に陥ることのないよう、体系的なコースワークの実施などに留意する」という、中央教育審議会大学分科会「未来を牽引する大学院教育改革～社会と協働した「知のプロフェッショナル」の育成～」(審議まとめ)に沿ったものである。

2023年度に新設した博士（口腔保健学）の学位については、専門科目に口腔保健学研究に必要な基礎的および臨床的な最新の知見について学ぶ「先端口腔保健応用学特論」、具体的な臨床応用として東京科学大学病院歯系診療部門オーラルヘルスセンターの見学を行い、実際に見聞した

症例検討を中心する「先端口腔保健応用学演習」、口腔領域における歯科技工を中心とした医療工学に関連した最新の研究を学ぶ「先端口腔保健工学特論」、硬組織研究では欠かすことのできない動物を用いた骨形態計測の手法について学ぶ「硬組織研究・骨形態計測学特論」の4科目の開講を予定しており、既存の本専攻開講科目と併せて履修することで、ディプロマ・ポリシーに掲げる人材の養成が実現する。

（３）教育課程編成上の工夫

本専攻には、様々な背景を持った学生の入学が見込まれるため、コースワークについては、学生がこれまで修得してきた知識・技術や志望する研究分野に応じた選択科目を履修することとしている。これは、様々な背景を持った学生がその専門分野だけではない他領域との連携や生命科学に必要な倫理的・社会的な側面についても十分対応できる仕組みを取り入れたからである。修得する博士（理学・工学・保健学、口腔保健学）は、演習科目において所属分野ごとに研究分野に特化した知識を学び、実験手技や学位論文作成のための指導を受ける過程で決定する。もちろん、学位審査委員会の学位論文審査を経て、口頭または筆答による最終試験を行うなど、厳正な審査を行うことでその学位を与えるにふさわしいか否かを判断し、最終的には研究科委員会において学位の授与を決定する。学位に付記する専攻分野の名称は、生命理学領域においては博士（理学）、生体工学領域においては博士（工学）、医療科学領域においては博士（保健学）、口腔保健学領域においては博士（口腔保健学）とする。実際の履修にあたっては取得学位に応じた履修モデルを作成し、履修計画を支援する予定である。

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

学位授与に要求される知識・能力および高度の専門的医療人に求められる知識・経験・技能・リーダーシップを取得するために、本課程は、以下の方針でカリキュラムを編成する。

1. 国際的に通用する高い研究能力と深い専門知識および研究者・科学者としての思考能力、倫理性を有する人材を養成するために共通科目群として一般教養科目、基礎科目、応用科目の授業科目を設ける。研究を開始する上で必要なことを学ぶ「初期研究研修」は必修科目とするが、それ以外の科目については、学生のそれまでの教育経験や臨床研究における特定の分野への指向、学問的関心、入学試験などを考慮して学術委員会が決定する。（※１）
2. 研究の対象とする種々の事象に対して、新規の問題を自ら発見し、それに対して科学的な解析を行い、その解決策を科学的根拠に基づいて提示・実践し、評価できるようになるため、共通科目群に日本・チリ両国の各専門分野の研究指導教員による「研究演習」科目を必修科目として設ける。演習の内容は基礎医学的研究に関わるものと臨床研究に関わるものの両者を準備する。（※２）
3. 問題点の発見や自己解決能力、また相互評価を行うことによってお互いを高めあえる能力を身につけるため、共通科目群に発表形式の参加型授業を取り入れた「文献ゼミナール」を必修科目として開設する。研究活動の中で研究実践のみならず、教育・研究を行う実施チーム

のリーダーとして適切かつ迅速に対応できるリーダーシップを核とする様々な能力をもつ人材を養成することを目指す。

4. 高度の専門的医療人に求められる知識・経験・技能・リーダーシップを取得するための専門科目群（選択必修科目）に「上部消化管外科」、「大腸肛門外科」、「胃腸病内科」の3科目を設ける。各々、基礎的な内容と応用的な内容を含むものとし、臨床トレーニングを含むため、チリ大学、東京科学大学（仮称）でそれぞれ開設する。（※3）

5. 学位論文は、国際通用性の高いthesis形式とし、学位論文を作成するための日本・チリ両国の教員による特別な指導を行う「特別研究」科目を必修科目として設ける。

（※1）一般教養科目は「癌のゲノムとバイオ情報工学」、「英語での科学論文ディスカッション」、「学術英語における文法及び記述コミュニケーションスキル」、「生物統計学」、「生物統計学Ⅱ」、「生体医科学研究の倫理」、「初期研究研修」、「臨床・遺伝統計学」の8科目、基礎科目は「細胞生理学」、「癌に関わる細胞及び分子生物学」、「システム生理学」、「免疫学入門」、「基礎薬理学」、「分子微生物学」、「臨床研究の方法論の基礎」、「細胞・分子生物学」、「研究の生体倫理」、「ビッグデータ解析学」、「消化管外科学研究概論」、「総合外科学研究概論」、「先制医歯理工学概論Ⅰ」、「先制医歯理工学概論Ⅱ」、「包括的臨床腫瘍学」、「がんゲノム医療の基礎と臨床」、「消化器病態学研究概論」の17科目、応用科目は「細胞・分子生物学上級」、「器官系統特殊生理病理学」、「細胞分子免疫学」、「遺伝医学」、「生体医科学における細胞シグナル伝達」、「診断・臨床研究への応用分子生物学」、「疫学」、「バイオインフォマティクス1」、「バイオインフォマティクス2」、「機能分子化学」、「疾患予防パブリックヘルス医学概論」、「臨床腫瘍学研究特論」、「疾患生命科学特論」、「データサイエンス特論Ⅰ」、「包括病理学研究特論」の15科目である。必修科目である「初期研究研修」を除き、選択必修科目である。

（※2）研究演習は「基礎研究演習」、「臨床研究演習」、「研究演習3」の3科目である。

（※3）専門科目は上部消化管外科にチリ国医師資格を持つ学生用の科目として、「上部消化管外科臨床基礎（チリ大学）」、「上部消化管外科臨床応用（チリ大学）」、「上部消化管外科臨床応用Ⅱ（東京科学大学（仮称））」を、日本国医師資格を持つ学生用の科目として、「上部消化管外科臨床基礎（東京科学大学（仮称））」、「上部消化管外科臨床応用Ⅰ（東京科学大学（仮称））」を設ける。

大腸肛門外科にチリ国医師資格を持つ学生用の科目として、「大腸肛門外科臨床基礎（チリ大学）」、「大腸肛門外科臨床応用（チリ大学）」、「大腸肛門外科臨床応用Ⅱ（東京科学大学（仮称））」を、日本国医師資格を持つ学生用の科目として、「大腸肛門外科臨床基礎（東京科学大学（仮称））」、「大腸肛門外科臨床応用Ⅰ（東京科学大学（仮称））」を設ける。

胃腸病内科にチリ国医師資格を持つ学生用の科目として、「胃腸病内科臨床基礎（チリ大学）」、「胃腸病内科臨床応用（チリ大学）」、「胃腸病内科臨床応用Ⅱ（東京科学大学（仮称））」を、日本国医師資格を持つ学生用の科目として、「胃腸病内科臨床基礎（東京科学大学（仮称））」、「胃腸病内科臨床応用Ⅰ（東京科学大学（仮称））」を設ける。

本専攻では、その社会的必要性（医学研究者としての優れた素養、高度の専門的医療人として

の資質、国際通用性）が強く求められる領域における指導的立場の医師を養成することを目指しており、これを反映して以下のような特色を有している。

1. 従来の真理探究型研究に偏重するのではなく、医科学における問題解決に特化した高度専門能力を養成する。
2. 国際性豊かな学位論文の指導に加えて、研究演習、文献ゼミナールや充実したインターラクティブな教育を通じて多角的な問題点解決法の醸成を促し、研究遂行過程に求められるチームとしての活動に対するリーダーシップ、マネジメント能力等の涵養も重視する。
3. 標準修業年限を5年として、PhDプログラムと高度の専門的医療人（専門医等）育成コースを並行して履修する、かつ日本・チリ両国での履修を実現するという独特の構成を有しており、円滑な学修を担保するために、共通科目群（一般教養科目、基礎科目、応用科目、研究演習、文献ゼミナール）とは別に、学生の希望する専門分野や医師資格に応じて選択できる専門科目（上部消化管外科、大腸肛門外科、胃腸病内科）をそれぞれの大学が設ける。
4. 海外の最新事情や最先端の知識に触れグローバルな視点を身につけるため、授業は日本・チリ両国の現地で一定期間履修することとし、日本・チリ両国の教員による英語を用いた講義、演習を設ける。
5. チリ大学からの研修生を多く受け入れているチリ大学関連病院のCLCとの連携協力を通じて全体としての教育研究、臨床研修の水準を向上させることを推進する。

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

本専攻の教育課程では、その社会的必要性（高度の専門的医療人としての資質、国際通用性）が強く求められる領域における優れた知識、技術を有し国際的リーダーになりうる研究心旺盛な高度専門医療人を養成することを目指しており、これを反映して以下のような特色を有している。

1. 歯科医学、特に歯科矯正学における問題解決に特化した高度専門能力を養成する。具体的には一点目として、臨床領域であることから、当該分野の基礎ならびに臨床に関する知識と臨床技術を兼ね備えた矯正歯科医の育成を目的とする。二点目として、歯、歯周組織、顎顔面頭蓋及びこれらに付随する筋軟組織系の正常な成長発育とその機能について教授するとともに、これら諸構造の不正により生じた咬合異常、形態異常等の改善ならびにそれらの発生の予防の教育を目的とする。
2. 国際性豊かな学位論文の指導に加えて、実地臨床指導、参加型授業形式のセミナーや研究実習など多くの視点から見た問題点解決法の醸成を促し、研究遂行過程に求められるマネジメント能力等の涵養も重視する。
3. 修業年限を5年として歯科臨床医としての高度専門能力の修得とPhD取得のための研究をタイ・日本両国でモザイク状に並行して行う。
4. 海外の最新事情や最先端の知識に触れグローバルな視点を身につけるため、授業は日本・タイ両国でそれぞれ一定期間履修することを原則とし、日本・タイ両国の教員による英語を用

いた講義ならびに実習を設ける。

このような教育課程の特色は、以下に述べる両大学の強みを反映したものである。すなわち、東京科学大学（仮称）は現在世界中で行われている固定式装置を用いた矯正歯科治療の根幹をなすダイレクトボンディングシステム（歯並びを治す際に用いる矯正装置を直接歯面に接着させる技法）の基礎研究ならびに臨床開発・改良を重ねており、国際的に高い評価を得ている。世界大学ランキングにおいても、2013 年 QS 世界ランキングでの 1 論文当たりの被引用数におけるアジア 1 位、文部科学省科学技術政策研究所発表の「研究論文に着目した日本の大学ベンチマーキング 2011」の「歯科、口腔外科と医療」カテゴリ論文被引用数における国内 1 位、などの実績がある。したがって本専攻では、研究力の高さや実績を活かした研究指導や論文指導などが可能となり、その内容を有する「特論」「研究実習」および「実験・論文作成」などの専門科目を東京科学大学（仮称）で開設する。

一方、タイは、研究面では日本に及ばないものの、臨床面では発展を見せており、チュラロンコーン大学の学士課程の歯科臨床実習においても日本より早期に開始するなど、臨床に重点を置いている。同様に同大学の修士課程（歯学）、博士課程（歯学）においても、授業科目に臨床科目を設けて、高度な歯科臨床医を育成するカリキュラム編成を行っているなど臨床教育に特徴がある。このように臨床教育を重視してきた結果、タイの旗艦大学であるチュラロンコーン大学では、臨床レベルの向上が急速に図られてきている。そこで本専攻では、臨床力を重視した「歯科矯正学技法」、「包括的治療手順」、「矯正演習」、「上級歯科矯正学セミナー」、「矯正臨床トレーニング 1」、「矯正臨床トレーニング 2」、「矯正臨床トレーニング 3」、「上級矯正臨床トレーニング 1」、「上級矯正臨床トレーニング 2」、「上級矯正臨床トレーニング 3」、「歯科矯正学における写真とコンピュータ」および「歯科矯正学教育実習」などの臨床科目をチュラロンコーン大学で開設する。

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

本専攻は、東京医科歯科大学とマヒドン大学がこれまで培ってきた教育・研究交流の実績を踏まえて構想・企画されたものである。両大学の綿密なる協議と協力のもと、医学、特に外科分野に特化した大学院博士課程国際連携専攻の教育課程とする。

我が国とタイ王国の大学の高等医学教育や医療機関における専門的外科医療教育のグローバル化を見据え、高度な学術研究を基盤とした教育を展開するとともに、狭い範囲の研究領域のみならず、幅広く高度な知識・能力が身に付く体系的な教育課程となっている。

本専攻では、中心的な学問分野として「外科系専門科学」を据え、それに加えて「がん」をキーワードとする外科系関連医科学分野を配する教育課程を構成し、以下の 5 つの科目群を用意する。

- 1) 学生の外科系専門分野において、より高度な技術を身につけるため、入学した大学の臨床系研究室で臨床指導を受ける「臨床基幹科目 I」を選択科目として両大学で開設する。
- 2) 学生の外科系専門分野以外の外科系専門科学に関する知識や考察力、基本・応用技術を幅広く修得し、自大学のみでは学ぶことのできない外科系専門科学に対する国際的な視点を身につ

けるため、両大学で臨床指導を行う「臨床基幹科目Ⅱ」を必修科目として共同で開設する。

- 3) 国際的に通用する研究を実施し、研究の基盤づくりに必ず必要となる統計学・疫学などの情報科学関連分野を学ぶため、「臨床統計・情報医科学関連専門科目」を選択科目として開設する。
- 4) 学生ががん治療に精通した外科医としてのキャリアアップを図るべく、がんに関する総合的な知識や技術及び基礎研究・臨床研究を実施するための方法論を修得できるよう、両大学がこれまで行ってきたがん治療専門家養成のための授業科目を発展的に整理した「がん医療専門科目」を学生の経験や志望する研究分野に応じて履修できるように選択科目として開設する。
- 5) 学生の外科系専門分野に関する研究テーマ、または外科系関連医科学分野に関連する研究テーマに必要な知識・学識、及び思考力・研究能力の獲得を目的とし、「研究基幹科目」を必修科目として開設する。「研究基幹科目」では、両大学の外科系専門分野及び外科系関連医科学分野が参画し、がんを中心とした診断や治療に直接的に関連した研究内容を外科系専門分野が取り扱い、がん治療や診断及びがんのメカニズムの解明に関連した基礎研究内容を外科系関連医科学分野が扱うことにする。どちらも、学生が臨床や研究を遂行する上で明らかになった疑問の解決に役立つものである。

学生は入学手続きをした大学（以下「入学手続き大学」という）において、主に研究や臨床における教育を受けることとなるが、講義や演習などの授業及び研究指導や論文作成も連携大学から教育を受けられることを可能としている。また、連携大学で履修する期間においては、直接的な医療行為を行うこと以外は可能であるため、研究を行うために必要な演習及び臨床現場への参加等を行い、外科医師のキャリアを長期間中断することなく、本専攻における研究・論文作成指導を受けることができる。

本専攻の学期区分は2期制とし、入学時期は4月とする。前期の授業期間は4月から9月、後期の授業期間は10月から3月の6ヶ月間とする。

上述のような教育課程の編成方針に基づき、学生一人一人の研究の進捗状況や研究の独自性に柔軟に対応した履修形態とした。

本専攻では、国際性豊かな高度専門医療人材に求められる専門知識・技術・リーダーシップを修得するための授業科目を構成している。

講義については、原則対面式とするが、履修する科目によっては、本学と連携大学との移動により学生への負担が生じるため、テレビ会議システム等やE-learningシステム等を適宜活用し、両大学の開設科目を選択することができる。

臨床基幹科目Ⅱ及び研究実践と論文作成については、半年～2年間は連携大学に滞在して行うこととし、両大学の担当教員がプログラムを通じて指導することとする。

連携大学での滞在期間については、研究テーマを決める過程で決定することとする。

1) 臨床基幹科目Ⅰ、臨床基幹科目Ⅱ

本学及びマヒドン大学の11の外科系専門分野が参画し、学生の外科系専門分野における臨床の場で実践的な学修を行う。

学生の外科系専門分野における学修に留まらず、外科学に関する一般的な知識と臨床技術の学修を両大学の特色ある臨床の場で実践的な学修を行う。

2) 臨床統計・情報医科学関連専門科目

基礎医学研究または臨床研究における研究手法やその解析に必要な方法論、統計解析、疫学等についての知識を深めるため、実際の活用事例を通じて学修を行う。

3) がん医療専門科目

がんの生物学、病理、診断などの最新の知見、各領域のがんに対する低侵襲治療及び集学的な治療を理解し、知識を深める学修を行う。

4) 研究基幹科目

外科系専門分野または外科系関連医科学分野における基礎医学研究または臨床研究に関し、研究対象となる種々の事象を理解し、また、研究のためのアプローチや問題点を発見するための基礎知識が得られるよう、双方向による講義形式での学修を行う。

5) 研究実践と論文作成

両大学の教員が研究の進め方等の指導を行い、学生がこれまでに得た知見、経験に基づいて臨床実験データの収集、解析を行い、国際的通用性の高い博士論文の作成を行う。

5. 教員組織の編成の考え方及び特色

ア 教員組織編成の考え方

修士課程医歯理工保健学専攻

本専攻の教育課程を担当する教員組織は、専任教員のほか、兼担、兼任教員により構成する。

専任教員については令和6年度10月時点において406名とし、博士の学位を有し、研究上の業績を有する教員を中心としつつ、専門分野について教育および研究上能力がある教員を配置している。職位別の専任教員数は、教授が111名、准教授が74名、講師が73名、助教が148名である。専任教員406名のうち、博士学位を持つ教員は395名である。他に兼担、兼任教員を239名配置する。主要な科目は教授又は准教授が担当する。研究指導においては、研究指導が担当できる教員（Mマル合教員）を258名、研究指導補助が担当できる教員（M合教員）を148名の体制とし、各領域における論文作成に向けた指導を行う。また、先制医療学コース、遺伝カウンセリングコース、臨床疫学プログラムではそのコースに特化した知識および資格を持つ教員が指導を行っている。

上記から、当該教員組織が、学生を受け入れた際にも十分に研究指導できる体制を有しているといえる。

なお、完成年度までに教員が退職する場合にも、本学では人事の透明性を高め、大学全体の戦略に基づいた優秀な教員採用を進めることを目的として、学長及び理事等で構成される「人事委員会」を設置し、能力を十分有した適切な者が補充される見込みであり、指導力の低下といった学生の不利益は生じない。

博士課程医歯学専攻

本専攻の教育課程を担当する教員組織は、専任教員のほか、兼任教員、兼任教員により構成する。

専任教員については令和 6 年度 10 月時点において 303 名とし、先制医療の高度化に資する研究業績を有し、博士（医学、歯学、数理医科学、学術）の学位の授与を可能とする者から編成されている。職位別の専任教員数は、教授が 84 名、准教授が 44 名、講師が 65 名、助教が 110 名である。専任教員 303 名のうち、博士学位を持つ教員は 295 名である。他に兼任教員、兼任教員を 174 名配置する。主要な科目は教授又は准教授が担当する。研究指導においては、研究指導が担当できる教員（D マル合教員）193 名、研究指導補助が担当できる教員（D 合教員）110 名の体制とし、各領域における論文作成に向けた指導を行う。

上記から、当該教員組織が、学生を受け入れた際にも十分に研究指導できる体制を有しているといえる。

なお、完成年度までに教員が退職する場合にも、本学では人事の透明性を高め、大学全体の戦略に基づいた優秀な教員採用を進めることを目的として、学長及び理事等で構成される「人事委員会」を設置し、能力を十分有した適切な者が補充される見込みであり、指導力の低下といった学生の不利益は生じない。

博士課程生命理工医療科学専攻

本専攻の教育課程を担当する教員組織は、専任教員のほか、兼担、兼任教員により構成する。

専任教員については令和 6 年度 10 月時点において 87 名とし、先制医療の高度化に資する研究業績を有し、博士（理学、工学、保健学、口腔保健学）の学位の授与を可能とする者から編成されている。職位別の専任教員数は、教授が 27 名、准教授が 20 名、講師が 4 名、助教が 36 名である。専任教員 87 名のうち、博士学位を持つ教員は 84 名である。他に兼任教員、兼任教員を 111 名配置する。主要な科目は教授又は准教授が担当する。研究指導においては、研究指導が担当できる教員（D マル合教員）51 名、研究指導補助が担当できる教員（D 合教員）36 名の体制とし、各領域における論文作成に向けた指導を行う。

上記から、当該教員組織が、学生を受け入れた際にも十分に研究指導できる体制を有しているといえる。

なお、完成年度までに教員が退職する場合にも、本学では人事の透明性を高め、大学全体の戦略に基づいた優秀な教員採用を進めることを目的として、学長及び理事等で構成される「人事委員会」を設置し、能力を十分有した適切な者が補充される見込みであり、指導力の低下といった学生の不利益は生じない。

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

本専攻設置の趣旨は東京科学大学（仮称）、チリ大学および関連病院（CLC）が協力して国際連携大学院博士課程を創設し、大学、医療機関における医学教育のグローバル化を見据えた新たな

体系のプログラムを構築すること、および日本・チリ両国での学位取得プログラムと専門的な臨床医育成プログラムを並行して履修できる型の教育を実現することの2点である。この趣旨を踏まえて、日本・チリ両国の教員によるきめ細かな指導体制で、質の高い研究・論文等の指導を行って東京科学大学（仮称）およびチリ大学が連名で博士（医学）の学位授与を行い、チリ・日本両国での最先端技術を駆使した臨床研修を通じて専門的な臨床医育成を実現する。そのため、教育課程は東京科学大学（仮称）、チリ大学および関連病院（CLC）の潤沢な教育資源を用いて、高度専門医療人としての見識、技能とともに研究の遂行能力を兼ね備えた医学分野の指導者となる人材が養成できるように編成している。また、教員の負担を考慮し、単位数の多い科目については教員を複数配置するなど、負担が大きくならないように考慮している。

本専攻専任の調整担当教員1名の他は、すべて東京科学大学（仮称）の母体となる大学院医歯学総合研究科の医歯学系専攻や生命理工学系専攻の教員が本専攻の専任教員を兼ねるが、上述のとおり、既存の大学院教育課程や専門医育成プログラムのコース内容を最大限利用しているだけでなく、テレビ会議システム等を活用して授業を実施することや収容定員15名と少数であり、本専攻の設置に伴い母体となる研究科の収容定員を16名減ずることから、母体となる研究科の教員に重い負担がかかることはない。

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

本専攻の教員は、東京科学大学（仮称）から37名、チュラロンコーン大学から9名の専任教員で組織する。このうち東京科学大学（仮称）では、令和7年8月開設時の研究指導教員として教授20名、准教授もしくは講師10名を配置する。チュラロンコーン大学では、准教授相当4名を配置する。歯科矯正学分野において、日本・タイ国のみならず広く東南アジア等で同分野の優れた知識、技術を有し国際的リーダーになりうる研究心旺盛な高度専門医療人を養成するために、歯学矯正学分野における研究業績に加え、学会を立ち上げ学問的発展をリードしてきた教員、国内外の歯科矯正学分野の経験の豊富な教員、歯学矯正学分野以外の分野での最新研究手法や研究に必要な科学論文を容易に読みこなす為の技能を身につける方法を指導する教員など、大学院博士課程での教育経験の豊かな教員を配置し、国際性豊かな高度専門医療人の養成を推進するための教員組織とする。なお、本学の担当分野である咬合機能矯正学分野および顎顔面矯正学分野は、2014年実績で査読付き国際英文誌にそれぞれ10編以上の論文を掲載しており、学問分野は組織学・免疫学・神経生理学・生体材料学・再生医学・遺伝学・統計学・臨床歯科矯正学など多岐にわたっている。各教員はそれぞれの論文に共同研究者として参画していることから、本プログラムの教育課程に見合った教員組織であると考えている。また、本学の専任教員は既存組織の教員が兼担するが、入学定員が3名であること、また、本学開設の授業科目を2年次に集中させるなど、カリキュラム編成で工夫を行うことで、母体となる研究科の教員の負担軽減を図っている。

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

本専攻では、超高齢化等の社会的ニーズに即応し得る高度な研究能力を有する医科学者、特にがん治療に精通した外科学分野で活躍できる臨床医、及び我が国やタイ王国のみならず ASEAN 地域の医学・医療を牽引する指導者となる高度専門医療人材養成の推進を目的として、外科系分野における研究業績に加え、学会等を立ち上げ学問的発展をリードしてきた教員、最新研究手法や研究に必要な科学論文読解能力の修得方法を指導する教員、外科系分野の臨床経験が豊富な国内外の教員等、大学院博士課程における教育経験が豊富な教員を配置した教員組織を編成する。学位審査にあたっては、両大学が共同して実施するものとし、審査員となる教員のレベルの同等性を確保する。

本専攻の学生は、学位取得という明確な目標の下、外科系専門分野、及び外科系関連医科学分野に関し、深い知識と豊かな経験を持つ本学、及びマヒドン大学の教員による体系的な専門教育や研究指導を通して、国際性豊かな環境の下、高度な医療教育を受けられることが大きな特色の一つである。

イ 教員組織編成の特色

修士課程医歯理工保健学専攻

本専攻では以下の人材育成目標及び教育目標の達成に相応しい効率的な教員組織を編成・配置を行っている。

・医学、歯学、生命理工学、保健学を中心とする多分野融合を実現した体系的な教育課程を基に、生命科学領域の相互連携を図り、人類の健康と福祉に関する幅広い知識および高い倫理観を有する医学、歯学、生命理工学、保健学分野の教育者、研究者、技術者等を育成する。

(1) 教員の年齢構成

本専攻専任教員 406 名のうち、教授が 111 名、准教授 74 名、講師が 73 名、助教が 148 名である。専任教員の年齢構成については、修士課程の完成年度（令和 9 年 3 月 31 日）時点で 30～39 歳が 40 名、40～49 歳が 160 名、50～59 歳が 129 名、60～65 歳が 54 名となっており、教育研究水準の維持向上及び研究教育の活性化に支障が無い構成となっている。

(2) 教員数と学生数の関係

本専攻の 1 年次入学定員は 131 名であり、当該専攻の専任教員は 406 名であることから、学生 1 名あたりの教員配置は 3 名となり、教育研究水準の維持向上及び研究教育の活性化に十分な教員構成となっている。多種多様な知識を持った教員を配置することで、学生への多様な視点からの教育を可能としている。

博士課程医歯学専攻

本専攻では以下の人材育成目標及び教育目標の達成に相応しい効率的な教員組織を編成・配置を行っている。

・医学と歯学の両分野の専門的知識を熟知し、他分野との緊密な連携により世界をリードする研究者、教育戦略を打ち立て実行できる心豊かな教育者、高い倫理観を有し研究心旺盛な高度専門

医療人、そして新しい時代を開拓するオピニオンリーダーを養成することを目的としており、具体的には次のような能力を有する人材を育成する。

(1) 教員の年齢構成

本専攻専任教員 303 名のうち、教授が 84 名、准教授 44 名、講師が 65 名、助教が 110 名である。専任教員の年齢構成については、博士課程の完成年度（令和 11 年 3 月 31 日）時点で 30～39 歳が 10 名、40～49 歳が 105 名、50～59 歳が 115 名、60～65 歳が 35 名となっており、教育研究水準の維持向上及び研究教育の活性化に支障が無い構成となっている。また、定年は本学規程に基づき 65 歳とし、退職者が生じる際には教員組織の継続性の担保の為に同様の科目名称・専門分野で補充する。

(2) 教員数と学生数の関係

本専攻の 1 年次入学定員は 181 名であり、当該専攻の専任教員は 303 名であることから、学生 1 名あたりの教員配置は 1.67 名となり、教育研究水準の維持向上及び研究教育の活性化に十分な教員構成となっている。

博士課程医歯学系専攻

本専攻の教育課程を担当する教員組織は、平成 30 年度改組以降医歯学専攻へ配置しており、統合以降（令和 6 年 10 月予定）も所属分野における研究指導、論文指導については、引き続き医歯学専攻の教員が担当する。

博士課程生命理工医療科学専攻

本専攻では以下の人材育成目標及び教育目標の達成に相応しい効率的な教員組織を編成・配置を行っている。

・生命科学、生体工学、医療科学とその関連分野（生命理工医療科学分野）に精通し、生命理工医療科学と疾患研究領域との融合的学際分野において幅広い教養と国際的な視野を有し、高度な専門性と実践的問題解決能力を持った人材、とりわけ先端的な研究遂行能力を有する研究者、卓越した学識と優れた人間性を有する教育者、技術革新を目指すバイオ産業、医療機器開発、先制医療を実現する臨床検査などの現場で、リーダーシップを発揮して活躍できる人材を育成する。

(1) 教員の年齢構成

本専攻専任教員 87 名のうち、教授が 27 名、准教授 20 名、講師が 4 名、助教が 36 名である。専任教員の年齢構成については、博士後期課程の完成年度（令和 10 年 3 月 31 日）時点で 30～39 歳が 12 名、40～49 歳が 38 名、50～59 歳が 24 名、60～65 歳が 4 名となっており、教育研究水準の維持向上及び研究教育の活性化に支障が無い構成となっている。

(2) 教員数と学生数の関係

本専攻の 1 年次入学定員は 25 名であり、当該専攻の専任教員は 87 名であることから、学生 1 名あたりの教員配置は 3.48 名となり、教育研究水準の維持向上及び研究教育の活性化に十分な

教員構成となっている。

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

（１）教員配置の基本的な枠組み

本専攻のカリキュラムは学位取得のための研究指導体制（PhD プログラム）と臨床研修のための指導体制（Subspecialty プログラム）の２つのプログラムが並列した構成となっているが、指導内容は個別の学生の状況に応じて適切に運用することとしており、有効かつ効率的な教育が行えるよう統括的な指導を行う。

東京科学大学（仮称）医学部長、チリ大学医学部長及び関連病院（CLC）のアカデミックディレクターで構成される学部長等会議がプログラム運営の全体を総括し、個々の学生に対する教育研究活動の調整は、東京科学大学（仮称）、チリ大学および関連病院（CLC）から少なくとも１名以上の教員（教授あるいは准教授（相当））よりなる学術委員会（総員５名以上）が行う。少なくとも１ヶ月に１度のテレビ会議（必要に応じてその都度開催）を通じてきめ細やかな指導体制を構築する。また、学生の勉学、研究、生活の監督者として、学生ごとに指導教員（Tutor）を日本・チリ両国にそれぞれ配置する。

１）PhD プログラム

３年次への進級試験審査は評価試験委員会（東京科学大学（仮称）、チリ大学および関連病院（CLC）並びに他学部または他大学から少なくとも１名以上の教員（教授あるいは准教授（相当））で構成）において厳正かつ指導的な評価を行う。５年次の学位論文審査も評価試験委員会がテレビ会議等を利用して行うとともに、最終試験（学位取得試験）は、評価試験委員会委員に加えて東京科学大学（仮称）医学部長、チリ大学医学部長および関連病院（CLC）のアカデミックディレクターで構成される学位取得試験委員会にて発表会形式の公開試験を行って、厳格性、透明性を担保する。学位論文指導を担当する教員は学生個々の研究テーマによって異なるが、東京科学大学（仮称）教員、チリ大学教員、チリ大学医学部の教員を兼ねている関連病院（CLC）の医師が１名ずつ担当する。研究テーマも考慮するが、原則、チリ国医師資格を持つ学生の場合はチリ大学の教員が主担当となり、日本国医師資格を持つ学生の場合は東京科学大学（仮称）の教員が主担当を務める。本専攻が用意する体制では、論文指導、学位審査を単一施設で行う場合よりも多くの専門家が同一の領域に存在することになるため、質の高い教育研究活動を確保する上で、研究内容の向上、指導体制の向上、評価の妥当性など多くの面で利点があると考えられる。

２）Subspecialty プログラム

チリ国医師資格を持つ学生（外国人の場合はチリ国外務省が認定した国の医師資格保持者またはチリ大学が有効と認めた医師資格保持者）でコースを修了した者には、上部消化管外科、大腸肛門外科あるいは胃腸病内科のチリ国専門医資格がチリ大学から授与される。チリ大学認定の専門医資格であるため、チリ国専門医資格授与のための試験はチリ大学で遂行される。

日本国医師資格を持つ学生の場合、例えば Subspecialty の消化器外科専門医は、外科専門医取得後、指定修練施設（認定施設及び関連施設）において所定の修練カリキュラムに従い、通算

5 年間以上の修練を行っていることが必要条件として挙げられている。本コースの臨床基礎・臨床応用Ⅰの演習は所定の修練として認められるため、コースに応じて消化器外科専門医または消化器病専門医（Subspecialty）を認定する機関に申請することが可能となる。

（２）各大学の教員構成

以下のとおり、東京科学大学（仮称）が本専攻に配置する教員数は「大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成 11 年 9 月 14 日 文部省告示第 175 号）」において医学系博士課程に置くものとされている研究指導教員及び研究指導補助教員 60 名以上という基準を上回っている。また、チリ大学も 39 名の教員を配置しており、入学定員が 3 名であることと本専攻の教育研究分野（医学分野）を考慮すると、本専攻の教育課程を実施することについて問題はない。

１）東京科学大学（仮称）

東京科学大学（仮称）が開設する授業科目の単位数は 280 単位あるが、調整担当教員として本専攻に所属する教員 1 名の他、東京科学大学（仮称）大学院医歯学総合研究科の教員 61 名の計 62 名（うち、教授及び准教授 44 名）が担当者となる。

２）チリ大学

チリ大学が開設する授業科目の単位数は 338 単位あるが、28 名（うち、教授相当及び准教授相当 28 名）が担当者となる。

（３）チリ大学等との調整を行う専任教員

東京科学大学（仮称）のチリ海外拠点（LACRC）に派遣している本専攻所属の教員 1 名がチリ大学および関連病院（CLC）との調整を行う。PRENEC における内視鏡検査支援の他、本専攻の「胃腸病内科臨床応用（チリ大学）」などに携わるが、日常的な連絡調整については、LACRC に配置している日本語、英語およびスペイン語を使用できる事務職員（チリ人（日本留学経験者）1 名）がサポートする体制を整えており、自らの教育研究活動の他、調整に専念できる体制を整えている。

（４）本専攻の長の選任方法

既設の専攻においても専攻の長は置いていないため、本専攻の長も置かないが、学術委員会の委員を務める両大学の教授が共同で責任を持つ。

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

本専攻の教員は、本学からは調整担当教員 1 名を除き、本学医歯学総合研究科医歯学専攻の教員が兼ねることとし、36 名を専任教員として配置する。

教員組織の編成の特色として、特に博士論文を作成するにあたり、大学間で密に連携することにより、博士課程に必要な幅広い専門知識の修得に向けて組織的な対応が図れるように配慮した。また、学位審査にあたっては、両大学が共同して実施するものとし、審査員となる教員のレベルの同等性を確保する。

学位論文指導を担当する教員は学生個々の研究テーマによって異なるが、東京科学大学（仮称）教員、チュラロンコーン大学教員が1名ずつ担当する。研究テーマも考慮するが、原則、タイ人学生の場合はチュラロンコーン大学の教員が主担当となり、日本人学生の場合は東京医科歯科大学の教員が主担当を務める。本専攻が用意する体制では、論文指導、学位審査を単一大学で行う場合よりも多くの専門家が同一の領域に存在することになるため、質の高い教育研究活動を確保する上で、研究内容の向上、指導体制の向上、評価の妥当性など多くの面で利点があると考えられる。上記の研究指導を行う本学およびチュラロンコーン大学の教員は、歯科矯正学分野を専門分野として、豊富な教育経験と研究実績を有する教員を配置する。

連携外国大学であるチュラロンコーン大学との調整を担う本専攻所属の専任教員1名は、本学歯学部歯学科を卒業後、スイスにおいて研究員の経験を有している若手教員である。

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

本専攻の教員は、本学からは調整担当教員1名を除き、本学医歯学総合研究科医歯学専攻の教員が兼ねることとし、62名を専任教員として配置する。本専攻の入学定員は3名であるが、マヒドン大学の教員が参画し指導体制を構築することから過度に教育負担は増大しない。なお、本専攻が対象とする外科系専門分野及び外科系関連医科学分野では、2017年実績で査読付き国際学術誌に合計107編の論文を掲載しており、学問分野は総合外科学、消化管外科学、臨床腫瘍学、肝胆膵外科学、腎泌尿器外科学、頭頸部外科学、幹細胞制御、発生再生生物学、バイオメカニクス、臨床解剖学等、多岐にわたっている。

マヒドン大学は、シリラート病院医学部から豊富な教育経験と研究実績を有する教員51名を本専攻の指導教員として配置する。

研究指導教員については、両大学の協議により本学の教員62名（うち教授21名、准教授9名、講師18名、助教14名）、マヒドン大学の教員51名（うち教授4名、准教授24名、助教23名）を配置する。学生の個々の研究テーマを考慮のうえ、臨床基幹科目を担当する入学手続き大学の外科系専門分野の教員を主指導教員として配置し、連携大学の外科系専門分野の教員から副指導教員を決定する。そして、研究実践と論文作成を担当する教員を主・副研究担当教員としてそれぞれ決定する。なお、研究のテーマによっては、主・副指導教員、及び主・副研究担当教員に一部重複がありうる。主・副指導教員、及び主・副研究担当教員から構成される複数指導体制により、単一大学で学生の教育を行う場合よりも多くの専門家が関わることになるため、研究内容の向上、指導体制の向上、評価の妥当性など多くの面で利点があると考えられる。よって、本専攻の教育課程における、質の高い教育研究活動を確保する上で、十分な教員配置計画となっている。

連携するマヒドン大学との調整を行う専任教員は、英語が堪能で国外の大学との調整経験を持つ教員を充てることとしている。本教員は、本学医学部医学科を卒業後、イギリスの大学において研究員を経験しており、英語が堪能である。また、文部科学省高等教育局での勤務も経験しており教育について馴染みがある。これまでに本学が実施しているハーバード大学海外研修プログラムにおいて、新しいカリキュラムの作成手法を学ぶとともに、教育手法についても学んでいる。

これらを本学の教育の中で様々に実践してきた経験をもっている。また、日本医学教育学会の医学教育専門家として認定されており、本学の医学教育を牽引する教員である。

既設の専攻では専攻長を置いていないため、本専攻でも本学の教授 1 名を責任者として学長が任命する。また当該責任者は、本学及びマヒドン大学の教員で構成されるプログラム運営委員会の委員長を務め、本専攻内のカリキュラム、学生指導、入学者選抜試験、学生募集を含めた運営全体を統括する。また、マヒドン大学にも当該責任者とともに運営する代表者をマヒドン大学の教員の中から 1 名配置し、滞在中の学生指導や学生募集等を両大学で行うことができるようにしている。

6. 教育方法、履修指導方法及び修了要件

ア 教育方法等

修士課程医歯理工保健学専攻

(1) 教育方法の工夫

教育課程の編成にあたって以下の点を特色とする。

- 1) 専門分野だけでなく、医学、歯学、保健学、生命理工学を中心とした多分野融合教育を推進し、医歯科学および疾病における広範な基礎的知識を修得するため、基礎科目を設ける。
- 2) 医学、歯学、保健学、生命理工学領域の高度な専門知識を修得するため、専門科目を設ける。
- 3) 専門分野における最先端の知識と技術を身につけ、科学的思考力と倫理観に根ざす高度な実践を展開できる能力を養うため、演習・実習・研究科目を設ける。
- 4) 医療管理政策学コースの人材養成目標に則り、医療管理ならびに医療政策の分野において、患者中心のより良い医療を効率的に提供できる社会システムを構築する能力を養うため、医療管理政策学科目を設ける。
- 5) グローバルヘルスリーダー養成コースの人材養成目標に則り、地球規模の保健医療の課題に対し要因を同定し対策を講じる能力を養うため、グローバル健康医学科目を設ける。

(2) 研究指導・履修指導

本専攻の教育課程は、前学期及び後学期の 2 学期制としている。取得を希望する学位によって履修登録科目をわけ、幅広知識を身につけられるよう 116 科目の講義を開講している。2 年次前期までに課題研究を除く必修科目、選択必修科目、選択科目の中から 26 単位を修得し、2 年次後期は集中して論文執筆にあたる。また、副指導教員制度を導入しており、理学、工学、保健学の学位取得を目指す場合は必ず副指導教員をつけ指導をうける。また、先制医療学コース、遺伝カウンセリングコース、臨床疫学プログラムといった、各専門に特化したコースを設置することで、将来その能力を必要とする学生がより深く学び、研究できるようになっている。

博士課程医歯学専攻

(1) 教育方法の工夫

教育課程の編成にあたって以下の点を特色とする。

- 1) 複数指導体制による集団的な指導体制により、幅広い専門分野の教員が客観的で学際的な研究指導を行う。
- 2) 国費留学生優先配置プログラムとも連携し、日本人学生と留学生と一緒に研究指導を受ける国際的な環境を創出する。
- 3) 演習科目や研究実習において、先端的な国内外共同研究に学生が参加することで、高度な専門性と国際性を持った国際競争に耐えられる人材を養成する。
- 4) グローバルな視野形成と人的ネットワーク形成に必要な実践的スキルの養成を重視した授業科目で構成している「一般科目」を必修としている。
- 5) 企業などの学外講師を含めた教員による少人数、双方向授業を行うことで、自己課題発見・課題解決を得意とする人材を養成する。
- 6) 医療・生命情報に関わる学際的な科目を新設し、統合先制医歯保健学に資する高度な研究者、教育者及び医療人材を養成する。

(2) 研究指導・履修指導

1. 研究指導について

研究指導については、大学院学則及び学位規則に基づいて実施され、専門分野の教育目的及び研究内容に応じ、行われている。

・本専攻の特徴

複数指導体制による集団的な指導体制により、幅広い専門分野の教員が客観的で学際的な研究指導を行う。

2. 複数指導体制

本専攻では、主指導教員（1名）、副指導教員（1名以上）の複数指導体制を行っている。主指導教員は所属の分野長、副指導教員は所属の分野とは別の分野から選出、教務委員会及び研究科運営委員会において副指導教員を決定する。

・複数指導体制の目的

総合的な視点や多面的な視点からの研究指導を展開し、優れた研究を行うことを目的とする。

・複数指導体制実施による効果

- ①研究計画立案時における学生の自主性、指導教員選択の自由の保証
- ②研究計画案にのっとり目標設定
- ③複数教員による研究指導による研究のレベルの上昇
- ④教員・学生間に生じる個人的問題の解消
- ⑤分野間研究の連携が円滑になる。
- ⑥学外研究委託学生に対し、責任を持った教育研究が可能となる。

3. research progress meeting

本専攻では、歯学系の分野に所属する大学院生に対して、3人指導体制による research progress meeting を実施する。

本プログラムは、従来の分野における臨床教育、基礎教育に加え、基礎・臨床融合型教育研究システムを構築し、さらに国際化支援を行い、優れた研究能力等を備えた臨床歯科医の育成、臨床指向型研究分野で世界をリードする研究者の育成を行うことを目的とする。文部科学省大学院教育改革支援プログラムとして開始し、フォローアップ期間を得て現在は大学院の歯学系の教育研究分野に所属する全ての大学院生が履修する形となる。

医歯学総合研究科コース特論という授業科目として、1年次には4つのコースから1コースを選択しコース別授業を受講し、2年次以降は3名の指導教員（主指導教員1名、複数指導教員2名（うち副指導教員の中に必ず臨床系分野教員と基礎系分野教員の両方を含む））による research progress meeting を実施し、研究進捗状況の確認や研究テーマのブラッシュアップを行う。

博士課程生命理工医療科学専攻

（1）教育方法の工夫

教育課程の編成にあたって以下の点を特色とする。

- 1) 複数指導教員制と学内外のアドバイザーによる集団的な指導体制により客観的で学際的な研究指導を行う。
- 2) 国費留学生優先配置プログラムとも連携し、日本人学生と留学生が一緒に研究指導を受ける国際的な環境を創出する。
- 3) 演習科目や研究実習において、先端的な国内外共同研究に学生が参加することで、高度な専門性と国際性を持った国際競争に耐えられる人材を養成する。
- 4) グローバルな視野形成と人的ネットワーク形成に必要な実践的スキルの養成を重視した授業科目で構成している「一般科目」を必修としている。
- 5) 企業などの学外講師を含めた教員による少人数、双方向授業を行うことで、自己課題発見・課題解決を得意とする人材を養成する。
- 6) 医療・生命情報に関わる学際的な科目を新設し、産業化・医療情報セキュリティを理解した高度な研究者、教育者及び医療人材を養成する。

（2）研究指導・履修指導

本専攻の教育課程は、前学期及び後学期の2学期制としている。研究者としての基礎や専門および隣接する研究分野に関する豊かな学識を養うために、必修科目の「研究実習」を除く科目は原則として2年次末までに修得し、3年次は複数の指導教員から研究課題に則した研究指導を受け、論文作成などのリサーチワークを行うものとする。すべての科目において、履修要項により到達目標、授業方法、評価方法、事前事後学習の内容等を周知する。また、「研究実習」においては、指導教員を含めた複数指導体制をとり、データ取得のための実験や学位論文作成に向けた指

導を行う。加えて、学生の研究状況を把握し、該当科目の単位修得、学位申請に向けて的確なアドバイスをを行うことを目的とした中間アドバイスの制度を設ける。中間アドバイスを実施するアドバイザー教員は3名であり、アドバイザー教員のうち1名を主アドバイザーとする。主アドバイザーは副指導教員とし、残りの2名のアドバイザーについては、原則1名は他大学の教員とする。（主指導教員は、アドバイザーにはなることはできない。）これは、「研究室での研究活動に過度に依存して蝸壺的な教育に陥ることのないよう、体系的なコースワークの実施などに留意する」という、中央教育審議会大学分科会「未来を牽引する大学院教育改革～社会と協働した「知のプロフェッショナル」の育成～」(審議まとめ)に沿ったものである。

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

1) PhD プログラム

1 年次および 2 年次の前期に一般教養科目、基礎科目、応用科目、研究演習、文献ゼミナールの授業を開設する。使用する言語は原則的に共通言語の英語を使用する。これは、世界的な臨床医学情報、基礎医科学研究情報が主に英語によって発信されていることとともに、本専攻を修了した人材が将来的に活躍する国際的、学際的な学術発表の場では学会・論文いずれにおいても英語が主たる言語として使用されていることによる。

海外の最新事情や最先端の知識に触れグローバルな視点を身につけるため、チリ大学と東京科学大学（仮称）が開設する授業科目をチリ国で履修することを原則とし、英語を用いた日本・チリ両国の教員による講義を設ける。東京科学大学（仮称）が開設する科目は、CD による講義録画記録を作成して前もって学生に送付することによって予習させ、その後に skype や Zoom、テレビ会議の方式を用いて質疑あるいは小試験等を行う反転授業形式で行う。また、必要に応じて適宜テレビ会議の方式を用いてライブ講義を行う。これらの工夫により、チリ国に滞在する学生も東京科学大学（仮称）の講義を受講することができる。

2) Subspecialty プログラム

使用する言語は、日本人教員とチリ国医師資格を持つ学生、チリ人教員と日本国医師資格を持つ学生のコミュニケーションには原則として英語を使用するが、臨床研修においては患者やメディカルスタッフとのコミュニケーションも必要となるため、臨床現場での状況も踏まえて日本国医師免許を持つ学生に対し行う科目については、日本語および英語を使用し、チリ国医師免許を持つ学生に対して行う科目については、スペイン語および英語を使用する。

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

本専攻ではすべての授業科目において英語を使用する。タイ国においては、平成 9 年より、6 歳から 11 歳の初等学校で第 1 外国語として英語授業が行われているなど、年少期から英語に慣れ親しんでいる。また、地域的にもタイは言語の違うマレーシアやミャンマーと国境を接している関係上、共通語として国際通用性の高い英語が生活の場で使用されることも多く、連携外国大学のチュラロンコーン大学の授業でも、母国語のタイ語ではなく英語を用いている。また、東京

科学大学（仮称）の授業では、英語圏の留学生が在籍していることもあり、留学生が履修登録した授業科目では、英語による授業も開講しているため、教員の負担はなく、両大学の教員および学生にとって、意思疎通を図る手段として英語が適していることに加え、本専攻を修了した歯学領域の専門知識を身に付けた実践力のある人材が活躍するフィールドとなる ASEAN 各国においては、英語が教育言語、もしくは、主要教育外国語となっており、本専攻で国際通用性のある英語を使用することは適切である。

チュラロンコーン大学が開設する授業科目については、原則、チュラロンコーン大学の研究指導教員が責任をもって実施するが、東京科学大学（仮称）の研究指導教員は skype や Zoom、e-mail などを活用して履修状況を密に確認・共有する。学生に対しては、skype や Zoom、TV 会議システム、e-mail などを活用して指導に関わる。

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

本専攻ではすべての授業科目において英語を使用する。タイ王国においては、1997 年より、6 歳から 11 歳の初等学校で第 1 外国語として英語の授業が行われており、人々は年少期から英語に慣れ親しんでいる。マヒドン大学の医学部の授業においても、医学に関する用語は、タイ語ではなく英語を用いている。また、本学の授業では、外国人留学生が在籍していることもあり、英語による授業も開講しているため、本専攻開設に伴う教員の負担はなく、両大学の教員及び学生にとって、意思疎通を図る手段としても英語が適していると言える。さらに、本専攻を修了した高度専門医療人材が活躍するフィールドとなる日本及び ASEAN 各国においては、英語が主要教育言語、もしくは主要教育外国語となっている。学生の英語力向上のためにも、本専攻で国際通用性のある英語を使用することは有効である。

開設する授業科目については、原則、それぞれの大学が責任をもって実施するが、共同開設科目である「臨床基幹科目Ⅱ」は両大学の教員が共同で担当する。学生の研究指導を担当する指導教員は、両大学の教員から指導教員（主・副）及び研究担当教員（主・副）を配置し（一部重複もありうる）、主指導教員が中心となってテレビ会議システムや Skype、Zoom、E-mail 等を活用して学生の履修状況を密に確認し、共有する。

イ 履修指導方法

修士課程医歯理工保健学専攻

1. 履修ガイダンスの実施

入学時の履修ガイダンスにおいて、教員および教務担当者による授業の履修指導を実施している。学生に「履修登録のしおり」を配付し、教育課程、修了要件、履修方法を明示、また、学位ごとの履修モデルを例示し、学習、研究に対応した指導体制をとっている。なお、本専攻の特色として、近い将来、個々人のゲノム・エピゲノム情報、リアルタイム電子医療情報に加えて、センシング技術の進歩とともにリアルタイムでの生活習慣、環境要因関連情報を統合的に収集し「医療ビッグデータ」を構築して、種々のデータマイニング技術を開発して解析し、その解析結

果を基に個別先制医療が実現されると考えられ、これらの大きな社会的環境変化に対応する人材育成のため、「先制医療学コース」を設置しており、また、修士課程と博士課程をまたがる形で Institute of Science Tokyo の社会医学分野における国際的認知度を高めること及び Institute of Science Tokyo から日本の臨床研究、医療政策、保健政策に関与する人材を輩出することを目的とし、「臨床疫学プログラム (Clinical Epidemiology Program (CEP))」を設置しており、本コース及びプログラムの履修方法についてもガイダンスにて周知を行う。留学生に対しては、4月と10月にオリエンテーションを実施し、健康管理、大学生活に必要な諸手続、日本での研究・勉学及び日常生活等について説明し、円滑な学生生活が送れるよう支援している。

2. 履修要項(シラバス)

学生が授業内容を十分に把握した上で履修計画を立てられるように、時間割及び全ての授業科目の履修要項(シラバス)を作成し、学内規定とともに随時教務 Web システム「Dream Campus」の画面上で確認できるようにしている。履修要項(シラバス)は、本専攻の教育目標に基づいて適切に作成され、統一様式で「1 授業の目的と概要」、「2 到達目標」、「3 授業計画」、「4 授業方法」、「5 成績評価方法」、「6 準備学習等についての具体的な指示」について掲載し、学生が各科目の趣旨を十分理解し、学習に活用できるよう明示されている。また、講義及び成績評価方法については学生および教員アンケートを実施し、教務委員会にて報告・検証している。また、全ての科目について英語シラバスの作成を行い、原則留学生が履修登録をした場合は英語開講として留学生の支援を行っている。

3. 履修計画について

履修計画については入学時に所属分野の分野長である主指導教員と相談し、決定する。研究者としての基礎や専門および隣接する研究分野に関する豊かな学識を養うために、必修科目「課題研究」を除く科目は原則として2年次前学期までに修得し、指導教員より研究指導を受け、論文作成などのリサーチワークを行うものとする。上記の指導に加え、主体的な学習促進のため、関連図書・文献の利用環境の整備・充実を図り、e-learning を活用した自主的学習環境の整備を行っている。

博士課程医歯学専攻

・履修指導

1. 履修ガイダンスの実施

入学時の履修ガイダンスにおいて、教員および教務担当者による授業の履修指導を実施する。学生に「履修登録のしおり」を配布し、教育課程、修了要件、履修方法を明示、また、医学系・歯学系ごとの履修モデルを例示し、学習、研究に対応した指導体制とする。

なお、本専攻では様々な領域の研究者・専門家が連携して、疾患に関わる種々のオミックスデ

ータを収集し、それらを統合的に解析して、疾患メカニズムの包括的理解に基づく健康管理アルゴリズムを開発し、さらには社会実装を目指す統合先制医歯保健学の推進に資する人材育成のため、生命理工医療科学専攻と本専攻をまたがる形で「先制医歯理工学コース」を設置しており、本コースの履修方法についてもガイダンスにて周知を行う。留学生に対しては、4月と10月にオリエンテーションを実施し、健康管理、大学生活に必要な諸手続、日本での研究・勉学及び日常生活等について説明し、円滑な学生生活が送れるよう支援する。

2. 履修要項(シラバス)

学生が授業内容を十分に把握した上で履修計画を立てられるように、時間割及び全ての授業科目の履修要項(シラバス)を作成し、学内規定とともに随時教務 Web システム「Dream Campus」の画面上で確認できるようにしている。履修要項(シラバス)は、本専攻の教育目標に基づいて適切に作成され、統一様式で「1 授業の目的と概要」、「2 到達目標」、「3 授業計画」、「4 授業方法」、「5 成績評価方法」、「6 準備学習等についての具体的な指示」について掲載し、学生が各科目の趣旨を十分理解し、学習に活用できるよう明示する。また、講義及び成績評価方法については科目ごとに学生アンケートを実施し、教育委員会にて報告・検証を行う。また、全ての科目について英語シラバスの作成を行い、原則留学生が履修登録をした場合は英語開講として留学生の支援を行う。

3. 履修計画について

履修計画については入学時に所属分野の分野長である指導教員と相談し、決定する。研究分野における基本的な研究概念や、研究方法の基礎知識、必要な倫理観を身につけるために、研究者の行動規範に関する講義を「初期研究研修」として入学直後に履修するほか、所属分野が開講する分野科目を1年次に特論、1～2年次に演習、2～3年次に研究実習を履修した上で、4年次の研究課題に即した研究指導を受ける論文作成などの研究活動へとつなげるものとする。

ただし、社会人学生等が柔軟に履修期間・内容を選択できるよう、早期修了や長期履修制度を導入し、長期履修学生が単位を修得する場合は、指導教員のもとで履修指導及び研究指導について、よく相談のうえ、勤務状況や生活実態を考慮した個別の対応を図ることとする。

上記の指導に加え、主体的な学習促進のため、関連図書・文献の利用環境の整備・充実を図り、e-learning を活用した自主的学習環境の整備を行う。

・研究の倫理審査体制等

文部科学省が制定している「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」が令和3年2月に改正されたことを受け、「国立大学法人東京医科歯科大学における研究活動に係る不正行為防止規則」を改正し、併せて研究費の不正使用を防止するため、研究活動に関わる全ての構成員が遵守すべき基本方針として「国立大学法人東京医科歯科大学における研究費の不正使

用防止に関する基本方針」を定めたところである。

また、適切な研究活動を目的として、「研究倫理講習会」及び『「安全で適正な研究」に係る研修会』を毎年オンラインと e-learning にて開催し、該当の研究を実施する教職員の受講を義務付けている。これらの研修は上述した「初期研究研修」の講義としても開講しているため、大学院生は入学直後のタイミングで受講することを可能とする。

また、平成 30 年度より学生募集を停止している医歯学系専攻の教育課程においても、これらの教育方法及び研究指導・履修指導方法に基づいて学生の指導を実施し、本専攻ではその内容を踏襲する。

博士課程生命理工医療科学専攻

1. 履修ガイダンスの実施

入学時の履修ガイダンスにおいて、教員および教務担当者による授業の履修指導を実施している。学生に「履修登録のしおり」を配付し、教育課程、修了要件、履修方法を明示、また、学位ごとの履修モデルを例示し、学習、研究に対応した指導体制をとっている。なお、本専攻の特色として、様々な領域の研究者・専門家が連携して、疾患に関わる種々のオミックスデータを収集し、それらを統合的に解析して、疾患メカニズムの包括的理解に基づく健康管理アルゴリズムを開発し、さらには社会実装を目指す統合先制医歯保健学の推進に資する人材育成のため、医歯学専攻と本専攻をまたがる形で「先制医歯理工学コース」を設置、また、修士課程と博士課程をまたがる形で東京科学大学（仮称）の社会医学分野における国際的認知度を高めること及び東京科学大学（仮称）から日本の臨床研究、医療政策、保健政策に関与する人材を輩出することを目的とし、「臨床疫学プログラム（Clinical Epidemiology Program (CEP)）」を設置しており、本コース及びプログラムの履修方法についてもガイダンスにて周知を行う。留学生に対しては、4 月と 10 月にオリエンテーションを実施し、健康管理、大学生活に必要な諸手続、日本での研究・勉学及び日常生活等について説明し、円滑な学生生活が送れるよう支援している。

2. 履修要項(シラバス)

学生が授業内容を十分に把握した上で履修計画を立てられるように、時間割及び全ての授業科目の履修要項(シラバス)を作成し、学内規定とともに随時教務 Web システム「Dream Campus」の画面上で確認できるようにしている。履修要項(シラバス)は、本専攻の教育目標に基づいて適切に作成され、統一様式で「1 授業の目的と概要」、「2 到達目標」、「3 授業計画」、「4 授業方法」、「5 成績評価方法」、「6 準備学習等についての具体的な指示」について掲載し、学生が各科目の趣旨を十分理解し、学習に活用できるよう明示されている。また、講義及び成績評価方法については科目ごとに学生および教員アンケートを実施し、教務委員会にて報告・検証している。また、全ての科目について英語シラバスの作成を行い、原則留学生が履修登録をした場合は英語開講として留学生の支援を行っている。

3. 履修計画について

履修計画については入学時に所属分野の分野長である主指導教員と相談し、決定する。研究者としての基礎や専門および隣接する研究分野に関する豊かな学識を養うために、必修科目「生体検査科学セミナーⅡ」、「口腔保健学セミナー」を除く科目は原則として2年次末までに修得し、3年次は複数の指導教員から研究課題に則した研究指導を受け、論文作成などのリサーチワークを行うものとする。ただし、社会人学生等が柔軟に履修期間・内容を選択できるよう、早期修了や長期履修制度を導入し、長期履修学生が単位を修得する場合は、指導教員のもとで履修指導及び研究指導について、よく相談のうえ、勤務状況や生活実態を考慮した個別の対応を図ることとする。上記の指導に加え、主体的な学習促進のため、関連図書・文献の利用環境の整備・充実を図り、e-learningを活用した自主的学習環境の整備を行っている。

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

1) PhD プログラム

履修を開始する前に学生1人に対し東京科学大学（仮称）とチリ大学、関連病院（CLC）からそれぞれ1人以上の研究指導教員が決定される。原則、チリ国医師資格を持つ学生の場合はチリ大学の教員が主担当となり、日本国医師資格を持つ学生の場合は東京科学大学（仮称）の教員が主担当を務める。日本国医師資格を持つ学生の場合は東京科学大学（仮称）のチリ海外拠点（LACRC）に赴任している本専攻所属の調整担当教員が生活面などを含めて積極的にフォローする。国際的に通用する高い研究能力と深い専門知識および研究者・科学者としての思考能力、倫理性を有する人材を養成するために共通科目としての一般教養科目、基礎科目、応用科目の授業科目を設ける。必修科目は全員がすべて履修するが、それ以外の一般教養科目は7科目、基礎科目は17科目、応用科目は15科目から、学生の研究テーマ及びSubspecialtyに相応する科目を選択する。授業科目の選択にあたっては、学術委員会が学生のそれまでの教育経験や臨床研究における特定の分野への指向、学問的関心、入学試験などを考慮して決定し、研究指導教員が履修を指導する。

また、研究の対象とする種々の事象に対して、新規の問題を自ら発見し、それに対して科学的な解析を行い、その解決策を科学的根拠に基づいて提示・実践し、評価できようになるため、日本学的研究に関わるものと臨床研究に関わるものの両者を準備する。

さらに、問題点の発見や自己解決能力、また相互評価を行うことによってお互いを高めあえる能力を身につけるため、発表形式の参加型授業を取り入れた「文献ゼミナール」を開設する。研究活動の中で研究実践のみならず、教育・研究を行う実施チームのリーダーとして適切かつ迅速に対応できるリーダーシップを核とする様々な能力をもつ人材を養成することを目指す。

進級試験に合格した後、3年次から5年次にかけて、国際通用性の高いthesis形式の学位論文を作成するための日本・チリ両国の教員による指導を行う「特別研究」科目を設けている。日本国医師資格を持つ学生は東京科学大学（仮称）湯島キャンパスで特別研究を履修するが、チリ国医師資格を持つ学生は研究計画に応じて一定期間（1年程度）東京科学大学（仮称）湯島キャンパスにおいて直接指導を受ける。

2) Subspecialty プログラム

チリ両国の各専門分野の研究指導教員による「研究演習」科目を設ける。チリ大学が開設する授業科目であるため、チリ大学の研究指導教員が責任をもって実施するが、東京科学大学（仮称）の研究指導教員は skype Zoom、や e-mail などを活用して履修状況を密に確認・共有する。学生に対しては、skype や Zoom、テレビ会議システム、e-mail などを活用して指導に関わる。演習の内容は基礎医

チリ国医師資格を持つ学生については、1 年次から、1) PhD プログラムの履修状況を考慮して、専門科目も開始する。日本国医師資格を持つ学生については、進級試験に合格し「特別研究」を日本で履修する時に専門科目を開始する。

高度の専門的医療人に求められる知識・経験・技能・リーダーシップを取得するための専門科目としてそれぞれの Subspecialty に対応した「上部消化管外科」、「大腸肛門外科」、「胃腸病内科」の 3 科目を設ける。各々、理論や基本手技を学ぶ「臨床基礎」と高度な手技とその実践を中心とする「臨床応用」の履修科目が設定されている。上部消化管外科、大腸肛門外科、胃腸病内科コースの中から一つを選択して専門科目を履修することになる。

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

本専攻は 5 年間の教育課程であり、学生は目標を明確にして主体的かつ計画的に学修を進めていけるよう履修指導をする。個々の学生の履修計画の指導は、入学手続きをした大学が担うが、学生の目標や指向性により、相手大学の教員にも助言を求められるよう、skype や Zoom、TV 会議システム、e-mail などを活用して個別指導を行うことができる体制を整える。

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

本専攻は 4 年間の教育課程であり、学生が目標を明確にして主体的かつ計画的に学生の目標や指向性により学修を進めていけるよう履修指導をする。個々の学生の履修計画の指導は、臨床教育を担当する主指導教員を中心に、副指導教員、主・副研究担当教員にも助言や協力を求めながら、テレビ会議システム等や、E-mail の活用、または直接面会する機会を設けるなど相互に履修指導ができるような体制を整える。

1 年次からの必修科目として、学生が両大学で履修できるよう両大学でそれぞれ「臨床基幹科目Ⅰ」を提供する。本科目は、外科臨床の具体的な研究テーマを通して高い技術を身につけさせることを目的とする。

1 年次に研究論文作成にあたる基礎知識を養うため、研究基幹科目の中から選択し履修させる。同時に 1 から 2 年次にかけて臨床統計・情報医科学関連専門科目を履修させ、疫学の基礎知識や、がんに関する総合的な知識、技術及び臨床研究を行うための方法論を修得させる。

2 年次前期から 4 年次前期にかけて共同開設科目である「臨床基幹科目Ⅱ」を履修させ、外科系専門科学の知識などをさらに幅広く修得させる。また同期間に「研究実践と論文作成」の履修を開始し、外科系専門分野に関する特定の研究課題について独創性・実践性の高い論文を作成で

きるよう両大学の指導教員が指導し、他専攻では提供できない手厚い指導及び多角的な視点から研究及び論文作成ができるようにしている。

連携大学で履修する期間は2年次前期から4年次前期の間で、最短半年から最大2年間までとしている。その時期は、学生の研究内容により、自由に選択し、滞在できるようカリキュラムを設定した。

ウ 修了要件

修士課程医歯理工保健学専攻

1) 医科学、歯科学、口腔保健学、理学、工学、保健学の学取得を目指す学生の修了要件は、本専攻に2年以上在学し、授業科目を30単位以上修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。履修すべき30単位については、修士（医科学）、修士（歯科学）の修得を目指す学生は、基礎科目中、必修科目から8単位、演習・実習・研究科目12単位、その他基礎科目（必修科目は除く。）、専門科目及び医療管理政策学科目並びにグローバル健康医学科目から10単位以上を履修し、合わせて30単位以上とする。

修士（口腔保健学）の修得を目指す学生は、基礎科目中、必修科目から7単位、基礎科目の選択科目中「病理病態学」及び「口腔保健臨地実習」又は「口腔保健工学特論」から2単位以上、演習・実習・研究科目12単位、その他基礎科目（必修科目は除く。）、専門科目及び医療管理政策学科目並びにグローバル健康医学科目から9単位以上を履修し、合わせて30単位以上とする。

修士（理学）、修士（工学）の修得を目指す学生は、基礎科目中、必修科目4単位、演習・実習・研究科目12単位、その他基礎科目（必修科目は除く。ただし、選択科目中、人体形態学を履修した者は口腔形態学の履修は不可）、専門科目及び医療管理政策学科目並びにグローバル健康医学科目から14単位以上を履修し、合わせて30単位以上とする。

修士（保健）の修得を目指す学生は、基礎科目中、必修科目1単位、専門科目中、必修科目7単位、演習・実習・研究科目12単位、その他基礎科目（必修科目を除く。ただし、選択科目中、人体形態学を履修した者は口腔形態学の履修は不可）、専門科目（必修科目は除く。）及び医療管理政策学科目並びにグローバル健康医学科目から10単位以上を履修し、合わせて30単位以上とする。

先制医療学コースについては、必修科目以外の選択科目について、ビッグデータ解析学、バイオメディカルデバイス理工学Ⅰ、研究倫理・医療倫理学、先制医療学実習、先制医療学基礎実習、医療データ科学概論、疫学Ⅰ、生物統計Ⅰの合計11単位を履修する。

遺伝カウンセリングコースについては、先進倫理医科学分野に所属し修士（医科学）の必須科目のほかにコース指定の11科目21単位（遺伝医学特論、生化学、研究倫理・医療倫理学、MMA医療提供政策論、MMA医療とコミュニケーション、先制医療学基礎実習、人類遺伝学、臨床遺伝学、研究倫理演習、遺伝カウンセリング学、遺伝カウンセリング実習）を履修する。

臨床疫学プログラムについては、必修科目以外の選択科目について、疫学基礎、生物統計学

基礎、生物統計学応用Ⅰ、生物統計学応用Ⅱ、臨床試験方法論基礎、臨床試験方法論応用、口腔疫学基礎、疫学応用の8科目のうち5科目（5単位）を履修する。

2) グローバル健康医学の学位取得を目指す学生は、必修科目28単位および選択科目2単位を含む合計30単位以上を履修。なお、医師免許または歯科医師免許のない学生は基礎医学概論が必須である。

3) 医療管理学の学位取得を目指す学生は本コースに1年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上修得し、かつ、所定の試験に合格することとする。必修科目18科目のうち13科目以上、その他の科目とあわせて合計22単位以上を履修し、課題研究8単位を履修する。

4) 医療政策学の学位取得を目指す学生は本コースに2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上修得し、かつ、所定の試験に合格することとする。必修科目15科目のうち11科目以上、その他の科目とあわせて合計22単位以上を履修し、課題研究8単位を履修する。

なお、修士論文の審査基準は次のとおりである。

修士課程における学位論文審査では、本学学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）等を踏まえ、論文の内容が、以下の要件を満たし、当該領域において、十分な研究能力を修得しているかという観点で審査する。

1) 研究目的の適切性

当該研究領域に関する基礎的な知識を有し、先行研究を十分に検討した上で、意義のある研究目的が適切に設定されているか。

2) 研究方法・倫理観

研究計画、研究方法が適切な実証性を備えているか。また、高い倫理観を持ち研究や実験を行っているか。

3) 考察

得られた研究データ・結果を正しく評価し、適切な考察がなされたうえで、論理一貫性をもって記述できているか。

博士課程医歯学専攻

本専攻では所属分野が開設する授業科目（特論、演習、研究実習）18単位、並びに所属分野以外が開設する特論、先制医歯理工学科目、臨床疫学科目、または専攻共通科目から12単位以上の計30単位以上修得し、博士論文の審査及び試験に合格することを修了要件とする。

修得可能な学位は、博士（医学）、博士（歯学）、博士（学術）、博士（数理医科学）となる。博士（数理医科学）を修得するためには、先制医歯理工学科目の臨床統計・バイオインフォマティクス専門科目のうち2単位以上修得すること、および数理医科学を担当する分野の特論（6単位）・演習（4単位）・研究実習（8単位）によるリサーチワークを行うことを要件とする。

なお、臨床疫学プログラム（Clinical Epidemiology Program）を履修する学生は、プログラム開設科目のうち、選択科目を5単位以上修得し、かつ必修科目「臨床疫学解析演習」を修得した場合、学位記に臨床疫学プログラムを修了した旨を付記する。

先制医歯理工学コース（臨床統計・バイオインフォマティクスプログラム）を履修する学生は、コース指定の授業科目を 30 単位以上修得した場合、学位記に先制医歯理工学コース（臨床統計・バイオインフォマティクスプログラム）を修了した旨を付記する。

学位論文の審査は、学位論文ごとに教授 2 名以上を含む 3 名以上の教員により構成される審査委員会を設けて審査を行う。審査の透明性を確保するために、審査委員会の構成は、研究科委員会等において審議し、決定する。

学位審査委員会では、学位論文審査を経て、口頭または筆答による最終試験を行い、ディプロマ・ポリシーに基づいた厳正な審査を行うことでその学位を与えるにふさわしいか否かを判断し、最終的には研究科委員会等の意見を聴き学長が学位の授与を決定する。

なお、学位論文の審査基準は次のとおりである。

本専攻における学位論文審査では、本学学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）等を踏まえ、論文の内容が、以下の要件を満たし、当該領域において、自立した研究者として高度な研究能力およびその基礎となる豊かな学識を修得しているかという観点で審査する。

1) 研究目的の先駆性・独創性

当該研究領域に関する多面的かつ専門的な知識を有し、先行研究を十分に検討した上で、先駆的又は独創的な発想に基づき研究目的が設定されているか。

2) 社会的意義

当該研究領域の発展に寄与し、人類の健康と福祉への貢献に繋がる研究内容であるか。

3) 研究方法・倫理観

研究計画、研究方法が幅広い視野に基づき策定されたものであり、高い論証性を備えているか。また、高い倫理観を持ち研究や実験を行っているか。

4) 考察・今後の発展性

得られた研究データ・結果を正しく評価し、適切かつ十分な考察がなされたうえで、論理一貫性をもって記述できているか。また今後の学問的発展性があるか。

また、平成 30 年度より学生募集を停止している医歯学系専攻においても、上記の修了要件に基づいて学位論文審査を行う。ただし、博士（数理医科学）は平成 30 年度の本専攻の新設に伴い設置された学位であることから、医歯学系専攻においては授与の対象とはならない。

博士課程生命理工医療科学専攻

修了要件は、当該専攻に 3 年以上在学し、所定の授業科目について 20 単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格することとする。所定の授業科目として、一般科目から 1 単位以上、一般科目・先制医歯理工学科目・専門科目から 5 単位以上、分野が開設する演習科目 6 単位（ただし分野が開設する演習科目 5 単位の場合、生体検査科学講座に所属する学生は生体検査科学セミナー1 単位、口腔保健学講座に所属する学生は口腔保健学セミナー1 単位を併せて履修するものとする）、必修科目 8 単位の計 20 単位以上

を履修する。

なお、学位論文の審査基準は次のとおりである。

本専攻における学位論文審査では、本学学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）等を踏まえ、論文の内容が、以下の要件を満たし、当該領域において、自立した研究者として高度な研究能力およびその基礎となる豊かな学識を修得しているかという観点で審査する。

1) 研究目的の先駆性・独創性

当該研究領域に関する多面的かつ専門的な知識を有し、先行研究を十分に検討した上で、先駆的又は独創的な発想に基づき研究目的が設定されているか。

2) 社会的意義

当該研究領域の発展に寄与し、人類の健康と福祉への貢献に繋がる研究内容であるか。

3) 研究方法・倫理観

研究計画、研究方法が幅広い視野に基づき策定されたものであり、高い論証性を備えているか。また、高い倫理観を持ち研究や実験を行っているか。

4) 考察・今後の発展性

得られた研究データ・結果を正しく評価し、適切かつ十分な考察がなされたうえで、論理一貫性をもって記述できているか。また今後の学問的発展性があるか。

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

1) 修了要件は、本専攻に5年以上在学し、所定の授業科目について191単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。

2) 修得すべき191単位の履修方法は次のとおりとする。

a) 共通科目群のうち、必修科目である一般教養科目の初期研究研修（1単位）、研究演習2科目（30単位）、文献ゼミナール1科目（3単位）を修得すること。

b) 共通科目群のうち、選択科目である一般教養科目1科目（3単位）以上、基礎科目3科目（9単位）以上、応用科目3科目（6単位）以上を修得すること。

c) 専門科目の「上部消化管外科」、「大腸肛門外科」、「胃腸病内科」の3分野から1分野を選択し、学生の医師資格に応じて選択した分野の指定科目（55単位）（※）を修得すること。

※指定科目については以下のとおり

①チリ国医師資格を持つ学生の場合、臨床基礎（チリ大学）、臨床応用（チリ大学）及び臨床応用Ⅱ（東京科学大学（仮称））の3科目。

②日本国医師資格を持つ学生の場合、臨床基礎（東京科学大学（仮称））、臨床応用Ⅰ（東京科学大学（仮称））の2科目。

d) 必修科目である特別研究を2科目（112単位）修得すること。

e) 191単位以上のうち、東京科学大学（仮称）が開設する授業科目について41単位以上、チリ大学が開設する授業科目について10単位以上修得すること。

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

本専攻では、5 年以上在学し、下記の要件を満たした者について、博士（歯学）を両大学から授与する。また、両大学では、45 時間の学修をもって 1 単位としている。

- 1) 必修科目である基礎科目の歯科矯正学総論（1 単位）、歯科矯正学基礎（2 単位）、基礎歯科矯正学セミナー（1 単位）を修得すること。
- 2) 臨床科目のうち、必修科目である歯科矯正学技法（3 単位）、包括的治療手順（2 単位）、上級歯科矯正学セミナー（1 単位）、矯正演習（1 単位）、矯正臨床トレーニング 1（2 単位）、矯正臨床トレーニング 2（1 単位）、矯正臨床トレーニング 3（4 単位）、上級矯正臨床トレーニング 1（1 単位）、上級矯正臨床トレーニング 2（3 単位）、上級矯正臨床トレーニング 3（1 単位）を修得すること。
- 3) 臨床科目のうち、歯科矯正学における写真とコンピューター（1 単位）、歯科矯正学教育実習（1 単位）、歯学研究提案書作成（1 単位）、歯学研究報告書作成（1 単位）の 4 科目のうち 1 科目（1 単位）以上を修得すること。
- 4) 専門科目のうち、論文・博士論文セミナー（24 単位）並びに咬合機能矯正学の授業科目である咬合機能矯正学特論（6 単位）、咬合機能矯正学演習・研究実習（8 単位）、咬合機能矯正学実験・論文作成（10 単位）の組合せ、または顎顔面矯正学の授業科目である顎顔面矯正学特論（6 単位）、顎顔面矯正学演習・研究実習（8 単位）、顎顔面矯正学実験・論文作成（10 単位）の組合せ、どちらかを選択し 4 科目（48 単位）を修得すること。
なお、咬合機能矯正学の授業科目と顎顔面矯正学の授業科目とを併せた組み合わせはできない。
- 5) 上記 1) から 4) の合計 72 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出し、審査及び博士号取得試験に合格すること。ただし、72 単位以上のうち、東京科学大学（仮称）が開設する授業科目について 24 単位以上、チュラロンコーン大学が開設する授業科目について 48 単位以上修得すること。

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

学位授与の要件は、日本の法令及び本学で規定された修得すべき単位数の修了要件を満たすほか、タイ王国の法令及びマヒドン大学で規定された単位数の修了要件を満たす必要がある。本専攻では、本専攻に 4 年以上在学し、次の要件を満たす者について、両大学の共同学位として授与する。

学生は以下の科目区分から、それぞれ必要な単位を修得し、修了要件単位数である 72 単位以上を修得する。また、修得すべき 72 単位以上のうち、コースワークについては 24 単位以上、リサーチワークについては 48 単位を修得する。

なお、学位論文の成果または成果の一部は、査読制度のある国際学術雑誌に掲載済み、或いは掲載することが認められていなければならない。

① 臨床基幹科目Ⅰ

臨床基幹科目群から、選択科目である「臨床基幹科目Ⅰ（2単位）」を東京科学大学（仮称）またはマヒドン大学で修得すること。（履修期間の目安：1年次前期～2年次後期）

② 臨床基幹科目Ⅱ

共同開設科目である「臨床基幹科目Ⅱ（5単位）」を両大学で修得すること。この場合、最短1学期（1単位）～最長4学期（4単位）は連携大学で単位を取得すること。（履修期間の目安：2年次前期～4年次前期）

③ 臨床統計・情報医科学関連専門科目

臨床統計・情報医科学関連専門科目群から、選択科目である以下の科目のうち4単位以上修得すること。（履修期間の目安：1年次前期～1年次後期）

【東京科学大学（仮称）】

「疾患予防パブリックヘルス医学概論（2単位）」、「疫学（2単位）」、「臨床・遺伝統計学（2単位）」

【マヒドン大学】

「生物医学研究法（2単位）」、「生物医学統計概論（2単位）」

④ がん医療専門科目

がん医療専門科目群から、選択科目である以下の科目のうち5単位以上履修すること。

（履修期間の目安：1年次前期～2年次後期）

【東京科学大学（仮称）】

「がん生物学・解剖学・病理特論（1単位）」、「低侵襲がん治療Ⅰ（1単位）」、「低侵襲がん治療Ⅱ（1単位）」、「臓器別がん（1単位）」、「小児・希少がん（1単位）」、「臨床腫瘍学（1単位）」、「がんゲノム（1単位）」、「緩和ケア・緩和医療学概論（1単位）」

【マヒドン大学】

「がんの生物学とがんの免疫学概論（1単位）」、「幹細胞治療学概論（1単位）」「標準検査学概論（1単位）」、「がんの画像診断学概論（1単位）」、「泌尿器科ロボット支援手術（1単位）」、「基礎鏡視下手術概論（1単位）」、「消化器癌における学際的内視鏡診断学（1単位）」、「周術期患者管理学概論（1単位）」

⑤ 研究基幹科目

研究基幹科目群から、選択科目である以下の外科系専門分野の科目から8単位、または外科系専門分野の科目から4単位及び外科系関連医科学分野の科目から4単位修得すること。（履修期間の目安：1年次前期～2年次後期）

<外科系専門分野>

【東京科学大学（仮称）】

「総合外科学特論（4単位）」、「消化管外科学特論（4単位）」、「肝胆膵外科学特論（4単位）」、「頭頸部外科学特論（4単位）」、「腎泌尿器外科学特論（4単位）」

【マヒドン大学】

「上部消化管外科学特論（4 単位）」、「下部消化管外科学特論（4 単位）」、「肝胆膵外科学特論（MU）（4 単位）」、「血管外科学特論（4 単位）」、「頭頸部・乳腺外科学特論（4 単位）」、「泌尿器外科学特論（MU）（4 単位）」

＜外科系関連医科学分野＞

【東京科学大学（仮称）】

「幹細胞制御特論（4 単位）」、「臨床解剖学特論（4 単位）」、「発生再生生物学特論（4 単位）」、「バイオメカニクス特論（4 単位）」、「臨床腫瘍学特論（4 単位）」

【マヒドン大学】

「システム薬理学特論（4 単位）」、「幹細胞科学特論（4 単位）」

⑥ 研究実践と論文作成

両大学でそれぞれ開設している必修科目である「研究実践と論文作成（24 単位）」を履修し、48 単位修得すること。（履修期間の目安：2 年次前期～4 年次後期）

上記①から⑥を満たす合計 72 単位以上を修業年限 4 年の間に修得し、必要な研究指導を受けた上、学位論文を両大学に提出し、その審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。学位論文の成果または成果の一部は、査読制度のある国際学術雑誌に掲載済みまたは掲載することが認められていなければならない。

本専攻の修了要件は、本学医歯学総合研究科医歯学専攻の修了要件である 4 年以上の在学、30 単位以上の修得、学位論文審査の合格、という条件を満たしている。

一方、タイ王国では、博士課程の修了要件について、タイ王国教育省告示「大学院カリキュラム基準規定第 13 項」において、修了要件が次のとおり規定されている。

「プログラムに規定された全ての科目を履修し、学位論文を提出し、審査及び最終試験に合格すること。なお、修了に必要な単位数として 72 単位以上とする。」

マヒドン大学では、博士の学位授与に係る修了要件はプログラムごとに規定されており、両大学の協議により定めた本専攻の修了要件がマヒドン大学の修了要件となる。

エ 履修モデル

履修の参考となるよう履修モデルを専攻ごとに提示するとともに、必要となる科目の紹介を行い、履修支援を行う。

修士課程医歯理工保健学専攻

履修登録例

（履修例 1：医科学の場合）

必修科目		選択科目	
科目名	単位数	科目名	単位数
医歯学総合概論	2	細胞生物学特論	1
初期研究研修	1	研究倫理・医療倫理学	1
医歯理工学先端研究特論	1	生化学	2
課題研究	4	遺伝医学特論	2
医科学演習	4	神経疾患特論	2
医科学実習	4	薬理学	2
人体形態学	1		
人体機能学	1		
病理病態学	1		
環境社会医歯学	1		
(必修科目単位数合計)	20	(選択科目単位数合計)	10
合計単位数		30単位	

(履修例2：歯科学の場合)

必修科目		選択科目	
科目名	単位数	科目名	単位数
医歯学総合概論	2	細胞生物学特論	1
初期研究研修	1	医歯薬産業技術特論	1
医歯理工学先端研究特論	1	免疫学	2
課題研究	4	発生・再生科学	2
歯科学演習	4	神経疾患特論	2
歯科学実習	4	機能分子化学	2
口腔形態学	1		
人体機能学	1		
病理病態学	1		
環境社会医歯学	1		
(必修科目単位数合計)	20	(選択科目単位数合計)	10
合計単位数		30単位	

(履修例3：口腔保健学の場合)

※モデルは口腔保健衛生系である

必修科目		選択科目	
科目名	単位数	科目名	単位数
医歯学総合概論	2	研究倫理・医療倫理学	1
初期研究研修	1	細胞生物学特論	1
医歯理工学先端研究特論	1	口腔保健福祉学	2
課題研究	4	ケミカルバイオロジー特論	2
口腔保健学演習	4	生体材料学	2
口腔保健学実習	4		
口腔形態学	1		
人体機能学	1		
病理病態学	1		
環境社会医歯学	1		
口腔保健臨地実習	2		
(必修科目単位合計)	22	(選択科目単位数合計)	8
合計単位数		30単位	

(履修例4：理学の場合)

必修科目		選択科目	
科目名	単位数	科目名	単位数
医歯学総合概論	2	免疫学	2
初期研究研修	1	発生・再生科学	2
医歯理工学先端研究特論	1	ケミカルバイオロジー特論	2
課題研究	4	機能分子化学	2
生命理工学演習	4	分子構造学特論	2
生命理工学実習	4	疾患オミックス情報学特論	2
		バイオメディカルデバイス理工学Ⅰ	1
		バイオメディカルシステム理工学Ⅰ	1
(必修科目単位合計)	16	(選択科目単位数合計)	14
合計単位数		30単位	

(履修例5：工学の場合)

必修科目		選択科目	
科目名	単位数	科目名	単位数
医歯学総合概論	2	生体材料学	2
初期研究研修	1	応用生体材料学	2
医歯理工学先端研究特論	1	医歯薬産業技術特論	1
課題研究	4	バイオメディカルデバイス理工学Ⅰ	1
生命理工学演習	4	機能分子化学	2
生命理工学実習	4	ケミカルバイオロジー特論	2
		薬理学	2
		生化学	2
(必修科目単位合計)	16	(選択科目単位数合計)	14
合計単位数		30単位	

(履修例 6 : 保健学の場合)

必修科目		選択科目	
科目名	単位数	科目名	単位数
初期研究研修	1	薬理学	2
生体検査科学特論Ⅰ	2	疾患オミックス情報学特論	2
生体検査科学特論Ⅱ	2	細胞生物学特論	1
生体検査科学セミナーⅠ	1	保健医療情報学	2
保健学演習	4	臨床実践特別演習入門	1
保健学実習	4	臨床実践特別演習Ⅰ	2
課題研究	4	臨床実践特別演習Ⅱ	2
(必修科目単位合計)	18	(選択科目単位数合計)	12
合計単位数		30単位	

(履修例 7 : 先制医療学コースの場合)

以下の 8 科目 (11 単位) は必修

科目名	単位数	科目名	単位数
ビッグデータ解析学	1	先制医療学実習	2
バイオメディカルデバイス理工学Ⅰ	1	先制医療学基礎実習	1
研究倫理・医療倫理学	1	疫学Ⅰ (Epidemiology 1)	2
医療データ科学概論	1	生物統計Ⅰ (Biostatistics 1)	2
合計		11単位	

(履修例 8 : 遺伝カウンセリングコースの場合)

以下の 11 科目 (22 単位) は必修

必修科目		選択科目 (コース指定科目)	
科目名	単位数	科目名	単位数
医歯学総合概論	2	遺伝医学特論	2
初期研究研修	1	生化学	2
医歯理工学先端研究特論	1	研究倫理・医療倫理学	1
課題研究	4	MMA医療提供政策論	1
医科学演習	4	MMA医療とコミュニケーション	1
医科学実習	4	先制医療学基礎実習 (先制医療学コース、 カウンセリングコース限定)	1
人体形態学	1	人類遺伝学 (カウンセリングコース限定)	2
人体機能学	1	臨床遺伝学 (カウンセリングコース限定)	2
病理病態学	1	研究倫理演習 (カウンセリングコース限定)	1
環境社会医歯学	1	遺伝カウンセリング学 (カウンセリング コース限定)	3
		遺伝カウンセリング実習 (カウンセリング コース限定)	6
(必修科目単位合計)	20	(選択科目単位数合計)	22
合計単位数		42単位	

(履修例 9 : 臨床疫学プログラムの場合)

必修科目		選択科目	
科目名	単位数	科目名	単位数
臨床疫学解析演習	1	疫学基礎	左記 8 科目 から 5 科目 (5 単位)
		生物統計学基礎	
		生物統計学応用Ⅰ	
		生物統計学応用Ⅱ	
		臨床試験方法論基礎	
		臨床試験方法論応用	
		口腔疫学基礎	
		疫学応用	
必修科目単位合計	1	選択科目単位数合計	5
合計単位数 6 単位			

(履修例 10 : グローバル健康医学の場合)

必修科目		選択科目	
科目名	単位数	科目名	単位数
疫学Ⅰ	2	疫学Ⅱ	左記5科目 から1科目 2単位
生物統計Ⅰ	2	生物統計Ⅱ	
医療システム	2	基礎医学概論	
プラネタリーヘルス	2	母子保健学	
グローバルヘルス	4	医師、歯科医師の経験の無い学生 は、基礎医学概論を選択すること	
行動科学	2		
環境保健学	2		
課題研究Ⅰ	6		
課題研究Ⅱ	6		
(必修科目単位合計)	28	(選択科目単位数合計)	2
合計単位数		30単位	

博士課程医歯学専攻

本専攻では原則として 1 年次に特論、1～2 年次に演習、2～3 年次に研究実習を履修するものとし、4 年次は研究課題に即した研究指導を受け、論文作成の研究活動を行うものとする。歯学系の分野に所属する学生は、必ず「医歯学総合研究科コース特論」を履修する。

履修要項では以下のような履修の参考となるよう履修モデルを医学系・歯学系ごとに提示するとともに、必要となる科目の紹介を行う。また、前述のプログラム及びコース指定の授業科目を掲示して履修支援を行う。

履修例 (1) 医学系：一般的な履修モデル

環境社会歯科学講座 法医学分野に入学した場合

・所属分野が開設する授業科目

法医学特論	6単位
法医学演習	4単位
研究実習	8単位

・研究科が開設する授業科目

医療政策情報学特論	6単位
研究開発学特論	6単位

計	18単位	計	12単位
		合 計	30単位

履修例 (2) 歯学系：一般的な履修モデル

口腔機能再構築学講座 う蝕制御学分野に入学した場合

・所属分野が開設する授業科目

う蝕制御学特論	6単位
う蝕制御学演習	4単位
研究実習	8単位

・研究科が開設する授業科目

口腔放射線医学特論	6単位
歯医学総合研究科コース特論	6単位 (必修)

計	18単位	計	12単位
		合 計	30単位

臨床疫学プログラム及び先制歯理工学コースを履修する学生は、以下のプログラム及びコース指定の授業科目を履修する。

【臨床疫学プログラム (Clinical Epidemiology Program) 開設科目】

必修科目		選択科目	
科目名	単位数	科目名	単位数
臨床疫学解析演習	1	疫学基礎	左記8科目 から5科目 (5単位)
		生物統計学基礎	
		生物統計学応用Ⅰ	
		生物統計学応用Ⅱ	
		臨床試験方法論基礎	
		臨床試験方法論応用	
		口腔疫学基礎	
		疫学応用	
必修科目単位数合計	1	選択科目単位数合計	5
合計単位数		6単位	

【先制歯理工学コース (臨床統計・バイオインフォマティクスプログラム) 履修方法】

科目区分		科目名	単位数	履修科目
専攻共通科目		初期研究研修	1	選択 (○)
		医歯学総合特論(大学院セミナー)	2	
		医歯学総合コース特論	6	
		疾患予防パブリックヘルス医学概論	2	
		マネジメント特論	1	いずれか 1単位 必修 (☆)
		国際動向特論	1	
		知的財産特論	1	
		英語ディベート特論	1	
		英語プレゼンテーション特論	1	
		先制医歯理工学概論Ⅰ	1	いずれか 1単位 必修 (●)
先制医歯理工学科目	共通科目	先制医歯理工学概論Ⅱ	1	
		データサイエンス特論Ⅰ	1	
		データサイエンス特論Ⅱ	1	
		データサイエンス特論Ⅲ	1	
		データサイエンス特論Ⅳ	1	
	臨床統計・バイオインフォマティクス専門科目	疫学	2	いずれか 2単位 必修 (■)
		臨床・遺伝統計学	2	
	先進医療デバイスIoT学専門科目	先端バイオセンシングデバイス特論	1	選択 (○)
		医療デバイス・システム機器特論	1	
		ウェアラブルIoT技術特論	1	
	疾患生命創薬科学専門科目	疾患分子病態学特論	1	
		ケミカルバイオロジー特論	1	
		生体分子制御学特論	1	
分野開設科目		所属分野が開設する特論	6	すべて 必修 (◎)
		所属分野が開設する演習	4	
		所属分野が開設する研究実習	8	
		所属分野以外が開設する特論	6	選択 (○)

【履修単位数】

所属分野が開設する科目 (◎)	18	必修
専攻共通科目 (☆)	1	
先制医歯理工学科目(共通科目) (●)	1	
先制医歯理工学科目(臨床統計・バイオ専門科目) (■)	2	
その他 (○)	8	選択
計	30	修了要件

博士(数理医科学)の学位取得を目指す学生は、以下の修了要件を満たすよう授業科目を履修すること。

1) 数理医科学を担当する以下の分野に所属し、当該所属分野が開設する特論・演習・研究実習計18単位を修得すること。

数理医科学担当分野：臨床統計学／疾患多様性遺伝学／ゲノム機能多様性／統合データ科学／生物統計学／AI システム医科学

2) 先制医歯理工学科目臨床統計・バイオインフォマティクス専門科目のうち、2単位以上修得すること。

臨床統計・バイオインフォマティクス専門科目	疫学	2	いずれか 2単位 必修 (■)
	臨床・遺伝統計学	2	

履修例 (4) 博士 (数理医科学) の学位取得を目指す場合：一般的な履修モデル

環境社会医歯学講座 臨床統計学分野に入学した場合

・所属分野が開設する授業科目		・研究科が開設する授業科目	
臨床統計学特論	6 単位	生物統計学特論	6 単位
臨床統計学演習	4 単位	医歯学総合特論 (大学院セミナー)	2 単位
研究実習	8 単位	先制医歯理工学概論 I	1 単位
		データサイエンス特論 I	1 単位
		疫学	2 単位 (必修■)
計		計	12 単位
		合 計	30 単位

博士課程医歯学系専攻 ※学生募集停止中

本専攻では、前述の「学生募集停止中の医歯学系専攻の取扱いについて」に記載している通り、修了要件に定めている単位は修得済みで、学位論文の作成と審査を残すのみであることから、本項目への記載は省略する。

博士課程生命理工医療科学専攻

履修登録例

(履修例 1：薬化学分野所属の場合)

特論科目		演習科目	
先端機能分子特論	1 単位	薬化学演習	6 単位
機能分子開発技術特論	1 単位	必修科目	
先端ケミカルバイオロジー特論	1 単位	生命理工医療科学先端研究特論	2 単位
生体機能材料学特論	1 単位	研究実習	6 単位
英語ディベート特論	1 単位		
マネジメント特論	1 単位		
計		計	14 単位
		合 計	20 単位

(履修例 2：センサ医工学分野所属で先進医療デバイス IoT プログラムの場合)

特論科目		演習科目		
先端バイオセンシングデバイス特論	1 単位	センサ医工学演習	6 単位	
医療デバイス・システム機器特論	1 単位	必修科目		
ウェアラブル IoT 技術特論	1 単位		生命理工医療科学先端研究特論	2 単位
臨床検査法開発学特論	1 単位		研究実習	6 単位
先制医歯理工学概論Ⅰ	1 単位			
英語ディベート特論	1 単位			
計		計	14 単位	
		合 計	20 単位	

(履修例 3 : 発生再生生物学分野所属で疾患生命創薬科学プログラムの場合)

特論科目		演習科目	
疾患生命科学特論	2 単位	発生再生生物学演習	6 単位
疾患分子病態学特論	1 単位	必修科目	
先制医歯理工学概論 I	1 単位	生命理工医療科学先端研究特論	2 単位
データサイエンス特論 I	1 単位	研究実習	6 単位
マネジメント特論	1 単位	枠内の一般科目・先制医歯理工学科目から 3 単位 (それぞれ必ず 1 単位以上)	
知的財産特論	1 単位		
英語ディベート特論	1 単位		
計		計	14 単位
		合 計	20 単位

(履修例 4 : 生体機能システム学分野所属の場合)

特論科目		演習科目	
病態推論特論	2 単位	生体機能システム学演習	5 単位
高度臨床実践特別演習 I	2 単位	生体検査科学セミナー II	1 単位
臨床検査法開発学特論	1 単位	必修科目	
英語プレゼンテーション特論	1 単位	生命理工医療科学先端研究特論	2 単位
		研究実習	6 単位
計		計	14 単位
		合 計	20 単位

(履修例 5 : 生涯口腔保健衛生学分野所属の場合)

特論科目		演習科目	
国際動向特論	1 単位	生涯口腔保健学演習	5 単位
先端口腔保健応用学特論	2 単位	口腔保健学セミナー	1 単位
先端口腔保健応用学演習	1 単位	必修科目	
先制医歯理工学概論 I	1 単位	生命理工医療科学先端研究特論	2 単位
先制医歯理工学概論 II	1 単位	研究実習	6 単位
計		計	14 単位
		合 計	20 単位

(履修例 6 : 口腔基礎工学分野所属の場合)

特論科目		演習科目	
英語ディベート特論	1 単位	口腔基礎工学演習	5 単位
先端口腔保健工学特論	1 単位	口腔保健学セミナー	1 単位
骨形態計測学特論	1 単位	必修科目	

データサイエンス特論Ⅰ	1 単位	生命理工医療科学先端研究特論 2 単位	
先制医歯理工学概論Ⅰ	1 単位	研究実習	6 単位
先制医歯理工学概論Ⅱ	1 単位		
計	6 単位	計	14 単位
		合 計	20 単位

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

別紙のとおり

【資料3 履修モデル（東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻）】

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

歯科矯正学、咬合機能矯正学および顎顔面矯正学における5年間の本専攻の教育課程では、毎週5時間の講義と30時間の模型実習、臨床実習およびセミナーへの出席を求めている。本教育課程は、10セメスターおよび最低2サマーコースの編成であり最低72単位以上を取得することが修了の要件である。

チュラロンコーン大学が開講する授業科目については、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、講義15時間、演習15時間、臨床トレーニングおよび論文指導、実習45時間とする。また、履修モデルの例を図に示している。

【資料4 履修モデル（東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻）】

1) コースワークは、24単位で、必修コース23単位および選択コース1単位で編成している。

歯科矯正学領域の研究の基礎ならびに臨床を担当する分野である「歯科矯正学」関連の授業科目のうち基礎科目である「歯科矯正学総論」、「歯科矯正学基礎」、「基礎歯科矯正学セミナー」、ならびに臨床科目である「歯科矯正学技法」、「包括的治療手順」、「矯正演習」、「上級歯科矯正学セミナー」は、導入科目として1年次にチュラロンコーン大学で実施する。また、論文作成の「いろは」として専門科目である「論文・博士論文セミナー」も1年次にチュラロンコーン大学で開始する。なお、この「論文・博士論文セミナー」は引き続き3年次から5年次にかけてもチュラロンコーン大学で実施するが、これにより自身の研究テーマに意義、新規性ならびに臨床応用の可能性があるか否かを客観的に文献評価することが可能となる。したがって、同時期に東京科学大学（仮称）で実施する専門科目と補完的に作用する。チュラロンコーン大学では、引き続き3年次に臨床科目である「矯正臨床トレーニング1」、「矯正臨床トレーニング2」を実施して臨床のブラッシュアップを図るとともに、「歯科矯正学における写真とコンピューター」、「歯科矯正学教育実習」、「歯学研究提案書作成」、「歯学研究報告書作成」を受講させることで教育者としての役割をも担えるようにする。さらに、4年次には「矯正臨床トレーニング3」、「上級矯正臨床トレーニング1」を提供し専門性をさらに高める。最終学年である5年次には「上級矯正臨床トレーニング2」、「上級矯正臨床トレーニング3」、を実施し臨床教育で

の応用力の強化を図る。

一方、東京科学大学（仮称）では2年次より、専門科目である「咬合機能矯正学特論」あるいは「顎顔面矯正学特論」を実施して研究の導入を行う。さらに、それぞれ「咬合機能矯正学演習・研究実習」あるいは「顎顔面矯正学演習・研究実習」に展開し、最終的には「咬合機能矯正学実験・論文作成」あるいは「顎顔面矯正学実験・論文作成」を実施して研究データの採得・解析・論文作成まで到達する。

① 必修単位 23 単位：

基礎科目として「歯科矯正学総論（1 単位）」
「歯科矯正学基礎（2 単位）」
「基礎歯科矯正学セミナー（1 単位）」の3科目開設
臨床科目として「歯科矯正学技法（3 単位）」
「包括的治療手順（2 単位）」
「上級歯科矯正学セミナー（1 単位）」
「矯正演習（1 単位）」
「矯正臨床トレーニング1（2 単位）」
「矯正臨床トレーニング2（1 単位）」
「矯正臨床トレーニング3（4 単位）」
「上級矯正臨床トレーニング1（1 単位）」
「上級矯正臨床トレーニング2（3 単位）」
「上級矯正臨床トレーニング3（1 単位）」の10科目開設

② 選択単位 1 単位：

臨床科目として「歯科矯正学における写真とコンピューター（1 単位）」「歯科矯正学教育実習（1 単位）」「歯学研究提案書作成（1 単位）」「歯学研究報告書作成」の4科目のうち1科目を選択

2) 論文 48 単位（論文セミナー含む）

専門科目として「論文・博士論文セミナー」の論文指導は、両大学が共同で指導する。なお、論文 48 単位のうち、24 単位は、東京科学大学（仮称）が開設する授業科目「①咬合機能矯正学特論」「①咬合機能矯正学研究実習」「①咬合機能矯正学実験・論文作成」ならびに「②顎顔面矯正学特論」「②顎顔面矯正学研究実習」「②顎顔面矯正学実験・論文作成」の6授業科目の中から履修する。なお、①咬合機能矯正学の授業科目と②顎顔面矯正学の授業科目と組み合わせることはできない。

【資料5 履修モデル（東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻）】

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

別紙のとおり

【資料6 履修モデル（東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻）】

オ 多様なメディアの使用

修士課程医歯理工保健学専攻

博士課程医歯学専攻

博士課程生命理工医療科学専攻

多様なメディアを使用する授業（以下「遠隔授業」という。）であっても、面接授業と同様に全ての授業科目についてシラバスを作成する。シラバスには、遠隔授業であることを明記し、授業の方法及び内容並びに一年間の授業の計画、予習・復習に関する指示をあらかじめ明示する。また、学修の成果に係る評価の客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準を明記する。シラバスは学生がいつでもその内容を確認出来るよう、オンライン上で全ての授業科目について公開する。遠隔授業においても出席履歴を把握し、面接授業と同様に単位認定を行う。

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

skype や Zoom、テレビ会議システム、e-mail などを活用して、学生には指導に関わり、入学者選抜では面接試験を実施している。

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

skype や Zoom、TV 会議システム、e-mail などを活用して個別指導を行うことができる体制を整える。

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

本学及びマヒドン大学で開設する科目のうち、講義、演習科目については履修場所に制限されずに、学生に必要な科目を履修できるようテレビ会議システム等や E-learning 等を活用することにより利便性を高めている。このように多様なメディアを活用した授業は、世界的にも広がりつつある授業方法の一つであり、本専攻ではライブ放映により、遠隔であってもインタラクティブな授業を提供することを基本としている。

2 年次前期以降、学生は両大学の教員から臨床担当である主・副指導教員及び主・副研究担当教員の最大 4 名から指導を受けることとなるが、学生が日本またはタイ王国のいずれの国にいても主指導教員の主導のもと、他の 3 名から教育研究指導が受けられるよう、両大学でテレビ会議システム等を整備している。また、両大学は、それぞれ連携大学にサテライトオフィスを持ち、テレビ会議システム等や E-learning 等を本専攻の専用に使うことが可能となる。

テレビ会議システム等は、リアルタイムで鮮明な画像と音声による指導が可能となっており、Skype や Zoom、E-mail 等も活用し、様々な手段で指導やコミュニケーションを取ることが可能となっている。

カ 履修科目の上限設定

博士課程医歯学専攻

本専攻では、年間の履修科目の登録上限は特段設けていない。ただし、長期履修者においては、履修登録にあたり担当教員と事前に相談し単位取得に関する履修計画を作成のうえ、計画的に履修を行わなければならない。その際、本専攻においては1年間に取得できる単位数の上限は12単位とし、原則として3年以上の期間にわたって単位取得するものとする。

修士課程医歯理工保健学専攻

博士課程生命理工医療科学専攻

本専攻では、年間の履修科目の登録上限は特段設けていない。

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

共同開設科目を開設した場合、当該国際連携専攻の学生が当該共同開設科目の履修により修得した単位は、5単位を超えない範囲で当該国際連携専攻又は国際連携大学のいずれかにおいて修得した単位とすることができる。

キ 他大学における授業科目の履修等

修士課程医歯理工保健学専攻

本専攻では大学院連携教育カリキュラムの一環として「学際生命科学東京コンソーシアム」（東京科学（仮称）大学、お茶の水女子大学、学習院大学、北里大学）を実施している。生命科学関連領域を中心に、人文社会科学系選択科目や国内外の講師による英語講義も含め、四校が補完的に生命科学領域の共通カリキュラムを開発し、共通シラバスに基づく学修指導を実施している。4大学共通シラバスを作成し、15単位まで自大学の卒業単位として認定できる。

博士課程医歯学専攻

博士課程生命理工医療科学専攻

他の大学院で修得した授業科目及び単位数については、編入学、転学等の学生を除き、15単位を超えない範囲で当該研究科において修得したものとみなすことができる。

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

認めていない。

7. 基礎となる学部との関係

修士課程医歯理工保健学専攻

本専攻の基礎となる、医学部医学科、医学部保健衛生学科検査技術学専攻及び歯学部は学士（医学、歯学、保健学、口腔保健学）を授与しており、特に、医学、歯学、保健学、生命理工学を基礎とし、多分野融合を実現した体系的な教育課程である。医療・生命科学領域の相互連携を図り、人類の健康と福祉に関する幅広い知識及び高い倫理観を有する医学、歯学、保健学、生命理工学分野の医療人、研究者、技術者、教育者等を養成することを目的として、当該専攻は位置している。

博士課程医歯学専攻

本専攻の基礎となる学部は、医学部医学科、および歯学部歯学科である。学部学生に対して、MD-PhD コースおよび DDS-PhD コースの医学（歯学）研究者早期育成コースを設置する。通常、医学科（歯学科）の第 5～6 学年とそれに続く卒後臨床研修の間は医学研究（歯学研究）に携わる機会が少ないが、本コースを学部学生の間に修了することで、臨床家としてのトレーニングを受ける前に、集中的に医学研究者（歯学研究者）としての思考法、知識、技術を習得するトレーニングを積むことができる。そこで博士の学位を取得後に本人の希望により医学部医学科、歯学部歯学科に戻り、残りの学部教育を受けてから医師免許（歯科医師免許）を得るという教育プログラムにより、基礎医学ならびに臨床医学研究の世界的リーダーとなる人材を育成する場として当該専攻は位置している。

平成 30 年度より学生募集を停止している医歯学系専攻においても同様に学部学生に対して MD-PhD コースおよび DDS-PhD コースの医学研究者早期育成コースを設置していた。年間 1 名程度コース修了者を輩出しており、本専攻に改組後も継続して人材の育成を行うこととする。

博士課程生命理工医療科学専攻

本専攻の基礎となる、修士課程医歯理工保健学専攻は修士（医科学、歯科学、保健学、口腔保健学、理学、工学）を授与しており、医学、歯学、保健学、生命理工学を中心とする多分野融合を実現した体系的な教育課程である。

疾患予防に主眼を置き、疾患を取り巻く社会的要因や保険医療システム、国民皆保険、更に気候変動屋大気汚染等の国境を超える要因を同定し、対策を講じることのできるリーダーが求められている社会的背景の中で、「統合先制医歯保健学」の推進を担う博士人材に必要な基礎学力を身に着ける場として、当該専攻は位置している。

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

本専攻においては、医学部医学科を卒業し、初期臨床研修 2 年、専門研修 3 年を修了した外科専門医を持つ医師を対象として、食道・胃・大腸がん分野（消化器腫瘍学）に特化しているが、既設の医歯学系専攻の教員やチリ大学医学部の教員が本専攻の専任教員を兼ねる体制を構築して

おり、それぞれが有機的に連携して、国際共同研究などを実施して教育研究力を高めていく。

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

東京科学大学（仮称）では、大学院医歯学総合研究科に東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻を設置し、既設の医歯理工学専攻（修士課程）、医歯学系専攻（博士課程）、生命理工学系専攻（博士課程）との連携が有機的にできる体制が構築される。また、歯学部および歯学科とは、歯学系に関連して強い関係を保つ関係にある。

チュラロンコーン大学では、歯学部の本専攻を設置し、既設の大学院歯学部（修士課程）、大学院歯学部（博士課程）との連携が有機的にできる体制を構築する予定である。歯学部の博士課程には、現在、歯科補綴学、歯科公衆衛生学、口腔生物学、歯科生命工学の4コースが設定されている。

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

本専攻の母体となる本学大学院医歯学総合研究科は、医学、歯学、生命理学、生体工学領域の研究分野が互いに連携することにより多様な大学院プログラムを実施し教育の機会を提供している。また、研究分野を超えた横断的、複眼的な指導に努めることで学位論文の質の向上を図っている。本専攻は、外科系専門分野に特化しているが、医歯学専攻の教員が本専攻の専任教員を兼ねる体制を構築しており、臨床教室と基礎教室の有機的な連携により、教育・研究レベルを同等以上、またはそれ以上にすることにより学位の質を保証することとする。

8. 施設、設備などの整備計画

ア 校地、運動場の整備計画

東京医科歯科大学の校地、運動場等をそのまま引継ぐ。

湯島地区、駿河台地区、国府台地区の3地区において、校地面積109,757 m²を有しており、その中に、121,080 m²の校舎面積を保有し、教育研究等に必要な施設及び設備を整えている。湯島地区、駿河台地区には、講義室、研究室、病院、附置研究所、図書館、各種実験施設等が整備されており、国府台地区には、講義室や研究室などに加えて図書館分館、屋外運動場、プール、体育館、国際交流会館、国際学生宿舎等が整備されている。

屋外運動場は、19,972 m²を有し、その他学生が利用できるスポーツ施設として、体育館、プール、弓道場、テニスコート、武道館、柔剣道場を備えている。

イ 校舎等施設の整備計画

東京医科歯科大学の校舎等施設をそのまま引継ぐ。湯島地区、駿河台地区、国府台地区の3地区で、校舎面積121,080 m²を有し、教育研究等に必要な施設及び設備を整えている。湯島キャンパス及び駿河台キャンパスにおいては、学部の専門教育、大学院の教育研究を中心とした学舎と

して利用する。それぞれの授業を実施するため、それぞれの学科で使用する講義室や演習室、実習室を複数配置している。また、研究における研究や実験等のスペースが確保できるように、それぞれの分野における研究室や実験スペースを確保している（1号館、2号館、3号館、5号館、7号館、10号館、D棟、M&Dタワー）。国府台キャンパスにおいては、1学年を対象とした教養教育を中心に利用する。教室やセミナールームを複数設置するだけでなく、談話室や休憩室等の学生が休憩したり、学生同士でコミュニケーションを取れたりする空間も十分に確保している。

さらに、施設の有効活用を促進し、教育研究活動の活性化を図るため、共用スペースの確保やスペースの再配分を行っており、施設点検評価に関する内規及び施設有効活用に関する施設点検評価実施要項に基づき、施設の有効活用に関する調査を行い、大学全体の戦略の実現に向け、既存施設の有効活用を進めていくための学長裁量スペースを確保した。また、不断の見直しによる再分配で、再生医療研究センター、リサーチ・ユニバーシティ推進機構、スポーツサイエンス機構及び長寿・健康人生推進センター（病院）等のスペースも確保している。

ウ 図書などの資料及び図書館の整備計画

湯島キャンパスの図書館及び国府台キャンパスの図書館については、東京医科歯科大学図書館の施設設備をそのまま引き継ぐ。総面積は5,327 m²、閲覧座席数は443席で、PCを常置した情報検索室等を備えている。蔵書数（製本雑誌を含む）は、272,788冊、学術雑誌3,530種、電子ジャーナル12,381タイトル、視聴覚資料359点である。これらの資料は、図書館業務システムで管理されており、OPACで学内外から所蔵場所や貸出状況が確認できるようになっている。

資料は、閲覧室と自動書庫等に配架され、自動貸出機またはカウンターで館外貸出手続きを行っている。本学に所蔵の無い資料については、相互利用協定を締結した大学での貸出や閲覧が可能のほか、NACSIS-ILLを利用してそれ以外の大学図書館からも資料の取り寄せを行っている。資料の依頼や、図書の貸出期間の延長などはMyLibraryによって行うことができる。電子ジャーナルやデータベース等のWebサービスについては、学内はもちろん、学外からもVPNで利用することができる。

また、湯島キャンパスの図書館では、自主的学習設備として、静謐な学習空間に加えて、有料コピー機2台（プリンター兼用）、無線LAN等を整備しているほか、活発かつ能動的に学習ができるラーニングコモンズを設置している。開館時間は平日8:30-22:00、土日祝は10:00-18:30で、年末年始と計画停電時を除き休館日は設けていない。

国府台キャンパスの図書館は、グループ学習に適した可動式のテーブルとチェアを配置し、情報検索・e-Learning用のPCと無線LAN環境を整えたコラボレーションエリアを設置している。一方、活発な空間からの音漏れがないようにした静謐な場に、ソーシャルディスタンスを十分に配慮した配置で学習用デスクを設置し、授業外の学習時間の質の向上も図った。開館時間は平日8:45-18:45（休暇中及び授業のない曜日は8:45-17:00）、土日祝、年末年始は休館である。

なお、学術情報資源を有効に活用してもらうため、毎年、図書館職員が授業やオリエンテーションに赴き、学部生、大学院生、留学生に向けて文献検索を中心とした資料の活用方法の説明を

行っている。さらに、個別のデータベースや文献管理ツール等のより詳細な講習会も開催している。

9. 入学者選抜の概要

ア アドミッション・ポリシー

修士課程医歯理工保健学専攻

(人材育成目標)

医学、歯学、生命理工学、保健学を中心とする多分野融合を実現した体系的な教育課程を基に、生命科学領域の相互連携を図り、人類の健康と福祉に関する幅広い知識および高い倫理観を有する医学、歯学、生命理工学、保健学分野の教育者、研究者、技術者等を育成する。

(アドミッション・ポリシー)

本学の掲げる幅広い教養と豊かな人間性、高い倫理観、自ら考え解決する創造性と開拓力、国際性と指導力を備えた人材を育成するという教育理念の下、本学大学院修士課程医歯理工保健学専攻のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに示す教育を行っている。このような教育を受ける者として、次に掲げる意欲・目的意識と知識・技能等を備えた学生を求める。

- 1) 入学に際して明確な目的意識を持ち、各専門領域の学習を体系的、集中的に行う意欲を有している。
- 2) 各専門領域の学習に必要な学士レベルの基礎知識・技能を有している。
- 3) 研究活動に必要な論理的思考力、英語力、コミュニケーション能力を備えている。

(入学者選抜の基本方針)

筆記試験により英語力や専門領域の基礎的知識を評価し、面接試験及び出願書類により適性や意欲、コミュニケーション能力を見ることで、総合的に判定する。

【医療管理政策学（MMA）コース】

(求める学生像)

医療管理政策学コースにおいては医療サービスに関わる社会的ニーズに応えるため、指導的立場で活躍する人材養成課程を基に医療管理及び医療政策の分野において、患者中心のより良い医療を効率的に提供できる社会システムの構築に寄与する人材を育成する。

(アドミッション・ポリシー)

本専攻が掲げる育成目標に鑑みて、下記に該当する者を求める。

- ・医療管理政策学を学習するのに必要な基礎知識又は実務経験を有し、医療管理政策の展望について自らの考えを論理的に表現することができ、さらなる専門知識を体系的・集中的に学び取る意欲を有している。

(入学者選抜の基本方針)

面接試験及び出願書類により本コースにおける学問・研究を遂行していく能力の程度を総合的に判定する。

博士課程医歯学専攻

(アドミッション・ポリシー)

本学の掲げる、幅広い教養と豊かな人間性、高い倫理観、自ら考え解決する創造性と開拓力、国際性と指導力を備えた人材を育成するという教育理念の下、大学院医歯学総合研究科医歯学専攻と生命理工医療科学専攻は、各々のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づいた教育を行っている。このような教育を受ける者として、次に掲げる意欲・目的意識と知識・技能等を備えた学生を求める。

- 1) 医学、歯学、生命理工学、または医療科学に対する高い関心と明確な目的意識があり、関連する諸問題に主体性を持って取り組む意欲を有している。
- 2) 医学、歯学、生命理工学、または医療科学に関わる諸問題の解決に向けた研究を実施できる知識と技能を有している。
- 3) 研究を協働して推進し且つその成果を広く各界に発信するために必要な倫理観、英語力及びコミュニケーション能力を有している。

(入学者選抜の基本方針)

筆記試験により英語力や専門分野における研究に必要な基礎的知識と論述能力を評価し、面接試験及び出願書類により適性や意欲、コミュニケーション能力を見ることで、総合的に判定する。

博士課程医歯学系専攻 ※学生募集停止中

本専攻では、学生募集の停止を継続したまま設置するものであり、新たに入学者を受け入れることはないため、本項における記述を省略する。

博士課程生命理工医療科学専攻

(人材育成目標)

生命科学、生体工学、医療科学とその関連分野（生命理工医療科学分野）に精通し、生命理工医療科学と疾患研究領域との融合的学際分野において幅広い教養と国際的な視野を有し、高度な専門性と実践的問題解決能力を持った人材、とりわけ先端的な研究遂行能力を有する研究者、卓越した学識と優れた人間性を有する教育者、技術革新を目指すバイオ産業、医療機器開発、先制医療を実現する臨床検査などの現場で、リーダーシップを発揮して活躍できる人材を育成する。

(アドミッション・ポリシー)

本学の掲げる、幅広い教養と豊かな人間性、高い倫理観、自ら考え解決する創造性と開拓力、国際性と指導力を備えた人材を育成するという教育理念の下、大学院医歯学総合研究科医歯学専攻と生命理工医療科学専攻は、各々のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づいた教育を行っている。このような教育を受ける者として、次に掲げる意欲・目的意識と知識・技能等を備えた学生を求める。

- 1) 医学、歯学、生命理工学、または医療科学に対する高い関心と明確な目的意識があり、関連する諸問題に主体性を持って取り組む意欲を有している。
- 2) 医学、歯学、生命理工学、または医療科学に関わる諸問題の解決に向けた研究を実施できる知識と技能を有している。
- 3) 研究を協働して推進し且つその成果を広く各界に発信するために必要な倫理観、英語力及びコミュニケーション能力を有している。

(入学者選抜の基本方針)

筆記試験により英語力を評価し、口述試験により生命理工医療科学分野における学問・研究を遂行していく専門的知識、能力、意欲、倫理観及びコミュニケーション能力を見ることで、総合的に判定する。

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

(求める学生像)

上部消化管外科学、大腸肛門外科学、胃腸病内科学の3領域でコースを開設する。臨床的に専門性の高い経験・技能を有する高度専門的職業人であると同時に医学研究にも造詣が深く、かつグローバルな視点から医療・研究を捉えることができるリーダーを育成するため、下記に該当する者を求める。

- 1) 消化器外科における高度なトレーニング、消化器疾患での内視鏡検査および先進的診断機器を用いた高度なトレーニングを含む上部消化管外科、大腸肛門外科、あるいは胃腸病内科で臨床専門家として認めるために必要とされる技能を身に付けたいと考えている人材
- 2) それに加え、病理学、分子生物学、遺伝学、疫学および公衆衛生学、臨床研究および生物統計学等の分野での学識を持ちたいと考えている人材
- 3) 修了後には、食道・胃・大腸がんの分野（消化管腫瘍学）に応用できる基礎研究および臨床研究の専門的知識・経験を有し、国家的および国際的な臨床研究プロジェクトのリーダーを目指している人材

(入学者選抜の基本方針)

入学者選抜にあたっては、筆記試験により専門分野における研究に必要な基礎的知識と論述能力を、面接試験及び出願書類により適性や意欲を評価し、チリ大学との総合評価で判定する。

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

(求める学生像)

歯学分野、特に歯科矯正学において日本・タイ王国のみならず広く東南アジア等で同分野の優れた知識、技術を有し国際的リーダーになりうる研究心旺盛な高度専門医療人を育成するため、下記に該当する者を求める。

- 1) 歯科矯正学における基本的な学識・技能に加え、より高度な臨床技能を身につけるとともに、咬合機能矯正学や顎顔面矯正学における研究に立脚した考え方を修得したいと考えている人材

2) 修了後には、将来の歯科矯正学領域に応用できる基礎研究および臨床研究の専門的知識・経験を有し、国家的プロジェクトおよび国際的な臨床あるいは教育・研究の場において先導的役割を果たしたいと考えている人材

(入学者選抜の基本方針)

入学者選抜にあたっては、筆記試験により専門分野における研究に必要な基礎的知識と論述能力を、実技試験により基礎的技術力を、面接試験及び出願書類により適性や意欲を評価し、チュラロンコーン大学との総合評価で判定する。

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

(求める学生像)

バイオメディカル及びバイオサイエンス分野、特に外科系専門分野において日本・タイ王国のみならず東南アジア等で同分野の優れた知識、技術を有し、国際的なリーダーになりうる研究心旺盛な高高度専門医療人を育成するため、下記に該当する者を求める。

- 1) 外科系専門科学を専攻する者で、外科系専門科学の基本的な知識・技術を身につけ、さらにより一層高度な臨床技術、及び研究に立脚した考え方を修得したいと考える人材
- 2) 本専攻で培った専門的知識・経験を活かし、外科系専門科学領域に応用しうる基礎研究及び臨床研究に従事し、日本及びタイ王国の国家的プロジェクトまたは国際的な臨床または教育・研究の場において先導的役割を果たしたいと考えている人材

(入学者選抜の基本方針)

入学者選抜にあたっては、面接試験及び出願書類により本専攻における学問・研究を遂行していく能力の程度及び適性、意欲を評価し、マヒドン大学との総合評価で判定する。

イ 入学者選抜の方法と体制

修士課程医歯理工保健学専攻

○修士課程医歯理工保健学専攻入学試験（募集人員：107名）

筆記試験により英語力や専門領域の基礎的知識を評価し、面接試験及び出願書類により適性や意欲、コミュニケーション能力を見ることで、総合的に判定する。筆記試験（英語、生物、化学、工学、臨床検査学から1科目選択）、外国語（TOEFL ITP）及び面接試験を課す。

○修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース入学試験（募集人員：医療管理学コース5名、医療政策学コース10名）

入学者の選抜は、面接試験及び出願書類により行う。

○修士課程医歯理工保健学専攻グローバルヘルスリーダー養成コース（MPH）（募集人員：9名）

入学者の選抜は、面接試験及び出願書類により行う。

博士課程医歯学専攻

○博士課程医歯学専攻入学試験（募集人員：181名）

筆記試験（小論文）、外国語（TOEFL ITP）及び面接試験を課す。

○博士課程医歯学専攻（進学試験）入学試験（募集人員：若干名）

入学者選抜は、面接試験、出願書類等により総合的に行う。

○博士課程医歯学専攻研究者養成コース入学試験（募集人員：若干名）

入学者選抜は、面接試験、出願書類等により総合的に行う。

○博士課程医歯学専攻 MD-PhD（医学研究者早期育成）コース入学試験（募集人員：若干名）

入学者選抜は、面接試験、出願書類等により総合的に行う。

○博士課程医歯学専攻 DDS-PhD（歯学研究者早期育成）コース入学試験（募集人員：若干名）

入学者選抜は、面接試験、出願書類等により総合的に行う。

○博士課程医歯学専攻国際社会人大学院コース入学試験（募集人員：若干名）

入学者の選抜は、面接試験及び出願書類により行う。

○博士課程医歯学専攻歯科医学グローバルリーダーシップキャンパス（私費）入学試験（募集人員：8名）

入学者選抜は、出願書類等により行う。

博士課程生命理工医療科学専攻

○博士課程生命理工医療科学専攻入学試験（募集人員：25名）

入学者の選抜は、筆記試験（外国語）、口述試験及び出願書類により行う。

○博士課程生命理工医療科学専攻（進学試験）入学試験（募集人員：若干名）

入学者選抜は、口述試験、出願書類等により総合的に行う。

○博士課程生命理工医療科学専攻 データサイエンス生命科学研究国際人材育成プログラム私費外国人留学生（理研国際スクール）入学試験（募集人員：若干名）

入学者選抜は、面接試験、出願書類等により総合的に行う。

○博士課程医歯学専攻国費外国人留学生入学試験（募集人員：若干名）

入学者選抜は、面接試験、出願書類等により総合的に行う。

○博士課程医歯学専攻国費外国人留学生（大使館推薦対象）入学試験（募集人員：若干名）

入学者選抜は、面接試験、出願書類等により総合的に行う。

○博士課程生命理工医療科学専攻国費外国人留学生（大使館推薦対象）入学試験（募集人員：若干名）

入学者選抜は、口述試験、出願書類等により総合的に行う。

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

入学者の選抜は、学術委員会を中心として共同で実施し、書類選考、筆記試験（英語・小論文）、面接試験の総合判定とする。入学者選抜に関する基本的な方向性にある通り、特に意欲や専門知識を確認するために、面接試験（テレビ会議システム等を活用）を重視して選抜を行う。また、審査の過程では実務経験の内容も評価する。

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

入学者選抜は、両大学の教員で構成される選考委員会が共同で実施し、書類選考、筆記試験（英語・小論文）、面接試験、実技試験（ワイヤーベンディング試験）によって選抜を行う。選考委員会が実施する筆記試験と実技試験を受け、6名程度を選抜した後、選考委員会の面接試験によって3名程度選考し、合格者を決定する。また、入学試験の実施時期については、3月上旬頃に年1回実施する。

体制としては、両大学の教員で構成される選考委員会が入試を運営し、可否の判定を行う。可否判定を受け、それぞれの大学で最終判定を行い、それぞれの大学で入学許可手続きを行う。

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

入学者選抜試験は、プログラム運営委員会が共同で実施し、書類選考、筆記試験（英語による小論文）、面接試験によって選抜を行う。

両大学が合同で入学者選抜試験を実施し、入学定員は3名とする。ただし、入学手続き大学ごとの入学する学生数は定めない。各大学から入学する学生数は、年度ごとには正確に等しくしなくても構わないが、本専攻の運営期間を通して均衡を保つよう両大学で検討する。

入学者選抜試験は、適切な時期に実施し、入学時期は4月とする。

プログラム運営委員会が指名する試験委員が書類選考、合同面接試験による入学者選抜試験を行い、両大学が合同で可否の判定を行う。可否判定結果を受け、それぞれの大学で入学承認手続きを行い、入学許可書の交付手続きを行う。

10. 取得可能な資格

該当なし

1 1. 「大学院設置基準」第 2 条の 2 又は第 14 条による教育方法の実施

修士課程医歯理工保健学専攻

博士課程医歯学専攻

博士課程生命理工医療科学専攻

本学では、高度な最先端の医学知識や技術を修得する医師及び歯科医師以外の医療職者、研究者、企業人を育成するため、学生だけでなく、医療機関や研究機関等においてすでに勤務しており、また、その身分を有したまま在学を希望する社会人の入学が見込まれる。

医療機関や研究機関等において就業を継続しながら在学を希望する社会人に対して、大学院設置基準第 14 条特例を適用し、その授業および研究指導を行う。

（長期履修制度）

職業を有している等の事情により標準修業年限を超えて履修を行い修了することができる制度である。長期履修者が在学できる期間の限度は標準修業年限の 2 倍であり、長期履修期間を最大修業年限未満に設定したものについては、長期履修後、最大修業年限までは在学期間延長の手続きをすることができる。なお、長期履修者は指導教員と事前に相談し単位取得に関する履修計画を作成のうえ、計画的に履修を行う。

（社会人大学院コース）

入学後も継続して勤務する場合は社会人大学院コースとして在学が可能である。社会人大学院コースでは、効率的に科目履修や研究指導が進捗するよう配慮する。在学中の在学コース変更の手続きも可能とする。

（授業の実施方法）

社会人の履修が比較的可能な夜間の時間帯に講義の開講を設定する。例えば、「未来がん医療プロフェッショナル養成プラン」では 1 年間を通して夜間講義を実施しており 13 単位以上の修得を可能とする。また、分野で開講している講義、演習及び実習についても、社会人が受講しやすい時間帯に設定することを可能とする。

（図書館等の施設の利用や学生の厚生に対する配慮）

図書館・情報処理施設等の利用は平日 22 時まで、土日祝 18 時 30 分まで利用できるよう会館する。在学生の証明書や学割証を発行する自動発行機は 21 時まで利用可能とする。

（入学者選抜の概要等）

学生募集要項に制度について記載する。

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

該当なし

1 2. 2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画

修士課程医歯理工保健学専攻

博士課程医歯学専攻

博士課程生命理工医療科学専攻

本専攻の教育は、湯島地区と駿河台地区の2校地において実施される。教育研究分野により湯島地区または駿河台地区で学修することとなる。また、学生には指導教員が所属する地区において研究室が与えられ、指導教員から十分な指導も受けられるため、教育・研究の体制及び環境においても支障はない。

授業科目の実施に対応するために、教員が湯島地区、駿河台地区を移動するケースが発生するが、両地区間は徒歩で5分程度であり、教員の負担や学生への指導に不具合は生じない。一方、学生に対しては、湯島地区に図書館、自習スペース等を整備し、学生の授業時間外学習を適切に行えるようにする。さらに、保健管理施設、学生相談室、履修相談、健康管理、厚生補導の体制を湯島地区で整備するほか、大学ポータルサイトを開設する。

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

チリ大学と東京科学大学（仮称）が開設する授業科目をチリ国で履修することを原則とし、英語を用いた日本・チリ両国の教員による講義を設ける。東京科学大学（仮称）が開設する科目は、Zoomによる講義録画記録を作成して前もって学生に送付することによって予習させ、その後にskypeやZoom、テレビ会議の方式を用いて質疑あるいは小試験等を行う反転授業形式で行う。また、必要に応じて適宜テレビ会議の方式を用いてライブ講義を行う。これらの工夫により、チリ国に滞在する学生も東京科学大学（仮称）の講義を受講することができる。

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

チュラロンコーン大学が開設する授業科目については、原則、チュラロンコーン大学の研究指導教員が責任をもって実施するが、東京科学大学（仮称）の研究指導教員はskypeやZoom、e-mailなどを活用して履修状況を密に確認・共有する。学生に対しては、skypeやZoom、TV会議システム、e-mailなどを活用して指導に関わる。

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

本学及びマヒドン大学で開設する科目のうち、講義、演習科目については履修場所に制限されずに、学生に必要な科目を履修できるようテレビ会議システム等やE-learning等を活用するこ

とにより利便性を高めている。このように多様なメディアを活用した授業は、世界的にも広がりつつある授業方法の一つであり、本専攻ではライブ放映により、遠隔であってもインタラクティブな授業を提供することを基本としている。

2 年次前期以降、学生は両大学の教員から臨床担当である主・副指導教員及び主・副研究担当教員の最大 4 名から指導を受けることとなるが、学生が日本またはタイ王国のいずれの国にいても主指導教員の主導のもと、他の 3 名から教育研究指導が受けられるよう、両大学でテレビ会議システム等を整備している。また、両大学は、それぞれ連携大学にサテライトオフィスを持ち、テレビ会議システム等や E-learning 等を本専攻の専用に使うことが可能となる。

テレビ会議システム等は、リアルタイムで鮮明な画像と音声による指導が可能となっており、Skype や Zoom、E-mail 等も活用し、様々な手段で指導やコミュニケーションを取ることが可能となっている。

- 1 3. 社会人を対象とした大学教育の一部を本校以外の場所（サテライトキャンパス）で実施する場合
該当なし

- 1 4. 多様なメディアを高度に利用して授業を教室以外の場所で履修させる場合の具体的計画

修士課程医歯理工保健学専攻

博士課程医歯学専攻

博士課程生命理工医療科学専攻

本学では、平常時の面接による授業の実施を原則とするが、大学設置基準第 25 条第 2 項および本学の大学院学則の規定に基づき、多様なメディアを高度に利用し、同時に双方向に行うことができる遠隔授業を実施できることとすることから、カリキュラムの改善等により、多様なメディアを利用した授業が必要となった場合は、文部科学省の告示の要件等に基づき、実施するものとする。

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

skype や Zoom、テレビ会議システム、e-mail などを活用して、学生には指導に関わり、入学者選抜では面接試験を実施している。

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

個々の学生の履修計画の指導は、入学手続きをした大学が担うが、学生の目標や指向性により、相手大学の教員にも助言を求められるよう、skype や Zoom、TV 会議システム、e-mail などを活用して個別指導を行うことができる体制を整える。

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

本学及びマヒドン大学で開設する科目のうち、講義、演習科目については履修場所に制限されずに、学生に必要な科目を履修できるようテレビ会議システム等や E-learning 等を活用することにより利便性を高めている。このように多様なメディアを活用した授業は、世界的にも広がりつつある授業方法の一つであり、本専攻ではライブ放映により、遠隔であってもインタラクティブな授業を提供することを基本としている。

2 年次前期以降、学生は両大学の教員から臨床担当である主・副指導教員及び主・副研究担当教員の最大 4 名から指導を受けることとなるが、学生が日本またはタイ王国のいずれの国にいても主指導教員の主導のもと、他の 3 名から教育研究指導が受けられるよう、両大学でテレビ会議システム等を整備している。また、両大学は、それぞれ連携大学にサテライトオフィスを持ち、テレビ会議等システムや E-learning 等を本専攻の専用に使うことが可能となる。

テレビ会議システム等は、リアルタイムで鮮明な画像と音声による指導が可能となっており、Skype や E-mail 等も活用し、様々な手段で指導やコミュニケーションを取ることが可能となっている。

1 5. 通信教育を実施する場合の具体的計画

該当なし

1 6. 管理運営

(1) 教授会

学院、学部又は教養部に教授会を設置し、以下の事項について教授会の議を経て学長が決定する。

教授会は、学長が次に掲げる事項（研究教育院の教授会にあつては、第 3 号イ及びハ、研究院並びに生体材料工学研究所及び難治疾患研究所の教授会にあつては、第 3 号ハに限る。）について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- 一 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
- 二 学位の授与に関する事項
- 三 前 2 号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項
- イ 教育課程の編成に関する事項
- ロ 学生の在籍に関する事項
- ハ 別に定める者の教育研究業績の審査に関する事項

教授会は、前項に掲げる事項のほか、学長並びに学院等及び研究科等の長（大学院医歯学総合研究科にあつては、大学院医歯学総合研究科副研究科長を含む。）（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べるができる。

17. 自己点検・評価

(1) 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

収容定員の充足率やカリキュラムの実施状況、教員充足率が十分であることから、設置の趣旨・目的を達成していると考えている。

(2) 自己点検・評価報告書

ア. 公表（予定）時期

- ・令和3年7月公表済み

イ. 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開

(3) 認証評価を受ける計画

認証評価は令和3年度に大学改革支援・学位授与機構による審査を受審した。

18. 情報の公表

教育研究活動等の状況に関する情報の公表（学校教育法第113条）

以下①～⑨について下記アドレスで公開している。

大学 HP (<https://www.tmd.ac.jp/outline/disclosure/education/>)

①大学の教育研究上の目的に関すること

- ・ミッション・教育理念等

②教育研究上の組織に関すること

- ・教育・研究組織

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

- ・教員組織・教員数、教員の有する学位及び業績等

④入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業または修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

- ・アドミッション・ポリシー、入学案内、入学者数、学生数・収容定員数、外国人留学生在籍者数、学生数、卒業後の進路及び卒業生数

⑤授業科目、授業方法、及び内容並びに年間の授業計画に関すること

- ・カリキュラム・ポリシー、教育要項等

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

- ・ディプロマ・ポリシー、学則、履修規則等

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

- ・キャンパスマップ、交通アクセス、運動施設等、課外活動、福利厚生施設

⑧授業料、入学料、その他の大学が徴収する費用に関すること

- ・授業料、入学料、授業料・入学料免除

⑨大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

- ・保健管理センター、学生支援室、障害学生支援室、奨学金、アルバイト、学生寮、留学生宿舎、学生保険制度、就職支援

その他下記のとおり大学 HP で公開している。

- ・教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

(<https://www.tmd.ac.jp/faculties/>)

- ・学則等各種規程

(<https://www.tmd.ac.jp/cmn/rules/houki/shokisokutop.html>)

- ・設置認可申請書、設置届出書、設置計画履行状況等報告書

(<https://www.tmd.ac.jp/faculties/>)

- ・自己点検・評価報告書、認証評価の結果

(<https://www.tmd.ac.jp/outline/plan-evaluation/>)

19. 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等

統合教育機構に「教育技法開発チーム」を設置し、ディプロマ・ポリシーに定める人材の教育に必要な資質・能力を習得させるために、本学教職員を対象に、様々な教育技法の修得、教材作成技術の向上、講義のための英語力向上等を目的とした能力や属性に応じた教員研修・キャリア教育などを「統合教育機構教員教育研修」として実施した。

その他、教員の教育能力の向上及び教育の質の改善と向上のため、各部局においても独自の FD や部局を跨った合同 FD を実施したほか、学外の教員研修に統合教育機構教員、歯学部教員から複数回にわたって計 20 名程度が参加した。

20. 連携大学について

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

（1）チリ国における国際連携教育課程（ジョイントディグリー）

チリ国における学位に関する規定については、「ORGANICA CONSTITUCIONAL DE ENSEÑANZA」という教育法において「Las universidades podrán otorgar títulos profesionales y toda clase de grados académicos en especial, de licenciado, magister y doctor.（大学は専門家の称号及びあらゆる学位、特に学士号、修士号、博士号を授与することができる。）」、「El grado de doctor es el máximo que puede otorgar una universidad. Se confiere al alumno que ha obtenido un grado de licenciado o magister en la respectiva disciplina y que haya aprobado un programa superior de estudios y de investigación, y acredita que quien lo posee tiene capacidad y conocimientos necesarios para efectuar investigaciones

originales. En todo caso, además de la aprobación de cursos u otras actividades similares, un programa de doctorado deberá contemplar necesariamente la elaboración, defensa y aprobación de una tesis, consistente en una investigación original, desarrollada en forma autónoma y que signifique una contribución a la disciplina de que se trate. (博士号は大学が授与できる最高の学位である。その分野において学士号もしくは修士号を取得し、勉学及び研究の上級プログラムに合格した学生に授与され、それを持つ者が独自の研究を行うために必要な能力と知識を有することを証明する。いずれにしても、科目やそれに類似したその他の活動に合格した上で、博士課程プログラムには必ず、自立的に開発した独自の研究から成り、その分野への貢献を意味する論文の作成、弁護、合格が考慮されていなければならない。)と規定されているのみであり、ジョイントディグリーの授与については、大学に任されている。

(2) チリ大学の博士(医学)の授与実績等

チリ大学医学部教員の博士の学位保持教員数は113人で、過去5年間(2009-2013)の「博士(医学)(Doctor en Ciencias Médicas)」の学位授与者数は84人おり、博士の保持教員数、学位の授与実績および本専攻の入学定員(3人)を鑑みて、東京科学大学(仮称)と連名で「博士(医学)」の学位を授与することについて問題はない。(東京科学大学(仮称) 博士の学位保持教員数:292人、過去5年間(2009-2013)の「博士(医学)」の授与実績:502人)

(3) チリ国の質保証制度に基づくチリ大学の評価

チリ国には、Comisión Nacional de Acreditación (略称CNA)という認証評価機関があり、大学全体だけでなく学部や課程単位での認定をおこなっている。チリ大学は、2011年12月21日に7年間、チリ大学医学部の博士プログラムにおいては、2010年8月25日に6年間の認定を受けている。

博士課程東京科学大学(仮称)・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

歯学部門は、解剖学、社会歯学、咬合学、矯正歯科学などの計16部門、附属病院は、外来科、入院科、特別歯科、薬局、歯科ITセンター、歯科材料研究センターなどの13部門で組織されている。本専攻で主に利用する教育研究棟は、歯学部新棟、附属病院、歯科棟2となっており、それぞれに教育・研究に必要とされる講義室、実験室を有し、研究に必要な実験機器、臨床で使用する診療ユニットなど施設・設備が十分に備わっている。事務部門として、総務部、施設部、財務部、統合教育機構及び統合国際機構事務部などの部門から組織されている。また、教員については、歯学部教員179人のうち、本専攻の専任教員は9名である。

以上より、本国際連携教育課程を実施するに当たり十分な教員および施設を有していると考えられる。

(2) 国際連携教育課程の制度

タイ国の国際連携教育課程の制度については、タイ国教育省告示「タイの学術機関と外国の学術機関との協力の合意に関するガイドライン」(2007年2月1日)の第6条「学習と教育」に取

扱いが規定されており、タイ側の学術機関と外国の学術機関が連携カリキュラムを編成する場合、双方の学術機関が承認し、連携協定を締結することとされている。協定締結後、タイ側の学術機関は、質保証委員会、教育政策委員会（教育省高等教育庁）にそのカリキュラムを提出し承認を得ることが規定されており、タイ国の大学と JD プログラムを実施することについては制度上の問題はない。また、学位授与に関しては、タイの学生が外国の学術機関から学位が授与される場合、外国の学術機関で、少なくとも 1 学期（セメスター）、もしくは、コースの半分を学修しなければならないと規定されているが、本専攻では、約 1 年間、日本に滞在し履修するカリキュラムを編成していることから同様に制度上の問題はない。なお、タイ国では既に平成 24 年度からチュラロンコーン大学医学研究科のバイオメディカルサイエンスとリバプール大学医学研究科の生命工学分野で 4 年コースの JD プログラムを実施しており、JD プログラムの実施が制度的に認められている。

（３）国の質保証制度に基づく評価等

タイ国の高等教育の質保証制度は国家教育法 B. E. 2542（1999）改正 No. 2. B. E. 2545（2002）に基づき、タイ国内の大学は、前回の受審から 5 年以内に外部質保証制度による評価を受審し、評価結果を一般に公表することがすることが義務付けられている。国家教育法に基づいて、2008 年に国家教育基準質評価委員会（office of National Education Standards and Quality Assessment 公的機関）の外部評価をチュラロンコーン大学が受審した結果は、5 段階評価中 1 番上位の優良(4.62) という評価であった。

（４）連携外国大学における博士（歯学）と同等の学位の授与実績

チュラロンコーン大学歯学部教員の博士課程学位保有率は、44% (179 人中 78 人) である。現在、歯科補綴学、歯科公衆衛生学、口腔生物学、歯科生命工学の 4 コースが設定されており、当該 4 コースで授与している授与実績数については、1989 年から 2014 年までの 26 年間に年間 5～6 人の「博士（歯学）」の学位を合計 150 人に授与している。教員のレベル、学位の授与実績および本専攻の入学定員（3 人）を鑑みて、東京科学大学（仮称）と連名で「博士（歯学）」の学位を授与することについて問題ない。（東京科学大学（仮称）歯学系教員の博士の学位保有率 88% (224 人中 198 人)）

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

タイ王国の国際連携教育課程の制度については、タイ王国教育省告示「タイ王国の学術機関と外国の学術機関との協力の合意に関するガイドライン」（2007 年 2 月 1 日）の第 6 条「学習と教育」に取扱いが規定されており、タイ王国側の学術機関と外国の学術機関が連携カリキュラムを編成する場合、双方の学術機関が承認し、連携協定を締結することとされている。協定締結後、タイ王国側の学術機関は、質保証委員会、教育政策委員会（教育省高等教育庁）にそのカリキュラムを提出し承認を得ることが規定されており、タイ王国の大学とジョイント・ディグリー・プログラムを実施することについては制度上の問題はない。また、学位授与に関しては、タイ王国の学生が外国の学術機関から学位が授与される場合、外国の学術機関で、少なくとも 1 学期、も

しくは、コースの半分を学修しなければならないと規定されているが、本専攻では、半年から最大2年間、日本に滞在して履修するカリキュラムを編成していることから同様に制度上の問題はない。

タイ王国の高等教育の質保証制度は国家教育法 B. E. 2542 (1999) 改正 No. 2. B. E. 2545 (2002) に基づき、タイ王国内の大学は、前回の受審から5年以内に外部質保証制度による評価を受審し、評価結果を一般に公表することが義務付けられている。国家教育法に基づいて、2015年に公的機関である全国教育水準・質評価局(The Office of National Education Standards and Quality Assessment: ONESQA) の外部評価をマヒドン大学が受審した結果は、全指標(18指標)において平均点が4.67と5段階評価中最上位の最優秀という評価であり、シリラート病院医学部は平均点4.80と同様に最上位の最優秀の評価であった。

2.1. 協議及び協定について

博士課程東京科学大学(仮称)・チリ大学国際連携医学系専攻

(1) 協議体制

1) 学部長等会議

東京科学大学(仮称)医学部長、チリ大学医学部長および関連病院(CLC)のアカデミックディレクターで構成される学部長等会議がプログラム運営の全体を総括する。本専攻の運営に係る自己点検評価を実施するために、年1回以上、テレビ会議システム等を利用して開催することとするが、毎月の学術委員会の会議状況報告を受け、必要に応じて、委員の発議又は学術委員会からの申し出により、随時、開催する。

2) 学術委員会

個々の大学院生に対する日常の学術活動の調整は、東京科学大学(仮称)、チリ大学および関連病院(CLC)から少なくとも1名以上の教員(教授あるいは准教授(相当))よりなる学術委員会(総員5名以上)が行う。少なくとも1ヶ月に1度のテレビ会議システム等を通じてきめ細やかな指導体制を構築する。主な審議事項は次のとおり。

- ①入学者選抜に関する事項
- ②学生の身分(在籍の管理)及び安全に関する事項
- ③学生の奨学及び厚生補導に関する事項
- ④カリキュラムの編成及び実施に関する事項
- ⑤教育組織の編成に関する事項
- ⑥成績評価の方針に関する事項
- ⑦研究指導教員の選定に係る事項
- ⑧評価試験委員会の設置に関する事項
- ⑨学位授与及び課程修了に関する事項
- ⑩教育研究活動等の状況の評価に関する事項
- ⑪その他両大学が必要と認めた事項

（２）連絡体制

緊急時・災害時の連絡体制については、東京科学大学（仮称）のチリ海外拠点（LACRC）に配置している調整担当専任教員および事務職員・現地スタッフを介して連絡する体制を構築している。

東京科学大学（仮称）からの学生が渡航する際については、危機管理のために本人の海外旅行保険と併せて、東京科学大学（仮称）が加入している危機管理会社の協力を得て緊急事故等に対処する。また、来日するチリ国からの学生にも海外旅行保険に加入することを義務付ける。

なお、本専攻を終了しようとする場合は、１年前までに相手大学に書面をもって申し出ることとしている。その場合、本専攻に学生が在学している間は本専攻の共同実施を継続するものとし、全学生の修了をもって終了することとしている。

（３）協定書締結者

両大学とも、大学の代表者である学長と本専攻の母体となる学部長が署名することとしており、責任ある意思決定者であることは明確である。

【資料７ 協定書（東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻）】

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

（１）連絡協議会

本専攻における教育研究等に関する重要事項等について協議するため、協定書第 34 条に基づき、本学と連携外国大学との間で連絡協議会を設置する。構成員は、両大学の学長あるいは学長から必要な権限を委ねられている者により構成され、研究科長あるいは副研究科長、本専攻において研究指導を行う分野の長などがメンバーとなり連携外国大学との実質的な協議ができる体制とする。本協議会は、本学または連携外国大学にて定期的に年 1 回以上開催することとする。また、必要に応じて、本学が連携外国大学であるチュラロンコーン大学歯学部内に開設している CU-TMDU センター（本学タイ拠点）の TV 会議システムや Zoom を活用するなど会議運営面での工夫を行う。

主な審議事項については、次のとおりとする。

- １）教育課程の編成に関する事項
- ２）教育組織の編成に関する事項
- ３）入学者の選抜及び学位の授与に関する事項
- ４）学生の在籍管理及び安全に関する事項
- ５）学生の奨学及び厚生補導に関する事項
- ６）教育研究活動等の状況の評価に関する事項

（２）連絡体制

緊急時・災害時の連絡体制については、両大学で緊急連絡網を整備し、相互間の連絡体制を共有するとともに、日本人学生派遣期間中は、可能な限り本学から調整者となる専任教員を派遣したうえで、チュラロンコーン大学内にある CU-TMDU センター（本学タイ拠点）に滞在させること

とし、緊急対応と通常時の学生支援にあたるものとする。また、タイ人学生の日本滞在中の有事の際に備えて、学生、指導教員、事務間での連絡体制を整え、迅速な連絡・相談等の支援を行うものとする。

突発的な事故などの危機管理や急な病気などの健康管理に対応するため、本専攻において、海外渡航する学生には海外旅行保険への加入を義務付ける。また、本学が加入している外部の留学生海外安全危機管理会社の協力を得て緊急事故等に対処する。

なお、本専攻を終了しようとする場合は、1年前までに相手大学に書面をもって申し出ることとしている。その場合、本専攻に学生が在学している間は本専攻の共同実施を継続するものとし、全学生の修了をもって終了することとしている。

(3) 協定書締結者

本学の協定書締結者である学長が責任ある意思決定者であることは、学校教育法 92 条により、学長が大学の包括的な最終責任者としての職務と権限を有することから明確である。また、連携外国大学のチュラロンコーン大学においても協定書の締結者は大学を代表する学長であることから、責任ある意思決定者であることは明確である。

【資料 8 協定書（東京医科歯科大学・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻）】

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

(1) 合同の委員会における協議

1) 学部長会議

学部長会議は、テレビ会議システム等を利用して年 1 回以上開催することとし、プログラム運営の全体を総括し、自己点検・評価を行うことで両大学が問題の把握と解決に向けた協議を行い、円滑な運営を図る。

2) プログラム運営委員会

プログラム運営委員会は、テレビ会議システム等を利用して原則毎月 1 回開催することとし、本専攻の運営の実務や、個々の学生の研究の進捗、学術活動の調整等、教育に関わる事項について協議する。

(2) 主・副指導教員間における協議

主・副指導教員、及び主・副研究担当教員は、学生の研究、履修の進捗に合わせ随時メール、Zoom、Skype、テレビ会議システム等を用いて学生の研究指導を行い、問題点の抽出と解決に向けた協議を行う。

(3) 不測の事態が生じた場合の連絡体制及び手続き

天災や騒乱等、不測の事態によりいずれかの大学に本専攻の運営の継続、及び学位授与に困難が生じた場合は、プログラム運営委員会が協議を行い、問題の解決を図るが、在学中の学生が不利益を被ることのないよう入学手続き大学の裁量により、既存専攻への転専攻を認める等、各大学が責任を持って適切な措置を講じる。

(4) 協定書の締結者等

本専攻の設置にかかる協定書は、両大学の代表者である学長が連名で署名し、さらにマヒドン大学においてはマヒドン大学大学院研究科長、及びマヒドン大学シリラート病院医学部長も署名している。いずれも責任ある意思決定者であることは明確である。

【資料 9 協定書（東京医科歯科大学・マヒドン大学国際連携医学系専攻）】

2.2. 学生の経済的支援に関する取組

博士課程東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻

本専攻のすべての学生に対して、日本・チリ両国大学とも、検定料、入学料、授業料を免除することとしている。また、チリ大学で入学手続きをした学生（チリ国医師資格を持つ学生）については、チリのファンディング・エージェンシーである CONICYT や 関連病院（CLC）から奨学金を支給する。東京科学大学（仮称）で入学手続きをした学生（日本国医師資格を持つ学生）については、チリ滞在中、東京科学大学基金から奨学金を支給する方針である。さらに、学生への経済的負担を軽減するために教育課程を編成する上で、それぞれの大学において一定期間まとめて授業を受けることができるよう配慮しており、移動や滞在に伴う学生の負担を軽減している。

博士課程東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

本学で入学手続きを行った学生に対して、タイ滞在中の経済的支援を行うため、優れた研究活動を行う者を対象に東京科学大学基金から奨学金を支給する方針である。

また、チュラロンコーン大学は、自大学で入学手続きをした学生に対して、経済的支援として日本への往復渡航費と毎年約 9 万円の奨学金を支給する。住居については、国府台（市川市）、南行徳（市川市）等にある本学の学生寮（国際交流会館）を利用することが可能であり、タイでは、チュラロンコーン大学が所有する学生寮を使用することが可能である。

また、学生への経済的負担を軽減するために教育課程を編成する上で、それぞれの大学において一定期間まとめて授業を受けることが出来るよう配慮し、移動や滞在に伴う学生の負担を軽減している。

博士課程東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻

検定料、入学料、授業料は入学手続き大学のみが徴収する。学生は両大学に入学し二重に学籍を持つことになるため、それぞれの大学が定める授業料等を納付する必要があるが、本専攻においては上記のとおり学生は入学手続き大学における授業料等のみを負担し、連携大学における授業料等を重複して負担しない仕組みとする。

また、学生への経済的負担を軽減するために教育課程を編成する上で、それぞれの大学において一定期間まとめて授業を受けることが出来るよう配慮し、移動や滞在に伴う学生の負担を軽減している。この他にも各大学では学生に対する経済的支援を用意する。東京科学大学（仮称）では、経済的支援として奨学金制度を整備し、また日本学生支援機構の海外留学支援制度等も活用

し奨学金を支給する。マヒドン大学を入学手続き大学とする学生に対しては日本で履修する期間の滞在先として国府台（市川市）、南行徳（市川市）等にある本学学生寮（国際交流会館）の居室を提供する。

マヒドン大学では、マヒドン大学を入学手続き大学とする学生を対象に、本専攻修了後、シリラート病院医学部のスタッフとなることを条件に各年度 2 名以上を対象として奨学金を支給する。

資料目次

資料 1	学生募集停止した教育組織における科目開講の取扱いについて……………	p. 2
資料 2	研究科運営委員会議事要旨（医系歯系）……………	p. 3
資料 3	履修モデル（東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻）……………	p. 13
資料 4	履修モデル（東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻） ……………	p. 15
資料 5	履修モデル（東京科学大学（仮称）・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻） ……………	p. 16
資料 6	履修モデル（東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻）…	p. 17
資料 7	協定書（チリ大学国際連携医学系専攻）……………	p. 18
資料 8	協定書（チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻）……………	p. 26
資料 9	協定書（マヒドン大学国際連携医学系専攻）……………	p. 35

令和 5 年 3 月 15 日

学生募集停止した教育組織における科目開講の取扱いについて

大学院医歯学総合研究科医歯学系専攻(平成 30 年度学生募集停止)における在籍予定学生の単位修得状況及び意向調査結果に基づき、開講科目に関する取扱いについて、以下の取扱いとする。

記

【在籍予定学生の単位修得状況について】

今回移管申請を行う「医歯学系専攻(D)」において、統合日(令和 6 年 10 月予定)以降も在籍を予定している学生は全員 4 年次(最終年次)に在籍しており、修了要件(※)に定めている単位は修得済で学位論文の作成と審査を残すのみである。

【開講科目の取扱いについて】

医歯学系専攻においては、4 年次は研究課題に則した研究指導を受け、論文作成などの研究活動を行う時間に充てるため、原則として 1 年次に特論、1～2 年次に演習、2～3 年次に研究実習を履修するものとして配当年次を設定しており、在籍予定学生は上記の通りいずれも修了に必要な科目の単位修得を完了していることから、統合時点で科目の開講は行わない。

ただし、学生自身が希望した場合には履修を妨げるものではないため、在籍予定学生に対して令和 5 年度以降の科目履修希望有無の意向調査を令和 5 年 1 月 27 日～2 月 2 日の間で行ったところ、科目の履修を希望する回答が無かったため、開講しないことによる学生への不利益が生じないことを確認している。

以上

※参考:医歯学系専攻修了要件

(大学院学則)

当該専攻に4年以上在学し、所定の授業科目について 30 単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

(修得単位の内訳)

医歯学系専攻は所属分野が開設する授業科目(特論 6 単位、演習 4 単位、実習 8 単位)18 単位、所属教育研究分野以外が開設する特論、共通科目、がんプロ科目から 12 単位以上の合計 30 単位以上

2022 年度第 15 回大学院医歯学総合研究科医学系研究科運営委員会議事要旨

日時：2023 年 3 月 15 日（水）15:00～15:50

場所：Web 会議（Zoom）

【出席者】 教授 57 名、連携教授 3 名、准教授 1 名

【欠席者】 教授 17 名、連携教授 1 名、准教授 2 名

【配付資料】

- 資料 1 2022 年度第 14 回大学院医歯学総合研究科医学系研究科運営委員会議事要旨(案)
- 資料 2 University of Chile and TMDU Joint Degree Doctoral Program in Medical Sciences with mention of a medical specialty (案)【要回収】
- 資料 3 学位論文審査
- 資料 4 博士課程における学生の異動について(案)
- 資料 5-1 データ駆動グローバルヘルス医学研究国際人材育成プログラム 2023 年度(私費)外国人留学生募集要項(案)
- 資料 5-2 Application guide for Data-driven Medical Research Global Health Leader Program(DD-GLP) (Self-supporting students)(案)
- 参考資料 1 APPLICATION FORM TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL CALL FOR INTERNATIONAL APPLICANTS to Data-driven Medical Research Global Health Leader Program:DD-GLP(2023 Application Guide for Self-Supporting International Students)(案)
- 参考資料 2 Field of Study and Study Program(案)
- 参考資料 3 指導計画書(案)
- 資料 6 2023 年度東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科博士課程東京医科歯科大学・マヒドン大学国際連携医学系専攻入学試験合否判定(案)【要回収】
- 資料 7 Joint Degree Doctoral Program in Medical Sciences between Tokyo Medical and Dental University and Mahidol University Credit recognition and grade conversion <Students matriculated in 2022, 1st year(1st and 2nd semester)>(案)【要回収】
- 資料 8-1 令和 4 年度(2022 年度)特に優れた業績による返還免除候補者の推薦依頼について
- 資料 8-2 令和 4 年度(2022 年度)特に優れた業績による返還免除推薦(案)(博士課程・医学系)【要回収】
- 資料 8-3 令和 4 年度(2022 年度)特に優れた業績による返還免除候補者審査結果【要回収】
- 参考資料 1 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医学系研究科運営委員会第一種奨学金返還免除候補者の選考基準に関する申し合わせ
- 参考資料 2 第一種奨学金返還免除候補者審査実施について
- 資料 9-1 特に優れた業績による返還免除制度概要
- 資料 9-2 令和 3 年度(2021 年度)特に優れた業績による返還免除推薦(案)(博士課程・医学系)【要回収】
- 資料 9-3 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医学系研究科運営委員会第一種奨学金

	返還免除候補者の選考基準に関する申し合わせ
資料 9-4	JASSO 特に優れた業績による返還免除の審査に係る申入れ(JSPS 特別研究員関係)について
資料 9-5	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医学系研究科運営委員会第一種奨学金返還免除候補者の選考基準に関する申し合わせ(案)
参考資料	東京医科歯科大学大学院第一種奨学金返還免除候補者の選考基準等に関する要項
資料 10	修士課程医歯理工保健学専攻における学生の異動について(案)
資料 11-1	2023 年度非常勤講師予定表(案)【要回収】
資料 11-2	履歴書【要回収】
資料 12	2022 年度修士コンソーシアム所属学生後期科目成績評価(案)【要回収】
資料 13	【2022 年 4 月入学】修士課程医歯理工保健学専攻グローバルヘルスリーダー養成コース(MPH コース)単位認定(案)【要回収】
資料 14	グローバルヘルスリーダー養成(MPH)コースにおける学生の異動について(案)
資料 15-1	令和 4 年度(2022 年度)特に優れた業績による返還免除候補者の推薦依頼について
資料 15-2	令和 4 年度(2022 年度)特に優れた業績による奨学金返還免除推薦(案)(修士課程)【要回収】
資料 15-3	令和 4 年度(2022 年度)特に優れた業績による奨学金返還免除審査結果(修士課程)【要回収】
参考資料 1	第一種奨学金返還免除候補者審査実施について
参考資料 2	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻修士課程第一種奨学金返還免除候補者の選考基準
参考資料 3	令和 4 年度(2022 年度)特に優れた業績による奨学金返還免除候補者修士課程審査員
資料 16-1	医歯学系専攻における開講科目の取扱いについて(案)
資料 16-2	学生募集停止した教育組織における科目開講の取扱いについて(案)
資料 17	特別研究学生交流、研究指導に関する協定書の締結について(案)
資料 18	東京医科歯科大学大学院履修規則の改正について(案)
資料 19	学生の異動について(案)
資料 20	2023 年度前期大学院研究生の入学可否について(案)【要回収】
資料 21	2023 年度大学院特別研究生(ソニー)の入学可否について(案)【要回収】
資料 22	2023 年度大学院特別聴講生(ソニー)の入学可否について(案)【要回収】
資料 23	2023 年度大学院特別聴講生(あいおいニッセイ同和損保)の入学可否について(案)【要回収】
資料 24-1	大学院医歯学総合研究科博士課程入学試験委員会内規の改正について(案)
資料 24-2	「東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科博士課程入学試験委員会内規」新旧対照表(案)
資料 24-3	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科博士課程入学試験委員会内規(案)
資料 25-1	大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻入学試験委員会内規の改正について(案)
資料 25-2	「東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻入学試験委員会内規」新旧対照表(案)
資料 25-3	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻入学試験委

員会内規(案)

資料 26	2023 年度委員の選出について(医学系)(案)
資料 27	小橋晶一奨学金給付者選考委員会名簿(案)
参考資料 1	小橋晶一奨学金給付者選考委員会委員の推薦について(依頼)
参考資料 2	小橋晶一奨学金給付者選考委員会歴代委員名簿
参考資料 3	小橋晶一奨学金給付者選考委員会規則
資料 28	大学院医歯学総合研究科東京医科歯科大学・マヒドン大学国際連携医学系専攻に係る 設置計画履行状況調査期間中の異動等について
資料 29	2022 年度授業評価アンケート
資料 30	2023 年度医学系研究科運営委員会開催日程

【協議事項】

1. 前回議事要旨について(案)(説明者：東田議長)
資料 1 に基づき、前回議事要旨(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
- ＜博士課程に関する事項＞
2. 東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻における授業科目の単位認定について(案)
(説明者：小谷野 JD・MPH 係長)
資料 2 に基づき、東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻における授業科目の単位認定(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
3. 学位論文審査(甲 8 件)(説明者：東田議長)
資料 3 に基づき、学位論文審査(甲 8 件)について説明があり、投票の結果、全て可と判定された。
4. 博士課程における学生の異動について(案)(説明者：中村委員)
資料 4 に基づき、博士課程学生の退学 3 名、休学 1 名、長期履修 4 名、在学期間延長 1 名、研究指導委託 1 名、在学コース変更 5 名、研究指導委託受入 3 名、研究指導委託受入申請取消 1 名について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
5. 2023 年度データ駆動グローバルヘルス医科学研究国際人材育成プログラム私費募集要項について(案)(説明者：中村委員)
資料 5-1 から参考資料 3 に基づき、2023 年度データ駆動グローバルヘルス医科学研究国際人材育成プログラム私費募集要項(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
6. 2023 年度 4 月入学東京医科歯科大学・マヒドン大学国際連携医学系専攻入学者選抜試験可否判定について(案)(説明者：秋田委員)
資料 6 に基づき、2023 年度 4 月入学東京医科歯科大学・マヒドン大学国際連携医学系専攻入学者選抜試験可否判定(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
7. 東京医科歯科大学・マヒドン大学国際連携医学系専攻における授業科目の単位認定について(案)(説明者：秋田委員)
資料 7 に基づき、東京医科歯科大学・マヒドン大学国際連携医学系専攻における授業科目の単位認定(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。

8. 令和4年度(2022年度)特に優れた業績による返還免除候補者の推薦について(案)
(説明者：中村委員)
資料8-1から参考資料2に基づき、令和4年度(2022年度)特に優れた業績による返還免除候補者の推薦(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
9. 特に優れた業績による奨学金返還免除に係る申し合わせについて(案)(説明者：中村委員)
資料9-1から参考資料に基づき、特に優れた業績による奨学金返還免除に係る申し合わせ(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。

＜修士課程に関する事項＞

10. 学生の異動について(案)(説明者：中村委員)
資料10に基づき、修士課程学生の退学1名、休学1名、復学1名、在学期間延長2名、研究指導委託受入3名、専攻分野変更3名について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
11. 2023年度修士課程医歯理工保健学専攻非常勤講師委嘱について(案)(説明者：中村委員)
資料11-1及び資料11-2に基づき、2023年度修士課程医歯理工保健学専攻非常勤講師委嘱(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
12. 2022年度後期成績評価について(案)(説明者：中田委員)
資料12に基づき、2022年度後期成績評価(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
13. グローバルヘルスリーダー養成(MPH)コース2022年4月入学者単位認定について(案)
(説明者：藤原委員)
資料13に基づき、グローバルヘルスリーダー養成(MPH)コース2022年4月入学者単位認定(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
14. グローバルヘルスリーダー養成(MPH)コースにおける学生の異動について(案)
(説明者：藤原委員)
資料14に基づき、グローバルヘルスリーダー養成(MPH)コース学生の除籍1名、休学1名について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
15. 令和4年度(2022年度)特に優れた業績による返還免除候補者の推薦について(案)
(説明者：浅原委員)
資料15-1から参考資料3に基づき、令和4年度(2022年度)特に優れた業績による返還免除候補者の推薦(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。

＜修士課程及び博士課程に関する事項＞

16. 医歯学系専攻における開講科目の取扱いについて(案)(説明者：白谷戦略企画課長)
資料16-1及び資料16-2に基づき、医歯学系専攻における開講科目の取扱い(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。

17. 特別研究学生交流、研究指導に関する協定書の締結について(案)(説明者：中村委員)
資料 17 に基づき、特別研究学生交流、研究指導に関する協定書の締結(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
18. 東京医科歯科大学大学院履修規則の一部改正について(案)(説明者：中田委員)
資料 18 に基づき、東京医科歯科大学大学院履修規則の一部改正 (案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。

<大学院研究生に関する事項>

19. 学生の異動について(案)(説明者：中村委員)
資料 19 に基づき、大学院研究生の退学 17 名、研究期間延長 2 名について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
20. 2023 年度前期大学院研究生の入学可否について(案)(説明者：中村委員)
資料 20 に基づき、2023 年度前期大学院研究生の入学可否(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
21. 2023 年度大学院特別研究生(ソニー)の入学可否について(案)(説明者：中村委員)
資料 21 に基づき、2023 年度大学院特別研究生(ソニー)の入学可否(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
22. 2023 年度大学院特別聴講生(ソニー)の入学可否について(案)(説明者：中村委員)
資料 22 に基づき、2023 年度大学院特別聴講生(ソニー)の入学可否(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
23. 2023 年度大学院特別聴講生(あいおいニッセイ同和損保)の入学可否について(案)
(説明者：中村委員)
資料 23 に基づき、2023 年度大学院特別聴講生(あいおいニッセイ同和損保)の入学可否(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。

<その他の事項>

24. 大学院医歯学総合研究科博士課程入学試験委員会内規の改正について(案)(説明者：東田議長)
資料 24-1 から資料 24-3 に基づき、大学院医歯学総合研究科博士課程入学試験委員会内規の改正(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
25. 大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻入学試験委員会内規の改正について(案)(説明者：東田議長)
資料 25-1 から資料 25-3 に基づき、大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻入学試験委員会内規の改正(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
26. 2023 年度委員の選出について (案)(説明者：東田議長)
資料 26 に基づき、2023 年度委員の選出(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。

27. 小橋晶一奨学金給付者選考委員の選出について(案)(説明者：東田議長)

資料 27 から参考資料 3 に基づき、小橋晶一奨学金給付者選考委員の選出(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。

【報告事項】

1. 東京医科歯科大学・マヒドン大学国際連携医学系専攻に係る設置計画履行状況調査期間中の異動等について(報告者：東田議長)

資料 28 に基づき、東京医科歯科大学・マヒドン大学国際連携医学系専攻に係る設置計画履行状況調査期間中の異動等について報告があった。

2. グローバルヘルスリーダー養成コース 2022 年度授業評価アンケートについて
(報告者：藤原委員)

資料 29 に基づき、グローバルヘルスリーダー養成コース 2022 年度授業評価アンケートについて報告があった。

3. 2023 年度医学系研究科運営委員会の日程について(報告者：東田議長)

資料 30 に基づき、2023 年度医学系研究科運営委員会の日程について報告があった。

4. その他

(1) 退職者等からの挨拶について

今年度で退職される、大友委員、大川委員及び来年度よりサバティカル制度を利用予定の藤原委員より挨拶があった。

なお、原(正)委員、古川委員は欠席のため、議長より退職となる旨紹介があった。

(2) 次回の委員会の開催について

次回は 2023 年 4 月 19 日(水)Zoom またはメール会議で開催予定の旨、報告があった。

以 上

2022 年度第 18 回大学院医歯学総合研究科歯学系研究科運営委員会議事要旨

日時：2023 年 3 月 15 日（水）14:00～15:29

場所：Web 会議（Zoom）

【出席者】教授 36 名、准教授 2 名

【欠席者】教授 4 名

【配付資料】

- 資料1 2022年度第17回大学院医歯学総合研究科歯学系研究科運営委員会議事要旨(案)
- 資料2 学位論文審査
- 資料3 学生の異動について(案)
- 資料4 Tokyo Medical and Dental University and Chulalongkorn University International Joint Degree Doctor of Philosophy Program in Orthodontics Credit recognition and grade conversion(案)
【要回収】
- 資料5 2023年度大学推薦による国費外国人留学生(研究留学生・特別枠)申請者一覧【要回収】
- 参考資料1 歯科医学グローバルリーダーシップキャンパス：運営委員会委員名簿および申し合わせ【要回収】
- 参考資料2 2023年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生募集要項研究留学生・学部留学生(大学推薦)〔特別枠〕
【要回収】
- 資料6 修士課程医歯理工保健学専攻における学生の異動について(案)
- 資料7-1 2023年度非常勤講師予定表(案)【要回収】
- 資料7-2 非常勤講師用履歴書【要回収】
- 資料8 2022年度修士コンソーシアム所属学生後期科目成績評価(案)【要回収】
- 資料9-1 令和4年度特に優れた業績による返還免除候補者の推薦依頼について
- 資料9-2 令和4年度(2022年度)特に優れた業績による奨学金返還免除推薦(案)(修士課程)【要回収】
- 資料9-3 令和4年度(2022年度)特に優れた業績による奨学金返還免除審査結果(修士課程)【要回収】
- 参考資料1 第一種奨学金返還免除候補者審査実施について
- 参考資料2 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻修士課程第一種奨学金返還免除候補者の選考基準
- 参考資料3 2022年度(令和4年度)特に優れた業績による業績による奨学金返還免除候補者修士課程審査員
- 資料10-1 医歯学系専攻における開講科目の取扱いについて
- 資料10-2 学生募集停止した教育組織における科目開講の取扱いについて(案)
- 資料11 特別研究学生交流、研究指導に関する協定書の締結について(案)
- 資料12 東京医科歯科大学大学院履修規則の改正について(案)
- 資料13-1 大学院医歯学総合研究科博士課程入学試験委員会内規の改正について
- 資料13-2 「東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科博士課程入学試験委員会内規」新旧対照表(案)
- 資料13-3 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科博士課程入学試験委員会内規(案)
- 資料14-1 大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻入学試験委員会内規の改正について
- 資料14-2 「東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻入学試験委員会内規」新旧対照表(案)
- 資料14-3 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻入学試験委員会内規(案)
- 資料15 学生の異動について(案)
- 資料16 大学院研究生の終了について(案)【要回収】
- 資料17 2023年度前期大学院研究生の入学可否について(案)【要回収】
- 資料18 2023年度大学院特別研究生(ソニー)の入学可否について(案)【要回収】
- 資料19 2023年度大学院特別聴講生(ソニー)の入学可否について(案)【要回収】
- 資料20 2023年度大学院特別聴講生(あいおいニッセイ同和損保)の入学可否について(案)【要回収】
- 資料21-1 Self Assessment Report

資料21-2 External Assessment Sheet

資料22 2023年度歯学系研究科運営委員会開催日程

[協議事項]

1. 前回議事要旨について(案)(説明者：依田議長)

資料1に基づき説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。

<博士課程に関する事項>

2. 学位論文審査について(甲18件)(説明者：主査)

資料2に基づき、学位論文審査(甲18件)について説明があり、協議の結果、全て可と判定された。

3. 学生の異動について(案)(説明者：小野委員)

資料3に基づき、博士課程学生の退学1名、休学2名、在学コース変更1名、研究指導委託1名、研究指導委託受入1名について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。

4. 東京医科歯科大学・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻に係る前期履修科目単位認定について(案)(説明者：小野委員)

資料4に基づき、東京医科歯科大学・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻に係る前期履修科目単位認定(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。

5. 歯科医学グローバルリーダーシップキャンパス(国費)の推薦について(案)(説明者：小野委員)

資料5 から参考資料2に基づき、歯科医学グローバルリーダーシップキャンパス(国費)の推薦(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。

<修士課程に関する事項>

6. 学生の異動について(案)(説明者：小野委員)

資料6に基づき、修士課程学生の退学1名、休学1名、復学1名、在学期間延長2名、研究指導委託受入3名、専攻分野変更3名について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。

7. 2023年度修士課程医歯理工保健学専攻非常勤講師委嘱について(案)(説明者：小野委員)

資料7-1 及び資料7-2 に基づき、2023年度修士課程医歯理工保健学専攻非常勤講師委嘱(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。

8. 2022年度後期成績評価について(案)(説明者：東委員)

資料8に基づき、2022年度後期成績評価(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。

9. 令和4年度(2022年度)特に優れた業績による返還免除候補者の推薦について(案)(説明者：依田議長)

資料9-1から参考資料3に基づき、令和4年度(2022年度)特に優れた業績による返還免除候補者の推薦(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。

<修士課程及び博士課程に関する事項>

10. 歯学系専攻における開講科目の取扱いについて(案)(説明者：白谷戦略企画課長)

資料10-1及び資料10-2に基づき、歯学系専攻における開講科目の取扱い(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。

11. 特別研究学生交流、研究指導に関する協定書の締結について(案)(説明者：小野委員)

資料11に基づき、特別研究学生交流、研究指導に関する協定書の締結(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。

12. 東京医科歯科大学大学院履修規則の一部改正について(案)(説明者：東委員)
資料12に基づき、東京医科歯科大学大学院履修規則の一部改正(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
13. 大学院医歯学総合研究科博士課程入学試験委員会内規の改正について(案)(説明者：依田議長)
資料13-1から資料13-3に基づき、大学院医歯学総合研究科博士課程入学試験委員会内規の改正(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
14. 大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻入学試験委員会内規の改正について(案)
(説明者：依田議長)
資料14-1から資料14-3に基づき、大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻入学試験委員会内規の改正(案)について説明があり、委員の構成比率について議論があったが、原案どおり承認された。
- ＜大学院研究生に関する事項＞
15. 学生の異動について(案)(説明者：小野委員)
資料15に基づき、大学院研究生の退学58名、研究期間延長52名について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
16. 大学院研究生の終了証の発行について(案)(説明者：小野委員)
資料16に基づき、大学院研究生の終了証の発行(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
17. 2023年度前期大学院研究生の入学可否について(案)(説明者：小野委員)
資料17に基づき、2023年度前期大学院研究生の入学可否(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
18. 2023年度大学院特別研究生(ソニー)の入学可否について(案)(説明者：小野委員)
資料18に基づき、2023年度大学院特別研究生(ソニー)の入学可否(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
19. 2023年度大学院特別聴講生(ソニー)の入学可否について(案)(説明者：小野委員)
資料19に基づき、2023年度大学院特別聴講生(ソニー)の入学可否(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。
20. 2023年度大学院特別聴講生(あいおいニッセイ)の入学可否について(案)(説明者：小野委員)
資料20に基づき、2023年度大学院特別聴講生(あいおいニッセイ)の入学可否(案)について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。

[報告事項]

1. 2021年度東京医科歯科大学・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻に係る自己点検・評価及び外部評価の結果について(報告者：小野委員)
資料21-1及び資料21-2に基づき、2021年度東京医科歯科大学・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻に係る自己点検・評価及び外部評価の結果について報告があった。
2. 2023年度歯学系研究科運営委員会の日程について(報告者：依田議長)
資料22に基づき、2023年度歯学系研究科運営委員会の日程について報告があった。

3. その他

(1) 退職者からのご挨拶

森尾 郁子 教授から退職にあたり挨拶があった。

また、来年度から生命理工医療科学専攻に所属が変更になる構成員について、来年度以降はオブザーバーとなることが報告された。

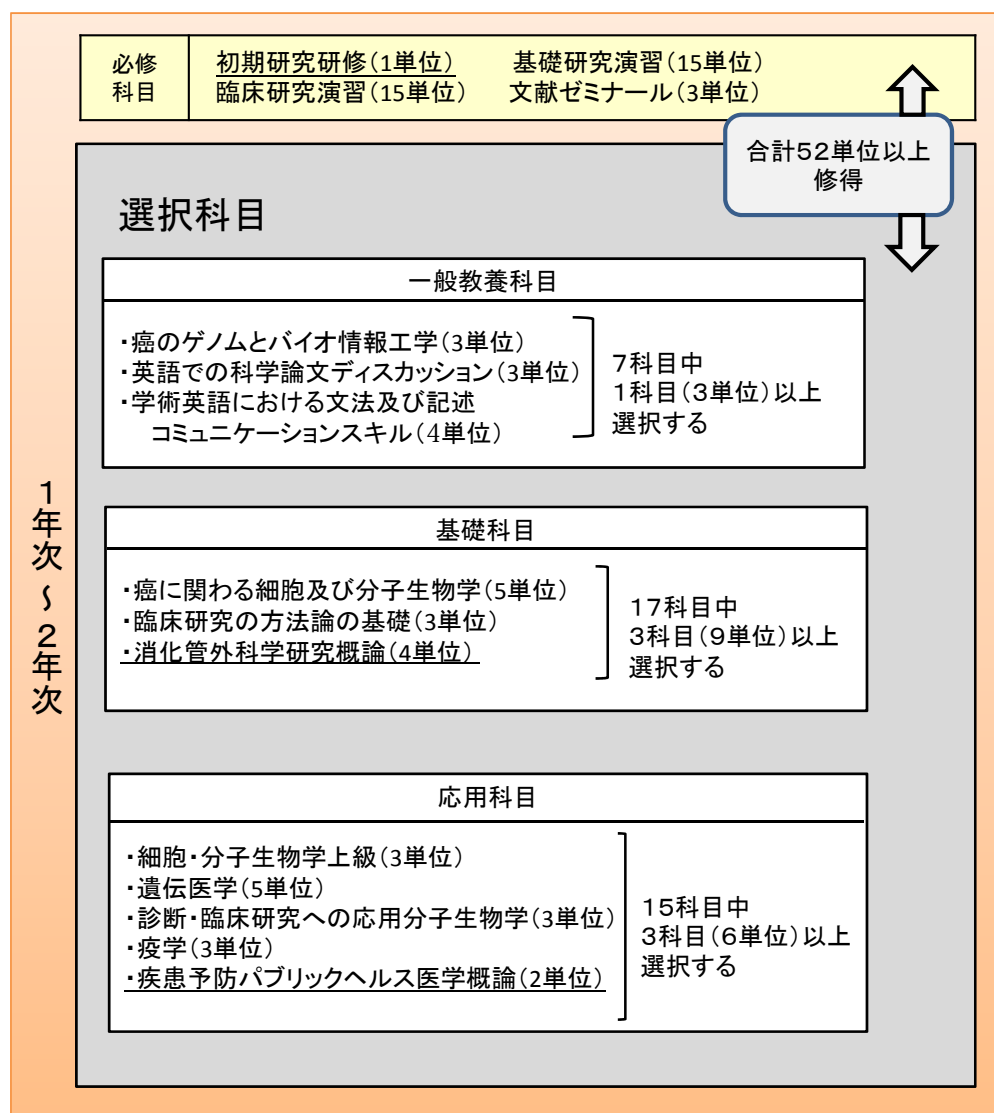
(2) 次回委員会の開催について

委員の選出について審議のため、2023年3月16日(木)以降にメールにて臨時の持ち廻りを開催予定。
(日程調整中)

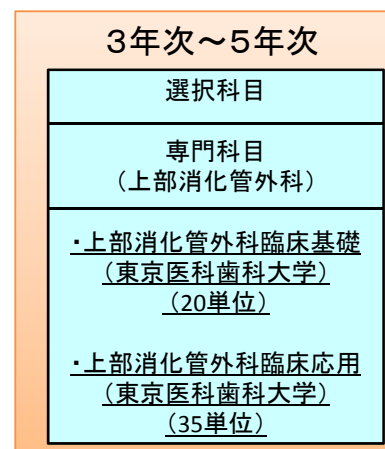
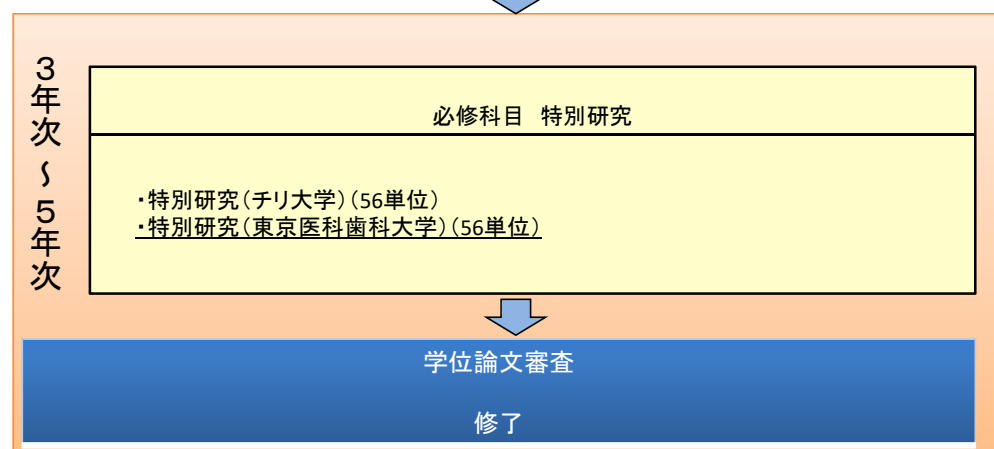
2023 年 4 月 19 日 (水) 14 時 00 分から Zoom またはメールにて開催する。

以上

履修モデル：上部消化管外科 (日本国医師資格を持つ学生)



進級試験



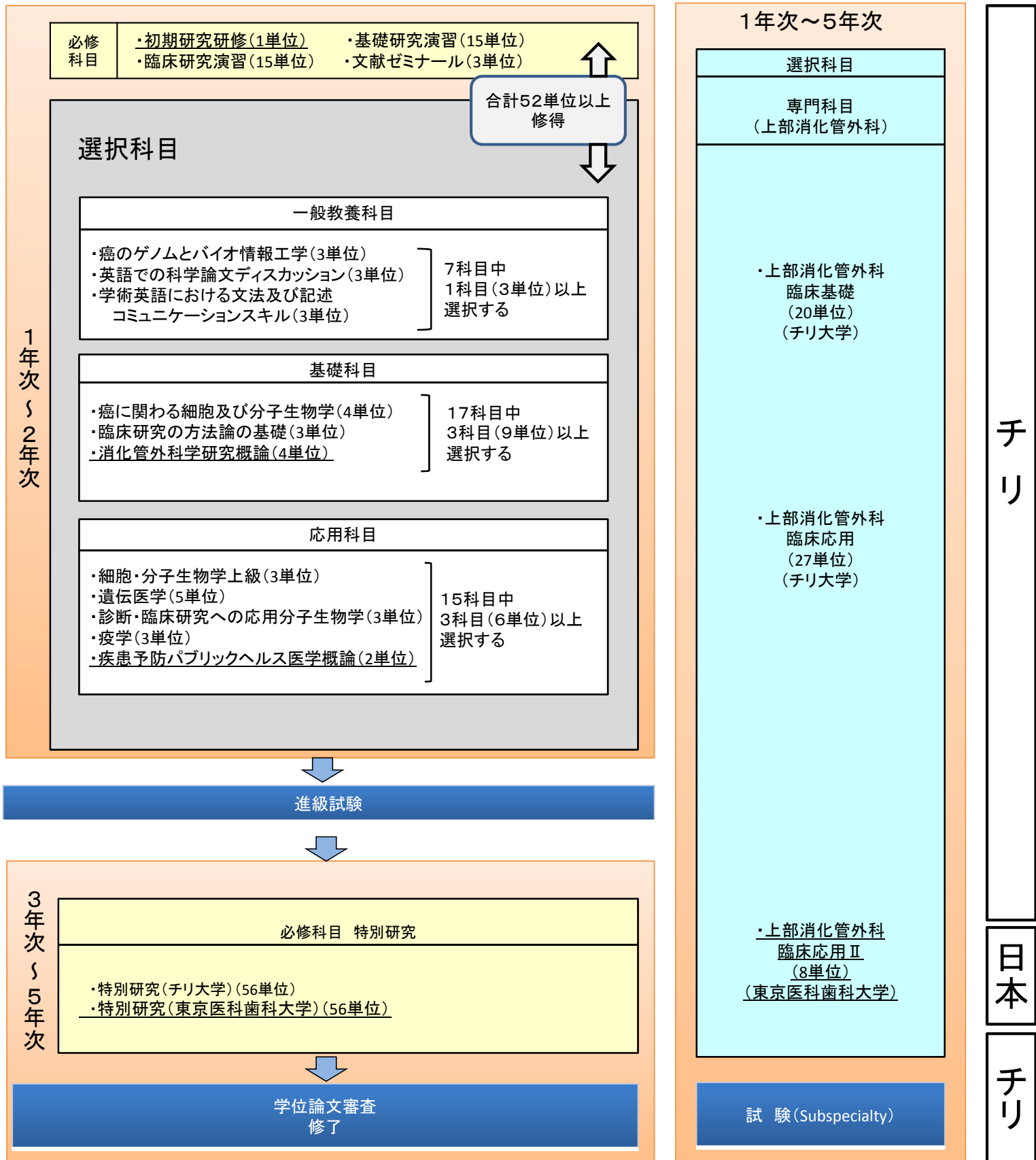
チリ

日本

修了要件: 所定の授業科目を191単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること
ただし、191単位以上のうち、東京医科歯科大学が開設する科目41単位以上、チリ大学が開設する科目10単位を修得すること

下線有り: 東京医科歯科大学が提供する科目 下線無し: チリ大学が提供する科目

履修モデル: 上部消化管外科 (チリ国医師資格を持つ学生)



修了要件: 所定の授業科目を191単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること
ただし、191単位以上のうち、東京医科歯科大学が開設する科目41単位以上、チリ大学が開設する科目10単位を修得すること

下線有り: 東京医科歯科大学が提供する科目 下線無し: チリ大学が提供する科目

履修モデル

資料4

入学者



1 年次	必修 科目	<第1セメスター:8月～12月> ・【基】歯科矯正学総論(1単位) ・【基】歯科矯正学基礎(2単位) ・【臨】歯科矯正学技法(3単位) ・【臨】包括的治療手順(2単位) ・【臨】矯正演習(1単位) ・【基】基礎歯科矯正学セミナー(1単位) ・【臨】上級歯科矯正学セミナー(1単位)	<第2セメスター:1月～5月> ・【専】論文・博士論文セミナー(5単位)
		黒字:CU授業 赤字:TMDU授業 【基】:基礎科目 【専】:専門科目 【臨】:臨床科目	

タイ



2 年 次	必修 科目	＜第3セメスター：8月～12月＞		＜第4セメスター：1月～5月＞	
		・【矯】特論（6単位）		・【矯】演習・研究実習（5単位）	
		・【矯】演習・研究実習（3単位）		・【矯】実験・論文作成（4単位）	
進級試験に合格（4セメスターまでに）					



3 年次	必修 科目	<第5セメスター:8月～12月> ・【専】論文・博士論文セミナー(5単位)	<第6セメスター:1月～5月> ・【臨】矯正臨床トレーニング1(2単位) ・【専】論文・博士論文セミナー(2単位) ・【矯】実験・論文作成(2単位)
		<サマーコース:6月～7月> ・【臨】矯正臨床トレーニング2(1単位)	
		論文企画試験に合格(6セメスターまでに)	

適宜、テレビ会議

タイ



4 年次	必修 科目	<第7セメスター:8月～12月> ・【臨】矯正臨床トレーニング3(3単位) ・【専】論文・博士論文セミナー(5単位)	<第8セメスター:1月～5月> ・【臨】上級矯正臨床トレーニング1(2単位) ・【専】論文・博士論文セミナー(2単位) ・【矯】実験・論文作成(2単位) <サマーコース:6月～7月> ・【臨】上級矯正臨床トレーニング2(1単位)	システム等を使用し	タイ

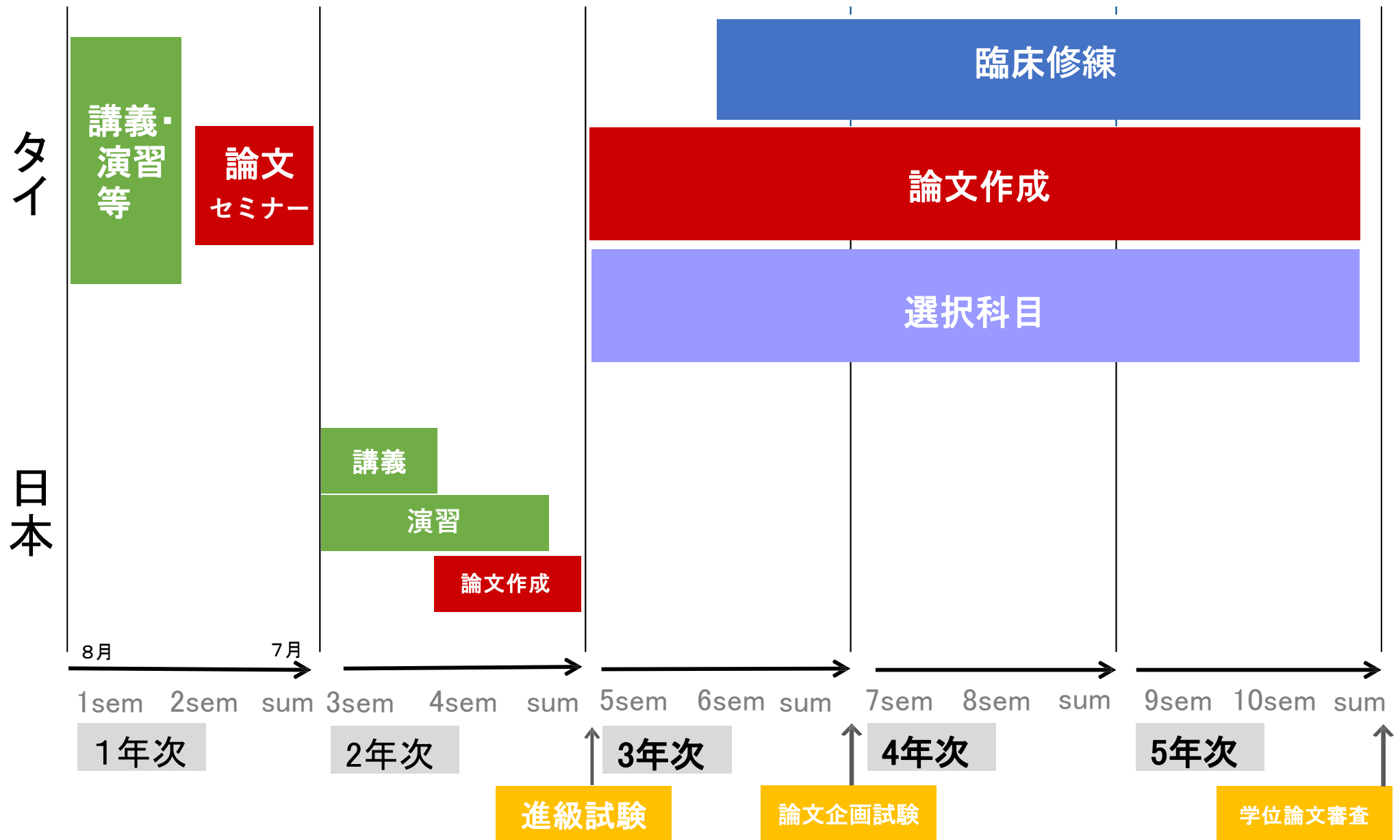


5 年次	必修 科目	＜第9セメスター:8月～12月＞ ・【臨】上級矯正臨床トレーニング2(1単位) ・【専】論文・博士論文セミナー(3単位)	＜第10セメスター:1月～5月＞ ・【臨】上級矯正臨床トレーニング2(1単位) ・【専】論文・博士論文セミナー(2単位) ・【矯】実験・論文作成(2単位) ＜サマーコース:6月～7月＞ ・【臨】上級矯正臨床トレーニング2(1単位)	生を指導する タイ
	選択 科目	＜第5～第9セメスター＞ ※下記の科目から1科目選択 ・【臨】歯科用写真(1単位)、・【臨】歯科矯正学におけるコンピューター(1単位)、・【臨】歯科矯正学教育実習(1単位)		
学位論文審査に合格(10セメスターまでに)				

適宜、テレビ会議システム等を使用して学生を指導する

東京医科歯科大学・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻
履修モデル

資料5



東京医科歯科大学・マヒドン大学国際連携医学系専攻
履修モデル

入学時期	セメスター	1セメスター							2セメスター							3セメスター							4セメスター							5セメスター							6セメスター							7セメスター							8セメスター						
MU を入学 手続き 大学と する者	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3								
	滞在国	タイ														日本														タイ																											
	履修例①	MU 臨床基幹科目Ⅰ (MU) (2)														TMDU 臨床基幹科目Ⅱ (5) *共同開設科目														学位論文審査・最終試験	学位授与の最終審議	学位授与																									
		MU 生物医学研究法(2) 生物医学統計概論(2)							MU がんの生物学とがんの免疫学概論(1) 標準検査学概論(1)							MU 周術期患者管理学概論(1)							TMDU がん生物学・解剖学・病理特論(1) 臓器別がん(1)																																		
		MU 上部消化管外科学特論							MU システム薬理学特論(4)							TMDU 研究実践と論文作成(TMDU) (24)																																									
																MU 研究実践と論文作成(MU) (24)																																									
TMDU を入学 手続き 大学と する者	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3								
	滞在国	日本														タイ							日本																																		
	履修例②	TMDU 臨床基幹科目Ⅰ (TMDU) (2)														TMDU 臨床基幹科目Ⅱ (5) *共同開設科目														学位論文審査・最終試験	学位授与の最終審議	学位授与																									
		TMDU 臨床・遺伝統計学(2) 疾患予防パブリックヘルス医学概論(2)							TMDU がん生物学・解剖学・病理(1)							TMDU 臓器別がん(1) がんゲノム(1)							MU 標準検査学議論(1) 基礎鏡視下手術概論(1)																																		
		TMDU 総合外科学特論(4)							TMDU 臨床解剖学特論(4)							TMDU 研究実践と論文作成(TMDU) (24)																																									
																MU 研究実践と論文作成(MU) (24)																																									

*凡例

- (I) 臨床基幹科目
(II) 臨床統計・情報医学関連専門科目
(III) がん医療専門科目

- (IV) 研究基幹科目 外科系専門分野
(IV) 研究基幹科目 外科系関連医学分野
(V) 研究実践と論文作成

TMDU: 東京医科歯科大学
MU: マヒドン大学

Agreement on Establishment of a Joint Degree Program (MD/PhD Program)
Between
Tokyo Medical and Dental University (TMDU), Japan,
and
Universidad de Chile (UCh), Chile; in academic collaboration with Clinica Las Condes
(CLC), Chile

In accordance with the Memorandum of Understanding Regarding the Establishment of a Joint Degree Program (MD/PhD Program) concluded on March 10th, 2014, and the meeting held on June 2014, August 2014, and January 2015 between Tokyo Medical and Dental University, Japan, Universidad de Chile, Chile, and Clinica Las Condes, Chile, the three parties are in agreement on the details of the Joint Degree Program (JD program) as follows:

1. Name of the Program

Name of the course is “University of Chile and TMDU Joint Degree Doctoral Program in Medical Sciences with mention of a medical specialty”.

2. Awarded Degree

The degree awarded is “Ph.D. in Medical sciences”.

3. Awarded Title by UCh

The title awarded is medical specialty.

4. Academic Term

The academic term is as follows:

(1) Academic year starts in April 1st and ends in March 31st of the next year.

(2) Academic year is divided into 2 semesters:

A) 1st Semester: From April 1st through September 30th.

B) 2nd Semester: From October 1st through March 31st.

5. Date of Establishment

Establishment of the program is April, 2016.

6. Diploma

(1) Diploma is jointly awarded by both universities with the signature of the president of both universities on a single diploma.

(2) The diploma is presented by the university where a student has matriculated.

- (3) The language on the diploma is Spanish, Japanese and English.
7. Certificate of Completion
Specialty in a medical field is awarded by UCh.
8. Number of Students
The maximum number of students admitted annually is 3, and the total program capacity is 15.
9. Record of Enrollment
Record of enrollment for student is dual enrollment, which means that students are simultaneously enrolled at both universities, TMDU and UCh.
10. Insurance to Students
All visiting students must be informed that they have the responsibility to obtain valid health insurance themselves.
11. Requirements for Admission
Students should meet the requirements provided by Japanese law, such as the School Education Law, and by TMDU, and those provided by Chilean law and UCh.
12. Student Recruitment
Information about the program—such as awarded degree, completion requirements, content and method of education, time schedule, fees, educational workload and student support, including scholarship and student welfare—should be universally known prior to recruitment.
13. Selection of Students
- (1) Examination of enrollment is conducted jointly by TMDU and UCh.
 - (2) Selection of students is based on a written examination (English / short essay), an oral examination, and submitted application documents.
 - (3) The date and place for the examination should be determined by consultation between both universities.
14. Affiliation and Deployment of Teaching Staff
- (1) In regards to consultation between both universities, each university shall deploy an appropriate number of research supervisors and assistant research supervisors as required by law in each country.

15. Curriculum Constitution

Curriculum consists of research education and clinical instruction.

Research Education

- (1) 1st ~ 2nd year: lecture and practice in Chile
- (2) During 2nd year: Those who pass an examination for promotion will proceed to preparation of thesis.
- (3) 3rd ~ 5th year: Prepare thesis.
- (4) During 5th year: Conduct thesis review at the university where students have matriculated.

For this purpose and to assure the adequate development of this Joint Degree Program, UCh will adjust its current regulations for the Doctoral in Medical Sciences Program

Clinical Instruction

- (1) 1st through 5th year: Conduct subjects in Chile and Japan.
- (2) 5th year: Conduct final exam at UCh for the Chilean students.

16. School land / School Building and Facility / Equipment

- (1) Both universities shall provide all necessary facilities and equipment, as required by law in each country, and shall do so with full cooperation in such a way that does not hinder the process of educational research.
- (2) Students in the JD program shall have equal access to the facilities and equipment of TMDU and UCh.
- (3) In addition, students will have access to facilities and equipment of CLC during the clinical and research training.

17. Responsibility of the Program

Responsibility for the JD program lies with TMDU and UCh. CLC will collaborate by providing significant laboratory space as well as areas for clinical instruction, equipment and supplies required for Thesis development. CLC will support student salary.

18. Welfare

- (1) With respect to enrollment tuition, both universities shall ensure that such tuition shall not excessively burden students i.e. avoid tuition duplication.
- (2) Both universities shall strive to ensure equality between students from both universities.
- (3) Both universities shall take measures to ensure that students are not economically overburdened by the cost of study abroad.

- (4) Due consideration shall be given by both universities to other necessary aspects of student welfare.

19. Contents and Objective of Educational Research

- (1) To help improve advanced human resources for optimum clinical research and to provide the best health care at a sub-specialty level.
- (2) To produce clinical researchers with advances capabilities in translational research (from bench to bed).
- (3) To produce clinical specialists in Gastroenterology, or Upper Digestive Tract Surgery or Colorectal Surgery with an advanced understanding of basic science and advanced skills in health care standards at the sub-specialty level.

20. Management of Operations

Management of operations should be jointly conducted by TMDU and UCh with collaboration from CLC.

TMDU and UCh will jointly operate the curriculum for research education and for research necessary for preparing a thesis.

TMDU and UCh will jointly operate the clinical instruction and the development of the Investigation Units and Thesis, in collaboration with CLC; TMDU will be in charge of education in Japan; UCh will be in charge of education in Chile, in collaboration with CLC.

21. Distribution of Expense

Regarding the expense necessary to operate JD program, there shall be no distribution of expense; rather, as a rule the expense shall be borne by each institution i.e. TMDU and UCh with significant collaboration from CLC.

22. Tuition and other

Both universities will waive all charges for tuition and for other procedures involved in processing a student's application to study at the both university under the terms of this agreement.

23. Intellectual Property Rights

In case any invention is made in connection with or through the JD Program, each party shall promptly report the invention and inventors(s) thereof to the other parties. All issues regarding publication and/or patent of the invention shall be determined through trilateral consultation. No party shall disclose the invention to a third party without the prior written consent of the other parties.

24. Procedures for Termination of the Program

- (1) When either university decides to terminate the JD program, said university shall provide notice of intent to terminate in writing to the other university at least one year in advance.
- (2) As long as students are enrolled in the JD program, both universities are obligated to continue joint operation of the program. Not until all students have completed the program shall the program be considered for termination.
- (3) In cases when continuance of the JD program is in jeopardy i.e. due to an act of God, both universities shall prescribe in advance, and in accordance with university bylaws, the necessary means and procedures for handling such a situation in order to be able to transfer students to a different track, transfer earned credit, or offer supplementary lectures or classes. All such measures shall be the responsibility of each university and shall be undertaken from perspective of providing the utmost protection to the students in such circumstances.
- (4) A student enrollment record shall be kept on a permanent basis.

25. Ideal Graduates

- (1) Graduates shall obtain the skills required to be recognized as medical specialists in Upper Digestive Tract Surgery, Colorectal Surgery or Gastroenterology including advanced training in gastrointestinal surgery, endoscopy and other advanced diagnostic tools in gastrointestinal diseases.
- (2) Graduates shall obtain knowledge in areas such as pathology, molecular biology, genetics, epidemiology and public health, clinical research and biostatistics.
- (3) Graduates shall have expertise in basic and clinical research that can be applied to the esophago-gastric-colorectal cancer area (Digestive Oncology), allowing him/her to become a leader of national and international clinical-research projects in this area.

26. Language

The language used in this program is English and/or Spanish. Spanish is a requirement to obtain the clinical specialty in Chile and Japanese to obtain the clinical subspecialty in Japan.

27. Form of Education

- (1) Students shall take courses offered by both universities.
- (2) Students shall enroll in lectures and practicums conducted in Chile.
- (3) Research guidance shall be provided to students in both Chile and Japan, one

research supervisor from each institution per student.

- (4) Student shall be provided with clinical education which will be conducted in Chile and Japan by the teaching staff of both universities.

28. Terms of Study

Required number of years for course completion is 5 years.

29. Requirements of Completion

- (1) In addition to completing the number of credits required by Japanese law and TMDU, students are required to complete the number of credits mandated by Chilean law and UCh. The required credits are specified separately by Memorandum of Agreement (hereinafter referred to as "MOA").
- (2) To complete the JD program, students should attend 5 or more years; complete the required number of credits listed in MOA; receive necessary research guidance; submit a thesis; and pass a thesis defense and final examination.

30. Acquisition of Credits

- (1) Credit from TMDU shall be based, in principle, on a course requiring 45 hours of study per credit. However, credit can be obtained for 15 hours of lecture, 30 hours of practice, and 45 hours of laboratory activities and practical training.
- (2) 1 Credit from UCh is based in principle on a course requiring 30 hours of study per semester.
- (3) Credit earned at one university shall be accredited by applying the average study term per credit at said university to the average study term per credit at the other university.

31. Assessment of Performance

- (1) Grading of each course shall be conducted by the university where said course is implemented. Jointly operated courses shall be conducted by both universities jointly.
- (2) The teaching staff in charge of each course shall grade the course based on exam, report of research, etc. at the end of semester or academic year.
- (3) At TMDU, the performance of students shall be graded on a 5-point scale, namely 4, 3, 2, 1 and 0. Only students achieving one of the first four grades will be deemed to have passed the course.
- (4) At UCh, the performance of students shall be graded on a scale of 1.0~7.0, with students earning a score of 4.0 or higher passing the course.
- (5) The conversion of grading metrics between both universities is specified

separately by MOA.

32. Thesis Guidance

The guidance of a student's thesis shall be conducted by TMDU and UCh jointly.

33. Thesis Defense

- (1) The thesis defense shall be conducted by TMDU and UCh jointly.
- (2) In both universities, teachers who are professors or associate professors examine the thesis defense so as to secure the level of equivalence in evaluators.

34. Guidance Structure

- (1) Both universities shall appoint a member of its own teaching staff to each student so that the student can receive instruction from the teaching staff of both universities. The decision regarding which teach staff member is to be in charge shall be determined by consultation.
- (2) Both universities shall secure an arrangement which will ensure that a teaching staff member located at one universities being able to instruct students in residence at the other university via internet.

35. Transfer of Students (Study Aboard / Period of Stay)

- (1) Both universities shall create a curriculum that allows students to reside and study at both universities.
- (2) Both universities shall set up the curriculum in a way that students may take classes in clusters at each university.
- (3) The expense borne by students traveling to the other country should be reduced.
- (4) Students shall not be excessively burdened by the combination of academic classes and extracurricular activities.

36. Council Meeting

(1) Dean Council

To discuss important affairs such as implementation of JD program and amendment of the program contents, TMDU and UCh shall establish a Dean Council comprised of the university Dean (or Academic director) and it is held at least once a year.

(2) Academic Committee

Academic Committee is organized to discuss the regular matters in program management (e.g.: selection for entry, selection of the subjects to study), and it is held once or more in a month. This Committee is consisted of five or more members and

must have one or more teachers from each respective institution.

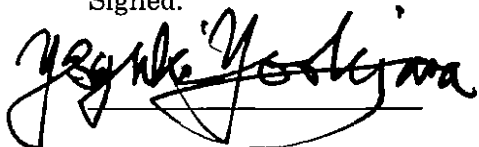
37. Evaluation and Quality Management

- (1) Both universities shall inform the students and the public in English, Spanish and Japanese of the JD program's official inauguration.
- (2) Both universities shall establish standing committees to conduct quality management of the program.

38. Others

Matters not explicitly mentioned in this agreement shall be discussed in consultation by the three parties. TMDU and UCh undertake to comply with the rules applicable to them and have the approval of the competent authorities, if any, that this agreement is fully valid.

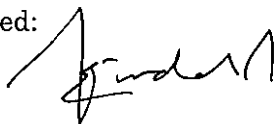
Signed:



Dr. Yasuyuki Yoshizawa
President
Tokyo Medical and Dental
University (TMDU)

Date: 11/26/15

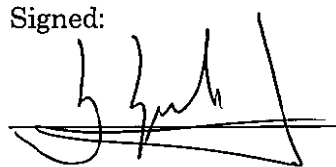
Signed:



Dr. Ennio Vivaldi
Rector
University of Chile(UCh)

Date: 26 NOV. 15

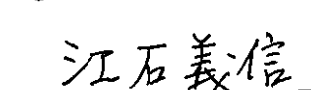
Signed:



Mr. Gonzalo Grebe
CEO
Clinica Las Condes(CLC)

Date: 26 - 11 - 2015

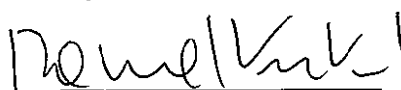
Signed:



Dr. Yoshinobu Eishi
Dean, Faculty of Medicine
Tokyo Medical and Dental
University (TMDU)

Date: 2015/11/26

Signed:



Dr. Manuel Kukuljan
Dean, Faculty of Medicine
University of Chile(UCh)

Date: NOV 27, 2015

Signed:



Dr. Juan Pablo Torres
Research Director
Clinica Las Condes(CLC)

Date: 2015/11/26

This agreement is signed in three copies.

Academic Cooperation Agreement on Establishment of a Joint Degree Program
Between
Tokyo Medical and Dental University (TMDU), Japan
and
Chulalongkorn University (CU), Thailand

In accordance with the Memorandum of Understanding Regarding the Establishment of a Joint Degree Program concluded on February 28th, 2014, between Tokyo Medical and Dental University, Japan; and Chulalongkorn University, Thailand. The two parties are in agreement on the details of the Joint Degree Program (JD program) as follows:

1. Name of the Course

Name of the course is “Tokyo Medical and Dental University and Chulalongkorn University International Joint Degree Doctoral Program in Dental Sciences”.

2. Awarded Degree

The degree awarded is “Doctor of Philosophy in Dental Sciences”.

3. Academic Term

(1) Academic year starts on August 1st and ends on July 31st of the next year.

(2) Academic year is divided as follows:

A) 1st Semester: From August 1st through December 31st.

B) 2nd Semester: From January 1st through May 31st.

C) Summer course: From June 1st through July 31st.

4. Date of Establishment

Establishment of the program is August, 2016.

5. Diploma

(1) Diploma is jointly awarded by both universities with the signature of the president of both universities on a single diploma.

(2) The diploma is presented by the university where the student has matriculated.

(3) The languages on the diploma are Thai, Japanese and English.

6. Number of Students

The maximum number of students admitted annually is 3, and the total program capacity is 15. Number of students in each year is determined by consultation between both universities.

7. Record of Enrollment

Record of enrollment for student is dual enrollment, which means that students are simultaneously enrolled at both universities, CU and TMDU.

8. Responsibility to Students

When students are involved in an accident that occurs during a lecture at or under the research guidance of either university, that university will take necessary measures, such as compensation for damages.

9. Requirements for Admission

Students should meet the requirements provided by Japanese law, such as the School Education Law, and by TMDU, and those provided by Thai law and CU. The applicant requirements are determined by consultation between both universities.

10. Student Recruitment

Information about the program—such as awarded degree, completion requirements, content and method of education, time schedule, fees, educational workload and student support, including scholarship and student welfare—should be universally known prior to recruitment.

11. Selection of Students

- (1) Examination of enrollment is conducted jointly by TMDU and CU.
- (2) Selection of students is based on a written examination (English / short essay), wire-bending examination, an oral examination, and submitted application documents.
- (3) The date and place for the examination should be determined by consultation between both universities.

12. Affiliation and Deployment of Teaching Staff

In regards to consultation between both universities, each university shall deploy an appropriate number of research supervisors and assistant research supervisors as required by law in each country.

13. Curriculum Constitution

Curriculum consists of research education and clinical instruction.

Research Education

- (1) 1st year (1st semester of the program): lecture and practice in Thailand
- (2) 1st~5th year (2nd through 10th semesters of the program): conduct research training in Thailand and Japan. During the 2nd year: (3rd and 4th semesters of the program) conduct research training in Japan for 6~12 months.
- (3) 2nd year: Student must pass a qualifying examination by the end of the 4th semester of program (2nd year). The examination consists of writing and oral sections.
- (4) 3rd year: Student must pass a proposal defense by the end of the 6th semester of the program (3rd year). The examination consists of proposal and oral sections.
- (5) 5th year: Student must pass a dissertation examination by the 10th semester of the program.

Clinical Instruction

- (1) 3rd~5th year (6th~10th semesters of the program): conduct clinical training in Thailand.

14. School land / School Building and Facility / Equipment

- (1) Both universities shall provide all necessary facilities and equipment, as required by law in each country, and shall do so with full cooperation in such a way that does not hinder the process of educational research.
- (2) Students in the JD program shall have equal access to the facilities and equipment of TMDU and CU.

15. Responsibility of the Program

Responsibility for the JD program lies with both TMDU and CU.

16. Welfare

- (1) With respect to enrollment tuition, both universities shall ensure that such tuition shall not excessively burden students i.e. avoid tuition duplication.
- (2) Both universities shall strive to ensure equality between students from both universities.
- (3) Both universities shall take measures to ensure that students are not economically overburdened by the cost of study abroad.

- (4) Due consideration shall be given by both universities to other necessary aspects of student welfare.

17. Contents and Objective of Educational Research

This course is meant to develop individuals who are thoroughly versed in specialized expertise in the field of biomedical science and whose close ties with other fields make them leading researchers in a global arena, compassionate educators who can formulate and implement educational strategies, sophisticated dental care personnel with eagerly inquiring minds who possess a robust sense of ethics, and, finally, opinion leaders who will lead the way into the future.

18. Management of Operations

Management of operations shall be jointly conducted by TMDU and CU.

TMDU and CU will jointly operate the curriculum for research education and for research necessary for preparing a dissertation.

TMDU will be in charge of education in Japan and CU will be in charge of education in Thailand.

19. Distribution of Expense

Regarding the expense necessary to operate the JD program, there shall be no distribution of expense; rather, as a rule, the expense shall be borne by each institution, TMDU and CU.

20. Tuition and other fees

- (1) Tuition and other fees are determined by consultation between both universities.

Students will pay such fees to the university which he / she matriculates.

- (2) Tuition and other fees should be distributed by consultation between both universities.

21. Intellectual Property Rights

In case any invention is made in connection with or through the JD Program, each party shall promptly report the invention and inventors(s) thereof to the other party. All issues regarding publication and/or patent of the invention shall be determined through bilateral consultation. No party shall disclose the invention to a third party without the prior written consent of the other party.

22. Procedures for Termination of the Program

- (1) When either university decides to terminate the JD program, said university shall provide notice of intent to terminate in writing to the other university at least one year in advance.
- (2) As long as students are enrolled in the JD program, both universities are obligated to continue joint operation of the program. Not until all students have completed the program shall the program be considered for termination.
- (3) In cases when continuance of the JD program is in jeopardy i.e. due to an act of God, both universities shall prescribe in advance, and in accordance with university bylaws, the necessary means and procedures for handling such a situation in order to be able to transfer students to a different track, transfer earned credit, or offer supplementary lectures or classes. All such measures shall be the responsibility of each university and shall be undertaken from the perspective of providing the utmost protection to the students in such circumstances.
- (4) A student enrollment record shall be kept on a permanent basis.

23. Competencies of Graduates

Graduates shall obtain knowledge and techniques in dentistry field, especially in the field of orthodontics, not limited to Japan and Thailand but also in Southeast Asia and capability of becoming a global leader with highly studious mind.

24. Language

The language used in this program is English.

25. Form of Education

- (1) Students shall take courses offered by both universities.
- (2) Students shall enroll in lectures, seminars and clinical trainings conducted in Thailand.
- (3) Students shall enroll in research training in both Japan and Thailand.
- (4) Research guidance shall be implemented in both Thailand and Japan. Each student shall be appointed 2 research supervisors, 1 each from CU and TMDU.

26. Terms of Study

Required number of years for course completion is 5 years.

27. Requirements of Completion

- (1) In addition to completing the number of credits required by Japanese law and TMDU, students are required to complete the number of credits mandated by Thai law and CU. The required credits are listed in the attached document annex 1.
- (2) To complete the JD program, students should attend 5 or more years (a maximum of 8 years); complete the required number of credits listed in annex 1; receive necessary research guidance; submit a dissertation; and pass a dissertation defense.
- (3) As a general rule, the dissertation should be published through submission to an international academic journal with a referee system prior to dissertation defense.
- (4) Success of clinical practice is considered from oral examination and completed documentation of 8 cases with different malocclusions.

28. Acquisition of Credits

- (1) Credit from TMDU shall be based, in principle, on a course requiring 45 hours of study per credit. However, credit can be obtained for 15 hours of lecture, 30 hours of practice, and 45 hours of laboratory activities and practical training.
- (2) Credit from CU shall be based, in principle, on a course requiring 45 hours of study per credit. However, credit can be obtained for 15 hours of lecture, 45 hours of practice, and 45 hours of laboratory activities and practical training.

29. Assessment of Performance

- (1) Accreditation of each course shall be conducted by the university where said course is implemented. Jointly operated courses shall be conducted by both universities jointly.
- (2) The teaching staff in charge of each course shall accredit the course based on exam, report of research, etc., at the end of the semester or academic year.
- (3) Both universities clarify performance standards by adoption of GPA and other appraisal standards. The other appraisal standards are specified separately.
- (4) Academic staffs of both universities confirm students' academic score mutually and make rigorous academic assessment by ensuring transparency and objectivity.

30. Dissertation Guidance

The guidance of a student's dissertation shall be conducted by TMDU and CU jointly.

31. Dissertation Defense

- (1) The dissertation defense shall be conducted by TMDU and CU jointly.
- (2) Measures shall be taken to ensure that the status of faculty members appointed to be examiners at both universities is equivalent.

32. Guidance Structure

- (1) Both universities shall appoint a member of its own teaching staff to each student so that the student can receive instruction from the teaching staff of both universities. The decision regarding which teach staff member is to be in charge shall be determined by consultation.
- (2) Both universities shall secure an arrangement which will ensure that a teaching staff member located at one university is able to instruct students in residence at the other university via internet.

33. Transfer of Students (Study Aboard / Period of Stay)

- (1) Both universities shall create a curriculum that allows students to reside and study at both universities.
- (2) Both universities shall set up the curriculum in such a way that students may take classes in clusters at each university.
- (3) Students shall not be excessively burdened by the combination of academic classes and extracurricular activities.

34. Council Meeting

In order to consult together on important matters, such as the implementation of the JD program, TMDU and CU shall establish a council meeting comprised of the university president (or chairperson of a board of directors), or a person entrusted with power of attorney to hold a meeting periodically, at least once a year (can be done by video conference).

35. Evaluation and Quality Management

Both Universities shall recognize the importance of maintaining the high quality of this program and agree to implement quality assurance for the program as follows:

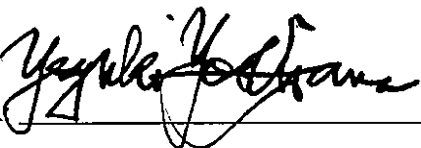
- (1) Both universities shall inform the students and the public in English of the JD

program's official inauguration.

- (2) Both universities shall establish standing committees to conduct quality management of the program.

36. Others

Matters not explicitly mentioned in this agreement shall be discussed in consultation by the two parties.

Signed: 

Dr. Yasuyuki Yoshizawa
President
Tokyo Medical and Dental University
(TMDU)

Date: 11/26/15

Signed: 

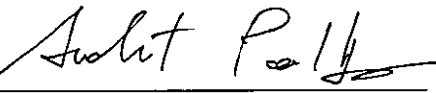
Dr. Pirom Kamolratanakul
President
Chulalongkorn University (CU)

Date: 26/11/2015

Signed: 

Dr. Keiji Moriyama
Dean, Faculty of Dentistry,
Tokyo Medical and Dental University
(TMDU)

Date: 26/11/2015

Signed: 

Dr. Suchit Poolthong
Dean, Faculty of Dentistry,
Chulalongkorn University (CU)

Date: 26/11/15

This agreement is signed in two copies.

(annex 1)

Required Credits in Japanese and Thai Credit System

	Required Credits	Minimum required credits in each university	
		TMDU	CU
Required credits to complete the Course	72 credits	24 or more	48 or more

Academic Cooperation Agreement on Joint Degree Doctoral Program in Medical Sciences between Tokyo Medical and Dental University and Mahidol University

The following is the agreement between Tokyo Medical and Dental University (TMDU) and Mahidol University (MU) on the establishment of the Joint Degree Doctoral Program in Medical Sciences:

1. Official Name of Degree Program
Joint Degree Doctoral Program in Medical Sciences between Tokyo Medical and Dental University and Mahidol University
2. Period of Establishment
April 2020
3. Degree Granted
Doctor of Philosophy in Medical Sciences
4. Duration of Program
4 years (maximum of 8 years)
5. Language of Instruction
English
6. Academic Calendar and Terms
 - (1) Enrollment shall start in April.
 - (2) The academic year shall be from April 1 to March 31 of the following year.
 - (3) The Program shall consist of two semesters, which shall be as follows:

Spring Semester	April 1 to September 30
Fall Semester	October 1 to March 31 of the following year
7. Human Resource Development Goals
The Program shall foster the following advanced medical professionals:
 - (1) Surgeons who can advance the field of cancer treatments;

- (2) Skilled medical research scientists who can promptly respond to the needs of society; and
- (3) Leaders who can advance the medical sciences and healthcare fields in Japan, Thailand and throughout the ASEAN region.

8. Curriculum Structure

- (1) The curriculum shall allow students to reside at both universities for a designated period.
- (2) The curriculum of the degree program shall consist of five core components: (1) Clinical Core Courses, (2) Clinical Statistics and Biomedical Informatics, (3) Cancer Professional Training, (4) Research Core Courses, and (5) Directed Research and Thesis Writing.
- (3) For the Clinical Core Component, Clinical Core Course I shall be offered during the first year, and Clinical Core Course II shall be offered between Spring semester of second year to Fall semester of fourth year.
- (4) The “Clinical Statistics and Biomedical Informatics” and “Cancer Professional Training Components” shall be offered during the first and second years.
- (5) The Research Core Courses Component shall be offered in the first year.
- (6) The Directed Research and Thesis Writing Component shall be offered between Spring semester of second year to Fall semester of fourth year.

9. Degree Program Research Focus and Objectives

The Program aims to develop highly qualified medical professionals who can utilize a multidisciplinary approach to treatment of diseases in this super-aging society, especially with regards to the treatment of cancer, and to advance the knowledge and skills of medical researchers in the specialized field of surgery and the field of biomedical sciences related to surgery.

10. Research and Clinical Supervising

- (1) Both universities shall consult and appropriately appoint for each student a principal supervisor, a co-supervisor and research supervisors for clinical practice and research based on the student’s research theme.
- (2) The main supervisor shall be a supervisor in the student’s surgical specialty appointed from the university for which the student has completed his/her enrollment procedures (hereinafter referred to as the “Home University”) and should take responsibility for providing clinical guidance by expanding the

student's knowledge and expertise and basic/applied techniques in his/her specialized field of surgery.

- (3) The co-supervisor shall be appointed from among the faculty members of the other university (hereinafter referred to as the "Partner University") and provide clinical guidance to the student in collaboration with the main supervisor.
- (4) For research supervising, one main research supervisor and one co-research supervisor shall be appointed from both universities. The main research supervisor shall be appointed from among the faculty members of either the Home or Partner university and take responsibility for providing various forms of research guidance from research theme setting to dissertation support for the student. The co-research supervisor shall be appointed from among the faculty members of the other university and provide guidance in cooperation with the main research supervisor.
- (5) Research guidance shall be provided through various modes including face-to-face, and the supervisors of both universities shall periodically confirm the status of the student's research progress.

11. Jointly Designed Courses

- (1) Clinical Core Course II shall be established as a jointly designed course by both universities, and provide education in a surgical field that is not provided at the Home university, basic knowledge and surgical techniques in a field other than the student's specialized field of surgery, and an international perspective.
- (2) The educational resources such as case reports, specimens and experience in education and research offered by both universities shall be fully utilized to implement this course.

12. Assignment of Faculty Members

Academic faculty with ample educational experience in a specialized field of surgery or a field of biomedical sciences related to surgery, especially those faculty members with international experience, from both universities shall be appointed to this Program. The appropriate number of appointments to main research supervisor and co-research supervisor shall be determined based on the laws of each country and on the course capacity and number of established courses.

As the students enrolled in this Program will be registered in both the Home and Partner universities, an organization in charge of administrative processes for the Program shall be established in both universities, and administrative staff at both

universities shall coordinate and operate the Program smoothly in close collaboration with each other.

13. Number of Target Students for the Program

Enrollment capacity shall be 3, and course capacity shall be 12.

14. Recruitment of Students

During the recruitment of students, sufficient information shall be communicated in advance regarding the type of degree to be earned, completion requirements, curriculum details, educational methods, time schedule, costs, study workload, student support such as scholarship and welfare and the like.

15. Qualifications for Enrollment

All students enrolled in this Program shall satisfy all of the following prerequisites:

- (1) A medical doctor specializing in a surgical field;
- (2) An applicant who has earned a GPA 3.0 or above, or for whom both universities have examined his/her application to be qualified; and
- (3) An applicant who has earned either TOEFL iBT score 32 or above, PBT score 400 or above, or IELTS 3.0 or above within two years of the application date.

16. Student Selection Process

- (1) Entrance examination shall be jointly conducted by both universities.
- (2) Entrance examination shall be conducted by document screening and interviews.
- (3) Schedule and venue for entrance examination shall be determined collaboratively by both universities.

17. School Register

- (1) All enrolled students shall be registered at both universities.
- (2) Both universities shall permanently retain the school register.

18. Acquisition of Credits

A total of 72 credits shall be required for completion of the Program.

- (1) Lecture courses; “Clinical Statistics and Biomedical Informatics”, “Cancer Professional Training” normally requires 15 teaching hours are equal to 1 credit.
- (2) Practicum courses; “Clinical Core Courses”, “Research Core Courses” that

provides at least 30 hours of clinical practice or experimentation per semester are equal to 1 credit.

- (3) Internships or practical experiment; “Directed Research and Thesis Writing” that provides no less than 45 hours of training in a regular semester are equal to 1 credit.

19. Assessment of Academic Achievement

- (1) The university that establishes the course shall approve the accreditation, and both universities shall jointly approve the accreditation of jointly designed courses.
- (2) The chief instructor in charge of the course shall approve completion (credit) of each course at the end of the term or academic year in accordance with the assessment methods such as examinations or research reports as designated by the university.
- (3) Both universities shall clarify the standards to be achieved by GPA or the introduction of other assessment standards. The assessment standards in the Program shall be as described in Supplemental Table 1.
- (4) The instructors at both universities shall conduct a rigorous assessment of academic achievement by ensuring transparency and objectivity in such a way as to mutually confirm the academic achievement of the students.

20. Completion Requirements

- (1) The required number of credits prescribed by both Japanese law and by TMDU and by Thai law and by MU must be satisfied to complete this Program.
- (2) The student shall be enrolled for 4 or more years, during which time he/she shall acquire 72 or more credits for the course, receive necessary research guidance, submit a dissertation and pass the dissertation defense and final examination.
- (3) Dissertation articles or a part thereof shall already have been published in, or have been accepted for application by, a peer-reviewed international academic journal by January of the final year.
- (4) Retroactive degree applications are not acceptable.

21. Dissertation Defense

- (1) Both universities shall jointly conduct the dissertation defense.
- (2) Both universities shall secure examiners at equivalent levels.

22. Diploma

- (1) Both universities shall jointly grant one original copy of the diploma in their joint names.
- (2) The languages to be used on the diploma shall be Japanese and English.
- (3) The Home University shall issue the diploma and personally deliver it to the student.

23. Operation of this Program, and Responsibility for Execution

- (1) Both universities shall jointly operate this Program, cooperate with each other and provide guidance of clinical practice and research necessary to implement the curriculum for education and research and thesis writing. TMDU shall be in charge of education in Japan, and MU shall be in charge of education in Thailand.
- (2) Both universities shall be jointly responsible for this Program.
- (3) The main supervisor shall be responsible for student guidance.
- (4) If any accident occurs to the student in the course of a particular course, or clinical practice and research guidance at either university, the Home University shall take necessary actions such as damages therefor under cooperation of both universities.

24. Assessment of Education and Research Activities and Preparation/

Releasing of Annual Reports

- (1) Both universities shall establish a standing committee and the like to assure the quality of this Program.
- (2) Both universities shall periodically and jointly conduct self- assessment and external assessments, summarize the results thereof in a report in English and promptly disclose it to the students and the society on the university website and the like.

25. Dean Council

A Dean Council shall be established which consists of the presidents of both universities or the persons appointed by the presidents of both universities who shall discuss the topics such as important matters related to the execution of this Program. This Council shall be held at least once a year.

26. Handling of Tuition and Other Fees

- (1) Both universities shall consider how to impose reasonable tuition fees and other

fees on the students enrolled in this Program.

- (2) Students shall pay such fees to the Home University.

27. Allocation of Expenses

Both universities shall consult with each other and separately to determine the allocation of expenses related to the operation of this Program. The details shall be discussed in the separate addendum.

28. Student Support, Welfare and Guidance

- (1) Both universities shall give reasonable consideration to the economic burden associated with the student's studying abroad.
- (2) Both universities shall pay particular attention to ensure equity among the students of both universities.
- (3) Both universities shall otherwise give appropriate consideration to the welfare of the students.

29. Handling of Intellectual Property Rights

If any invention is made within this Program, both universities shall immediately notify the partner university of such invention and the inventor thereof. Both universities shall consult on the decisions involving publications and patents and shall not disclose such information to any third party without written consent.

30. School Locations/Buildings and Facilities/Equipment

- (1) Both universities shall prepare the necessary facilities, equipment and the like in accordance with the relevant laws of each country in cooperation with the partner university so as not to hinder education and research.
- (2) The students shall be able to mutually use the facilities, equipment and the like of both universities.

31. Procedures at the Completion (Abolition) of this Program (Transitional Measures to the Students Enrolled in University)

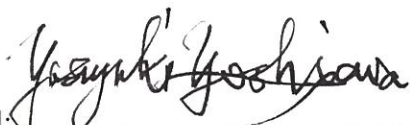
- (1) If either university tries to discontinue this Program, it shall notify the other university in writing no later than one year prior thereto.
- (2) If either university has any difficulty in maintaining this Program, both universities shall take measures such as transfer to another program under the responsibility of such university in light of protecting the student.

32. Other

Any matter not stipulated in this Agreement or any doubt arising on the clauses hereof shall be discussed and determined by both universities.

Supplemental Table 1

Tokyo Medical and Dental University			Mahidol University			Standards for Specific Behavioral Objectives (SBOs)
GP	Assessment		GP	Assessment		
4.0	A+	Superior	4.0	A	Excellent	All SBOs were achieved beyond expectation.
			3.5	B+	Very Good	
3.5	A	Excellent	3.0	B	Good	All SBOs were achieved.
3.0	B	Good	2.5	C+	Fairly Good	Most SBOs were achieved.
2.0	C	Fair	2.0	C	Fair	The minimum SBOs necessary were achieved.
1.0	D	Failing	1.5	D+	Poor	The minimum SBOs necessary were not achieved.
			1.0	D	Very Poor	
0.0	F		0	F	Failing	Unable to evaluate based on insufficient SBOs.

Signed: 

President

Professor Yasuyuki Yoshizawa
Tokyo Medical and Dental University

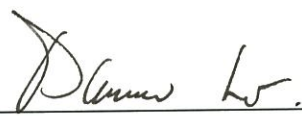
Date: 7 August 2019

Signed: 

Acting President

Professor Banchong Mahaisavariya
Mahidol University

Date: 7 August 2019

Signed: 

Dean, Faculty of Graduate Studies
Professor Patcharee Lertrit

Date: 7 August 2019

Signed: 

Dean, Faculty of Medicine Siriraj Hospital
Professor Dr. Prasit Watanapa

Date: 7 August 2019

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生確保の見通し p. 2

ア. 定員充足の見込み p. 2

イ. 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要 p. 6

ウ. 学生納付金の設定の考え方 p. 7

(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況 p. 7

2. 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の要請に関する目的その他の教育研究上の目的（概要） p. 9

(2) 上記（1）が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠 p. 9

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生確保の見通し

ア. 定員充足の見込み

【医歯学総合研究科東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻】

〔入学定員設定の考え方〕

東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻（以下「本専攻」という）の入学定員は3人（収容定員15人）であり、今回の申請に伴った入学定員の変更は予定していない。入学定員の設定にあたっては、臨床的に高度な経験・技能を有する専門職業人であると同時に医学研究にも造詣が深く、グローバルな視点から医療・研究を捉えることができ、修了時には、食道・胃・大腸がんの分野の専門的知識・経験を修得し、国家的あるいは国際的なプロジェクトのリーダーとなり得る高度な人材を養成していくために必要かつ十分な教育研究環境を学生に提供する観点で、チリ大学と協議のうえ設定している。

なお、設置母体となる東京科学大学（仮称）（以下「本学」という）医歯学総合研究科医歯学専攻の現在の入学定員は181人、専任教員は303人（令和5年3月31日現在）であり、本専攻設置の目的を達成するに足る教育研究環境を整えている。

〔定員充足の見込み〕

本専攻の入学定員3人に対して、長期的かつ安定的に学生の確保を図ることができる見通しとして、プロジェクトセメスターと称した学部学生の研究実践を行うカリキュラムにおいて、チリ大学やCLCでの研修は非常に人気が高く、これまで多くの学生がチリ国での研修で成果を上げるなどチリ拠点での活動に対してはこれまでも継続的に人材を派遣してきた実績があり、潜在的な人気の高さが窺えたこと、設置母体である本学医歯学総合研究科（医歯学専攻）においては、収容定員を十分に充足しており（収容定員724人、学生数1014人）であることから入学定員3人の変更は予定していない。

チリ大学においても、以下に説明する根拠により、本専攻において長期的かつ安定的に入学定員を上回る志願者を見込んでいた。

- ① 本専攻はチリ人学生にとって既存のプログラム（最短17年）よりも短期間（最短15年）で博士の学位とチリ専門医（Subspecialty）の双方を取得できる魅力あるプログラムになっていること
- ② チリでは、ほとんどの医師が博士の学位を取得しないため、本専攻を修了した人材は、大学等の高等教育機関、基幹病院等で指導者として活躍するチャンスが広がること
- ③ これまで日本で行ってきたJICAの消化器病研修は非常に人気が高く、チリを含む南

米諸国から毎年多くの参加申し込みがあったこと（実際に研修を受けられる人数には限りがあったが、当時の研修を修了した者は現在その分野の指導的立場でチリにおける消化器病医療を牽引している）

- ④ ENDOSUR(チリ国消化器病内視鏡外科学会)では例年日本からの招待講演者が数名発表を行っているが、常に会場は満席で活発な討論が行われていること（チリ国において日本の消化器病医療水準の高さが認められ、必要とされていることを示している）
- ⑤ チリ国からの要請で大腸癌早期診断プロジェクトを推進し、CLC の東京医科歯科大学チリ拠点において日本人医師が活躍・貢献していること（チリ国における外科医の教育に日本の高い医療技術が求められていることを示している）
- ⑥ 東京医科歯科大学医学部附属病院において、チリ大学関連病院を始めとしてチリ国から研究研修を受け入れていること（チリ国からの研究者は大腸癌や消化器疾患、食道外科の内視鏡治療等をテーマに研究）

しかし、こうした見込みに反して、本専攻の設置時から7年間の定員充足率は以下の通りであり、平均で39%となっている。

（チリ大学国際連携医学系専攻における定員充足状況）

年度	入学者数	合計	充足率 (%)	備考
2016	1	1	33%	設置年度
2017	2	3	50%	
2018	1	4	44%	
2019	1	5	41%	
2020	0	5	33%	完成年度
2021	1	6	40%	
2022	0	5	33%	

この充足状況を踏まえ、未充足の原因として以下が考えられた。

①新型コロナウイルス感染症流行の影響

本専攻において、直接各国へ訪問しての学修が学生にとって非常に大きなインセンティブであるが、2020年度以降新型コロナウイルス感染症の流行によって渡航が困難な状況下となり、オンライン形式での授業へと移行したこと。

②潜在的な希望者に対する広報活動不足

専用HPの開設や、シンポジウムの開催等、対外的に周知する機会を設けていたが、入学希

望者が本専攻での学習、日本・チリでの学生生活がイメージできる直接的に働きかけるような広報活動が不足していた。興味を有している潜在的な希望学生を掘り起こすような広報活動が必要である。

【医歯学総合研究科生命理工医療科学専攻】

本専攻は入学定員 25 名としており、今回の申請に伴った入学定員の変更は予定していない。本専攻設置時に入学定員を 25 名と設定した背景・妥当性については以下の通りである。

平成 30 年度大学院改組により本専攻を設置する際、学生確保の見通しに関する調査を行い、改組により統合する 2 つの専攻、生命理工学系専攻（博士（後期）課程）の入学定員は 25 名、生体検査科学専攻（博士（後期）課程）の入学定員は 6 名で、合計すると 31 名であったが、過去の入学者数実績と既設の本学医歯理工学専攻（修士課程）および生体検査科学専攻（博士（前期）課程）の学生に対して実施したアンケート結果を踏まえ、6 名を減じた 25 名とした。

また、25 名に設定した妥当性及び需要を見込む理由として以下の 2 点が考えられていた。

①研究の潮流の変化

第 5 期科学技術基本計画（H28～H32）において、IoT、ロボット、人工知能（AI）等の先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、格差なく多様なニーズにきめ細やかに対応したサービスを提供する Society5.0 が提唱された。本学はこうした潮流の変化に対応し、超高齢化社会である我が国に貢献すべく、H30 年度の大学院改組において大学院医歯学総合研究科に先制医歯理工学コースを新設した。生命理工医療科学専攻では当該コース内に AI 時代に対応したネットワーク型実践的問題解決能力を有し、教育研究機関や産業界のリーダーとなる人材を養成することを目的とした疾患生命創薬科学プログラムや、医療および健康福祉に基づく生命情報科学・デバイス理工学を理解し、学際的かつ柔軟な発想にて先導できる研究者、高い倫理観および学識・創造力を有する教育者を要請する先進医療デバイス IoT 学プログラムを開設した。

②博士課程への進学

上記先制医歯理工学コース内の 2 プログラムをそれぞれ受講した場合には、超高齢化社会において、先制医療の発展に貢献できる研究能力を有した人材需要が高く、修了後の進路としては、大学・研究所等の教育者・研究者や、病院・医療機関研究者、医療機器等関連企業の研究者・技術者が考えられるため、需要は十分にあると判断した。

しかし、こうした見込みに反して本専攻の過去 5 年間の定員充足率は以下の通りであり、うち過去 2 年間については、50%を下回る状況であった。

（生命理工医療科学専攻における定員充足状況）

年度	博士	博士	博士	合計	うち	充足率

	(理学)	(工学)	(保健学)		留学生	(%)
2018	10	9	7	26	6	104%
2019	10	3	2	15	6	60%
2020	6	5	1	12	6	48%
2021	4	6	2	12	3	48%
2022	5	8	4	17	4	68%

この充足状況を踏まえ、学内での検討の結果、未充足の原因として以下が考えられた。

①研究の潮流の変化

上記のように研究の潮流が Society5.0 の提唱により、これまで主流であった分子生物学などのウェットな研究領域から情報・システム・データサイエンス・公衆衛生といったドライな研究領域に変化し、学生の興味・関心にも同様に作用した。生命理工医療科学専攻では、学生の興味・関心に応えるべく新たなプログラム（先制医歯理工学コース）を開設したが、前者のウェットな研究領域に該当する分野が現時点では多いことや、アルゴリズム・AI といった専門性の高いデータサイエンス領域については数学がバックボーンの専任教員が不在であったことから、博士課程へ進学する所属先として選択する学生が減少したと考えられる。そういった意味では、改組前に実施したアンケートでプログラムの履修についての関心はあったものの、進学の希望についての需要は見誤っていたと考えられる。

②博士課程への進学

社会の要請に対応したプログラム展開を実施しており、修士学生の修了後の進路及び人材需要においても十分あると見込んでいたが、工学系及び生体検査科学系において、修士課程修了者は売り手市場であり就職率が良好なことから、修士課程修了後に就職活動を行い社会に出る学生が増加傾向にあり、博士課程へ進学することで3年間の授業料・生活費の支弁に対する経済的不安と、就職が困難になるのではないかと懸念が学生側に生じたと考えられる。

本学は令和4年度より指定国立大学法人として、世界屈指の「トータル・ヘルスケア」研究の中核的な役割を担っているほか、「先導的な医療を担うサイエンティフィック・クリニシャン」及び「医学研究を先導し牽引するクリニシャン・サイエンティスト」を養成する役割も担っており、研究力強化に向けて、基礎研究を臨床の現場へ応用することによる社会的インパクトを与える大学への変革を進めることから、附置研究所や生体検査科学といった基礎系分野を母体とする生命理工医療科学専攻の博士課程進学者確保は喫緊の課題である。

定員充足のための対応策を（2）に記載の通り講じているほか、令和5年4月に博士（口腔保健学）の学位を新設しており、定員充足状況はさらに改善される見込みであることから、定員25名の設定について変更する予定はない。

イ．定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

【医歯学総合研究科東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻】

本専攻の主な志願者として想定している専門研修医（後期臨床研修）のうち、本学病院で平成 24 年度以降に研修を開始し、本専攻に最も関連性が高い「外科専門医コース」、「消化器専門医コース」を選択した 46 人の医師を対象に平成 27 年 2 月に本専攻への進学に関するアンケート調査をメールにより実施した。（資料 1 アンケート結果について（東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻））アンケート調査時には本専攻の概要、設置の趣旨（理念）及び養成する人材像といった構想概要を必ず読んでから回答するよう依頼し、13 人から回答を得た（回収率 28%）。回答者のうち、本専攻への今後の進学について「大いに興味・関心がある」と回答した者は 2 人、「やや興味・関心がある」と回答した者は 9 人、「特に興味・関心がない」と回答した者は 2 人であった。

また、専門研修医に加えて、本学医学部医学科在学生のうち、本学チリ拠点における研修経験を有する 16 人（4 年生 6 人、5 年生 4 人、6 年生 6 人）に対しても同様にアンケート調査をメールにより実施し、12 人（4 年生 5 人、5 年生 3 人、6 年生 4 人）から回答を得た（回収率 75%）。回答者のうち、本専攻への今後の進学について「大いに興味・関心がある」と回答した者は 1 人（5 年生）であり、「やや興味・関心がある」と回答した者は 7 人（4 年生 4 人、5 年生 1 人、6 年生 2 人）であり、「特に興味・関心がない」と回答した者は 4 人（4 年生 1 人、5 年生 1 人、6 年生 2 人）であった。

【医歯学総合研究科生命理工医療科学専攻】

定員充足に向けた客観的なデータ指標として、Web アンケート調査を実施した。結果については以下の通りである。

本専攻の主な志願者として想定している、既設の医歯理工保健学専攻（修士課程）の 1 年次の学生計 111 名を対象に、博士課程への進学に関するアンケート調査（資料 2 アンケート結果について（生命理工医療科学専攻））を令和 4 年 1 月 17 日から 1 月 28 日まで web アンケート方式で実施した。1 年次の学生 111 名のうち、65 名（うち、修士（口腔保健学）の学位取得者 4 名を除く）、から回答を得た（回収率 48%）。

問 1 において、修士課程修了後の博士課程への進学希望について調査したところ、「進学の希望がある」10 名、「検討中」13 名、「進学の希望はない」40 名であり、38%が修士課程修了後の 1 つの進路として検討していることが明らかとなった。

また、問 2 において、修士課程修了後の進学希望について「検討中」または「進学の希望はない」と回答した者 53 名に対して、今後の進路として博士課程への進学についてどう思うかを質問したところ、「関心・興味はある」6 名、「やや興味・関心はある」22 名、「特に興味・関心はない」25 名という結果となり、半数以上（52%）が本専攻に対して関心・興味があることから、潜在的な希望は大いにあると考えている。

問3において、博士課程への進学における懸念点はどのようなものがあるかを集計した結果、多くの学生が「就職不安」(63%)や「経済的不安」(55%)を感じていることが明らかとなり、本学が定員充足への対応策のひとつとして講じた「卓越大学院制度（Ⅰ、Ⅱ）※特に卓越大学院制度Ⅰでは半数程度の雇用も予定している」が直接的な、博士課程進学への不安解消に対して有効な改善策であるということが明確となった。このことから、本制度が浸透し、多くの学生が利用することで、博士課程進学者の増加が見込まれると考えている。

上記とは別途、修士課程（口腔保健学）の学生で博士課程への進学希望の確認を行ったところ、4名全てが希望していることや、上記アンケート調査によって修士課程（口腔保健学以外）の「進学の希望がある」と回答した10名に加え、学外からの進学者（過去5年平均）名や、留学生（過去5年平均）5名含めると、23名となり、卓越大学院生制度といった学生の博士課程進学懸念に対応した制度や、研究の潮流に対応した研究分野の改善といった効果による進学増を見込むと、25名の定員設定は妥当である。

ウ．学生納付金の設定の考え方

【医歯学総合研究科東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻】

本専攻においては、日本とチリ両国に履修場所がまたがることとなり、渡航費や滞在費など学生にとって経済的負担が重いことを前提にチリ大学と協議し、チリ大学の意向も踏まえ、検定料、入学金、授業料はいずれも免除し、両大学の負担とすることとしている。

【医歯学総合研究科生命理工医療科学専攻】

学生納付金は、国立大学等の授業料その他の費用に関する省令で定めている「授業料年額535,800円、入学料282,000円」に則った金額としている。

（2）学生確保に向けた具体的な取組状況

【医歯学総合研究科東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻】

本専攻の入学者選抜における基本的な考え方に適う質の高い学生を確保するため、本学においては以下の事項を重点的に取り組む。

- （1）チリ大学に対して、本専攻の入学者選抜における基本的な考え方に適う質の高い学生を確保するための取組を求め、緊密な連携体制を構築し、相互にできる限りの協力を行う。
- （2）本学ホームページをはじめとする多くの媒体を活用するなどして、本専攻の構想・魅力について積極的に周知・広報を行う。
- （3）本専攻の中心となる食道・胃・大腸の関連教育研究分野を中心とした教員等の人的ネットワークを活用し周知・広報を行う。
- （4）新型コロナウイルス感染症流行下における、遠隔手術指導を含むオンライン形式授業の充実により、渡航できない場合にも教育の質の担保を行う。

- (5) オンライン形式授業等の充実も含めた、本専攻による開講科目の紹介だけでなく、各国での教育環境、教育指導体制、学生生活等のわかるプロモーションビデオの作成・公開により、志望学生に対してよりイメージが付きやすいようにする。

【医歯学総合研究科生命理工医療科学専攻】

研究の潮流の変化に対応するため、令和2年度にM&Dデータ科学センターを設置して、国内トップレベルのメディカルデータサイエンティストを専任教員として採用し、生命理工医療科学専攻内には、数学がバックボーンの専任教員を配置したAI、アルゴリズムの教育研究分野を開設した。

このほか教授選考においても、トランスレーショナルリサーチや、情報系、システム系等の領域での研究実績を加味しており、大学としての研究の方向性、研究の潮流、学生のニーズに即した新規教員の獲得を予定しており、継続して教育研究の充実を図っている。

また、学生の博士課程進学に伴う経済的な不安を取り除き、より一層の優秀な学生の獲得及び支援を目的として、令和3年度より卓越大学院生制度（Ⅰ、Ⅱ）を開始している。これにより、生活費・研究費の両面から学生を支援し研究に集中できる環境を拡充したほか、卓越大学院生制度Ⅰでは、定員の半数程度を本学で雇用するといった出口支援も予定している。

なお、本専攻では、今後、ホームページを利用した広報活動として分野紹介動画の公開や、個別説明会の開催を行い、既設の専攻と同様のスケジュールで、学生の確保に取り組む予定である。

2. 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の要請に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

【医歯学総合研究科東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻】

臨床的に専門性の高い経験・技能を有する高度専門的職業人であると同時に医学研究にも造詣が深く、かつグローバルな視点から医療・研究を捉えることができるリーダーを育成することを目的とし、以下に掲げる能力を有する人材を養成する。

- ・消化器外科における高度なトレーニング、消化器疾患での内視鏡検査および高度診断機器を用いた高度なトレーニングを含む上部消化管外科、大腸外科、あるいは胃腸病で臨床専門家として認めるために必要とされる技能を持つ人材
- ・それに加え、病理学、分子生物学、遺伝学、疫学および公衆衛生学、臨床研究および生物統計学等の分野での学識を持つ人材
- ・修了時には、食道・胃・大腸がんの分野（消化管腫瘍学）に応用できる基礎研究および臨床研究の専門的知識・経験を有し、国家的および国際的な臨床研究プロジェクトのリーダーになれる人材

【医歯学総合研究科生命理工医療科学専攻】

生命理工学および医療科学分野に精通し、生命科学と先端医療との融合的学際分野において幅広い学識と国際的な視野を有し、高度な専門性と実践的問題発見・解決能力を持った人材、とりわけ先端的な研究遂行能力を有する研究者、卓越した学識と優れた人間性を有する教育者、世界の動向や社会の要請に応じて先端的な技術革新を実現するためのマネジメント能力を身に付け、医療機関・バイオ産業界で活躍できる人材を養成することを目的としている。

(2) 上記（1）が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

【医歯学総合研究科東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻】

欧米の名門大学が海外へ進出するなど、高等教育の世界はボーダレス化が加速している。また、近年、個々の国を越えた高等教育圏を形成する動きが活発になってきており、平成 25 年 5 月 28 日に取りまとめられた教育再生実行会議（第三次提言）においては、「徹底した国際化を断行し、世界に伍して競う大学の教育環境をつくる」ことが提言され、具体策として、「海外のトップクラスの大学との大学院の共同設置や JD の提供」、「海外における魅力ある日本の教育プログラムの実施」などに言及している。さらに、平成 26 年 6 月 24 日に閣議決定された経済財政運営と改革の基本方針 2014（骨太の方針 2014）において、「大学の徹底した国際化」が方針として示されるなど、政府としても、我が国における大学のボーダレス化・グローバル化を更に推し進めようとしていたことから、本専攻を 2016 年に設置した。

本学は、医歯学分野における国際化のトップリーダーとしての責務を負っていると自負しており、近年の大学を取り巻くグローバル化の流れを踏まえ、本専攻を開設することは、本学だけでなく日本の大学のグローバル化を前進させていくものである。本学は、世界レベルの教育研究を行うトップ大学の支援対象機関として、文部科学省が実施する「スーパーグローバル大

学創成支援タイプ A (トップ型)」に採択されており、本事業の目的となっているグローバルに活躍する人材を育成するという観点からも、本学が JD プログラムをチリ大学と共同で設置することは社会的にも有意義であると認識しており、これは統合し、東京科学大学（仮称）となっても変わらない。

なお、チリは南米の中では教育水準が高く、チリ大学は南米全体で最古の高等教育機関であり、QS 世界ランキング 2022 では医学分野 151－200 位と本学と同等のレベルの大学である（本学：医学分野 135 位）。従ってチリ大学との間に国際連携大学院（博士課程）を開設することによって、エクアドル、パラグアイ、ブラジル、ペルー、コロンビア、アルゼンチン、ボリビアなどの研究者との交流による国際化も期待でき、南米における本学の影響力を確立するための礎となりうる。

また、日本、チリは世界の中でも胃がんの罹患率、死亡率が高く、胃がん死亡率では経済協力開発機構（OECD）加盟国の中でチリが 1 番高く、日本が 3 番目に高い。【「OECD 加盟国の死亡原因別死亡率の比較」韓国保健社会研究院調べ】 大腸がんについても食生活習慣の変化等に伴って、日本に続いてチリでも大腸がんの割合が急激に増加【「チリでは直近 10 年間で大腸がんの死亡率が 60%増加」（経済産業省平成 25 年度日本の医療機器・サービスの海外展開に関する調査事業「日本式大腸がん検診システム普及プロジェクト報告書」より】してきた。そのため大腸がんによる死亡率の高まりを問題視したチリ国保健省とチリ大学の関連病院であるクリニカ・ラス・コンデス病院（CLC）は、本学に対し、チリ国における大腸がんの早期集団検診システムを確立するプロジェクトの立ち上げに係る協力要請があり、平成 22 年 4 月に開設した本学のチリ海外拠点に教員を派遣して、早期大腸がん診断と治療に関する指導、教育および研究支援を行ってきた。この大腸がん早期診断プロジェクトは、南米全体に広がりを見せており、エクアドルおよびパラグアイとも両国保健省との国際協定の下活動を続けており、チリ大学との連携により本専攻が設置されたことにより、南米における本学ひいては我が国のプレゼンスの向上に寄与してきた。

【医歯学総合研究科生命理工医療科学専攻】

健康・医療戦略（令和 3 年 4 月 9 日一部変更）において、「開発目的（予防／診断／治療／予後・QOL）にも着目した、健康長寿社会の形成に向けた健康寿命延伸という目標のために最適なアプローチを選択する。」とあるように、世界一の健康長寿社会である日本において、「先制医療の高度化」を目的として取り組んできた本専攻は社会的人材需要をとらえたものであり、その根拠として、2021 年度まで過去 4 年間の修了者（進路届未提出等の学生 3 名を除く）53 名の進路内訳をみると、大学等の教員が 7 名（13%）、研究者が 16 名（30%）、企業の開発職への就職が 15 名（28%）、企業の開発職以外への就職が 3 名（6%）、その他 12 名（23%）となっている。このように既設専攻の修了者は本専攻の人材養成の目的に合致した進路に進んでいる実績があるため、社会的な人材需要の動向に沿ったものであることは言うまでもない。

学生の確保の見通し等を記載した書類（資料）

目 次

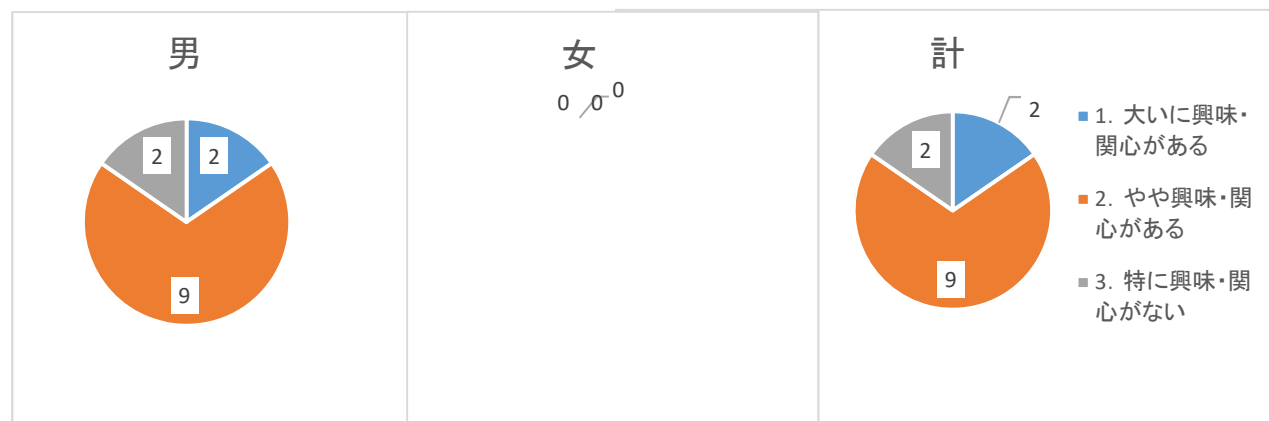
資料 1	アンケート結果について（東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻）	… p. 2
資料 2	アンケート結果について（生命理工医療科学専攻）	…………… p. 5

本学医学部附属病院後期臨床研修医アンケート結果

46名（有効回答数13名）

Q. 今後の進路として、当該専攻への進学についてどう思いますか。

	男	女	計
1. 大いに興味・関心がある	2	0	2
2. やや興味・関心がある	9	0	9
3. 特に興味・関心がない	2	0	2
計	13	0	13



Q. 本学のグローバル化への取組みについて、ご意見ご感想などあれば教えてください。（自由記述）

①現在3年目であり、下記プログラムに入るとすると5年次になるかと思います。内視鏡など実臨床がどの程度並行して可能なのか、また研究内容についても臨床研究がメインとなるのか、あるいは基礎研究がメインとなるのかについてお聞きしたいです。個人的には臨床研究に強い興味があり、チリの大学ではどのような課題を研究、学習することができるのか知ればありがたいです。

②国外の大学と連携して研究・臨床のトレーニングができるのは素晴らしいことだと思いますが、この構想で、チリ大学現地で具体的にどのような学習効果が得られるのよく分かりません。癌診療の臨床面や、癌の研究で、日本で学ぶよりメリットが多くないと魅力が少ないプログラムと思われるかもしれません。ただ海外で英語のトレーニングをするだけなら他にも方法はあるので、5年という比較的長い時間を費やす価値があるかどうか、より具体的な提案ができるとよいと思います。

③研究や臨床での経験を積む等の目的が明確であれば留学は有意義なものになると考えます。大学の企画と自身の目的がうまく合えばいいと思いますが、現実には目的に応じて留学先を個人もしくは研究室単位で探すという方向性になるのではないかと考えます。

④アメリカやドイツなど先進国の大学、病院との連携もあるとより一層興味がある。実際のロールモデルがあればより身近に感じて考えやすいと思う。

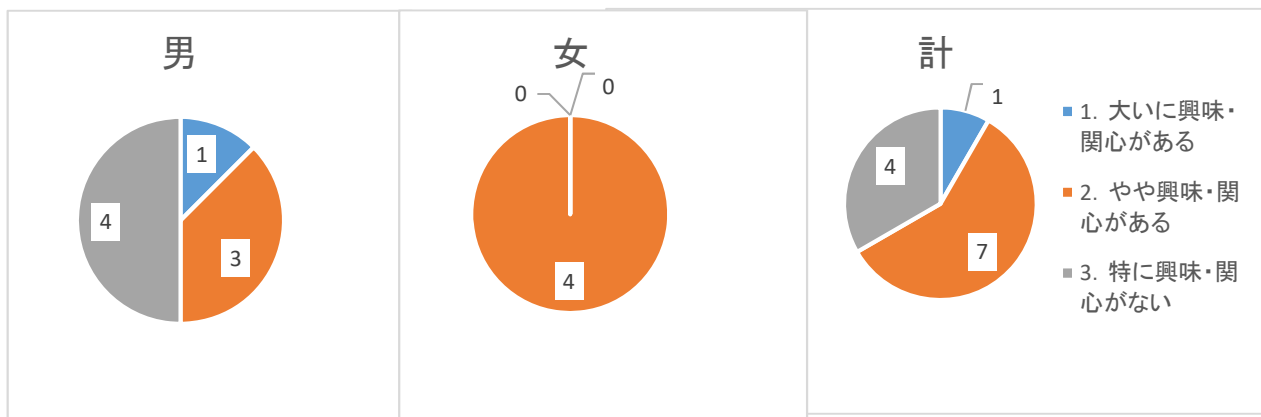
⑤機会があれば海外へのプログラムに参加してみたいと思います。

⑥学生の中に海外で学ぶ機会を多くいただき、感謝しております。海外でのプロジェクトセメスター・臨床実習に参加できる人数がさらに増えると、より海外留学が身近なものになってくるように思います。留学は個人で行うには難しい面も多いので、ぜひこのような機会が増えると良いと考えます。

本学医学部医学科プロジェクトセメスター海外派遣学生(チリ)アンケート結果
 学生数16名(有効回答数12)

Q. 今後の進路として、当該専攻への進学についてどう思いますか。

	男	女	計
1. 大いに興味・関心がある	1	0	1
2. やや興味・関心がある	3	4	7
3. 特に興味・関心がない	4	0	4
計	8	4	12



Q. 本学のグローバル化への取り組みについて、ご意見ご感想などあれば教えてください。(自由記述)

①ジョイントディグリーを専攻することによって得られる利益がはっきりとしていないと、日本人で選択する人は少ないのではないかと思います。

②東京医科歯科大学のグローバル化への取り組みのうち、学生に直接関わるものについて述べさせていただきます。

プロジェクトセメスターや海外臨床実習など、他大学の医学部と比べて国際交流に力を入れているのは、医科歯科のカリキュラムに好感が持てます。

しかし、実際のところ英語圏への派遣人数は少ないのが大きな欠点だと思います。

私もチリで非英語圏の人と接したことが無駄であったとは考えておりませんが、せっかくであれば、世界共通言語である英語が母国語である地域、そうでなくても医員が英語にもしっかり堪能な地域への派遣を増やしていただきたいと思います。

例えば、私がプロジェクトセメスターでお世話になったチリのCLCでは、研究員であまりに英語が使えない人が多すぎたので、

言語の問題から研究活動に大きな支障が出ました。

CLCは、学生を研究活動に従事させるために派遣する場所としては不適當であったと感じます。

非英語圏での実習は貴重な体験かもしれませんが、研究室や臨床実習先の英語のレベルが一定水準以上でなければ、

そこでの生活を実りあるものにするのは難しいように思います。

③医科歯科大学がグローバル化を進めることは大変意義深いことだと考える。今回のチリ大学とのジョイントディグリーコース設立に関しても、現在在籍している学生はもちろん、今後東京医科歯科大学を志望する学生にとっても、選択肢が多様化し、学生の間に様々な経験を積むことができると思う。しかし、その分、海外へ留学する医科歯科大学の学生・医科歯科大学に留学する海外の学生に対しての継続的なサポートが必要なのだと思う。チリ留学中には、人体病理部の河内先生やオフィスにいらったハイメさんにサポートしていただき、チリでの生活が円滑に営めたことを鑑みると、現地に医科歯科大学の教官なり事務員の方が常駐してくださることがベストだと思う。もしも、それが困難であるようならば、受け入れてくれる大学なり研究室側には、窓口となる特定の人物がいらつしゃると良いのだと思う(チリ大学のオライアン先生のような)。毎年の留学を継続的にサポートしてもらえており、ノウハウが蓄積されているとわかれば、学生にとっても安心材料になると思う。

④プロジェクトセメスターや海外臨床実習など、学生に海外で実習を行う機会を積極的に提供している点はよいと思う。欧米での学習機会を更に広げていただけたら嬉しい。

⑤学位取得・臨床での欧米との連携も進めばより魅力的だと思います。臨床の留学では、海外での研修や専門医の勉強が、日本で通用する専門医の取得にもつながる形になれば魅力的です。

⑥海外との関わりを持てる機会を提供していただけることは、留学や海外での活動に興味がある私にとっては非常にありがたいことです。特に、今回チリ大学とのジョイントディグリープログラムの締結を目指してくださっているというのは、チリへ留学した経験のある私としては非常に嬉しく思います。私は将来的には外科志望なのですが、プロセメなどを通じて研究にも興味を湧きました。そんな中で、専攻が消化器外科領域であり、専門医取得にも役立つこのプログラムは本当に魅力的です。もし創設されることがあればひとまず進学させていただきたいと考えております。また、これ以外にももっとたくさんの選択肢を用意していただければとても素晴らしいことだと思います。簡単に進むプロジェクトでないのは十分承知しておりますが、ぜひ増やしていただけますことを学生として期待しております。

⑦医師の臨床での空気はわかりませんが、チリと日本では仕事のスタンスが違いすぎて、なかなか厳しいように思います。

⑧プロジェクトセメスターにおいてチリで研究する機会を下さったことに大変感謝しております。このような海外研究留学の機会を自分だけで探すことは困難であったと思います。私は臨床留学にも関心があり、日本とは異なる海外の医療体制や医学教育を是非体験したいと考えているため、学部6年次の留学機会がさらに増えることを願っています。留学先としては、指導して下さる現地の先生や患者さんとのコミュニケーションの観点からは英語圏が望ましく、またアメリカの他イギリス、カナダ、アイルランド、オーストラリアといった多様な選択肢があると良いのではないのでしょうか。一方で、現地の指導教員の方とのコミュニケーションに問題がなければ、非英語圏に留学することも良い経験になると思います。

⑨総合大学でないにも関わらず先進国、途上国含めて留学の機会があるのは素晴らしいと思います。ぜひ、学生の間に異文化の中に巻き込まれて圧倒される、全く違う世界を見る経験を多くの後輩に経験してほしいと思います。

日本ほどスケジューリングがしっかりしている国は少ないと思うので、連携したコースを設置する場合その留学でしっかりと経験を積めるよう、あるていど取り決めを設ける必要があると思います。相手方の裁量に任せると日本と比較した際の経験値がやはり劣ってしまう恐れもあると思うので、日本で必要とされるような内容や目標、日本での施行内容はしっかり伝達して検討する必要があると思います。

⑩グローバル化の取り組みは非常に興味深いですが現段階で志望科を絞りきれておらず応募の決定には至らない。国内よりも海外でのプロジェクトに参加することのメリットを明示できれば興味を持つ者は増えると思われる。

⑪学生の間に海外で学ぶ機会を多くいただき、感謝しております。海外でのプロジェクトセメスター・臨床実習に参加できる人数がさらに増えると、より海外留学が身近なものになってくるように思います。留学は個人で行うには難しい面も多いので、ぜひこのような機会が増えると良いと考えます。

アンケート結果

<概要>

今回新たに博士（口腔保健学）の学位を新設することによる、本専攻に対するニーズを把握するため、本専攻の主な志願者として想定している下記対象者に対し博士課程への進学に関するアンケート調査を実施した。

<対象>

- ①医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻（修士課程） 1年次（②を除く） 107名
 ②医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻（修士課程） 1年次のうち学士（口腔保健）の学位取得者 4名

<調査方法>

web アンケート方式

<調査期間>

令和4年1月17日～1月28日

<回収率>

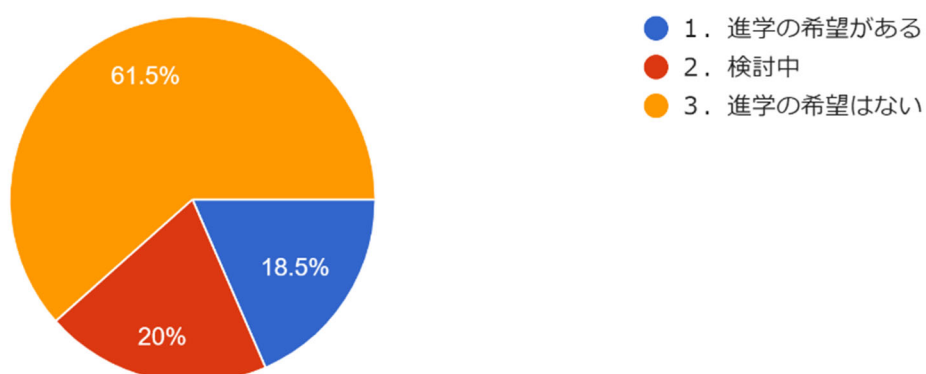
- ①61%（65/107名）
 ②100%（4/4名）

<回答詳細>

- ①医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻（修士課程）1年次（②を除く）の回答者 65名

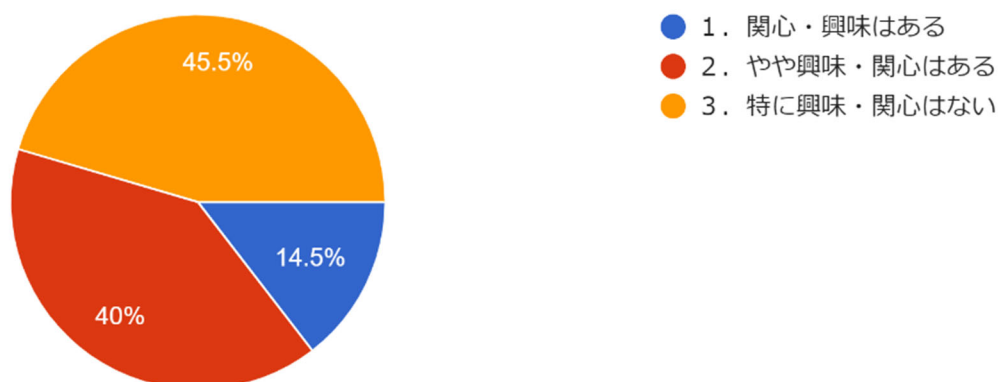
問1 修士課程修了後に博士課程への進学の希望はありますか

選択肢	回答数
1. 進学の希望がある	12
2. 検討中	13
3. 進学の希望はない	40
合計	65



問2 (問1で2または3と回答された方に伺います) 今後の進路として、博士課程への進学についてどう思いますか

選択肢	回答数
1. 関心・興味はある	6
2. やや興味・関心はある	22
3. 特に興味・関心はない	25
合計	53



※グラフには問1で選択肢1を回答した者2名を含むため、上記表の割合と一致しない。

問3 博士課程への進学における懸念点はどのようなものがありますか(複数回答可)

選択肢	回答数
1. 就職不安	41
2. 経済的不安	36
3. 学びたい研究領域が本学にない	2
4. 特に懸念はない	10

5. その他（自由記述）	7
合計	96

（以下、5. その他（自由記述）の内容）

- ・ 医科歯科云々に関係なく追加で学費を払って博士に進んだところで、研究もより忙しくなる上に就職も分野が非常に限られて難しくなる。大学の教員やアカデミアを目指すならば別だが、それ以外の学生には何のメリットもないと思う。
- ・ 研究に向いてない
- ・ 新社会人になる年齢が遅くなることへの不安
- ・ 年齢的な問題
- ・ コロナの影響
- ・ 結婚・出産等のライフプランについての不安
- ・ 環境が辛く感じる

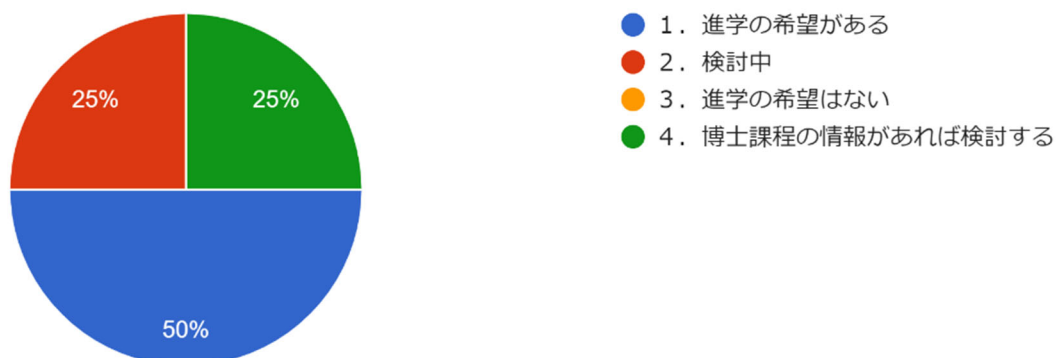
問4 大学院医歯学総合研究科に対して求める支援や、制度等のご意見・ご感想があれば教えて下さい（自由記述）

- ・ web メールが使いにくい。転送システムはあるが、いちいち医科歯科のサイトに入らないと送信できないのは不便なので、chrome や one drive などのアプリで管理できるようにしてほしい。
- ・ 学生でも応募できる研究費の募集などを周知する仕組みや締切のリマインドなどがあると助かります。既にあったらすみません。
- ・ TA や RA 制度を充実させてほしいです
- ・ 卓越大学院制度の採用人数を増やしてほしい
- ・ 博士課程においては学費の免除・半額免除を申請者全員にしていきたい。
- ・ 博士課程修了後の進路支援の制度がもっと整うとありがたいです。
- ・ 所得制限（歯科医師や医師は外勤で十分稼げるので）のある給付奨学金の設立

②医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻（修士課程） 1 年次のうち学士（口腔保健）
の学位取得者 4 名

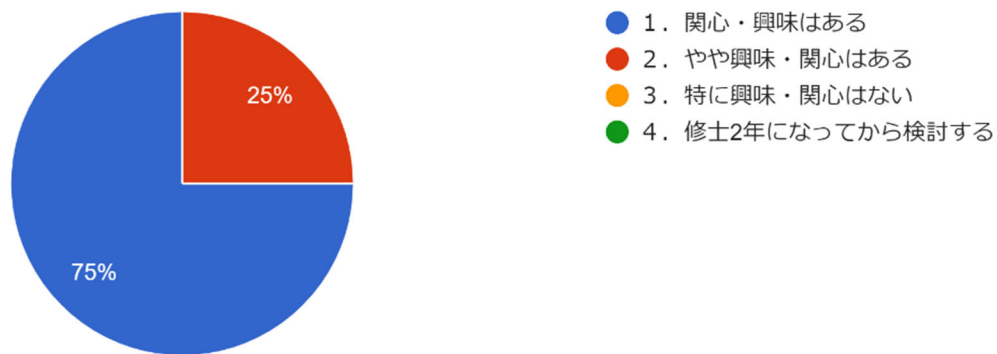
問1 修士課程修了後に博士課程への進学希望はありますか

選択肢	回答数
1. 進学の希望がある	2
2. 検討中	1
3. 進学の希望はない	0
4. 博士課程の情報があれば検討する	1
合計	4



問2 （問1で2～4を回答された方に伺います）今後の進路として、博士課程への進学についてどう思いますか

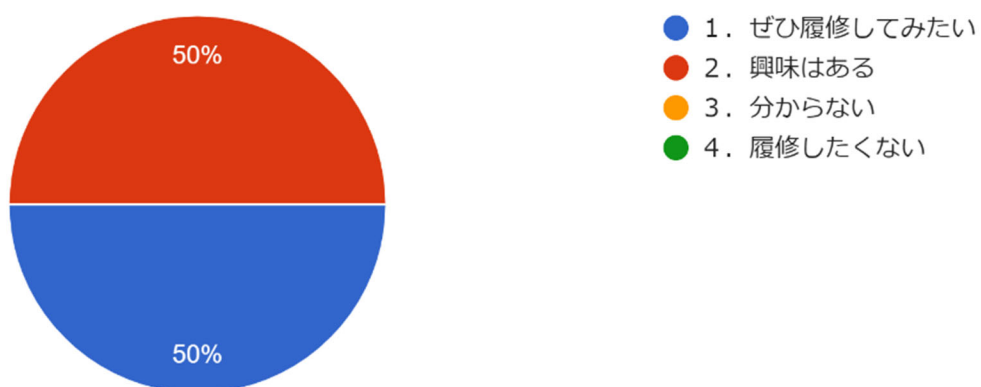
選択肢	回答数
1. 関心・興味はある	1
2. やや興味・関心はある	1
3. 特に興味・関心はない	0
合計	2



※グラフには問1で選択肢1を回答した者2名を含むため、上記表の割合と一致しない。

問3 生命理工医療科学専攻（後期3年制博士課程）では、学位新設に伴って新設される口腔保健学に関する履修科目に加えて、現在の医療データサイエンスや最先端生命理工学、医歯学先端研究に関する科目群も履修することができます。これらの科目を履修してみたいと思いますか

選択肢	回答数
1. ぜひ履修してみたい	2
2. 興味はある	2
3. 分からない	0
4. 履修したくない	0
合計	4



問4 博士課程への進学における懸念点はどのようなものがありますか（複数回答可）

選択肢	回答数
1. 就職不安	4
2. 経済的不安	4
3. 学びたい研究領域が本学にない	0
4. その他（自由記述）	2
合計	10

（以下、5. その他（自由記述）の内容）

- ・社会人大学院生として進学することを検討しているが、周囲に同様の事例があまりなく、学業と就職を両立できるかどうか不安がある。
- ・社会人大学院生として就職しながら進学することを検討していますが、大学側および就職先で理解が得られるか懸念しています。

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
一	学長	マス カズヤ 益 一哉 ＜平成30年4月1日＞		工学博士		東京工業大学学長 (平成30. 4. 1～R6. 3. 31)

（注） 高等専門学校にあっては校長について記入すること。

教 員 の 氏 名 等													
(医歯学総合研究科 修士課程 医歯理工保健学専攻)													
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年	当 次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
1	専任	教授	パーク ヘウォン PARK HEEWON ＜令和6年10月＞		博士 (理 学)		初期研究研修 医療データ科学概論 生物統計学応用Ⅱ 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1前 1前 1後 1通 1通 1～2通		1 1 1 4 4 4	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和2年6月)	5日
2	専任	教授	イトウ ノブトシ 伊藤 暢聡 ＜令和6年10月＞		DEGREE OF DOCTOR OF PHILOSOPHY		分子構造学特論 英語交渉・ディベート特論 生命理工学概論（英語） 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1後 1前 1後 1通 1通 1～2通		2 2 2 4 4 4	2 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
3	専任	教授	イトウ ミナミ 伊藤 南 ＜令和6年10月＞		博士 (工 学)		保健医療情報学 生体検査科学特論Ⅰ 生体検査科学特論Ⅱ 生体検査科学セミナーⅠ 保健学演習 保健学実習 課題研究	1前 1後 2前 1～2通 1通 1通 1～2通		2 2 2 1 4 4 4	1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
4	専任	教授	イカ ケイジ 位高 啓史 ＜令和6年10月＞		博士 (医 学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通		4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成29年4月)	5日
5	専任	教授	ヨダ テツヤ 依田 哲也 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通		4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和2年4月)	5日
6	専任	教授	イヱサ サチコ 井関 祥子 ＜令和6年10月＞		博士 (学 術)		初期研究研修 発生・再生科学 細胞生物学特論 歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1前 1後 1前 1通 1通 1～2通		1 2 1 4 4 4	1 2 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
7	専任	教授	ウオ モトヒロ 宇尾 基弘 ＜令和6年10月＞		博士 (工 学)		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通		4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成23年4月)	5日
8	専任	教授	カゲチカ ヒロユキ 影近 弘之 ＜令和6年10月＞		博士 (薬 学)		医歯理工学先端研究特論 薬理学 機能分子化学 ケミカルバイオロジー特論 生命理工学概論（英語） 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1前 1後 1前 1後 1通 1通 1～2通		1 2 2 2 2 4 4 4	1 1 2 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
9	専任	教授	トヤマ サトシ 遠山 悟史 ＜令和6年10月＞		博士 (医 学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通		4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和4年11月)	5日
10	専任	教授	ヨコタ タカヲ 横田 隆徳 ＜令和6年10月＞		博士 (医 学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通		4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成26年8月)	5日
11	専任	教授	オカダ ケイキ 岡田 幸之 ＜令和6年10月＞		博士 (医 学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通		4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成27年9月)	5日
12	専任	教授	オカダ シュウショウ 岡田 就将 ＜令和6年10月＞		博士 (医 学)		環境社会医歯学 医療計画制度 医療とリーダーシップ 課題研究（医療管理政策学 科目） 医科学演習 医科学実習 課題研究（専門科目） 医療ビジネス論	1前 1前 1前 1～2通 1通 1通 1～2通 1前		1 1 1 4 4 4 4 2	1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和4年7月)	5日
13	専任	教授	オカモト リョウイチ 岡本 隆一 ＜令和6年10月＞		博士 (医 学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通		4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成26年4月)	5日

14	専任	教授	カサヲ ヒトシ 岡澤 均 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		病理病態学 神経疾患特論 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1前 1通 1通 1～2通	1 2 4 4 4	1 2 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
15	専任	教授	オキヤマ ナホ 沖山 奈緒子 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医歯学総合概論 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和4年1月）	5日
16	専任	教授	カキマ セイ 柿沼 晴 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		Basic Human Pathology for Graduate Students 生体検査科学特論Ⅱ 生体検査科学セミナーⅠ 保健学演習 保健学実習 課題研究	1前 2前 1～2通 1通 1通 1～2通	1 2 1 4 4 4	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年6月）	5日
17	専任	教授	スミ ユウキ 角 勇樹 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		Basic Human Pathology for Graduate Students 生体検査科学特論Ⅱ 生体検査科学セミナーⅠ 保健学演習 保健学実習 課題研究	1前 2前 1～2通 1通 1通 1～2通	1 2 1 4 4 4	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成26年4月）	5日
18	専任	教授	カシヅ ヒロカズ 梶 弘和 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		バイオメディカルシステム 理工学Ⅰ バイオメディカルシステム 理工学Ⅱ 生命理工学概論（英語） 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1前 1後 1後 1通 1通 1～2通	1 1 2 4 4 4	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年10月）	5日
19	専任	教授	カバサリ ユウジ 樺沢 勇司 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		口腔保健臨地実習 口腔保健福祉学 口腔保健学演習 口腔保健学実習 課題研究	1通 1後 1通 1通 1～2通	2 2 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成29年2月）	5日
20	専任	教授	マルカワ エリコ 丸川 恵理子 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年8月）	5日
21	専任	教授	キタダ アキラ 岸田 晶夫 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		応用生体材料学 医歯薬産業技術特論 生命理工学概論（英語） 生命理工学演習（物質医工 学分野） 生命理工学演習（理研生体 分子制御学分野） 生命理工学演習（NCC腫瘍医 科学分野） 生命理工学実習（物質医工 学分野） 生命理工学実習（理研生体 分子制御学分野） 生命理工学実習（NCC腫瘍医 科学分野） 課題研究（物質医工学分 野） 課題研究（理研生体分子制 御学分野） 課題研究（NCC腫瘍医科学分 野）	1前 1後 1後 1通 1通 1通 1通 1通 1通 1通 1～2通 1～2通 1～2通	2 1 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
22	専任	教授	イワカ ジョウ 岩永 譲 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和4年7月）	5日
23	専任	教授	イワタ カズ 岩田 隆紀 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成31年2月）	5日
24	専任	教授	イワモト ヌム 岩本 勉 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年5月）	5日
25	専任	教授	ヨシムラ リョウイチ 吉村 亮一 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成26年4月）	5日
26	専任	教授	ヨシダ ナミ 吉田 直美 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		口腔保健臨地実習 口腔保健福祉学 口腔保健学演習 口腔保健学実習 課題研究	1通 1後 1通 1通 1～2通	2 2 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成29年9月）	5日
27	専任	教授	ミヤザキ ナオキ 宮坂 尚幸 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医歯学総合概論 発生・再生科学 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1後 1通 1通 1～2通	2 2 4 4 4	1 2 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成28年8月）	5日

28	専任	教授	ミヤザキ ヤスナリ 宮崎 泰成 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
29	専任	教授	ハシモト マサヨシ 橋本 正良 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和4年4月）	5日
30	専任	教授	オキチヂ カシ 興地 隆史 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成27年1月）	5日
31	専任	教授	タマムラ ヒロカズ 玉村 啓和 ＜令和6年10月＞		博士 （薬学）		初期研究研修 薬理学 機能分子化学 ケミカルバイオロジー特論 産学リンケージ特論 生命理工学概論（英語） 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1前 1前 1後 1前 1通 1後 1通 1通 1～2通	1 2 2 2 2 2 4 4 4	1 1 2 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
32	専任	教授	カサヅリ マナブ 金澤 学 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		口腔保健工学特論 口腔保健学演習 口腔保健学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年5月）	5日
33	専任	教授	クニ オシアキ 具 芳明 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		初期研究研修 薬理学 医療機関リスク管理 歯科学演習 歯科学実習 課題研究 グローバルヘルス	1前 1前 1前 1通 1通 1～2通 1前	1 2 1 4 4 4 4	1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年4月）	5日
34	専任	教授	キヌカサ ユウスケ 絹笠 祐介 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成29年9月）	5日
35	専任	教授	ハラダ ヒロユキ 原田 浩之 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成27年4月）	5日
36	専任	教授	コガ ヒデユキ 古賀 英之 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年5月）	5日
37	専任	教授	トハラ ハルカ 戸原 玄 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年4月）	5日
38	専任	教授	コウチ ユウタ 高地 雄太 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		遺伝医学特論 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和元年6月）	5日
39	専任	教授	ササキ タケヒロ 佐々木 雄彦 ＜令和6年10月＞		博士 （薬学）		生化学 医科学演習 生命理工学演習 医科学実習 生命理工学実習 課題研究（脂質生物学分野） 課題研究（細胞分子医学分野）	1前 1通 1通 1通 1通 1～2通 1～2通	2 4 4 4 4 4 4	1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成30年3月）	5日
40	専任	教授	サトウ カシ 佐藤 莊 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		免疫学 医科学演習 医科学実習 課題研究	1後 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	2 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年7月）	5日
41	専任	教授	ホシヤ カツ 細谷 孝充 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		機能分子化学 ケミカルバイオロジー特論 生命理工学概論（英語） 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1後 1前 1後 1通 1通 1～2通	2 2 2 4 4 4	2 2 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
42	専任	教授	バンナイ ヒデオ 坂内 英夫 ＜令和6年10月＞		博士 （情報工学）		バイオメディカルシステム 理工学Ⅰ バイオメディカルシステム 理工学Ⅱ 医療データ科学概論 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1前 1後 1前 1通 1通 1～2通	1 1 1 4 4 4	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年4月）	5日
43	専任	教授	ササノ テツオ 笹野 哲郎 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		生体検査科学特論Ⅱ 医科学演習 医科学実習 課題研究	2前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和元年6月）	5日

44	専任	教授	ミウラ マサヒコ 三浦 雅彦 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
45	専任	教授	ミツバヤシ コウジ 三林 浩二 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		バイオメディカルデバイス 理工学Ⅰ バイオメディカルデバイス 理工学Ⅱ 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1前 1後 1通 1通 1～2通	1 1 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
46	専任	教授	ヤマタ テツヤ 山田 哲也 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		遺伝医学特論 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成30年4月）	5日
47	専任	教授	ヤマワキ マサカ 山脇 正永 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年12月）	5日
48	専任	教授	テラタ スミオ 寺田 純雄 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		人体形態学 口腔形態学 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1前 1通 1通 1～2通	1 1 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
49	専任	教授	ワカバヤシ ケンジ 若林 健二 ＜令和6年10月＞		医学博士		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年10月）	5日
50	専任	教授	ワカバヤシ ノリユキ 若林 則幸 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年4月）	5日
51	専任	教授	アキタ ケイイチ 秋田 恵一 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		人体形態学 口腔形態学 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1前 1通 1通 1～2通	1 1 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
52	専任	教授	オノ タカシ 小野 卓史 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
53	専任	教授	マツタケ ノリユキ 松田 憲之 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		生命理工学概論（英語） 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1後 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和4年1月）	5日
54	専任	教授	マツオ コウイチロウ 松尾 浩一郎 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		口腔保健臨地実習 口腔保健福祉学 口腔保健学演習 口腔保健学実習 課題研究	1通 1後 1通 1通 1～2通	2 2 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年4月）	5日
55	専任	教授	ウエカキ ナオミ 上阪 直史 ＜令和6年10月＞		博士 （生物科学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年4月）	5日
56	専任	教授	ニツタ ヒロシ 新田 浩 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成31年4月）	5日
57	専任	教授	モリ タケヒコ 森 毅彦 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年4月）	5日
58	専任	教授	モリ ヒロキ 森 弘樹 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成30年10月）	5日
59	専任	教授	モリヤマ ケイジ 森山 啓司 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
60	専任	教授	ニシナ ヒロシ 仁科 博史 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		発生・再生科学 細胞生物学特論 生命理工学概論（英語） 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1後 1前 1後 1通 1通 1～2通	2 1 2 4 4 4	2 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
61	専任	教授	セカヅリ カツモリ 瀬川 勝盛 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		生化学 免疫学 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1前 1後 1通 1通 1～2通	2 2 4 4 4	1 2 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年4月）	5日

62	専任	教授	星 治 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		生体検査科学特論Ⅰ 生体検査科学セミナーⅠ 保健学演習 保健学実習 課題研究	1後 1～2通 1通 1通 1～2通	2 1 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
63	専任	教授	清水 秀幸 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医療データ科学概論 生物統計学応用Ⅱ 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1後 1通 1通 1～2通	1 1 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和4年2月）	5日
64	専任	教授	青木 章 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成31年2月）	5日
65	専任	教授	青木 和広 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		薬理学 口腔保健工学特論 口腔保健学演習 口腔保健学実習 課題研究	1前 1前 1通 1通 1～2通	2 2 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成29年2月）	5日
66	専任	教授	石野 智子 ＜令和6年10月＞		博士 （薬学）		環境社会医歯学 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	1 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年8月）	5日
67	専任	教授	川下 将一 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		生体材料学 応用生体材料学 生命理工学概論（英語） 歯科学演習 生命理工学演習 歯科学実習 生命理工学実習 課題研究（無機生体材料学分野） 課題研究（セラミックバイオマテリアル分野）	1前 1前 1後 1通 1通 1通 1通 1～2通 1～2通	2 2 2 4 4 4 4 4 4	2 2 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成31年4月）	5日
68	専任	教授	川淵 孝一 ＜令和6年10月＞		修士 （経営学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
69	専任	教授	前原 健寿 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
70	専任	教授	前田 茂 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年4月）	5日
71	専任	教授	相田 潤 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		口腔疫学基礎 疫学応用 歯科学演習 歯科学実習 課題研究 疫学Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ	1前 1後 1通 1通 1～2通 1後 1～2通 1～2通	1 1 4 4 4 2 6 6	1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年8月）	5日
72	専任	教授	大久保 憲一 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
73	専任	教授	大橋 健一 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		病理病態学 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	1 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年7月）	5日
74	専任	教授	大川 龍之介 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		Basic Human Pathology for Graduate Students 生体検査科学特論Ⅰ 生体検査科学セミナーⅠ 臨床実践特別演習入門 臨床実践特別演習Ⅰ 臨床実践特別演習Ⅱ 保健学演習 保健学実習 課題研究	1前 1後 1～2通 1前 1通 1通 2通 1通 1通 1～2通	1 2 1 1 2 2 4 4 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成31年4月）	5日
75	専任	教授	大野 京子 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成26年8月）	5日
76	専任	教授	大友 康裕 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医療とリーダーシップ 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	1 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
77	専任	教授	池内 真志 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		バイオメディカルデバイス理工学Ⅰ バイオメディカルデバイス理工学Ⅱ 生命理工学概論（英語） 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1前 1後 1後 1通 1通 1～2通	1 1 2 4 4 4	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年10月）	5日

78	専任	教授	ナカムラ ケイコ 中村 桂子 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		環境社会医歯学 医科学演習 医科学実習 課題研究 プラネタリーヘルス 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ	1前 1通 1通 1～2通 1前 1～2通 1～2通	1 4 4 4 2 6 6	1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成28年4月）	5日
79	専任	教授	ナカタ ケイオ 中田 隆夫 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		人体形態学 口腔形態学 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1前 1通 1通 1～2通	1 1 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
80	専任	教授	ナカシマ ヨシカズ 中島 義和 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		バイオメディカルシステム 理工学Ⅰ バイオメディカルシステム 理工学Ⅱ 医療データ科学概論 生命理工学概論（英語） 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1前 1後 1前 1後 1通 1通 1～2通	1 1 1 2 4 4 4	1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成29年4月）	5日
81	専任	教授	ナカシマ トモキ 中島 友紀 ＜令和6年10月＞		博士 （薬学）		細胞生物学特論 歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	1 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成28年3月）	5日
82	専任	教授	オノテキ トシアキ 樗木 俊聡 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		免疫学 細胞生物学特論 医科学演習 医科学実習 課題研究	1後 1前 1通 1通 1～2通	2 1 4 4 4	2 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
83	専任	教授	アサカゲ タカヒロ 朝蔭 孝宏 ＜令和6年10月＞		博士 （生物科学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成27年4月）	5日
84	専任	教授	ツツミ タケシ 堤 剛 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成27年4月）	5日
85	専任	教授	フエキ ケンジ 笛木 賢治 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年9月）	5日
86	専任	教授	タカ テツヤ 田賀 哲也 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		初期研究研修 発生・再生科学 細胞生物学特論 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1後 1前 1通 1通 1～2通	1 2 1 4 4 4	1 2 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
87	専任	教授	タカ ケンタロウ 田中 顕太郎 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成30年10月）	5日
88	専任	教授	タカ シンジ 田中 真二 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		遺伝医学特論 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成26年11月）	5日
89	専任	教授	タナベ ミナル 田邊 稔 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
90	専任	教授	ワタベ テツロウ 渡部 徹郎 ＜令和6年10月＞		博士 （生物科学）		細胞生物学特論 歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	1 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成27年7月）	5日
91	専任	教授	シマダ ケイシ 島田 康史 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年9月）	5日

92	専任	教授	トウタ シュウジ 東田 修二 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	臨床実践特別演習入門 臨床実践特別演習Ⅰ 臨床実践特別演習Ⅱ 医科学演習（臨床検査医学分野） 医科学演習（NCNP脳機能病態学分野） 医科学演習（NCCHD成育医学分野） 医科学演習（都医学分野研疾患分子生物学分野） 医科学演習（JFCR腫瘍制御学分野） 医科学実習（臨床検査医学分野） 医科学実習（NCNP脳機能病態学分野） 医科学実習（NCCHD成育医学分野） 医科学実習（都医学分野研疾患分子生物学分野） 医科学実習（JFCR腫瘍制御学分野） 課題研究（臨床検査医学分野） 課題研究（NCNP脳機能病態学分野） 課題研究（NCCHD成育医学分野） 課題研究（都医学分野研疾患分子生物学分野） 課題研究（JFCR腫瘍制御学分野）	1前 1通 2通 1通 1通 1通 1通 1通 1通 1通 1通 1通 1通 1通 1通 1～2通 1～2通 1～2通 1～2通 1～2通 1～2通	1 2 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科大学 教授 （平成27年9月）	5日
93	専任	教授	フシイ ヤスヒサ 藤井 靖久 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科大学 教授 （平成28年8月）	5日
94	専任	教授	フシワラ タケオ 藤原 武男 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	ポストコロナ社会における感染症対策 疫学基礎 臨床疫学解析演習 医科学演習 医科学実習 課題研究 疫学Ⅰ 疫学Ⅱ 生物統計Ⅱ 医療システム グローバルヘルス 母子保健学 医療ビジネス論 行動科学 環境保健学 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ	1前 1前 2通 1通 1通 1～2通 1前 1後 1後 1後 1前 1前 1後 1前 1後 1後 1後 1～2通 1～2通	1 1 1 4 4 4 2 2 2 2 4 2 2 2 2 2 6 6	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科大学 教授 （平成28年4月）	5日
95	専任	教授	ウチダ シンイチ 内田 信一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科大学 教授 （平成26年8月）	5日
96	専任	教授	ウチダ トクシロウ 内田 篤治郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科大学 教授 （平成28年5月）	5日
97	専任	教授	ニカイトウ アイシ 二階堂 愛 ＜令和6年10月＞		博士（理学）	疾患オミックス情報学特論 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	1 4 4 4	2 1 1 1	東京医科大学 教授 （令和2年4月）	5日
98	専任	教授	フシミ キヨヒデ 伏見 清秀 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	環境社会医歯学 医療社会政策論 医療保険論 医療産業論 医療制度と法 医事紛争と法 生命倫理と法 診療情報管理学 IT時代の医療診断システム とセキュリティー 医療思想史 世界の文化と医療 世界の宗教と死生観 病院設計・病院設備 衛生工学・汚染管理 戦略と組織 財務・会計 医療の人間工学 人的資源管理 医療とコミュニケーション 課題研究（医療管理政策学科目） 医科学演習 医科学実習 課題研究（専門科目）	1前 1前 1前 1前 1前 1前 1前 1前 1前 1前 1前 1前 1前 1前 1前 1後 1後 1後 1後 1前 1～2通 1通 1通 1通 1～2通	1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 4 4 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科大学 教授 （平成31年3月）	5日
99	専任	教授	ヤスタク シンスケ 保田 晋助 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	生体検査科学特論Ⅱ 医科学演習 医科学実習 課題研究	2前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科大学 教授 （令和2年1月）	5日

100	専任	教授	トヨフク アキラ 豊福 明 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
101	専任	教授	ヤサヅヲ トモコ 矢沢 知子 ＜令和6年10月＞		学士 （薬学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和4年6月）	5日
102	専任	教授	タテイシ ウキヒデ 立石 宇貴秀 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		ビッグデータ解析学 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	1 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成26年10月）	5日
103	専任	教授	スズキ トシヒコ 鈴木 敏彦 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成27年7月）	5日
104	専任	教授	スミタ カズタカ 壽美田 一貴 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年10月）	5日
105	専任	教授	サクラダ コウイチ 櫻田 宏一 ＜令和6年10月＞		博士 （生物科学）		環境社会医歯学 歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	1 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成27年3月）	5日
106	専任	教授	アサハラ ヒロシ 浅原 弘嗣 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		生化学 遺伝医学特論 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1前 1通 1通 1～2通	2 2 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
107	専任	教授	シバヤ ヒロシ 澁谷 浩司 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		細胞生物学特論 生命理工学概論（英語） 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1前 1後 1通 1通 1～2通	1 2 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
108	専任	教授	イノムラ ヨシカズ 磯村 宜和 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		人体機能学 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	1 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成31年4月）	5日
109	専任	教授	サイトウ リョウイチ 齋藤 良一 ＜令和6年10月＞		博士 （保健学）		生体検査科学特論Ⅱ 生体検査科学セミナーⅠ 保健学演習 保健学実習 課題研究	2前 1～2通 1通 1通 1～2通	2 1 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年7月）	5日
110	専任	教授	タカハシ ヒデヒコ 高橋 英彦 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医歯学総合概論 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成31年2月）	5日
111	専任	教授	タカハシ ケニヒコ 高橋 邦彦 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		医療データ科学概論 生物統計学基礎 生物統計学応用Ⅰ 生物統計学応用Ⅱ 医科学演習 医科学実習 課題研究 生物統計Ⅰ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ	1前 1前 1後 1後 1通 1通 1通 1～2通 1前 1～2通 1～2通	1 1 1 1 4 4 4 4 2 6 6	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年4月）	5日
112	専任	准教授	アサダ ヒロシ 芦田 浩 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成29年4月）	5日
113	専任	准教授	ナガタ マサシ 永田 将司 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		薬理学 臨床研究・治験	1前 1後	2 1	1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	5日
114	専任	准教授	シバタ ヒロキ 塩飽 裕紀 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年10月）	5日
115	専任	准教授	ヨコイ タロウ 横井 太史 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		生体材料学 応用生体材料学 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1前 1前 1通 1通 1～2通	2 2 4 4 4	2 2 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和元年9月）	5日
116	専任	准教授	キシノ ミツヒロ 岸野 充浩 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和2年4月）	5日
117	専任	准教授	イワキ マイコ 岩城 麻衣子 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		口腔保健工学特論 口腔保健学演習 口腔保健学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
118	専任	准教授	ヨシダ ヲウイチロウ 吉田 宗一郎 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日

119	専任	准教授	ヨシキ ナオキ 吉木 尚之 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和元年10月）	5日
120	専任	准教授	コマタ リカル 駒田 亘 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年1月）	5日
121	専任	准教授	コトリ トシヤス 後藤 利保 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		生命理工学概論（英語） 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1後 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	5日
122	専任	准教授	クノウ アツシ 工藤 篤 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医療機関リスク管理	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （令和元年10月）	5日
123	専任	准教授	クノウ トシフミ 工藤 敏文 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成29年7月）	5日
124	専任	准教授	コウヤ マサヒコ 合屋 雅彦 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医歯学総合概論 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成27年4月）	5日
125	専任	准教授	ネモト ヤスヒロ 根本 泰宏 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
126	専任	准教授	ササキ シュンコ 佐々木 純子 ＜令和6年10月＞		博士 （薬学）		発生・再生科学 細胞生物学特論 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1後 1前 1通 1通 1～2通	2 1 4 4 4	2 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成30年5月）	5日
127	専任	准教授	サトウ タク 佐藤 卓 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		発生・再生科学 医科学演習 医科学実習 課題研究	1後 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	2 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和2年10月）	5日
128	専任	准教授	ササカワ ヨウヘイ 笹川 洋平 ＜令和6年10月＞		博士 （生命科学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年4月）	5日
129	専任	准教授	ヤマノ コウシ 山野 晃史 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
130	専任	准教授	カシマダ ケンイチ 鹿島田 健一 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		遺伝医学特論 臨床遺伝学	1前 1後	2 2	1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年10月）	5日
131	専任	准教授	オカワ タクヤ 小川 卓也 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成31年4月）	5日
132	専任	准教授	オノギ シンヤ 小野木 真哉 ＜令和6年10月＞		博士 （科学）		バイオメディカルシステム 理工学Ⅰ バイオメディカルシステム 理工学Ⅱ 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1前 1後 1通 1通 1～2通	1 1 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和2年4月）	5日
133	専任	准教授	マツモト アキラ 松元 亮 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		バイオメディカルデバイス 理工学Ⅰ バイオメディカルデバイス 理工学Ⅱ	1前 1後	1 1	1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成23年3月）	5日
134	専任	准教授	マツヤマ ユウスケ 松山 祐輔 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		口腔疫学基礎 疫学応用 歯科学演習 歯科学実習 課題研究 疫学Ⅰ 生物統計Ⅱ	1前 1後 1通 1通 1～2通 1前 1後	1 1 4 4 4 2 2	1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年8月）	5日
135	専任	准教授	ヌモト ノブタカ 沼本 修孝 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		分子構造学特論 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1後 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	2 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年6月）	5日
136	専任	准教授	ウエノ タケシ 上野 剛史 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年12月）	5日

137	専任	准教授	シンジョウ ダイスケ 新城 大輔 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		世界の医療制度 医療機能評価 DPCデータ分析概論 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1前 1後 1通 1通 1通 1～2通	1 1 1 4 4 4 4	1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年4月）	5日
138	専任	准教授	モリタ コウジ 森下 幸治 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
139	専任	准教授	モリタ クミコ 森田 久美子 ＜令和6年10月＞		博士 （看護学）		医療計画制度	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	5日
140	専任	准教授	モリタ ケイイチ 森田 圭一 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		ビッグデータ解析学 歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	1 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年11月）	5日
141	専任	准教授	スギハラ ケンイチ 杉原 玄一 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成31年4月）	5日
142	専任	准教授	スギウチ ユリコ 杉内 友理子 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		人体機能学	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	5日
143	専任	准教授	ニシヤマ アキラ 西山 暁 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年5月）	5日
144	専任	准教授	ニシタ ヨウイチロウ 西田 陽一郎 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年5月）	5日
145	専任	准教授	ニシオ ミヅコ 西尾 美和子 ＜令和6年10月＞		博士 （保健学）		生体検査科学特論Ⅱ 生体検査科学セミナーⅠ 保健学演習 保健学実習 課題研究	2前 1～2通 1通 1通 1通 1～2通	2 1 4 4 4 4	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和元年5月）	5日
146	専任	准教授	イシバン ヒロリ 石橋 洋則 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
147	専任	准教授	カワシマ ヨシユキ 川島 慶之 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		臨床遺伝学 医科学演習 医科学実習 課題研究	1後 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成28年5月）	5日
148	専任	准教授	カワシマ ノブユキ 川島 伸之 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		医歯学総合概論 歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年12月）	5日
149	専任	准教授	マエジマ ケイスロ 前嶋 康浩 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和元年10月）	5日
150	専任	准教授	ソハラ エイエイ 蘇原 映誠 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		人体機能学 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	1 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成27年11月）	5日
151	専任	准教授	オオキ メイコ 大木 明子 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		口腔保健工学特論 口腔保健学演習 口腔保健学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成23年4月）	5日
152	専任	准教授	ニリ タカシ 丹羽 節 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		機能分子化学 ケミカルバイオロジー特論 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1後 1前 1通 1通 1通 1～2通	2 2 4 4 4 4	2 2 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年10月）	5日
153	専任	准教授	イケタ ケンジ 池田 賢司 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
154	専任	准教授	イケタ サダカツ 池田 貞勝 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		ビッグデータ解析学 基礎医学概論	1前 1前	1 2	1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成31年1月）	5日
155	専任	准教授	タケチ シュン 竹内 純 ＜令和6年10月＞		博士 （バイオサイエンス）		人体機能学 発生・再生科学 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1前 1後 1通 1通 1通 1～2通	1 2 4 4 4 4	1 2 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成28年11月）	5日

156	専任	准教授	タケチ タシ 竹内 崇 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和2年4月）	5日
157	専任	准教授	ナカマ トウショウ 中山 東城 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
158	専任	准教授	ナカガワ カズハル 中川 量晴 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
159	専任	准教授	ナカムラ トモヤ 中村 智祐 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
160	専任	准教授	ナカハマ ケンイチ 中濱 健一 ＜令和6年10月＞		博士 （学術）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	5日
161	専任	准教授	ハセガワ タカリ 長谷川 嵩矩 ＜令和6年10月＞		博士 （情報学）		医療データ科学概論	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年9月）	5日
162	専任	准教授	トリイ サトル 鳥居 暁 ＜令和6年10月＞		博士 （生命科学）		生化学	1前	2	1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年1月）	5日
163	専任	准教授	ツシノ コウヘイ 辻 耕平 ＜令和6年10月＞		博士 （薬科学）		機能分子化学 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1後 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	2 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年1月）	5日
164	専任	准教授	タムラ アツシ 田村 篤志 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		生体材料学 応用生体材料学	1前 1前	2 2	2 2	東京医科歯科大学 准教授 （平成30年4月）	5日
165	専任	准教授	タナカ ユキエ 田中 ゆきえ ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		生体検査科学セミナーⅠ 保健学演習 保健学実習 課題研究	1～2通 1通 1通 1～2通	1 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年5月）	5日
166	専任	准教授	タナカ ヨウシ 田中 洋次 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年1月）	5日
167	専任	准教授	タバタ マコト 田畑 純 ＜令和6年10月＞		博士 （学術）		人体形態学 口腔形態学 歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1前 1前 1通 1通 1～2通	1 1 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	5日
168	専任	准教授	ワタナベ ヒロシ 渡邊 裕 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成23年4月）	5日
169	専任	准教授	フジイ シンヤ 藤井 晋也 ＜令和6年10月＞		博士 （薬学）		機能分子化学 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1後 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	2 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和元年6月）	5日
170	専任	准教授	ミチ ヤスキ 道 泰之 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		医歯学総合概論 歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年11月）	5日
171	専任	准教授	ナカ ノブトシ 那波 伸敏 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		ポストコロナ社会における 感染症対策 医科学演習 医科学実習 課題研究 疫学Ⅰ 生物統計Ⅱ 医療システム グローバルヘルス 母子保健学 医療ビジネス論 行動科学 環境保健学	1前 1通 1通 1～2通 1前 1後 1前 1前 1後 1前 1前 1後 1後 1後	1 4 4 4 2 2 2 4 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年8月）	5日
172	専任	准教授	クサヤマ ジョウジ 楠山 譲二 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年10月）	5日
173	専任	准教授	ヒラ リイチロウ 平 理一郎 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和2年4月）	5日

174	専任	准教授	ナミキ タケシ 並木 剛 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成29年4月）	5日
175	専任	准教授	ヨネツ タケシ 米津 太志 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年4月）	5日
176	専任	准教授	キタツメ ヨシオ 北詰 良雄 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		先制医療学基礎実習	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （令和元年7月）	5日
177	専任	准教授	ホンマ ヒデノリ 本間 秀典 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
178	専任	准教授	スエカゲ ミツフミ 末永 光邦 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医歯学総合概論	1前	2	1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
179	専任	准教授	キムラ ヲヨシ 木村 剛 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		応用生体材料学 医科学演習 生命理工学演習 医科学実習 生命理工学実習 課題研究（先端バイオマテリアル） 課題研究（物質工学分野）	1前 1通 1通 1通 1通 1通 1～2通 1～2通	2 4 4 4 4 4 4 4	2 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	5日
180	専任	准教授	ナシモト ユウジ 梨本 裕司 ＜令和6年10月＞		博士 （学術）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
181	専任	准教授	タカハシ リコ 立川 敬子 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年1月）	5日
182	専任	准教授	ハヤシ ミキヒト 林 幹人 ＜令和6年10月＞		博士 （学術）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年4月）	5日
183	専任	准教授	スズキ ノブハル 鈴木 喜晴 ＜令和6年10月＞		博士 （地球環境科学）		生体検査科学特論Ⅰ 生体検査科学セミナーⅠ 保健学演習 保健学実習 課題研究	1後 1～2通 1通 1通 1～2通	2 1 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成26年2月）	5日
184	専任	准教授	ワキタ リョウ 脇田 亮 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成26年11月）	5日
185	専任	准教授	トクナガ マサノリ 徳永 正則 ＜令和6年10月＞		学士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成31年4月）	5日
186	専任	講師	アンザイ タツヒコ 安齋 達彦 ＜令和6年10月＞		博士 （医療マネジメント学）		ビッグデータ解析学 生物統計学基礎 生物統計学応用Ⅰ 生物統計学応用Ⅱ 医科学演習 医科学実習 課題研究 生物統計Ⅰ	1前 1前 1後 1後 1通 1通 1通 1～2通 1前	1 1 1 1 4 4 4 4 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年9月）	5日
187	専任	講師	イシミ アヤ 伊角 彩 ＜令和6年10月＞		博士 （国際公共政策）		疫学応用 医科学演習 医科学実習 課題研究 母子保健学	1後 1通 1通 1～2通 1後	1 4 4 4 2	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年10月）	5日
188	専任	講師	イトウ マイ 伊藤 真以 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医歯学総合概論 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
189	専任	講師	イトウ タク 伊藤 卓 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
190	専任	講師	イシジ モトキ 稲次 基希 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	5日
191	専任	講師	ウカジマ ツカサ 宇賀神 つかさ ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成29年4月）	5日

192	専任	講師	ウツノ ハジメ 宇都野 創 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年7月）	5日
193	専任	講師	ヨコヤマ ユキ 横山 由紀 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年7月）	5日
194	専任	講師	オカダ エリコ 岡田 英理子 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成26年4月）	5日
195	専任	講師	オカモト ケンタロウ 岡本 健太郎 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成28年4月）	5日
196	専任	講師	カナノ ヨシヒト 加納 嘉人 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		薬理学	1前	2	1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
197	専任	講師	カキノ サトコ 柿野 聡子 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成30年4月）	5日
198	専任	講師	カナuchi タカシ 叶内 匡 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成28年1月）	5日
199	専任	講師	カマタニ タカシ 鎌谷 高志 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
200	専任	講師	カモイ コウシヅ 鴨居 功樹 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成25年4月）	5日
201	専任	講師	イワイ ヒデユキ 岩井 秀之 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医歯学総合概論	1前	2	1	東京医科歯科大学 講師 （平成25年4月）	4日
202	専任	講師	ヨシタケ ヒロユキ 儀武 啓幸 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年12月）	5日
203	専任	講師	ミヤタケ カズマサ 宮武 和正 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
204	専任	講師	クリモト リョウタ 栗本 遼太 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		生化学 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	5日
205	専任	講師	クワハラ ヒロヤ 桑原 宏哉 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和2年8月）	5日
206	専任	講師	ハラ リンタロウ 原 倫太郎 ＜令和6年10月＞		博士 （生命科学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年6月）	5日
207	専任	講師	フルサワ ハルヒコ 古澤 春彦 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
208	専任	講師	トダ カズマ 戸田 一真 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成27年4月）	5日
209	専任	講師	ホリミチ シュン 細道 純 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	5日
210	専任	講師	ホリヤ タカシ 細矢 匡 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	5日
211	専任	講師	ヤマモト ヒロト 山本 寛人 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	5日

212	専任	講師	ヤマモト コウヘイ 山本 浩平 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		病理病態学 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	1 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
213	専任	講師	ヤマモト マサヒデ 山本 正英 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医歯学総合概論 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成30年4月）	5日
214	専任	講師	アキヤマ ヨシミツ 秋山 好光 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		遺伝医学特論 医科学演習 医科学実習 課題研究 基礎医学概論	1前 1通 1通 1～2通 1前	2 4 4 4 2	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成15年7月）	5日
215	専任	講師	ハルキ シゲオ 春木 茂男 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
216	専任	講師	コミヤ チカラ 小宮 力 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医歯学総合概論 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
217	専任	講師	コフジマ サトシ 小藤 智史 ＜令和6年10月＞		博士 （薬学）		発生・再生科学 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1後 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	2 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和元年12月）	5日
218	専任	講師	オノ ヒロアキ 小野 宏晃 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年11月）	5日
219	専任	講師	マツムラ トモカ 松村 朋香 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成30年2月）	5日
220	専任	講師	マツタケ ユウヘイ 松田 悠平 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		口腔保健学演習 口腔保健学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
221	専任	講師	マツモト ヨシロウ 松本 芳郎 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	5日
222	専任	講師	モリ シュウスケ 森 周介 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
223	専任	講師	モリタ アヤコ 森田 彩子 ＜令和6年10月＞		博士 （生物科学）		医科学演習 医科学実習 課題研究 疫学Ⅰ 生物統計Ⅱ 医療システム グローバルヘルス 母子保健学 医療ビジネス論 行動科学 環境保健学	1通 1通 1～2通 1前 1後 1前 1前 1後 1前 1後 1後 1後	4 4 4 2 2 2 4 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成30年11月）	5日
224	専任	講師	ミヅタニ トモヒロ 水谷 知裕 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
225	専任	講師	セイノ カオルコ 清野 薫子 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究 プラネタリーヘルス	1通 1通 1～2通 1前	4 4 4 2	1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	5日
226	専任	講師	イシイ トモヒロ 石井 智浩 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成28年4月）	5日
227	専任	講師	アカホシ ケイイチ 赤星 径一 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年11月）	5日
228	専任	講師	クラタ モリト 倉田 盛人 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		病理病態学	1前	1	1	東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	5日
229	専任	講師	オノ カズチカ 大野 十央 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成30年10月）	5日

230	専任	講師	タニ ユカ 谷 友香子 ＜令和6年10月＞		博士 (生物 科学)		疫学基礎 疫学応用 臨床疫学解析演習 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1後 2通 1通 1通 1～2通	1 1 1 4 4 4	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 (令和4年7月)	5日
231	専任	講師	イケダ マサミ 池田 正臣 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		口腔保健工学特論 口腔保健学演習 口腔保健学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 (平成23年4月)	5日
232	専任	講師	タケチ ヤスオ 竹内 康雄 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 (平成29年4月)	5日
233	専任	講師	ナカガワ ツヨシ 中川 剛士 ＜令和6年10月＞		博士 (医 学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 (平成27年4月)	5日
234	専任	講師	ナガノ ヒカル 長岡 ひかる ＜令和6年10月＞		博士 (農 学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 (令和4年4月)	5日
235	専任	講師	ナガオ トシカズ 長尾 俊景 ＜令和6年10月＞		博士 (医 学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 (令和4年4月)	5日
236	専任	講師	タナ ヒカリ 田中 ひかり ＜令和6年10月＞		博士 (医 学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 (令和4年5月)	5日
237	専任	講師	タナ ハジメ 田中 一 ＜令和6年10月＞		博士 (医 学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 (令和2年4月)	5日
238	専任	講師	タナ ダイスケ 田中 大介 ＜令和6年10月＞		博士 (理 学)		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 (令和3年4月)	5日
239	専任	講師	タガシラ ヤスキ 田頭 保彰 ＜令和6年10月＞		博士 (医 学)		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 (令和4年8月)	5日
240	専任	講師	ワタナベ モトコ 渡邊 素子 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 (令和4年4月)	5日
241	専任	講師	ワタナベ サトシ 渡邊 聡 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 (令和3年12月)	5日
242	専任	講師	ワタナベ リョウスケ 渡邊 亮輔 ＜令和6年10月＞		博士 (医 学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 (令和4年4月)	5日
243	専任	講師	ヒガシナリ ノリヒサ 東堀 紀尚 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 (平成31年4月)	5日
244	専任	講師	フジノ ジュンヤ 藤野 純也 ＜令和6年10月＞		博士 (医 学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 (令和4年4月)	5日
245	専任	講師	トミカ ヒロフミ 富岡 寛文 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 (令和3年12月)	5日
246	専任	講師	ヒライ タカシ 平井 高志 ＜令和6年10月＞		博士 (医 学)		医歯学総合概論	1前	2	1	東京医科歯科大学 講師 (令和2年4月)	5日
247	専任	講師	ヒライシ ノリコ 平石 典子 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 (平成31年1月)	5日
248	専任	講師	ベツフ マサシ 別府 正志 ＜令和6年10月＞		博士 (医 学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 (平成16年11月)	5日

249	専任	講師	キカヰ リオ 北河 憲雄 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年9月）	5日
250	専任	講師	ノサ ノヰ 野坂 宜之 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
251	専任	講師	ノヰ コウサ 野崎 浩佑 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		医歯学総合概論 歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年8月）	5日
252	専任	講師	アリヰ ミ ヨウサ 有泉 陽介 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成28年4月）	5日
253	専任	講師	ワヰ タヒロ 和田 敬広 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年10月）	5日
254	専任	講師	ワヰ コウイチ 榑 康一 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	5日
255	専任	講師	トミ ケンイチ 礪波 健一 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	5日
256	専任	講師	サイトウ テウヤ 齋藤 鉄也 ＜令和6年10月＞		博士 （薬学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
257	専任	講師	サイトウ ケンタ 齋藤 健太 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	5日
258	専任	講師	タカヒ ヒロシ 高瀬 博 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成24年4月）	5日
259	専任	助教	アライン アントニオ リオス タビラ ALAIN ANTONIO RIOS ＜令和6年10月＞		博士 （学術）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年10月）	5日
260	専任	助教	クヰプル ドミニク KOEPL DOMINIK ＜令和6年10月＞		Dr. rer. nat. in Computer Science		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年9月）	5日
261	専任	助教	プー ジン PU JING ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年10月）	5日
262	専任	助教	アヰチ ナホ 安達 奈穂子 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		口腔保健臨地実習 口腔保健福祉学 口腔保健学演習 口腔保健学実習 課題研究	1通 1後 1通 1通 1～2通	2 2 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成30年4月）	5日
263	専任	助教	イトウ タケヤ 伊藤 孝哉 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年7月）	5日
264	専任	助教	イトウ カテヰ 伊藤 奏 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		口腔保健臨地実習 口腔保健福祉学 口腔保健学演習 口腔保健学実習 課題研究	1通 1後 1通 1通 1～2通	2 2 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成30年4月）	5日
265	専任	助教	イハラ ケンサ 井原 健介 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成27年9月）	5日
266	専任	助教	イノウエ カタジナアンナ 井上 カタジナアンナ ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		生化学 歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日
267	専任	助教	イノウエ コヰ 井上 剛 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日

268	専任	助教	イモチ ムカ 稲用 友佳 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	5日
269	専任	助教	シサヅ マホ 塩沢 真穂 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		口腔保健工学特論 口腔保健学演習 口腔保健学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成29年5月）	5日
270	専任	助教	オカモト ヨシミ 岡本 好海 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
271	専任	助教	オカノ トクシヅ 岡野 徳壽 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年3月）	5日
272	専任	助教	ハナヅノ ユウヤ 花園 祐矢 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		分子構造学特論 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1後 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	2 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年7月）	5日
273	専任	助教	エビハラ アラタ 海老原 新 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成19年4月）	5日
274	専任	助教	ウミセ アキラ 海瀬 晃 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		生体材料学 応用生体材料学	1前 1前	2 2	2 2	東京医科歯科大学 助教 （平成29年4月）	5日
275	専任	助教	カヤマリ コウ 栢森 高 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		病理病態学	1前	1	1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日
276	専任	助教	セキグチ マサキ 関口 将軌 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成21年1月）	5日
277	専任	助教	イワハラ ユキ 岩原 由樹 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年4月）	5日
278	専任	助教	カメタマ ケイヒロ 亀田 貴寛 ＜令和6年10月＞		博士 （保健学）		生体検査科学セミナーⅠ 保健学演習 保健学実習 課題研究	1～2通 1通 1通 1～2通	1 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和元年10月）	5日
279	専任	助教	ヨシカ コウタロウ 吉岡 耕太郎 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
280	専任	助教	ヨシハラ ショウゴ 吉原 壮悟 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
281	専任	助教	ミヤマス アンナ 宮安 杏奈 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
282	専任	助教	ミヤタ ユウゴ 宮田 佑吾 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年12月）	5日
283	専任	助教	ミヤジマ ミホ 宮島 美穂 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成23年4月）	5日
284	専任	助教	ハシモト ヨシヒデ 橋本 良秀 ＜令和6年10月＞		博士 （学術）		応用生体材料学 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	2 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成27年10月）	5日
285	専任	助教	カヤマ ケイコ 金山 敬子 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
286	専任	助教	カヤマ マサシ 金山 剛士 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成29年6月）	5日
287	専任	助教	クマガイ タカシ 熊谷 貴 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成19年4月）	5日

288	専任	助教	クリタ カシ 栗田 崇史 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年1月）	5日
289	専任	助教	クワバラ ヒロミ 桑原 宏文 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和元年10月）	5日
290	専任	助教	ハラダ マサヨ 原田 理代 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		発生・再生科学 医科学演習 医科学実習 課題研究	1後 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	2 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日
291	専任	助教	イガラシ イサオ 五十嵐 公 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成19年4月）	5日
292	専任	助教	イガラシ タエ 五十嵐 多恵 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成27年7月）	5日
293	専任	助教	タカヤマ リカル 高山 渉 ＜令和6年10月＞		学士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年4月）	5日
294	専任	助教	クロシマ タケシ 黒嶋 雄志 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成29年7月）	5日
295	専任	助教	サトウ ケイスケ 佐藤 啓介 ＜令和6年10月＞		博士 （農学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日
296	専任	助教	ザイツ カシ 財津 崇 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成23年4月）	5日
297	専任	助教	サカウエ フミカ 坂上 史佳 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成27年4月）	5日
298	専任	助教	サカタ ユウキ 坂田 優希 ＜令和6年10月＞		修士 （工学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年4月）	5日
299	専任	助教	サカキバラ リエ 榊原 里江 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年10月）	5日
300	専任	助教	ミヨシ マサト 三好 正人 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年5月）	5日
301	専任	助教	サエガサ ヒロオ 三枝 弘尚 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成19年4月）	5日
302	専任	助教	ヤマカ ユイ 山岡 祐衣 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究 疫学Ⅰ 医療システム 母子保健学 環境保健学	1通 1通 1～2通 1前 1前 1後 1後	4 4 4 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年6月）	5日
303	専任	助教	ヤマカゲチ コウヘイ 山口 浩平 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
304	専任	助教	ヤマカゲチ ジュンシ 山口 純司 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		生体検査科学セミナーⅠ 保健学演習 保健学実習 課題研究	1～2通 1通 1通 1～2通	1 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
305	専任	助教	ヤマネ マリコ 山根 万里子 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年4月）	5日
306	専任	助教	ヤマウチ シンイチ 山内 慎一 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成26年10月）	5日

307	専任	助教	ヤマモト クララ 山本 くらら ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年10月）	5日
308	専任	助教	ヤマモト ユウタ ^イ 山本 雄大 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年2月）	5日
309	専任	助教	ヤマザキ トシキ 山崎 俊輝 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
310	専任	助教	ヤマザキ ヨウコ 山崎 陽子 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日
311	専任	助教	カシマダ アヤコ 鹿島田 彩子 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成26年4月）	5日
312	専任	助教	ムロウ サトル 室生 暁 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年4月）	5日
313	専任	助教	ムロタ ヨシカ 室田 吉貴 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年4月）	5日
314	専任	助教	シバタ ショウ 柴田 翔 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年10月）	5日
315	専任	助教	シュウ クン 周 君 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年7月）	5日
316	専任	助教	シュウ トウハク 周 東博 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
317	専任	助教	コマツヤ フミカ 小松谷 史香 ＜令和6年10月＞		博士 （生命化学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年8月）	5日
318	専任	助教	コハ ^イ ヤカリ タケヤ 小早川 拓也 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成29年10月）	5日
319	専任	助教	オノ タケヒト 小野 岳人 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年2月）	5日
320	専任	助教	コハ ^イ ヤシ ミホ 小林 美穂 ＜令和6年10月＞		博士 （生命科学）		生化学 歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和元年5月）	5日
321	専任	助教	マツザキ キョウコ 松崎 京子 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		生化学	1前	2	1	東京医科歯科大学 助教 （平成27年5月）	5日
322	専任	助教	マツシマ タカヒデ ^イ 松島 隆英 ＜令和6年10月＞		博士 （薬学）		生化学 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年1月）	5日
323	専任	助教	マツモト コキコ 松本 有紀子 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和元年12月）	5日
324	専任	助教	ウエダ ^イ ヒロキ 上田 浩樹 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年6月）	5日
325	専任	助教	ウエダ ^イ マホコ 上田 真保子 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年7月）	5日
326	専任	助教	カシ ^イ ョウ シンゴ ^イ 上條 真吾 ＜令和6年10月＞		修士 （学術）		口腔保健工学特論 口腔保健学演習 口腔保健学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年4月）	5日

327	専任	助教	ケムラ ノリコ 植村 法子 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成26年4月）	5日
328	専任	助教	シンザワ ナオキ 新澤 直明 ＜令和6年10月＞		博士 （薬学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成29年7月）	5日
329	専任	助教	モリ ミホ 森 美央 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和元年6月）	5日
330	専任	助教	モリ ユウタロウ 森 雄太郎 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年2月）	5日
331	専任	助教	モリカ シ 森岡 真 ＜令和6年10月＞		博士 （薬学）		医科学演習 生命理工学演習 医科学実習 生命理工学実習 課題研究（脂質生物学分野） 課題研究（細胞分子医学分野）	1通 1通 1通 1通 1～2通 1～2通	4 4 4 4 4 4	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年6月）	5日
332	専任	助教	スサ コウイチロウ 須佐 紘一郎 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成26年11月）	5日
333	専任	助教	フキノ ケイコ 吹野 恵子 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年7月）	5日
334	専任	助教	ミズタニ コウジ 水谷 幸嗣 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日
335	専任	助教	スギヤマ トモヨ 杉山 知代 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年10月）	5日
336	専任	助教	スギノ タカアキ 杉野 貴明 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		バイオメディカルシステム 理工学Ⅰ バイオメディカルシステム 理工学Ⅱ 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1前 1後 1通 1通 1～2通	1 1 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	5日
337	専任	助教	シミス マサヒロ 清水 幹容 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		生化学 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和元年9月）	5日
338	専任	助教	ニシダ ヨウキ 西田 優紀 ＜令和6年10月＞		修士 （保健学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
339	専任	助教	アオヤマ シンロウ 青山 二郎 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
340	専任	助教	イシマル ミホ 石丸 美穂 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		口腔疫学基礎 疫学応用 歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1前 1後 1通 1通 1～2通	1 1 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
341	専任	助教	イシタ リョウスケ 石田 良典 ＜令和6年10月＞		博士 （薬科学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年9月）	5日
342	専任	助教	アカサミ ミホ 赤座 実穂 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		Basic Human Pathology for Graduate Students 生体検査科学特論Ⅱ 生体検査科学セミナーⅠ 保健学演習 保健学実習 課題研究	1前 2前 1～2通 1通 1通 1～2通	1 2 1 4 4 4	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成29年4月）	5日
343	専任	助教	アカシ ユウ 赤石 雄 ＜令和6年10月＞		博士 （医学教育学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年10月）	5日
344	専任	助教	チハナ トモキ 千葉 朋希 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		生化学 発生・再生科学 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1後 1通 1通 1～2通	2 2 4 4 4	1 2 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成28年5月）	5日

345	専任	助教	カワベシ マサヒコ 川岸 将彦 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成19年4月)	5日
346	専任	助教	カワバタ マサナリ 川端 政則 ＜令和6年10月＞		博士 (工 学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和3年4月)	5日
347	専任	助教	アサミ ユウタロウ 浅見 裕太郎 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和4年7月)	5日
348	専任	助教	アサノ トシフミ 浅野 豪文 ＜令和6年10月＞		博士 (理 学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成27年1月)	5日
349	専任	助教	アダチ リツカ 足立 礼孝 ＜令和6年10月＞		博士 (理 学)		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和3年12月)	5日
350	専任	助教	オオタ ユウスケ 太田 悠介 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		生体検査科学セミナーⅠ 保健学演習 保健学実習 課題研究	1～2通 1通 1通 1～2通	1 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和3年3月)	5日
351	専任	助教	オオハラ マサヒロ 大原 正裕 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和4年8月)	5日
352	専任	助教	オオニシ テツオ 大西 哲生 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		神経疾患特論	1前	2	2	東京医科歯科大学 助教 (令和3年4月)	5日
353	専任	助教	オオイシ アツシ 大石 敦之 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和3年4月)	5日
354	専任	助教	タケウチ アツヤ 竹内 敦也 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和3年4月)	5日
355	専任	助教	カナネ アヤコ 中根 綾子 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成21年12月)	5日
356	専任	助教	カニシ ヒデユキ 中西 秀之 ＜令和6年10月＞		博士 (薬 学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和4年4月)	5日
357	専任	助教	カムラ シン 中村 伸 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成19年4月)	5日
358	専任	助教	ナカタ ヒデミ 中田 秀美 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成27年8月)	5日
359	専任	助教	ハセガワ シンヤ 長谷川 純矢 ＜令和6年10月＞		薬学博 士		医科学演習 生命理工学演習 医科学実習 生命理工学実習 課題研究（脂質生物学分野） 課題研究（細胞分子医学分野）	1通 1通 1通 1通 1～2通 1～2通	4 4 4 4 4 4	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成30年7月)	5日
360	専任	助教	ツジ ミチコ 辻 美千子 ＜令和6年10月＞		学士 (歯 学)		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成19年4月)	5日
361	専任	助教	ツジモト カズタカ 辻本 和峰 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		人体機能学 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	1 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成29年4月)	5日
362	専任	助教	タケチ シュンペイ 田口 純平 ＜令和6年10月＞		博士 (工 学)		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和元年7月)	5日
363	専任	助教	タムラ カオル 田村 郁 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成24年4月)	5日

364	専任	助教	タオ スム 田尾 進 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年1月）	5日
365	専任	助教	トイ サミ 土井 理美 ＜令和6年10月＞		博士 （臨床心理学）		疫学応用 医科学演習 医科学実習 課題研究 行動科学	1後 1通 1通 1～2通 1後	1 4 4 4 2	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年10月）	5日
366	専任	助教	ツチダ ユキミ 土田 優美 ＜令和6年10月＞		修士 （口腔保健学）		口腔保健工学特論 口腔保健学演習 口腔保健学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	5日
367	専任	助教	シマブクロ マサヤ 島袋 将弥 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		歯科学演習 生命理工学演習 歯科学実習 生命理工学実習 課題研究（無機生体材料科学分野） 課題研究（セラミックバイオマテリアル分野）	1通 1通 1通 1通 1～2通 1～2通	4 4 4 4 4 4	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
368	専任	助教	シマダ シュウ 島田 周 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日
369	専任	助教	ヒガシ ミ 東 美和 ＜令和6年10月＞		学士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成30年5月）	5日
370	専任	助教	フジイ サトル 藤井 悟 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
371	専任	助教	フジカ タロウ 藤川 太郎 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成27年10月）	5日
372	専任	助教	フジシロ ヒトミ 藤代 瞳 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		生体検査科学セミナーⅠ 臨床実践特別演習入門 臨床実践特別演習Ⅰ 臨床実践特別演習Ⅱ 保健学演習 保健学実習 課題研究	1～2通 1前 1通 2通 2通 1通 1通 1～2通	1 1 2 2 4 4 4	1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	5日
373	専任	助教	フジタ キョウヘイ 藤田 恭平 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年6月）	5日
374	専任	助教	フジキ タミ 藤木 珠美 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
375	専任	助教	クスト ヤスカ 楠本 康香 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成23年1月）	5日
376	専任	助教	ヒタカ レナ 日高 玲奈 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		口腔保健臨地実習 口腔保健福祉学 口腔保健学演習 口腔保健学実習 課題研究	1通 1後 1通 1通 1通 1～2通	2 2 4 4 4 4	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成30年4月）	5日
377	専任	助教	ハタノ メグミ 波多野 恵 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年10月）	5日
378	専任	助教	ハバ シュンイチ 馬場 峻一 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年4月）	5日
379	専任	助教	ウメリ サチ 梅森 幸 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日
380	専任	助教	ウメザワ ヨシヒロ 梅澤 佳央 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成30年4月）	5日
381	専任	助教	ウメザワ ナツカ 梅澤 夏佳 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成29年4月）	5日

382	専任	助教	ヤキョウ ヨウスケ 八木 洋輔 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成29年4月）	5日
383	専任	助教	イトナ ケンタ 飯谷 健太 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		バイオメディカルデバイス 理工学Ⅰ バイオメディカルデバイス 理工学Ⅱ 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1前 1後 1通 1通 1～2通	1 1 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年2月）	5日
384	専任	助教	ソシジマ ユリエ 副島 友莉恵 ＜令和6年10月＞		博士 （保健学）		Basic Human Pathology for Graduate Students 生体検査科学特論Ⅰ 臨床実践特別演習入門 臨床実践特別演習Ⅰ 臨床実践特別演習Ⅱ	1前 1後 1前 1通 2通	1 2 1 2 2	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成27年4月）	5日
385	専任	助教	フクダ ショウヘイ 福田 翔平 ＜令和6年10月＞		学士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年4月）	5日
386	専任	助教	フクシマ ユウタ 福島 雄大 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和元年5月）	5日
387	専任	助教	ワケジマ リョウ 分島 良 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年4月）	5日
388	専任	助教	ヒライ サキヨウ 平井 作京 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年4月）	5日
389	専任	助教	ヒラカ ユウイチ 平岡 優一 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		神経疾患特論	1前	2	2	東京医科歯科大学 助教 （平成28年7月）	5日
390	専任	助教	ヒラタ コウセイ 平田 浩聖 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年8月）	5日
391	専任	助教	カタラ マイ 片倉 麻衣 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年8月）	5日
392	専任	助教	ミサキ シ サキ 峰岸 沙希 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年7月）	5日
393	専任	助教	ホリ タケシ 堀 武志 ＜令和6年10月＞		博士 （薬科学）		バイオメディカルシステム 理工学Ⅰ バイオメディカルシステム 理工学Ⅱ 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1前 1後 1通 1通 1～2通	1 1 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年8月）	5日
394	専任	助教	ホンマ サトル 本間 達 ＜令和6年10月＞		博士 （保健学）		生体検査科学セミナーⅠ 保健学演習 保健学実習 課題研究	1～2通 1通 1通 1～2通	1 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成19年4月）	5日
395	専任	助教	キムラ ヤスキ 木村 康之 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
396	専任	助教	キムラ ヨウスケ 木村 雄亮 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日

397	専任	助教	キノ シホ 木野 志保 ＜令和6年10月＞		PhD in Epidemi- ology and Public Health		口腔疫学基礎 疫学応用 歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1前 1後 1通 1通 1～2通	1 1 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和4年4月)	5日
398	専任	助教	ノガミ アヤコ 野上 彩子 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成28年4月)	5日
399	専任	助教	ヤイ ショウゴ 柳井 翔吾 ＜令和6年10月＞		博士 (理学)		医科学演習 生命理工学演習 医科学実習 生命理工学実習 課題研究（脂質生物学分野） 課題研究（細胞分子医学分野）	1通 1通 1通 1通 1～2通 1～2通	4 4 4 4 4 4	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和4年6月)	5日
400	専任	助教	トモツ ノブヨシ 友松 伸允 ＜令和6年10月＞		博士 (歯学)		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成30年4月)	5日
401	専任	助教	アリカ ヨシノリ 有坂 慶紀 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		生体材料学 応用生体材料学	1前 1前	2 2	2 2	東京医科歯科大学 助教 (平成27年4月)	5日
402	専任	助教	ハヤシ カイ 林 海里 ＜令和6年10月＞		博士 (歯学)		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和4年7月)	5日
403	専任	助教	スズキ ヒトミ 鈴木 瞳 ＜令和6年10月＞		博士 (口腔 保健福祉学)		口腔保健臨地実習 口腔保健福祉学 口腔保健学演習 口腔保健学実習 課題研究	1通 1後 1通 1通 1通 1～2通	2 2 4 4 4 4	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成31年4月)	5日
404	専任	助教	ワタニ ジュンイチロウ 和田 淳一郎 ＜令和6年10月＞		博士 (歯学)		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成25年10月)	5日
405	専任	助教	クニヨシ カナコ 國吉 佳奈子 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和3年4月)	5日
406	専任	助教	タカキ シュンスケ 高木 俊輔 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成28年4月)	5日
407	兼任	教授	ナカタ テツヤ 永田 哲也 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		遺伝医学特論	1前	2	1	東京医科歯科大学 教授 (令和4年8月)	
408	兼任	教授	セキヤ イチロウ 関矢 一郎 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		発生・再生科学 医科学演習 医科学実習 課題研究	1後 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	2 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	
409	兼任	教授	ヨシダ マサユキ 吉田 雅幸 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		初期研究研修 研究倫理・医療倫理学 先制医療学基礎実習 人類遺伝学 臨床遺伝学 遺伝カウンセリング学 研究倫理演習 遺伝カウンセリング実習 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1前 1前 1前 1後 1通 1～2通 1～2通 1通 1通 1～2通	1 1 1 2 2 3 1 6 4 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	
410	兼任	教授	ミヤウチ アキヒロ 宮内 昭浩 ＜令和6年10月＞		博士 (工学)		医歯薬産業技術特論	1後	1	1	東京医科歯科大学 教授 (平成30年1月)	
411	兼任	教授	カナイ マサミ 金井 正美 ＜令和6年10月＞		博士 (農学)		初期研究研修 発生・再生科学 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1後 1通 1通 1～2通	1 2 4 4 4	1 2 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	
412	兼任	教授	カネダ ネヒロカズ 金兼 弘和 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		医歯学総合概論	1前	2	1	東京医科歯科大学 教授 (平成30年7月)	
413	兼任	教授	アラカリ サトコ 荒川 聡子 ＜令和6年10月＞		博士 (理学)		発生・再生科学	1後	2	2	東京医科歯科大学 教授 (令和4年5月)	

414	兼担	教授	ササキ ヨシコ 佐々木 吉子 ＜令和6年10月＞		博士 (看護学)		保健医療情報学	1前	2	1	東京医科歯科大学 教授 (平成26年4月)	
415	兼担	教授	コイケ リュウジ 小池 竜司 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		先端医療技術・産学連携 臨床研究・治験 先制医療学実習 基礎医学概論	1後 1後 1前 1前	1 1 2 2	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成27年3月)	
416	兼担	教授	イシカワ キンヤ 石川 欽也 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		遺伝医学特論 先制医療学実習 臨床遺伝学 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1前 1後 1通 1通 1～2通	2 2 2 4 4 4	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成27年1月)	
417	兼担	教授	タケカ トシヒロ 田中 敏博 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		初期研究研修 遺伝医学特論 ビッグデータ解析学 先制医療学基礎実習 人類遺伝学 医科学演習 医科学実習 課題研究 基礎医学概論	1前 1前 1前 1前 1前 1通 1通 1～2通 1前	1 2 1 1 2 4 4 4 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年4月)	
418	兼担	教授	タサヰ リュウジ 田澤 立之 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		医歯学総合概論 人体機能学 人類遺伝学	1前 1前 1前	2 1 2	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和元年6月)	
419	兼担	教授	ナラ マサキ 奈良 雅之 ＜令和6年10月＞		博士 (理学)		分子構造学特論 時間・空間の分子生命科学 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1後 1後 1通 1通 1～2通	2 1 4 4 4	2 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成22年4月)	
420	兼担	教授	イイタ カオリ 飯田 香緒里 ＜令和6年10月＞		博士 (学術)		初期研究研修 先端医療技術・産学連携	1前 1後	1 1	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年9月)	
421	兼担	教授	タケハ カナリ 武部 貴則 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成30年2月)	
422	兼担	教授	ヒラカワ アキヒロ 平川 晃弘 ＜令和6年10月＞		博士 (工学)		環境社会医歯学 臨床研究・治験 先制医療学実習 臨床試験方法論基礎 臨床試験方法論応用 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1後 1前 1前 1前 1後 1通 1通 1～2通	1 1 2 1 1 1 4 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和2年4月)	
423	兼担	教授	キノシタ アツヒロ 木下 淳博 ＜令和6年10月＞		博士 (歯学)		初期研究研修 歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	1 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	
424	兼担	教授	アイ マスミ 藍 真澄 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		医療機能評価 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	1 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年7月)	
425	兼担	教授	ヒエタ マツナリ 檜枝 光憲 ＜令和6年10月＞		博士 (理学)		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成27年4月)	
426	兼担	教授	タカダ カヅキ 高田 和生 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		医科学演習 医科学実習 課題研究 基礎医学概論 医療システム 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ	1通 1通 1～2通 1前 1前 1前 1～2通 1～2通	4 4 4 2 2 6 6	1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成24年12月)	
427	兼担	教授	タカギ マサトシ 高木 正稔 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		発生・再生科学 人類遺伝学	1後 1前	2 2	2 1	東京医科歯科大学 教授 (令和4年10月)	
428	兼担	教授	イサヰ リ ショウジ 稲澤 譲治 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		人類遺伝学	1前	2	1	東京医科歯科大学 教授 (令和4年4月)	

429	兼任	准教授	キャネル デビッド CANNELL DAVID ＜令和6年10月＞		PhD East Asian Languag es and Literat ures		初期研究研修	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （平成26年6月）	
430	兼任	准教授	ジヤネル ルネ モロス JANELLE RENEE MOROSS ＜令和6年10月＞		准学士 （看護）		英語交渉・ディベート特論 基礎医学概論	1前 1前	2 2	1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成26年2月）	
431	兼任	准教授	カグイ タカシ 永石 宇司 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		人体機能学	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （平成29年4月）	
432	兼任	准教授	ヨヤマ ミナト 横山 みなと ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年8月）	
433	兼任	准教授	エカワ マキコ 江川 真希子 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		遺伝医学特論 研究倫理・医療倫理学 人類遺伝学 臨床遺伝学 遺伝カウンセリング学 研究倫理演習 遺伝カウンセリング実習	1前 1前 1前 1後 1通 1～2通 1～2通	2 1 2 2 3 1 6	1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成31年4月）	
434	兼任	准教授	モリタキ ムツコ 森脇 睦子 ＜令和6年10月＞		博士 （保健学）		医療とリーダーシップ	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年4月）	
435	兼任	准教授	イシガロ メグミ 石黒 めぐみ ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		先制医療学実習	1前	2	1	東京医科歯科大学 准教授 （平成30年10月）	
436	兼任	准教授	イシカワ トモリ 石川 智則 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		臨床遺伝学	1後	2	1	東京医科歯科大学 准教授 （令和元年10月）	
437	兼任	准教授	フナト ノリコ 船戸 紀子 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成26年4月）	
438	兼任	准教授	カガホリ マサカズ 長堀 正和 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		先制医療学実習	1前	2	1	東京医科歯科大学 准教授 （平成30年4月）	
439	兼任	准教授	ツルタ ジュン 鶴田 潤 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		環境社会医歯学 保健医療情報学 歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1前 1前 1通 1通 1～2通	1 2 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	
440	兼任	准教授	ツチヤ ジュンイチ 土屋 純一 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		ビッグデータ解析学	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年4月）	
441	兼任	准教授	トクナガ シンイチ 徳永 伸一 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成19年4月）	
442	兼任	准教授	アジノカ イツキ 味岡 逸樹 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		神経疾患特論	1前	2	2	東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	
443	兼任	准教授	アカシ タカミ 明石 巧 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		病理病態学 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	1 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	
444	兼任	准教授	キツギ マサシ 木津喜 雅 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医療計画制度 グローバルヘルス	1前 1前	1 4	1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年1月）	

445	兼任	講師	カシハラ ミチコ 梶原 道子 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		臨床実践特別演習入門 臨床実践特別演習Ⅰ 臨床実践特別演習Ⅱ	1前 1通 2通	1 2 2	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	
446	兼任	講師	エハナ ユウスケ 江花 有亮 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		初期研究研修 研究倫理・医療倫理学 先制医療学基礎実習 人類遺伝学 遺伝カウンセリング学 研究倫理演習 遺伝カウンセリング実習 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1前 1前 1前 1通 1～2通 1～2通 1通 1通 1～2通	1 1 1 2 3 1 6 4 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成27年5月）	
447	兼任	講師	コウハタ ヒロコ 甲畑 宏子 ＜令和6年10月＞		博士 （学術）		研究倫理・医療倫理学 先制医療学基礎実習 保健医療情報学 遺伝カウンセリング学 研究倫理演習 遺伝カウンセリング実習 医科学演習 医科学実習 課題研究	1前 1前 1前 1通 1～2通 1～2通 1通 1通 1～2通	1 1 2 3 1 6 4 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	
448	兼任	講師	トハノ ミチヨ 鳥羽 三佳代 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医療とリーダーシップ	1前	1	1	東京医科歯科大学 講師 （平成31年4月）	
449	兼任	助教	オオサカ ミズコ 大坂 瑞子 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成23年4月）	
450	兼任	助教	イトウ タカシ 伊藤 崇 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成22年4月）	
451	兼任	助教	ナガタ ユキ 永田 有希 ＜令和6年10月＞		博士 （生命科学）		人類遺伝学	1前	2	1	東京医科歯科大学 助教 （平成30年5月）	
452	兼任	助教	エンドウ アキフミ 遠藤 明史 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		先制医療学実習	1前	2	1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年8月）	
453	兼任	助教	ハナザワ リョウイチ 花澤 遼一 ＜令和6年10月＞		修士 （学際情報学）		先制医療学実習	1前	2	1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	
454	兼任	助教	ササキ マサオ 佐々木 誠治 ＜令和6年10月＞		修士 （学際情報学）		先制医療学実習	1前	2	1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	
455	兼任	助教	サトウ ヒロユキ 佐藤 宏征 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		臨床研究・治験 臨床試験方法論応用 医科学演習 医科学実習 課題研究	1後 1後 1通 1通 1～2通	1 1 4 4 4	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年4月）	
456	兼任	助教	ウエキ ユカ 植木 穰 ＜令和6年10月＞		学士 （医学）		医療とリーダーシップ 医療機関リスク管理	1前 1前	1 1	1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	
457	兼任	助教	カニヤ タカヒロ 神谷 尚宏 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		先制医療学実習	1前	2	1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	
458	兼任	助教	スナガハ マサヨ 須永 昌代 ＜令和6年10月＞		学士 （教養）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成22年4月）	
459	兼任	助教	イシタノ ユウジ 石田 雄之 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		歯科学演習 歯科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成30年4月）	
460	兼任	助教	タケモト アキラ 竹本 暁 ＜令和6年10月＞		学士 （医学）		初期研究研修	1前	1	1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年5月）	

461	兼任	URA (教員)	イマイ ミノル 今井 穰 ＜令和6年10月＞		博士 (理学)		先制医療学実習	1前	2	1	東京医科歯科大学 URA (教員) (平成30年4月)	
462	兼任	URA (教員)	イシイ マコト 石井 真人 ＜令和6年10月＞		修士 (農学)		先制医療学実習	1前	2	1	東京医科歯科大学 URA (教員) (令和4年4月)	
463	兼任	医療技術職員	タミネ エリコ 高嶺 恵理子 ＜令和6年10月＞		博士(社会健康医学)		臨床遺伝学	1後	2	1	東京医科歯科大学 医療技術職員 (平成29年4月)	
464	兼任	看護師長	マツカ ヒロミ 松岡 裕美 ＜令和6年10月＞		修士 (看護学)		遺伝カウンセリング学	1通	3	1	東京医科歯科大学 看護師長 (令和2年4月)	
465	兼任	非常勤講師	アナン マコト 阿南 誠 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		診療情報管理学	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 (令和6年10月)	
466	兼任	非常勤講師	イトウ アキラ 伊藤 昭 ＜令和6年10月＞		博士 (工学)		病院設計・病院設備 衛生工学・汚染管理	1前 1後	1 1	1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 (令和6年10月)	
467	兼任	非常勤講師	イデ エイコ 井出 恵伊子 ＜令和6年10月＞		修士 (経営学)		保健医療情報学	1前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 (令和6年10月)	
468	兼任	非常勤講師	イソベ テツ 磯部 哲 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		医療制度と法 生命倫理と法 ポストコロナ社会における 感染症対策	1前 1前 1前	1 1 1	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 (令和6年10月)	
469	兼任	非常勤講師	イッカ ツナキ 一家 綱邦 ＜令和6年10月＞		博士 (法学)		生命倫理と法	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 (令和6年10月)	
470	兼任	非常勤講師	ミキタ オスケ 右田 王介 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		人類遺伝学	1前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 (令和6年10月)	
471	兼任	非常勤講師	ヨコハリ マコト 横張 真 ＜令和6年10月＞		博士 (農学)		プラネタリーヘルス	1前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 (令和6年10月)	
472	兼任	非常勤講師	オカダ アキト 岡田 昭人 ＜令和6年10月＞		博士 (教育学)		医療とコミュニケーション	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 (令和6年10月)	
473	兼任	非常勤講師	オキ タケヤ 沖 拓弥 ＜令和6年10月＞		博士 (工学)		病院設計・病院設備	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 (令和6年10月)	
474	兼任	非常勤講師	ウミシロ ワカル 海塩 渉 ＜令和6年10月＞		博士 (工学)		衛生工学・汚染管理	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 (令和6年10月)	
475	兼任	非常勤講師	トガワ マサヒコ 外川 昌彦 ＜令和6年10月＞		博士 (社会学)		世界の文化と医療	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 (令和6年10月)	
476	兼任	非常勤講師	カマタ マサミツ 鎌田 真光 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		行動科学	1後	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 (令和6年10月)	
477	兼任	非常勤講師	マルヤマ タカオ 丸山 空大 ＜令和6年10月＞		博士 (文学)		世界の宗教と死生観	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 (令和6年10月)	
478	兼任	非常勤講師	ヨシハシ ヒロシ 吉橋 博史 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		臨床遺伝学	1後	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 (令和6年10月)	
479	兼任	非常勤講師	ヨシモト ヒデユキ 吉本 秀之 ＜令和6年10月＞		修士 (理学)		医療思想史	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 (令和6年10月)	
480	兼任	非常勤講師	コトノリ ナオキ 近藤 尚己 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		疫学Ⅱ	1後	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 (令和6年10月)	

481	兼任	非常勤講師	コトドウ アキヒロ 近藤 彰宏 ＜令和6年10月＞		修士 （工 学）		病院設計・病院設備	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
482	兼任	非常勤講師	クリタ ヒロユキ 栗田 博之 ＜令和6年10月＞		修士 （社会 学）		世界の文化と医療	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
483	兼任	非常勤講師	クワハラ ヒロヨ 桑原 比呂世 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		診療情報管理学	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
484	兼任	非常勤講師	カギ ナキ 鍵 直樹 ＜令和6年10月＞		博士 （工 学）		衛生工学・汚染管理	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
485	兼任	非常勤講師	ハラ ケイコ 原 恵子 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		生体検査科学特論Ⅱ	2前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
486	兼任	非常勤講師	フルカワ タカコ 古川 高子 ＜令和6年10月＞		修士 （学 術）		ポストコロナ社会における 感染症対策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
487	兼任	非常勤講師	ゴトリ アヤ 後藤 あや ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		グローバルヘルス	1前	4	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
488	兼任	非常勤講師	アライ コウ 荒井 耕 ＜令和6年10月＞		博士 （商 学）		財務・会計	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
489	兼任	非常勤講師	コウサカ シュン 香坂 俊 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		基礎医学概論	1前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
490	兼任	非常勤講師	タカキ レオ 高久 玲音 ＜令和6年10月＞		博士 （商 学）		ポストコロナ社会における 感染症対策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
491	兼任	非常勤講師	イマイ シノブ 今井 志乃ぶ ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		世界の医療制度 DPCデータ分析概論	1前 1後	1 1	1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
492	兼任	非常勤講師	ササエ リュウイチロウ 佐々江 龍一郎 ＜令和6年10月＞		修士 （医 学）		世界の医療制度	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
493	兼任	非常勤講師	サトリ モトヒロ 佐藤 主光 ＜令和6年10月＞		博士 （経 済 学）		医療保険論 医療産業論 医療経済論	1前 1前 1後	2 2 2	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
494	兼任	非常勤講師	サトリ ダイスケ 佐藤 大介 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		医療提供政策論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
495	兼任	非常勤講師	サトリ トモアキ 佐藤 智明 ＜令和6年10月＞		保健衛 生学士		保健医療情報学	1前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
496	兼任	非常勤講師	サカタ ノブオ 佐方 信夫 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		医療提供政策論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
497	兼任	非常勤講師	サカグチ ミサ 坂口 美佐 ＜令和6年10月＞		修士 （医療 経営・ 管理 学）		医療機能評価	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
498	兼任	非常勤講師	サカノ テツペイ 坂野 哲平 ＜令和6年10月＞		学士 （理 工）		医療ビジネス論	1前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
499	兼任	非常勤講師	サカグチ ヒロマサ 阪口 博政 ＜令和6年10月＞		博士 （商 学）		財務・会計	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
500	兼任	非常勤講師	ミキ ヨシオ 三木 義男 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		人類遺伝学	1前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	

501	兼任	非常勤講師	ヤマケチ マサヒロ 山口 雅浩 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		IT時代の医療診断システムとセキュリティー	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
502	兼任	非常勤講師	ヤマケチ ユウコ 山口 友子 ＜令和6年10月＞		学士 （医学）		遺伝カウンセリング学	1通	3	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
503	兼任	非常勤講師	ヤマケ シゲヒト 山田 重人 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		人類遺伝学	1前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
504	兼任	非常勤講師	ヤマノウチ ユリコ 山内 由理子 ＜令和6年10月＞		修士 （文化人類学）		世界の文化と医療	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
505	兼任	非常勤講師	ヤマモト カヨコ 山本 佳世子 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		プラネタリーヘルス	1前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
506	兼任	非常勤講師	シゲミツ ヒデノブ 重光 秀信 ＜令和6年10月＞		学士 （医学）		基礎医学概論	1前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
507	兼任	非常勤講師	コタニ マサコ 小谷 昌子 ＜令和6年10月＞		修士 （法学）		医療制度と法	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
508	兼任	非常勤講師	オビノ タカシ 小尾 高史 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		IT時代の医療診断システムとセキュリティー	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
509	兼任	非常勤講師	オノサキ コウヘイ 小野崎 耕平 ＜令和6年10月＞		Master of Science in Health Policy and Management, Harvard School of Public Health		医療システム	1前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
510	兼任	非常勤講師	コバヤシ ミア 小林 美亜 ＜令和6年10月＞		博士 （看護学）		医療のTQM	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
511	兼任	非常勤講師	ショウワノガリ ユウコウ 菖蒲 川由郷 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		グローバルヘルス	1前	4	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
512	兼任	非常勤講師	ウエタノ カヨ 上田 佳代 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		プラネタリーヘルス	1前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
513	兼任	非常勤講師	ウエサト アキヒト 上里 彰仁 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		基礎医学概論	1前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
514	兼任	非常勤講師	マシマ イチロウ 真島 一郎 ＜令和6年10月＞		修士 （社会学）		世界の文化と医療	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
515	兼任	非常勤講師	シミス サユリ 清水 沙友里 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		診療情報管理学	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
516	兼任	非常勤講師	シミス マコト 清水 真 ＜令和6年10月＞		修士 （法学）		医療制度と法	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
517	兼任	非常勤講師	ニシイ リョウコ 西井 涼子 ＜令和6年10月＞		博士 （文学）		世界の宗教と死生観	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
518	兼任	非常勤講師	ニシウラ ヒロシ 西浦 博 ＜令和6年10月＞		博士 （保健学）		グローバルヘルス	1前	4	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	

519	兼任	非常勤講師	アキ ヒロカ 青木 洋貴 ＜令和6年10月＞		博士 （工 学）		医療の人間工学	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
520	兼任	非常勤講師	アカキ キラム 赤木 究 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		臨床遺伝学	1後	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
521	兼任	非常勤講師	アカサワ コウヘイ 赤澤 宏平 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		保健医療情報学	1前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
522	兼任	非常勤講師	フナバシ アキコ 船橋 亜希子 ＜令和6年10月＞		修士 （法 学）		医療制度と法	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
523	兼任	非常勤講師	クラモチ ジン 倉持 仁 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		ポストコロナ社会における 感染症対策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
524	兼任	非常勤講師	ハヤカワ スミオ 早川 清雄 ＜令和6年10月＞		博士 （食品 栄養科 学）		免疫学	1後	2	2	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
525	兼任	非常勤講師	アダチ ヨシアキ 足立 善昭 ＜令和6年10月＞		博士 （工 学）		生体検査科学特論Ⅱ	2前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
526	兼任	非常勤講師	ムラマツ マサアキ 村松 正明 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		保健医療情報学	1前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
527	兼任	非常勤講師	オオテラ ショウスケ 大寺 祥佑 ＜令和6年10月＞		博士 （社会 健康医 学）		DPCデータ分析概論	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
528	兼任	非常勤講師	オオニシ カズナリ 大西 一成 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		環境保健学	1後	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
529	兼任	非常勤講師	タキサワ マサヒコ 滝沢 昌彦 ＜令和6年10月＞		博士 （法 学）		医事紛争と法	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
530	兼任	非常勤講師	タニグチ リュウコ 谷口 龍子 ＜令和6年10月＞		博士 （学 術）		医療とコミュニケーション	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
531	兼任	非常勤講師	イケダ マサミ 池田 まさみ ＜令和6年10月＞		修士 （人文 科 学） 、 博士 （学 術）		遺伝カウンセリング学	1通	3	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
532	兼任	非常勤講師	イケダ シュンヤ 池田 俊也 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		世界の医療制度	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
533	兼任	非常勤講師	タケバヤシ ヨシタケ 竹林 由武 ＜令和6年10月＞		博士 （学 術）		行動科学	1後	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
534	兼任	非常勤講師	ナカヤマ トシヒデ 中山 俊秀 ＜令和6年10月＞		博士 （言語 学）		ポストコロナ社会における 感染症対策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
535	兼任	非常勤講師	ナカガワ ヨシノリ 中川 佳則 ＜令和6年10月＞		法務博 士（専 門職）		医事紛争と法	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
536	兼任	非常勤講師	ナカムラ ケンタロウ 中村 健太郎 ＜令和6年10月＞		博士 （工 学）		IT時代の医療診断システム とセキュリティー	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
537	兼任	非常勤講師	ハセガワ アツヒコ 長谷川 温彦 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		免疫学	1後	2	2	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	

538	兼任	非常勤講師	ハカワ トモリ 長谷川 友紀 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医療機能評価	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
539	兼任	非常勤講師	ツバタ タケシ 鏑田 武志 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		免疫学	1後	2	2	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
540	兼任	非常勤講師	タヅチ カキロ 田淵 貴大 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		行動科学	1後	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
541	兼任	非常勤講師	ワタナベ リョウ 渡邊 亮 ＜令和6年10月＞		博士 （商学）		財務・会計	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
542	兼任	非常勤講師	トサ ケイコ 土佐 桂子 ＜令和6年10月＞		博士 （文学）		世界の宗教と死生観	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
543	兼任	非常勤講師	ムネシゲ タクジウ 棟重 卓三 ＜令和6年10月＞		修士 （医療政策学）		医療提供政策論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
544	兼任	非常勤講師	フジイ ハルユキ 藤井 晴行 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		病院設計・病院設備	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
545	兼任	非常勤講師	ノト ヒロシ 能登 洋 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		基礎医学概論	1前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
546	兼任	非常勤講師	ウメムロ ヒロユキ 梅室 博行 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		医療の人間工学	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
547	兼任	非常勤講師	シラセ ユミカ 白瀬 由美香 ＜令和6年10月＞		博士 （社会学）		医療社会政策論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
548	兼任	非常勤講師	イヅミカ マサト 飯塚 正人 ＜令和6年10月＞		修士 （文学）		世界の宗教と死生観	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
549	兼任	非常勤講師	オカヅ ワカハ 尾形 わかは ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		IT時代の医療診断システム とセキュリティー	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
550	兼任	非常勤講師	ヒラハタ コウイチ 平畑 光一 ＜令和6年10月＞		学士 （医学）		ポストコロナ社会における 感染症対策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
551	兼任	非常勤講師	モトハシ カコ 本橋 隆子 ＜令和6年10月＞		博士 （社会健康医学）		医療のTQM	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
552	兼任	非常勤講師	ハヤシ ヒロキ 林 大樹 ＜令和6年10月＞		修士 （社会学）		戦略と組織 人的資源管理	1後 1後	1 1	1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
553	兼任	非常勤講師	クニイ オサム 國井 修 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		ポストコロナ社会における 感染症対策 ブラネタリーヘルス	1前 1前	1 2	1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
554	兼任	非常勤講師	ヒロアキ ヒデカズ 廣明 秀一 ＜令和6年10月＞		博士 （薬学）		分子構造学特論	1後	2	2	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
555	兼任	非常勤講師	ベンジャミン ロザール Benjamin Lozare ＜令和6年10月＞		Ph. D in Mass Communi- cation		医療システム	1前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
556	兼任	非常勤講師	ブライアン シュワルツ Brian Schwartz ＜令和6年10月＞		M. D.		環境保健学	1後	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
557	兼任	非常勤講師	デービッド バート David Bard ＜令和6年10月＞		Ph. D. in Psychol- ogy		母子保健学	1後	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	

558	兼任	非常勤務 講師	フミキ イマムラ Fumiaki Imamura ＜令和6年10月＞		Ph. D. in Nutriti onal Epidemi ology		疫学Ⅱ	1後	2	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
559	兼任	非常勤務 講師	イチロウ カワチ Ichiro Kawachi ＜令和6年10月＞		Ph. D. (epidem iology)		疫学Ⅱ	1後	2	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
560	兼任	非常勤務 講師	フジモト カヨ Kayo Fujimoto ＜令和6年10月＞		Ph. D. Sociolo gy		行動科学	1後	2	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
561	兼任	非常勤務 講師	パメラ サークン Pamela Surkan ＜令和6年10月＞		PhD, Karolin ska Institu te		グローバルヘルス	1前	4	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
562	兼任	非常勤務 講師	S. V. スブラマニアン S. V. Subramanian ＜令和6年10月＞		Ph. D in geograp hy		生物統計Ⅱ	1後	2	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
563	兼任	非常勤務 講師	ノゾキ シンジロウ Shinjiro Nozaki ＜令和6年10月＞		学士 （文 学）		グローバルヘルス	1前	4	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
564	兼任	非常勤務 講師	アキラ ヒデノリ 阿久津 英憲 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
565	兼任	非常勤務 講師	ヤスカ マサヒロ 安永 正浩 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
566	兼任	非常勤務 講師	イチハ ノリタカ 一戸 紀孝 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
567	兼任	非常勤務 講師	ウラヤマ ケビン 浦山 ケビン ＜令和6年10月＞		博士 （疫 学）		ビッグデータ解析学	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
568	兼任	非常勤務 講師	シオタニ ブンショウ 塩谷 文章 ＜令和6年10月＞		博士 （学 術）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
569	兼任	非常勤務 講師	オクヤマ トヲユキ 奥山 虎之 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		研究倫理・医療倫理学 臨床遺伝学	1前 1後	1 2	1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
570	兼任	非常勤務 講師	ヨコヤマ イズミ 横山 泉 ＜令和6年10月＞		博士 （経 済 学）		ポストコロナ社会における 感染症対策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
571	兼任	非常勤務 講師	セキネ ケイスケ 関根 圭輔 ＜令和6年10月＞		博士 （農 学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
572	兼任	非常勤務 講師	マルヤマ レオ 丸山 玲緒 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
573	兼任	非常勤務 講師	イワオカ ハルナ 岩岡 はるな ＜令和6年10月＞		博士 （農芸 化学）		ケミカルバイオロジー特論	1前	2	2	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
574	兼任	非常勤務 講師	ヨシカ ケンイチ 吉岡 研一 ＜令和6年10月＞		博士 （工 学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
575	兼任	非常勤務 講師	ヨシミ アキヒデ 吉見 昭秀 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
576	兼任	非常勤務 講師	ヨシタ ヒデユキ 吉田 英行 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		機能分子化学	1後	2	2	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	

577	兼任	非常勤講師	久保 健一郎 ＜令和6年10月＞		学士 （経済学）		世界の医療制度	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
578	兼任	非常勤講師	宮岡 佑一郎 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
579	兼任	非常勤講師	宮嶺 哲郎 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		バイオメディカルシステム 理工学Ⅰ バイオメディカルシステム 理工学Ⅱ	1前 1後	1 1	1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
580	兼任	非常勤講師	橋本 唯史 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
581	兼任	非常勤講師	原 孝彦 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
582	兼任	非常勤講師	古賀 宣勝 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
583	兼任	非常勤講師	広田 亨 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
584	兼任	非常勤講師	江副 聡 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		グローバルヘルス	1前	4	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
585	兼任	非常勤講師	荒川 博文 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
586	兼任	非常勤講師	高橋 暁子 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
587	兼任	非常勤講師	高田 修治 ＜令和6年10月＞		博士 （地球 環境科学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
588	兼任	非常勤講師	黒田 正孝 ＜令和6年10月＞		博士 （薬学）		分子構造学特論	1後	2	2	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
589	兼任	非常勤講師	今井 耕輔 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		臨床遺伝学	1後	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
590	兼任	非常勤講師	佐々木 元子 ＜令和6年10月＞		修士 （理学） 修士 （学術）		人類遺伝学	1前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
591	兼任	非常勤講師	佐藤 憲子 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		生化学 遺伝医学特論 生命理工学概論（英語）	1前 1前 1後	2 2 2	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
592	兼任	非常勤講師	三橋 里美 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		遺伝医学特論 生命理工学概論（英語）	1前 1後	2 2	1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
593	兼任	非常勤講師	三宅 秀彦 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		遺伝カウンセリング学	1通	3	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
594	兼任	非常勤講師	山下 祐一 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
595	兼任	非常勤講師	持田 啓佑 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		機能分子化学	1後	2	2	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	

596	兼任	非常勤講師	シタ カシ 七田 崇 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
597	兼任	非常勤講師	ウルシハラ ヒサシ 漆原 尚巳 ＜令和6年10月＞		博士 （社会健康医学）		生物統計学応用Ⅱ	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
598	兼任	非常勤講師	オカワ ヒサシ 小川 尚 ＜令和6年10月＞		博士 （環境工学）		プラネタリーヘルス	1前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
599	兼任	非常勤講師	オノデラ マサフミ 小野寺 雅史 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
600	兼任	非常勤講師	コバヤシ ケイスケ 小林 圭介 ＜令和6年10月＞		修士 （農学）		医療ビジネス論	1前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
601	兼任	非常勤講師	コバヤシ ヒサトシ 小林 尚俊 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		医歯薬産業技術特論	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
602	兼任	非常勤講師	コバヤシ ヨウコ 小林 陽子 ＜令和6年10月＞		博士 （農学）		医歯薬産業技術特論	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
603	兼任	非常勤講師	マツモト ケンジ 松本 健治 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
604	兼任	非常勤講師	ヌマハタ ヒロナオ 沼部 博直 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		臨床遺伝学	1後	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
605	兼任	非常勤講師	ケムラ ヤスシ 植村 靖史 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
606	兼任	非常勤講師	アライ マサミ 新井 正美 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		臨床遺伝学	1後	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
607	兼任	非常勤講師	アライ マコト 新井 誠 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
608	兼任	非常勤講師	フカミ マキ 深見 真紀 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
609	兼任	非常勤講師	カンダ エイチロウ 神田 英一郎 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究倫理・医療倫理学	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
610	兼任	非常勤講師	ハタ ケンイチロウ 秦 健一郎 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
611	兼任	非常勤講師	スター ミキヤ 須田 三記也 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		ケミカルバイオロジー特論	1前	2	2	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
612	兼任	非常勤講師	ホシノ ミキオ 星野 幹雄 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
613	兼任	非常勤講師	ホシノ タカヒロ 星野 崇宏 ＜令和6年10月＞		博士 （学術）博士 （経済学）		生物統計学応用Ⅰ	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
614	兼任	非常勤講師	アオキ ヨシツグ 青木 吉嗣 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
615	兼任	非常勤講師	イシカワ ベンジャミンコウイチ 石川 ベンジャミン光一 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		DPCデータ分析概論	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	

616	兼任	非常勤講師	カワシマ ケンジ 川嶋 健嗣 ＜令和6年10月＞		博士 （工 学）		バイオメディカルシステム 理工学Ⅰ バイオメディカルシステム 理工学Ⅱ	1前 1後	1 1	1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
617	兼任	非常勤講師	マストミ ケンチ 増富 健吉 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
618	兼任	非常勤講師	オオキ シンジ 大木 伸司 ＜令和6年10月＞		博士 （薬 学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
619	兼任	非常勤講師	タニグチ イチロウ 谷内 一郎 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
620	兼任	非常勤講師	タケウチ ケンゴ 竹内 賢吾 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
621	兼任	非常勤講師	チクマ シュンスケ 竹馬 俊介 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		免疫学	1後	2	2	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
622	兼任	非常勤講師	ナカヤマ ショウジ 中山 祥嗣 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		環境保健学	1後	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
623	兼任	非常勤講師	ハセガワ マサト 長谷川 成人 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
624	兼任	非常勤講師	ナガミネ ユイコ 長嶺 由衣子 ＜令和6年10月＞		博士 （公衆 衛生 学）		グローバルヘルス	1前	4	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
625	兼任	非常勤講師	タナカ ノリコ 田中 紀子 ＜令和6年10月＞		博士 （保健 学）		ビッグデータ解析学	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	

626	兼任	非常勤講師	タカ モトサ 田中 元雅 ＜令和6年10月＞		博士 （工 学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
627	兼任	非常勤講師	ワタヘ アキヒト 渡部 明人 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		医療システム	1前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
628	兼任	非常勤講師	ワタヘ ノブモト 渡邊 信元 ＜令和6年10月＞		博士 （理 学）		機能分子化学	1後	2	2	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
629	兼任	非常勤講師	ワタヘ リキヤ 渡邊 力也 ＜令和6年10月＞		博士 （工 学）		ケミカルバイオロジー特論 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	2 1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
630	兼任	非常勤講師	ツチヤ ナオト 土屋 直人 ＜令和6年10月＞		博士 （理 学）		生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
631	兼任	非常勤講師	フジタ ヒロタカ 藤田 大雅 ＜令和6年10月＞		博士 （薬 学）		ケミカルバイオロジー特論	1前	2	2	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
632	兼任	非常勤講師	ウメザワ リョウヘイ 梅澤 良平 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		世界の医療制度	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
633	兼任	非常勤講師	ハギハラ シンヤ 萩原 伸也 ＜令和6年10月＞		博士 （工 学）		ケミカルバイオロジー特論 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1前 1通 1通 1～2通	2 4 4 4	2 1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
634	兼任	非常勤講師	ハマモト リュウジ 浜本 隆二 ＜令和6年10月＞		博士 （工 学）		先端医療技術・産学連携 生命理工学演習 生命理工学実習 課題研究	1後 1通 1通 1～2通	1 4 4 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
635	兼任	非常勤講師	トミタ アキヒロ 富田 章弘 ＜令和6年10月＞		博士 （薬 学）		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
636	兼任	非常勤講師	フカワ アユミ 布川 あゆみ ＜令和6年10月＞		博士 （社会 学）		ポストコロナ社会における 感染症対策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
637	兼任	非常勤講師	ハツリ サトシ 服部 聡 ＜令和6年10月＞		博士 （臨床 統計 学）		生物統計学応用Ⅰ	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
638	兼任	非常勤講師	フクヤマ ヒデヒロ 福山 英啓 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		免疫学	1後	2	2	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
639	兼任	非常勤講師	キノシタ ケンゴ 木下 賢吾 ＜令和6年10月＞		博士 （理 学）		分子構造学特論	1後	2	2	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
640	兼任	非常勤講師	キムラ モトコ 木村 元子 ＜令和6年10月＞		博士 （医 学）		免疫学	1後	2	2	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
641	兼任	非常勤講師	ノマ ヒサシ 野間 久史 ＜令和6年10月＞		博士 （統計 数理 学）		生物統計学応用Ⅰ	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
642	兼任	非常勤講師	スズキ ハルミ 鈴木 春巳 ＜令和6年10月＞		博士 （農 学）		免疫学	1後	2	2	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
643	兼任	非常勤講師	コノヤ サカ 國府谷 彩香 ＜令和6年10月＞		学士 （薬 学）		医歯薬産業技術特論	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
644	兼任	非常勤講師	トウマ コウジ 當麻 浩司 ＜令和6年10月＞		Doctor rerum natural ium technic arum		バイオメディカルデバイス 理工学Ⅱ	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	

645	兼任	非常勤 講師	サイトウ リコ 齊藤 典子 <令和6年10月>		博士 (Ph. D)		医科学演習 医科学実習 課題研究	1通 1通 1～2通	4 4 4	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 (令和6年10月)	

教 員 の 氏 名 等													
(医歯学総合研究科 博士課程 医歯学専攻)													
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年	当 次	担 単 位 数	年 間 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
1	専任	教授	イカ ケイジ 位高 啓史 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		生体材料機能医学特論 生体材料機能医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通		6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成29年4月)	5日
2	専任	教授	ヨカ テツヤ 依田 哲也 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 顎顔面外科学特論 顎顔面外科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通		6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和2年4月)	5日
3	専任	教授	イケ サチ 井関 祥子 ＜令和6年10月＞		博士（学術）		初期研究研修 医歯学総合研究科コース特論 分子発生・口腔組織学特論 分子発生・口腔組織学演習 研究実習	1前 1～2通 1通 1～2通 2～3通		1 6 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
4	専任	教授	ウオ モトヒロ 宇尾 基弘 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		医歯学総合研究科コース特論 先端材料評価学特論 先端材料評価学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通		6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成23年4月)	5日
5	専任	教授	トヤマ サトシ 遠山 悟史 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		心肺統御麻酔学特論 心肺統御麻酔学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通		6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和4年11月)	5日
6	専任	教授	ヨコタ カナリ 横田 隆徳 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		脳神経病態学特論 脳神経病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通		6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成26年8月)	5日
7	専任	教授	オカダ カズキ 岡田 幸之 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		精神行動医科学Ⅱ特論 精神行動医科学Ⅱ演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通		6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成27年9月)	5日
8	専任	教授	オカダ シュウショウ 岡田 就将 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		政策科学特論 政策科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通		6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和4年7月)	5日
9	専任	教授	オカモト リュウイチ 岡本 隆一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		消化器病態学特論 消化器病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通		6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成26年4月)	5日
10	専任	教授	オカザワ ヒロシ 岡澤 均 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		神経病理学特論 神経病理学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通		6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
11	専任	教授	オキヤマ ナオコ 沖山 奈緒子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		皮膚科学特論 皮膚科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通		6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和4年1月)	5日
12	専任	教授	マルカワ エリコ 丸川 恵理子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 口腔再生再建学特論 口腔再生再建学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通		6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和3年8月)	5日
13	専任	教授	イワナガ ショウ 岩永 譲 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 口腔顎顔面解剖学特論 口腔顎顔面解剖学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通		6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和4年7月)	5日

14	専任	教授	イワタ カカリ 岩田 隆紀 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医学学総合研究科コース特論 包括臨床演習 歯周病学Ⅰ特論 歯周病学Ⅰ演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成31年2月）	5日
15	専任	教授	イワモト ツトム 岩本 勉 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医学学総合研究科コース特論 包括臨床演習 小児歯科学・障害者歯科学特論 小児歯科学・障害者歯科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年5月）	5日
16	専任	教授	ヨシムラ リョウイチ 吉村 亮一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	腫瘍放射線治療学特論 腫瘍放射線治療学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成26年4月）	5日
17	専任	教授	ミヤザキ ナオキ 宮坂 尚幸 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	生殖機能協同学特論 生殖機能協同学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成28年8月）	5日
18	専任	教授	ミヤザキ ケイタ 宮崎 泰成 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	統合呼吸器病学特論 統合呼吸器病学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
19	専任	教授	ハシモト マサヨシ 橋本 正良 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	総合診療医学特論 総合診療医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和4年4月）	5日
20	専任	教授	オキチ カシ 興地 隆史 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医学学総合研究科コース特論 包括臨床演習 歯髄生物学特論 歯髄生物学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成27年1月）	5日
21	専任	教授	グセ シンアキ 具 芳明 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	初期研究研修 医学学総合研究科コース特論 包括臨床演習 統合臨床感染症学特論 統合臨床感染症学演習 研究実習	1前 1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	1 6 8 6 4 8	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年4月）	5日
22	専任	教授	キヌカシ ユウスケ 絹笠 祐介 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	消化管外科学特論 消化管外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成29年9月）	5日
23	専任	教授	ハラタ ヒロユキ 原田 浩之 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医学学総合研究科コース特論 包括臨床演習 顎口腔腫瘍外科学特論 顎口腔腫瘍外科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成27年4月）	5日
24	専任	教授	コガ ヒデユキ 古賀 英之 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	運動器外科学特論 運動器外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年5月）	5日
25	専任	教授	トハラ ハルカ 戸原 玄 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医学学総合研究科コース特論 包括臨床演習 摂食嚥下リハビリテーション学特論 摂食嚥下リハビリテーション学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年4月）	5日
26	専任	教授	コガチ ユウタ 高地 雄太 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	ゲノム機能多様性特論 ゲノム機能多様性演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和元年6月）	5日
27	専任	教授	ササキ タケヒロ 佐々木 雄彦 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）	脂質生物学特論 脂質生物学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成30年3月）	5日
28	専任	教授	サトウ タシ 佐藤 莊 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	免疫アレルギー学特論 免疫アレルギー学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年7月）	5日
29	専任	教授	ササノ テツオ 笹野 哲郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	循環制御内科学特論 循環制御内科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和元年6月）	5日

30	専任	教授	ミウラ マサヒコ 三浦 雅彦 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 歯科放射線診断・治療学特論 歯科放射線診断・治療学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
31	専任	教授	ヤマダ テツヤ 山田 哲也 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	分子内分泌代謝学特論 分子内分泌代謝学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成30年4月）	5日
32	専任	教授	ヤマワキ マサナガ 山脇 正永 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	臨床医学教育開発学特論 臨床医学教育開発学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年12月）	5日
33	専任	教授	テラタ スミオ 寺田 純雄 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	神経機能形態学特論 神経機能形態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
34	専任	教授	ワカバヤシ ケンジ 若林 健二 ＜令和6年10月＞		医学博士	生体集中管理学特論 生体集中管理学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年10月）	5日
35	専任	教授	ワカバヤシ リョウキ 若林 則幸 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 生体補綴歯科学特論 生体補綴歯科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年4月）	5日
36	専任	教授	アキタ ケイイチ 秋田 恵一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	疾患予防パブリックヘルス医学概論 臨床解剖学特論 臨床解剖学演習 研究実習	1・2・3後 1通 1～2通 2～3通	2 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
37	専任	教授	オノ タカシ 小野 卓史 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 咬合機能矯正学特論 咬合機能矯正学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
38	専任	教授	ウエサカ ナオミ 上阪 直史 ＜令和6年10月＞		博士（生物科学）	医歯学総合研究科コース特論 認知神経生物学特論 認知神経生物学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年4月）	5日
39	専任	教授	ニッタ ヒロシ 新田 浩 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 総合診療歯科学特論 総合診療歯科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成31年4月）	5日
40	専任	教授	モリ タケヒコ 森 毅彦 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	血液内科学特論 血液内科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年4月）	5日
41	専任	教授	モリ ヒロキ 森 弘樹 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	形成・再建外科学特論 形成・再建外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成30年10月）	5日
42	専任	教授	モリヤマ ケイジ 森山 啓司 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 顎顔面矯正学特論 顎顔面矯正学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
43	専任	教授	シマス ヒデユキ 清水 秀幸 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	AI システム医科学特論 AI システム医科学演習 研究実習 医療デバイス・システム機器特論 生物統計学応用Ⅱ	1通 1～2通 2～3通 1前 1後	6 4 8 1 1	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和4年2月）	5日
44	専任	教授	アベキ アキラ 青木 章 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 歯周病学Ⅱ特論 歯周病学Ⅱ演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成31年2月）	5日

45	専任	教授	イシノ トモコ 石野 智子 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）	疾患予防パブリックヘルス医学概論 寄生虫学・熱帯医学特論 寄生虫学・熱帯医学演習 研究実習	1・2・3後 1通 1～2通 2～3通	2 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年8月）	5日
46	専任	教授	カワシタ マサカズ 川下 将一 ＜令和6年10月＞		博士（工学）	医歯学総合研究科コース特論 無機生体材料学特論 無機生体材料学演習 研究実習 組織再生材料学特論	1～2通 1通 1～2通 2～3通 1前	6 6 4 8 1	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成31年4月）	5日
47	専任	教授	カワブチ コウイチ 川淵 孝一 ＜令和6年10月＞		修士（経営学）	医歯学総合研究科コース特論 医療経済学特論 医療経済学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
48	専任	教授	マエハラ タクトシ 前原 健寿 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	脳神経機能外科学特論 脳神経機能外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
49	専任	教授	マエカミ シゲル 前田 茂 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 歯科麻酔・口腔顔面痛制御学特論 歯科麻酔・口腔顔面痛制御学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年4月）	5日
50	専任	教授	アイダ ジュン 相田 潤 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 健康推進歯学特論 健康推進歯学演習 研究実習 口腔疫学基礎 疫学応用	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通 1前 1後	6 8 6 4 8 1 1	1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年8月）	5日
51	専任	教授	オウカホ ケンイチ 大久保 憲一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	呼吸器外科学特論 呼吸器外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
52	専任	教授	オハシ ケンイチ 大橋 健一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	人体病理学特論 人体病理学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年7月）	5日
53	専任	教授	オノ キョウコ 大野 京子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	眼科学特論 眼科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成26年8月）	5日
54	専任	教授	オオトモ ヤスヒロ 大友 康裕 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	救急災害医学特論 救急災害医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
55	専任	教授	ナカムラ ケイコ 中村 桂子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	疾患予防パブリックヘルス医学概論 先制医歯理工学概論Ⅰ（日本語） 先制医歯理工学概論Ⅰ（英語） 国際保健医療事業開発学特論 国際保健医療事業開発学演習 研究実習 国際動向特論	1・2・3後 1前 1後 1通 1～2通 2～3通 1前	2 1 1 6 4 8 1	1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成28年4月）	5日
56	専任	教授	ナカタ タカオ 中田 隆夫 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	細胞生物学特論 細胞生物学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
57	専任	教授	ナカシマ トモキ 中島 友紀 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）	医歯学総合研究科コース特論 分子情報伝達学特論 分子情報伝達学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成28年3月）	5日
58	専任	教授	オオノキ トシアキ 樺木 俊聡 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	生体防御学特論 生体防御学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
59	専任	教授	アサカガ タカヒロ 朝蔭 孝宏 ＜令和6年10月＞		博士（生物科学）	頭頸部外科学特論 頭頸部外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成27年4月）	5日
60	専任	教授	ツツミ タシ 堤 剛 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	耳鼻咽喉科学特論 耳鼻咽喉科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成27年4月）	5日

61	専任	教授	フエキ ケンジ 笛木 賢治 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 咬合機能健康科学特論 咬合機能健康科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年9月）	5日
62	専任	教授	タカ テウヤ 田賀 哲也 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	初期研究研修 幹細胞制御特論 幹細胞制御演習 研究実習	1前 1通 1～2通 2～3通	1 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
63	専任	教授	タカ ケンタロウ 田中 顕太郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	生体組織再建外科学特論 生体組織再建外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成30年10月）	5日
64	専任	教授	タカ シンジ 田中 真二 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	分子腫瘍医学特論 分子腫瘍医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成26年11月）	5日
65	専任	教授	タハ ミノル 田邊 稔 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	肝胆膵外科学特論 肝胆膵外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
66	専任	教授	ワタベ テウロウ 渡部 徹郎 ＜令和6年10月＞		博士（生物科学）	医歯学総合研究科コース特論 病態生化学特論 病態生化学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成27年7月）	5日
67	専任	教授	シマダ ヤスシ 島田 康史 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 う蝕制御特論 う蝕制御演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年9月）	5日
68	専任	教授	トウダ シュウジ 東田 修二 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	臨床検査医学特論 NCNP脳機能病態学特論 NCCHD成育医学特論 都医学研疾患分子生物学特論 JFCR腫瘍制御学特論 臨床検査医学演習 NCNP脳機能病態学演習 NCCHD成育医学演習 都医学研疾患分子生物学演習 JFCR腫瘍制御学演習 研究実習（臨床検査医学分野） 研究実習（NCNP脳機能病態学） 研究実習（NCCHD成育医学） 研究実習（都医学研疾患分子生物学） 研究実習（JFCR腫瘍制御学）	1通 1通 1通 1通 1通 1～2通 1～2通 1～2通 1～2通 1～2通 1～2通 2～3通 2～3通 2～3通 2～3通 2～3通	6 6 6 6 6 4 4 4 4 4 4 8 8 8 8 8	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成27年9月）	5日
69	専任	教授	フジイ ヤスヒサ 藤井 靖久 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	腎泌尿器外科学特論 腎泌尿器外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成28年8月）	5日
70	専任	教授	フジワラ タカオ 藤原 武男 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	疾患予防パブリックヘルス医学概論 公衆衛生学特論 公衆衛生学演習 研究実習 ポストコロナ社会における感染症対策 疫学 疫学基礎 臨床疫学解析演習	1・2・3後 1通 1～2通 2～3通 1前 1前 1前 2通	2 6 4 8 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成28年4月）	5日
71	専任	教授	ウチダ シンイチ 内田 信一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	腎臓内科学特論 腎臓内科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成26年8月）	5日
72	専任	教授	ウチダ トシノブ 内田 篤治郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	心臓呼吸器学特論 心臓呼吸器学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成28年5月）	5日
73	専任	教授	フシミ キヨヒデ 伏見 清秀 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	医療政策情報学特論 医療政策情報学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成31年3月）	5日
74	専任	教授	ヤスダ シンスケ 保田 晋助 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	膠原病・リウマチ内科学特論 膠原病・リウマチ内科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年1月）	5日

75	専任	教授	トヨヲ アキラ 豊福 明 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 歯科心身医学特論 歯科心身医学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
76	専任	教授	ヤサウ トモコ 矢沢 知子 ＜令和6年10月＞		学士（薬学）		感染症健康危機管理学特論 感染症健康危機管理学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和4年6月）	5日
77	専任	教授	タテシ ウキヒロ 立石 宇貴秀 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		画像診断・核医学特論 画像診断・核医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成26年10月）	5日
78	専任	教授	ススキ トシヒコ 鈴木 敏彦 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		医歯学総合研究科コース特論 細菌感染制御学特論 細菌感染制御学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成27年7月）	5日
79	専任	教授	スミタ カス'カ 壽美田 一貴 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		血管内治療学特論 血管内治療学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年10月）	5日
80	専任	教授	サクラダ コウイチ 櫻田 宏一 ＜令和6年10月＞		博士（生物科学）		医歯学総合研究科コース特論 法歯学特論 法歯学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成27年3月）	5日
81	専任	教授	アサハラ ヒロシ 浅原 弘嗣 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		システム発生・再生医学特論 システム発生・再生医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
82	専任	教授	イムラ ヨシカズ 磯村 宜和 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		細胞生理学特論 細胞生理学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成31年4月）	5日
83	専任	教授	タカハシ ヒデ'ヒコ 高橋 英彦 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		精神行動医学Ⅰ特論 精神行動医学Ⅰ演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成31年2月）	5日
84	専任	教授	タカハシ クニヒコ 高橋 邦彦 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		生物統計学特論 生物統計学演習 研究実習 臨床・遺伝統計学 データサイエンス特論Ⅰ（英語） 生物統計学基礎 生物統計学応用Ⅰ 生物統計学応用Ⅱ	1通 1～2通 2～3通 1前 1後 1前 1後 1後	6 4 8 2 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年4月）	5日
85	専任	准教授	アサダ ヒロシ 芦田 浩 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		医歯学総合研究科コース特論 細菌感染制御学特論 細菌感染制御学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成29年4月）	5日
86	専任	准教授	シロカ ヒロキ 塩飽 裕紀 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		精神行動医学Ⅰ特論 精神行動医学Ⅰ演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年10月）	5日
87	専任	准教授	サシノ ミツヒロ 岸野 充浩 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		画像診断・核医学特論 画像診断・核医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和2年4月）	5日
88	専任	准教授	ヨシダ' ソウイチロウ 吉田 宗一郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		腎泌尿器外科学特論 腎泌尿器外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
89	専任	准教授	ヨシキ ナオキ 吉木 尚之 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		生殖機能協関学特論 生殖機能協関学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和元年10月）	5日
90	専任	准教授	コマダ' リタル 駒田 亘 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 Essential Expertise for Clinical Dentistry (EECD) 咬合機能健康科学特論 咬合機能健康科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 1 6 4 8	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年1月）	5日

91	専任	准教授	クトウ トシミ 工藤 敏文 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	総合外科学特論 総合外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成29年7月）	5日
92	専任	准教授	ゴウヤ マサヒコ 合屋 雅彦 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	循環制御内科学特論 循環制御内科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成27年4月）	5日
93	専任	准教授	ネト ヤスヒロ 根本 泰宏 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	消化器病態学特論 消化器病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
94	専任	准教授	サトリ タク 佐藤 卓 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	生体防御学特論 生体防御学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和2年10月）	5日
95	専任	准教授	オウリ タクヤ 小川 卓也 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	歯科学総合研究科コース特論 包括臨床演習 顎顔面矯正学特論 顎顔面矯正学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成31年4月）	5日
96	専任	准教授	マツヤマ ユスサ 松山 祐輔 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	歯科学総合研究科コース特論 包括臨床演習 健康推進歯科学特論 健康推進歯科学演習 研究実習 疫学 口腔疫学基礎 疫学応用	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通 2 1前 1後	6 8 6 4 8 2 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年8月）	5日
97	専任	准教授	ウエノ タカシ 上野 剛史 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	歯科学総合研究科コース特論 包括臨床演習 生体補綴歯科学特論 生体補綴歯科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年12月）	5日
98	専任	准教授	シンジョウ タイイク 新城 大輔 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	医療政策情報学特論 医療政策情報学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年4月）	5日
99	専任	准教授	モリタ コウジ 森下 幸治 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	救急災害医学特論 救急災害医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
100	専任	准教授	モリタ ケイイチ 森田 圭一 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	歯科学総合研究科コース特論 包括臨床演習 顎顔面外科学特論 顎顔面外科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年11月）	5日
101	専任	准教授	スギハラ ケンイチ 杉原 圭一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	精神行動医学Ⅰ特論 精神行動医学Ⅰ演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成31年4月）	5日
102	専任	准教授	ニシヤマ アキラ 西山 暁 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	歯科学総合研究科コース特論 包括臨床演習 総合診療歯科学特論 総合診療歯科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年5月）	5日
103	専任	准教授	ニシダ ヨウイチロウ 西田 陽一郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	脳神経病態学特論 脳神経病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年5月）	5日
104	専任	准教授	イシバシ ヒロナリ 石橋 洋則 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	呼吸器外科学特論 呼吸器外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
105	専任	准教授	カシマ ヨシユキ 川島 慶之 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	耳鼻咽喉科学特論 耳鼻咽喉科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成28年5月）	5日

106	専任	准教授	カシマ ノブキ 川島 伸之 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 歯髄生物学特論 歯髄生物学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年12月）	5日
107	専任	准教授	マシマ ヤスヒロ 前嶋 康浩 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	循環制御内科学特論 循環制御内科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和元年10月）	5日
108	専任	准教授	ソハラ エイセイ 蘇原 映誠 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	腎臓内科学特論 腎臓内科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成27年11月）	5日
109	専任	准教授	イケガキ ケンジ 池田 賢司 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	分子内分泌代謝学特論 分子内分泌代謝学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
110	専任	准教授	タケウチ タカシ 竹内 崇 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	精神行動医科学Ⅲ特論 精神行動医科学Ⅲ演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和2年4月）	5日
111	専任	准教授	ナカヤマ トウシヨウ 中山 東城 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	脳神経病態学特論 脳神経病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
112	専任	准教授	ナカガワ カズハル 中川 量晴 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 摂食嚥下リハビリテーション学特論 摂食嚥下リハビリテーション学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
113	専任	准教授	ナカムラ トモヤサ 中村 智祐 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	運動器外科学特論 運動器外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
114	専任	准教授	ナカバタ ケンイチ 中濱 健一 ＜令和6年10月＞		博士（学術）	医歯学総合研究科コース特論 分子細胞機能学特論 分子細胞機能学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	5日
115	専任	准教授	タカ ヨシジ 田中 洋次 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	脳神経機能外科学特論 脳神経機能外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年1月）	5日
116	専任	准教授	タベタ マコト 田畑 純 ＜令和6年10月＞		博士（学術）	医歯学総合研究科コース特論 分子発生・口腔組織学特論 分子発生・口腔組織学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	5日
117	専任	准教授	ワタベ ヒロシ 渡邊 裕 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 歯科放射線診断・治療学特論 歯科放射線診断・治療学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成23年4月）	5日
118	専任	准教授	ミチ ヤスキ 道 泰之 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 顎口腔腫瘍外科学特論 顎口腔腫瘍外科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年11月）	5日
119	専任	准教授	ナカ ノブトシ 那波 伸敏 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	公衆衛生学特論 公衆衛生学演習 研究実習 ポストコロナ社会における感染症対策 疫学	1通 1～2通 2～3通 1前 1前	6 4 8 1 2	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年8月）	5日
120	専任	准教授	クサヤマ ショウジ 楠山 譲二 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 生体情報継承学特論 生体情報継承学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年10月）	5日
121	専任	准教授	ヒラ リイロウ 平 理一郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	細胞生理学特論 細胞生理学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和2年4月）	5日

122	専任	准教授	ナミキ タケシ 並木 剛 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	皮膚科学特論 皮膚科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成29年4月）	5日
123	専任	准教授	ヨネツ タシ 米津 太志 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	循環制御内科学特論 循環制御内科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年4月）	5日
124	専任	准教授	ホシマ ヒデノリ 本間 秀典 ＜令和6年10月＞		博士（工学）	神経病理学特論 神経病理学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
125	専任	准教授	タチカワ リコ 立川 敬子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	歯科学総合研究科コース特論 包括臨床演習 口腔再生再建学特論 口腔再生再建学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年1月）	5日
126	専任	准教授	ハヤシ ミキト 林 幹人 ＜令和6年10月＞		博士（学術）	歯科学総合研究科コース特論 分子情報伝達学特論 分子情報伝達学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年4月）	5日
127	専任	准教授	ワキタ リョウ 脇田 亮 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	歯科学総合研究科コース特論 包括臨床演習 歯科麻酔・口腔顔面痛制御学特論 歯科麻酔・口腔顔面痛制御学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成26年11月）	5日
128	専任	准教授	トクナガ マサノリ 徳永 正則 ＜令和6年10月＞		学士（医学）	消化管外科学特論 消化管外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成31年4月）	5日
129	専任	講師	アンヂイ タツヒコ 安齋 達彦 ＜令和6年10月＞		博士（医療マネジメント学）	生物統計学特論 生物統計学演習 研究実習 臨床・遺伝統計学 データサイエンス特論Ⅰ（英語） 生物統計学基礎 生物統計学応用Ⅰ 生物統計学応用Ⅱ	1通 1～2通 2～3通 1前 1後 1前 1後 1後	6 4 8 2 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年9月）	5日
130	専任	講師	イシミ アヤ 伊角 彩 ＜令和6年10月＞		博士（国際公共政策）	政策科学特論 政策科学演習 研究実習 疫学応用	1通 1～2通 2～3通 1後	6 4 8 1	1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年10月）	5日
131	専任	講師	イトウ マイ 伊藤 真以 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	臨床検査医学特論 臨床検査医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
132	専任	講師	イトウ タク 伊藤 卓 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	耳鼻咽喉科学特論 耳鼻咽喉科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
133	専任	講師	イナヅモ トキ 稲次 基希 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	脳神経機能外科学特論 脳神経機能外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	5日
134	専任	講師	ウカシン ツカサ 宇賀神 つかさ ＜令和6年10月＞		博士（医学）	皮膚科学特論 皮膚科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成29年4月）	5日
135	専任	講師	ウツリ ハジメ 宇都野 創 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	歯科学総合研究科コース特論 法歯学特論 法歯学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年7月）	5日
136	専任	講師	ヨコヤマ ユキ 横山 由紀 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	歯科学総合研究科コース特論 分子発生・口腔組織学特論 分子発生・口腔組織学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年7月）	5日
137	専任	講師	オカダ エリコ 岡田 英理子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	臨床医学教育開発学特論 臨床医学教育開発学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成26年4月）	5日

138	専任	講師	オカモト ケンタロウ 岡本 健太郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	総合外科学特論 総合外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成28年4月）	5日
139	専任	講師	榎ノ サトコ 柿野 聡子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 小児歯科学・障害者歯科学特論 小児歯科学・障害者歯科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成30年4月）	5日
140	専任	講師	カノウチ タカシ 叶内 匡 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	臨床検査医学特論 臨床検査医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成28年1月）	5日
141	専任	講師	カモイ コウジユ 鴨居 功樹 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	眼科学特論 眼科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成25年4月）	5日
142	専任	講師	ヨシタケ ヒロユキ 儀武 啓幸 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 顎顔面外科学特論 顎顔面外科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年12月）	5日
143	専任	講師	ミヤヅカ カズマサ 宮武 和正 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	運動器外科学特論 運動器外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
144	専任	講師	クリモト リョウタ 栗本 遼太 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	システム発生・再生医学特論 システム発生・再生医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	5日
145	専任	講師	クワハラ ヒロヤ 桑原 宏哉 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	脳神経病態学特論 脳神経病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和2年8月）	5日
146	専任	講師	ハラ リンタロウ 原 倫太郎 ＜令和6年10月＞		博士（生命科学）	脳神経病態学特論 脳神経病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年6月）	5日
147	専任	講師	フルサワ ハルヒコ 古澤 春彦 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	統合呼吸器病学特論 統合呼吸器病学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
148	専任	講師	トダマ カズマ 戸田 一真 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	腫瘍放射線治療学特論 腫瘍放射線治療学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成27年4月）	5日
149	専任	講師	ホリミチ ジュン 細道 純 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 咬合機能矯正学特論 咬合機能矯正学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	5日
150	専任	講師	ホシヤ タカシ 細矢 匡 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	膠原病・リウマチ内科学特論 膠原病・リウマチ内科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	5日
151	専任	講師	ヤマモト ヒロト 山本 寛人 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	心肺統御麻酔学特論 心肺統御麻酔学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	5日
152	専任	講師	ヤマモト コウヘイ 山本 浩平 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	人体病理学特論 人体病理学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
153	専任	講師	ヤマモト マサヒデ 山本 正英 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	血液内科学特論 血液内科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成30年4月）	5日
154	専任	講師	アキヤマ ヨシミツ 秋山 好光 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	分子腫瘍医学特論 分子腫瘍医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成15年7月）	5日

155	専任	講師	ハルキ シゲオ 春木 茂男 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	消化管外科学特論 消化管外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
156	専任	講師	コミヤ ヒロフミ 小宮 力 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	分子内分泌代謝学特論 分子内分泌代謝学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
157	専任	講師	オノ ヒロアキ 小野 宏晃 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	肝胆膵外科学特論 肝胆膵外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年11月）	5日
158	専任	講師	マツムラ トモカ 松村 朋香 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 歯科麻酔・口腔顔面痛制御学特論 歯科麻酔・口腔顔面痛制御学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成30年2月）	5日
159	専任	講師	マツモト ヨシロウ 松本 芳郎 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 咬合機能矯正学特論 咬合機能矯正学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	5日
160	専任	講師	モリ シュウスケ 森 周介 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	救急災害医学特論 救急災害医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
161	専任	講師	モリタ アヤコ 森田 彩子 ＜令和6年10月＞		博士（生物科学）	公衆衛生学特論 公衆衛生学演習 研究実習 疫学	1通 1～2通 2～3通 1前	6 4 8 2	1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成30年11月）	5日
162	専任	講師	ミズノ トモヒロ 水谷 知裕 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	消化器病態学特論 消化器病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
163	専任	講師	セイノ カオルコ 清野 薫子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	疾患予防パブリックヘルス医学概論 国際保健医療事業開発学特論 国際保健医療事業開発学演習 研究実習	1・2・3後 1通 1～2通 2～3通	2 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	5日
164	専任	講師	イシイ トモヒロ 石井 智浩 ＜令和6年10月＞		博士（理学）	細胞生物学特論 細胞生物学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成28年4月）	5日
165	専任	講師	アカシ ケイイチ 赤星 径一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	肝胆膵外科学特論 肝胆膵外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年11月）	5日
166	専任	講師	オオノ カズヒカ 大野 十央 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	頭頸部外科学特論 頭頸部外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成30年10月）	5日
167	専任	講師	タニ ユカコ 谷 友香子 ＜令和6年10月＞		博士（生物科学）	公衆衛生学特論 公衆衛生学演習 研究実習 疫学基礎 疫学応用 臨床疫学解析演習	1通 1～2通 2～3通 8 1前 1後 2通	6 4 8 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年7月）	5日
168	専任	講師	タケウチ ケイタ 竹内 康雄 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 歯周病学Ⅱ特論 歯周病学Ⅱ演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成29年4月）	5日
169	専任	講師	ナカガワ ツヨシ 中川 剛士 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	総合外科学特論 総合外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成27年4月）	5日
170	専任	講師	ナガノ ヒカル 長岡 ひかる ＜令和6年10月＞		博士（農学）	寄生虫学・熱帯医学特論 寄生虫学・熱帯医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日

171	専任	講師	ナカオ トシカク 長尾 俊景 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	血液内科学特論 血液内科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
172	専任	講師	ナカ ヒカリ 田中 ひかり ＜令和6年10月＞		博士（医学）	神経病理学特論 神経病理学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年5月）	5日
173	専任	講師	ナカ ハシメ 田中 一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	腎泌尿器外科学特論 腎泌尿器外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和2年4月）	5日
174	専任	講師	ナカ タイスケ 田中 大介 ＜令和6年10月＞		博士（理学）	医歯学総合研究科コース特論 認知神経生物学特論 認知神経生物学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	5日
175	専任	講師	ナカ シラ ヤスキ 田頭 保彰 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 統合臨床感染症学特論 統合臨床感染症学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年8月）	5日
176	専任	講師	ワタベ モトコ 渡邊 素子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 歯科心身医学特論 歯科心身医学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
177	専任	講師	ワタベ サトシ 渡邊 聡 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 歯髄生物学特論 歯髄生物学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年12月）	5日
178	専任	講師	ワタベ リョウスケ 渡邊 亮輔 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	画像診断・核医学特論 画像診断・核医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
179	専任	講師	ヒガシホリ ノリヒサ 東堀 紀尚 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 顎顔面矯正学特論 顎顔面矯正学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成31年4月）	5日
180	専任	講師	フジノ ジュンヤ 藤野 純也 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	精神行動医学Ⅰ 特論 精神行動医学Ⅰ 演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
181	専任	講師	トミカ ヒロフミ 富岡 寛文 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 顎口腔腫瘍外科学特論 顎口腔腫瘍外科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年12月）	5日
182	専任	講師	ヒライシ リョウ 平石 典子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 う蝕制御学特論 う蝕制御学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成31年1月）	5日
183	専任	講師	ヘッパ マサシ 別府 正志 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	総合診療医学特論 総合診療医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成16年11月）	5日
184	専任	講師	キタカワ リョウ 北河 憲雄 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 口腔顎顔面解剖学特論 口腔顎顔面解剖学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年9月）	5日
185	専任	講師	ノサカ ノブユキ 野坂 宜之 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	生体集中管理学特論 生体集中管理学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日

186	専任	講師	ノダキ コウスケ 野崎 浩佑 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 生体補綴歯科学特論 生体補綴歯科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年8月）	5日
187	専任	講師	アリイ ミヨウスケ 有泉 陽介 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	頭頸部外科学特論 頭頸部外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成28年4月）	5日
188	専任	講師	ワタ ケイロ 和田 敬広 ＜令和6年10月＞		博士（工学）	医歯学総合研究科コース特論 先端材料評価学特論 先端材料評価学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年10月）	5日
189	専任	講師	タケ コウイチ 梶 康一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	幹細胞制御特論 幹細胞制御演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	5日
190	専任	講師	トミ ケンイチ 嘯波 健一 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 総合診療歯科学特論 総合診療歯科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	5日
191	専任	講師	サイトウ テツヤ 齋藤 鉄也 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）	膠原病・リウマチ内科学特論 膠原病・リウマチ内科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
192	専任	講師	サイトウ ケンタ 齊藤 健太 ＜令和6年10月＞		博士（理学）	神経機能形態学特論 神経機能形態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	5日
193	専任	講師	タカヒロ 高瀬 博 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	眼科学特論 眼科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成24年4月）	5日
194	専任	助教	アライン アンтониオ リオス ダビラ ALAIN ANTONIO RIOS ＜令和6年10月＞		博士（学術）	細胞生理学特論 細胞生理学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年10月）	5日
195	専任	助教	イトウ タカヤ 伊藤 孝哉 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 歯科麻酔・口腔顔面痛制御学特論 歯科麻酔・口腔顔面痛制御学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年7月）	5日
196	専任	助教	イノウエ カタジナアンナ 井上 カタジナアンナ ＜令和6年10月＞		博士（工学）	医歯学総合研究科コース特論 病態生化学特論 病態生化学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日
197	専任	助教	イノウエ コウ 井上 剛 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 う蝕制御学特論 う蝕制御学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日
198	専任	助教	イネヰ ユウ 稲用 友佳 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 咬合機能健康科学特論 咬合機能健康科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	5日
199	専任	助教	オカノ トクジユ 岡野 徳壽 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 細菌感染制御学特論 細菌感染制御学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年3月）	5日
200	専任	助教	エビハラ アツカ 海老原 新 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 歯髓生物学特論 歯髓生物学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成19年4月）	5日
201	専任	助教	セキグチ マサキ 関口 将軌 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	生殖機能協同学特論 生殖機能協同学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成21年1月）	5日

202	専任	助教	イワハラ ユキ 岩原 由樹 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		生殖機能協関学特論 生殖機能協関学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年4月）	5日
203	専任	助教	ヨシカ コウタロウ 吉岡 耕太郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		脳神経病態学特論 脳神経病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
204	専任	助教	ヨシハラ ショウゴ 吉原 壮悟 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		細胞生物学特論 細胞生物学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
205	専任	助教	ミヤマス アンナ 宮安 杏奈 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		医歯学総合研究科コース特論 先端材料評価学特論 先端材料評価学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
206	専任	助教	ミヤジマ ミホ 宮島 美穂 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		精神行動医学Ⅲ特論 精神行動医学Ⅲ演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成23年4月）	5日
207	専任	助教	オヤマ マサシ 金山 剛士 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		生体防御学特論 生体防御学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成29年6月）	5日
208	専任	助教	コマカ ミネ コリコ 駒ヶ嶺 友梨子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		Essential Expertise for Clinical Dentistry (EECD)	1～4通	1	1	東京医科歯科大学 助教 （平成26年4月）	5日
209	専任	助教	クマガイ ケン 熊谷 貴 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		寄生虫学・熱帯医学特論 寄生虫学・熱帯医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成19年4月）	5日
210	専任	助教	クリタ ケン 栗田 崇史 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 統合臨床感染症学特論 統合臨床感染症学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年1月）	5日
211	専任	助教	クワハラ ヒロミ 桑原 宏文 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		腫瘍放射線治療学特論 腫瘍放射線治療学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和元年10月）	5日
212	専任	助教	ハラダ マサヨ 原田 理代 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		臨床解剖学特論 臨床解剖学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日
213	専任	助教	イノハラ イサオ 五十嵐 公 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		医歯学総合研究科コース特論 医療経済学特論 医療経済学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成19年4月）	5日
214	専任	助教	イノハラ ケイ 五十嵐 多恵 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		眼科学特論 眼科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成27年7月）	5日
215	専任	助教	クヤマ ワタル 高山 渉 ＜令和6年10月＞		学士（医学）		救急災害医学特論 救急災害医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年4月）	5日
216	専任	助教	クロシマ ケン 黒嶋 雄志 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 顎口腔腫瘍外科学特論 顎口腔腫瘍外科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成29年7月）	5日
217	専任	助教	サトウ ケイスケ 佐藤 啓介 ＜令和6年10月＞		博士（農学）		神経機能形態学特論 神経機能形態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日
218	専任	助教	サカイ ケン 財津 崇 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 健康推進歯学特論 健康推進歯学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成23年4月）	5日

219	専任	助教	サカウエ フミカ 坂上 史佳 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		脳神経病態学特論 脳神経病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成27年4月）	5日
220	専任	助教	サカキハラ リエ 榊原 里江 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		統合呼吸器病学特論 統合呼吸器病学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年10月）	5日
221	専任	助教	ミヨシ マサト 三好 正人 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		消化器病態学特論 消化器病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年5月）	5日
222	専任	助教	サエグサ ヒロオ 三枝 弘尚 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		細胞生理学特論 細胞生理学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成19年4月）	5日
223	専任	助教	ヤマカキ ユイ 山岡 祐衣 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		公衆衛生学特論 公衆衛生学演習 研究実習 疫学	1通 1～2通 2～3通 1前	6 4 8 2	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年6月）	5日
224	専任	助教	ヤマグチ コウヘイ 山口 浩平 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 摂食嚥下リハビリテーション学特論 摂食嚥下リハビリテーション学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
225	専任	助教	ヤマナシ シンイチ 山内 慎一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		消化管外科学特論 消化管外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成26年10月）	5日
226	専任	助教	ヤマモト クララ 山本 くらら ＜令和6年10月＞		博士（医学）		人体病理学特論 人体病理学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年10月）	5日
227	専任	助教	ヤマモト コウダイ 山本 雄大 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		心肺統御麻酔学特論 心肺統御麻酔学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年2月）	5日
228	専任	助教	ヤマザキ トシキ 山崎 俊輝 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 生体補綴歯科学特論 生体補綴歯科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
229	専任	助教	ヤマザキ ヨウコ 山崎 陽子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 歯科麻酔・口腔顔面痛制御学特論 歯科麻酔・口腔顔面痛制御学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日
230	専任	助教	カシマダ アヤコ 鹿島田 彩子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		臨床医学教育開発学特論 臨床医学教育開発学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成26年4月）	5日
231	専任	助教	ムロウ サトル 室生 暁 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		臨床解剖学特論 臨床解剖学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年4月）	5日
232	専任	助教	ムロタ ヨシタカ 室田 吉貴 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		幹細胞制御特論 幹細胞制御演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年4月）	5日
233	専任	助教	シバタ ショウ 柴田 翔 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		統合呼吸器病学特論 統合呼吸器病学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年10月）	5日
234	専任	助教	シュウ クン 周 君 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		生体材料機能医学特論 生体材料機能医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年7月）	5日
235	専任	助教	オノ ケイト 小野 岳人 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		医歯学総合研究科コース特論 分子情報伝達学特論 分子情報伝達学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年2月）	5日

236	専任	助教	コハヤシ ミホ 小林 美穂 ＜令和6年10月＞		博士（生命科学）		医歯学総合研究科コース特論 病態生化学特論 病態生化学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和元年5月）	5日
237	専任	助教	マツシマ タカヒデ 松島 隆英 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）		システム発生・再生医学特論 システム発生・再生医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年1月）	5日
238	専任	助教	マツモト ユキコ 松本 有紀子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		精神行動医科学Ⅰ特論 精神行動医科学Ⅰ演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和元年12月）	5日
239	専任	助教	ウエダ ヒロキ 上田 浩樹 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		肝胆膵外科学特論 肝胆膵外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年6月）	5日
240	専任	助教	ウエダ マホコ 上田 真保子 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		ゲノム機能多様性特論 ゲノム機能多様性演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年7月）	5日
241	専任	助教	ウエムラ ノリコ 植村 法子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		形成・再建外科学特論 形成・再建外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成26年4月）	5日
242	専任	助教	シシワリ ナオキ 新澤 直明 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）		寄生虫学・熱帯医学特論 寄生虫学・熱帯医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成29年7月）	5日
243	専任	助教	モリカ シン 森岡 真 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）		脂質生物学特論 脂質生物学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年6月）	5日
244	専任	助教	モリ ミチ 森 美央 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		画像診断・核医学特論 画像診断・核医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和元年6月）	5日
245	専任	助教	モリ ユウタロウ 森 雄太郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		腎臓内科学特論 腎臓内科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年2月）	5日
246	専任	助教	スヂ コウイチロウ 須佐 紱一郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		腎臓内科学特論 腎臓内科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成26年11月）	5日
247	専任	助教	フキノ ケイコ 吹野 恵子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 口腔顎顔面解剖学特論 口腔顎顔面解剖学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年7月）	5日
248	専任	助教	ミズタニ コウジ 水谷 幸嗣 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 Essential Expertise for Clinical Dentistry (EECD) 歯周病学Ⅰ特論 歯周病学Ⅰ演習 研究実習	1～2通 1～4通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 1 6 4 8	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日
249	専任	助教	スギヤマ トモヨ 杉山 知代 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		循環制御内科学特論 循環制御内科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年10月）	5日
250	専任	助教	ニシダ ユキ 西田 優紀 ＜令和6年10月＞		修士（保健学）		生物統計学特論 生物統計学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
251	専任	助教	アヤマ シロウ 青山 二郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		血管内治療学特論 血管内治療学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日

252	専任	助教	イシマル ヒロ 石丸 美穂 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	医学学総合研究科コース特論 包括臨床演習 健康推進歯学特論 健康推進歯学演習 研究実習 口腔疫学基礎 疫学応用	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通 1前 1後	6 8 6 4 8 1 1	1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
253	専任	助教	イシガキ ユウジ 石田 雄之 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医学学総合研究科コース特論 包括臨床演習 咬合機能矯正学特論 咬合機能矯正学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成30年4月）	5日
254	専任	助教	アカシ ユウ 赤石 雄 ＜令和6年10月＞		博士（医学教育）	臨床医学教育開発学特論 臨床医学教育開発学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年10月）	5日
255	専任	助教	チハタ トモキ 千葉 朋希 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	システム発生・再生医学特論 システム発生・再生医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成28年5月）	5日
256	専任	助教	カキギシ マサヒロ 川岸 将彦 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	神経機能形態学特論 神経機能形態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成19年4月）	5日
257	専任	助教	カワハタ マサノリ 川端 政則 ＜令和6年10月＞		博士（工学）	細胞生理学特論 細胞生理学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年4月）	5日
258	専任	助教	アサミ ユウタロウ 浅見 裕太郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	脳神経病態学特論 脳神経病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年7月）	5日
259	専任	助教	アサノ トシフミ 浅野 豪文 ＜令和6年10月＞		博士（理学）	細胞生物学特論 細胞生物学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成27年1月）	5日
260	専任	助教	アガチ リカ 足立 礼孝 ＜令和6年10月＞		博士（理学）	医学学総合研究科コース特論 分子発生・口腔組織学特論 分子発生・口腔組織学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年12月）	5日
261	専任	助教	オハラ マサヒロ 大原 正裕 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	脳神経病態学特論 脳神経病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年8月）	5日
262	専任	助教	オオishi アツシ 大石 敦之 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医学学総合研究科コース特論 包括臨床演習 小児歯科学・障害者歯科学特論 小児歯科学・障害者歯科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年4月）	5日
263	専任	助教	タケチ アツヤ 竹内 敦也 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	医学学総合研究科コース特論 認知神経生物学特論 認知神経生物学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年4月）	5日
264	専任	助教	カネ アヤコ 中根 綾子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医学学総合研究科コース特論 包括臨床演習 摂食嚥下リハビリテーション学特論 摂食嚥下リハビリテーション学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成21年12月）	5日
265	専任	助教	カニシ ヒデユキ 中西 秀之 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）	生体材料機能医学特論 生体材料機能医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
266	専任	助教	カミナ シン 中村 伸 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医学学総合研究科コース特論 包括臨床演習 歯科放射線診断・治療学特論 歯科放射線診断・治療学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成19年4月）	5日
267	専任	助教	カキ ヒデミ 中田 秀美 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医学学総合研究科コース特論 包括臨床演習 口腔再生再建学特論 口腔再生再建学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成27年8月）	5日

268	専任	助教	ハセガワ シュンヤ 長谷川 純矢 ＜令和6年10月＞		薬学博士		脂質生物学特論 脂質生物学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成30年7月)	5日
269	専任	助教	ウシノ ミコ 辻 美千子 ＜令和6年10月＞		学士（歯学）		医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 顎顔面矯正学特論 顎顔面矯正学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成19年4月)	5日
270	専任	助教	ウツモト カズタカ 辻本 和峰 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		分子内分泌代謝学特論 分子内分泌代謝学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成29年4月)	5日
271	専任	助教	タムラ カオル 田村 郁 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		脳神経機能外科学特論 脳神経機能外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成24年4月)	5日
272	専任	助教	タノ ススム 田尾 進 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		循環制御内科学特論 循環制御内科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成31年1月)	5日
273	専任	助教	トイ サトミ 土井 理美 ＜令和6年10月＞		博士（臨床心理学）		政策科学特論 政策科学演習 研究実習 疫学応用	1通 1～2通 2～3通 1後	6 4 8 1	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和4年10月)	5日
274	専任	助教	シマヅ クロ マサヤ 島袋 将弥 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		医歯学総合研究科コース特論 無機生体材料科学特論 無機生体材料科学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和4年4月)	5日
275	専任	助教	シマダ シュウ 島田 周 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		分子腫瘍医学特論 分子腫瘍医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成25年8月)	5日
276	専任	助教	ヒカシ ミリ 東 美和 ＜令和6年10月＞		学士（医学）		脳神経病態学特論 脳神経病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成30年5月)	5日
277	専任	助教	フジイ サトル 藤井 悟 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		消化器病態学特論 消化器病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和4年4月)	5日
278	専任	助教	フジカワ タロウ 藤川 太郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		耳鼻咽喉科学特論 耳鼻咽喉科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成27年10月)	5日
279	専任	助教	フジタ キョウヘイ 藤田 恭平 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		細胞生理学特論 細胞生理学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和4年6月)	5日
280	専任	助教	フジキ タマリ 藤木 珠美 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		腎臓内科学特論 腎臓内科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和4年4月)	5日
281	専任	助教	クスミト ヤスカ 楠本 康香 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 小児歯科学・障害者歯科学特論 小児歯科学・障害者歯科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成23年1月)	5日
282	専任	助教	ハタノ メグミ 波多野 恵 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		分子腫瘍医学特論 分子腫瘍医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和4年10月)	5日
283	専任	助教	ハベ ハコ シュンイチ 馬場 峻一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		呼吸器外科学特論 呼吸器外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和3年4月)	5日
284	専任	助教	ウメリ サチ 梅森 幸 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 総合診療歯科学特論 総合診療歯科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成25年8月)	5日

285	専任	助教	ウメザワ ヨシロ 梅澤 佳央 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		血液内科学特論 血液内科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成30年4月）	5日
286	専任	助教	ウメザワ ナツカ 梅澤 夏佳 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		膠原病・リウマチ内科学特論 膠原病・リウマチ内科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成29年4月）	5日
287	専任	助教	ヤギノ ヨスケ 八木 洋輔 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		脳神経病態学特論 脳神経病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成29年4月）	5日
288	専任	助教	フクダ ショウヘイ 福田 翔平 ＜令和6年10月＞		学士（医学）		腎泌尿器外科学特論 腎泌尿器外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年4月）	5日
289	専任	助教	フクシマ ユウタ 福島 雄大 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		生体材料機能医学特論 生体材料機能医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和元年5月）	5日
290	専任	助教	ワカヅマ リョウ 分島 良 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		呼吸器外科学特論 呼吸器外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年4月）	5日
291	専任	助教	ヒライ サキヨウ 平井 作京 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		血管内治療学特論 血管内治療学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年4月）	5日
292	専任	助教	ヒラタ コウセイ 平田 浩聖 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		脳神経病態学特論 脳神経病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年8月）	5日
293	専任	助教	カタクラ マイ 片倉 麻衣 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		運動器外科学特論 運動器外科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年8月）	5日
294	専任	助教	ミザシ サキ 峰岸 沙希 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		医歯学総合研究科コース特論 法歯学特論 法歯学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年7月）	5日
295	専任	助教	キムラ ヤスキ 木村 康之 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 歯科心身医学特論 歯科心身医学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
296	専任	助教	キノ シホ 木野 志保 ＜令和6年10月＞		PhD in Epidemiology and Public Health		医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 健康推進歯学特論 健康推進歯学演習 研究実習 口腔疫学基礎 疫学応用	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通 1前 1後	6 8 6 4 8 1 1	1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
297	専任	助教	ノガミ アヤコ 野上 彩子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		臨床検査医学特論 臨床検査医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成28年4月）	5日
298	専任	助教	ヤナイ ショウゴ 柳井 翔吾 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		脂質生物学特論 脂質生物学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年6月）	5日
299	専任	助教	トモツグ ノブシ 友松 伸允 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 顎顔面外科学特論 顎顔面外科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成30年4月）	5日
300	専任	助教	ハシ カイリ 林 海里 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 咬合機能健康科学特論 咬合機能健康科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年7月）	5日

301	専任	助教	ワタ° ジュンイチロウ 和田 淳一郎 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	医歯学総合研究科コース特論 包括臨床演習 生体補綴歯科学特論 生体補綴歯科学演習 研究実習	1～2通 1～4通 1通 1～2通 2～3通	6 8 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成25年10月)	5日
302	専任	助教	クニヨシ カナ 國吉 佳奈子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	免疫アレルギー学特論 免疫アレルギー学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和3年4月)	5日
303	専任	助教	タカキ° シュンスケ 高木 俊輔 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	精神行動医科学Ⅰ特論 精神行動医科学Ⅰ演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成28年4月)	5日
304	兼担	技術専門職員	マスノ ヒロユキ 増野 弘幸 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）	先端機能分子特論	1通	1	1	東京医科歯科大学 技術専門職員 (平成18年10月)	
305	兼担	教授	パーク ヘウォン PARK HEEWON ＜令和6年10月＞		博士（理学）	初期研究研修 医療デバイス・システム機器特論 疾患分子病態学特論 生物統計学応用Ⅱ	1前 1前 1前 1後	1 1 1 1	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和2年6月)	
306	兼担	教授	イトウ ノブトシ 伊藤 暢聡 ＜令和6年10月＞		DEGREE OF DOCTOR OF PHILOSOPHY	英語プレゼンテーション特論 先端機能分子特論	1前 1通	1 1	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	
307	兼担	教授	カガ°チカ ヒロユキ 影近 弘之 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）	医歯学総合特論（大学院セミナー） 医歯学先端研究特論（大学院特別講義） 先端機能分子特論 機能分子開発技術特論 機能再建材料科学特論 理研生体分子制御学特論 生体分子制御学特論	1・2・3通 1・2・3通 1通 1通 1前 1通 1前	2 4 1 1 1 2 1	1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	
308	兼担	教授	カシ° ヒロカズ° 梶 弘和 ＜令和6年10月＞		博士（工学）	医療デバイス・システム機器特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 教授 (令和3年10月)	
309	兼担	教授	カハ°サリ ユウジ° 樺沢 勇司 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	先端口腔保健応用学特論 先端口腔保健応用学演習	1通 1通	2 1	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成29年2月)	
310	兼担	教授	セキヤ° イチロウ 関矢 一郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	応用再生医学特論 応用再生医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	
311	兼担	教授	キンダ° アキオ 岸田 晶夫 ＜令和6年10月＞		博士（工学）	医用材料工学特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	
312	兼担	教授	ヨシタ° マサユキ 吉田 雅幸 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	初期研究研修 先制医歯理工学概論Ⅰ（英語） 先進倫理医学特論 先進倫理医学演習 研究実習	1前 1後 1通 1～2通 2～3通	1 1 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	
313	兼担	教授	ヨシタ° ナオミ 吉田 直美 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	先端口腔保健応用学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 教授 (平成29年9月)	
314	兼担	教授	タムラ° ヒロカズ° 玉村 啓和 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）	初期研究研修 機能分子開発技術特論 先端ケミカルバイオロジー特論	1前 1通 1前	1 1 1	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	
315	兼担	教授	カイ° マサミ 金井 正美 ＜令和6年10月＞		博士（農学）	初期研究研修 疾患モデル動物解析学特論 疾患モデル動物解析学演習 研究実習	1前 1通 1～2通 2～3通	1 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	
316	兼担	教授	カナ°ワリ マナブ° 金澤 学 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	Essential Expertise for Clinical Dentistry (EECD) 先端口腔保健工学特論	1～4通 1通	1 1	1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和3年5月)	

317	兼任	教授	ホリヤ カミツ 細谷 孝充 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）		先端機能分子特論 機能分子開発技術特論	1通 1通	1 1	1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	
318	兼任	教授	バンナイ ヒデオ 坂内 英夫 ＜令和6年10月＞		博士（情 報理工 学）		医療デバイス・システム機器特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年4月）	
319	兼任	教授	ミツバヤシ コウジ 三林 浩二 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）		先制医歯理工学概論Ⅰ（日本語） 先端バイオセンシングデバイス特論 ウェアラブルIoT技術特論	1前 1前 1前	1 1 1	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	
320	兼任	教授	マツカバ リュウキ 松田 憲之 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）		疾患生命科学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 教授 （令和4年1月）	
321	兼任	教授	マツオ コウイチロウ 松尾 浩一郎 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）		先端口腔保健応用学特論 先端口腔保健応用学演習	1通 1通	2 1	1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年4月）	
322	兼任	教授	ニシハ ヒロシ 仁科 博史 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）		疾患生命科学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	
323	兼任	教授	セガワ カツメリ 瀬川 勝盛 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）		疾患生命科学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年4月）	
324	兼任	教授	アベ カズヒロ 青木 和広 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）		硬組織研究・骨形態計測学特論	1通	1	1	東京医科歯科大学 教授 （平成29年2月）	
325	兼任	教授	イシカワ キンヤ 石川 欽也 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		先制医歯理工学概論Ⅰ（日本語） 先制医歯理工学概論Ⅰ（英語） 先制医歯理工学概論Ⅱ ゲノム健康医療学特論 ゲノム健康医療学演習 研究実習	1前 1後 1後 1通 1～2通 2～3通	1 1 1 6 4 8	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成27年1月）	
326	兼任	教授	オオカワ リュウノスケ 大川 龍之介 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）		先制医歯理工学概論Ⅰ（日本語） 先制医歯理工学概論Ⅰ（英語）	1前 1後	1 1	1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成31年4月）	
327	兼任	教授	イケガチ マサシ 池内 真志 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）		先端バイオセンシングデバイス特論 医療デバイス・システム機器特論	1前 1前	1 1	1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年10月）	
328	兼任	教授	タケウチ カツユキ 竹内 勝之 ＜令和6年10月＞		修士（医 科学）		マネジメント特論 国際動向特論 知的財産特論 データサイエンス特論Ⅰ（日本語） データサイエンス特論Ⅱ（日本語） データサイエンス特論Ⅲ データサイエンス特論Ⅳ	1通 1前 1後 1前 1前 1通 1前 1通	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年4月）	
329	兼任	教授	ナカジマ ヨシカズ 中島 義和 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）		生体情報数理解析論 医療デバイス・システム機器特論	1前 1前	1 1	1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成29年4月）	
330	兼任	教授	タカハ トシヒロ 田中 敏博 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		初期研究研修 先制医歯理工学概論Ⅰ（日本語） 先制医歯理工学概論Ⅰ（英語） 疾患多様性遺伝学特論 疾患多様性遺伝学演習 研究実習	1前 1前 1後 1通 1～2通 2～3通	1 1 1 6 4 8	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年4月）	

331	兼担	教授	ニカドウ イトシ 二階堂 愛 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		疾患生命科学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年4月）	
332	兼担	教授	イダ カサリ 飯田 香緒里 ＜令和6年10月＞		博士（学術）		初期研究研修	1前	1	1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年9月）	
333	兼担	教授	タケハ カサリ 武部 貴則 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		器官発生・創生学特論 器官発生・創生学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成30年2月）	
334	兼担	教授	ヒラカワ アキヒロ 平川 晃弘 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		臨床統計学特論 臨床統計学演習 研究実習 臨床試験方法論基礎 臨床試験方法論応用	1通 1～2通 2～3通 1前 1後	6 4 8 1 1	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年4月）	
335	兼担	教授	キノシタ アツヒロ 木下 淳博 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		初期研究研修 医歯学総合研究科コース特論 教育メディア開発学特論 教育メディア開発学演習 研究実習	1前 1～2通 1通 1～2通 2～3通	1 6 6 4 8	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	
336	兼担	教授	アイ マサミ 藍 真澄 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		保険医療管理学特論 保険医療管理学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年7月）	
337	兼担	教授	シバギ ヒロシ 澁谷 浩司 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		疾患生命科学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	
338	兼担	教授	タカガキ カツキ 高田 和生 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		疾患予防パブリックヘルス医学概論 先駆的医療人材育成特論 先駆的医療人材育成演習 研究実習	1・2・3後 1通 1～2通 2～3通	2 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成24年12月）	
339	兼担	准教授	キャネル デイビット CANNELL DAVID ＜令和6年10月＞		PhD East Asian Language s and Literatures		初期研究研修	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （平成26年6月）	
340	兼担	准教授	ジャンネル ルネ モロス JANELLE RENEE MOROSS ＜令和6年10月＞		准学士（看護）		英語プレゼンテーション特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （平成26年2月）	
341	兼担	准教授	ジャンネット デニソン JEANETTE DENNISSON ＜令和6年10月＞		修士（理学）		英語ディベート特論	1前・後	1	2	東京医科歯科大学 准教授 （平成27年4月）	
342	兼担	准教授	ヨコイ タイシ 横井 太史 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		組織再生材料科学特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （令和元年9月）	
343	兼担	准教授	ヨヤマ ミナト 横山 みなと ＜令和6年10月＞		博士（医学）		保険医療管理学特論 保険医療管理学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年8月）	
344	兼担	准教授	オカガキ タクヤ 岡田 卓也 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		疾患予防パブリックヘルス医学概論	1・2・3後	2	1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年4月）	
345	兼担	准教授	イワキ マコ 岩城 麻衣子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		先端口腔保健工学特論	1通	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	
346	兼担	准教授	ゴトウ トシヤス 後藤 利保 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		疾患生命科学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	

347	兼担	准教授	ササキ シュンコ 佐々木 純子 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）		疾患分子病態学特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （平成30年5月）	
348	兼担	准教授	ササカワ ヨウヘイ 笹川 洋平 ＜令和6年10月＞		博士（生命科学）		疾患生命科学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年4月）	
349	兼担	准教授	ヤマノ コウジ 山野 晃史 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		疾患生命科学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	
350	兼担	准教授	オノキ シンヤ 小野木 真哉 ＜令和6年10月＞		博士（科学）		生体情報数理解析論	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （令和2年4月）	
351	兼担	准教授	マツモト アキラ 松元 亮 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		先端バイオセンシングデバイス特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （平成23年3月）	
352	兼担	准教授	スモト ノブタカ 沼本 修孝 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		先端機能分子特論 先端ケミカルバイオロジー特論	1通 1前	1 1	1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年6月）	
353	兼担	准教授	フナト リコ 船戸 紀子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		シグナル遺伝子制御学特論 シグナル遺伝子制御学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成26年4月）	
354	兼担	准教授	オオキ メイコ 大木 明子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		先端口腔保健工学特論	1通	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （平成23年4月）	
355	兼担	准教授	ニノ タカシ 丹羽 節 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		機能分子開発技術特論 先端ケミカルバイオロジー特論	1通 1前	1 1	1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年10月）	
356	兼担	准教授	タケガチ ジュン 竹内 純 ＜令和6年10月＞		博士（バイオサイエンス）		疾患分子病態学特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （平成28年11月）	
357	兼担	准教授	ハセガワ タカノリ 長谷川 嵩矩 ＜令和6年10月＞		博士（情報学）		データサイエンス特論Ⅱ（英語）	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年9月）	
358	兼担	准教授	ハセ タカシ 長谷 武志 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		データサイエンス特論Ⅱ（日本語） データサイエンス特論Ⅲ	1通 1前	1 1	1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成30年4月）	
359	兼担	准教授	ツジ コウヘイ 辻 耕平 ＜令和6年10月＞		博士（薬科学）		機能分子開発技術特論 先端ケミカルバイオロジー特論	1通 1前	1 1	1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年1月）	
360	兼担	准教授	ツルタ ジュン 鶴田 潤 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		医歯学総合研究科コース特論 歯学教育システム評価学特論 歯学教育システム評価学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	
361	兼担	准教授	タムラ アツシ 田村 篤志 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		生体機能材料科学特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （平成30年4月）	
362	兼担	准教授	フジイ シンヤ 藤井 晋也 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）		先端機能分子特論 機能分子開発技術特論 先端ケミカルバイオロジー特論	1通 1通 1前	1 1 1	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和元年6月）	
363	兼担	准教授	アカシ タクミ 明石 巧 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		診断病理学特論 診断病理学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	

364	兼任	准教授	キムラ ヲシ 木村 剛 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）	先端バイオマテリアル特論 先端バイオマテリアル演習 研究実習 医用材料工学特論	1通 1～2通 2～3通 1前	6 4 8 1	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	
365	兼任	講師	スミタ ユカ 隅田 由香 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）	Essential Expertise for Clinical Dentistry (EECD)	1～4通	1	1	東京医科歯科大学 講師 （平成21年2月）	
366	兼任	講師	エハナ ユウスケ 江花 有亮 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）	初期研究研修 先進倫理医科学特論 先進倫理医科学演習 研究実習	1前 1通 1～2通 2～3通	1 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成27年5月）	
367	兼任	講師	コウバタ ヒロコ 甲畑 宏子 ＜令和6年10月＞		博士（学 術）	先進倫理医科学特論 先進倫理医科学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	
368	兼任	講師	コフジ サトシ 小藤 智史 ＜令和6年10月＞		博士（薬 学）	疾患生命科学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 講師 （令和元年12月）	
369	兼任	講師	マツダ ユウヘイ 松田 悠平 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）	先端口腔保健応用学特論 先端口腔保健応用学演習	1通 1通	2 1	1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	
370	兼任	講師	イケガキ マサオミ 池田 正臣 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）	先端口腔保健工学特論	1通	1	1	東京医科歯科大学 講師 （平成23年4月）	
371	兼任	講師	セキ ナオコ 関 奈央子 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）	Essential Expertise for Clinical Dentistry (EECD)	1～4通	1	1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	
372	兼任	助教	アタチ ナオコ 安達 奈穂子 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）	先端口腔保健応用学特論 先端口腔保健応用学演習	1通 1通	2 1	1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成30年4月）	
373	兼任	助教	イトウ タシ 伊藤 崇 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）	疾患予防パブリックヘルス医学概論 人体病理学特論 人体病理学演習 研究実習	1・2・3後 1通 1～2通 2～3通	2 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成22年4月）	
374	兼任	助教	イトウ カチ 伊藤 奏 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）	先端口腔保健応用学特論 先端口腔保健応用学演習	1通 1通	2 1	1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成30年4月）	
375	兼任	助教	シオサワ マホ 塩沢 真穂 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）	先端口腔保健工学特論	1通	1	1	東京医科歯科大学 助教 （平成29年5月）	
376	兼任	助教	ウミセ アキラ 海瀬 晃 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）	機能再建材料科学特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 助教 （平成29年4月）	
377	兼任	助教	ハシモト ヨシヒデ 橋本 良秀 ＜令和6年10月＞		博士（学 術）	医用材料工学特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 助教 （平成27年10月）	
378	兼任	助教	サトリ ヒロユキ 佐藤 宏征 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）	臨床統計学特論 臨床統計学演習 研究実習 臨床試験方法論応用	1通 1～2通 2～3通 1後	6 4 8 1	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年4月）	
379	兼任	助教	シュウ トウハク 周 東博 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）	生体情報数理解析論	1前	1	1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	
380	兼任	助教	コバヤシ タケヤ 小早川 拓也 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）	機能分子開発技術特論	1通	1	1	東京医科歯科大学 助教 （平成29年10月）	

381	兼担	助教	カシヨウ シンゴ 上條 真吾 ＜令和6年10月＞		修士（学 術）		先端口腔保健工学特論 硬組織研究・骨形態計測学特論	1通 1通	1 1	1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年4月）	
382	兼担	助教	スサガ マサヨ 須永 昌代 ＜令和6年10月＞		学士（教 養）		歯医学総合研究科コース特論 教育メディア開発学特論 教育メディア開発学演習 研究実習	1～2通 1通 1～2通 2～3通	6 6 4 8	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成22年4月）	
383	兼担	助教	スキノ 効アキ 杉野 貴明 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）		生体情報数理解析論	1前	1	1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	
384	兼担	助教	シミス マサヒロ 清水 幹容 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）		疾患生命科学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 助教 （令和元年9月）	
385	兼担	助教	イシダ リョウスケ 石田 良典 ＜令和6年10月＞		博士（薬 科学）		先端機能分子特論 機能分子開発技術特論	1通 1通	1 1	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年9月）	
386	兼担	助教	タケモト アキラ 竹本 颯 ＜令和6年10月＞		学士（医 学）		初期研究研修 先制医歯理工学概論Ⅰ（日本語） 先制医歯理工学概論Ⅰ（英語）	1前 1前 1後	1 1 1	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年5月）	
387	兼担	助教	タケチ ジュンペイ 田口 純平 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）		先端機能分子特論 機能分子開発技術特論	1通 1通	1 1	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和元年7月）	
388	兼担	助教	ツチダ ユウミ 土田 優美 ＜令和6年10月＞		修士（口 腔保健 学）		先端口腔保健工学特論	1通	1	1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	
389	兼担	助教	ヒガシ レナ 日高 玲奈 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）		先端口腔保健応用学演習	1通	1	1	東京医科歯科大学 助教 （平成30年4月）	
390	兼担	助教	ハタヤマ タカシ 畑山 貴志 ＜令和6年10月＞		学士（歯 学）		Essential Expertise for Clinical Dentistry (EECD)	1～4通	1	1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	
391	兼担	助教	イイタニ ケンタ 飯谷 健太 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）		ウェアラブルIoT技術特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年2月）	
392	兼担	助教	イイタ ヨリツグ 飯田 頼嗣 ＜令和6年10月＞		修士（理 学）		マネジメント特論 データサイエンス特論Ⅱ（日本語） データサイエンス特論Ⅲ	1通 1通 1前	1 1 1	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年1月）	
393	兼担	助教	ヨネミツ イクオ 米満 郁男 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）		Essential Expertise for Clinical Dentistry (EECD)	1～4通	1	1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	
394	兼担	助教	アリサカ ヨシノリ 有坂 慶紀 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		生体機能材料学特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 助教 （平成27年4月）	
395	兼担	助教	スズキ ヒトミ 鈴木 瞳 ＜令和6年10月＞		博士（口 腔保健福 祉学）		先端口腔保健応用学演習	1通	1	1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	
396	兼担	助教	オオサカ ミズコ 大坂 瑞子 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		先進倫理医学特論 先進倫理医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成23年4月）	
397	兼任	非常勤 講師	ファルハ ナオミ オマール ファルーク FARHA NAOMI OMAR F ＜令和6年10月＞		博士（哲 学）・理 学士		英語プレゼンテーション特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	

398	兼任	非常勤務 講師	イソベ テツ 磯部 哲 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		ポストコロナ社会における感染症対 策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
399	兼任	非常勤務 講師	ウカシゲン アツシ 宇賀神 敦 ＜令和6年10月＞		学士（工 学）		国際動向特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
400	兼任	非常勤務 講師	ウカガ マサシ 岡田 将誌 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）		国際動向特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
401	兼任	非常勤務 講師	シモカワ アサオ 下川 朝有 ＜令和6年10月＞		修士（理 学） 博士（理 学）		データサイエンス特論Ⅲ	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
402	兼任	非常勤務 講師	カウ タイ 加藤 大 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）		先端バイオセンシングデバイス特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
403	兼任	非常勤務 講師	ヨシオカ カツリ 吉岡 克成 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）		ウェアラブルIoT技術特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
404	兼任	非常勤務 講師	ヨシノ ヒロシ 吉野 宏志 ＜令和6年10月＞		修士（言 語学）		マネジメント特論	1通	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
405	兼任	非常勤務 講師	クボタ ヒロシ 久保田 宏 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）		国際動向特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
406	兼任	非常勤務 講師	フルカワ タカコ 古川 高子 ＜令和6年10月＞		修士（学 術）		ポストコロナ社会における感染症対 策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
407	兼任	非常勤務 講師	タカク レオ 高久 玲音 ＜令和6年10月＞		博士（商 学）		ポストコロナ社会における感染症対 策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
408	兼任	非常勤務 講師	イマムラ ケン 今村 健 ＜令和6年10月＞		修士（芸 術工学）		マネジメント特論	1通	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
409	兼任	非常勤務 講師	コシマ ヒロユキ 小島 寛之 ＜令和6年10月＞		修士（経 済学） 博士（経 済学）		データサイエンス特論Ⅰ（日本語） データサイエンス特論Ⅳ	1前 1通	1 1	1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
410	兼任	非常勤務 講師	スギミツ カスナリ 杉光 一成 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）		知的財産特論	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
411	兼任	非常勤務 講師	セシジュン 瀬々 潤 ＜令和6年10月＞		博士（科 学）		先制医歯理工学概論Ⅱ	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
412	兼任	非常勤務 講師	イシカワ テツオ 石川 哲朗 ＜令和6年10月＞		修士（理 学） 博士（理 学）		先制医歯理工学概論Ⅱ	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
413	兼任	非常勤務 講師	カワカミ エリヨウ 川上 英良 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		先制医歯理工学概論Ⅱ	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
414	兼任	非常勤務 講師	カワセ マコト 川瀬 真 ＜令和6年10月＞		学士（法 学）		知的財産特論	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
415	兼任	非常勤務 講師	アサイ ヨシユキ 浅井 義之 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）		先制医歯理工学概論Ⅱ	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	

416	兼任	非常勤務 講師	クラモチ シン 倉持 仁 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		ポストコロナ社会における感染症対策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
417	兼任	非常勤務 講師	ナカヤマ トシヒデ 中山 俊秀 ＜令和6年10月＞		博士（言語学）		ポストコロナ社会における感染症対策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
418	兼任	非常勤務 講師	タナハ ユウジ 田邊 勇二 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		ウェアラブルIoT技術特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
419	兼任	非常勤務 講師	イタコシ マサヒコ 板越 正彦 ＜令和6年10月＞		修士（国際経営学）		マネジメント特論	1通	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
420	兼任	非常勤務 講師	ヒライ ユウキ 平井 佑希 ＜令和6年10月＞		法務博士		知的財産特論	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
421	兼任	非常勤務 講師	ヒラハタ コウイチ 平畑 光一 ＜令和6年10月＞		学士（医学）		ポストコロナ社会における感染症対策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
422	兼任	非常勤務 講師	オサカ ケイイチ 保坂 啓一 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		Essential Expertise for Clinical Dentistry (EECD)	1～4通	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
423	兼任	非常勤務 講師	モクシ カオル 茂樹 薫 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		データサイエンス特論Ⅱ（日本語）	1通	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
424	兼任	非常勤務 講師	ヤノ コウセイ 矢野 孝星 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		Essential Expertise for Clinical Dentistry (EECD)	1～4通	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
425	兼任	非常勤務 講師	クニ オサム 國井 修 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		ポストコロナ社会における感染症対策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
426	兼任	非常勤務 講師	ガイルスト リュック ニコラ Gailhouste, Luc Nicolas ＜令和6年10月＞		博士（生物学）		理研生体分子制御学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
427	兼任	非常勤務 講師	クルジギン ノウスキー マレック コンラート Krzyzanowski, Marek Konrad ＜令和6年10月＞		博士（生物学）		理研生体分子制御学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
428	兼任	非常勤務 講師	マスード カン Masud Khan ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		硬組織研究・骨形態計測学特論	1通	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
429	兼任	非常勤務 講師	アタツ ヒデノリ 阿久津 英憲 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		NCCHD成育医学特論 NCCHD成育医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
430	兼任	非常勤務 講師	イチノハ ノリタカ 一戸 紀孝 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		NCNP脳機能病態学特論 NCNP脳機能病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
431	兼任	非常勤務 講師	エントウ リョウ 遠藤 良 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		理研生体分子制御学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
432	兼任	非常勤務 講師	ヨコヤマ イズミ 横山 泉 ＜令和6年10月＞		博士（経済学）		ポストコロナ社会における感染症対策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
433	兼任	非常勤務 講師	マルヤマ レオ 丸山 玲緒 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		JFCR腫瘍制御学特論 JFCR腫瘍制御学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	

434	兼任	非常勤務 講師	ヨシカ ヒロマサ 吉岡 広大 ＜令和6年10月＞		博士（薬 科学）		生体分子制御学特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
435	兼任	非常勤務 講師	ヨシタ ヒデユキ 吉田 英行 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		理研生体分子制御学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
436	兼任	非常勤務 講師	ミヤカ ユウイチロウ 宮岡 佑一郎 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）		都医学研疾患分子生物学特論 都医学研疾患分子生物学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
437	兼任	非常勤務 講師	ミヤカ ノブヒコ 宮坂 信彦 ＜令和6年10月＞		博士（薬 学）		理研生体分子制御学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
438	兼任	非常勤務 講師	ハシモト タカフミ 橋本 唯史 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		NCNP脳機能病態学特論 NCNP脳機能病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
439	兼任	非常勤務 講師	ハラ タカヒコ 原 孝彦 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）		都医学研疾患分子生物学特論 都医学研疾患分子生物学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
440	兼任	非常勤務 講師	ヒロタ トオル 広田 亨 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		JFCR腫瘍制御学特論 JFCR腫瘍制御学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
441	兼任	非常勤務 講師	アラカワ ヒロフミ 荒川 博文 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		疾患分子病態学特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
442	兼任	非常勤務 講師	タカハシ アキコ 高橋 暁子 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）		JFCR腫瘍制御学特論 JFCR腫瘍制御学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
443	兼任	非常勤務 講師	タカガ シュウジ 高田 修治 ＜令和6年10月＞		博士（地 球環境科 学）		NCCHD成育医学特論 NCCHD成育医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
444	兼任	非常勤務 講師	ヤマシタ ユウイチ 山下 祐一 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		NCNP脳機能病態学特論 NCNP脳機能病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
445	兼任	非常勤務 講師	ヤマカチ マサミ 山口 真澄 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）		ウェアラブルIoT技術特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
446	兼任	非常勤務 講師	シタ タシ 七田 崇 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		都医学研疾患分子生物学特論 都医学研疾患分子生物学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
447	兼任	非常勤務 講師	ウルシハラ ヒサシ 漆原 尚巳 ＜令和6年10月＞		博士（社 会健康医 学）		生物統計学応用Ⅱ	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
448	兼任	非常勤務 講師	オノデラ マサフミ 小野寺 雅史 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		NCCHD成育医学特論 NCCHD成育医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
449	兼任	非常勤務 講師	マツモト ケンジ 松本 健治 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		NCCHD成育医学特論 NCCHD成育医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
450	兼任	非常勤務 講師	アライ マコト 新井 誠 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）		都医学研疾患分子生物学特論 都医学研疾患分子生物学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
451	兼任	非常勤務 講師	フカミ マキ 深見 真紀 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		NCCHD成育医学特論 NCCHD成育医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	

452	兼任	非常勤務 講師	ハタ ケンイチロウ 秦 健一郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		NCCHD成育医学特論 NCCHD成育医学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
453	兼任	非常勤務 講師	ナルヒ テツヤ 成瀬 哲也 ＜令和6年10月＞		修士（工学）		ウェアラブルIoT技術特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
454	兼任	非常勤務 講師	ホシノ ミキオ 星野 幹雄 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		NCNP脳機能病態学特論 NCNP脳機能病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
455	兼任	非常勤務 講師	ホシノ タカヒロ 星野 崇宏 ＜令和6年10月＞		博士（学術）博士 （経済学）		生物統計学応用Ⅰ	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
456	兼任	非常勤務 講師	アベ ヨシツグ 青木 吉嗣 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		NCNP脳機能病態学特論 NCNP脳機能病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
457	兼任	非常勤務 講師	イシガキ カズヨシ 石垣 和慶 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		生体分子制御学特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
458	兼任	非常勤務 講師	イズミ マサナリ 泉 正範 ＜令和6年10月＞		博士（農学）		理研生体分子制御学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
459	兼任	非常勤務 講師	マストミ ケンチ 増富 健吉 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		疾患生命科学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
460	兼任	非常勤務 講師	オオキ シンジ 大木 伸司 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）		NCNP脳機能病態学特論 NCNP脳機能病態学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
461	兼任	非常勤務 講師	タニウチ イチロウ 谷内 一郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		理研生体分子制御学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
462	兼任	非常勤務 講師	タケウチ ケンコ 竹内 賢吾 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		JFCR腫瘍制御学特論 JFCR腫瘍制御学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
463	兼任	非常勤務 講師	ハセガワ マサト 長谷川 成人 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		都医学研疾患分子生物学特論 都医学研疾患分子生物学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
464	兼任	非常勤務 講師	ツジ シンゴ 辻 真吾 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		先制医歯理工学概論Ⅱ	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
465	兼任	非常勤務 講師	タケミ ジュンスケ 田上 俊輔 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		理研生体分子制御学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
466	兼任	非常勤務 講師	タカモト マサ 田中 元雅 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		理研生体分子制御学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
467	兼任	非常勤務 講師	ワタナベ リキヤ 渡邊 力也 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		理研生体分子制御学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
468	兼任	非常勤務 講師	ハギハラ シンヤ 萩原 伸也 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		生体分子制御学特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	

469	兼任	非常勤務 講師	シラミ ショウヘイ 白神 昇平 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）		国際動向特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
470	兼任	非常勤務 講師	トミタ アキヒロ 富田 章弘 ＜令和6年10月＞		博士（薬 学）		JFCR腫瘍制御学特論 JFCR腫瘍制御学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
471	兼任	非常勤務 講師	フカリ アユミ 布川 あゆみ ＜令和6年10月＞		博士（社 会学）		ポストコロナ社会における感染症対 策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
472	兼任	非常勤務 講師	ハットリ サトシ 服部 聡 ＜令和6年10月＞		博士（臨 床統計 学）		生物統計学応用 I	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
473	兼任	非常勤務 講師	ノマ ヒサシ 野間 久史 ＜令和6年10月＞		博士（統 計数理 学）		生物統計学応用 I	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
474	兼任	非常勤務 講師	ノカ ケイ 野中 希一 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）		硬組織研究・骨形態計測学特論	1通	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
475	兼任	非常勤務 講師	トウマ コウジ 富麻 浩司 ＜令和6年10月＞		Doctor rerum naturali um technica rum		先端バイオセンシングデバイス特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
476	兼任	非常勤務 講師	サイトウ ノリコ 齊藤 典子 ＜令和6年10月＞		博士 （Ph. D）		JFCR腫瘍制御学特論 JFCR腫瘍制御学演習 研究実習	1通 1～2通 2～3通	6 4 8	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
477	兼任	非常勤務 講師	トト コウスケ 関 関 孝介 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）		生体分子制御学特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	

教 員 の 氏 名 等													
(医歯学総合研究科 博士課程 東京科学大学（仮称）・チリ大学国際連携医学系専攻)													
調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年	当 次	担 単 位 数	当 年 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職 務 に 従 事 する 週 当 たり 平 均 日 数
1	専任	教授	ナカタ タカオ 中田 隆夫 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～5		56	1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
2	専任	教授	ワカモト リュウイチ 岡本 隆一 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		消化器病態学研究概論 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前・後・2前 3～5		4 56	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成26年4月)	5日
3	専任	教授	オオテキ トシアキ 榑木 俊聡 ＜令和6年10月＞		博士 (歯学)		初期研究研修 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前 3～5		1 56	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
4	専任	教授	キヌカミ シュウカズ 網笠 祐介 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		消化管外科学研究概論 胃腸病内科臨床基礎(東京科学大学（仮称）) 胃腸病内科臨床応用Ⅰ(東京科学大学（仮称）) 胃腸病内科臨床応用Ⅱ(東京科学大学（仮称）) 大腸肛門外科臨床基礎(東京科学大学（仮称）) 大腸肛門外科臨床応用Ⅰ(東京科学大学（仮称）) 大腸肛門外科臨床応用Ⅱ(東京科学大学（仮称）) 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1後 3～4 4～5 3・4・5 3～4 4～5 3・4・5 3～5		4 2 35 8 2 35 8 56	1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成29年9月)	5日
5	専任	教授	ヨシムラ リョウイチ 吉村 亮一 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～5		56	1	東京医科歯科大学 教授 (平成26年4月)	5日
6	専任	教授	ヨシダ マサユキ 吉田 雅幸 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		初期研究研修 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前 3～5		1 56	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
7	専任	教授	カナイ マサミ 金井 正美 ＜令和6年10月＞		博士 (農学)		初期研究研修 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前 3～5		1 56	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
8	専任	教授	テラカミ スミオ 寺田 純雄 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～5		56	1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
9	専任	教授	アキタ ケイイチ 秋田 恵一 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		疾患予防パブリックヘルス医学概論 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前・後・2前 3～5		2 56	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
10	専任	教授	カガチ ヒロユキ 影近 弘之 ＜令和6年10月＞		博士 (薬学)		機能分子化学 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前・後・2前 3～5		2 56	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
11	専任	教授	モリ タケヒコ 森 毅彦 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		包括的臨床腫瘍学 特別研究(東京科学大学（仮称）) がんゲノム医療の基礎と臨床 臨床腫瘍学研究特論	1前・後・2前 3～5 1前・後・2前 1後・2後		1 56 1 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和3年4月)	5日
12	専任	教授	タケナカ カツキ 竹内 勝之 ＜令和6年10月＞		修士 (医学)		データサイエンス特論Ⅰ 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前・2前 3～5		1 56	1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和3年4月)	5日
13	専任	教授	イシカワ シンヤ 石川 欽也 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		先制医歯理工学概論Ⅰ 先制医歯理工学概論Ⅱ 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前・2前 1後・2後 3～5		1 1 56	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成27年1月)	5日
14	専任	教授	オオハシ ケンイチ 大橋 健一 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		包括病理学研究特論	1前・2前		4	1	東京医科歯科大学 教授 (令和2年7月)	5日

15	専任	教授	ニムア アネト 二村 昭元 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～5	56	1	東京医科歯科大学 教授 (令和2年4月)	5日
16	専任	教授	ナカム ケイコ 中村 桂子 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		疾患予防パブリックヘルス医学概 論 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前・後・2前 3～5	2 56	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成28年4月)	5日
17	専任	教授	タカ テツヤ 田賀 哲也 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		初期研究研修 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前 3～5	1 56	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
18	専任	教授	タナ シンジ 田中 真二 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～5	56	1	東京医科歯科大学 教授 (平成26年11月)	5日
19	専任	教授	タナ シンロ 田中 敏博 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		初期研究研修 ビッグデータ解析学 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前 1前・後・2前 3～5	1 1 56	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年4月)	5日
20	専任	教授	トウガ シュウジ 東田 修二 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～5	56	1	東京医科歯科大学 教授 (平成27年9月)	5日
21	専任	教授	フジワラ タカオ 藤原 武男 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		疾患予防パブリックヘルス医学概 論 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前・後・2前 3～5	2 56	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成28年4月)	5日
22	専任	教授	ニカイトウ イト 二階堂 愛 ＜令和6年10月＞		博士 (理学)		疾患生命科学特論 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前・2前 3～5	2 56	1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和2年4月)	5日
23	専任	教授	フジミ キョウジ 伏見 清秀 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～5	56	1	東京医科歯科大学 教授 (平成31年3月)	5日
24	専任	教授	ニシナ ヒロシ 仁科 博史 ＜令和6年10月＞		博士 (理学)		初期研究研修 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前 3～5	1 56	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
25	専任	教授	キノタ アツヒロ 木下 淳博 ＜令和6年10月＞		博士 (歯学)		初期研究研修 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前 3～5	1 56	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
26	専任	教授	イセキ サチコ 井関 祥子 ＜令和6年10月＞		博士 (学術)		特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～5	56	1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
27	専任	教授	タテシ ウチダ 立石 宇貴秀 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		ビッグデータ解析学 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前・後・2前 3～5	1 56	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成26年10月)	5日
28	専任	教授	アサハラ ヒロシ 浅原 弘嗣 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～5	56	1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
29	専任	教授	タムムラ ヒロカズ 玉村 啓和 ＜令和6年10月＞		博士 (薬学)		機能分子化学 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前・後・2前 3～5	2 56	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
30	専任	教授	タカハシ ケンイチ 高橋 邦彦 ＜令和6年10月＞		博士 (理学)		臨床・遺伝統計学 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前・後・2前 3～5	2 56	1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和2年4月)	5日
31	専任	教授	ホシヤ カミツ 細谷 孝充 ＜令和6年10月＞		博士 (理学)		機能分子化学 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前・後・2前 3～5	2 56	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
32	専任	教授	タカガキ キョウキ 高田 和生 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		疾患予防パブリックヘルス医学概 論 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前・後・2前 3～5	2 56	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成24年12月)	5日

33	専任 (調)	准教授	岡田 卓也 ＜令和6年10月＞	博士 (医学)		初期研究研修 疾患予防パブリックヘルス医学概論 胃腸病内科臨床基礎(東京科学大学(仮称)) 胃腸病内科臨床応用Ⅰ(東京科学大学(仮称)) 胃腸病内科臨床応用Ⅱ(東京科学大学(仮称)) 上部消化管外科臨床基礎(東京科学大学(仮称)) 上部消化管外科臨床応用Ⅰ(東京科学大学(仮称)) 上部消化管外科臨床応用Ⅱ(東京科学大学(仮称))	1前・後・2前 1前・後・2前 3～4 2 4～5 35 3・4・5 8 1 3～4 2 4～5 35 3・4・5 8	1 2 2 1 35 8 1 2 1 35 8	1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 (令和3年4月)	5日
34	専任	准教授	工藤 敏文 ＜令和6年10月＞	博士 (医学)		総合外科学研究概論 特別研究(東京科学大学(仮称))	1後 3～5	4 56	1 1	東京医科歯科大学 准教授 (平成29年7月)	5日
35	専任	准教授	根本 泰宏 ＜令和6年10月＞	博士 (医学)		特別研究(東京科学大学(仮称))	3～5	56	1	東京医科歯科大学 准教授 (令和4年4月)	5日
36	専任	准教授	笹川 洋平 ＜令和6年10月＞	博士 (生命科学)		特別研究(東京科学大学(仮称))	3～5	56	1	東京医科歯科大学 准教授 (令和3年4月)	5日
37	専任	准教授	杉内 友理子 ＜令和6年10月＞	博士 (医学)		特別研究(東京科学大学(仮称))	3～5	56	1	東京医科歯科大学 准教授 (平成25年8月)	5日
38	専任	准教授	増田 貴夫 ＜令和6年10月＞	博士 (医学)		特別研究(東京科学大学(仮称))	3～5	56	1	東京医科歯科大学 准教授 (平成25年8月)	5日
39	専任	准教授	森田 圭一 ＜令和6年10月＞	博士 (歯学)		ビッグデータ解析学 特別研究(東京科学大学(仮称))	1前・後・2前 3～5	1 56	1 1	東京医科歯科大学 准教授 (令和3年11月)	5日
40	専任	准教授	丹羽 節 ＜令和6年10月＞	博士 (工学)		機能分子化学 特別研究(東京科学大学(仮称))	1前・後・2前 3～5	2 56	1 1	東京医科歯科大学 准教授 (令和3年10月)	5日
41	専任	准教授	池田 貞勝 ＜令和6年10月＞	博士 (医学)		がんゲノム医療の基礎と臨床 ビッグデータ解析学 特別研究(東京科学大学(仮称))	1前・後・2前 1前・後・2前 3～5	1 1 56	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 (平成31年1月)	5日
42	専任	准教授	藤井 晋也 ＜令和6年10月＞	博士 (薬学)		特別研究(東京科学大学(仮称))	3～5	56	1	東京医科歯科大学 准教授 (令和元年6月)	5日
43	専任	准教授	末永 光邦 ＜令和6年10月＞	博士 (医学)		特別研究(東京科学大学(仮称))	3～5	56	1	東京医科歯科大学 准教授 (令和4年4月)	5日
44	専任	准教授	徳永 正則 ＜令和6年10月＞	学士 (医学)		上部消化管外科臨床基礎(東京科学大学(仮称)) 上部消化管外科臨床応用Ⅰ(東京科学大学(仮称)) 上部消化管外科臨床応用Ⅱ(東京科学大学(仮称)) 特別研究(東京科学大学(仮称))	3～4 4～5 35 3・4・5 8 3～5	2 35 8 56	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 (平成31年4月)	5日
45	専任	講師	安齋 達彦 ＜令和6年10月＞	博士 (医療マネジメント学)		臨床・遺伝統計学 ビッグデータ解析学 特別研究(東京科学大学(仮称))	1前・後・2前 1前・後・2前 3～5	2 1 56	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 (令和3年9月)	5日
46	専任	講師	伊藤 真以 ＜令和6年10月＞	博士 (医学)		特別研究(東京科学大学(仮称))	3～5	56	1	東京医科歯科大学 講師 (令和4年4月)	5日

47	専任	講師	カノ シシト 加納 嘉人 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～5	56	1	東京医科歯科大学 講師 (令和4年4月)	5日
48	専任	講師	アヤマ ヨシミツ 秋山 好光 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～5	56	1	東京医科歯科大学 講師 (平成15年7月)	5日
49	専任	講師	ハルキ シゲオ 春木 茂男 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～5	56	1	東京医科歯科大学 講師 (令和4年4月)	5日
50	専任	講師	ヤマモト コウヘイ 山本 浩平 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～5	56	1	東京医科歯科大学 講師 (令和4年4月)	5日
51	専任	講師	モリタ アヤコ 森田 彩子 ＜令和6年10月＞		博士 (生物科学)		特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～5	56	1	東京医科歯科大学 講師 (平成30年11月)	5日
52	専任	講師	ミズノ トモヒロ 水谷 知裕 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～5	56	1	東京医科歯科大学 講師 (令和4年4月)	5日
53	専任	講師	セイノ 薫子 清野 薫子 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		疾患予防パブリックヘルス医学概論 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前・後・2前 3～5	2 56	1 1	東京医科歯科大学 講師 (平成25年8月)	5日
54	専任	助教	イトウ 崇 伊藤 崇 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		疾患予防パブリックヘルス医学概論 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前・後・2前 3～5	2 56	1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成22年4月)	5日
55	専任	助教	オカモト ヨシミ 岡本 好海 ＜令和6年10月＞		博士 (理学)		特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～5	56	1	東京医科歯科大学 助教 (令和4年4月)	5日
56	専任	助教	ミヨシ マサト 三好 正人 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～5	56	1	東京医科歯科大学 助教 (令和4年5月)	5日
57	専任	助教	ヤマウチ シンイチ 山内 慎一 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		大腸肛門外科臨床基礎(東京科学大学（仮称）) 大腸肛門外科臨床応用Ⅰ(東京科学大学（仮称）) 大腸肛門外科臨床応用Ⅱ(東京科学大学（仮称）) 特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～4 4～5 3・4・5 3～5	2 35 8 56	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成26年10月)	5日
58	専任	助教	ムロタ ヨシタカ 室田 吉貴 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～5	56	1	東京医科歯科大学 助教 (令和3年4月)	5日
59	専任	助教	ヤマモト クララ 山本 くらら ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～5	56	1	東京医科歯科大学 助教 (令和2年10月)	5日
60	専任	助教	アオヤマ サトル 青山 慧 ＜令和6年10月＞		修士 (医科学)		特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～5	56	1	東京医科歯科大学 助教 (令和4年4月)	5日
61	専任	助教	タニモト コウスケ 谷本 幸介 ＜令和6年10月＞		博士 (生命科学)		がんゲノム医療の基礎と臨床 特別研究(東京科学大学（仮称）)	1前・後・2前 3～5	1 56	1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成25年8月)	5日
62	専任	助教	ムロウ サトル 室生 暁 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～5	56	1	東京医科歯科大学 助教 (令和2年4月)	5日
63	兼任	准教授	ヨコヤマ ミナト 横山 みなと ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		特別研究(東京科学大学（仮称）)	3～5	56	1	東京医科歯科大学 准教授 (令和3年8月)	

64	兼任	准教授	ナカノ マサカズ 長堀 正和 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		初期研究研修 胃腸病内科臨床基礎(東京科学大学 (仮称)) 胃腸病内科臨床応用Ⅰ(東京科学大学 (仮称)) 胃腸病内科臨床応用Ⅱ(東京科学大学 (仮称)) 特別研究(東京科学大学(仮称))	1前 3～4 4～5 3・4・5 3～5	1 2 35 8 56	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 (平成30年4月)	
65	兼任	准教授	ツチノ ジュンイチ 土屋 純一 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		ビッグデータ解析学	1前・後・2前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 (令和3年4月)	
66	兼任	講師	ヤマダ チヨミ 山口 久美子 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		特別研究(東京科学大学(仮称))	3～5	56	1	東京医科歯科大学 講師 (平成23年4月)	
67	兼任	講師	サトウ シンゴ 佐藤 信吾 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		包括的臨床腫瘍学	1前・後・2前	1	1	東京医科歯科大学 講師 (平成28年1月)	
68	兼任	講師	カワタ ケンロウ 川田 研郎 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		上部消化管外科臨床基礎(東京科学大学 (仮称)) 上部消化管外科臨床応用Ⅰ(東京科学大学 (仮称)) 上部消化管外科臨床応用Ⅱ(東京科学大学 (仮称)) 特別研究(東京科学大学(仮称))	3～4 4～5 3・4・5 3～5	2 35 8 56	1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 (平成27年4月)	
69	兼任	助教	ハナカ マリエ 花岡 まりえ ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		特別研究(東京科学大学(仮称))	3～5	56	1	東京医科歯科大学 助教 (令和3年4月)	
70	兼任	助教	イワタ ナヲ 岩田 乃理子 ＜令和6年10月＞		学士 (医学)		大腸肛門外科臨床基礎(東京科学大学 (仮称)) 大腸肛門外科臨床応用Ⅰ(東京科学大学 (仮称)) 大腸肛門外科臨床応用Ⅱ(東京科学大学 (仮称)) 特別研究(東京科学大学(仮称))	3～4 4～5 3・4・5 3～5	2 35 8 56	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和3年1月)	
71	兼任	助教	カニヤ タカヒロ 神谷 尚宏 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		包括的臨床腫瘍学	1前・後・2前	1	1	東京医科歯科大学 助教 (平成31年4月)	
72	兼任	助教	ニシザワ マサト 西澤 真人 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		大腸肛門外科臨床基礎(東京科学大学 (仮称)) 大腸肛門外科臨床応用Ⅰ(東京科学大学 (仮称)) 大腸肛門外科臨床応用Ⅱ(東京科学大学 (仮称)) 特別研究(東京科学大学(仮称))	3～4 4～5 3・4・5 3～5	2 35 8 56	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和3年4月)	
73	兼任	助教	フジワラ ヒサシ 藤原 尚志 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		上部消化管外科臨床基礎(東京科学大学 (仮称)) 上部消化管外科臨床応用Ⅰ(東京科学大学 (仮称)) 上部消化管外科臨床応用Ⅱ(東京科学大学 (仮称)) 特別研究(東京科学大学(仮称))	3～4 4～5 3・4・5 3～5	2 35 8 56	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和4年4月)	
74	兼任	助教	タカハタ アスミ 高岡 亜弓 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		大腸肛門外科臨床基礎(東京科学大学 (仮称)) 大腸肛門外科臨床応用Ⅰ(東京科学大学 (仮称)) 大腸肛門外科臨床応用Ⅱ(東京科学大学 (仮称)) 特別研究(東京科学大学(仮称))	3～4 4～5 3・4・5 3～5	2 35 8 56	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (令和4年4月)	
75	兼任	非常勤講師	ウラヤマ ケビン 浦山 ケビン ＜令和6年10月＞		博士 (疫学)		ビッグデータ解析学	1前・後・2前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 (令和6年10月)	

76	兼任	非常勤講師	ヨシダ ヒデユキ 吉田 英行 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		機能分子化学	1前・後・2前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 (令和6年10月)	
77	兼任	非常勤講師	モチヅ ケイスケ 持田 啓佑 ＜令和6年10月＞		博士 (理学)		機能分子化学	1前・後・2前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 (令和6年10月)	
78	兼任	非常勤講師	タナカ リコ 田中 紀子 ＜令和6年10月＞		博士 (保健学)		ビッグデータ解析学	1前・後・2前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 (令和6年10月)	
79	兼任	非常勤講師	ワナベ ノブモト 渡邊 信元 ＜令和6年10月＞		博士 (理学)		機能分子化学	1前・後・2前	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 (令和6年10月)	

教 員 の 氏 名 等													
(医歯学総合研究科 博士課程 東京科学大学（仮称）・チュラロンコン大学国際連携歯学系専攻)													
調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年	当 次	担 単 位 数	年 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の職 務 に 従 事 す る 週 当 た り 平 均 日 数
1	専任	教授	ウオ モトヒロ 宇尾 基弘 ＜令和6年10月＞		博士 (工 学)		研究指導	-		-	-	東京医科歯科大学 教授 (平成23年4月)	5日
2	専任	教授	マルカワ エリコ 丸川 恵理子 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		咬合機能矯正学特論 咬合機能矯正学研究実習 咬合機能矯正学実験・論文 作成 研究指導	2前 2通 2・3・4・5 後 -		6 8 1 -	1 1 1 -	東京医科歯科大学 教授 (令和3年8月)	5日
3	専任	教授	イワモト フトム 岩本 勉 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		研究指導	-		-	-	東京医科歯科大学 教授 (令和2年5月)	5日
4	専任	教授	ハラダ ヒロユキ 原田 浩之 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		研究指導	-		-	-	東京医科歯科大学 教授 (平成27年4月)	5日
5	専任	教授	トハラ ハルカ 戸原 玄 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		研究指導	-		-	-	東京医科歯科大学 教授 (令和2年4月)	5日
6	専任	教授	マエダ シゲル 前田 茂 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		研究指導	-		-	-	東京医科歯科大学 教授 (令和3年4月)	5日
7	専任	教授	ミウラ マサヒコ 三浦 雅彦 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		研究指導	-		-	-	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
8	専任	教授	ワカバヤシ リョウキ 若林 則幸 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		研究指導	-		-	-	東京医科歯科大学 教授 (令和2年4月)	5日
9	専任	教授	オノ タカシ 小野 卓史 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		咬合機能矯正学特論 咬合機能矯正学研究実習 咬合機能矯正学実験・論文 作成 研究指導	2前 2通 2・3・4・5 後 -		6 8 1 -	1 1 1 -	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
10	専任	教授	ウエサキ ナオミ 上阪 直史 ＜令和6年10月＞		博士 (生 物 科 学)		研究指導	-		-	-	東京医科歯科大学 教授 (令和2年4月)	5日
11	専任	教授	モリヤマ ケイジ 森山 啓司 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		顎顔面矯正学特論 顎顔面矯正学研究実習 顎顔面矯正学実験・論文作 成 研究指導	2前 2通 2・3・4・5 後 -		6 8 1 -	1 1 1 -	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
12	専任	教授	アオキ カズヒロ 青木 和広 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		研究指導	-		-	-	東京医科歯科大学 教授 (平成29年2月)	5日
13	専任	教授	カワブチ コウイチ 川渕 孝一 ＜令和6年10月＞		修士 (経 営 学)		研究指導	-		-	-	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
14	専任	教授	イセキ サチコ 井関 祥子 ＜令和6年10月＞		博士 (学 術)		研究指導	-		-	-	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
15	専任	教授	アイダ シュン 相田 潤 ＜令和6年10月＞		博士 (歯 学)		研究指導	-		-	-	東京医科歯科大学 教授 (令和2年8月)	5日

16	専任	教授	ナカシマ トモキ 中島 友紀 ＜令和6年10月＞		博士 （薬学）		研究指導	-	-	-	東京医科歯科大学 教授 （平成28年3月）	5日
17	専任	教授	イワナガ ショウ 岩永 譲 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究指導	-	-	-	東京医科歯科大学 教授 （令和4年7月）	5日
18	専任	教授	シマダ ケイジ 島田 康史 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		研究指導	-	-	-	東京医科歯科大学 教授 （令和3年9月）	5日
19	専任	教授	トヨフク アキラ 豊福 明 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究指導	-	-	-	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
20	専任	教授	スズキ トシロ 鈴木 敏彦 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究指導	-	-	-	東京医科歯科大学 教授 （平成27年7月）	5日
21	専任	准教授	オホリ タケヤ 小川 卓也 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		顎顔面矯正学特論 顎顔面矯正学研究実習 顎顔面矯正学実験・論文作成 研究指導	2前 2通 2・3・4・5 後 -	6 8 1 -	1 1 1 -	東京医科歯科大学 准教授 （平成31年4月）	5日
22	専任	准教授	モリタ ケイイチ 森田 圭一 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		研究指導	-	-	-	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年11月）	5日
23	専任	准教授	ミチ ナスネ 道 泰之 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		咬合機能矯正学特論 咬合機能矯正学研究実習 咬合機能矯正学実験・論文作成 研究指導	2前 2通 2・3・4・5 後 -	6 8 1 -	1 1 1 -	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年11月）	5日
24	専任	准教授	タチカワ ノリコ 立川 敬子 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		研究指導	-	-	-	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年1月）	5日
25	専任	講師	オホミチ ジョウ 細道 純 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		咬合機能矯正学特論 咬合機能矯正学研究実習 咬合機能矯正学実験・論文作成 研究指導	2前 2通 2・3・4・5 後 -	6 8 1	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	5日
26	専任	講師	マツモト ヨシロウ 松本 芳郎 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		咬合機能矯正学特論 咬合機能矯正学研究実習 咬合機能矯正学実験・論文作成 研究指導	2前 2通 2・3・4・5 後 -	6 8 1 -	1 1 1 -	東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	5日
27	専任	講師	タナカ タケシケ 田中 大介 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		研究指導	-	-	-	東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	5日
28	専任	講師	ヒガシノリ ノリヒサ 東堀 紀尚 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		顎顔面矯正学特論 顎顔面矯正学研究実習 顎顔面矯正学実験・論文作成 研究指導	2前 2通 2・3・4・5 後 -	6 8 1 -	1 1 1 -	東京医科歯科大学 講師 （平成31年4月）	5日
29	専任	講師	トミワタ ヒロフミ 富岡 寛文 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		研究指導	-	-	-	東京医科歯科大学 講師 （令和3年12月）	5日
30	専任	講師	ワタナベ タカヒロ 和田 敬広 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		研究指導	-	-	-	東京医科歯科大学 講師 （令和4年10月）	5日
31	専任	助教	ミヤマス アンナ 宮安 杏奈 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		研究指導	-	-	-	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
32	専任	助教	クロシマ タクシ 黒嶋 雄志 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		研究指導	-	-	-	東京医科歯科大学 助教 （平成29年7月）	5日
33	専任	助教	イシタ ユウジ 石田 雄之 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		咬合機能矯正学特論 咬合機能矯正学研究実習 咬合機能矯正学実験・論文作成 研究指導	2前 2通 2・3・4・5 後 -	6 8 1 -	1 1 1 -	東京医科歯科大学 助教 （平成30年4月）	5日

34	専任	助教	タケウチ アツヤ 竹内 敦也 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		研究指導	-	-	-	東京医科歯科大学 助教 (令和3年4月)	5日
35	専任	助教	ナカムラ シン 中村 伸 ＜令和6年10月＞		博士 (歯学)		研究指導	-	-	-	東京医科歯科大学 助教 (平成19年4月)	5日
36	専任	助教	ツヅミ ミチコ 辻 美千子 ＜令和6年10月＞		学士 (歯学)		顎顔面矯正学特論 顎顔面矯正学研究実習 顎顔面矯正学実験・論文作成 研究指導	2前 2通 2・3・4・5 後 -	6 8 1 -	1 1 1 -	東京医科歯科大学 助教 (平成19年4月)	5日
37	専任 (調)	助教	ヨネミツ イクオ 米満 郁男 ＜令和6年10月＞		博士 (歯学)		咬合機能矯正学特論 咬合機能矯正学研究実習 咬合機能矯正学実験・論文作成	2前 2通 2・3・4・5 後	6 8 1	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 (平成25年8月)	5日
38	兼任	助教	オカサワラ タケシ 小笠原 毅 ＜令和6年10月＞		博士 (歯学)		顎顔面矯正学特論 顎顔面矯正学研究実習 顎顔面矯正学実験・論文作成 研究指導	2前 2通 2・3・4・5 後 -	6 8 1 -	1 1 1 -	東京医科歯科大学 助教 (令和4年5月)	
39	兼任	助教	コハシ ユキオ 小林 起穂 ＜令和6年10月＞		博士 (歯学)		顎顔面矯正学特論 顎顔面矯正学研究実習 顎顔面矯正学実験・論文作成 研究指導	2前 2通 2・3・4・5 後 -	6 8 1 -	1 1 1 -	東京医科歯科大学 助教 (平成25年8月)	
40	兼任	助教	ウエゾノ マサヨシ 上園 将慶 ＜令和6年10月＞		博士 (歯学)		顎顔面矯正学特論 顎顔面矯正学研究実習 顎顔面矯正学実験・論文作成 研究指導	2前 2通 2・3・4・5 後 -	6 8 1 -	1 1 1 -	東京医科歯科大学 助教 (平成31年4月)	
41	兼任	助教	ワタリ イッペイ 渡 一平 ＜令和6年10月＞		博士 (歯学)		咬合機能矯正学特論 咬合機能矯正学研究実習 咬合機能矯正学実験・論文作成 研究指導	2前 2通 2・3・4・5 後 -	6 8 1 -	1 1 1 -	東京医科歯科大学 助教 (平成25年8月)	

教 員 の 氏 名 等													
(医歯学総合研究科 博士課程 東京科学大学（仮称）・マヒドン大学国際連携医学系専攻)													
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年	当 次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職 務 に 従 事 す る 週 当 た り 平 均 日 数
1	専任	教授	カモト リュウイチ 岡本 隆一 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	2通～4通		24	1	東京医科歯科大学 教授 (平成26年4月)	5日
2	専任	教授	ヨシダ マサユキ 吉田 雅幸 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	2通～4通		24	1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
3	専任	教授	タナベ ミノル 田邊 稔 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		肝胆膵外科学特論 (Institute of Science Tokyo) 研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 臨床基幹科目Ⅰ (Institute of Science Tokyo) 臨床基幹科目Ⅱ	1前・後 2通～4通 1通 2通～ 4通		4 24 2 5	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
4	専任	教授	キタカサ ユウスケ 絹笠 祐介 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 消化管外科学特論 臨床基幹科目Ⅰ (Institute of Science Tokyo) 臨床基幹科目Ⅱ	2通～4通 1前・後 1通 2通～ 4通		24 4 2 5	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成29年9月)	5日
5	専任	教授	アキタ ケイイチ 秋田 恵一 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		がん生物学・解剖学・病理特論 研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 疾患予防パブリックヘルス医学概論 臨床解剖学特論	1前・後・2 前・後 2通～4通 1前・後・2 前・後 1前・後		1 24 2 4	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
6	専任	教授	モリ タケヒコ 森 毅彦 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		がんゲノム がん生物学・解剖学・病理特論 緩和ケア・緩和医療学 研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 小児・希少がん 臓器別がん 低侵襲がん治療Ⅰ 臨床腫瘍学 臨床腫瘍学特論	1前・後・2 前・後 1前・後・2 前・後 2通～4通 1前・後・2 前・後 1前・後・2 前・後 1前・後・2 前・後 1前・後 1前・後		1 1 1 1 24 1 1 1 1 1 4	1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和3年4月)	5日
7	専任	教授	モリ ヒロキ 森 弘樹 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 頭頸部外科学特論	2通～4通 1前・後		24 4	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成30年10月)	5日
8	専任	教授	タナカ シンジ 田中 真二 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	2通～4通		24	1	東京医科歯科大学 教授 (平成26年11月)	5日
9	専任	教授	ニシナ ヒロシ 仁科 博史 ＜令和6年10月＞		博士 (理学)		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 発生再生生物学特論	2通～4通 1前・後		24 4	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
10	専任	教授	ナカムラ ケイコ 中村 桂子 ＜令和6年10月＞		博士 (医学)		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 疾患予防パブリックヘルス医学概論	2通～4通 1前・後・2 前・後		24 2	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成28年4月)	5日
11	専任	教授	ナカシマ ヨシカズ 中島 義和 ＜令和6年10月＞		博士 (工学)		バイオメカニクス特論 研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	1前・後 2通～4通		4 24	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成29年4月)	5日

12	専任	教授	アサカケ カキヒロ 朝蔭 孝宏 ＜令和6年10月＞		博士 （生物 科学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 小児・希少がん 頭頸部外科学特論 臨床基幹科目Ⅰ (Institute of Science Tokyo) 臨床基幹科目Ⅱ	2通～4通 1前・後・2 前・後 1前・後 1通 2通～ 4通	24 1 4 2 5	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成27年4月)	5日
13	専任	教授	タカギ マサトシ 高木 正稔 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 小児・希少がん	2通～4通 1前・後・2 前・後	24 1	1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和4年10月)	5日
14	専任	教授	タカ テツヤ 田賀 哲也 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		幹細胞制御特論 研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	1前・後 2通～4通	4 24	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
15	専任	教授	タカハシ クニヒコ 高橋 邦彦 ＜令和6年10月＞		博士 （理 学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 臨床・遺伝統計学	2通～4通 1前・後・2 前・後	24 2	1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和2年4月)	5日
16	専任	教授	タナカ ケンタロウ 田中 顕太郎 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 頭頸部外科学特論	2通～4通 1前・後	24 4	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成30年10月)	5日
17	専任	教授	ミウラ マサヒロ 三浦 雅彦 ＜令和6年10月＞		博士 （歯 学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 低侵襲がん治療Ⅱ	2通～4通 1前・後・2 前・後	24 1	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
18	専任	教授	タナカ トシヒロ 田中 敏博 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	2通～4通	24	1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年4月)	5日
19	専任	教授	フジイ ヤスヒサ 藤井 靖久 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 腎泌尿器外科学特論 (Institute of Science Tokyo) 臨床基幹科目Ⅰ (Institute of Science Tokyo) 臨床基幹科目Ⅱ	2通～4通 1前・後 1通 2通～ 4通	24 4 2 5	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成28年8月)	5日
20	専任	教授	フジワラ タケオ 藤原 武男 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		疫学 研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 疾患予防パブリックヘル ス医学概論	1前・後・2 前・後 2通～4通 1前・後・2 前・後	2 24 2	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成28年4月)	5日
21	専任	教授	タカダ カツキ 高田 和生 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 疾患予防パブリックヘル ス医学概論	2通～4通 1前・後・2 前・後	24 2	1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成24年12月)	5日
22	専任	准教授	コヤマ ミナト 横山 みなと ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	2通～4通	24	1	東京医科歯科大学 准教授 (令和3年8月)	5日
23	専任	准教授	ヨシダ ヨウイチロウ 吉田 宗一郎 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 腎泌尿器外科学特論 (Institute of Science Tokyo)	2通～4通 1前・後	24 4	1 1	東京医科歯科大学 准教授 (令和4年4月)	5日
24	専任	准教授	クボウ トシフミ 工藤 敏文 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 総合外科学特論 臨床基幹科目Ⅰ (Institute of Science Tokyo) 臨床基幹科目Ⅱ	2通～4通 1前・後 1通 2通～ 4通	24 4 2 5	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 (平成29年7月)	5日
25	専任	准教授	オノギ シンヤ 小野木 真哉 ＜令和6年10月＞		博士 （科学）		バイオメカニクス特論 研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	1前・後 2通～4通	4 24	1 1	東京医科歯科大学 准教授 (令和2年4月)	5日
26	専任	准教授	マツヤマ ユウスケ 松山 祐輔 ＜令和6年10月＞		博士 （歯 学）		疫学 研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	1前・後・2 前・後 2通～4通	2 24	1 1	東京医科歯科大学 准教授 (令和4年8月)	5日
27	専任	准教授	イシハシ ヒロナリ 石橋 洋則 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 低侵襲がん治療Ⅰ	2通～4通 1前・後・2 前・後	24 1	1 1	東京医科歯科大学 准教授 (令和4年4月)	5日

28	専任	准教授	シ ャスギ 道 泰之 ＜令和6年10月＞		博士 （歯学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 小児・希少がん	2通～4通 1前・後・2前・後	24 1	1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年11月）	5日
29	専任	准教授	ナミキ タシ 並木 剛 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 小児・希少がん	2通～4通 1前・後・2前・後	24 1	1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成29年4月）	5日
30	専任	准教授	トクナガ マサリ 徳永 正則 ＜令和6年10月＞		学士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 消化管外科学特論	2通～4通 1前・後	24 4	1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成31年4月）	5日
31	専任	講師	オカモト ケンタロウ 岡本 健太郎 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 総合外科学特論	2通～4通 1前・後	24 4	1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成28年4月）	5日
32	専任	講師	トクガ カズマ 戸田 一真 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 低侵襲がん治療Ⅱ	2通～4通 1前・後・2前・後	24 1	1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成27年4月）	5日
33	専任 （調）	講師	ヤマグチ クミコ 山口 久美子 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）						東京医科歯科大学 講師 （平成23年4月）	5日
34	専任	講師	ヤマモト コウヘイ 山本 浩平 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	2通～4通	24	1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
35	専任	講師	ヤマモト マサヒデ 山本 正英 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 臓器別がん	2通～4通 1前・後・2前・後	24 1	1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成30年4月）	5日
36	専任	講師	アキヤマ ヨシミツ 秋山 好光 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		がん生物学・解剖学・病理特論 研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	1前・後・2前・後 2通～4通	1 24	1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成15年7月）	5日
37	専任	講師	ハルキ シゲオ 春木 茂男 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 消化管外科学特論 低侵襲がん治療Ⅰ	2通～4通 1前・後 1前・後・2前・後	24 4 1	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
38	専任	講師	コフシ サトシ 小藤 智史 ＜令和6年10月＞		博士 （薬学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 発生再生生物学特論	2通～4通 1前・後	24 4	1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和元年12月）	5日
39	専任	講師	オノ ヒロアキ 小野 宏晃 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		肝胆膵外科学特論 (Institute of Science Tokyo) 研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	1前・後 2通～4通	4 24	1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年11月）	5日
40	専任	講師	モリタ アヤコ 森田 彩子 ＜令和6年10月＞		博士 （生物科学）		疫学 研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	1前・後・2前・後 2通～4通	2 24	1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成30年11月）	5日
41	専任	講師	セイノ カオルコ 清野 薫子 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 疾患予防パブリックヘルス医学概論	2通～4通 1前・後・2前・後	24 2	1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	5日
42	専任	講師	アカホシ ケイイチ 赤星 径一 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		肝胆膵外科学特論 (Institute of Science Tokyo) 研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	1前・後 2通～4通	4 24	1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年11月）	5日
43	専任	講師	クラタ モリト 倉田 盛人 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	2通～4通	24	1	東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	5日
44	専任	講師	オノ カズチカ 大野 十央 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	2通～4通	24	1	東京医科歯科大学 講師 （平成30年10月）	5日
45	専任	講師	ナカガワ ツヨシ 中川 剛士 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 総合外科学特論 臓器別がん	2通～4通 1前・後 1前・後・2前・後	24 4 1	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成27年4月）	5日

46	専任	講師	タカ ハジメ 田中 一 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 腎泌尿器外科学特論 (Institute of Science Tokyo)	2通～4通 1前・後	24 4	1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和2年4月）	5日
47	専任	講師	アリズミ ヨウスケ 有泉 陽介 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 頭頸部外科学特論	2通～4通 1前・後	24 4	1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成28年4月）	5日
48	専任	講師	タテ コウイチ 榑 康一 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		幹細胞制御特論 研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	1前・後 2通～4通	4 24	1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	5日
49	専任	助教	イトウ タシ 伊藤 崇 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 1前・後・2 疾患予防パブリックヘル ス医学概論	2通～4通 1前・後・2 前・後	24 2	1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成22年4月）	5日
50	専任	助教	オカモト ヨシミ 岡本 好海 ＜令和6年10月＞		博士 （理学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 発生再生生物学特論	2通～4通 1前・後	24 4	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
51	専任	助教	ハナカ マリエ 花岡 まりえ ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		低侵襲がん治療Ⅰ 研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	1前・後・2 前・後 2通～4通	1 24	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年4月）	5日
52	専任	助教	イワタ ノリコ 岩田 乃理子 ＜令和6年10月＞		学士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	2通～4通	24	1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年1月）	5日
53	専任	助教	ハラダ マサヨ 原田 理代 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 臨床解剖学特論	2通～4通 1前・後	24 4	1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日
54	専任	助教	サトウ ユウヤ 佐藤 雄哉 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 消化管外科学特論 臓器別がん	2通～4通 1前・後 1前・後・2 前・後	24 4 1	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	5日
55	専任	助教	ヤマウチ シンイチ 山内 慎一 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	2通～4通	24	1	東京医科歯科大学 助教 （平成26年10月）	5日
56	専任	助教	ムロウ サトル 室生 暁 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo) 臨床解剖学特論	2通～4通 1前・後	24 4	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年4月）	5日
57	専任	助教	ムロタ ヨシタカ 室田 吉貴 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		幹細胞制御特論 研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	1前・後 2通～4通	4 24	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年4月）	5日
58	専任	助教	シュウ トウハク 周 東博 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		バイオメカニクス特論 研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	1前・後 2通～4通	4 24	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
59	専任	助教	スギノ タアキ 杉野 貴明 ＜令和6年10月＞		博士 （工学）		バイオメカニクス特論 研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	1前・後 2通～4通	4 24	1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	5日
60	専任	助教	シマダ シュウ 島田 周 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		がん生物学・解剖学・病 理特論 研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	1前・後・2 前・後 2通～4通	1 24	1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日
61	専任	助教	フジワラ ヒサシ 藤原 尚志 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	2通～4通	24	1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
62	専任	助教	タカハ アユミ 高岡 亜弓 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 (Institute of Science Tokyo)	2通～4通	24	1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
63	兼任	教授	オハシ ケンイチ 大橋 健一 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		がん生物学・解剖学・病 理特論	1前・後・2 前・後	1	1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年7月）	

64	兼担	教授	ニムヲ アキモト 二村 昭元 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		臨床解剖学特論	1前・後	4	1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年4月）	
65	兼担	准教授	オカダ タケヤ 岡田 卓也 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 （Institute of Science Tokyo） 疾患予防パブリックヘルス医学概論	2通～4通 1前・後・2前・後	24 2	1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年4月）	
66	兼担	准教授	オトウ アツシ 工藤 篤 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		肝胆膵外科学特論 （Institute of Science Tokyo） 研究実践と論文作成 （Institute of Science Tokyo）	1前・後 2通～4通	4 24	1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和元年10月）	
67	兼担	准教授	イケダ サダカツ 池田 貞勝 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		がんゲノム	1前・後・2前・後	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （平成31年1月）	
68	兼担	講師	サトウ シンゴ 佐藤 信吾 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		臨床腫瘍学	1前・後・2前・後	1	1	東京医科歯科大学 講師 （平成28年1月）	
69	兼担	講師	ワカナ キミオ 若菜 公雄 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		臓器別がん	1前・後・2前・後	1	1	東京医科歯科大学 講師 （平成29年1月）	
70	兼担	講師	カワタ ケンロウ 川田 研郎 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		基礎鏡視下手術概論 研究実践と論文作成 （Institute of Science Tokyo） 消化管外科学特論 臓器別がん	1前・後・2前・後 2通～4通 1前・後 1前・後・2前・後	1 24 4 1	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成27年4月）	
71	兼担	助教	カミヤ タカヒロ 神谷 尚宏 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		臨床腫瘍学	1前・後・2前・後	1	1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	
72	兼担	助教	ニシザワ マサト 西澤 真人 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		研究実践と論文作成 （Institute of Science Tokyo） 総合外科学特論	2通～4通 1前・後	24 4	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年4月）	
73	兼担	助教	イシカワ ヨシヤ 石川 喜也 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		低侵襲がん治療Ⅰ	1前・後・2前・後	1	1	東京医科歯科大学 助教 （令和元年11月）	
74	兼担	助教	タニモト コウスケ 谷本 幸介 ＜令和6年10月＞		博士 （生命科学）		がんゲノム	1前・後・2前・後	1	1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	
75	兼担	助教	ナカムラ ユキ 中村 祐基 ＜令和6年10月＞		学士 （医学）		研究実践と論文作成 （Institute of Science Tokyo） 低侵襲がん治療Ⅰ	2通～4通 1前・後・2前・後	24 1	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年4月）	
76	兼担	助教	タムラ カオル 田村 郁 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		小児・希少がん	1前・後・2前・後	1	1	東京医科歯科大学 助教 （平成24年4月）	
77	兼任	非常勤講師	アキモト テツオ 秋元 哲夫 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		低侵襲がん治療Ⅱ	1前・後・2前・後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
78	兼任	非常勤講師	タケタケ アツヤ 武田 篤也 ＜令和6年10月＞		博士 （医学）		低侵襲がん治療Ⅱ	1前・後・2前・後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	

教 員 の 氏 名 等												
(医歯学総合研究科 博士課程 生命理工医療科学専攻)												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年 次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学 等の職務に従事 す 週当たり平均日 数
1	専任	教授	パク ヘウォン PARK HEEWON ＜令和6年10月＞		博士（理 学）		医療デバイス・システム機器特 論 疾患分子病態学特論 AI技術開発演習 研究実習 生命理工医療科学先端研究特論 生物統計学応用Ⅱ	1前 1前 1通 1～2通 1～2通 1通	1 1 6 6 2 1	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和2年6月)	5日
2	専任	教授	イトウ ノブトシ 伊藤 暢聡 ＜令和6年10月＞		DEGREE OF DOCTOR OF PHILOSOP HY		英語プレゼンテーション特論 先端機能分子特論 分子構造情報学演習 研究実習	1前 1通 1通 1～2通	1 1 6 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
3	専任	教授	イトウ ミチミ 伊藤 南 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）		臨床検査法開発学特論 生体検査科学セミナーⅡ 生体機能システム学演習 研究実習	1前 1～3通 1通 1～2通	1 1 5 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
4	専任	教授	カガキ ヒロユキ 影近 弘之 ＜令和6年10月＞		博士（薬 学）		先端機能分子特論 機能分子開発技術特論 機能再建材料科学特論 薬化学演習 研究実習 生命理工医療科学先端研究特論	1通 1通 1前 1通 1通 1～2通 1～2通	1 1 1 6 6 6 2	1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
5	専任	教授	カキスマ セイ 柿沼 晴 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		Advanced Human Pathology for Graduate Students 生体検査科学セミナーⅡ 疾患生理機能解析学演習 研究実習	1前 1～3通 1通 1～2通	1 1 5 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和2年6月)	5日
6	専任	教授	スミ ユウキ 角 勇樹 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		病態推論特論 Advanced Human Pathology for Graduate Students 生体検査科学セミナーⅡ 呼吸器・神経系解析学演習 研究実習	1後 1前 1～3通 1通 1～2通	2 1 1 5 6	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成26年4月)	5日
7	専任	教授	カシノ ヒロカズ 梶 弘和 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）		医療デバイス・システム機器特 論 バイオメカニクス演習 研究実習	1前 1通 1～2通	1 6 6	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和3年10月)	5日
8	専任	教授	カバサリ ユウジ 樺沢 勇司 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）		健康支援口腔保健衛生学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健応用学特論 先端口腔保健応用学演習	1通 1～3通 1～2通 1通 1通	5 1 6 2 1	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成29年2月)	5日
9	専任	教授	キタ アキオ 岸田 晶夫 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）		医用材料工学特論 理研生体分子制御学特論 生体分子制御学特論 物質医学演習 理研生体分子制御学演習 NCC腫瘍医学演習 研究実習	1前 1通 1前 1通 1通 1通 1～2通	1 2 1 6 6 6 6	1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
10	専任	教授	ヨシダ ナミ 吉田 直美 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）		口腔健康教育学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健応用学特論	1通 1～3通 1～2通 1通	5 1 6 2	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成29年9月)	5日

11	専任	教授	タムラ ヒロカズ 玉村 啓和 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）		機能分子開発技術特論 先端ケミカルバイオロジー特論 メディシナルケミストリー演習 研究実習 生命理工医療科学先端研究特論	1通 1前 1通 1～2通 1～2通	1 1 6 6 2	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
12	専任	教授	カサリ マサ 金澤 学 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		口腔デジタルプロセス学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健工学特論	1通 1～3通 1～2通 1通	5 1 6 1	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和3年5月)	5日
13	専任	教授	ホヤ カミツ 細谷 孝充 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		先端機能分子特論 機能分子開発技術特論 生命有機化学演習 研究実習	1通 1通 1通 1～2通	1 1 6 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
14	専任	教授	バンパイ ヒデオ 坂内 英夫 ＜令和6年10月＞		博士（情報理工学）		医療デバイス・システム機器特論 データ科学アルゴリズム設計・解析演習 研究実習	1前 1通 1～2通	1 6 6	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和2年4月)	5日
15	専任	教授	ミツバヤシ コウジ 三林 浩二 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		先制医歯理工学概論Ⅰ（日本語） 先端バイオセンシングデバイス特論 ウェアラブルIoT技術特論 センサ医工学演習 研究実習	1通 1前 1前 1通 1～2通	1 1 1 6 6	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
16	専任	教授	マツダ リュウキ 松田 憲之 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		疾患生命科学特論 機能分子病態学演習 研究実習	1通 1通 1～2通	2 6 6	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和4年1月)	5日
17	専任	教授	マツオ コウイチロウ 松尾 浩一郎 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		地域・福祉口腔機能管理学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健応用学特論 先端口腔保健応用学演習	1通 1～3通 1～2通 1通 1通	5 1 6 2 1	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和3年4月)	5日
18	専任	教授	ニシナ ヒロシ 仁科 博史 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		疾患生命科学特論 発生再生生物学演習 研究実習	1通 1通 1～2通	2 6 6	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
19	専任	教授	セカワ カツミ 瀬川 勝盛 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		疾患生命科学特論 医化学演習 研究実習	1通 1通 1～2通	2 6 6	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和3年4月)	5日
20	専任	教授	ホシ オサム 星 治 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		臨床検査法開発学特論 生体検査科学セミナーⅡ 形態・生体情報解析学演習 研究実習	1前 1～3通 1通 1～2通	1 1 5 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
21	専任	教授	アサキ カズヒロ 青木 和広 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		口腔基礎工学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 硬組織研究・骨形態計測学特論	1通 1～3通 1～2通 1通	5 1 6 1	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成29年2月)	5日
22	専任	教授	オカザ リュウノスケ 大川 龍之介 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		高度臨床実践特別演習入門 高度臨床実践特別演習Ⅰ 高度臨床実践特別演習Ⅱ 先制医歯理工学概論Ⅰ（日本語） 先制医歯理工学概論Ⅰ（英語） Advanced Human Pathology for Graduate Students 臨床検査法開発学特論 生体検査科学セミナーⅡ 先端分析検査学演習 研究実習	1前 1通 1通 2通 1通 1後 1前 1前 1～3通 1通 1～2通	1 2 2 1 1 1 1 1 5 6	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成31年4月)	5日
23	専任	教授	イクサチ マサシ 池内 真志 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		先端バイオセンシングデバイス特論 医療デバイス・システム機器特論 バイオデザイン演習 研究実習	1前 1前 1通 1～2通	1 1 6 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和3年10月)	5日

24	専任	教授	ナカシマ ヨシカズ 中島 義和 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）		生体情報数理解析論 医療デバイス・システム機器特 論 バイオ情報演習 研究実習	1前 1前 1通 1～2通	1 1 6 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成29年4月)	5日
25	専任	教授	ニカイトウ イトシ 二階堂 愛 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）		疾患生命科学特論 ゲノム機能情報演習 研究実習	1通 1通 1通 1～2通	2 6 1 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和2年4月)	5日
26	専任	教授	シバヤ ヒロシ 澁谷 浩司 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）		疾患生命科学特論 分子細胞生物学演習 研究実習	1通 1通 1通 1～2通	2 6 1 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
27	専任	教授	サイトウ リョウイチ 齋藤 良一 ＜令和6年10月＞		博士（保 健学）		臨床検査法開発学特論 生体検査科学セミナー II 分子病原体検査学演習 研究実習	1前 1～3通 1通 1～2通	1 1 5 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 (令和2年7月)	5日
28	専任	准教授	ヨコイ タロウ 横井 太史 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）		組織再生材料科学特論 セラミックバイオマテリアル演 習 研究実習	1前 1通 1通 1～2通	1 6 1 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 (令和元年9月)	5日
29	専任	准教授	イネ マコ 岩城 麻衣子 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）		口腔デジタルプロセス学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健工学特論	1通 1～3通 1～2通 1通	5 1 6 1	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 (令和4年4月)	5日
30	専任	准教授	ゴトウ トシヤス 後藤 利保 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）		疾患生命科学特論 分子細胞生物学演習 研究実習	1通 1通 1通 1～2通	2 6 1 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 (平成25年8月)	5日
31	専任	准教授	ササキ ジュンコ 佐々木 純子 ＜令和6年10月＞		博士（薬 学）		疾患分子病態学特論 細胞分子医学演習 研究実習	1前 1通 1通 1～2通	1 6 6 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 (平成30年5月)	5日
32	専任	准教授	ササガリ ヨウヘイ 笹川 洋平 ＜令和6年10月＞		博士（生 命科学）		疾患生命科学特論 ゲノム機能情報演習 研究実習	1通 1通 1通 1～2通	2 6 1 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 (令和3年4月)	5日
33	専任	准教授	ヤマノ コウジ 山野 晃史 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）		疾患生命科学特論 機能分子病態学演習 研究実習	1通 1通 1通 1～2通	2 6 1 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 (令和4年4月)	5日
34	専任	准教授	オノキ シンヤ 小野木 真哉 ＜令和6年10月＞		博士（科 学）		生体情報数理解析論 バイオ情報演習 研究実習	1前 1通 1通 1～2通	1 6 1 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 (令和2年4月)	5日
35	専任	准教授	マツモト アキラ 松元 亮 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）		先端バイオセンシングデバイス 特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 (平成23年3月)	5日
36	専任	准教授	スミト ノブタカ 沼本 修孝 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）		先端機能分子特論 先端ケミカルバイオロジー特論 分子構造情報学演習 研究実習	1通 1前 1通 1通 1～2通	1 1 6 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 (令和3年6月)	5日
37	専任	准教授	ニシオ ミコ 西尾 美和子 ＜令和6年10月＞		博士（保 健学）		病態推論特論 臨床検査法開発学特論 生体検査科学セミナー II 先端血液検査学演習 研究実習	1後 1前 1～3通 1通 1～2通	2 1 1 5 6	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 (令和元年5月)	5日
38	専任	准教授	オオキ メロ 大木 明子 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）		口腔基礎工学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健工学特論	1通 1～3通 1～2通 1通	5 1 6 1	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 (平成23年4月)	5日
39	専任	准教授	ニシ タカシ 丹羽 節 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）		機能分子開発技術特論 先端ケミカルバイオロジー特論 生命有機化学演習 研究実習	1通 1前 1通 1通 1～2通	1 1 6 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 (令和3年10月)	5日
40	専任	准教授	タケナ シュン 竹内 純 ＜令和6年10月＞		博士（バ イオサイ エンス）		疾患分子病態学特論 生体情報薬理学演習 研究実習	1前 1通 1通 1～2通	1 6 1 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 (平成28年11月)	5日

41	専任	准教授	ツジ コウヘイ 辻 耕平 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）	機能分子開発技術特論 先端ケミカルバイオロジー特論 メディシナルケミストリー演習 研究実習	1通 1前 1通 1～2通	1 1 6 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年1月）	5日
42	専任	准教授	タムラ アツシ 田村 篤志 ＜令和6年10月＞		博士（工学）	生体機能材料科学特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （平成30年4月）	5日
43	専任	准教授	タカ ユキエ 田中 ゆきえ ＜令和6年10月＞		博士（医学）	生体検査科学セミナー II 分子病原体検査学演習 研究実習	1～3通 1通 1～2通	1 5 6	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年5月）	5日
44	専任	准教授	フジイ シンヤ 藤井 晋也 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）	先端機能分子特論 機能分子開発技術特論 先端ケミカルバイオロジー特論 薬化学演習 研究実習	1通 1通 1前 1通 1～2通	1 1 1 6 6	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和元年6月）	5日
45	専任	准教授	キムラ ヲウシ 木村 剛 ＜令和6年10月＞		博士（工学）	医用材料工学特論 物質医工学演習 研究実習	1前 1通 1～2通	1 6 6	1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	5日
46	専任	准教授	ナシモト ユウジ 梨本 裕司 ＜令和6年10月＞		博士（学術）	バイオメカニクス演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
47	専任	准教授	スズキ ノブハル 鈴木 喜晴 ＜令和6年10月＞		博士（地球環境科学）	臨床検査法開発学特論 生体検査科学セミナー II 遺伝子細胞検査学演習 研究実習	1前 1～3通 1通 1～2通	1 1 5 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成26年2月）	5日
48	専任	講師	カマタニ タカシ 鎌谷 高志 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	AI技術開発演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
49	専任	講師	コフジ サトシ 小藤 智史 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）	疾患生命科学特論 発生再生生物学演習 研究実習	1通 1通 1～2通	2 6 6	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和元年12月）	5日
50	専任	講師	マツダ ユウヘイ 松田 悠平 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	研究実習 先端口腔保健応用学特論 先端口腔保健応用学演習	1～2通 1通 1通	6 2 1	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
51	専任	講師	イケダ マサオミ 池田 正臣 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	口腔機能再建工学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健工学特論	1通 1～3通 1～2通 1通	5 1 6 1	1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成23年4月）	5日
52	専任	助教	クップルト・ミニク KOEPL DOMINIK ＜令和6年10月＞		Dr. rer. n at. in Computer Science	データ科学アルゴリズム設計・ 解析演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年9月）	5日
53	専任	助教	プー ジン PU JING ＜令和6年10月＞		博士（理学）	発生再生生物学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年10月）	5日
54	専任	助教	アダチ ナホ 安達 奈穂子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	研究実習 先端口腔保健応用学特論 先端口腔保健応用学演習	1～2通 1通 1通	6 2 1	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成30年4月）	5日
55	専任	助教	イトウ カサデ 伊藤 奏 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）	健康支援口腔保健衛生学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健応用学特論 先端口腔保健応用学演習	1通 1～3通 1～2通 1通 1通	5 1 6 2 1	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成30年4月）	5日
56	専任	助教	イハラ ケンスケ 井原 健介 ＜令和6年10月＞		博士（医学）	生体情報薬理学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成27年9月）	5日

57	専任	助教	シオヰマ ホ 塩沢 真穂 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		口腔機能再建工学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健工学特論	1通 1～3通 1～2通 1通	5 1 6 1	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成29年5月）	5日
58	専任	助教	カホト ヨシミ 岡本 好海 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		発生再生生物学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
59	専任	助教	ハヅノ ユウヤ 花園 祐矢 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		分子構造情報学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年7月）	5日
60	専任	助教	ウミセ アキラ 海瀬 晃 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		機能再建材料科学特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 助教 （平成29年4月）	5日
61	専任	助教	カミタ ケイロ 亀田 貴寛 ＜令和6年10月＞		博士（保健学）		生体検査科学セミナー II 先端分析検査学演習 研究実習	1～3通 1通 1～2通	1 5 6	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和元年10月）	5日
62	専任	助教	ミヤ ユウコ 宮田 佑吾 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		医化学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年12月）	5日
63	専任	助教	ハシモト ヨシタケ 橋本 良秀 ＜令和6年10月＞		博士（学術）		医用材料工学特論 物質医工学演習 研究実習	1前 1通 1～2通	1 6 6	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成27年10月）	5日
64	専任	助教	カナヤマ ケイコ 金山 敬子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		発生再生生物学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
65	専任	助教	サカタ ユウキ 坂田 優希 ＜令和6年10月＞		修士（工学）		生命有機化学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年4月）	5日
66	専任	助教	ヤマガチ ジュンシ 山口 純司 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		生体検査科学セミナー II 疾患生理機能解析学演習 研究実習	1～3通 1通 1～2通	1 5 6	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
67	専任	助教	ヤマネ マリコ 山根 万里子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		ゲノム機能情報演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年4月）	5日
68	専任	助教	ショウ トウハク 周 東博 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		生体情報数理解析論 バイオ情報演習 研究実習	1前 1通 1～2通	1 6 6	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
69	専任	助教	コマツヤ フミカ 小松谷 史香 ＜令和6年10月＞		博士（生命化学）		機能分子病態学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年8月）	5日
70	専任	助教	コバヤカリ タケヤ 小早川 拓也 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		機能分子開発技術特論 メディシナルケミストリー演習 研究実習	1通 1通 1～2通	1 6 6	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成29年10月）	5日
71	専任	助教	カミシヨウ シンゴ 上條 真吾 ＜令和6年10月＞		修士（学術）		口腔基礎工学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健工学特論 硬組織研究・骨形態計測学特論	1通 1～3通 1～2通 1通 1通	5 1 6 1 1	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成25年4月）	5日
72	専任	助教	スギノ カヲキ 杉野 貴明 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		生体情報数理解析論 バイオ情報演習 研究実習	1前 1通 1～2通	1 6 6	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	5日

73	専任	助教	シズ マサヒロ 清水 幹容 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		疾患生命科学特論 分子細胞生物学演習 研究実習	1通 1通 1～2通	2 6 6	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和元年9月）	5日
74	専任	助教	イダ リョウカ 石田 良典 ＜令和6年10月＞		博士（薬科学）		先端機能分子特論 機能分子開発技術特論 薬化学演習 研究実習	1通 1通 1通 1～2通	1 1 6 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年9月）	5日
75	専任	助教	アカミ ミホ 赤座 実穂 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		病態推論特論 Advanced Human Pathology for Graduate Students 臨床検査法開発学特論 生体検査科学セミナー II 呼吸器・神経系解析学演習 研究実習	1後 1前 1前 1～3通 1通 1～2通	2 1 1 1 5 6	1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成29年4月）	5日
76	専任	助教	オホ ユウスケ 太田 悠介 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		生体検査科学セミナー II 分子病原体検査学演習 研究実習	1～3通 1通 1～2通	1 5 6	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年3月）	5日
77	専任	助教	タガチ ジュンペイ 田口 純平 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		先端機能分子特論 機能分子開発技術特論 生命有機化学演習 研究実習	1通 1通 1通 1～2通	1 1 6 6	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和元年7月）	5日
78	専任	助教	ツチタ ユウミ 土田 優美 ＜令和6年10月＞		修士（口腔保健学）		口腔デジタルプロセス学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健工学特論	1通 1～3通 1～2通 1通	5 1 6 1	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	5日
79	専任	助教	フジシロ ヒトミ 藤代 瞳 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		生体検査科学セミナー II 形態・生体情報解析学演習 研究実習	1～3通 1通 1～2通	1 5 6	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	5日
80	専任	助教	ヒガ カレナ 日高 玲奈 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		地域・福祉口腔機能管理学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健応用学演習	1通 1～3通 1～2通 1通	5 1 6 1	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成30年4月）	5日
81	専任	助教	イタニ ケンタ 飯谷 健太 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		ウェアラブルIoT技術特論 センサ医学演習 研究実習	1前 1通 1～2通	1 6 6	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年2月）	5日
82	専任	助教	ソエジマ ユリエ 副島 友莉恵 ＜令和6年10月＞		博士（保健学）		高度臨床実践特別演習入門 高度臨床実践特別演習 I 高度臨床実践特別演習 II Advanced Human Pathology for Graduate Students	1前 1通 2通 1前	1 2 2 1	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成27年4月）	5日
83	専任	助教	ホリ タケシ 堀 武志 ＜令和6年10月＞		博士（薬科学）		バイオメカニクス演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年8月）	5日
84	専任	助教	ホンマ ナトル 本間 達 ＜令和6年10月＞		博士（保健学）		生体検査科学セミナー II 生体機能システム学演習 研究実習	1～3通 1通 1～2通	1 5 6	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成19年4月）	5日
85	専任	助教	キムラ ユウスケ 木村 雄亮 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		バイオデザイン演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
86	専任	助教	アリサキ ヨシノ 有坂 慶紀 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		生体機能材料学特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 助教 （平成27年4月）	5日
87	専任	助教	スズキ ヒトミ 鈴木 瞳 ＜令和6年10月＞		博士（口腔保健福祉学）		口腔健康教育学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健応用学演習	1通 1～3通 1～2通 1通	5 1 6 1	1 1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	5日
88	兼担	教授	ヨシタ マサユキ 吉田 雅幸 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		先制医歯理工学概論 I（英語）	1後	1	1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	

89	兼担	教授	ササキ タケコ 佐々木 雄彦 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）		細胞分子医学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成30年3月）	
90	兼担	教授	アキタ ケイイチ 秋田 恵一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		疾患予防パブリックヘルス医学 概論	1・2・3 後	2	1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	
91	兼担	教授	シミズ ヒデユキ 清水 秀幸 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		医療デバイス・システム機器特 論 生物統計学応用Ⅱ	1前 1通	1 1	1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和4年2月）	
92	兼担	教授	イシカワ キンヤ 石川 欽也 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		先制医歯理工学概論Ⅰ（日本語） 先制医歯理工学概論Ⅰ（英語） 先制医歯理工学概論Ⅱ	1通 1後 1後	1 1 1	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成27年1月）	
93	兼担	教授	イシノ トモコ 石野 智子 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）		疾患予防パブリックヘルス医学 概論	1・2・3 後	2	1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年8月）	
94	兼担	教授	カワタ マサカズ 川下 将一 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		組織再生材料科学特論 セラミックバイオマテリアル演 習 研究実習	1前 1通 1～2通	1 6 6	1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成31年4月）	
95	兼担	教授	アイトー ジュン 相田 潤 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		口腔疫学基礎 疫学応用	1通 1通	1 1	1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年8月）	
96	兼担	教授	タケウチ カツキ 竹内 勝之 ＜令和6年10月＞		修士（医科学）		マネジメント特論（日本語） マネジメント特論（英語） 国際動向特論 知的財産特論 データサイエンス特論Ⅰ（日本語） データサイエンス特論Ⅱ（日本語） データサイエンス特論Ⅲ データサイエンス特論Ⅳ	1通 1後 1前 1前 1後 1前 1通 1前 1通	1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和3年4月）	
97	兼担	教授	ナカムラ ケイコ 中村 桂子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		国際動向特論 疾患予防パブリックヘルス医学 概論 先制医歯理工学概論Ⅰ（日本語） 先制医歯理工学概論Ⅰ（英語）	1前 1・2・3 後 1通 1後	1 2 1 1	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成28年4月）	
98	兼担	教授	タナカ トシヒロ 田中 敏博 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		先制医歯理工学概論Ⅰ（日本語） 先制医歯理工学概論Ⅰ（英語）	1通 1後	1 1	1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成25年4月）	
99	兼担	教授	フジワラ タカオ 藤原 武男 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		疾患予防パブリックヘルス医学 概論 ポストコロナ社会における感染 症対策 疫学基礎 臨床疫学解析演習	1・2・3 後 1前 1通 2通	2 1 1 2	1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成28年4月）	
100	兼担	教授	ナラ マサユキ 奈良 雅之 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		領域創成科学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成22年4月）	
101	兼担	教授	ヒラカワ アキヒロ 平川 晃弘 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		臨床試験方法論基礎 臨床試験方法論応用	1通 1通	1 1	1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年4月）	
102	兼担	教授	ヒエガ ミツノリ 檜枝 光憲 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		領域創成科学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 教授 （平成27年4月）	

103	兼任	教授	タカハシ ケニヒコ 高橋 邦彦 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）		臨床・遺伝統計学 データサイエンス特論Ⅰ（英 語） 生物統計学基礎 生物統計学応用Ⅰ 生物統計学応用Ⅱ	1前 1後 1通 1通 1通	2 1 1 1 1	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 教授 （令和2年4月）	
104	兼任	教授	タカダ カヅキ 高田 和生 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		疾患予防パブリックヘルス医学 概論	1・2・3 後	2	1	東京医科歯科大学 教授 （平成24年12月）	
105	兼任	准教授	ジヤネル ルネ モロス JANELLE RENEE MOROSS ＜令和6年10月＞		准学士 （看護）		英語プレゼンテーション特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （平成26年2月）	
106	兼任	准教授	ジエネット デニソン JEANETTE DENNISON ＜令和6年10月＞		修士（理 学）		英語ディベート特論	1前・後	1	2	東京医科歯科大学 准教授 （平成27年4月）	
107	兼任	准教授	オカダ タケヤ 岡田 卓也 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		疾患予防パブリックヘルス医学 概論	1・2・3 後	2	1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年4月）	
108	兼任	准教授	マツヤマ ユウスケ 松山 祐輔 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）		口腔疫学基礎 疫学応用	1通 1通	1 1	1 1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年8月）	
109	兼任	准教授	ハセガワ タカノリ 長谷川 嵩矩 ＜令和6年10月＞		博士（情 報学）		データサイエンス特論Ⅱ（英 語）	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （令和3年9月）	
110	兼任	准教授	ハセ タケシ 長谷 武志 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		データサイエンス特論Ⅱ（日本 語） データサイエンス特論Ⅲ	1通 1前	1 1	1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成30年4月）	
111	兼任	准教授	トクナガ シンイチ 徳永 伸一 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）		領域創成科学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 准教授 （平成19年4月）	
112	兼任	准教授	ナガ ノブトシ 那波 伸敏 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		ポストコロナ社会における感染 症対策	1前	1	1	東京医科歯科大学 准教授 （令和4年8月）	
113	兼任	講師	アンザイ タツヒコ 安齋 達彦 ＜令和6年10月＞		博士（医 療マネジ メント 学）		臨床・遺伝統計学 データサイエンス特論Ⅰ（英 語） 生物統計学基礎 生物統計学応用Ⅰ 生物統計学応用Ⅱ	1前 1後 1通 1通 1通	2 1 1 1 1	1 1 1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和3年9月）	
114	兼任	講師	イシミ アヤ 伊角 彩 ＜令和6年10月＞		博士（国 際公共政 策）		疫学応用	1通	1	1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年10月）	
115	兼任	講師	カシワラ ミチコ 梶原 道子 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		高度臨床実践特別演習入門 高度臨床実践特別演習Ⅰ 高度臨床実践特別演習Ⅱ	1前 1通 2通	1 2 2	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	
116	兼任	講師	セイノ カオル 清野 薫子 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		疾患予防パブリックヘルス医学 概論	1・2・3 後	2	1	東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	
117	兼任	講師	タニ ユカコ 谷 友香子 ＜令和6年10月＞		博士（生 物科学）		疫学基礎 疫学応用 臨床疫学解析演習	1通 1通 2通	1 1 2	1 1 1	東京医科歯科大学 講師 （令和4年7月）	
118	兼任	助教	イトウ タカシ 伊藤 崇 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）		疾患予防パブリックヘルス医学 概論	1・2・3 後	2	1	東京医科歯科大学 助教 （平成22年4月）	

119	兼任	助教	モリカ シ 森岡 真 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）		細胞分子医学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年6月）	
120	兼任	助教	イシマル ミホ 石丸 美穂 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		口腔疫学基礎 疫学応用	1通 1通	1 1	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	
121	兼任	助教	タケモト アキラ 竹本 暁 ＜令和6年10月＞		学士（医学）		先制医歯理工学概論Ⅰ（日本語） 先制医歯理工学概論Ⅰ（英語）	1通 1後	1 1	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年5月）	
122	兼任	助教	ハセガワ ジュンヤ 長谷川 純矢 ＜令和6年10月＞		薬学博士		細胞分子医学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 助教 （平成30年7月）	
123	兼任	助教	トイ ナミ 土井 理美 ＜令和6年10月＞		博士（臨床心理学）		疫学応用	1通	1	1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年10月）	
124	兼任	助教	シマヅ カマヤ 島袋 将弥 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		セラミックバイオマテリアル演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	
125	兼任	助教	イタダ ヨリツグ 飯田 頼嗣 ＜令和6年10月＞		修士（理学）		マネジメント特論（日本語） データサイエンス特論Ⅱ（日本語） データサイエンス特論Ⅲ	1通 1通 1前	1 1 1	1 1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和3年1月）	
126	兼任	助教	キノ シホ 木野 志保 ＜令和6年10月＞		PhD in Epidemiology and Public Health		口腔疫学基礎 疫学応用	1通 1通	1 1	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	
127	兼任	助教	ヤナイ ショウゴ 柳井 翔吾 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		細胞分子医学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 助教 （令和4年6月）	
128	兼任	技術専門職員	マスノ ヒロユキ 増野 弘幸 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）		先端機能分子特論	1通	1	1	東京医科歯科大学 技術専門職員 （平成18年10月）	
129	兼任	副臨床検査技師長	コウタ ユウキ 甲田 祐樹 ＜令和6年10月＞		修士（保健医療科学）		高度臨床実践特別演習入門	1前	1	1	東京医科歯科大学 副臨床検査技師長 （令和2年4月）	
130	兼任	副臨床検査技師長	アオヤキ エイコ 青柳 栄子 ＜令和6年10月＞		学士（保健学）		高度臨床実践特別演習入門	1前	1	1	東京医科歯科大学 副臨床検査技師長 （平成27年4月）	
131	兼任	臨床検査技師長	イチムラ ナヤ 市村 直也 ＜令和6年10月＞		博士（保健学）		高度臨床実践特別演習入門	1前	1	1	東京医科歯科大学 臨床検査技師長 （令和元年7月）	
132	兼任	助教	サトリ ヒロユキ 佐藤 宏征 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		臨床試験方法論応用	1通	1	1	東京医科歯科大学 助教 （令和2年4月）	
133	兼任	臨床検査技師長	オオトモ ナキ 大友 直樹 ＜令和6年10月＞		専門学校卒		高度臨床実践特別演習入門	1前	1	1	東京医科歯科大学 臨床検査技師長 （平成30年4月）	
134	兼任	非常勤講師	モクジ カオル 茂櫛 薫 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		診療情報管理学	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	

135	兼任	非常勤講師	ファルハ ナオミ オマル ファルーク FARHA NAOMI OMAR F ＜令和6年10月＞		博士（哲学）・理学士		英語プレゼンテーション特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
136	兼任	非常勤講師	イツハ` テツ 磯部 哲 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		ポストコロナ社会における感染症対策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
137	兼任	非常勤講師	ウヰ` ジン アツシ 宇賀神 敦 ＜令和6年10月＞		学士（工学）		国際動向特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
138	兼任	非常勤講師	ウカガ` マサシ 岡田 将誌 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		国際動向特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
139	兼任	非常勤講師	シヰカリ アサノ 下川 朝有 ＜令和6年10月＞		修士（理学） 博士（理学）		データサイエンス特論Ⅲ	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
140	兼任	非常勤講師	カウ` ガイ 加藤 大 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		先端バイオセンシングデバイス特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
141	兼任	非常勤講師	ヨシオカ カツヲ 吉岡 克成 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		ウェアラブルIoT技術特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
142	兼任	非常勤講師	ヨシノ ヒロシ 吉野 宏志 ＜令和6年10月＞		修士（言語学）		マネジメント特論（日本語） マネジメント特論（英語）	1通 1後	1 1	1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
143	兼任	非常勤講師	クボ` タ ヒロシ 久保田 宏 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		国際動向特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
144	兼任	非常勤講師	フカウ` タカコ 古川 高子 ＜令和6年10月＞		修士（学術）		ポストコロナ社会における感染症対策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
145	兼任	非常勤講師	タカクレオ 高久 玲音 ＜令和6年10月＞		博士（商学）		ポストコロナ社会における感染症対策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
146	兼任	非常勤講師	イマムラ` ケン 今村 健 ＜令和6年10月＞		修士（芸術工学）		マネジメント特論（日本語）	1通	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
147	兼任	非常勤講師	ミイタ` タカシ 三井田 孝 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		臨床検査法開発学特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
148	兼任	非常勤講師	コシ` マ ヒロキ 小島 寛之 ＜令和6年10月＞		経済学（修士） 経済学（博士）		データサイエンス特論Ⅰ（日本語） データサイエンス特論Ⅳ	1前 1通	1 1	1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
149	兼任	非常勤講師	スギ` シツ カス` ナリ 杉光 一成 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		知的財産特論	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
150	兼任	非常勤講師	セセ` ジュン 瀬々 潤 ＜令和6年10月＞		博士（科学）		先制医歯理工学概論Ⅱ	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	

151	兼任	非常勤講師	イシワラ テヲ 石川 哲朗 ＜令和6年10月＞		修士（理学） 博士（理学）		先制医歯理工学概論Ⅱ	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
152	兼任	非常勤講師	カガミ エリョウ 川上 英良 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		先制医歯理工学概論Ⅱ	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
153	兼任	非常勤講師	カワセ マコト 川瀬 真 ＜令和6年10月＞		学士（法学）		知的財産特論	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
154	兼任	非常勤講師	アサイ ヨシキ 浅井 義之 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		先制医歯理工学概論Ⅱ	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
155	兼任	非常勤講師	クラマチ ジン 倉持 仁 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		ポストコロナ社会における感染症対策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
156	兼任	非常勤講師	ナカヤマ トシタケ 中山 俊秀 ＜令和6年10月＞		博士（言語学）		ポストコロナ社会における感染症対策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
157	兼任	非常勤講師	タナベ ユウジ 田邊 勇二 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		ウェアラブルIoT技術特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
158	兼任	非常勤講師	イタコシ マサヒロ 板越 正彦 ＜令和6年10月＞		修士（国際経営学）		マネジメント特論（日本語） マネジメント特論（英語）	1通 1後	1 1	1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
159	兼任	非常勤講師	ヒライ ユウキ 平井 佑希 ＜令和6年10月＞		法務博士		知的財産特論	1後	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
160	兼任	非常勤講師	ヒラハタ コウイチ 平畑 光一 ＜令和6年10月＞		学士（医学）		ポストコロナ社会における感染症対策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
161	兼任	非常勤講師	クニイ オサム 國井 修 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		ポストコロナ社会における感染症対策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
162	兼任	非常勤講師	カイユスト リュック ニコラ Gailhouste, Luc Nicolas ＜令和6年10月＞		博士（生物学）		理研生体分子制御学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
163	兼任	非常勤講師	クルジギン ノウスケー マレック コンラド Krzyzanowski, Marek Konrad ＜令和6年10月＞		博士（生物学）		理研生体分子制御学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
164	兼任	非常勤講師	マスード カン Masud Khan ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		硬組織研究・骨形態計測学特論	1通	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
165	兼任	非常勤講師	ヤスナカ マサヒロ 安永 正浩 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		NCC腫瘍医科学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
166	兼任	非常勤講師	エンドウ リョウ 遠藤 良 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		理研生体分子制御学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	

167	兼任	非常勤講師	シオタニ ブンショウ 塩谷 文章 ＜令和6年10月＞		博士（学術）		NCC腫瘍医科学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
168	兼任	非常勤講師	ヨヤマ イズミ 横山 泉 ＜令和6年10月＞		博士（経済学）		ポストコロナ社会における感染症対策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
169	兼任	非常勤講師	セキネ ケイスケ 関根 圭輔 ＜令和6年10月＞		博士（農学）		NCC腫瘍医科学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
170	兼任	非常勤講師	ヨシカ ケンイチ 吉岡 研一 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		NCC腫瘍医科学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
171	兼任	非常勤講師	ヨシカ ヒロマサ 吉岡 広大 ＜令和6年10月＞		博士（薬科学）		生体分子制御学特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
172	兼任	非常勤講師	ヨシミ アキヒデ 吉見 昭秀 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		NCC腫瘍医科学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
173	兼任	非常勤講師	ヨシダ ヒデユキ 吉田 英行 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		理研生体分子制御学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
174	兼任	非常勤講師	ミヤサカ ノブヒコ 宮坂 信彦 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）		理研生体分子制御学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
175	兼任	非常勤講師	コガ ヨシカツ 古賀 宣勝 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		NCC腫瘍医科学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
176	兼任	非常勤講師	アラカワ ヒロフミ 荒川 博文 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		疾患分子病態学特論 NCC腫瘍医科学演習 研究実習	1前 1通 1～2通	1 6 6	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
177	兼任	非常勤講師	ヤマグチ マスミ 山口 真澄 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		ウェアラブルIoT技術特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
178	兼任	非常勤講師	ウエムラ ヤスシ 植村 靖史 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		NCC腫瘍医科学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
179	兼任	非常勤講師	ナルセ テツヤ 成瀬 哲也 ＜令和6年10月＞		修士（工学）		ウェアラブルIoT技術特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
180	兼任	非常勤講師	イシカキ カズヨシ 石垣 和慶 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		生体分子制御学特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
181	兼任	非常勤講師	イズミ マサリ 泉 正範 ＜令和6年10月＞		博士（農学）		理研生体分子制御学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
182	兼任	非常勤講師	マストミ ケンイチ 増富 健吉 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		疾患生命科学特論 NCC腫瘍医科学演習 研究実習	1通 1通 1～2通	2 6 6	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
183	兼任	非常勤講師	タニuchi イチウ 谷内 一郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）		理研生体分子制御学特論 理研生体分子制御学演習 研究実習	1通 1通 1～2通	2 6 6	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	

184	兼任	非常勤講師	カミ シュンタ 田上 俊輔 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		理研生体分子制御学特論	1通	2	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
185	兼任	非常勤講師	タカ モトマサ 田中 元雅 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		理研生体分子制御学特論 理研生体分子制御学演習 研究実習	1通 1通 1～2通	2 6 6	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
186	兼任	非常勤講師	ワカハ リキヤ 渡邊 力也 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		理研生体分子制御学特論 理研生体分子制御学演習 研究実習	1通 1通 1～2通	2 6 6	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
187	兼任	非常勤講師	ツチ ナト 土屋 直人 ＜令和6年10月＞		博士（理学）		NCC腫瘍医科学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
188	兼任	非常勤講師	ハギハラ シヤ 萩原 伸也 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		生体分子制御学特論 理研生体分子制御学演習 研究実習	1前 1通 1～2通	1 6 6	1 1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
189	兼任	非常勤講師	シラミ ショウヘイ 白神 昇平 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		国際動向特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
190	兼任	非常勤講師	ハマト リョウジ 浜本 隆二 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		NCC腫瘍医科学演習 研究実習	1通 1～2通	6 6	1 1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
191	兼任	非常勤講師	フカフ アユミ 布川 あゆみ ＜令和6年10月＞		博士（社会学）		ポストコロナ社会における感染症対策	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
192	兼任	非常勤講師	ノカ キイチ 野中 希一 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）		硬組織研究・骨形態計測学特論	1通	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
193	兼任	非常勤講師	トウマ コウジ 富麻 浩司 ＜令和6年10月＞		Doctor rerum naturali um technica rum		先端バイオセンシングデバイス 特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
194	兼任	非常勤講師	トド コウスケ 園園 孝介 ＜令和6年10月＞		博士（工学）		生体分子制御学特論	1前	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
195	兼任	非常勤講師	ホノ タカヒロ 星野 崇宏 ＜令和6年10月＞		博士（学術）博士 （経済学）		生物統計学応用Ⅰ	1通	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
196	兼任	非常勤講師	ハツトリ サトシ 服部 聡 ＜令和6年10月＞		博士（臨床統計学）		生物統計学応用Ⅰ	1通	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
197	兼任	非常勤講師	ノマ ヒサシ 野間 久史 ＜令和6年10月＞		博士（統計数理学）		生物統計学応用Ⅰ	1通	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	
198	兼任	非常勤講師	ウシハラ ヒサシ 漆原 尚巳 ＜令和6年10月＞		博士（社会健康医学）		生物統計学応用Ⅱ	1通	1	1	東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	

教 員 の 氏 名 等													
(医歯学総合研究科 医歯学系専攻（博士課程）)													
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年	当 次	担 単 位 数	当 年 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
1	専任	教授	イカ ケイジ 位高 啓史 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）							東京医科歯科大学 教授 (平成29年4月)	5日
2	専任	教授	ヨカ テウヤ 依田 哲也 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）							東京医科歯科大学 教授 (令和2年4月)	5日
3	専任	教授	イケ サチコ 井関 祥子 ＜令和6年10月＞		博士（学 術）							東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
4	専任	教授	ウオ モトヒロ 宇尾 基弘 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）							東京医科歯科大学 教授 (平成23年4月)	5日
5	専任	教授	トヤマ サトシ 遠山 悟史 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）							東京医科歯科大学 教授 (令和4年11月)	5日
6	専任	教授	ヨコタ タカヲ 横田 隆徳 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）							東京医科歯科大学 教授 (平成26年8月)	5日
7	専任	教授	オカダ タケユキ 岡田 幸之 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）							東京医科歯科大学 教授 (平成27年9月)	5日
8	専任	教授	オカダ シュウショウ 岡田 就将 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）							東京医科歯科大学 教授 (令和4年7月)	5日
9	専任	教授	オカモト リュウイチ 岡本 隆一 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）							東京医科歯科大学 教授 (平成26年4月)	5日
10	専任	教授	オサヅキ リトシ 岡澤 均 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）							東京医科歯科大学 教授 (平成25年8月)	5日
11	専任	教授	オキヤマ ナオコ 冲山 奈緒子 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）							東京医科歯科大学 教授 (令和4年1月)	5日
12	専任	教授	マルカワ エリコ 丸川 恵理子 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）							東京医科歯科大学 教授 (令和3年8月)	5日
13	専任	教授	イワナガ ショウ 岩永 譲 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）							東京医科歯科大学 教授 (令和4年7月)	5日
14	専任	教授	イワタ タカヲ 岩田 隆紀 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）							東京医科歯科大学 教授 (平成31年2月)	5日
15	専任	教授	イワモト ツトム 岩本 勉 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）							東京医科歯科大学 教授 (令和2年5月)	5日
16	専任	教授	ヨシムラ リョウイチ 吉村 亮一 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）							東京医科歯科大学 教授 (平成26年4月)	5日
17	専任	教授	ミヤザカ ナオキ 宮坂 尚幸 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）							東京医科歯科大学 教授 (平成28年8月)	5日

18	専任	教授	ミヤシタ テイシ 宮崎 泰成 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
19	専任	教授	ハシモト マサヨシ 橋本 正良 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （令和4年4月）	5日
20	専任	教授	オキチ カシ 興地 隆史 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 教授 （平成27年1月）	5日
21	専任	教授	グミ ヨシアキ 具 芳明 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （令和3年4月）	5日
22	専任	教授	ネズミナ ツグシ 網笠 祐介 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成29年9月）	5日
23	専任	教授	ハラダ ヒロユキ 原田 浩之 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 教授 （平成27年4月）	5日
24	専任	教授	コガ ヒデユキ 古賀 英之 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （令和2年5月）	5日
25	専任	教授	トハラ ハルカ 戸原 玄 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 教授 （令和2年4月）	5日
26	専任	教授	コウチ ユウタ 高地 雄太 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （令和元年6月）	5日
27	専任	教授	ササキ タケヒコ 佐々木 雄彦 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）					東京医科歯科大学 教授 （平成30年3月）	5日
28	専任	教授	サトリ カシ 佐藤 莊 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （令和2年7月）	5日
29	専任	教授	ササノ テツオ 笹野 哲郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （令和元年6月）	5日
30	専任	教授	ミウラ マサヒコ 三浦 雅彦 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
31	専任	教授	ヤマダ テツヤ 山田 哲也 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成30年4月）	5日
32	専任	教授	ヤマウキ マサナガ 山脇 正永 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （令和2年12月）	5日
33	専任	教授	テラタ スミオ 寺田 純雄 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
34	専任	教授	ワカバヤシ ケンシ 若林 健二 ＜令和6年10月＞		医学博士					東京医科歯科大学 教授 （令和3年10月）	5日
35	専任	教授	ワカバヤシ ノリユキ 若林 則幸 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 教授 （令和2年4月）	5日
36	専任	教授	アキタ ケイイチ 秋田 恵一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
37	専任	教授	オノ カシ 小野 卓史 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日

38	専任	教授	ウヱサカ ナオミ 上阪 直史 ＜令和6年10月＞		博士（生物科学）					東京医科歯科大学 教授 （令和2年4月）	5日
39	専任	教授	ニッタ ヒロシ 新田 浩 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 教授 （平成31年4月）	5日
40	専任	教授	モリ タケヒコ 森 毅彦 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （令和3年4月）	5日
41	専任	教授	モリ ヒロキ 森 弘樹 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成30年10月）	5日
42	専任	教授	モリヤマ ケイジ 森山 啓司 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
43	専任	教授	シミス ヒデユキ 清水 秀幸 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （令和4年2月）	5日
44	専任	教授	アサキ アキラ 青木 章 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 教授 （平成31年2月）	5日
45	専任	教授	イシノ トモコ 石野 智子 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）					東京医科歯科大学 教授 （令和3年8月）	5日
46	専任	教授	カワシタ マサカズ 川下 将一 ＜令和6年10月＞		博士（工学）					東京医科歯科大学 教授 （平成31年4月）	5日
47	専任	教授	カワブチ コウイチ 川淵 孝一 ＜令和6年10月＞		修士（経営学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
48	専任	教授	マエハラ タクシ 前原 健寿 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
49	専任	教授	マエダ シゲル 前田 茂 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 教授 （令和3年4月）	5日
50	専任	教授	アイダ ジュン 相田 潤 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 教授 （令和2年8月）	5日
51	専任	教授	オウボウ ケンイチ 大久保 憲一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
52	専任	教授	オハシ ケンイチ 大橋 健一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （令和2年7月）	5日
53	専任	教授	オノ キョウコ 大野 京子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成26年8月）	5日
54	専任	教授	オトモ ヤスヒロ 大友 康裕 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
55	専任	教授	ナカムラ ケイコ 中村 桂子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成28年4月）	5日
56	専任	教授	ナカタ タカオ 中田 隆夫 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
57	専任	教授	ナカシマ トモキ 中島 友紀 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）					東京医科歯科大学 教授 （平成28年3月）	5日

58	専任	教授	マサキ トシアキ 樺木 俊聡 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
59	専任	教授	アサカガ タカヒロ 朝蔭 孝宏 ＜令和6年10月＞		博士（生物科学）					東京医科歯科大学 教授 （平成27年4月）	5日
60	専任	教授	ツツミ タカシ 堤 剛 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成27年4月）	5日
61	専任	教授	フエキ ケンジ 笛木 賢治 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 教授 （令和3年9月）	5日
62	専任	教授	タカ テツヤ 田賀 哲也 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
63	専任	教授	タカ ケンタロウ 田中 颯太郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成30年10月）	5日
64	専任	教授	タカ シンジ 田中 真二 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成26年11月）	5日
65	専任	教授	タナベ ミノル 田邊 稔 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
66	専任	教授	ワタベ テツロウ 渡部 徹郎 ＜令和6年10月＞		博士（生物科学）					東京医科歯科大学 教授 （平成27年7月）	5日
67	専任	教授	シマダ ケンシ 島田 康史 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 教授 （令和3年9月）	5日
68	専任	教授	トウダ シュウジ 東田 修二 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成27年9月）	5日
69	専任	教授	フジイ ヤスヒサ 藤井 靖久 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成28年8月）	5日
70	専任	教授	フジワラ タケオ 藤原 武男 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成28年4月）	5日
71	専任	教授	ウチダ シンイチ 内田 信一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成26年8月）	5日
72	専任	教授	ウチダ トクシロウ 内田 篤治郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成28年5月）	5日
73	専任	教授	フシミ キヨヒデ 伏見 清秀 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成31年3月）	5日
74	専任	教授	ヤスタ シンスケ 保田 晋助 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （令和2年1月）	5日
75	専任	教授	トヨフク アキラ 豊福 明 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
76	専任	教授	ヤサヅ トモコ 矢沢 知子 ＜令和6年10月＞		学士（薬学）					東京医科歯科大学 教授 （令和4年6月）	5日
77	専任	教授	タテishi ユキヒデ 立石 宇貴秀 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成26年10月）	5日

78	専任	教授	ススキ トシヒコ 鈴木 敏彦 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成27年7月）	5日
79	専任	教授	スミタ カス'タ 壽美田 一貴 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （令和2年10月）	5日
80	専任	教授	サクラダ' コウイチ 櫻田 宏一 ＜令和6年10月＞		博士（生物科学）					東京医科歯科大学 教授 （平成27年3月）	5日
81	専任	教授	アサハラ ヒロシ 浅原 弘嗣 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	5日
82	専任	教授	イムラ ヲカス' 磯村 宜和 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成31年4月）	5日
83	専任	教授	タカハシ ヒデ'ヒコ 高橋 英彦 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成31年2月）	5日
84	専任	教授	タカハシ クニヒコ 高橋 邦彦 ＜令和6年10月＞		博士（理学）					東京医科歯科大学 教授 （令和2年4月）	5日
85	専任	准教授	アサダ' ヒロシ 芦田 浩 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （平成29年4月）	5日
86	専任	准教授	シワタ ヒロキ 塩飽 裕紀 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和4年10月）	5日
87	専任	准教授	キシノ ミツヒロ 岸野 充浩 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和2年4月）	5日
88	専任	准教授	ヨシダ' ソウイチロウ 吉田 宗一郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
89	専任	准教授	ヨシキ ナオユキ 吉木 尚之 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和元年10月）	5日
90	専任	准教授	コマダ' リタル 駒田 亘 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和4年1月）	5日
91	専任	准教授	クト'ウ トシフミ 工藤 敏文 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （平成29年7月）	5日
92	専任	准教授	コ'ウヤ マサヒコ 合屋 雅彦 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （平成27年4月）	5日
93	専任	准教授	ネモト ヤスヒロ 根本 泰宏 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
94	専任	准教授	サトウ タク 佐藤 卓 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和2年10月）	5日
95	専任	准教授	オカ'ワ タクヤ 小川 卓也 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 准教授 （平成31年4月）	5日
96	専任	准教授	マツキマ ユウスケ 松山 祐輔 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和4年8月）	5日
97	専任	准教授	ウエノ タケシ 上野 剛史 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和3年12月）	5日

98	専任	准教授	シジ`ョウ ダイ`イサ 新城 大輔 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和3年4月）	5日
99	専任	准教授	モリシタ コウジ` 森下 幸治 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
100	専任	准教授	モリタ ケイ`イ 森田 圭一 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和3年11月）	5日
101	専任	准教授	スギ`ハラ ケン`イ 杉原 玄一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （平成31年4月）	5日
102	専任	准教授	ニシヤマ アキラ 西山 暁 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和3年5月）	5日
103	専任	准教授	ニシダ` ヨウ`イチロウ 西田 陽一郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和3年5月）	5日
104	専任	准教授	イシハシ ヒロ`リ 石橋 洋則 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
105	専任	准教授	カワシマ ヨシユキ 川島 慶之 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （平成28年5月）	5日
106	専任	准教授	カワシマ ノブ`ユキ 川島 伸之 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和3年12月）	5日
107	専任	准教授	マエシマ` マ`ヤスヒロ 前嶋 康浩 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和元年10月）	5日
108	専任	准教授	ソハラ エイ`セイ 蘇原 映誠 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （平成27年11月）	5日
109	専任	准教授	イケガ` ケン`ジ 池田 賢司 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
110	専任	准教授	タケウチ タカ`シ 竹内 崇 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和2年4月）	5日
111	専任	准教授	ナカヤマ トウ`シ`ョウ 中山 東城 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
112	専任	准教授	ナカガ`リ カス`ハル 中川 量晴 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
113	専任	准教授	ナカムラ トモ`マサ 中村 智祐 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
114	専任	准教授	ナカハマ ケン`イチ 中濱 健一 ＜令和6年10月＞		博士（学術）					東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	5日
115	専任	准教授	タナカ ヨウ`ジ 田中 洋次 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和3年1月）	5日
116	専任	准教授	タベ`タ マコト 田畑 純 ＜令和6年10月＞		博士（学術）					東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	5日
117	専任	准教授	ワタナベ` ヒロ`シ 渡邊 裕 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 准教授 （平成23年4月）	5日

118	専任	准教授	ミチ イスミ 道 泰之 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和3年11月）	5日
119	専任	准教授	ナヲ ノボシ 那波 伸敏 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和4年8月）	5日
120	専任	准教授	クスヤマ ショウジ 楠山 譲二 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和4年10月）	5日
121	専任	准教授	ヒラ リイロウ 平 理一郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和2年4月）	5日
122	専任	准教授	ナキ タシ 並木 剛 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （平成29年4月）	5日
123	専任	准教授	ミネ タシ 米津 太志 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和3年4月）	5日
124	専任	准教授	ホンマ ヒデノリ 本間 秀典 ＜令和6年10月＞		博士（工学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	5日
125	専任	准教授	タカハシ リコ 立川 敬子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和4年1月）	5日
126	専任	准教授	ハヤシ ミキヒト 林 幹人 ＜令和6年10月＞		博士（学術）					東京医科歯科大学 准教授 （令和3年4月）	5日
127	専任	准教授	ウキタ リョウ 脇田 亮 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 准教授 （平成26年11月）	5日
128	専任	准教授	トクナガ マサノリ 徳永 正則 ＜令和6年10月＞		学士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （平成31年4月）	5日
129	専任	講師	アンザイ イタツヒコ 安齋 達彦 ＜令和6年10月＞		博士（医療マネジメント学）					東京医科歯科大学 講師 （令和3年9月）	5日
130	専任	講師	イシミ アヤ 伊角 彩 ＜令和6年10月＞		博士（国際公共政策）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年10月）	5日
131	専任	講師	イトウ マイ 伊藤 真以 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
132	専任	講師	イトウ タク 伊藤 卓 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
133	専任	講師	イナジ マチキ 稲次 基希 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	5日
134	専任	講師	ウカシン ツカサ 宇賀神 つかさ ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （平成29年4月）	5日
135	専任	講師	ウツノ ハジメ 宇都野 創 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年7月）	5日
136	専任	講師	ヨコヤマ ユキ 横山 由紀 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年7月）	5日
137	専任	講師	オカダ エリコ 岡田 英理子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （平成26年4月）	5日

138	専任	講師	オモト ケンタロウ 岡本 健太郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （平成28年4月）	5日
139	専任	講師	キノ シロコ 柿野 聡子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 講師 （平成30年4月）	5日
140	専任	講師	カノウ タカシ 叶内 匡 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （平成28年1月）	5日
141	専任	講師	カモイ コウシュ 鴨居 功樹 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （平成25年4月）	5日
142	専任	講師	ヨシタケ ヒロユキ 儀武 啓幸 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 講師 （令和3年12月）	5日
143	専任	講師	ミヤタケ カズマサ 宮武 和正 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
144	専任	講師	クリモト リョウタ 栗本 遼太 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	5日
145	専任	講師	クハラ ヒロヤ 桑原 宏哉 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和2年8月）	5日
146	専任	講師	ハラ リンタロウ 原 倫太郎 ＜令和6年10月＞		博士（生命科学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年6月）	5日
147	専任	講師	フルサワ ハルヒコ 古澤 春彦 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
148	専任	講師	トダ カズマ 戸田 一真 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （平成27年4月）	5日
149	専任	講師	ホリミチ ジュン 細道 純 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	5日
150	専任	講師	ホリヤ タカシ 細矢 匡 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	5日
151	専任	講師	ヤマモト ヒロト 山本 寛人 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	5日
152	専任	講師	ヤマモト コウヘイ 山本 浩平 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
153	専任	講師	ヤマモト マサヒデ 山本 正英 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （平成30年4月）	5日
154	専任	講師	アキヤマ ヨシミツ 秋山 好光 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （平成15年7月）	5日
155	専任	講師	ハルキ シゲオ 春木 茂男 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
156	専任	講師	コミヤ チカヲ 小宮 力 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
157	専任	講師	オノ ヒロアキ 小野 宏晃 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和3年11月）	5日

158	専任	講師	マツムラ トモ 松村 朋香 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 講師 （平成30年2月）	5日
159	専任	講師	マツモト ヨシロウ 松本 芳郎 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	5日
160	専任	講師	モリ ショウスケ 森 周介 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
161	専任	講師	モリタ アヤコ 森田 彩子 ＜令和6年10月＞		博士（生物科学）					東京医科歯科大学 講師 （平成30年11月）	5日
162	専任	講師	ミスヅキ トモヒロ 水谷 知裕 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
163	専任	講師	セイノ カオルコ 清野 薫子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	5日
164	専任	講師	イシイ トモヒロ 石井 智浩 ＜令和6年10月＞		博士（理学）					東京医科歯科大学 講師 （平成28年4月）	5日
165	専任	講師	アカシ ケイイチ 赤星 径一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和3年11月）	5日
166	専任	講師	オノ カズチカ 大野 十央 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （平成30年10月）	5日
167	専任	講師	タニ ユカコ 谷 友香子 ＜令和6年10月＞		博士（生物科学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年7月）	5日
168	専任	講師	タケウチ ケイオ 竹内 康雄 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 講師 （平成29年4月）	5日
169	専任	講師	ナカガワ ワヲシ 中川 剛士 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （平成27年4月）	5日
170	専任	講師	ナガオカ ヒカル 長岡 ひかる ＜令和6年10月＞		博士（農学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
171	専任	講師	ナガオ トシカゲ 長尾 俊景 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
172	専任	講師	タナカ ヒカリ 田中 ひかり ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年5月）	5日
173	専任	講師	タナカ ハジメ 田中 一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和2年4月）	5日
174	専任	講師	タナカ タケイスケ 田中 大介 ＜令和6年10月＞		博士（理学）					東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	5日
175	専任	講師	タカシラ ヤスキ 田頭 保彰 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年8月）	5日
176	専任	講師	ワタナベ モトコ 渡邊 素子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
177	専任	講師	ワタナベ シトシ 渡邊 聡 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 講師 （令和3年12月）	5日

178	専任	講師	ワタベ リョウスケ 渡邊 亮輔 ＜令和6年4月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
179	専任	講師	ヒガシホリ ノリヒサ 東堀 紀尚 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 講師 （平成31年4月）	5日
180	専任	講師	フジノ ジュンヤ 藤野 純也 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
181	専任	講師	トミカ ヒロフミ 富岡 寛文 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 講師 （令和3年12月）	5日
182	専任	講師	ヒライシ ノリコ 平石 典子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 講師 （平成31年1月）	5日
183	専任	講師	ヘッパ マサシ 別府 正志 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （平成16年11月）	5日
184	専任	講師	キカガワ ノリオ 北河 憲雄 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年9月）	5日
185	専任	講師	ノサカ ノブユキ 野坂 宜之 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
186	専任	講師	ノサキ コウスケ 野崎 浩佑 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年8月）	5日
187	専任	講師	アリイズ ミヨウスケ 有泉 陽介 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （平成28年4月）	5日
188	専任	講師	ワタ ケアヒロ 和田 敬広 ＜令和6年10月＞		博士（工学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年10月）	5日
189	専任	講師	タケ コウイチ 榎 康一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	5日
190	専任	講師	トナミ ケンイチ 礪波 健一 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 講師 （平成25年8月）	5日
191	専任	講師	サイトウ テツヤ 齋藤 鉄也 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	5日
192	専任	講師	サイトウ ケンタ 齊藤 健太 ＜令和6年10月＞		博士（理学）					東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	5日
193	専任	講師	タカセ ヒロシ 高瀬 博 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （平成24年4月）	5日
194	専任	助教	アライン アンтониオ リオス タベラ ALAIN ANTONIO RIOS ＜令和6年10月＞		博士（学術）					東京医科歯科大学 助教 （令和2年10月）	5日
195	専任	助教	イトウ タカヤ 伊藤 孝哉 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年7月）	5日
196	専任	助教	イノウエ カタジナアンナ 井上 カタジナアンナ ＜令和6年10月＞		博士（工学）					東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日
197	専任	助教	イノウエ コウウ 井上 剛 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日

198	専任	助教	付辞 ムカ 稲用 友佳 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	5日
199	専任	助教	付ノ トクシユ 岡野 徳壽 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年3月）	5日
200	専任	助教	エビハラ アヲタ 海老原 新 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （平成19年4月）	5日
201	専任	助教	セキグチ マサキ 関口 将軌 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （平成21年1月）	5日
202	専任	助教	イワハラ ユキ 岩原 由樹 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （平成25年4月）	5日
203	専任	助教	ヨシオカ コウタロウ 吉岡 耕太郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
204	専任	助教	ヨシハラ ショウゴ 吉原 壮梧 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
205	専任	助教	ミヤマス アンナ 宮安 杏奈 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
206	専任	助教	ミヤジマ ミホ 宮島 美穂 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （平成23年4月）	5日
207	専任	助教	カナヤマ マサシ 金山 剛士 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （平成29年6月）	5日
208	専任	助教	コマカミネ ユリコ 駒ヶ嶺 友梨子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （平成26年4月）	5日
209	専任	助教	クマガイ タカシ 熊谷 貴 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （平成19年4月）	5日
210	専任	助教	クリタ タカシ 栗田 崇史 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年1月）	5日
211	専任	助教	クワハラ ヒロフミ 桑原 宏文 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和元年10月）	5日
212	専任	助教	ハラダ マサヨ 原田 理代 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日
213	専任	助教	イガラシ イサオ 五十嵐 公 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （平成19年4月）	5日
214	専任	助教	イガラシ ケイ 五十嵐 多恵 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （平成27年7月）	5日
215	専任	助教	タカヤマ ワタル 高山 渉 ＜令和6年10月＞		学士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和2年4月）	5日
216	専任	助教	クロシマ タケシ 黒嶋 雄志 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （平成29年7月）	5日
217	専任	助教	サトウ ケイスケ 佐藤 啓介 ＜令和6年10月＞		博士（農学）					東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日

218	専任	助教	サヰツ タカシ 財津 崇 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （平成23年4月）	5日
219	専任	助教	サカエ フミカ 坂上 史佳 ＜令和6年10月＞		博士（理学）					東京医科歯科大学 助教 （平成27年4月）	5日
220	専任	助教	サカキハラ リエ 榊原 里江 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年10月）	5日
221	専任	助教	ミヨシ マサト 三好 正人 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年5月）	5日
222	専任	助教	サエキ サキヒロオ 三枝 弘尚 ＜令和6年10月＞		博士（理学）					東京医科歯科大学 助教 （平成19年4月）	5日
223	専任	助教	ヤマカ ヨイ 山岡 祐衣 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和2年6月）	5日
224	専任	助教	ヤマクチ コウヘイ 山口 浩平 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
225	専任	助教	ヤマウチ シンイチ 山内 慎一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （平成26年10月）	5日
226	専任	助教	ヤマモト クララ 山本 くらら ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和2年10月）	5日
227	専任	助教	ヤマモト ユウタロウ 山本 雄大 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （平成31年2月）	5日
228	専任	助教	ヤマザキ トシキ 山崎 俊輝 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
229	専任	助教	ヤマザキ ヨウコ 山崎 陽子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日
230	専任	助教	カシマダ アヤコ 鹿島田 彩子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （平成26年4月）	5日
231	専任	助教	ムロウ サトル 室生 暁 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和2年4月）	5日
232	専任	助教	ムロタ ヨシタカ 室田 吉貴 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和3年4月）	5日
233	専任	助教	シバタ ショウ 柴田 翔 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和2年10月）	5日
234	専任	助教	シュウ クン 周 君 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年7月）	5日
235	専任	助教	オノ タケヒト 小野 岳人 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （平成31年2月）	5日
236	専任	助教	コハヤシ ミホ 小林 美穂 ＜令和6年10月＞		博士（生命科学）					東京医科歯科大学 助教 （令和元年5月）	5日
237	専任	助教	マツシマ クカヒデ 松島 隆英 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）					東京医科歯科大学 助教 （平成31年1月）	5日

238	専任	助教	マツモト ユキ 松本 有紀子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和元年12月）	5日
239	専任	助教	ウエダ ヒロキ 上田 浩樹 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和2年6月）	5日
240	専任	助教	ウエダ マホ 上田 真保子 ＜令和6年10月＞		博士（理学）					東京医科歯科大学 助教 （令和2年7月）	5日
241	専任	助教	ウヰムラ ノリコ 植村 法子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （平成26年4月）	5日
242	専任	助教	シンヂョウ ナオキ 新澤 直明 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）					東京医科歯科大学 助教 （平成29年7月）	5日
243	専任	助教	モリオ シン 森岡 真 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年6月）	5日
244	専任	助教	モリ ミチ 森 美央 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和元年6月）	5日
245	専任	助教	モリ ユウタロウ 森 雄太郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年2月）	5日
246	専任	助教	スズ コウイチロウ 須佐 統一郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （平成26年11月）	5日
247	専任	助教	フキノ ケイコ 吹野 恵子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年7月）	5日
248	専任	助教	ミズタニ コウジ 水谷 幸嗣 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日
249	専任	助教	スギヤマ トモヨ 杉山 知代 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年10月）	5日
250	専任	助教	ニシダ ユキ 西田 優紀 ＜令和6年10月＞		修士（保健学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
251	専任	助教	アオヤマ ジョロウ 青山 二郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
252	専任	助教	イシマル ミホ 石丸 美穂 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
253	専任	助教	イシダ ユウジ 石田 雄之 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （平成30年4月）	5日
254	専任	助教	アカシ ユウ 赤石 雄 ＜令和6年10月＞		博士（医学教育学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年10月）	5日
255	専任	助教	チハ トモキ 千葉 朋希 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （平成28年5月）	5日
256	専任	助教	カワキタ マサヒコ 川岸 将彦 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （平成19年4月）	5日
257	専任	助教	カワハタ マサナリ 川端 政則 ＜令和6年10月＞		博士（工学）					東京医科歯科大学 助教 （令和3年4月）	5日

258	専任	助教	アサミ ユウタロウ 浅見 裕太郎 <令和6年10月>		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 (令和4年7月)	5日
259	専任	助教	アサノ トシフミ 浅野 豪文 <令和6年10月>		博士（理学）					東京医科歯科大学 助教 (平成27年1月)	5日
260	専任	助教	アダチ リカ 足立 礼孝 <令和6年10月>		博士（理学）					東京医科歯科大学 助教 (令和3年12月)	5日
261	専任	助教	オハラ マサヒロ 大原 正裕 <令和6年10月>		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 (令和4年8月)	5日
262	専任	助教	オオイ アツシ 大石 敦之 <令和6年10月>		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 (令和3年4月)	5日
263	専任	助教	タケチ アツヤ 竹内 敦也 <令和6年10月>		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 (令和3年4月)	5日
264	専任	助教	カネ アヤコ 中根 綾子 <令和6年10月>		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 (平成21年12月)	5日
265	専任	助教	カニシ ヒデユキ 中西 秀之 <令和6年10月>		博士（薬学）					東京医科歯科大学 助教 (令和4年4月)	5日
266	専任	助教	カムラ シン 中村 伸 <令和6年10月>		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 (平成19年4月)	5日
267	専任	助教	ナカタ ヒデミ 中田 秀美 <令和6年10月>		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 (平成27年8月)	5日
268	専任	助教	ハセガワ リジュンヤ 長谷川 純矢 <令和6年10月>		薬学博士					東京医科歯科大学 助教 (平成30年7月)	5日
269	専任	助教	ウシ ミチコ 辻 美千子 <令和6年10月>		学士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 (平成19年4月)	5日
270	専任	助教	ウシモト カズカ 辻本 和峰 <令和6年10月>		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 (平成29年4月)	5日
271	専任	助教	タムラ カオル 田村 郁 <令和6年10月>		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 (平成24年4月)	5日
272	専任	助教	タオ ススム 田尾 進 <令和6年10月>		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 (平成31年1月)	5日
273	専任	助教	トイ サトミ 土井 理美 <令和6年10月>		博士（臨床心理学）					東京医科歯科大学 助教 (令和4年10月)	5日
274	専任	助教	シマブネ クロ マサヤ 島袋 将弥 <令和6年10月>		博士（工学）					東京医科歯科大学 助教 (令和4年4月)	5日
275	専任	助教	シマタ シュウ 島田 周 <令和6年10月>		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 (平成25年8月)	5日
276	専任	助教	ヒガシ ミツ 東 美和 <令和6年10月>		学士（医学）					東京医科歯科大学 助教 (平成30年5月)	5日
277	専任	助教	フジイ サトル 藤井 悟 <令和6年10月>		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 (令和4年4月)	5日

278	専任	助教	フジノ タロウ 藤川 太郎 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （平成27年10月）	5日
279	専任	助教	フジノ キョウヘイ 藤田 恭平 ＜令和6年10月＞		博士（理学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年6月）	5日
280	専任	助教	フジノ キタミ 藤木 珠美 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
281	専任	助教	クズモト ヤスカ 楠本 康香 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （平成23年1月）	5日
282	専任	助教	ハタノ メグミ 波多野 恵 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年10月）	5日
283	専任	助教	ハバ ハ シュンイチ 馬場 峻一 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和3年4月）	5日
284	専任	助教	ウメツリ ケイ 梅森 幸 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	5日
285	専任	助教	ウメツリ ヨシヒロ 梅澤 佳央 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （平成30年4月）	5日
286	専任	助教	ウメツリ ナツカ 梅澤 夏佳 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （平成29年4月）	5日
287	専任	助教	ヤギ ヨスカ 八木 洋輔 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （平成29年4月）	5日
288	専任	助教	フクタ ショウヘイ 福田 翔平 ＜令和6年10月＞		学士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和2年4月）	5日
289	専任	助教	フクシマ ユウタ 福島 雄大 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和元年5月）	5日
290	専任	助教	ワケン マリョウ 分島 良 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和2年4月）	5日
291	専任	助教	ヒライ ケイコウ 平井 作京 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和3年4月）	5日
292	専任	助教	ヒラタ コウセイ 平田 浩聖 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和3年8月）	5日
293	専任	助教	カタクラ マイ 片倉 麻衣 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （令和3年8月）	5日
294	専任	助教	ミナベ シ サキ 峰岸 沙希 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年7月）	5日
295	専任	助教	キムラ ヤスキ 木村 康之 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
296	専任	助教	キノ シホ 木野 志保 ＜令和6年10月＞		PhD in Epidemiology and Public Health					東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	5日
297	専任	助教	ノガミ アヤコ 野上 彩子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （平成28年4月）	5日

298	専任	助教	ナガイ ショウゴ 柳井 翔吾 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年6月）	5日
299	専任	助教	トモツ ノブヨシ 友松 伸允 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）					東京医科歯科大学 助教 （平成30年4月）	5日
300	専任	助教	ハヤシ カイ 林 海里 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年7月）	5日
301	専任	助教	ワタ シュンイチロウ 和田 淳一郎 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）					東京医科歯科大学 助教 （平成25年10月）	5日
302	専任	助教	クニシ カナ 國吉 佳奈子 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 助教 （令和3年4月）	5日
303	専任	助教	タカキ シュンスケ 高木 俊輔 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 助教 （平成28年4月）	5日
304	兼担	技術専門職員	マシ ヒロユキ 増野 弘幸 ＜令和6年10月＞		博士（薬 学）					東京医科歯科大学 技術専門職員 （平成18年10月）	
305	兼担	教授	パーク ヘウォン PARK HEEWON ＜令和6年10月＞		博士（理 学）					東京医科歯科大学 教授 （令和2年6月）	
306	兼担	教授	イトウ ノブトシ 伊藤 暢聡 ＜令和6年10月＞		DEGREE OF DOCTOR OF PHILOSOP HY					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	
307	兼担	教授	カゲチカ ヒロユキ 影近 弘之 ＜令和6年10月＞		博士（薬 学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	
308	兼担	教授	カシ ヒロカズ 梶 弘和 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）					東京医科歯科大学 教授 （令和3年10月）	
309	兼担	教授	カバサリ ユウジ 權沢 勇司 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）					東京医科歯科大学 教授 （平成29年2月）	
310	兼担	教授	セキヤ イチロウ 関矢 一郎 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	
311	兼担	教授	キシタ アキオ 岸田 晶夫 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	
312	兼担	教授	ヨシタ マサユキ 吉田 雅幸 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	
313	兼担	教授	ヨシタ ナオミ 吉田 直美 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）					東京医科歯科大学 教授 （平成29年9月）	
314	兼担	教授	タムラ ヒロカズ 玉村 啓和 ＜令和6年10月＞		博士（薬 学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	
315	兼担	教授	カナイ マサミ 金井 正美 ＜令和6年10月＞		博士（農 学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	
316	兼担	教授	カナザワ マナブ 金澤 学 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）					東京医科歯科大学 教授 （令和3年5月）	
317	兼担	教授	ホソヤ タカミツ 細谷 孝充 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	

318	兼担	教授	ペンナイ ヒデオ 坂内 英夫 ＜令和6年10月＞		博士（情報理工学）					東京医科歯科大学 教授 （令和2年4月）	
319	兼担	教授	ミツバヤシ コウジ 三林 浩二 ＜令和6年10月＞		博士（工学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	
320	兼担	教授	マツカ ヒロキ 松田 憲之 ＜令和6年10月＞		博士（理学）					東京医科歯科大学 教授 （令和4年1月）	
321	兼担	教授	マツオ コウイチロウ 松尾 浩一郎 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 教授 （令和3年4月）	
322	兼担	教授	ニシナ ヒロシ 仁科 博史 ＜令和6年10月＞		博士（理学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	
323	兼担	教授	セカヰ カツミ 瀬川 勝盛 ＜令和6年10月＞		博士（理学）					東京医科歯科大学 教授 （令和3年4月）	
324	兼担	教授	アオキ カズヒロ 青木 和広 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 教授 （平成29年2月）	
325	兼担	教授	イシカキ キンヤ 石川 欽也 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成27年1月）	
326	兼担	教授	オオカワ リュウノスケ 大川 龍之介 ＜令和6年10月＞		博士（理学）					東京医科歯科大学 教授 （平成31年4月）	
327	兼担	教授	イケUCHI マサシ 池内 真志 ＜令和6年10月＞		博士（工学）					東京医科歯科大学 教授 （令和3年10月）	
328	兼担	教授	タケUCHI カツキ 竹内 勝之 ＜令和6年10月＞		修士（医学科学）					東京医科歯科大学 教授 （令和3年4月）	
329	兼担	教授	ナカジマ ヨシカズ 中島 義和 ＜令和6年10月＞		博士（工学）					東京医科歯科大学 教授 （平成29年4月）	
330	兼担	教授	タケカ トシヒロ 田中 敏博 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年4月）	
331	兼担	教授	ニカイトウ イトシ 二階堂 愛 ＜令和6年10月＞		博士（理学）					東京医科歯科大学 教授 （令和2年4月）	
332	兼担	教授	イイダ カオリ 飯田 香緒里 ＜令和6年10月＞		博士（学術）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年9月）	
333	兼担	教授	タケハタ ケイリ 武部 貴則 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成30年2月）	
334	兼担	教授	ヒラカワ アキヒロ 平川 晃弘 ＜令和6年10月＞		博士（工学）					東京医科歯科大学 教授 （令和2年4月）	
335	兼担	教授	キノシタ アツヒロ 木下 淳博 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	
336	兼担	教授	アイ マスミ 藍 真澄 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年7月）	
337	兼担	教授	シバヤ ヒロシ 澁谷 浩司 ＜令和6年10月＞		博士（理学）					東京医科歯科大学 教授 （平成25年8月）	

338	兼担	教授	タカダ カヅキ 高田 和生 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 教授 （平成24年12月）	
339	兼担	准教授	キャネル デヴィッド CANNELL DAVID ＜令和6年10月＞		PhD East Asian Language s and Literatu res					東京医科歯科大学 准教授 （平成26年6月）	
340	兼担	准教授	ジャンネル ルネ モロス JANELLE RENEE MOROSS ＜令和6年10月＞		准学士 （看護）					東京医科歯科大学 准教授 （平成26年2月）	
341	兼担	准教授	ジャンネット デニソン JEANETTE DENNISSON ＜令和6年10月＞		修士（理学）					東京医科歯科大学 准教授 （平成27年4月）	
342	兼担	准教授	ヨコイ タイシ 横井 太史 ＜令和6年10月＞		博士（工学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和元年9月）	
343	兼担	准教授	ヨコヤマ ミナト 横山 みなと ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和3年8月）	
344	兼担	准教授	オカダ タクヤ 岡田 卓也 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和3年4月）	
345	兼担	准教授	イワキ マイコ 岩城 麻衣子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	
346	兼担	准教授	ゴトリ トシヤス 後藤 利保 ＜令和6年10月＞		博士（理学）					東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	
347	兼担	准教授	ササキ シュンコ 佐々木 純子 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）					東京医科歯科大学 准教授 （平成30年5月）	
348	兼担	准教授	ササカワ ヨウヘイ 笹川 洋平 ＜令和6年10月＞		博士（生命科学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和3年4月）	
349	兼担	准教授	ヤマノ コウジ 山野 晃史 ＜令和6年10月＞		博士（理学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和4年4月）	
350	兼担	准教授	オノギ シンヤ 小野木 真哉 ＜令和6年10月＞		博士（科学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和2年4月）	
351	兼担	准教授	マツモト アキラ 松元 亮 ＜令和6年10月＞		博士（工学）					東京医科歯科大学 准教授 （平成23年3月）	
352	兼担	准教授	ヌモト ノブタカ 沼本 修孝 ＜令和6年10月＞		博士（理学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和3年6月）	
353	兼担	准教授	フナト リコ 船戸 紀子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 准教授 （平成26年4月）	
354	兼担	准教授	オホキ マイコ 大木 明子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 准教授 （平成23年4月）	
355	兼担	准教授	ニリ タカシ 丹羽 節 ＜令和6年10月＞		博士（工学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和3年10月）	
356	兼担	准教授	タケナチ ジュン 竹内 純 ＜令和6年10月＞		博士（バイオサイエンス）					東京医科歯科大学 准教授 （平成28年11月）	
357	兼担	准教授	ハセガワ タカリ 長谷川 嵩矩 ＜令和6年10月＞		博士（情報学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和3年9月）	

358	兼担	准教授	ハセ タカシ 長谷 武志 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （平成30年4月）	
359	兼担	准教授	ツジ コウヘイ 辻 耕平 ＜令和6年10月＞		博士（薬科学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和4年1月）	
360	兼担	准教授	ツルギ シン 鶴田 潤 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	
361	兼担	准教授	タムラ アツシ 田村 篤志 ＜令和6年10月＞		博士（工学）					東京医科歯科大学 准教授 （平成30年4月）	
362	兼担	准教授	フジイ シンヤ 藤井 晋也 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）					東京医科歯科大学 准教授 （令和元年6月）	
363	兼担	准教授	アカシ タカミ 明石 巧 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	
364	兼担	准教授	キムラ ヲシ 木村 剛 ＜令和6年10月＞		博士（工学）					東京医科歯科大学 准教授 （平成25年8月）	
365	兼担	講師	スミタ ユカ 隅田 由香 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 講師 （平成21年2月）	
366	兼担	講師	エハナ ユウスケ 江花 有亮 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 講師 （平成27年5月）	
367	兼担	講師	コウハタ ヒロコ 甲畑 宏子 ＜令和6年10月＞		博士（学術）					東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	
368	兼担	講師	コフジ サトシ 小藤 智史 ＜令和6年10月＞		博士（薬学）					東京医科歯科大学 講師 （令和元年12月）	
369	兼担	講師	マツガタ ユウヘイ 松田 悠平 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 講師 （令和4年4月）	
370	兼担	講師	イケガキ マサオミ 池田 正臣 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 講師 （平成23年4月）	
371	兼担	講師	セキ ナオコ 関 奈央子 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 講師 （令和3年4月）	
372	兼担	助教	アタチ ナオコ 安達 奈穂子 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （平成30年4月）	
373	兼担	助教	イトウ タカシ 伊藤 崇 ＜令和6年10月＞		博士（医学）					東京医科歯科大学 助教 （平成22年4月）	
374	兼担	助教	イトウ カナデ 伊藤 奏 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （平成30年4月）	
375	兼担	助教	シオザワ マホ 塩沢 真穂 ＜令和6年10月＞		博士（歯学）					東京医科歯科大学 助教 （平成29年5月）	
376	兼担	助教	ウミセ アキラ 海瀬 晃 ＜令和6年10月＞		博士（工学）					東京医科歯科大学 助教 （平成29年4月）	
377	兼担	助教	ハシモト ヨシヒデ 橋本 良秀 ＜令和6年10月＞		博士（学術）					東京医科歯科大学 助教 （平成27年10月）	

378	兼担	助教	サトウ ヒロキ 佐藤 宏征 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）					東京医科歯科大学 助教 （令和2年4月）	
379	兼担	助教	シウ トウハ 周 東博 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年4月）	
380	兼担	助教	コバヤシ タケ 小早川 拓也 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）					東京医科歯科大学 助教 （平成29年10月）	
381	兼担	助教	カシノ ヨウ シンゴ 上條 真吾 ＜令和6年10月＞		修士（学 術）					東京医科歯科大学 助教 （平成25年4月）	
382	兼担	助教	スズカ マチヨ 須永 昌代 ＜令和6年10月＞		学士（教 養）					東京医科歯科大学 助教 （平成22年4月）	
383	兼担	助教	スギノ タケキ 杉野 貴明 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）					東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	
384	兼担	助教	シミス マチヒロ 清水 幹容 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）					東京医科歯科大学 助教 （令和元年9月）	
385	兼担	助教	イシタ リョウスケ 石田 良典 ＜令和6年10月＞		博士（薬 科学）					東京医科歯科大学 助教 （令和3年9月）	
386	兼担	助教	タケモト アキラ 竹本 暁 ＜令和6年10月＞		学士（医 学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年5月）	
387	兼担	助教	タケチ ジュンペイ 田口 純平 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）					東京医科歯科大学 助教 （令和元年7月）	
388	兼担	助教	ツチダ ユミ 土田 優美 ＜令和6年10月＞		修士（口 腔保健 学）					東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	
389	兼担	助教	ヒガシ レナ 日高 玲奈 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）					東京医科歯科大学 助教 （平成30年4月）	
390	兼担	助教	ハヤマ タカシ 畑山 貴志 ＜令和6年10月＞		学士（歯 学）					東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	
391	兼担	助教	イタニ ケンタ 飯谷 健太 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）					東京医科歯科大学 助教 （令和4年2月）	
392	兼担	助教	イタノ ヨリツグ 飯田 頼嗣 ＜令和6年10月＞		修士（理 学）					東京医科歯科大学 助教 （令和3年1月）	
393	兼担	助教	ヨネミツ イクオ 米満 郁男 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）					東京医科歯科大学 助教 （平成25年8月）	
394	兼担	助教	アリサカ ヨシノリ 有坂 慶紀 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 助教 （平成27年4月）	
395	兼担	助教	スズキ ヒトミ 鈴木 瞳 ＜令和6年10月＞		博士（口 腔保健福 祉学）					東京医科歯科大学 助教 （平成31年4月）	
396	兼担	助教	オオサカ ミズコ 大坂 瑞子 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 助教 （平成23年4月）	
397	兼任	非常勤 講師	ファルハ ナオミ オマール ファルーク FARHA NAOMI OMAR F ＜令和6年10月＞		博士（哲 学）・理 学士					東京医科歯科大学 非常勤講師 （令和6年10月）	

398	兼任	非常勤務 講師	イノベ テツ 磯部 哲 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
399	兼任	非常勤務 講師	ウカシン アツシ 宇賀神 敦 ＜令和6年10月＞		学士（工 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
400	兼任	非常勤務 講師	オカダ マサシ 岡田 将誌 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
401	兼任	非常勤務 講師	シモカワ アサオ 下川 朝有 ＜令和6年10月＞		修士（理 学） 博士（理 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
402	兼任	非常勤務 講師	カウ タイ 加藤 大 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
403	兼任	非常勤務 講師	ヨシオカ カツリ 吉岡 克成 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
404	兼任	非常勤務 講師	ヨシノ ヒロシ 吉野 宏志 ＜令和6年10月＞		修士（言 語学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
405	兼任	非常勤務 講師	クボタ ヒロシ 久保田 宏 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
406	兼任	非常勤務 講師	フルカワ タカコ 古川 高子 ＜令和6年10月＞		修士（学 術）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
407	兼任	非常勤務 講師	タカケ レオ 高久 玲音 ＜令和6年10月＞		博士（商 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
408	兼任	非常勤務 講師	イマムラ ケン 今村 健 ＜令和6年10月＞		修士（芸 術工学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
409	兼任	非常勤務 講師	コジマ ヒロユキ 小島 寛之 ＜令和6年10月＞		修士（経 済学） 博士（経 済学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
410	兼任	非常勤務 講師	スキミツ カズナリ 杉光 一成 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
411	兼任	非常勤務 講師	セセ シン 瀬々 潤 ＜令和6年10月＞		博士（科 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
412	兼任	非常勤務 講師	イシカワ テツオ 石川 哲朗 ＜令和6年10月＞		修士（理 学） 博士（理 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
413	兼任	非常勤務 講師	カワカミ エリョウ 川上 英良 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
414	兼任	非常勤務 講師	カワセ マコト 川瀬 真 ＜令和6年10月＞		学士（法 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
415	兼任	非常勤務 講師	アサイ ヨシユキ 浅井 義之 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
416	兼任	非常勤務 講師	クラマチ ジン 倉持 仁 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
417	兼任	非常勤務 講師	ナカヤマ トシヒデ 中山 俊秀 ＜令和6年10月＞		博士（言 語学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	

418	兼任	非常勤務 講師	タハ° ユシ° 田邊 勇二 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
419	兼任	非常勤務 講師	イタコ°シ マサヒコ 板越 正彦 ＜令和6年10月＞		修士（国 際経営 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
420	兼任	非常勤務 講師	ヒライ ユキ 平井 佑希 ＜令和6年10月＞		法務博士					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
421	兼任	非常勤務 講師	ヒラハ° コウイチ 平畑 光一 ＜令和6年10月＞		学士（医 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
422	兼任	非常勤務 講師	オサカ ケイイチ 保坂 啓一 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
423	兼任	非常勤務 講師	モク°シ カオル 茂樹 薫 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
424	兼任	非常勤務 講師	ヤノ コウセイ 矢野 孝星 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
425	兼任	非常勤務 講師	クニイ オサム 國井 修 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
426	兼任	非常勤務 講師	ガ°イユスト リュック ニコラ Gailhouse, Luc Nicolas ＜令和6年10月＞		博士（生 物学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
427	兼任	非常勤務 講師	クルジ°ヂ° ノウスキー マレック コンラト° Krzyszanski, Marek Konrad ＜令和6年10月＞		博士（生 物学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
428	兼任	非常勤務 講師	マス°ト° カン Masud Khan ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
429	兼任	非常勤務 講師	アクワ ヒデ°ハリ 阿久津 英憲 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
430	兼任	非常勤務 講師	イチノハ ナリカ 一戸 紀孝 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
431	兼任	非常勤務 講師	エンド°ウ リョウ 遠藤 良 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
432	兼任	非常勤務 講師	ヨコヤマ イス°ミ 横山 泉 ＜令和6年10月＞		博士（経 済学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
433	兼任	非常勤務 講師	マルヤマ レオ 丸山 玲緒 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
434	兼任	非常勤務 講師	ヨシオカ ヒロマサ 吉岡 広大 ＜令和6年10月＞		博士（薬 科学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
435	兼任	非常勤務 講師	ヨシタ° ヒデ°ユキ 吉田 英行 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
436	兼任	非常勤務 講師	ミヤカ ムイイチロウ 宮岡 佑一郎 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
437	兼任	非常勤務 講師	ミヤカ ノブ°ヒコ 宮坂 信彦 ＜令和6年10月＞		博士（薬 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	

438	兼任	非常勤務 講師	ハシモト タカフミ 橋本 唯史 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
439	兼任	非常勤務 講師	ハラ タカヒロ 原 孝彦 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
440	兼任	非常勤務 講師	ヒロタ トオル 広田 亨 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
441	兼任	非常勤務 講師	アラカワ ヒロフミ 荒川 博文 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
442	兼任	非常勤務 講師	タカハシ アキコ 高橋 暁子 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
443	兼任	非常勤務 講師	タカガ シュウジ 高田 修治 ＜令和6年10月＞		博士（地 球環境科 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
444	兼任	非常勤務 講師	ヤマシタ ユウイチ 山下 祐一 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
445	兼任	非常勤務 講師	ヤマカゲ マスミ 山口 真澄 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
446	兼任	非常勤務 講師	シヅタ タカシ 七田 崇 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
447	兼任	非常勤務 講師	ウルシハラ ヒサシ 漆原 尚巳 ＜令和6年10月＞		博士（社 会健康医 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
448	兼任	非常勤務 講師	オノテラ マサフミ 小野寺 雅史 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
449	兼任	非常勤務 講師	マツモト ケンジ 松本 健治 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
450	兼任	非常勤務 講師	アライ マコト 新井 誠 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
451	兼任	非常勤務 講師	フカミ マキ 深見 真紀 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
452	兼任	非常勤務 講師	ハラ ケンイチロウ 秦 健一郎 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
453	兼任	非常勤務 講師	ナルセ テツヤ 成瀬 哲也 ＜令和6年10月＞		修士（工 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
454	兼任	非常勤務 講師	ホシノ ミキオ 星野 幹雄 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
455	兼任	非常勤務 講師	ホシノ タカヒロ 星野 崇宏 ＜令和6年10月＞		博士（学 術）博士 （経済 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
456	兼任	非常勤務 講師	アオキ ヨシツグ 青木 吉嗣 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
457	兼任	非常勤務 講師	イシガキ カズヨシ 石垣 和慶 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）					東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	

458	兼任	非常勤務 講師	イズミ マサヲ 泉 正範 ＜令和6年10月＞		博士（農 学）						東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
459	兼任	非常勤務 講師	マシミ ケンチ 増富 健吉 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）						東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
460	兼任	非常勤務 講師	オオキ シンジ 大木 伸司 ＜令和6年10月＞		博士（薬 学）						東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
461	兼任	非常勤務 講師	タニウチ イサヲ 谷内 一郎 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）						東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
462	兼任	非常勤務 講師	タケウチ ケンゴ 竹内 賢吾 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）						東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
463	兼任	非常勤務 講師	ハセガワ マサト 長谷川 成人 ＜令和6年10月＞		博士（医 学）						東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
464	兼任	非常勤務 講師	ウツ シンゴ 辻 真吾 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）						東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
465	兼任	非常勤務 講師	タカミ シュンスケ 田上 俊輔 ＜令和6年10月＞		博士（理 学）						東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
466	兼任	非常勤務 講師	タカモト マサ 田中 元雅 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）						東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
467	兼任	非常勤務 講師	ワタナベ リキヤ 渡邊 力也 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）						東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
468	兼任	非常勤務 講師	ハギハラ シンヤ 萩原 伸也 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）						東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
469	兼任	非常勤務 講師	シロカミ ショウヘイ 白神 昇平 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）						東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
470	兼任	非常勤務 講師	トミダ アキヒロ 富田 章弘 ＜令和6年10月＞		博士（薬 学）						東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
471	兼任	非常勤務 講師	フカウ アユミ 布川 あゆみ ＜令和6年10月＞		博士（社 会学）						東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
472	兼任	非常勤務 講師	ハツトリ サトシ 服部 聡 ＜令和6年10月＞		博士（臨 床統計 学）						東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
473	兼任	非常勤務 講師	ノマ ヒサシ 野間 久史 ＜令和6年10月＞		博士（統 計数理 学）						東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
474	兼任	非常勤務 講師	ノカ キイチ 野中 希一 ＜令和6年10月＞		博士（歯 学）						東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
475	兼任	非常勤務 講師	トウマ コウジ 富麻 浩司 ＜令和6年10月＞		Doctor rerum naturalium technicorum						東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
476	兼任	非常勤務 講師	サイトウ リコ 齊藤 典子 ＜令和6年10月＞		博士 （Ph. D）						東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	
477	兼任	非常勤務 講師	トト コウスケ 園園 孝介 ＜令和6年10月＞		博士（工 学）						東京医科歯科大学 非常勤務講師 （令和6年10月）	